

令和 8 年 度

当初予算(案)事業別概要

(一般会計・特別会計)

鳥 取 市

令和8年度当初予算(案) 事業別概要目次(一般会計)

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
【総務部】		
総務課	鳥取市史編さん事業費 ……………	31
総務課	経済センサス活動調査費 ……………	31
行財政改革課	予算事務費 ……………	32
行財政改革課	行財政改革大綱等推進事業費 ……………	32
行財政改革課	長期借入金元金償還金 ……………	33
行財政改革課	長期借入金利子償還金 ……………	33
職員課	退職手当 ……………	34
検査契約課	鳥取市建設優良工事表彰経費 ……………	34
財産経営課	総合支所整備事業費 ……………	35
財産経営課	国土調査事業費 ……………	35
資産活用推進課	ファシリティマネジメント推進事業費 ……………	36
資産活用推進課	包括的施設管理事業費 ……………	36
資産活用推進課	ふるさと納税推進事業費 ……………	37
【税務・債権管理局】		
市民税課	賦課徴収費 ……………	38
固定資産税課	賦課事務費 ……………	38
固定資産税課	土地評価事務費 ……………	39
収納推進課	賦課徴収費 ……………	39
収納推進課	債権管理運営費 ……………	40
収納推進課	納付催告センター運営費 ……………	40
【人権政策局】		
人権推進課	人権問題に関する市民意識調査事業費 ……………	41
人権推進課	市民啓発推進費 ……………	41

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
人権推進課	市人権情報センター補助金	42
人権推進課	犯罪被害者支援事業費	42
人権推進課	地域福祉事業費	43
人権推進課	地域交流促進事業費	43
人権推進課	地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費	44
人権推進課	生活困窮者自立相談支援事業費	44
人権推進課	地域共生社会推進・包括的支援事業費	45
人権推進課	孤独・孤立対策推進事業費	45
人権推進課	地域食堂ネットワーク運営費	46
人権推進課	子どもの居場所づくり推進事業費	46
男女共同参画課	男女共同参画登録団体補助金	47
男女共同参画課	男女共同参画啓発事業費	47
男女共同参画課	男女共同参画啓発イベント開催事業費	48
男女共同参画課	男女共同参画かがやき企業認定事業費	48
男女共同参画課	女性応援つながりサポート事業費	49
男女共同参画課	女性デジタル人材育成事業費	49
男女共同参画課	男女共同参画かがやきプラン推進事業費	50
【危機管理部】		
危機管理課	総合防災対策事業費	51
危機管理課	自主防災会連合会補助金	51
危機管理課	自主防災会関係費	52
危機管理課	防災行政無線整備事業費	52
危機管理課	感震ブレーカー設置促進事業費	53
危機管理課	総合防災訓練費	53
危機管理課	防災備蓄事業費	54

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
危機管理課	防災ラジオ整備事業費 ……………	54
危機管理課	消防ポンプ車購入費 ……………	55
【企画推進部】		
政策企画課	若者定住促進事業費 ……………	56
政策企画課	若者による地方創生政策推進事業費 ……………	56
政策企画課	麒麟のまち創生推進事業費 ……………	57
政策企画課	環境大学運営費交付金 ……………	57
政策企画課	明治大学連携事業費 ……………	58
政策企画課	まちなか交流広場管理費 ……………	58
秘書課	市政広報費 ……………	59
文化交流課	国際交流費 ……………	59
文化交流課	国内都市交流総合推進費 ……………	60
文化交流課	文化振興費 ……………	60
文化交流課	文化芸術推進事業補助金 ……………	61
文化交流課	舞台芸術×地域活性化事業費 ……………	61
文化交流課	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費 ……………	62
文化交流課	出会い・つながり・花ひらく文化芸術推進事業費 ……………	62
文化交流課	鳥取城跡周辺日本遺産にぎわい形成事業費 ……………	63
文化交流課	市民会館施設管理費 ……………	63
国際交流プラザ	国際交流プラザ管理運営費 ……………	64
国際交流プラザ	在住外国人支援事業費 ……………	64
国際交流プラザ	市民国際理解推進事業費 ……………	65
デジタル戦略課	地域情報化推進費 ……………	65
デジタル戦略課	超高速情報通信基盤整備事業費 ……………	66
デジタル戦略課	次期基幹システム構築事業費 ……………	66

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
デジタル戦略課	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会事業費 ……………	67
デジタル戦略課	自治体行政スマート事業推進費 ……………	67
【市民生活部】		
地域振興課	人材誘致・定住促進対策事業費 ……………	68
地域振興課	とっとり・つながり創出事業費 ……………	68
地域振興課	輝く中山間地域創出事業費 ……………	69
地域振興課	過疎地域振興事業費 ……………	69
地域振興課	中山間地域・買い物支援事業費 ……………	70
地域振興課	地域の魅力創出事業費 ……………	70
地域振興課	グリーンツーリズム推進事業費 ……………	71
地域振興課	地域おこし協力隊定住・定着支援事業費 ……………	71
地域振興課	小さな拠点整備事業費 ……………	72
地域振興課	地域振興未来会議運営費 ……………	72
協働推進課	地域づくり懇談会開催費 ……………	73
協働推進課	自治基本条例推進事業費 ……………	73
協働推進課	交通安全対策費 ……………	74
協働推進課	鳥取市自治連合会補助金 ……………	74
協働推進課	コミュニティ支援事業費 ……………	75
協働推進課	町内集会所建設等補助金 ……………	75
協働推進課	防犯灯設置費 ……………	76
協働推進課	安全安心まちづくり推進助成費 ……………	76
協働推進課	地区公民館改修等事業費 ……………	77
市民総合相談課	消費生活対策費 ……………	77
市民総合相談課	コールセンター設置運営費 ……………	78
市民課	総合窓口管理事務費 ……………	78

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
市民課	戸籍の振り仮名記載事務費	79
市民課	住民登録関係事務費	79
市民課	コンビニ交付関連事務費	80
市民課	個人番号カード関連事務費	80
【環境局】		
生活環境課	生活衛生営業許可・監督指導事業費	81
生活環境課	名木・古木保存費	81
生活環境課	環境教育推進費	82
生活環境課	生物多様性普及啓発推進事業費	82
生活環境課	置き配普及促進事業補助金	83
生活環境課	家庭ごみ有料化事業費	83
生活環境課	ごみ減量化推進事業費	84
生活環境課	ふれあい収集事業費	84
生活環境課	ごみ収集委託費	85
生活環境課	大型ごみ戸別有料収集事業費	85
生活環境課	施設維持管理費	86
環境保全課	産業廃棄物適正処理推進事業費	86
環境保全課	産業廃棄物不法投棄対策強化事業費	87
環境保全課	水質・土壌対策費	87
環境保全課	騒音・振動・悪臭対策費	88
環境保全課	大気汚染物質調査事業費	88
環境保全課	湖山池浄化対策費	89
【福祉部】		
地域福祉課	民生委員事業費	90
地域福祉課	更生保護団体補助金	90

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
地域福祉課	地域福祉ネットワーク・支えあい推進事業費 ……………	91
地域福祉課	地域共生社会推進事業費 ……………	91
地域福祉課	福祉事業所指導監督事業費 ……………	92
地域福祉課	避難行動要支援者支援制度普及促進事業費 ……………	92
地域福祉課	わが町支え愛活動支援事業補助金 ……………	93
長寿社会課	介護保険事業計画・高齢者福祉計画推進事業費 ……………	93
長寿社会課	とっとり東部権利擁護支援センター運営事業費 ……………	94
長寿社会課	市民後見人養成事業費 ……………	94
長寿社会課	成年後見制度利用推進事業費 ……………	95
長寿社会課	アルツハイマー病治療薬補助金 ……………	95
長寿社会課	持続可能な権利擁護支援モデル事業費 ……………	96
長寿社会課	高齢者介護予防・地域活動等支援バス利用助成事業費 ……	96
長寿社会課	養護老人ホーム入所事業費 ……………	97
長寿社会課	軽費老人ホーム運営補助金 ……………	97
長寿社会課	外国人介護人材確保支援事業費 ……………	98
長寿社会課	包括支援センター運営事業費(事業運営費) ……………	98
長寿社会課	福祉ボランティアのまちづくり事業助成交付金 ……………	99
長寿社会課	生活支援体制整備事業費(事業運営費) ……………	99
長寿社会課	ファミリーサポートセンター運営事業費(生活援助型) ……	100
長寿社会課	高齢者虐待保護事業費 ……………	100
長寿社会課	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業費 ……	101
障がい福祉課	身体・知的・精神障害者相談員設置事業費 ……………	101
障がい福祉課	障害者虐待防止・差別解消対策支援事業費 ……………	102
障がい福祉課	医療的ケア児等送迎支援事業費 ……………	102
障がい福祉課	医療的ケア児者訪問型レスパイト支援事業費 ……………	103

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
障がい福祉課	障がい福祉計画策定費	103
障がい福祉課	相談支援事業費	104
障がい福祉課	コミュニケーション支援事業費	104
障がい福祉課	国民健康保険団体連合会負担金等	105
障がい福祉課	点字ブロック安心歩行環境整備事業費	105
障がい福祉課	国民健康保険団体連合会負担金(障がい児対象分)	106
生活福祉課	生活困窮者自立支援事業費	106
生活福祉課	扶助費	107
保険年金課	重度障害者医療助成費	107
保険年金課	後期高齢者医療広域連合運営費	108
保険年金課	小児特別医療助成費	108
保険年金課	ひとり親家庭医療助成費	109
保険年金課	未熟児養育医療助成費	109
【こども家庭局】		
こども未来課	子どもの貧困対策推進事業費	110
こども未来課	小児慢性特定疾病対策等事業費	110
こども未来課	子ども第3の居場所事業費	111
こども未来課	ひとり親家庭児童生徒小・中学校入学支度金	111
こども未来課	ひとり親家庭自立支援給付金事業費	112
こども未来課	ひとり親家庭学習支援事業費	112
こども未来課	不妊治療費等支援事業費	113
こども未来課	希望をかなえる妊娠・出産支援事業費	113
こども未来課	特定不妊治療助成事業費	114
こども未来課	不育症検査費等助成事業費	114
こども未来課	子育て支援アプリ活用推進事業費	115

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
幼児保育課	ファミリーサポートセンター事業費	115
幼児保育課	市立保育園特別保育事業費	116
幼児保育課	私立保育園運営費	116
幼児保育課	保育所緊急整備事業費補助金	117
幼児保育課	病児・病後児保育事業費	117
幼児保育課	保育体制強化事業費	118
幼児保育課	こども誰でも通園制度事業費	118
こども家庭センター	子育て支援短期利用事業費	119
こども家庭センター	こども家庭支援事業費	119
こども家庭センター	妊娠・出産包括支援事業費	120
こども家庭センター	ヤングケアラー支援事業費	120
こども家庭センター	子育て世帯訪問支援事業費	121
こども家庭センター	妊婦健康診査費	121
こども家庭センター	ブックスタート事業費	122
こども家庭センター	子育て世代包括支援センター運営費	122
こども家庭センター	健やかな妊娠・出産のための応援事業費	123
こども家庭センター	妊婦のための支援給付事業費	123
こども発達支援センター	児童発達支援事業費	124
こども発達支援センター	親子通所療育事業費	124
こども発達支援センター	小集団療育事業費	125
こども発達支援センター	若草学園管理運営費	125
こども発達支援センター	若草学園改築事業費	126
こども発達支援センター	障害児等地域療育支援事業費	126
こども発達支援センター	インクルーシブ教育システム推進事業費	127

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
【鳥取市保健所】		
保健総務課	災害医療対策費 ……………	128
保健総務課	中山間地域の医療人材確保対策事業費 ……………	128
保健医療課	病院群輪番制事業費補助金 ……………	129
保健医療課	夜間休日急患診療所運営委託費等 ……………	129
保健医療課	自死対策強化事業費 ……………	130
保健医療課	A類疾病予防接種費 ……………	130
保健医療課	B類疾病予防接種費 ……………	131
保健医療課	結核予防対策事業費 ……………	131
保健医療課	感染症対策推進事業費 ……………	132
健康づくり推進課	施設管理費 ……………	132
健康づくり推進課	健康診査費 ……………	133
健康づくり推進課	健康教育・健康相談・訪問指導事業費 ……………	133
健康づくり推進課	食育推進事業費 ……………	134
健康づくり推進課	がん検診受診促進事業費 ……………	134
健康づくり推進課	ふしめ歯科健診事業費 ……………	135
生活安全課	野良猫不妊・去勢手術費補助金 ……………	135
生活安全課	動物愛護管理推進事業費 ……………	136
生活安全課	動物愛護センター整備事業費 ……………	136
生活安全課	食品衛生指導事業費 ……………	137
【経済観光部】		
経済・雇用戦略課	シルバー人材センター運営補助金 ……………	138
経済・雇用戦略課	商店街にぎわい形成促進事業費 ……………	138
経済・雇用戦略課	大型空き店舗対策事業費 ……………	139
経済・雇用戦略課	中心市街地活性化推進事業補助金 ……………	139

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
経済・雇用戦略課	スマートエネルギータウン構想推進事業費	140
経済・雇用戦略課	自然資本産業誘致・振興事業費	140
経済・雇用戦略課	国際経済交流推進事業費	141
経済・雇用戦略課	関西情報発信拠点推進事業費	141
経済・雇用戦略課	雇用促進協議会支援事業費	142
経済・雇用戦略課	障がい者雇用奨励金	142
経済・雇用戦略課	人材確保推進事業費	143
経済・雇用戦略課	伝統工芸等後継者育成支援事業費	143
経済・雇用戦略課	ふるさと起業家支援プロジェクト事業費	144
経済・雇用戦略課	地域経済循環創造事業費	144
経済・雇用戦略課	商工会補助金	145
経済・雇用戦略課	中小企業等支援事業費	145
経済・雇用戦略課	物産振興事業費	146
経済・雇用戦略課	物産振興体制強化事業費	146
企業立地・支援課	制度融資資金	147
企業立地・支援課	小規模事業者経営改善資金利子補助金	147
企業立地・支援課	制度融資資金(新型コロナウイルス感染症対策)	148
企業立地・支援課	企業誘致推進費	148
企業立地・支援課	企業立地促進補助金	149
企業立地・支援課	まちなかビジネス・コミュニティ拠点管理運営事業費	149
企業立地・支援課	事業承継推進事業費	150
企業立地・支援課	デジタル人材育成・活用プログラム実践事業費	150
企業立地・支援課	起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業費	151
観光・ジオパーク推進課	観光ボランティア活性化事業費	151
観光・ジオパーク推進課	文化芸術観光創造事業費	152

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
観光・ジオパーク推進課	周遊観光促進事業費(重点支援地方交付金) ……………	152
観光・ジオパーク推進課	国際観光推進事業費 ……………	153
観光・ジオパーク推進課	コンベンション誘致支援事業費 ……………	153
観光・ジオパーク推進課	ループバス運行支援助成費 ……………	154
観光・ジオパーク推進課	因幡地域周遊バス運行支援助成費 ……………	154
観光・ジオパーク推進課	砂の美術館管理運営費 ……………	155
観光・ジオパーク推進課	砂丘管理事業費 ……………	155
観光・ジオパーク推進課	鳥取砂丘イリュージョン開催補助金 ……………	156
観光・ジオパーク推進課	広域観光開拓・推進事業費 ……………	156
観光・ジオパーク推進課	山陰海岸ジオパーク事業費 ……………	157
観光・ジオパーク推進課	まちなか観光推進事業費 ……………	157
観光・ジオパーク推進課	観光地再生・高付加価値化事業費 ……………	158
【農林水産部】		
農政企画課	新規就農推進事業費 ……………	159
農政企画課	新規就農営農支援事業費 ……………	159
農政企画課	果樹振興対策事業費 ……………	160
農政企画課	学校や地域と連携した地産地消率向上支援事業費 ……………	160
農政企画課	次世代農業推進事業費 ……………	161
農政企画課	鳥取市農業生産拡大に向けたスマート農業推進事業費 ……	161
農政企画課	主要園芸品目生産振興事業費 ……………	162
農政企画課	新たな園芸品目育成事業費 ……………	162
農政企画課	畑地化促進支援事業費 ……………	163
農政企画課	ともに目指す担い手強化支援事業費 ……………	163
農政企画課	温暖化対策に係る新品目等チャレンジ実証事業費 ……………	164
農政企画課	麒麟のまちゃうまいもん販路拡大事業費 ……………	164

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
農政企画課	未来につなぐ！中山間地域再生事業費 ……………	165
農政企画課	畜産振興対策事業費 ……………	165
農政企画課	鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金 ……………	166
農政企画課	鳥取市畜産暑熱対策事業費 ……………	166
農政企画課	畜産経営緊急支援事業費(重点支援地方交付金) ……………	167
農政企画課	集落営農体制強化支援事業補助金 ……………	167
農政企画課	野生鳥獣被害防止事業費 ……………	168
農政企画課	クマ対策事業費 ……………	168
農政企画課	射撃場管理運営費 ……………	169
林務水産課	市行造林維持管理費 ……………	169
林務水産課	林業労働者雇用条件改善事業費 ……………	170
林務水産課	林業新規就業者支援対策事業費 ……………	170
林務水産課	森林経営管理事業費 ……………	171
林務水産課	鳥取県植樹祭開催事業費 ……………	171
林務水産課	林道改良事業費 ……………	172
林務水産課	造林事業費 ……………	172
林務水産課	健全な山の育成事業費 ……………	173
林務水産課	豊かな森づくり推進事業費 ……………	173
林務水産課	森づくり作業道整備事業費 ……………	174
林務水産課	きのこ王国とっとり推進事業費補助金 ……………	174
林務水産課	危険木等事前伐採推進事業費 ……………	175
林務水産課	木材利用促進事業費補助金 ……………	175
林務水産課	水産資源維持増殖事業費 ……………	176
林務水産課	漁業経営開始円滑化事業費 ……………	176
林務水産課	漁港施設維持管理事業費 ……………	177

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
林務水産課	栽培漁業推進支援事業費	177
林務水産課	漁港施設機能保全事業費	178
林務水産課	港整備推進事業費	178
林務水産課	漁業研修事業費	179
林務水産課	港へGO！海業で浜のにぎわい創出事業費	179
林務水産課	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】	180
林務水産課	単独災害復旧費【令和5年台風第7号関連】	180
農村整備課	水道事業会計へ繰出	181
農村整備課	環境保全型農業直接支払交付金	181
農村整備課	農道舗装補修等事業費	182
農村整備課	県営事業負担金	182
農村整備課	排水機場維持管理費	183
農村整備課	農村公園管理費	183
農村整備課	農道等維持管理費	184
農村整備課	多面的機能支払交付金	184
農村整備課	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費	185
農村整備課	農業水利施設保全高度化事業費	185
農村整備課	危険ため池廃止事業費	186
農村整備課	ため池改修事業費	186
農村整備課	ため池監視システム管理費	187
農村整備課	中山間地域等直接支払交付金	187
農村整備課	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】	188
【都市整備部】		
都市企画課	鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会負担金	189
都市企画課	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金	189

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
都市企画課	要望活動事務費 ……………	190
都市企画課	国土強靱化地域計画策定事業費 ……………	190
都市企画課	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金 ……………	191
都市企画課	都市計画策定費 ……………	191
都市企画課	街なみ環境助成費 ……………	192
都市企画課	県営街路事業負担金 ……………	192
交通政策課	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会負担金 ……………	193
交通政策課	鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金 ……………	193
交通政策課	地方バス路線維持対策補助金 ……………	194
交通政策課	バス代替タクシー運賃補助金 ……………	194
交通政策課	市町村有償運送事業費 ……………	195
交通政策課	地域主体型生活交通確保支援事業費 ……………	195
交通政策課	100円循環バス利用促進費 ……………	196
交通政策課	100円循環バス運行費負担金 ……………	196
交通政策課	鳥取港振興会対策費 ……………	197
まちなか未来創造課	街なか居住推進事業費 ……………	197
まちなか未来創造課	中心市街地活性化助成事業費 ……………	198
まちなか未来創造課	中心市街地活性化推進事業費 ……………	198
まちなか未来創造課	中心市街地活性化基本計画策定費 ……………	199
まちなか未来創造課	暮らし・にぎわい再生事業費 ……………	199
まちなか未来創造課	まち歩き推進事業費 ……………	200
まちなか未来創造課	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費 ……………	200
まちなか未来創造課	鳥取駅周辺再整備推進事業費 ……………	201
河川公園課	普通河川改良事業費 ……………	201
河川公園課	治水対策事業費 ……………	202

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
河川公園課	小規模急傾斜地崩壊対策事業費 ……………	202
河川公園課	緑化推進事業費 ……………	203
河川公園課	公園整備事業費 ……………	203
河川公園課	都市公園等管理費 ……………	204
河川公園課	公園芝生化推進事業費 ……………	204
道路課	道路管理費 ……………	205
道路課	一般道補修費 ……………	205
道路課	除雪費 ……………	206
道路課	社会資本整備総合交付金事業費 ……………	206
道路課	防災・安全交付金事業費 ……………	207
道路課	交通安全施設事業工事費 ……………	207
道路課	補助災害復旧費 ……………	208
建築指導課	福祉のまちづくり推進事業費 ……………	208
建築指導課	石綿改修支援事業費 ……………	209
建築指導課	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費 ……………	209
建築指導課	空家対策事業費 ……………	210
建築住宅課	定期借地権付土地分譲事業費 ……………	210
建築住宅課	施設管理業務委託事業費 ……………	211
建築住宅課	住宅セーフティネット事業費 ……………	211
【下水道部】		
下水道企画課	下水道等事業会計へ繰出(集落排水事業) ……………	212
下水道企画課	下水道等事業会計へ繰出(公共下水道事業) ……………	212
【教育委員会】		
教育総務課	民間プール活用事業費 ……………	213
教育総務課	鳥取市立学校区再編推進事業費 ……………	213

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
教育総務課	小中学校空調設備整備事業費	214
教育総務課	校区審議会運営事業費	214
教育総務課	鳥取市気高地域新設統合小学校整備事業費	215
学校教育課	放課後児童対策事業費	215
学校教育課	語学指導等外国青年招致事業費	216
学校教育課	小学校外国語教育支援事業費	216
学校教育課	鳥取市グローバル人材育成事業費	217
学校教育課	外国人等児童生徒編入学支援事業費	217
学校教育課	特別支援教育推進事業費	218
学校教育課	児童生徒交流体験事業費	218
学校教育課	児童生徒支援事業費	219
学校教育課	魅力と徹底の学力向上推進事業費	219
学校教育課	学校働き方改革推進事業費	220
学校教育課	自立と創造の学校・学園づくり推進事業費	220
学校教育課	GIGAスクール構想事業費	221
学校教育課	部活動推進事業費	221
学校教育課	放課後子ども教室推進事業費	222
学校保健給食課	要保護・準要保護児童就学援助費(小学校)	222
学校保健給食課	要保護・準要保護児童就学援助費(中学校)	223
学校保健給食課	特別支援学級教育就学奨励費(小学校)	223
学校保健給食課	特別支援学級教育就学奨励費(中学校)	224
学校保健給食課	給食配送委託費	224
学校保健給食課	給食調理委託費	225
学校保健給食課	一般管理費(学校給食センター)	225
学校保健給食課	学校給食運営事業費	226

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
文化財課	重要文化財仁風閣保存整備事業費 ……………	226
文化財課	鳥取城跡保存修理事業費 ……………	227
文化財課	文化財調査費 ……………	227
文化財課	上寺地遺跡管理事業費 ……………	228
文化財課	旧美敷水源地水道施設管理活用事業費 ……………	228
文化財課	埋蔵文化財体験・活用事業費 ……………	229
文化財課	歴史博物館管理費 ……………	229
生涯学習・スポーツ課	生涯学習推進事業費 ……………	230
生涯学習・スポーツ課	地域学校協働活動推進事業費 ……………	230
生涯学習・スポーツ課	鳥取市生涯学習推進講座麒麟のまちアカデミー開設費 ……	231
生涯学習・スポーツ課	子育てネットワーク推進事業費 ……………	231
生涯学習・スポーツ課	集会所管理費 ……………	232
生涯学習・スポーツ課	さじアストロパーク運営管理費 ……………	232
生涯学習・スポーツ課	さじコスモスの館運営管理費 ……………	233
生涯学習・スポーツ課	市民スポーツ大会開催費 ……………	233
生涯学習・スポーツ課	姫路市スポーツ大会開催費 ……………	234
生涯学習・スポーツ課	スポレク祭開催費 ……………	234
生涯学習・スポーツ課	ガイナレ鳥取力向上事業費 ……………	235
生涯学習・スポーツ課	鳥取マラソン開催費 ……………	235
生涯学習・スポーツ課	ワールドマスターズゲームズ2027関西大会開催事業費 ……	236
生涯学習・スポーツ課	各種大会開催補助金 ……………	236
生涯学習・スポーツ課	地区体育館管理費 ……………	237
生涯学習・スポーツ課	体育施設管理費 ……………	237
生涯学習・スポーツ課	市民体育館管理費 ……………	238
市立図書館	地域社会教育活動総合事業費 ……………	238

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
市立図書館	図書館情報管理システム処理費	239
【各種委員会】		
市議会事務局	議会報発刊費	240
市議会事務局	運営経費(市議会運営)	240
市議会事務局	議会中継・放映費	241
市議会事務局	政務活動費交付金	241
出納室	出納事務費	242
監査委員事務局	監査費	242
選挙管理委員会事務局	選挙啓発推進費	243
選挙管理委員会事務局	市議会議員選挙費	243
選挙管理委員会事務局	市議会議員選挙運動費負担金	244
選挙管理委員会事務局	県知事・県議会議員選挙費	244
農業委員会事務局	機構集積支援事業費	245
【総合支所】		
国府町総合支所 地域振興課	地域おこし協力隊事業費	246
国府町総合支所 地域振興課	万葉フェスティバル開催事業費	246
福部町総合支所 地域振興課	地域おこし協力隊事業費	247
福部町総合支所 産業建設課	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	247
河原町総合支所 地域振興課	地域プロジェクトマネージャー事業費	248
河原町総合支所 産業建設課	あゆ祭補助金	248
用瀬町総合支所 地域振興課	地域おこし協力隊事業費	249
用瀬町総合支所 地域振興課	ジゲおこし事業費	249
用瀬町総合支所 産業建設課	用瀬流しびな行事	250
佐治町総合支所 地域振興課	ふるさとの味祭り事業費補助金	250
佐治町総合支所 地域振興課	文化振興費	251

担当課	項目名	ページ
気高町総合支所 地域振興課	芸術によるまちづくり推進事業費	251
気高町総合支所 地域振興課	貝がら節の郷づくり協議会補助金	252
鹿野町総合支所 地域振興課	地域おこし協力隊事業費	252
鹿野町総合支所 地域振興課	わったいな祭事業費	253
鹿野町総合支所 地域振興課	町民音楽祭開催費	253
鹿野町総合支所 産業建設課	鹿野城跡公園管理費	254
青谷町総合支所 地域振興課	青谷地域活性化推進事業費	254
青谷町総合支所 地域振興課	地域おこし協力隊事業費	255
青谷町総合支所 地域振興課	青谷上寺地遺跡地域利活用運営事業費	255
青谷町総合支所 地域振興課	青谷地域にぎわい創出事業補助金	256

【債務負担行為の概要】

政策企画課	環境大学運営費交付金(鳥取市公立大学法人鳥取環境 大学施設整備費補助金)	259
政策企画課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 まちなか交流広場の管理運営費	260
文化交流課	鳥取県に委託する鳥取世界おもちゃ館の外壁ほか改修 工事費	261
文化交流課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取世 界おもちゃ館の管理運営費	262
文化交流課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する城下町 とっとり交流館の管理運営費	263
文化交流課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 民会館の管理運営費	264
デジタル戦略課	次期基幹システム構築事業費	265
長寿社会課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 佐治町老人福祉センター及び鳥取市鹿野町老人福祉セ ンターしかの和泉荘の管理運営費	266
長寿社会課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 青谷町高齢者生活福祉センターの管理運営費	267
長寿社会課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 総合福祉センターの管理運営費	268
長寿社会課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 福部町ほっとスイミングプール及び鳥取市福部砂丘温泉 ふれあい会館の管理運営費	269

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
長寿社会課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 湯谷荘の管理運営費	270
障がい福祉課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 障害者福祉センターの管理運営費	271
幼児保育課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 立下味野児童館ほか11館の管理運営費	272
健康づくり推進課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 気高保健センターの管理運営費	273
生活安全課	動物愛護センター機能支援事業費	274
経済・雇用戦略課	株式会社スマートエネルギーとっとり借入金の損失補償	275
企業立地・支援課	鳥取市土地開発公社借入金の損失補償	276
観光・ジオパーク推進課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 鹿野往来交流館の管理運営費	277
農政企画課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 青谷町特産物加工販売施設の管理運営費	278
林務水産課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 安蔵公園及び鳥取市安蔵森林公園の管理運営費(※う ち鳥取市安蔵森林公園)	279
林務水産課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 出合いの森公園の管理運営費	280
交通政策課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 営鳥取駅高架下第1自転車駐車場及び第2自転車駐車 場の管理運営費	281
河川公園課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 都市公園、千代水スポーツ広場、津ノ井スポーツ広場、 鳥取市営美保球場の管理運営費	282
河川公園課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する湖山池 公園の管理運営費	283
河川公園課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 用瀬町運動公園の管理運営費	284
河川公園課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する重箱緑 地の管理運営費	285
河川公園課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する風紋広 場の管理運営費	286
河川公園課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鹿野町 温泉公園、鹿野町越路ヶ丘公園、青谷町空浜公園、気 高町北浜公園、気高町浜村砂丘公園の管理運営費	287
河川公園課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 営サッカー場バードスタジアム及び千代川倉田緑地の管 理運営費(※うち千代川倉田緑地)	288

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
河川公園課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市安蔵公園及び鳥取市安蔵森林公園の管理運営費(※うち鳥取市安蔵公園) ……	289
建築住宅課	鳥取市土地開発公社借入金の損失補償 ……	290
建築住宅課	鳥取市土地開発公社借入金の損失補償 ……	291
建築住宅課	住宅維持補修費(賀露団地擁壁改修工事) ……	292
学校保健・給食課	学校給食センター整備費(北部学校給食センター建築工事) ……	293
生涯学習・スポーツ課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市佐治町コミュニティセンターの管理運営費 ……	294
生涯学習・スポーツ課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市文化センターの管理運営費 ……	295
生涯学習・スポーツ課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市営サッカー場バードスタジアム及び千代川倉田緑地の管理運営費(※うち鳥取市営サッカー場バードスタジアム) ……	296
生涯学習・スポーツ課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市B&G海洋センターの管理運営費 ……	297
文化財課	重要文化財仁風閣保存整備事業費 ……	298
文化財課	仁風閣・宝扇庵管理事業費 ……	299
青谷町総合支所 地域振興課	青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金 ……	300

令和8年度当初予算(案) 事業別概要目次(特別会計)

会計名	項目名	ページ
土地区画整理費	保留地処分事務費	303
公設地方卸売市場事業費	業務委託費	303
国民健康保険費(事業勘定)	ジェネリック医薬品利用促進事業費	304
国民健康保険費(事業勘定)	療養給付費	304
国民健康保険費(事業勘定)	高額療養費	305
国民健康保険費(事業勘定)	出産育児一時金	305
国民健康保険費(事業勘定)	医療給付費分	306
国民健康保険費(事業勘定)	後期高齢者支援金等分	306
国民健康保険費(事業勘定)	介護納付金分	307
国民健康保険費(事業勘定)	子ども・子育て支援金分	307
国民健康保険費(事業勘定)	糖尿病性腎症重症化予防事業費	308
国民健康保険費(事業勘定)	医療費適正化強化推進事業費	308
国民健康保険費(事業勘定)	特定健康診査等事業費	309
国民健康保険費(直診勘定)	医科運営費	309
国民健康保険費(直診勘定)	医科保健事業費	310
国民健康保険費(直診勘定)	歯科運営費	310
国民健康保険費(直診勘定)	歯科保健事業費	311
土地取得費	土地取得費事務費	311
墓苑事業費	第二いなば墓苑用地取得費	312
墓苑事業費	墓地管理費	312
介護保険費	介護サービス等諸費	313
介護保険費	介護予防サービス等諸費	313
介護保険費	訪問型・通所型サービス事業費	314
介護保険費	介護予防普及啓発事業費	314

<u>会計名</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
介護保険費	地域リハビリテーション活動支援事業費 ……………	315
介護保険費	在宅医療・介護連携推進事業費(事業運営費) ……………	315
介護保険費	認知症地域支援・ケア向上事業費 ……………	316
介護保険費	認知症初期集中支援推進事業費 ……………	316
介護保険費	地域ケア会議推進事業費 ……………	317
介護保険費	認知症サポーター等養成事業費 ……………	317
財産区管理事業費	一般管理事務費(国府) ……………	318
温泉事業費	維持管理費 ……………	318
温泉事業費	温泉事業基金積立金 ……………	319
観光施設運営事業費	観光施設管理費 ……………	319
観光施設運営事業費	温泉施設管理費 ……………	320
後期高齢者医療費	後期高齢者医療広域連合納付金 ……………	320
電気事業費	青谷町いかり原維持管理費 ……………	321
母子父子寡婦福祉 資金貸付事業費	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 ……………	321
【債務負担行為の概要】		
観光施設運営事業費	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する 鳥取市気高町遊漁センターの管理運営費 ……………	325
母子父子寡婦福祉 資金貸付事業費	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 ……………	326

(参考) 第12次鳥取市総合計画 体系図兼コード表

まちづくりの 目標・方針	政策	基本施策 コード	基本施策	
(00) 計画推進における 基本方針	(01) 計画推進における基本方針	0101	(01) 協働・連携の推進	
		0102	(02) スマートシティの推進	
		0103	(03) 効率的な行財政運営の推進	
		0104	(04) 戦略的な自治体経営の推進	
(01) 未来を創る人材を 育み、ひとりひとりが 活躍するまち	(01) こども	1101	(01) 結婚・出産・子育て支援	
	(02) 教育・スポーツ	1201	(01) 教育の充実・郷土愛の醸成	
		1202	(02) 生涯学習の推進	
		1203	(03) スポーツ・レクリエーションの振興	
(02) 誰もが自分らしく 暮らし続けることができ る、持続可能な地域 共生のまち	(01) 福祉	2101	(01) 社会保障制度の運営	
		2102	(02) 超高齢社会に向けたまちづくりの推進	
		2103	(03) 障がいのある人の自立支援	
	(02) 保健・医療	2201	(01) 健康づくり・疾病予防・介護予防の推進	
		2202	(02) 保健衛生の推進と医療の確保	
	(03) 人権・共生・協働	2301	(01) 人権尊重社会の形成	
		2302	(02) 男女共同参画社会の形成	
		2303	(03) 地域福祉の推進	
		2304	(04) 多文化共生のまちづくりの推進	
		2305	(05) 協働のまちづくりの推進	
	(03) ひと、もの、こと が行きかい、にぎわい あふれるまち	(01) 商工業・農林水産業	3101	(01) 経営基盤の強化と雇用の創造・人材確保
			3102	(02) 工業の振興
			3103	(03) 商業の振興と販路拡大
			3104	(04) 農林水産業の振興
		(02) 移住定住・関係人口・観光	3201	(01) 移住定住の推進と関係人口の拡大
3202			(02) 滞在型観光の推進	
(03) 文化芸術・文化財		3301	(01) 文化芸術によるまちづくりの推進	
		3302	(02) 文化財の保存・整備による「まちづくり」資産の形成	
(04) 生活基盤・市街地・中山間地 域・交通		3401	(01) 生活基盤の充実	
		3402	(02) 中心市街地の活性化	
		3403	(03) 魅力ある中山間地域の振興	
		3404	(04) 交通ネットワークの充実	
(04) 豊かな自然と調和 して、安全・安心に暮 らせるまち		(01) 防災・防犯	4101	(01) 地域防災力の向上
	4102		(02) 防犯・交通安全対策の充実	
	4103		(03) 安全・安心な消費生活の確保	
	(02) 環境	4201	(01) 循環型社会の形成	
		4202	(02) 環境保全活動の推進	

一 般 会 計

(予算事業別概要)

総001	項目名	鳥取市史編さん事業費	新規事業
予算書項目	市史編さん費	ページ	163
年度	R8	所属名	総務部 総務課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	文書広報費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	18,786		
本年度要求額	5,584		
総務部長段階査定額	5,566		
市長段階査定額	5,566		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	991		
一般財源	4,575		
計	5,566		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】市史編さん室 0857-21-0860	
【12次総の施策体系】0101	
【事業の経過及び背景】 新修鳥取市史編さん事業は、近代までを編さん対象とし、昭和49年度から事業着手し、以下のとおり刊行した。 新修鳥取市史第1巻(古代・中世篇) 昭和58年刊行 第2巻(近世篇) 昭和63年刊行 第3巻(資料篇) 昭和60年刊行 第4巻(明治/政治・経済篇) 平成26年刊行 第5巻(明治/社会・教育篇) 平成20年刊行 第6巻(大正篇・資料篇) 令和8年3月末刊行予定 (第4巻～第6巻は、市制施行100周年事業)	
【事業の目的及び効果】 令和8年3月末に新修鳥取市史第6巻が完成する見込みであり、これにより、市政100周年記念事業として着手した第二期市史編さん事業が、ひとまず終了する予定である。 令和8年度は、第6巻の販売等を行うほか、問合せ等に対応するとともに、これまでに収集された数多くの資料等の整理・移設を行う予定としている。	
【事業の内容】 会計年度任用職員の人件費 資料等の整理・移設費用 市史編さん室利用料や事務費など	
【事業の実績】 令和5年度 10,722千円 令和6年度 13,908千円 令和7年度 18,323千円(見込み)	
※その他財源の諸収入は、鳥取市史、記念誌等頒布料	

総002	項目名	経済センサス活動調査費	新規事業
予算書項目	経済センサス活動調査費	ページ	185
年度	R8	所属名	総務部 総務課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	統計調査費		
目	指定統計調査費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	10,185		
総務部長段階査定額	10,185		
市長段階査定額	10,185		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	10,185		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	10,185		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】統計係 0857-30-8104	
【12次総の施策体系】0101	
【事業の経過及び背景】 経済センサス活動調査は、統計法に定める基幹統計として、すべての産業分野における事業所及び企業の活動からなる経済の構造を明らかにするため、5年ごとに実施される。法定受託事務であり、県を通じて国から委託金が交付される。	
【事業の目的及び効果】 全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を調査し、経済に関する各種施策の基礎調査とする。	
【事業の内容】 ・令和8年経済センサス活動調査の実施 ・調査対象：農林漁業に属する個人経営の事業所等を除くすべての事業所及び企業 ・基準日：6月1日 ・指導員数：8人(予定) ・調査員数：98人(予定) ・調査票配布事業所数：6,513事業所 (参考)令和3年経済センサス調査票配布事業所数 6,875事業所	
【事業の実績】 令和3年度 9,495千円	

総003	項目名 予算事務費		新規 事業																								
予算書項目	予算事務費	ページ	163																								
年度	R8	所属名 総務部 行財政改革課																									
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>会計名</td><td></td></tr> <tr><td>一般会計</td><td></td></tr> <tr><td>款</td><td>総務費</td></tr> <tr><td>項</td><td>総務管理費</td></tr> <tr><td>目</td><td>財政管理費</td></tr> </table>		会計名		一般会計		款	総務費	項	総務管理費	目	財政管理費	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">事業の概要</td></tr> <tr><td colspan="2">【問合せ先】財務係 0857-30-8111</td></tr> <tr><td colspan="2">【12次総の施策体系】0103</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の経過及び背景】 当初予算及び補正予算を適切に編成している。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の目的及び効果】 予算編成等に要する事務費及び統一的な基準による公会計制度の運用に要する経費。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の内容】 (1) 当初予算書、補正予算書（6月、9月、12月、2月）、専決補正予算書、前年度主要施策の成果説明書の作成。 (2) 令和7年度決算における統一的な基準による財務書類の作成。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の実績】 令和5年度 4,963千円 令和6年度 5,092千円 令和7年度 6,421千円（見込み）</td></tr> </table>		事業の概要		【問合せ先】財務係 0857-30-8111		【12次総の施策体系】0103		【事業の経過及び背景】 当初予算及び補正予算を適切に編成している。		【事業の目的及び効果】 予算編成等に要する事務費及び統一的な基準による公会計制度の運用に要する経費。		【事業の内容】 (1) 当初予算書、補正予算書（6月、9月、12月、2月）、専決補正予算書、前年度主要施策の成果説明書の作成。 (2) 令和7年度決算における統一的な基準による財務書類の作成。		【事業の実績】 令和5年度 4,963千円 令和6年度 5,092千円 令和7年度 6,421千円（見込み）	
会計名																											
一般会計																											
款	総務費																										
項	総務管理費																										
目	財政管理費																										
事業の概要																											
【問合せ先】財務係 0857-30-8111																											
【12次総の施策体系】0103																											
【事業の経過及び背景】 当初予算及び補正予算を適切に編成している。																											
【事業の目的及び効果】 予算編成等に要する事務費及び統一的な基準による公会計制度の運用に要する経費。																											
【事業の内容】 (1) 当初予算書、補正予算書（6月、9月、12月、2月）、専決補正予算書、前年度主要施策の成果説明書の作成。 (2) 令和7年度決算における統一的な基準による財務書類の作成。																											
【事業の実績】 令和5年度 4,963千円 令和6年度 5,092千円 令和7年度 6,421千円（見込み）																											
(単位:千円)																											
前年度当初予算額	6,421																										
本年度要求額	6,417																										
総務部長段階査定額	6,417	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">その他財源の内訳</td></tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0				
その他財源の内訳																											
分担金	0																										
負担金	0																										
使用料	0																										
手数料	0																										
財産収入	0																										
寄付金	0																										
繰入金	0																										
諸収入	0																										
その他	0																										
市長段階査定額	6,417																										
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>区分</th><th>本年度予算額</th></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>6,417</td></tr> <tr><td>計</td><td>6,417</td></tr> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	6,417	計	6,417														
区分	本年度予算額																										
国・県支出金	0																										
地方債	0																										
その他	0																										
一般財源	6,417																										
計	6,417																										
備考欄																											

総004	項目名 行財政改革大綱等推進事業費		新規 事業																								
予算書項目	総合企画費	ページ	167																								
年度	R8	所属名 総務部 行財政改革課																									
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>会計名</td><td></td></tr> <tr><td>一般会計</td><td></td></tr> <tr><td>款</td><td>総務費</td></tr> <tr><td>項</td><td>総務管理費</td></tr> <tr><td>目</td><td>企画費</td></tr> </table>		会計名		一般会計		款	総務費	項	総務管理費	目	企画費	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">事業の概要</td></tr> <tr><td colspan="2">【問合せ先】行政経営係 0857-30-8112</td></tr> <tr><td colspan="2">【12次総の施策体系】0103</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の経過及び背景】 昭和61年度（第1次）から継続し、現在、第8次（構想期間：令和7～11年度）の行財政改革に取り組んでいる。実施計画の進行管理は、外部機関として設置する鳥取市市政改革推進市民委員会（市民の有識者と公募委員の10名で構成）で審議し、見直しに係る意見・提言をいただいている。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の目的及び効果】 令和7年3月に策定した鳥取市市政改革プラン（第8次鳥取市行財政改革大綱）に基づき、さらなる行財政改革を強力に推進する。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の内容】 (1) 市政改革プランの進行管理 市政改革推進市民委員会の開催（年7回） (2) 市政改革プランの実施計画取組推進事業費（需用費等）</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の実績】 令和5年度 228千円 令和6年度 312千円 令和7年度 511千円（見込み）</td></tr> </table>		事業の概要		【問合せ先】行政経営係 0857-30-8112		【12次総の施策体系】0103		【事業の経過及び背景】 昭和61年度（第1次）から継続し、現在、第8次（構想期間：令和7～11年度）の行財政改革に取り組んでいる。実施計画の進行管理は、外部機関として設置する鳥取市市政改革推進市民委員会（市民の有識者と公募委員の10名で構成）で審議し、見直しに係る意見・提言をいただいている。		【事業の目的及び効果】 令和7年3月に策定した鳥取市市政改革プラン（第8次鳥取市行財政改革大綱）に基づき、さらなる行財政改革を強力に推進する。		【事業の内容】 (1) 市政改革プランの進行管理 市政改革推進市民委員会の開催（年7回） (2) 市政改革プランの実施計画取組推進事業費（需用費等）		【事業の実績】 令和5年度 228千円 令和6年度 312千円 令和7年度 511千円（見込み）	
会計名																											
一般会計																											
款	総務費																										
項	総務管理費																										
目	企画費																										
事業の概要																											
【問合せ先】行政経営係 0857-30-8112																											
【12次総の施策体系】0103																											
【事業の経過及び背景】 昭和61年度（第1次）から継続し、現在、第8次（構想期間：令和7～11年度）の行財政改革に取り組んでいる。実施計画の進行管理は、外部機関として設置する鳥取市市政改革推進市民委員会（市民の有識者と公募委員の10名で構成）で審議し、見直しに係る意見・提言をいただいている。																											
【事業の目的及び効果】 令和7年3月に策定した鳥取市市政改革プラン（第8次鳥取市行財政改革大綱）に基づき、さらなる行財政改革を強力に推進する。																											
【事業の内容】 (1) 市政改革プランの進行管理 市政改革推進市民委員会の開催（年7回） (2) 市政改革プランの実施計画取組推進事業費（需用費等）																											
【事業の実績】 令和5年度 228千円 令和6年度 312千円 令和7年度 511千円（見込み）																											
(単位:千円)																											
前年度当初予算額	511																										
本年度要求額	511																										
総務部長段階査定額	511	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">その他財源の内訳</td></tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0				
その他財源の内訳																											
分担金	0																										
負担金	0																										
使用料	0																										
手数料	0																										
財産収入	0																										
寄付金	0																										
繰入金	0																										
諸収入	0																										
その他	0																										
市長段階査定額	511																										
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>区分</th><th>本年度予算額</th></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>511</td></tr> <tr><td>計</td><td>511</td></tr> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	511	計	511														
区分	本年度予算額																										
国・県支出金	0																										
地方債	0																										
その他	0																										
一般財源	511																										
計	511																										
備考欄																											

総005	項 目 名 長期借入金元金償還金		新規 事業																												
予算書項目	長期借入金元金償還金	ページ	293																												
年度	R8	所 属 名 総務部 行財政改革課																													
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>会計名</td><td></td></tr> <tr><td>一般会計</td><td></td></tr> <tr><td>款</td><td>公債費</td></tr> <tr><td>項</td><td>公債費</td></tr> <tr><td>目</td><td>元金</td></tr> </table>		会計名		一般会計		款	公債費	項	公債費	目	元金	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">事業の概要</td></tr> <tr><td colspan="2">【問合せ先】財務係 0857-30-8111</td></tr> <tr><td colspan="2">【12次総の施策体系】0103</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の経過及び背景】 地方財政の健全性を維持し地方債資金の円滑な調達及び償還を行うため、地方債の適正な管理が必要である。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の目的及び効果】 道路及び公共施設等の整備のために借り入れた起債の元金償還金。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の内容】 起債の元金償還。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の実績】 令和5年度 10,606,416千円 令和6年度 9,251,960千円 令和7年度 9,480,390千円（2月補正後決算見込み）</td></tr> <tr><td colspan="2">※その他財源の繰入金は、漁港整備推進基金繰入金等 ※その他財源の諸収入は、地域総合整備資金貸付金元利収入</td></tr> </table>		事業の概要		【問合せ先】財務係 0857-30-8111		【12次総の施策体系】0103		【事業の経過及び背景】 地方財政の健全性を維持し地方債資金の円滑な調達及び償還を行うため、地方債の適正な管理が必要である。		【事業の目的及び効果】 道路及び公共施設等の整備のために借り入れた起債の元金償還金。		【事業の内容】 起債の元金償還。		【事業の実績】 令和5年度 10,606,416千円 令和6年度 9,251,960千円 令和7年度 9,480,390千円（2月補正後決算見込み）		※その他財源の繰入金は、漁港整備推進基金繰入金等 ※その他財源の諸収入は、地域総合整備資金貸付金元利収入			
会計名																															
一般会計																															
款	公債費																														
項	公債費																														
目	元金																														
事業の概要																															
【問合せ先】財務係 0857-30-8111																															
【12次総の施策体系】0103																															
【事業の経過及び背景】 地方財政の健全性を維持し地方債資金の円滑な調達及び償還を行うため、地方債の適正な管理が必要である。																															
【事業の目的及び効果】 道路及び公共施設等の整備のために借り入れた起債の元金償還金。																															
【事業の内容】 起債の元金償還。																															
【事業の実績】 令和5年度 10,606,416千円 令和6年度 9,251,960千円 令和7年度 9,480,390千円（2月補正後決算見込み）																															
※その他財源の繰入金は、漁港整備推進基金繰入金等 ※その他財源の諸収入は、地域総合整備資金貸付金元利収入																															
<p>(単位:千円)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>前年度当初予算額</td><td>9,263,979</td></tr> <tr><td>本年度要求額</td><td>9,478,096</td></tr> <tr><td>総務部長段階査定額</td><td>9,478,096</td></tr> <tr><td>市長段階査定額</td><td>9,478,096</td></tr> </table>		前年度当初予算額	9,263,979	本年度要求額	9,478,096	総務部長段階査定額	9,478,096	市長段階査定額	9,478,096	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">その他財源の内訳</td></tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>24,558</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>346,616</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	24,558	諸収入	346,616	その他	0
前年度当初予算額	9,263,979																														
本年度要求額	9,478,096																														
総務部長段階査定額	9,478,096																														
市長段階査定額	9,478,096																														
その他財源の内訳																															
分担金	0																														
負担金	0																														
使用料	0																														
手数料	0																														
財産収入	0																														
寄付金	0																														
繰入金	24,558																														
諸収入	346,616																														
その他	0																														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">区 分</td><td style="text-align:center;">本年度予算額</td></tr> <tr><td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">財源内訳</td><td>国・県支出金</td><td>14,847</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>371,174</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>9,092,075</td></tr> <tr><td>計</td><td>9,478,096</td></tr> </table>		区 分		本年度予算額	財源内訳	国・県支出金	14,847	地方債	0	その他	371,174	一般財源	9,092,075	計	9,478,096	備考欄															
区 分		本年度予算額																													
財源内訳	国・県支出金	14,847																													
	地方債	0																													
	その他	371,174																													
	一般財源	9,092,075																													
	計	9,478,096																													

総006	項 目 名 長期借入金利子償還金		新規 事業																												
予算書項目	長期借入金利子償還金	ページ	293																												
年度	R8	所 属 名 総務部 行財政改革課																													
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>会計名</td><td></td></tr> <tr><td>一般会計</td><td></td></tr> <tr><td>款</td><td>公債費</td></tr> <tr><td>項</td><td>公債費</td></tr> <tr><td>目</td><td>利子</td></tr> </table>		会計名		一般会計		款	公債費	項	公債費	目	利子	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">事業の概要</td></tr> <tr><td colspan="2">【問合せ先】財務係 0857-30-8111</td></tr> <tr><td colspan="2">【12次総の施策体系】0103</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の経過及び背景】 地方財政の健全性を維持し地方債資金の円滑な調達及び償還を行うため、地方債の適正な管理が必要である。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の目的及び効果】 道路及び公共施設等の整備のために借り入れた起債の利子償還金。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の内容】 起債の利子償還。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の実績】 令和5年度 499,827千円 令和6年度 514,885千円 令和7年度 578,781千円（2月補正後決算見込み）</td></tr> <tr><td colspan="2">※その他財源の使用料は、住宅使用料等</td></tr> </table>		事業の概要		【問合せ先】財務係 0857-30-8111		【12次総の施策体系】0103		【事業の経過及び背景】 地方財政の健全性を維持し地方債資金の円滑な調達及び償還を行うため、地方債の適正な管理が必要である。		【事業の目的及び効果】 道路及び公共施設等の整備のために借り入れた起債の利子償還金。		【事業の内容】 起債の利子償還。		【事業の実績】 令和5年度 499,827千円 令和6年度 514,885千円 令和7年度 578,781千円（2月補正後決算見込み）		※その他財源の使用料は、住宅使用料等			
会計名																															
一般会計																															
款	公債費																														
項	公債費																														
目	利子																														
事業の概要																															
【問合せ先】財務係 0857-30-8111																															
【12次総の施策体系】0103																															
【事業の経過及び背景】 地方財政の健全性を維持し地方債資金の円滑な調達及び償還を行うため、地方債の適正な管理が必要である。																															
【事業の目的及び効果】 道路及び公共施設等の整備のために借り入れた起債の利子償還金。																															
【事業の内容】 起債の利子償還。																															
【事業の実績】 令和5年度 499,827千円 令和6年度 514,885千円 令和7年度 578,781千円（2月補正後決算見込み）																															
※その他財源の使用料は、住宅使用料等																															
<p>(単位:千円)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>前年度当初予算額</td><td>551,598</td></tr> <tr><td>本年度要求額</td><td>682,762</td></tr> <tr><td>総務部長段階査定額</td><td>682,762</td></tr> <tr><td>市長段階査定額</td><td>682,762</td></tr> </table>		前年度当初予算額	551,598	本年度要求額	682,762	総務部長段階査定額	682,762	市長段階査定額	682,762	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">その他財源の内訳</td></tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>79,198</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	79,198	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
前年度当初予算額	551,598																														
本年度要求額	682,762																														
総務部長段階査定額	682,762																														
市長段階査定額	682,762																														
その他財源の内訳																															
分担金	0																														
負担金	0																														
使用料	79,198																														
手数料	0																														
財産収入	0																														
寄付金	0																														
繰入金	0																														
諸収入	0																														
その他	0																														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">区 分</td><td style="text-align:center;">本年度予算額</td></tr> <tr><td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">財源内訳</td><td>国・県支出金</td><td>963</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>79,198</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>602,601</td></tr> <tr><td>計</td><td>682,762</td></tr> </table>		区 分		本年度予算額	財源内訳	国・県支出金	963	地方債	0	その他	79,198	一般財源	602,601	計	682,762	備考欄															
区 分		本年度予算額																													
財源内訳	国・県支出金	963																													
	地方債	0																													
	その他	79,198																													
	一般財源	602,601																													
	計	682,762																													

総007	項目名	退職手当	新規事業
予算書項目	退職手当	ページ	159
年度	R8	所属名	総務部 職員課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	一般管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	44,701		
本年度要求額	269,288		
総務部長段階査定額	269,288		
市長段階査定額	269,288		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	9,960	手数料	0
一般財源	259,328	財産収入	0
計	269,288	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	9,960
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】給与係 0857-30-8117

【12次総の施策体系】0103

【事業の経過及び背景】
退職手当は、鳥取市職員退職手当支給条例に基づき、退職職員（死亡による退職の場合には、その遺族）に対して支給しているもの。

【事業の目的及び効果】
退職職員に退職手当を適正に支給することで、退職後の生活の安全に寄与するとともに、人事運営の円滑化を図る。

【事業の内容】
・退職手当
令和8年度当初予算 定年退職等 一般職 12人分、特別職2人分
令和7年度当初予算 一般職 中途退職分

【事業の実績】
令和6年度
退職手当 698,015千円 55人（定年退職10人、依願退職45人）
退職手当負担金 なし
令和5年度
退職手当 446,310千円 34人（依願退職34人）
退職手当負担金 3,016千円 1人分（東部広域1人）
※令和5年度から始まった段階的な定年引上げにより、令和5年度と令和6年度の定年年齢は61歳となる。初年度の令和5年度は定年退職者は生じていない。
※その他財源の諸収入は、退職手当負担金

総008	項目名	鳥取市建設優良工事表彰経費	新規事業
予算書項目	鳥取市建設優良工事表彰費	ページ	245
年度	R8	所属名	総務部 検査契約課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	土木管理費		
目	土木総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	57		
本年度要求額	57		
総務部長段階査定額	57		
市長段階査定額	57		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	57	財産収入	0
計	57	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】契約制度係 0857-30-8122

【12次総の施策体系】3401

【事業の経過及び背景】
平成17年4月から施行された「公共工事の品質確保に関する法律」によって、公共工事の発注者には価格と品質のどちらにも優れた工事契約を締結することが求められており、優秀な施工技術を持つ請負業者の育成が課題となっている。

【事業の目的及び効果】
鳥取市発注建設工事のうち、優良な施工をした建設業者を表彰することで建設業者の施工意欲及び施工能力の向上を図り、工物品質を確保していく。

【事業の内容】
・対象 鳥取市が発注した建設工事で、表彰実施年度の前年度に完成した工事
・選考 副市長、総務部長、都市整備部長、農林水産部長、下水道部長及び外部委員2名で組織する「優良建設工事審査委員会」で決定する。
・表彰時期 9～12月頃
・その他 HP等での表彰工事の紹介
・管理体制 課長 1名 契約制度係 2名

【事業の実績】
令和5年度 7工事（9業者）
令和6年度 8工事（9業者）
令和7年度 7工事（8業者）

総009	項目名	総合支所整備事業費	新規事業
予算書項目	庁舎管理費	ページ	165
年度	R8	所属名	総務部 財産経営課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	財産管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	583,076		
本年度要求額	397,799		
総務部長段階査定額	397,799		
市長段階査定額	397,799		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	393,600	
	その他	0	
	一般財源	4,199	
	計	397,799	
備考欄			
事業の概要			
【問合せ先】 財産政策第一係 0857-30-8131			
【12次総の施策体系】 4101			
【事業の経過及び背景】 総合支所は地域振興・防災の拠点となる施設であるため、防災機能の強化及び施設利用者の安全性、利便性の向上を目的として整備する必要がある。			
【事業の目的及び効果】 地域防災の拠点としての機能を果たすため、国府町総合支所及び青谷町総合支所において庁舎の大規模改修など必要な整備を行い、安心安全な住民生活を確保する。			
【事業の内容】 (国府町総合支所大規模改修工事) 内容：非常用発電機整備・受水槽の整備・バリアフリー改修など 期間：令和7年10月～令和8年10月（予定） 事業費：312,799千円 (青谷町総合支所防災備蓄倉庫新築工事) 内容：防災備蓄倉庫整備 期間：令和8年6月～令和8年10月（予定） 事業費：50,610千円 (青谷町総合支所B棟解体工事) 内容：B棟解体工事 期間：令和8年1月～令和8年6月（予定） 事業費：34,390千円			
【事業の実績】 令和5年度 147,578千円 令和6年度 175,551千円 令和7年度 453,934千円（見込み）			

総010	項目名	国土調査事業費	新規事業
予算書項目	国土調査事業費	ページ	233
年度	R8	所属名	総務部 財産経営課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農地費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	94,522		
本年度要求額	107,521		
総務部長段階査定額	107,521		
市長段階査定額	107,521		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	80,640	
	地方債	0	
	その他	186	
	一般財源	26,695	
	計	107,521	
備考欄			
事業の概要			
【問合せ先】 地籍調査係 0857-30-8133			
【12次総の施策体系】 3401			
【事業の経過及び背景】 国土調査法に基づく調査であり、一筆ごとの土地について地目・境界を確認し測量を行い、正確な地図と簿冊を作成し、所有者の閲覧後、法務局に登録するもの。			
【事業の目的及び効果】 土地登記簿と公図がより精度の高いものに更新されることで、土地境界紛争の防止、土地取引や公共事業の円滑化、災害時の迅速な復旧につなげる。			
【事業の内容】 実施面積 2.90km ² (鳥取地域 0.04km ² 国府地域 0.36km ² 用瀬地域 1.40km ² 青谷地域 1.10km ²)			
【事業の実績】 令和5年度(繰越分含む) 実施面積 1.93km ² 事業費 120,226千円 進捗率24.81% 令和6年度(繰越分含む) 実施面積 1.31km ² 事業費 98,847千円 進捗率25.02% 令和7年度見込み(繰越分含む) 実施面積 2.23km ² 事業費 122,599千円 進捗率25.35% (参考：令和8年度見込み(繰越分含む) 実施面積 3.30km ² 事業費 151,275千円 進捗率25.83%)			
※その他財源の手数料は、地籍調査成果交付手数料			

総011	項目名	ファシリティマネジメント推進事業費	新規事業
予算書項目	財産管理費	ページ	165
年度	R8	所属名	総務部 資産活用推進課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	財産管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	10,975		
本年度要求額	9,606		
総務部長段階査定額	9,606		
市長段階査定額	9,606		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	4,006	手数料	0
一般財源	5,600	財産収入	180
計	9,606	寄付金	0
		繰入金	3,826
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】施設経営係 0857-30-8136

【12次総の施策体系】0103

【事業の経過及び背景】
 高度経済成長並びに人口増加を背景に整備された公共施設が老朽化し、今後、更新時期を迎えることとなる一方で、人口減少や少子高齢化等によって財政規模の縮減や市民ニーズの変化が予測されるため、長期的かつ総合的な視点から施設経営（ファシリティマネジメント）の推進が求められる。

【事業の目的及び効果】
 本市におけるファシリティマネジメント（FM）は、「安全・安心な市民生活」「公共サービスの維持」「次世代の負担軽減」を主目的に公共施設の維持管理・活用・更新等について見直しを図る。FMを推進することにより公民連携やコンパクトなまちづくり等につなげる。

【事業の内容】
 (1) 経営方針、再配置基本計画、取組方針に基づくFMの推進
 研修会開催、住民ワークショップ開催による公共施設再配置の検討 など
 (2) PPP導入検討による民間活力を利用した施設整備等の推進
 民間提案制度の実施 など
 (3) 未利用資産売却推進
 売却の推進（鑑定、測量、媒介依頼）、官公庁オークション利用（物品等）など

【事業の実績】
 ・ワークショップ
 （R7）7月～8月 佐治地域、10月～11月 河原地域・用瀬地域 各3回実施
 ・未利用資産売却
 （R5：4件10,958千円、R6：2,808千円、R7見込み：5,169千円）

※その他財源の財産収入は、物品売払収入
 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金

総012	項目名	包括的施設管理事業費	新規事業
予算書項目	財産管理費	ページ	165
年度	R8	所属名	総務部 資産活用推進課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	財産管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	468,123		
本年度要求額	535,317		
総務部長段階査定額	535,317		
市長段階査定額	535,317		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	102,500	手数料	0
一般財源	432,817	財産収入	0
計	535,317	寄付金	0
		繰入金	102,500
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】施設経営係 0857-30-8136

【12次総の施策体系】0103

【事業の経過及び背景】
 高度経済成長期並びに人口増加を背景に整備された公共施設の老朽化が進んでおり、その更新が課題となっている。これは、更新経費が不足するという問題であり、建物床面積の圧縮のみならず、施設の用途廃止や、維持管理経費の縮減も含めた、コストマネジメントに取り組む必要がある。

【事業の目的及び効果】
 公共施設管理業務について、施設所管課ごと、建物ごとに契約していた清掃業務や消防設備点検保守業務について、業務ごとにまとめて発注・契約を行うことで、業務水準の見直し（均等化）、事務負担の軽減、委託料の削減など公共施設管理業務の効率化を図る。また、包括管理委託により、複数の公共施設を一括で専門の民間事業者が管理することで効率的で質の高い施設管理を行う。

【事業の内容】
 ・公共施設包括管理委託事業
 ・効率的な施設の維持管理
 施設管理事業等の一括予算要求、一括発注（清掃、消防用設備保守点検、建築基準法に基づく点検（建物・防火）、屋外広告物定期点検）など
 ・債務負担行為
 複数施設ESCO導入事業償還、エネルギー削減補償サービス導入事業償還

【事業の実績】
 ・公共施設包括管理委託事業（修繕件数:1,059件）※R7.12月末時点
 ・建築基準法に基づく点検一括契約（R5年度71棟、R6年度67棟、R7年度46棟）
 ・清掃業務一括契約（R5年度30施設、R6年度28施設、R7年度21施設）
 ・消防用設備点検一括契約（R5年度86施設、R6年度123施設、R7年度109施設）
 ・屋外広告物一括契約（R4年度64か所、R6年度58か所）※隔年実施

※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金

総013	項目名	ふるさと納税推進事業費	新規事業
予算書項目	税務事務費	ページ	175
年度	R8	所属名 総務部 資産活用推進課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】ふるさと納税係 0857-30-8137	
款	総務費	【12次総の施策体系】0103	
項	徴税費	【事業の経過及び背景】	
目	税務総務費	「ふるさと納税」制度は、都市部と地方の税収格差是正を目的に平成20年度創設。納税者がふるさとや応援する地方公共団体に寄附した際、個人住民税から寄附金の一部が控除される。	
(単位:千円)		「企業版ふるさと納税」制度は、地方創生の取組活性化を目的に平成28年度創設。企業が、地方公共団体の行う地方創生の取組に対し寄附した際、税額が控除される。	
前年度当初予算額	359,729	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	442,570	ふるさと納税制度を利用した本市への寄附者及び寄附金額の増加を図るため、パンフレット作成や各種PRを行い、寄附者への返礼品の提供を通じ、地元産品のPRを行うことで地場産業の振興につなげる。また、令和3年度より国の認定を受けて「企業版ふるさと納税」の受付を開始した。制度のPRを行うことで、企業からの寄附を募り、地方創生の充実・強化を図る。	
総務部長段階査定額	442,570	【事業の内容】	
市長段階査定額	442,570	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の一部外部委託 ・魅力ある返礼品開拓のための企業・事業者訪問 ・企業版ふるさと納税のPR（支援サービス業務委託など） 	
区分		【事業の実績】	
財源内訳	国・県支出金	0	ふるさと納税による寄附件数及び寄附金額
	地方債	0	令和5年度 25,186件 750,233千円
	その他	0	令和6年度 26,224件 935,016千円
	一般財源	442,570	令和7年度 24,000件 930,000千円（見込み）
	計	442,570	企業版ふるさと納税による寄附件数及び寄附金額
		令和5年度 13件 108,100千円	令和6年度 16件 27,900千円
		令和6年度 16件 27,900千円	令和7年度 8件 13,900千円（見込み）
備考欄			

税001	項目名	賦課徴収費	新規事業
予算書項目	賦課事務費	ページ	177
年度	R8	所属名	総務部税務・債権管理局 市民税課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	徴収費		
目	賦課徴収費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	67,303		
本年度要求額	94,098		
総務部長段階査定額	94,098		
市長段階査定額	94,098		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	73,250	
	地方債	0	
	その他	420	
	一般財源	20,428	
	計	94,098	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】税制係 0857-30-8142	
【12次総の施策体系】0103	
【事業の経過及び背景】 市税の賦課は法令等に基づき、決められた期限内に適正かつ公平に行われることが求められている。	
【事業の目的及び効果】 個人市民税、法人市民税及び軽自動車税等の適正かつ公平な賦課を行うため、税制改正などに適切に対応した課税システムを構築するなど、安定的な賦課業務体制を維持する。	
【事業の内容】 会計年度任用職員の人件費、納税通知書や税申告書等の印刷・封入・送付に係る経費、課税システムの改修及び管理費など。	
【事業の実績】 令和5年度 79,533千円 令和6年度 63,842千円 令和7年度 68,822千円（見込み）	
※その他財源の手数料は、自動車臨時運行許可手数料 ※その他財源の諸収入は、申告会場借上代	

税002	項目名	賦課事務費	新規事業
予算書項目	賦課事務費	ページ	177
年度	R8	所属名	総務部税務・債権管理局 固定資産税課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	徴収費		
目	賦課徴収費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	20,480		
本年度要求額	20,684		
総務部長段階査定額	20,684		
市長段階査定額	20,684		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	840	
	一般財源	19,844	
	計	20,684	
備考欄			

事業の概要			
【問合せ先】償却資産係 0857-30-8156			
【12次総の施策体系】0103			
【事業の経過及び背景】 固定資産税・都市計画税は、賦課期日（1月1日）現在に、土地・家屋及び事業用の償却資産を所有しているもの（都市計画税については、市街化区域に所在する土地・家屋を所有するもの）に対し課税する財産税であり、市税の中で市民税と並ぶ基幹税目である。			
【事業の目的及び効果】 土地・家屋及び償却資産の適正な評価により決定した価格に基づき、固定資産税・都市計画税の賦課を行うことで、安定した税収を確保する。			
【事業の内容】 固定資産の評価は、固定資産評価基準に基づいて行われ、市長がその価格を決定し、この価格を基に課税標準額を算定する。決定された価格や課税標準額を固定資産課税台帳に登録し、賦課期日の所有者に納税通知書を送付する。家庭裁判所へ相続財産清算人の選任申立てを行うことで、相続人が不存在で納税通知書を送達できない案件の解消にも努める。			
【事業の実績】			
	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
(固定資産税)			
納税義務者（人）	76,981	76,798	76,366
現年調定額（千円）	11,261,051	11,191,250	11,323,648
(都市計画税)			
納税義務者（人）	47,841	47,867	47,790
現年調定額（千円）	548,445	546,029	552,716
※その他財源の諸収入は、相続財産清算人選任申立てに係る予納金の清算金、公園コピー代金、納税通知書用封筒広告掲載に係る広告料			

税003	項目名	土地評価事務費	新規事業
予算書項目	評価事務費	ページ	177
年度	R8	所属名	総務部税務・債権管理局 固定資産税課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	徴税费		
目	賦課徴収費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	66,174		
本年度要求額	34,718		
総務部長段階査定額	34,718		
市長段階査定額	34,718		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	34,718		
計	34,718		
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】土地係 0857-30-8157

【12次総の施策体系】0103

【事業の経過及び背景】
固定資産税・都市計画税は市税の基幹税目であり、適正な評価と税収の確保は市政の重要課題である。課税内容に対する納税者の関心は高く、公平で適正な評価が求められる。

【事業の目的及び効果】
土地に係る固定資産税・都市計画税の適正かつ公正な評価を行う。
・固定資産(宅地)評価システム基礎資料作成業務委託
・標準宅地の時点修正に関する業務委託:地価下落に対応
・公図の分合筆の照合及び修正業務委託:公図整備

【事業の内容】
(1)登記済通知書により課税客体を的確に把握した上で、GIS地番現況図等の関係資料をもとに現況調査等を実施し、評価する。
(2)令和9年度評価替えに向けた作業
・新規路線価導入検討・状況類似地域、標準宅地の見直し・評価要綱の整備
(3)システム標準化に向けたデータ整備等作業

【事業の実績】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
評価総筆数	379,497筆	379,434筆	377,652筆
異動処理件数	21,839件	25,016件	25,204件

税004	項目名	賦課徴収費	新規事業
予算書項目	徴収事務費	ページ	177
年度	R8	所属名	総務部税務・債権管理局 収納推進課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	徴税费		
目	賦課徴収費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	23,444		
本年度要求額	23,393		
総務部長段階査定額	23,393		
市長段階査定額	23,393		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	12,962		
一般財源	10,431		
計	23,393		
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】管理・企画係 0857-30-8161

【12次総の施策体系】0103

【事業の経過及び背景】
自主財源等の安定確保により市政の効率的運用を図る。

【事業の目的及び効果】
市税及び国民健康保険料の収納率向上に努める。

【事業の内容】
(1)徴収、滞納整理事務経費
滞納整理のための催告書等の印刷費、郵送料及び調査・公売手数料他
(2)県外徴収旅費
県外在住の市税滞納者の徴収、調査、滞納処分を実施するための旅費

【事業の実績】
(過去3年間の収納率)

年度	市税(現年)	(滞繰)	(合計)	国保(現年)	(滞繰)	(合計)
令和4年度	99.2%	21.6%	97.7%	95.7%	31.2%	89.7%
令和5年度	99.3%	23.3%	97.8%	96.0%	31.4%	90.9%
令和6年度	99.5%	22.5%	97.9%	96.2%	33.7%	91.7%

※その他財源の手数料は、市税督促手数料
※その他財源の諸収入は、市税延滞金及び滞納処分費

税005	項目名	債権管理運営費	新規事業
予算書項目	徴収事務費	ページ	177
年度	R8	所属名 総務部税務・債権管理局 収納推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理・企画係 0857-30-8161		
款 総務費	【12次総の施策体系】0103		
項 徴税費	【事業の経過及び背景】 歳入の確保及び市民負担の公平性と公正な市政運営を図るため、債権の適正な管理と的確な回収を進める取組を実施している。		
目 賦課徴収費	【事業の目的及び効果】 全庁的な債権管理の進捗を統括するとともに、徴収職員のスキルアップや意識の向上を図り、未収金の縮減を推進する。また、コンビニ納付やスマートフォンアプリ・QRコードを利用したキャッシュレス納付、ペイジー・Web受付による口座振替手続きの周知により、納期内納付の促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	17,495	1. 徴収事務経費	
本年度要求額	17,389	(1) 債権管理事務 滞納整理のための支払督促、差押等にかかる印紙代及び切手代他	
総務部長段階査定額	17,389	(2) 検収事務 還付、口座振替関係書類等の印刷製本費及びコンビニ収納取扱手数料他	
市長段階査定額	17,389	2. 債権管理研修経費 債権管理研修会の開催経費	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		(主な未収金の推移)	
国・県支出金	0	令和4年度 2,141百万円	
地方債	0	令和5年度 2,023百万円	
その他	134	令和6年度 1,816百万円	
一般財源	17,255	※その他財源の諸収入は、強制執行費用	
計	17,389		
備考欄			

税006	項目名	納付催告センター運営費	新規事業
予算書項目	徴収事務費	ページ	177
年度	R8	所属名 総務部税務・債権管理局 収納推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理・企画係 0857-30-8161		
款 総務費	【12次総の施策体系】0103		
項 徴税費	【事業の経過及び背景】 市税及び国保料の未納者に対する電話催告の取組を強化する。		
目 賦課徴収費	【事業の目的及び効果】 新規滞納の発生や滞納の累積化を防ぎ、徴収率の向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	25,821	1. 未納市税等について、電話オペレーターによる電話催告の実施 電話オペレーター 4名 管理者 2名(うち1名はオペレーター兼務)	
本年度要求額	27,816	2. 電話催告システム機器リース料他	
総務部長段階査定額	27,816	【事業の実績】	
市長段階査定額	27,816	(1) 市税 [架電件数] [勸奨金額] [入金額] [入金率]	
区分	本年度予算額	令和4年度 21,374件 112,095千円 95,522千円 85.2%	
財源内訳		令和5年度 22,571件 138,363千円 114,771千円 82.9%	
国・県支出金	0	令和6年度 23,429件 146,551千円 118,078千円 80.6%	
地方債	0	(2) 国保料 [架電件数] [勸奨金額] [入金額] [入金率]	
その他	0	令和4年度 12,383件 39,034千円 29,900千円 76.6%	
一般財源	27,816	令和5年度 12,531件 42,783千円 30,590千円 71.4%	
計	27,816	令和6年度 13,338件 50,502千円 34,510千円 68.3%	
備考欄			

人001	項目名	人権問題に関する市民意識調査事業費	新規事業	○
予算書項目	事務費	ページ	195	所属名
年度	R8	総務部人権政策局 人権推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】政策推進・啓発係 0857-30-8071			
款 民生費	【12次総の施策体系】2301			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 本計画はこれまで、平成17年、平成27年に実施してきた。約10年に一度実施し、鳥取市人権施策基本方針改訂の参考とする。第4次改訂に反映させるため、人権問題に関する市民意識調査を実施するもの。			
目 人権推進総費	【事業の目的及び効果】 市民意識調査は、同和問題をはじめとする様々な人権問題について、市民の意識の現状とその傾向を把握し、鳥取市人権施策基本方針第4次改訂及び人権行政を推進するうえでの検討資料とするもの。前回の調査（平成27年度実施）と比較し、その間の意識の推移と現在の状況を見る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 市民意識調査は、市内全域の15歳以上の者を母集団とする標本調査で、17の中学校区単位で5歳区分の年代別に無作為抽出を行い3%にあたる4,700人に対して往返信は郵送で行い、回収調査表を集計・分析を行うもの。			
前年度当初予算額	0	【事業の実績】		
本年度要求額	3,443	実施年度	15歳以上人口	中学校区
総務部長段階査定額	3,175	平成17年度	170,957人	18
市長段階査定額	3,175	平成27年度	166,030人	17
区分	本年度予算額	標本数	5,200人	有効回答数
国・県支出金	0	回収率	2,778人	53.4%
地方債	0		2,138人	43.0%
その他	0			
一般財源	3,175			
計	3,175			
備考欄				

人002	項目名	市民啓発推進費	新規事業	
予算書項目	市民啓発推進費	ページ	195	所属名
年度	R8	総務部人権政策局 人権推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】政策推進・啓発係 0857-30-8071			
款 民生費	【12次総の施策体系】2301			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 平成23年4月から「鳥取市差別のない人権尊重の社会づくり条例」を施行し、すべての人の人権が尊重され、差別や偏見、人権侵害のない人権尊重都市鳥取市の実現をめざし、人権施策をより一層推進していく。			
目 人権推進総費	【事業の目的及び効果】 「鳥取市人権施策基本方針」等に基づき、あらゆる人権問題の解決を目指して市民の人権意識の高揚を図るため、市民への人権啓発を推進する。			
(単位:千円)	【事業の内容】 市民への人権啓発活動経費			
前年度当初予算額	2,732	① 人権啓発放送	: FM鳥取を利用して人権啓発放送を行う。	
本年度要求額	2,942	② 人権とっとり講座	: 様々な人権をテーマに市民への学習機会を提供する。	
総務部長段階査定額	2,942	③ 世界人権宣言推進事業	: 人権週間に人権フォーラムを開催する。	
市長段階査定額	2,942	④ ネットモニタリング	: ネット上の差別書き込みの実態の把握、拡散を防止する。	
区分	本年度予算額	⑤ 啓発冊子発行事業	: 啓発・教育のための資料を作成、発行する。	
国・県支出金	963	⑥ LGBTQ+居場所づくり事業	: 交流会や学習会を行う。	
地方債	0			
その他	0			
一般財源	1,979			
計	2,942			
備考欄	【事業の実績】 令和5年度 2,798千円 令和6年度 3,090千円 令和7年度 2,732千円（見込み）			

人003	項目名	市人権情報センター補助金	新規事業
予算書項目	市民啓発推進費	ページ	195
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 政策推進・啓発係 0857-30-8071		
款 民生費	【12次総の施策体系】 2301		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 近年の社会情勢の変化による新たな人権課題（インターネット上の人権侵害・災害時における人権問題など）に対応するため、啓発手法や情報についての調査・研究、教材づくりなどの人権情報センターの業務は、ますます重要となっている。		
目 人権推進総務費	【事業の目的及び効果】 人権情報センターの特色である市民参加型の手法を取り入れながら、人権情報センターが行う人権教育・啓発の取組を支援することで、差別のない人権尊重都市鳥取市の実現を目指し、市民の人権意識の醸成を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 公益財団法人鳥取市人権情報センターと連携を図り、人権施策を実施する。 公益財団法人鳥取市人権情報センターへの運営補助金		
前年度当初予算額	34,468	(1) 情報の収集・提供事業 機関紙『ライツ』・『架橋』の発行、『情報ファイル』の作成、書籍や視聴覚教材等の閲覧・貸出し、ウェブサイトによる情報発信など	
本年度要求額	35,586	(2) 調査・研究事業 研究部会の開催、研修講師の派遣、人権関係の各種資料の収集・記録・保存ならびに研究会・研修会等への参加	
総務部長段階査定額	34,468	(3) 啓発・相談事業 「人権の集い」の開催、教育・啓発に関する相談への対応、人権相談への対応	
市長段階査定額	34,468	(4) 市民活動等との協働及び支援事業 人権市民活動支援事業、人権市民団体等との協働	
区分	本年度予算額	(5) 関係機関・団体等との連携 ネットワーク化団体への加盟と連携、関係機関と連携したパネル展の開催等	
財源内訳		【事業の実績】 令和5年度 32,110千円 令和6年度 33,310千円 令和7年度 34,468千円（見込み）	
国・県支出金	0	令和5年度 32,110千円	
地方債	0	令和6年度 33,310千円	
その他	0	令和7年度 34,468千円（見込み）	
一般財源	34,468		
計	34,468		
備考欄			

人004	項目名	犯罪被害者支援事業費	新規事業
予算書項目	犯罪被害者支援事業費	ページ	195
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 政策推進・啓発係 0857-30-8071		
款 民生費	【12次総の施策体系】 2301		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 犯罪被害者やその家族または遺族（犯罪被害者等）の人権は、誰もが犯罪被害者となる可能性がある中で社会全体として犯罪被害者等の人権を守り、支えていく必要がある。国による経済的支援制度は拡充されてきたが、支援内容や支援対象者が限定的という課題があるため、鳥取県は、市町村と連携して県内統一の経済的支援制度を創設し、犯罪の種類に区別することのない支援策（県主体）へ拡充する仕組みを整える。鳥取市は令和4年に「鳥取市犯罪被害者等支援条例」を制定し見舞金を支給してきたが、今後は、支給事務を県へ一元化する。市は市単独の見舞金支給を廃止し、県が創設する犯罪被害者等支援基金に対し寄附金を支出する。		
目 人権推進総務費	【事業の目的及び効果】 「犯罪被害者等見舞金」、「（県）犯罪被害者等支援基金」を支払うことで、犯罪被害者等が受けた犯罪被害直後の予期しない経済的負担を軽減し、犯罪被害による生活困窮の防止と即応的な生活支援を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】 [市単独の見舞金] 令和8年3月31日までに起こった犯罪被害に対する見舞金 犯罪被害者等見舞金（遺族見舞金・傷害見舞金） ・遺族見舞金 300千円 1件 ※支給経費は「鳥取県犯罪被害者等見舞金給付補助金」により補助率1/2で措置 補助率：1/2（遺族見舞金/上限150千円、傷害見舞金/上限50千円）		
前年度当初予算額	405	[寄附金] 鳥取県基金規模：50,000千円（経済的支援に要する額の5年分を想定） 割合：県1/2（22,500千円）、市町村1/2（22,500千円の人口割）、ふるさと納税・寄附（5,000千円） 鳥取市は7,662千円（5年間）の1/5（1,533千円）を寄附	
本年度要求額	2,138	【事業の実績】 [市単独の見舞金事業の実績] 令和5年度 223千円 令和6年度 255千円 令和7年度 405千円（見込み）	
総務部長段階査定額	1,833		
市長段階査定額	1,833		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	150		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,683		
計	1,833		
備考欄			

人005	項目名	地域福祉事業費	新規事業
予算書項目	地域福祉事業費	ページ	197
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241		
款	民生費	【12次総の施策体系】2301	
項	社会福祉費	【事業の経過及び背景】 地域における様々な生活上の課題解決を図るため、平成11年度から実施。	
目	人権福祉センター管理費	【事業の目的及び効果】 人権福祉センターは、地域福祉の一翼を担うことが求められており、様々な生活課題を抱える人に対して、アウトリーチによる相談支援活動をさらに推進していく必要がある。「単身低所得高齢者」などの問題は、経済的な困窮状態もさることながら、社会的孤立状態にあることが重要な側面であり、福祉部局と連携を図りながら、地域包括ケアシステムに関与する活動や社会的に孤立している人の自立と社会参加を促す新たな活動を展開する。	
(単位:千円)		【事業の内容】 各人権福祉センターが実施する地域福祉事業経費(国1/2補助)。 ※地域福祉デイサービス、介護予防教室、手話教室、健康福祉教室	
前年度当初予算額	3,494	【事業の実績】 令和5年度 2,739千円 令和6年度 2,795千円 令和7年度 3,494千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 443回、5,621人 令和6年度 365回、5,149人 令和7年度 317回、3,621人(令和7年12月末時点)	
本年度要求額	3,495		
総務部長段階査定額	3,495	【事業の実績】 令和5年度 2,739千円 令和6年度 2,795千円 令和7年度 3,494千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 443回、5,621人 令和6年度 365回、5,149人 令和7年度 317回、3,621人(令和7年12月末時点)	
市長段階査定額	3,495	【事業の実績】 令和5年度 2,739千円 令和6年度 2,795千円 令和7年度 3,494千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 443回、5,621人 令和6年度 365回、5,149人 令和7年度 317回、3,621人(令和7年12月末時点)	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 2,739千円 令和6年度 2,795千円 令和7年度 3,494千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 443回、5,621人 令和6年度 365回、5,149人 令和7年度 317回、3,621人(令和7年12月末時点)	
財源内訳		【事業の実績】 令和5年度 2,739千円 令和6年度 2,795千円 令和7年度 3,494千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 443回、5,621人 令和6年度 365回、5,149人 令和7年度 317回、3,621人(令和7年12月末時点)	
国・県支出金	1,747	【事業の実績】 令和5年度 2,739千円 令和6年度 2,795千円 令和7年度 3,494千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 443回、5,621人 令和6年度 365回、5,149人 令和7年度 317回、3,621人(令和7年12月末時点)	
地方債	0	【事業の実績】 令和5年度 2,739千円 令和6年度 2,795千円 令和7年度 3,494千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 443回、5,621人 令和6年度 365回、5,149人 令和7年度 317回、3,621人(令和7年12月末時点)	
その他	0	【事業の実績】 令和5年度 2,739千円 令和6年度 2,795千円 令和7年度 3,494千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 443回、5,621人 令和6年度 365回、5,149人 令和7年度 317回、3,621人(令和7年12月末時点)	
一般財源	1,748	【事業の実績】 令和5年度 2,739千円 令和6年度 2,795千円 令和7年度 3,494千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 443回、5,621人 令和6年度 365回、5,149人 令和7年度 317回、3,621人(令和7年12月末時点)	
計	3,495	【事業の実績】 令和5年度 2,739千円 令和6年度 2,795千円 令和7年度 3,494千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 443回、5,621人 令和6年度 365回、5,149人 令和7年度 317回、3,621人(令和7年12月末時点)	
備考欄			

人006	項目名	地域交流促進事業費	新規事業
予算書項目	地域交流促進事業費	ページ	197
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241		
款	民生費	【12次総の施策体系】2301	
項	社会福祉費	【事業の経過及び背景】 平成13年度より実施。	
目	人権福祉センター管理費	【事業の目的及び効果】 地域の実情に即した創意工夫のある講座を継続して実施し、地域住民相互の理解と交流を一層促進することにより、人権啓発の拠点としてのセンターの役割を果たし、人権問題の速やかな解決を図る。	
(単位:千円)		【事業の内容】 各人権福祉センターが実施する地域交流促進事業経費(国1/2補助)。 ※人権と福祉のまちづくり講座、地域交流促進講座	
前年度当初予算額	2,807	【事業の実績】 令和5年度 2,420千円 令和6年度 2,444千円 令和7年度 2,807千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 313回、7,099人 令和6年度 379回、7,087人 令和7年度 287回、6,021人(令和7年12月末時点)	
本年度要求額	2,812	【事業の実績】 令和5年度 2,420千円 令和6年度 2,444千円 令和7年度 2,807千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 313回、7,099人 令和6年度 379回、7,087人 令和7年度 287回、6,021人(令和7年12月末時点)	
総務部長段階査定額	2,812	【事業の実績】 令和5年度 2,420千円 令和6年度 2,444千円 令和7年度 2,807千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 313回、7,099人 令和6年度 379回、7,087人 令和7年度 287回、6,021人(令和7年12月末時点)	
市長段階査定額	2,812	【事業の実績】 令和5年度 2,420千円 令和6年度 2,444千円 令和7年度 2,807千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 313回、7,099人 令和6年度 379回、7,087人 令和7年度 287回、6,021人(令和7年12月末時点)	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 2,420千円 令和6年度 2,444千円 令和7年度 2,807千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 313回、7,099人 令和6年度 379回、7,087人 令和7年度 287回、6,021人(令和7年12月末時点)	
財源内訳		【事業の実績】 令和5年度 2,420千円 令和6年度 2,444千円 令和7年度 2,807千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 313回、7,099人 令和6年度 379回、7,087人 令和7年度 287回、6,021人(令和7年12月末時点)	
国・県支出金	1,406	【事業の実績】 令和5年度 2,420千円 令和6年度 2,444千円 令和7年度 2,807千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 313回、7,099人 令和6年度 379回、7,087人 令和7年度 287回、6,021人(令和7年12月末時点)	
地方債	0	【事業の実績】 令和5年度 2,420千円 令和6年度 2,444千円 令和7年度 2,807千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 313回、7,099人 令和6年度 379回、7,087人 令和7年度 287回、6,021人(令和7年12月末時点)	
その他	0	【事業の実績】 令和5年度 2,420千円 令和6年度 2,444千円 令和7年度 2,807千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 313回、7,099人 令和6年度 379回、7,087人 令和7年度 287回、6,021人(令和7年12月末時点)	
一般財源	1,406	【事業の実績】 令和5年度 2,420千円 令和6年度 2,444千円 令和7年度 2,807千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 313回、7,099人 令和6年度 379回、7,087人 令和7年度 287回、6,021人(令和7年12月末時点)	
計	2,812	【事業の実績】 令和5年度 2,420千円 令和6年度 2,444千円 令和7年度 2,807千円(見込み) ※令和7年度から別事業としていた中央分を統合。 ・各種講座の開催回数・参加人数 令和5年度 313回、7,099人 令和6年度 379回、7,087人 令和7年度 287回、6,021人(令和7年12月末時点)	
備考欄			

人007	項目名	地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費	新規事業
予算書項目	地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費	ページ	199
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	一般会計		
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	人権交流プラザ管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	10,853		
本年度要求額	9,780		
総務部長段階査定額	9,780		
市長段階査定額	9,780		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	6,643	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	3,137	財産収入	0
計	9,780	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241

【12次総の施策体系】2301

【事業の経過及び背景】
生活保護に至る前の段階の自立強化を図るため、平成27年度から生活困窮者に対する措置として実施。

【事業の目的及び効果】
※①②⑤：直営 ※③④：委託
① 住居確保給付金支給(国3/4補助)：離職等により住居を失う恐れのある者に対し家賃相当の「住居確保給付金」を有期で支給。また、低廉家賃の転居のための初期費用を補助。
② 家計改善支援事業(国2/3補助)：家計再生の計画・プランを作成し、家計改善意欲を引き出す。
③ 就労支援事業(国2/3補助)：就労に必要な日常生活、社会生活自立の訓練を実施。
④ 学習支援事業(国1/2補助)：困窮世帯の子へ学習支援を行い学力及び意欲の向上を図る。
⑤ 居住支援事業(国2/3補助)：住居喪失者等に一定期間内に限り、宿泊場所・食事を提供。
*2：家計改善支援員1名

【事業の内容】
平成27年度から実施。令和元年度までは生活福祉課で予算措置（生活保護受給者を含む）。令和4年度から重層的支援体制整備事業と分離して予算措置。

【事業の実績】
①住居確保 ②家計 ③就労 ④学習 ⑤居住
令和5年度 13,680千円 30世帯 4人 2人 9人 実施なし
令和6年度 12,369千円 13世帯 4人 10人 5人 3名/延72泊
令和7年度 10,853千円 9世帯 8人 8人 7人 3名/延105泊
※R7は見込額。R7実績数は12月末時点。

人008	項目名	生活困窮者自立相談支援事業費	新規事業
予算書項目	地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費	ページ	199
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	一般会計		
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	人権交流プラザ管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	23,360		
本年度要求額	25,440		
総務部長段階査定額	25,430		
市長段階査定額	25,430		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	19,072	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	6,358	財産収入	0
計	25,430	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241

【12次総の施策体系】2301

【事業の経過及び背景】
平成27年度から実施。令和元年度まで生活福祉課、令和2年度から人権推進課予算で執行している。令和4年度から重層的支援体制整備事業の包括的相談支援事業として実施。

【事業の目的及び効果】
生活保護に至る前に自立強化を図るため、生活困窮者（就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者）からの相談に応じ、必要な支援を行う。

【事業の内容】
自立相談支援事業(国3/4)：自立に関する様々な相談支援、情報提供、事業利用のための計画の策定等を行う。中央人権福祉センターの「パーソナルサポートセンター」に相談支援員を配置する。
*主任相談支援員1名、相談支援員4名、住まい相談支援員(令和7年度より配置)1名

【事業の実績】
令和5年度 16,758千円
令和6年度 16,591千円
令和7年度 23,360千円(見込み)
※令和4年度から重層的支援体制整備事業の包括的相談支援事業として実施。
・新規相談受付件数
令和5年度 345件
令和6年度 334件
令和7年度 286件(令和7年12月末時点)

人009	項目名	地域共生社会推進・包括的支援事業費	新規事業
予算書項目	地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費	ページ	199
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	人権交流プラザ管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	10,353		
本年度要求額	10,230		
総務部長段階査定額	10,220		
市長段階査定額	10,220		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	6,452	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,768	
	計	10,220	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241	
【12次総の施策体系】2301	
【事業の経過及び背景】 重層的支援体制整備事業の各種事業として、令和4年度から実施。	
【事業の目的及び効果】 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、包括的な支援体制を整備する。重層的支援体制整備事業の生活困窮分野（多機関協働事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、参加支援事業、地域づくり事業）。	
【事業の内容】 ① 生活困窮者等のための地域づくり事業（国補助1/2） ② 多機関協働事業（3/4補助※国2/4、県1/4） ③ アウトリーチ等を通じた継続的支援（3/4補助※国2/4、県1/4） ④ 参加支援事業（3/4補助※国2/4、県1/4） ※地域共生活動参加支援員1名、相談支援包括化推進員1名	
【事業の実績】 令和5年度 9,840千円 令和6年度 9,954千円 令和7年度 10,353千円（見込み） ・相談支援包括化推進会議の開催回数 令和5年度 7回 令和6年度 11回 令和7年度 6回（令和7年12月末時点）	

人010	項目名	孤独・孤立対策推進事業費	新規事業
予算書項目	地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費	ページ	199
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	人権交流プラザ管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	12,141		
本年度要求額	18,914		
総務部長段階査定額	18,914		
市長段階査定額	18,914		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	8,016	
	地方債	0	
	その他	4,015	
	一般財源	6,883	
	計	18,914	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241	
【12次総の施策体系】2301	
【事業の経過及び背景】 1. 孤独・孤立対策推進員設置事業 地域食堂（子ども食堂）を基盤として、令和4年度に「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」を立上げ、令和5年度には、麒麟のまち連携中枢圏事業として対象地域の拡大を図り、組織体系・取組を強化。 2. フードサポート事業 物価高騰や収入減等による生計困難者に対して食料等を提供。また、地域食堂の運営に必要な食材等を提供。 3. 食品アクセス確保対策事業 地域食堂や生活困窮者への食料等の円滑な調達分配に向け、調整役となるコーディネーターを配置。	
【事業の目的及び効果】 組織体系を確立し、支援を要する方への孤独・孤立の防止及び食支援の強化を図る。	
【事業の内容】 1. 孤独・孤立対策推進員設置事業 推進員を配置し、社会的孤立の防止・当事者への切れ目のない支援の強化を図る。 2. フードサポート事業 食品ロスや地域食堂支援の観点から、食品を供給する企業・団体の拡大及びフードドライブへの市民の協力を推進する。 3. 食品アクセス確保対策事業 コーディネーターを配置し、食料支援の現状調査及び課題解決に向けた計画の策定・実行につなげる。 <拡充>官民連携プラットフォームの包括化に向けた事務局機能の強化	
【事業の実績】 令和6年度 10,076千円 令和7年度 12,141千円（見込み） ・つながりサポーター登録者数（累計） 令和5年度 253人 令和6年度 630人 令和7年度 842人（R7.12月末時点） ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

人011	項目名	地域食堂ネットワーク運営費	新規事業
予算書項目	地域食堂ネットワーク運営費	ページ	199
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	一般会計		
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	人権交流プラザ管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	9,995		
本年度要求額	11,669		
総務部長段階査定額	11,669		
市長段階査定額	11,669		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	4,845	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	0	使用料
	一般財源	6,824	手数料
	計	11,669	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241

【12次総の施策体系】2301

【事業の経過及び背景】
平成29年11月に「鳥取市地域食堂ネットワーク」として、鳥取市内の地域食堂とそれを支援する団体一つとなり設立。現在は、麒麟のまち圏域（鳥取県東部1市4町及び兵庫県北但西部2町）で実施している地域食堂にも食材を提供するなど支援を拡大。令和5年度に「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」に改称。

【事業の目的及び効果】
連携中核都市圏ビジョンとして、圏域内の地域食堂に対し食材提供や開設に関する支援などを実施。令和7年度よりコーディネーターを増員（1→2名）して、支援団体の拡大を図る。

【事業の内容】
地域食堂ネットワークの運営委託。

【事業の実績】
令和5年度 4,922千円
令和6年度 4,089千円
令和7年度 9,995千円（見込み）
・麒麟のまち圏域の地域食堂の運営団体数及び支援団体数

	運営団体数	支援団体数
令和5年度	42団体	61団体
令和6年度	55団体	64団体
令和7年度	61団体	70団体（令和7年12月末時点）

人012	項目名	子どもの居場所づくり推進事業費	新規事業
予算書項目	子どもの貧困対策推進事業費	ページ	201
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	一般会計		
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	児童福祉総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	15,891		
本年度要求額	19,858		
総務部長段階査定額	19,858		
市長段階査定額	19,858		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	13,226	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	3,316	使用料
	一般財源	3,316	手数料
	計	19,858	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241

【12次総の施策体系】2301

【事業の経過及び背景】
様々な困難な背景を抱える子どもたちの中には、食生活の乱れや孤食の環境にあり、家庭的にも経済的な困難や孤立状況にあるなどの課題を抱えていることも多い。こうした子どもたちの健全育成を支えるため、地域との継続的な交流の場を通して子どもたちに安全・安心な居場所を提供し、子どもを取り巻く環境を改善する。

【事業の目的及び効果】
生活困窮世帯等を中心にすべての世帯を対象とした、子どもの居場所づくりに取り組む民間団体等の立上げ・運営を支援し、団体の育成・取組の推進を図ると共に、様々な課題を抱える世帯の子どもたちの将来が、経済的な環境によって左右されることなく、夢と希望を持って成長していけるよう支援を行う。

【事業の内容】
令和6年度まで県補助充当（立上2/3、事業費1/2）
令和7年度から国補助充当（立上2/3、事業費2/3）
*立上支援：補助上限1,520千円（国2/3）
事業費補助：補助上限2,000千円（国2/3）
令和8年度：立上支援4食堂、事業費補助30食堂

【事業の実績】
令和5年度 17,772千円（立上支援4食堂、事業費補助22食堂）
令和6年度 14,153千円（立上支援3食堂、事業費補助24食堂）
令和7年度 15,891千円（立上支援3食堂、事業費補助26食堂）（見込み）

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

人013	項目名	男女共同参画登録団体補助金	新規事業		
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	167		
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 男女共同参画課		
会計名		事業の概要 【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076 【12次総の施策体系】2302 【事業の経過及び背景】 本市では、鳥取市男女共同参画推進条例を平成14年に制定し、男女共同参画の推進を目的に活動を行う団体を登録するとともに、育成や支援を行っている。 【事業の目的及び効果】 男女共同参画登録団体の自主的な活動を促すことを目的に、男女共同参画の研修や広報等を行うための事業費を助成することにより、本市における男女共同参画社会の実現に寄与する。 【事業の内容】 ・対象者：男女共同参画登録団体及び支所エリアを活動範囲とする支部等 ・対象事業：男女共同参画に関する研修事業等（参加者旅費、食糧費を除く） ・金額：10万円を限度（補助対象経費の3/4） ・回数：1団体が年間3事業まで（登録団体の支部は、年間2事業まで） 【事業の実績】 令和5年度 13件 512千円 令和6年度 14件 519千円 令和7年度 15件 570千円（見込み）			
一般会計					
款	総務費				
項	総務管理費				
目	企画費				
(単位:千円)					
前年度当初予算額	570				
本年度要求額	570				
総務部長段階査定額	570				
市長段階査定額	570				
区分	本年度予算額			その他財源の内訳	
財源内訳				分担金	0
国・県支出金	0			負担金	0
地方債	0			使用料	0
その他	0			手数料	0
一般財源	570			財産収入	0
計	570			寄付金	0
				繰入金	0
		諸収入	0		
		その他	0		
備考欄					

人014	項目名	男女共同参画啓発事業費	新規事業		
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	167		
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 男女共同参画課		
会計名		事業の概要 【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076 【12次総の施策体系】2302 【事業の経過及び背景】 だれもが性別にかかわらず個人として尊重され、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けて、継続した取組を行っている。 鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」では、男女共同参画かがやきプランに基づき、幅広く男女共同参画推進のための啓発講座を開催している。 「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」の1市6町で連携した講座の開催も令和3年度から行っており、圏域全体の男女共同参画を推進している。 【事業の目的及び効果】 市民の男女共同参画意識の醸成を図ることを目的に、男女共同参画センターにおける啓発講座の開催や図書の出し出しなどによる情報提供の充実を図り、男女共同参画の推進に寄与する。 【事業の内容】 ・啓発講座の開催 24講座 ・図書の出し出し ・啓発展示 【事業の実績】 令和5年度 31講座 672人（内連携講座2講座） 令和6年度 32講座 746人（内連携講座3講座） 令和7年度 32講座 700人（内連携講座5講座）（見込み）			
一般会計					
款	総務費				
項	総務管理費				
目	企画費				
(単位:千円)					
前年度当初予算額	873				
本年度要求額	688				
総務部長段階査定額	624				
市長段階査定額	624				
区分	本年度予算額			その他財源の内訳	
財源内訳				分担金	0
国・県支出金	0			負担金	0
地方債	0			使用料	0
その他	0			手数料	0
一般財源	624			財産収入	0
計	624			寄付金	0
				繰入金	0
		諸収入	0		
		その他	0		
備考欄					

人015	項目名	男女共同参画啓発イベント開催事業費	新規事業																				
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	167																				
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 男女共同参画課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076 【12次総の施策体系】1101、2302 【事業の経過及び背景】 男女共同参画社会を実現するためには、広く市民の男女共同参画に関する理解や意識を高めることや、地域の課題解決にあたり固定的な性別役割分担意識や固定観念にとらわれることなく多様な人々の参画を推進することが必要であり、地域住民の利便性も考慮しながら、幅広い世代への啓発として地域単位でのイベントを行う。 【事業の目的及び効果】 地域における男女共同参画意識の醸成及び男女共同参画の推進活動を行う団体の育成・活性化を図るとともに、参加者一人ひとりの家庭・地域・職場等での実践と意識啓発につなげる。 【事業の内容】 ・男女共同参画啓発イベント 日時：令和8年10月頃（予定） 場所：男女共同参画センター及びび丸由百貨店5階（予定） 内容：講演会・展示・販売等 ・地域イベント 場所：東地域：福部、南地域：用瀬、西地域：青谷 内容：講演会・研修会等 【事業の実績】 ・男女共同参画啓発イベント 令和5年度 566千円（R5.10.1開催、延べ人数500人、男女共同参画センター他） 令和6年度 600千円（R6.10.6開催、参加人数216人、県民ふれあい会館） 令和7年度 570千円（見込み） （R7.9.28開催、参加人数252人、男女共同参画センター他） ・地域イベント 令和5年度 国府・用瀬・青谷（講演会等） 令和6年度 福部・河原・気高（講演会、ワークショップ等） 令和7年度 国府・佐治・鹿野（男性料理教室、講演会等）																					
一般会計																							
款	総務費																						
項	総務管理費																						
目	企画費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	743																						
本年度要求額	882																						
総務部長段階査定額	882	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	882																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	882																						
計	882																						
備考欄																							

人016	項目名	男女共同参画かがやき企業認定事業費	新規事業																				
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	167																				
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 男女共同参画課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076 【12次総の施策体系】2302 【事業の経過及び背景】 企業における子育てしやすい環境づくりの促進を目的として、平成20年度から実施していた「鳥取市次世代育成優秀企業認定」事業を、平成28年度から「鳥取市男女共同参画かがやき企業認定」事業とし、仕事と家庭の両立に配慮した働きやすい職場環境の整備や、だれもが個性と能力を生かして働くことのできる職場環境づくりを企業等に向けて働きかけている。 【事業の目的及び効果】 ワーク・ライフ・バランスの取組を推進することを目的に、だれもが働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を認定し、市報や公式ウェブサイト等で広く周知することにより、企業における男女共同参画や女性の活躍推進を図る。 【事業の内容】 男女共同参画及び女性の活躍推進に理解と意欲があり、だれもが働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる企業を男女共同参画かがやき企業として認定する。認定された企業等は、市報や機関紙、公式ウェブサイト等で公表することにより、安心して働くことのできる企業として認知されるほか、認定ロゴマークの使用、鳥取市建設工事入札参加資格者格付要綱による加点の付与などがある。 【事業の実績】 認定企業数 ※3年更新 令和5年度実績 55社（うち新規企業数10社） 令和6年度実績 66社（うち新規企業数11社） 令和7年度実績 74社（うち新規企業数9社）（見込み）																					
一般会計																							
款	総務費																						
項	総務管理費																						
目	企画費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	174																						
本年度要求額	153																						
総務部長段階査定額	153	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	153																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	153																						
計	153																						
備考欄																							

人017	項目名	女性応援つながりサポート事業費	新規事業
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	167
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 男女共同参画課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,000		
本年度要求額	1,000		
総務部長段階査定額	1,000		
市長段階査定額	1,000		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	750	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	250	財産収入	0
計	1,000	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076

【12次総の施策体系】2302

【事業の経過及び背景】
令和3年度に女性を対象として実施した「生理に関する悩みや困りごとのアンケート」により、妊娠・育児・更年期といったライフステージによる悩みだけでなく、人間関係など、さまざまな悩みや課題があることが分かった。
女性が抱える様々な困難や悩みに対応し、適切な支援につなげる必要がある。

【事業の目的及び効果】
悩みなどを自由に話せる機会や場所を提供することにより、不安を抱えている女性を支援し、悩みの解消や社会とのつながりの回復を図る。

【事業の内容】
・対面や電話、メール等による相談支援
・鳥取市男女共同参画センターを活用した相談支援・居場所づくり
・相談スタッフの育成

【事業の実績】
令和5年度：女性のライフステージをテーマとした講座、ワークショップ等
令和6年度：定期談話窓口の開設、オンラインでの相談受付、相談スタッフの育成等
相談件数118件
令和7年度：定期談話窓口の開設、オンラインや交流イベントでの相談受付、相談スタッフの育成等

人018	項目名	女性デジタル人材育成事業費	新規事業
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	167
年度	R8	所属名	総務部人権政策局 男女共同参画課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	3,180		
本年度要求額	3,738		
総務部長段階査定額	3,738		
市長段階査定額	3,738		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	2,803	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	935	財産収入	0
計	3,738	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076

【12次総の施策体系】2302

【事業の経過及び背景】
国は、令和4年4月に「女性デジタル人材育成プラン」を策定し、就労に結び付くデジタルスキルを身に付けた女性人材の育成の加速化を図ってきた。令和7年6月には、「新・女性デジタル人材育成プラン」が策定され、デジタルスキルを活かした女性活躍の具体的な姿をパターン化し、そのパターン別にデジタルスキルの向上やデジタル分野への就業支援などの支援メニューが示された。

【事業の目的及び効果】
デジタルスキルの習得と就労支援を行うことにより、時間的・場所的な制約の少ないデジタル分野での女性の人材育成に取り組み、就労機会の創出を図る。

【事業の内容】
リモートクリエイター講座の開催（デジタル基礎、画像・動画編集、AI活用等）
定員：20名

【事業の実績】
令和5年度：2,000千円
初心者でも学べるリモートワーク入門講座（4回）36名
就労体験（1回）3名
令和6年度：1,800千円
超初心者デジタル基礎講座（2回）13名
Webデザイン講座（3回）14名
就労体験（5回）4名
令和7年度：2,915千円
リモートクリエイター講座（23回）15名

予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	167
-------	-----------	-----	-----

年度	R8
----	----

所属名
総務部人権政策局 男女共同参画課

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

事業の概要
<p>【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076</p> <p>【12次総の施策体系】2302</p> <p>【事業の経過及び背景】 本市では、平成11年に初めて鳥取市男女共同参画いきいきプランを策定して以降、数次にわたってプランを策定し、男女共同参画社会を実現するための施策に取り組んできた。第5次男女共同参画かがやきプランの計画期間が令和8年度から始まるにあたり、着実に施策の推進を図っていく必要がある。</p> <p>【事業の目的及び効果】 市民自主企画事業の実施により民間の知見を活用し、男女共同参画に関する市民の意識啓発を図るとともに、鳥取市男女共同参画審議会での施策の進捗報告及び審議により、事業の着実な推進を図る。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民自主企画事業の実施 ・鳥取市男女共同参画審議会の開催

(単位:千円)

前年度当初予算額	0
----------	---

本年度要求額	545
--------	-----

総務部長段階査定額	545
-----------	-----

市長段階査定額	545
---------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	本年度予算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	545
	計	545

備考欄

危001	項目名	総合防災対策事業費	新規事業
予算書項目	総合防災対策費	ページ	171
年度	R8	所属名	危機管理部 危機管理課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	諸費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	5,574		
本年度要求額	9,009		
総務部長段階査定額	9,009		
市長段階査定額	9,009		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	561	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	8,448	
	計	9,009	
備考欄			
事業の概要			
【問合せ先】危機対策係 0857-30-8033、防災支援係 0857-30-8034			
【12次総の施策体系】4101			
【事業の経過及び背景】 災害を未然に防ぎ、発生時の被害を最小限に食い止めるため、総合的に防災体制を整備する必要がある。また、地域における防災体制の整備強化を行うことにより、災害時の被害軽減が可能となるため、住民に対する防災意識の啓発と防災情報の提供を強化していく必要がある。			
【事業の目的及び効果】 (1) 鳥取市防災会議の開催、鳥取市地域防災計画の作成・実施の推進 鳥取市地域防災計画を作成し、その実施を推進することや、市長の諮問に応じて市の地域に係る防災に関する重要事項を審議する。 (2) 住民への防災情報伝達、住民に対する防災意識の啓発 災害時における住民への情報伝達手段について、多種多様な方法により情報の発信を行い、住民へ情報提供を行う必要がある。 (3) 地域防災計画等の活用 地域防災計画、総合防災マップ等を活用し、防災意識・防災体制の強化を図る。 (4) 災害時相互応援協定締結都市との交流及び南海トラフ地震支援先都市との調整 災害時相互応援協定締結都市及び南海トラフ地震支援先都市と情報共有を行い、災害時の連携強化を図る。			
【事業の内容】 ・災害時応援協定締結都市との連携強化及び南海トラフ地震支援先都市との調整 ・防災啓発ラジオ番組制作、放送 ・防災啓発広告			
【事業の実績】 令和5年度 13,071千円 令和6年度 7,950千円 令和7年度 5,574千円 (見込み)			

危002	項目名	自主防災会連合会補助金	新規事業
予算書項目	総合防災対策費	ページ	171
年度	R8	所属名	危機管理部 危機管理課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	諸費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	22,680		
本年度要求額	23,001		
総務部長段階査定額	23,001		
市長段階査定額	23,001		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	3,808	
	地方債	4,800	
	その他	0	
	一般財源	14,393	
	計	23,001	
備考欄			
事業の概要			
【問合せ先】防災支援係 0857-30-8034			
【12次総の施策体系】4101			
【事業の経過及び背景】 本市では、平成18年度より、鳥取市全域の自主防災会連合会の組織化・統合の検討を行い、平成20年5月に組織統合を行った。以後、全市で同じ制度の下、自主防災組織の活性化を図っている。			
【事業の目的及び効果】 地域防災力の向上、災害に強いまちづくりを推進するため、地域に根ざした防災活動の育成、強化を図ることを目的とする。本事業は、鳥取市自主防災会連合会へ補助金を交付し、地域の各自主防災会等への活動助成、防災用資機材等の助成を行うなど、地域防災の体制や意識の向上の取組を進めている。			
【事業の内容】 各地区・地域自主防災会が実施する防災活動に対し助成を行うとともに、防災ポスターの作成や表彰等を行うなど、自主防災会活動の充実・組織育成強化、市民への防災意識の向上を図る。 ・自主防災組織が担う役割 (平常時) 防災訓練の実施、防災講習会の開催、防災広報の実施 (災害時) 初期消火活動、避難誘導、避難所運営、救出・救護等 ・各自主防災会への助成 (地区) 地区防災講習、地区防災訓練 (町内会) 結成時助成、結成時器具助成、活動助成、消火器購入助成 初期消火器具整備助成、小型ポンプ修繕費助成 小型ポンプ更新・新規購入助成			
【事業の実績】 令和5年度 22,868千円 令和6年度 24,441千円 令和7年度 22,680千円 (見込み)			

危003	項目名	自主防災会関係費	新規事業
予算書項目	総合防災対策費	ページ	171
年度	R8	所属名	危機管理部 危機管理課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 防災支援係 0857-30-8034	
款	総務費	【12次総の施策体系】 4101	
項	総務管理費	【事業の経過及び背景】	
目	諸費	本市は、平成8年に自主防災会連合会を発足させ、市町村合併に伴い平成20年度に旧市町村毎の自主防災会を統合した。しかし、自主防災会の会長は自治会長を兼任する場合が多く、1年交代が多いため、地域の防災に精通したリーダーを養成する必要がある。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	1,377	地区公民館を単位とし、地域から推薦を受けた者を防災指導員(委嘱)及び防災リーダー(登録制)として養成する。防災に関する知識を有し、地域の防災事情を認識している防災指導員及び防災リーダー等が中心となり、各地域において防災講習会や防災訓練を実施することで、地域の「自助」「共助」の取組と、地域の実情に応じたきめ細やかな防災対策を推進し、地域防災力の向上を図る。	
本年度要求額	1,357	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,357	(1) 防災リーダー養成研修の開催	
市長段階査定額	1,357	地域の防災リーダーとして必要な知識を習得するため、防災リーダー養成研修を開催する。3日間開催する研修の全講座受講完了者を防災リーダーとして登録する。	
区分	本年度予算額	(2) 防災リーダーフォローアップ研修の開催	
財源内訳		新たな知識や技能を習得し、防災リーダーとしての資質向上を図るための研修を実施する。	
国・県支出金	194	(3) 自主防災会訓練・研修への防災指導員、防災リーダーの派遣	
地方債	0	各自主防災会の研修・訓練等の講師・アドバイザー等として、防災指導員・防災リーダーを派遣する。	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	1,163	・ 防災指導員60名、防災リーダー850名(令和7年12月末現在)	
計	1,357	・ 防災リーダー養成研修	
		(令和5年度:3回、令和6年度:3回、令和7年度:3回)	
		・ 自主防災会訓練・研修への防災指導員、防災リーダーの派遣	
		・ 防災リーダーフォローアップ研修	
		(令和5年度:2回、令和6年度:2回、令和7年度:2回)	
備考欄			

危004	項目名	防災行政無線整備事業費	新規事業
予算書項目	総合防災対策費	ページ	171
年度	R8	所属名	危機管理部 危機管理課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 危機対策係 0857-30-8033	
款	総務費	【12次総の施策体系】 4101	
項	総務管理費	【事業の経過及び背景】	
目	諸費	平成18年より運用を開始した本市の防災行政無線(同報系)は、J-ALERT情報や避難情報など、災害時の緊急情報を迅速かつ確実に伝達する重要設備である。経年劣化により安定的な運用ができない恐れがあるため、計画的な更新整備を行う。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	124,500	防災行政無線が故障停止した場合、市民に対して適切に緊急情報を伝達することができず、市民の避難行動を支援することができなくなるため、機器の故障を未然に防止する必要がある。また、停電などにより他の通信手段が断絶した場合などにも、市民に情報を伝達することが可能であり、設備を健全な状態に保つことで市民の安全安心を確保する。	
本年度要求額	125,160	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	119,900	・ 屋外拡声子局更新(16基)	
市長段階査定額	119,900	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和5年度 屋外拡声子局更新(8基) 戸別受信機設置地域新設(8基)	
財源内訳		令和6年度 屋外拡声子局更新(20基) 小中義務教育学校戸別受信機更新(57台)	
国・県支出金	0	令和7年度 屋外拡声子局更新(20基) J-ALERT受信機更新	
地方債	119,900		
その他	0		
一般財源	0		
計	119,900		
備考欄			

危005	項目名	感震ブレーカー設置促進事業費	新規事業
予算書項目	総合防災対策費	ページ	171
年度	R8	所属名 危機管理部 危機管理課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】防災支援係 0857-30-8034		
款 総務費	【12次総の施策体系】4101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 令和6年1月発生の能登半島地震における輪島市での火災を受け、鳥取県は「鳥取県防災及び危機管理に関する基本条例」を改正し、地震に対する安全性向上を目的として行う感震ブレーカーの導入等を県民の責務と位置付けた。併せて、市町村を通じた住民が感震ブレーカーの設置を行う場合に必要となる費用への間接補助制度を創設した。		
目 諸費	【事業の目的及び効果】 鳥取県感震ブレーカー設置促進事業に呼応し、市民が感震ブレーカーを設置するために必要となる経費の一部を助成することで、感震ブレーカーの設置を促進し、震災時の通電火災による出火を防止し、延焼を防ぐことで、火災被害や災害時の消防力の維持を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 電気工事が必要な感震ブレーカー(分電盤タイプ)を住居に設置しようとする世帯に対し、必要な経費の一部を助成する。		
前年度当初予算額	4,000	【事業の実績】 令和6年度 41件 令和7年度 71件(見込み)	
本年度要求額	1,600		
総務部長段階査定額	1,600	【事業の内容】 電気工事が必要な感震ブレーカー(分電盤タイプ)を住居に設置しようとする世帯に対し、必要な経費の一部を助成する。	
市長段階査定額	1,600		
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和6年度 41件 令和7年度 71件(見込み)	
財源内訳			
国・県支出金	800		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	800		
計	1,600		
備考欄			

危006	項目名	総合防災訓練費	新規事業
予算書項目	総合防災訓練費	ページ	171
年度	R8	所属名 危機管理部 危機管理課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】危機対策係 0857-30-8033		
款 総務費	【12次総の施策体系】4101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では、鳥取大地震(昭和18年)が発生した9月10日に、鳥取市総合防災訓練を毎年実施している。令和8年度は地震発生から83年目となる。		
目 諸費	【事業の目的及び効果】 本事業は、地震災害を想定し、防災関係機関及び地域住民の参加協力を得て、地域の防災体制が十分その機能を発揮するよう訓練するものである。本訓練の実施により、市民の防災意識の高揚及び防災関係機関との連携強化を図るとともに、地域の災害対応力の向上に資するものである。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・被災者救出訓練・避難所開設訓練・保健医療訓練・防災啓発展示ほか 令和8年度は末恒地区、青谷地区で実施予定		
前年度当初予算額	2,164	【事業の実績】 令和5年度 被災者救出訓練・自衛隊炊き出し訓練・防災啓発展示ほか 令和6年度 被災者救出訓練・防災ヘリ物資輸送訓練・防災啓発展示ほか 令和7年度 被災者救出訓練・保健医療訓練・防災啓発展示ほか (稲葉山地区、佐治地区)	
本年度要求額	1,604		
総務部長段階査定額	1,604		
市長段階査定額	1,604		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,604		
計	1,604		
備考欄			

危007	項目名	防災備蓄事業費	新規事業
予算書項目	防災備蓄事業費	ページ	171
年度	R8	所属名	危機管理部 危機管理課
会計名		事業の概要 【問合せ先】危機対策係 0857-30-8033 【12次総の施策体系】4101 【事業の経過及び背景】 平成12年に発生した鳥取県西部地震をきっかけに、県及び県内市町村が災害時に必要となる物資の品目、数量を定め全県で共同して備蓄を行うこととなった物（連携備蓄）のほか、市独自に災害時に必要となる物資の備蓄（独自備蓄）を行う。 【事業の目的及び効果】 災害時に必要となる物資の備蓄。県内市町村が共同して備蓄し、災害時には被害のない市町村から被災した市町村に物資を供給する相互救援体制をとることにより、備蓄する量を抑えることができる。 【事業の内容】 市町村連携備蓄の更新及び市民の需要が高い物資について独自に備蓄を行う。 【事業の実績】 (1) 市町村連携備蓄品について定期的に調達・更新し、本市の目標数量の備蓄を行う。 令和5年度～令和7年度：乾パン等、アルファ米、粉・液体ミルク等の定量更新分について更新 (2) 過去の災害経験や市民からの需要が高い物資について本市独自に備蓄を進める。 令和5年度 分散備蓄更新用にロールボックスなどを調達 令和6年度 車椅子利用者等歩行が困難な方のために空気応用担架を調達 令和7年度 女性避難者、ペット同行避難者用などの備蓄品を調達 (3) 災害発生時に速やかにかつ安全、確実に物資の搬出ができるよう、保管している物資の整理を行うほか、電動パレットトラックの安定稼働のための定期保守を実施する。 令和5年度～令和7年度：倉庫内物資整理業務委託、パレットトラック保守業務委託	
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	諸費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	7,215		
本年度要求額	10,380		
総務部長段階査定額	7,891	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
市長段階査定額	7,891		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	1,048		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	6,843		
計	7,891		
備考欄			

危008	項目名	防災ラジオ整備事業費	新規事業
予算書項目	防災ラジオ整備事業費	ページ	171
年度	R8	所属名	危機管理部 危機管理課
会計名		事業の概要 【問合せ先】危機対策係 0857-30-8033 【12次総の施策体系】4101 【事業の経過及び背景】 本市では、緊急情報の主たる発信手段として、防災行政無線を使用している。しかし、屋外拡声子局を主整備とする防災行政無線は、環境音や住家の気密性に屋外拡声子局の音声が届きにくいため、屋内情報伝達の必要性が高まり、緊急情報の新たな伝達手段を整備するもの。 【事業の目的及び効果】 防災行政無線やJ-ALERTなどの緊急情報伝達装置と連動した防災ラジオが利用できるようFM鳥取放送局内の整備等を行い、併せて防災ラジオ端末の普及促進を行うことで、防災情報の発信力を向上させるもの。 【事業の内容】 防災ラジオの販売委託。 【事業の実績】 令和5年度 5,846千円 販売数量 558台 令和6年度 4,753千円 販売数量 493台 令和7年度 5,942千円 販売数量 500台（見込み） ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	諸費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	5,942		
本年度要求額	3,901		
総務部長段階査定額	3,901	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 3,901 諸収入 0 その他 0	
市長段階査定額	3,901		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	3,901		
一般財源	0		
計	3,901		
備考欄			

危009	項目名	消防ポンプ車購入費	新規事業
------	-----	-----------	------

予算書項目	消防ポンプ等購入費	ページ	263
-------	-----------	-----	-----

年度	R8
----	----

所属名	危機管理部 危機管理課
-----	----------------

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

事業の概要

【問合せ先】 消防企画係 0857-30-8032

【1 2次総の施策体系】 4101

【事業の経過及び背景】
消防団の消防ポンプの中には、配備から20年以上経過しているものがある。老朽化により、火災時に支障が出ることがないように、年次的に更新していく必要がある。

【事業の目的及び効果】
消防ポンプを更新することにより、作業効率が向上し、火災時における被害の軽減を図ることができる。

【事業の内容】
消防ポンプ車（2台）・小型消防ポンプ（1台）の購入

【事業の実績】

令和5年度	消防ポンプ自動車更新 松保、用瀬社	小型動力消防ポンプ更新 末恒、松保、豊実
令和6年度	気高第2、青谷第4	大和、明治
令和7年度	大和、河原第2	神戸、明治、末恒

(単位:千円)

前年度当初予算額	71,174
----------	--------

本年度要求額	66,174
--------	--------

総務部長段階査定額	66,174
-----------	--------

市長段階査定額	66,174
---------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	66,000
その他	0
一般財源	174
計	66,174

備考欄

企001	項目名	若者定住促進事業費	新規事業																				
予算書項目	総合企画費	ページ	167																				
年度	R8	所属名	企画推進部 政策企画課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013																						
款 総務費	【12次総の施策体系】 1101																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少・少子高齢化が進行する中、鳥取市をはじめ麒麟のまち圏域が連携し、将来にわたって継続・発展していくための、若者定住につながる施策に取り組むことが求められている。現在、「すごい！鳥取市婚活サポートセンター」の対象者を麒麟のまち圏域に拡大し「麒麟のまち婚活サポートセンター」として運営している。																						
目 企画費	【事業の目的及び効果】 結婚を希望する男女の「婚活」を支援することにより、結婚による若者の定住を促進し、圏域の人口増加を図る。																						
(単位:千円)	【事業の内容】 麒麟のまち婚活サポートセンターの運営を委託し、出会いの機会の創出を図るとともに、成婚へつながるようサポートを行う。 ・婚活・カップル対象イベントの開催 ・会員対象サークル活動 ・各種セミナーの開催 など																						
前年度当初予算額	10,106	【事業の実績】																					
本年度要求額	11,930	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【事業費】</th> <th>【会員数】</th> <th>【カップル成立数】</th> <th>【成婚者】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>9,286千円</td> <td>2,373人</td> <td>100組</td> <td>(内会員同士) 21人(1組)</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>12,683千円</td> <td>2,560人</td> <td>77組</td> <td>22人(4組)</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>9,906千円</td> <td>2,755人</td> <td>38組</td> <td>19人(1組)</td> </tr> </tbody> </table>			【事業費】	【会員数】	【カップル成立数】	【成婚者】	令和5年度	9,286千円	2,373人	100組	(内会員同士) 21人(1組)	令和6年度	12,683千円	2,560人	77組	22人(4組)	令和7年度	9,906千円	2,755人	38組	19人(1組)
	【事業費】	【会員数】	【カップル成立数】	【成婚者】																			
令和5年度	9,286千円	2,373人	100組	(内会員同士) 21人(1組)																			
令和6年度	12,683千円	2,560人	77組	22人(4組)																			
令和7年度	9,906千円	2,755人	38組	19人(1組)																			
総務部長段階査定額	11,930	※令和7年度は12月末実績 会員同士の成婚数 累計48組(平成26年度～令和7年12月末) ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																					
市長段階査定額	11,930	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>5,152</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	5,152	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	5,152																						
諸収入	0																						
その他	0																						
区分	本年度予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>国・県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>5,152</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>6,778</td></tr> <tr><td>計</td><td>11,930</td></tr> </tbody> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	5,152	一般財源	6,778	計	11,930								
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	5,152																						
一般財源	6,778																						
計	11,930																						
財源内訳		備考欄																					

企002	項目名	若者による地方創生政策推進事業費	新規事業																				
予算書項目	総合企画費	ページ	167																				
年度	R8	所属名	企画推進部 政策企画課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】 企画調整係 0857-30-8012																						
款 総務費	【12次総の施策体系】 3201																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では、平成27年度から始まった地方創生の取組を受けて、従前の「鳥取市若者会議」を見直して、平成28年4月から、若者の視点による地方創生に向けた取組の深化を図ることを目的に、「とっとり若者地方創生会議」を設置している。																						
目 企画費	【事業の目的及び効果】 若者自らが、地方創生に関する調査・研究を行い、若者の視点による必要な施策を市に提言することで、本市の地方創生に向けた取組の進化を図る。																						
(単位:千円)	【事業の内容】 公募や団体推薦により集まった若者により「とっとり若者地方創生会議」を組織し、年間を通じた会議や視察、イベントなどの調査・研究活動を通じて、若者定住やまちの賑わいづくりに資する施策を取りまとめ、市に提言する。 ・会議の開催 20回 ・補助金を活用した事業の実施 1回																						
前年度当初予算額	857	【事業の実績】																					
本年度要求額	928	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【事業費】</th> <th>【委員】</th> <th>【会議】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>402千円</td> <td>9名(大学生7名・専門学校生2名)</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>559千円</td> <td>9名(大学生7名・専門学校生2名)</td> <td>29回</td> </tr> <tr> <td>令和7年度(見込み)</td> <td>849千円</td> <td>13名(大学生8名・大学院生2名・社会人3名)</td> <td>20回</td> </tr> </tbody> </table>			【事業費】	【委員】	【会議】	令和5年度	402千円	9名(大学生7名・専門学校生2名)	25回	令和6年度	559千円	9名(大学生7名・専門学校生2名)	29回	令和7年度(見込み)	849千円	13名(大学生8名・大学院生2名・社会人3名)	20回				
	【事業費】	【委員】	【会議】																				
令和5年度	402千円	9名(大学生7名・専門学校生2名)	25回																				
令和6年度	559千円	9名(大学生7名・専門学校生2名)	29回																				
令和7年度(見込み)	849千円	13名(大学生8名・大学院生2名・社会人3名)	20回																				
総務部長段階査定額	928	※会議の回数には成果発表会1回を含む。																					
市長段階査定額	928	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
区分	本年度予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>国・県支出金</td><td>171</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>757</td></tr> <tr><td>計</td><td>928</td></tr> </tbody> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	171	地方債	0	その他	0	一般財源	757	計	928								
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	171																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	757																						
計	928																						
財源内訳		備考欄																					

企003	項目名	麒麟のまち創生推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	167
年度	R8	所属名	企画推進部 政策企画課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	3,574		
本年度要求額	3,139		
総務部長段階査定額	3,139		
市長段階査定額	3,139		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	1,193	
	地方債	0	
	その他	211	
	一般財源	1,735	
	計	3,139	
備考欄			

事業の概要			
【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013			
【12次総の施策体系】 0101			
【事業の経過及び背景】 鳥取市と岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町の1市6町は、連携中核都市圏を形成し、人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域の持続的発展を目指し、広域連携による取組を進めている。			
【事業の目的及び効果】 麒麟のまち創生戦略会議と連携中核都市圏ビジョン懇談会による連携中核都市圏ビジョンの進捗管理を行う。 また、圏域住民の地域愛着度向上を目的として、圏域住民に向けた圏域各市町の相互理解を図るエリアプロモーションに取り組む。			
【事業の内容】			
・麒麟のまち創生戦略会議の開催 3回			
・連携中核都市圏ビジョン懇談会の開催 2回			
・エリアプロモーション事業 麒麟のまち聖地巡礼デジタルスタンプラリー 2,608千円			
【事業の実績】			
	[事業費]	[創生戦略会議]	[ビジョン懇談会]
令和5年度	2,836千円	3回	2回
令和6年度	3,232千円	3回	2回
令和7年度(見込み)	3,574千円	3回	2回
			[エリアプロモーション]
			2,512千円
			2,986千円
			3,014千円
※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			

企004	項目名	環境大学運営費交付金	新規事業
予算書項目	公立大学法人運営事業費	ページ	169
年度	R8	所属名	企画推進部 政策企画課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	625,612		
本年度要求額	657,085		
総務部長段階査定額	657,085		
市長段階査定額	657,085		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	68,200	
	その他	0	
	一般財源	588,885	
	計	657,085	
備考欄			

事業の概要			
【問合せ先】 企画調整係 0857-30-8012			
【12次総の施策体系】 1201			
【事業の経過及び背景】 地方独立行政法第42条第1項の規定に基づき、公立鳥取環境大学の共同設置者の鳥取県と鳥取市は、同大学に対して運営費交付金等を交付している(鳥取県及び鳥取市の負担額は1/2ずつ)。			
【事業の目的及び効果】 公立鳥取環境大学の安定的な運営を図るとともに、授業料等への支援が必要な学生の経済的負担の軽減を図る。			
【事業の内容】 大学運営に必要な経費の一部について運営費交付金を交付するとともに、大規模な修繕等の経費に対して施設整備費補助金を交付する。また、高等教育の修学支援新制度に係る経費に対して授業料等減免費交付金を交付する。			
・運営費交付金 481,947千円			
・施設整備費交付金 68,346千円			
・授業料等減免費交付金 106,792千円			
【事業の実績】			
	[運営費交付金]	[施設整備補助金]	[授業料等減免費交付金]
令和5年度	430,591千円	39,802千円	41,390千円
令和6年度	502,225千円	19,673千円	43,823千円
令和7年度(見込み)	495,737千円	42,311千円	106,792千円

企005	項目名	明治大学連携事業費	新規事業
予算書項目	明治大学連携事業費	ページ	169
年度	R8	所属名	企画推進部 政策企画課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	339		
本年度要求額	1,035		
総務部長段階査定額	1,035		
市長段階査定額	1,035		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	1,035	財産収入	0
計	1,035	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012

【12次総の施策体系】3201

【事業の経過及び背景】
明治大学は、創立者出身地の3地域（鳥取県・天童市・鯖江市）と連携協力に関する協定を締結し、連携を推進している。明治大学の前身である明治法律学校の創立者の1人であり、初代校長を務めた岸本辰雄氏が鳥取市出身であることから、平成28年11月13日に鳥取市と明治大学の連携協力に関する協定書を締結した。

【事業の目的及び効果】
本市の有する歴史・文化・産業・自然と、明治大学の有する知的財産・人材を有機的に活用することで、相互の交流と発展を図る。

【事業の内容】
・教育分野
明治大学の教員による市民向け連携講座の開催
・地域連携分野
明治大学「創立者出身地への学生派遣プログラム」の受入
・その他の分野
創立者3地域連絡会への参加
・協定締結10周年記念事業
本市と明治大学とのゆかりの人物に関するパネル展・特別講座の開催

【事業の実績】

	[事業費]
令和5年度	249千円（連携講座2回、学生派遣1回、連絡会1回）
令和6年度	338千円（連携講座2回、学生派遣1回、連絡会1回）
令和7年度（見込み）	339千円（連携講座2回、学生派遣1回、連絡会1回）

企006	項目名	まちなか交流広場管理費	新規事業
予算書項目	まちなか交流広場管理費	ページ	169
年度	R8	所属名	企画推進部 政策企画課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,653		
本年度要求額	14,414		
総務部長段階査定額	14,277		
市長段階査定額	14,277		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	161	負担金	0
地方債	0	使用料	2
その他	2	手数料	0
一般財源	14,114	財産収入	0
計	14,277	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012

【12次総の施策体系】3402

【事業の経過及び背景】
市役所旧本庁舎跡地に整備を進めている緑地広場やイベント広場、駐車場を備えた「鳥取市まちなか交流広場」は令和8年3月の供用開始を予定している。

【事業の目的及び効果】
鳥取市まちなか交流広場の管理運営を行うことで、市民の交流を推進し、中心市街地の賑わい創出を図るとともに、市民の防災意識の高揚に資する。

【事業の内容】
鳥取市まちなか交流広場の運営管理を、指定管理者への委託と直接管理により行う。

1 指定管理
(1) 指定管理者：一般財団法人鳥取市教育福祉振興会
(2) 指定期間：令和8年3月1日～令和11年3月31日（3年1か月）
(3) 業務範囲：施設、設備の維持管理業務（施設の清掃、植栽管理等）
施設使用に関する業務等
(4) 委託料：8,713千円
財源：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

2 直接管理
(1) 光熱水費・駐車場機器管理費・Wi-Fi管理費等：5,564千円

【事業の実績】

	[指定管理]	[直接管理]	[合計]
令和7年度（見込み）	829千円	837千円	1,666千円

※その他財源の使用料は、広場使用料・駐車場使用料

企007	項目名	市政広報費	新規事業
予算書項目	市政広報費	ページ	163
年度	R8	所属名	企画推進部 秘書課
会計名		事業の概要 【問合せ先】広報室 0857-30-8008 【12次総の施策体系】0104 【事業の経過及び背景】 市民が様々な場面や手段で市政情報を容易に取得できるよう、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ、SNSなど様々なメディアを活用して情報提供を行っている。 【事業の目的及び効果】 様々なメディア・SNS等が持つ特性を生かし、市政情報を市民に発信することは、本市の広報戦略上重要な課題であり、効果的な情報発信・提供を行い、市政情報の市民への浸透を図る。 【事業の内容】 (1) ケーブルテレビ：行政情報番組を毎週金・土曜日に30分放送 延べ20回×年50本。その他企画番組 (2) 新聞等：記事下・折込み広告等に市政情報を掲載。市長鼎談記事を年1回掲載 (3) テレビ：スポットCM及び企画番組 (4) ラジオ：FM鳥取の番組（市政広報、イベント情報など） (5) SNS：LINE、YouTube動画等を活用した市政関連情報の発信 【事業の実績】 令和5年度 55,940千円 令和6年度 55,623千円 令和7年度 69,410千円（見込み） ※その他財源の諸収入は、広告料収入	
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	文書広報費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	69,410		
本年度要求額	58,914		
総務部長段階査定額	56,449	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 209 その他 0	
市長段階査定額	56,449		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 209		
	一般財源 56,240		
	計 56,449		
備考欄			

企008	項目名	国際交流費	新規事業	○
予算書項目	国際交流促進費	ページ	167	
年度	R8	所属名	企画推進部 文化交流課	
会計名		事業の概要 【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022 【12次総の施策体系】0104 【事業の経過及び背景】 姉妹都市である韓国・清州市やドイツ・ハーナウ市、交流都市である中国・延辺朝鮮族自治州、本市に縁のあるブラジル鳥取県人会などとの国際交流を推進している。これまでに培われた関係性を基盤としつつ、経済をはじめとする幅広い分野において交流の拡大・深化を図る必要がある。 【事業の目的及び効果】 官民が連携しつつ、姉妹都市や交流都市などとの交流を推進することにより、市民の国際意識の高揚、相互理解の増進、関係・交流人口の拡大を図るとともに、外国人住民支援団体などとの連携を深めることにより、多文化共生のまちづくりの推進を図ることで、地域の活性化につなげる。 【事業の内容】 (1) 国際姉妹・交流都市などとの連携調整、交流事業の実施 ・ブラジル鳥取県人会創立75周年・会館建設30周年記念式典、 第二アリアンサ鳥取村入村100周年記念式典への参加<新規> ・ハーナウ市民訪問団歓迎<新規> (2) 外国人住民支援団体等との連携 【事業の実績】 令和5年度 交流事業 (ハーナウ関係) 市民団体のオンライン交流会 (清州市関係) 市民団体の鳥取市訪問、文化交流など 令和6年度 交流事業 (ハーナウ関係) 市民団体のオンライン交流会 (清州市関係) 市民団体の清州市訪問、文化交流など 令和7年度 交流事業 (ハーナウ関係) 市民団体のオンライン交流会 (清州市関係) 市民団体の鳥取市訪問、文化交流など		
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	企画費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	1,118			
本年度要求額	7,122			
総務部長段階査定額	6,333	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0		
市長段階査定額	6,333			
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 6,333			
	計 6,333			
備考欄				

企009	項目名	国内都市交流総合推進費	新規事業
予算書項目	国内交流推進費	ページ	167
年度	R8	所属名	企画推進部 文化交流課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	5,082		
本年度要求額	1,251		
総務部長段階査定額	1,095		
市長段階査定額	1,095		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,095	
	計	1,095	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022	
【12次総の施策体系】0104	
【事業の経過及び背景】 姉妹都市である北海道釧路市、兵庫県姫路市、山口県岩国市、福島県郡山市、歴史的なつながりや共通するテーマなどがある他都市、各地域の県人会などの交流を推進している。これまでに培われた関係性を基盤としつつ、経済をはじめとする幅広い分野において交流の拡大・深化を図る必要がある。	
【事業の目的及び効果】 官民が連携しつつ、姉妹都市などとの交流を促進することにより、相互理解の増進、関係・交流人口の拡大を図ることで、地域の活性化につなげる。	
【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会との交流事業 ・鳥取市施設入館無料キャンペーン（姉妹都市市民向け） ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
【事業の実績】 令和5年度 4,622千円 ・各県人会総会参加、釧路市と姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市と和紙交流 ・お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン（釧路・姫路市市民） 令和6年度 1,437千円 ・各県人会総会参加、郡山市制施行100周年記念式典参加、郡山市と和紙交流 ・お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン（国内姉妹都市市民） 令和7年度 5,082千円（見込み） ・各県人会総会参加、岩国30周年・郡山市20周年姉妹都市提携周年記念事業、郡山市と和紙交流 ・お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン（国内姉妹都市市民）	

企010	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	277
年度	R8	所属名	企画推進部 文化交流課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	社会教育費		
目	文化振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	8,962		
本年度要求額	5,603		
総務部長段階査定額	5,209		
市長段階査定額	5,209		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	348	
	地方債	0	
	その他	3,779	
	一般財源	1,082	
	計	5,209	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021	
【12次総の施策体系】3301	
【事業の経過及び背景】 少子・高齢化の進行などにより、文化芸術団体の構成員や伝統文化の保存団体が減少している。地域の文化芸術活動の持続・発展のため、活動者に対する支援や新たな担い手を発掘・育成していく必要がある。	
【事業の目的及び効果】 文化芸術団体などの活動に対する支援を行うとともに、青少年に優れた芸術を鑑賞する機会を提供することにより、豊かな人間性の育成や将来の文化芸術の担い手の育成を図ることで、本市の文化芸術の持続・発展につなげる。	
【事業の内容】 (1) 児童生徒を対象とした文化芸術事業 伝統芸能の鑑賞、演劇ワークショップ等 (2) 文化団体の育成 鳥取市文化団体協議会に対し、活動拠点である「文化活動ひろば」の運営管理費のほか文化団体の組織化のため、会報制作費を支援する。また、鳥取市文化団体協議会や新市域文化団体組織（連合体）に所属する団体の公立文化施設の施設使用料等を減額する。 (3) 地元作家による作品の収蔵に関する検討会議<新規>	
【事業の実績】 令和5年度 7,358千円（（1）4校、（2）3事業） 令和6年度 7,812千円（（1）11校、（2）4事業） 令和7年度 8,962千円（（1）4校、（2）6事業）（見込み） ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

企011	項目名	文化芸術推進事業補助金	新規事業																		
予算書項目	文化振興費	ページ	277																		
年度	R8	所属名	企画推進部 文化交流課																		
会計名		事業の概要 【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021 【12次総の施策体系】3301 【事業の経過及び背景】 本市では、様々な分野の文化芸術団体や伝統文化の保存団体などが活動を行っている。地域の文化芸術活動の持続・発展に向けて、これら市民主体の活動を促進していく必要がある。 【事業の目的及び効果】 市民による文化芸術に関する活動や、伝統文化の保存活動に対する支援を行うことにより、地域の文化芸術活動の持続・発展につなげる。 【事業の内容】 (1) 童謡唱歌100曲マラソン事業 童謡・唱歌の普及を図るとともに、音楽団体間の交流と親睦を促進する。 (2) 文化芸術活動支援補助金 文化芸術団体が実施する事業に対し支援を行い、活動の継続と発展を図る。 (3) アートスタート活動支援事業補助金 0歳から就学前の乳幼児を対象とした公演等を支援し、次世代育成を図る。 (4) 伝統郷土芸能保存用具整備事業補助金 伝統郷土芸能団体の活動に必要な用具の補修等を支援し、保存継承を図る。 【事業の実績】 令和5年度 18件 令和6年度 19件 令和7年度 17件（見込み） ※その他の財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																			
一般会計																					
款	教育費																				
項	社会教育費																				
目	文化振興費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	10,377																				
本年度要求額	8,080																				
総務部長段階査定額	8,080	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>6,364</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	6,364	諸収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	6,364																				
諸収入	0																				
その他	0																				
市長段階査定額	8,080																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳	国・県支出金	1,716																			
	地方債	0																			
	その他	6,364																			
	一般財源	0																			
	計	8,080																			
備考欄																					

企012	項目名	舞台芸術X地域活性化事業費	新規事業																		
予算書項目	文化振興費	ページ	277																		
年度	R8	所属名	企画推進部 文化交流課																		
会計名		事業の概要 【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021 【12次総の施策体系】3201 【事業の経過及び背景】 鳥の劇場は、演劇を中心に多彩なプログラムを提供する鳥の演劇祭を開催するなど、本市の文化芸術の振興、地域の賑わい創出などに寄与している。本市は、鳥の劇場、県、地域と連携し、鳥の劇場の舞台芸術を核とした地域活性化に向けた取組を推進している。 【事業の目的及び効果】 他地域にはない固有の資源である鳥の劇場、舞台芸術を生かした人材育成、交流促進、賑わい創出などの取組を一体的に推進することにより、演劇を起点とした文化芸術の振興と関係人口等の増加を図る。 【事業の内容】 鳥の劇場を主会場とする鳥の演劇祭の開催支援。 【事業の実績】 令和5年度 文化交流拠点施設等整備事業他 58,748千円 鳥の演劇祭開催支援 1,000千円 令和6年度 文化交流拠点施設等整備事業他 123,114千円 鳥の演劇祭開催支援 2,500千円 令和7年度 文化交流拠点施設等整備事業他 29,948千円（見込み） 鳥の演劇祭/B e s e T o開催支援 2,500千円（見込み） ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																			
一般会計																					
款	教育費																				
項	社会教育費																				
目	文化振興費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	32,448																				
本年度要求額	2,082																				
総務部長段階査定額	2,082	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>2,082</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	2,082	諸収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	2,082																				
諸収入	0																				
その他	0																				
市長段階査定額	2,082																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳	国・県支出金	0																			
	地方債	0																			
	その他	2,082																			
	一般財源	0																			
	計	2,082																			
備考欄																					

企013	項目名 麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費		新規事業
予算書項目	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費	ページ	277
年度	R8	所属名 企画推進部 文化交流課	
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	社会教育費		
目	文化振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	18,844		
本年度要求額	14,473		
総務部長段階査定額	14,473		
市長段階査定額	14,473		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	6,636	
	地方債	0	
	その他	1,200	
	一般財源	6,637	
	計	14,473	
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021

【12次総の施策体系】3301

【事業の経過及び背景】
令和元年5月の「日本遺産」認定を受け、麒麟のまち圏域1市6町とその観光協会、一般社団法人麒麟のまち観光局で設立した「日本遺産『麒麟のまち』推進協議会」を中心に麒麟のまち圏域の活性化に向けて情報発信や普及啓発などの取組を推進している。

【事業の目的及び効果】
日本遺産ストーリーや構成文化財の情報発信、来訪者の受入体制の充実などに取り組むことにより、麒麟のまち圏域への来訪者の増加、圏域内での周遊の促進、住民意識の高揚を図ることで、圏域の活性化につなげる。

【事業の内容】
日本遺産ストーリー構成文化財等を活用した誘客事業などの強化に取り組むとともに、日本遺産「麒麟のまち」推進協議会が実施する情報発信、商品造成、普及啓発などの事業に要する経費を補助する。

【事業の実績】
令和5年度 2,400千円
令和6年度 3,600千円
令和7年度 18,844千円（見込み）

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

企014	項目名 出合い・つながり・花ひらく文化芸術推進事業費		新規事業 ○
予算書項目	出合い・つながり・花ひらく文化芸術推進事業費	ページ	277
年度	R8	所属名 企画推進部 文化交流課	
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	社会教育費		
目	文化振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	20,322		
総務部長段階査定額	20,322		
市長段階査定額	20,322		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	10,161	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	10,161	
	計	20,322	
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021

【12次総の施策体系】3301

【事業の経過及び背景】
文化芸術の薫りあふれるまち鳥取市を目指し、様々な文化芸術施策を推進しているところであり、コロナ禍以降は芸術家等への支援を重点的に行ってきた。今後は、次世代育成の取組や、芸術家等の自立に向けた取組を進めていく必要がある。

【事業の目的及び効果】
様々な文化芸術活動を行う芸術家、芸術家団体が次世代育成の取組や幅広く芸術に触れ合う機会を創出するなど、より多くの市民が文化芸術に出会い、つながり、豊かな心や興味が花ひらくよう本市の文化芸術の振興を進める。

【事業の内容】

- ・鳥取市芸術家バンク登録者活動促進事業委託
芸術家バンク登録者を学校等に派遣し、文化芸術体験を行う。
- ・未来創造アートプロジェクト委託事業
若者協働による美術展を開催し、若い芸術家の意欲向上を図る。
- ・演劇による次世代育成事業
演劇を活用したワークショップ等により、次世代育成を図る。
- ・花ひらく次世代育成事業
0歳から高校生を対象とした文化芸術体験による、次世代育成を図る。
- ・アートマネジメント講座委託事業
文化芸術団体や市民を対象とした講座等を開催し、文化芸術へのつながりを創出する。

企015	項目名	鳥取城跡周辺日本遺産にぎわい形成事業費	新規事業	○
------	-----	---------------------	------	---

予算書項目	鳥取城跡周辺日本遺産にぎわい形成事業費	ページ	277
-------	---------------------	-----	-----

所属名	企画推進部 文化交流課
-----	----------------

年度	R8
----	----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

事業の概要	
【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021	
【12次総の施策体系】3301	
【事業の経過及び背景】 鳥取城跡周辺エリアは、中ノ御門全体復元や仁風閣の改築などの取組により、今後も鳥取城跡と太閤ヶ平への注目が集まることが想定される。日本遺産の構成文化財でもある鳥取城跡の周辺エリアのにぎわいにつなげる誘客への取組が求められる。	
【事業の目的及び効果】 鳥取城跡周辺のにぎわいを形成するため、今後整備予定のビジターセンターにおける誘客の取組を進めることで、関係人口の増加と日本遺産「麒麟のまち」の理解と深化につなげる。	
【事業の内容】 ビジターセンターにおける麒麟獅子3D情報発信 麒麟獅子頭3Dデータ取得事業 3,960千円	

(単位:千円)

前年度当初予算額	0
----------	---

本年度要求額	3,960
--------	-------

総務部長段階査定額	3,960
-----------	-------

市長段階査定額	3,960
---------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	1,980
地方債	0
その他	0
一般財源	1,980
計	3,960

備考欄	
-----	--

企016	項目名	市民会館施設管理費	新規事業	
------	-----	-----------	------	--

予算書項目	施設管理費	ページ	279
-------	-------	-----	-----

所属名	企画推進部 文化交流課
-----	----------------

年度	R8
----	----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	市民会館管理費

事業の概要	
【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021	
【12次総の施策体系】3301	
【事業の経過及び背景】 1967年（昭和42年）から鳥取市民会館の運営を行っており、市民の文化芸術活動の拠点の一つとなっている。2010年（平成22年）に耐震改修などを実施したものの、老朽化が進行していることから、適正な維持管理と併せて今後の方向性を検討する必要がある。	
【事業の目的及び効果】 市民の文化芸術活動などの拠点の1つとして市民会館の適正な管理運営を行うことにより、施設の機能維持を図ることで、利用者の安全・安心や利便性の確保につなげる。	
【事業の内容】 鳥取市民会館の管理運営業務 指定管理者：一般財団法人 鳥取市教育福祉振興会 （期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日） ・指定管理（鳥取市教育福祉振興会）による市民会館の適切な管理運営 ・空調等改修工事、バリアフリー改修実施設計等	
財源：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	
【事業の実績】 令和5年度 45,537人 令和6年度 43,224人 令和7年度 52,000人（見込み）	

(単位:千円)

前年度当初予算額	47,538
----------	--------

本年度要求額	317,431
--------	---------

総務部長段階査定額	44,967
-----------	--------

市長段階査定額	44,967
---------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	1,564
地方債	0
その他	0
一般財源	43,403
計	44,967

備考欄	
-----	--

企017	項目名	国際交流プラザ管理運営費	新規事業	
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	167	
年度	R8	所属名 企画推進部 国際交流プラザ		
会計名				
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	企画費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	8,039			
本年度要求額	8,698			
総務部長段階査定額	8,698			
市長段階査定額	8,698			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	8,698	手数料	0
	計	8,698	財産収入	0
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	0	
		その他	0	
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253

【12次総の施策体系】2304

【事業の経過及び背景】
日本人住民と外国人住民の相互理解や国際交流を促進するため、1997年（平成9年）から国際交流プラザの運営を行っている。本市の多文化共生のまちづくりを推進するうえで、今後も中心的な役割を担うことが期待されている。

【事業の目的及び効果】
本市における国際交流・多文化共生の推進の拠点として当該施設を運営することにより、市民の国際意識の醸成、相互理解の増進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。

【事業の内容】
英語及び中国語担当職員を配置し、外国人住民向けの情報発信や相談業務、国際理解講座などの運営を行う。

【事業の実績】
令和5年度 1,313件 17,026人
令和6年度 1,459件 18,365人
令和7年度 1,463件 20,213人（見込み）

企018	項目名	在住外国人支援事業費	新規事業	
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	167	
年度	R8	所属名 企画推進部 国際交流プラザ		
会計名				
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	企画費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	201			
本年度要求額	201			
総務部長段階査定額	201			
市長段階査定額	201			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	201	手数料	0
	計	201	財産収入	0
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	0	
		その他	0	
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253

【12次総の施策体系】2304

【事業の経過及び背景】
「世界に開かれた交流都市鳥取」の理念のもと、国際交流の推進、国際感覚豊かな人づくりや多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。日本人住民も外国人住民も多文化共生の意義を理解し、互いに安心・安全に暮らしていくため、地域における共生意識の醸成に向けた取組が求められている。

【事業の目的及び効果】
外国人住民の日本語習得に対する支援や交流機会を創出することにより、外国人住民の日本社会に対する理解の推進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。

【事業の内容】
(1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語指導ボランティア登録者への講習会の開催など資質の向上を図る。
(2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」を実施する。

【事業の実績】
令和5年度 日本語ボランティア活動者 45人
講習会（1回）参加人数 9人
令和6年度 日本語ボランティア活動者 27人
講習会（1回）参加人数 5人
にほんごカフェ（13回） 99人
令和7年度 日本語ボランティア活動者 25人
講習会（1回）参加人数 10人
（見込み） にほんごカフェ（14回） 100人

企019	項目名	市民国際理解推進事業費	新規事業																				
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	167																				
年度	R8	所属名	企画推進部 国際交流プラザ																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253 【12次総の施策体系】2304 【事業の経過及び背景】 「世界に開かれた交流都市鳥取」の理念のもと、国際交流の推進、国際感覚豊かな人づくりや多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。日本人住民も外国人住民も多文化共生の意義を理解し、互いに安心・安全に暮らしていくため、地域における共生意識の醸成に向けた取組が求められている。 【事業の目的及び効果】 市民が外国の言語や生活文化・習慣などについて学ぶ機会を創出することにより、国際感覚の醸成や外国人住民に対する理解の推進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。 【事業の内容】 国際交流プラザで国際理解講座（国際クッキング教室、講演会、ミニ講座、展示会）や交流イベントの開催、外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語）などを実施する。 【事業の実績】 (1) 国際理解講座（参加人数） 令和5年度 33人 令和6年度 28人 令和7年度 50人（見込み） (2) 語学講座（受講人数） 令和5年度 46人 令和6年度 43人 令和7年度 44人																					
一般会計																							
款	総務費																						
項	総務管理費																						
目	企画費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	311																						
本年度要求額	311																						
総務部長段階査定額	311	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	311																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	311																					
	計	311																					
備考欄																							

企020	項目名	地域情報化推進費	新規事業																				
予算書項目	地域情報化推進費	ページ	167																				
年度	R8	所属名	企画推進部 デジタル戦略課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026 【12次総の施策体系】0102 【事業の経過及び背景】 地域情報化推進のため、通信ネットワーク、携帯電話、コミュニティFMなどの情報通信基盤及び行政サービスを提供してきた。 【事業の目的及び効果】 地域情報化推進のため、情報化に関する情報収集を行うとともに、総合行政ネットワーク、鳥取情報ハイウェイ市町村アクセス網、地域イントラネット、公衆無線LAN、携帯電話用鉄塔等の各種情報通信基盤及び情報提供システム等の適切な管理を行う。 ① 市民、地域とのコミュニケーションの促進 ・ 公共施設、地区公民館等のインターネット環境及び公衆無線LAN環境整備 ・ 「地域ふれあいサイト」（地区ホームページ）の運用 ・ コミュニティスタジオの管理 ② 学校施設における快適な情報教育環境の実現 ・ インターネット環境整備 ③ ICTを活用した各種行政サービスの提供による市民の利便性の向上 ・ 「とっとり施設予約サービス」の管理 ④ 携帯電話鉄塔・伝送路の維持管理 ⑤ コミュニティFM中継局の維持管理 ⑥ デジタルデバйд対策事業 【事業の内容】 (1) 地域イントラネット（学校、地区公民館等拠点接続）、公衆無線LANの整備及び管理 (2) とっとり施設予約サービスの管理 (3) 電柱共架設備の管理（イントラネット関係、総合行政ネットワーク関係） (4) 携帯電話用鉄塔・伝送路の借地維持管理 【事業の実績】 令和5年度 28,986千円 令和6年度 33,143千円 令和7年度 32,102千円（見込み） ※その他財源の諸収入は、携帯電話伝送路使用料、コミュニティFM中継局設備使用料																					
一般会計																							
款	総務費																						
項	総務管理費																						
目	企画費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	32,102																						
本年度要求額	31,159																						
総務部長段階査定額	30,057	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>802</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	802	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	802																						
その他	0																						
市長段階査定額	30,057																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	2,900																					
	その他	802																					
	一般財源	26,355																					
	計	30,057																					
備考欄																							

企021	項目名	超高速情報通信基盤整備事業費	新規事業
予算書項目	有線テレビジョン放送施設管理費	ページ	167
年度	R8	所属名	企画推進部 デジタル戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【12次総の施策体系】0102		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	市民生活に必要な不可欠な社会基盤の1つとして超高速情報通信網が必要となったことを受け、本市が所有する有線テレビジョン放送施設の光化を年次的に実施してきた。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	286,901	本市が所有する有線テレビジョン放送施設の耐災害性強化、老朽化及び高速化対応のため、有線テレビジョン放送施設のF T T H化を実施し、令和5年度末に全エリアの幹線及び局舎の整備が完了した。今後は、旧設備からの切替を行い、切替が完了したエリアより順次、旧設備の撤去を進めていく。	
本年度要求額	131,603	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	131,603	旧設備から切り替えるための引込・宅内修繕を実施するとともに、切替が完了したエリアより順次、旧設備の撤去を実施する。	
市長段階査定額	131,603	旧CATV設備撤去 青谷町 引込宅内修繕 用瀬町、佐治町、気高町、鹿野町	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和5年度 引込宅内修繕 224,246千円 CATV設備光化【国府町西部・河原町】 1,162,788千円 令和6年度 引込宅内修繕 240,582千円 旧CATV設備撤去【河原町】 56,639千円 令和7年度 引込宅内修繕 176,011千円(見込み) 旧CATV設備撤去【国府町】 58,110千円(見込み)	
国・県支出金	0		
地方債	131,600		
その他	0		
一般財源	3		
計	131,603		
備考欄			

企022	項目名	次期基幹システム構築事業費	新規事業
予算書項目	住民情報システム管理費	ページ	173
年度	R8	所属名	企画推進部 デジタル戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報システム係 0857-30-8027		
款 総務費	【12次総の施策体系】0103		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 電算処理費	地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の制定により、地方公共団体における事務処理内容の共通性や住民利便性の向上、地方行政運営の効率化の観点から、対象となる住民基本台帳、個人住民税等の20業務のシステムを標準準拠システムへ移行することとなった。その移行期限は令和7年度末と定められていたが、期限までに移行が完了しないシステム(特定移行支援システム)が全国的に多くあることなどにより、国は、移行期限を令和12年度末に延長した。		
(単位:千円)	本市においても、対象20業務全てが事業者都合により特定移行支援システムとなったことから、令和10年度の移行に向けて取組を進める。		
前年度当初予算額	0	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	58,166	令和10年度に国が示す標準準拠システムの仕様に適したシステムへの移行及び環境構築を実施し、行政運営の効率化とサービス品質の向上を目指す。	
総務部長段階査定額	52,688	【事業の内容】	
市長段階査定額	52,688	(1) 標準準拠システムへの移行事業者の選定 (2) ガバメントクラウドの利用環境整備 (3) ガバメントクラウド接続に伴う庁内ネットワーク整備 (4) 標準準拠システムと関連業務システムの連携方針検討	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和6年度 1,333千円 令和7年度 0千円	
国・県支出金	52,688		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	52,688		
備考欄			

企023	項目名	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会事業費	新規事業
予算書項目	電算事務費	ページ	173
年度	R8	所 属 名	企画推進部 デジタル戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【12次総の施策体系】0103		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 電算処理費	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会会則（平成27年5月12日施行） " 広域連携協約（平成28年4月1日締結） 鳥取市と鳥取県との間の地方公共団体における情報通信技術の共同化に関する事務の委託に関する規約（平成29年4月1日施行）		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	24,748	会員が相互に連携・共同した取組により、人口減少社会に対応する行政体制の維持、事務の効率化を目指し、業務や情報システムの標準化、共同化による経費削減のほか、情報システム運用上の安全性の確保、人材育成等に資することを目的とする。	
本年度要求額	18,286	名称：鳥取県自治体ICT共同化推進協議会 会員の構成：鳥取県、鳥取県内市町村	
総務部長段階査定額	18,286	【事業の内容】	
市長段階査定額	18,286	(1) 全会員または特定の会員が共同で取り組む情報システムの整備及び運用等に関すること	
区分	本年度予算額	(2) 情報セキュリティに係る脅威に対する適切な対策に関すること	
財源内訳		(3) 行政職員におけるICT分野の人材育成に関すること	
国・県支出金	0	(4) その他協議会の目的達成に必要な事業	
地方債	0	① 行政インフラシステム（協議会調達）利用期間：R4.12～R9.11	
その他	0	② 電子申請・届出システム（協議会調達）利用期間：R5.4～R10.3	
一般財源	18,286	③（鳥取・岡山）自治体セキュリティクラウド（鳥取県調達）利用期間：R4.4～R9.3	
計	18,286	④ インターネット回線の共同調達（鳥取県調達）利用期間：③と同じ	
		⑤ 統合型GIS（協議会調達）利用期間：R8.4～R13.3	
備考欄		【事業の実績】	
		令和5年度 11,378千円	
		令和6年度 11,562千円	
		令和7年度 22,148千円（見込み）	

企024	項目名	自治体行政スマート事業推進費	新規事業
予算書項目	情報通信技術利活用促進事業費	ページ	173
年度	R8	所 属 名	企画推進部 デジタル戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【12次総の施策体系】0103		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 電算処理費	多様化する市民サービスと労働力不足の課題への対策として、ICT技術を利用した次世代情報システムの導入に向けた調査・検討を進めてきた。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	7,894	多様化する市民サービスと労働力不足の課題への対策として、ICT技術を利用した次世代情報システム(AI、RPA)を活用し、行政事務の効率化と市民サービスの向上を図るとともに、これまで人手で行ってきた業務に対し次世代情報システムの利用及び行政手続のオンライン化を進めることで、事務の省力化、効率化、高速化を実現し、職員負担の軽減による働き方改革につなげる。	
本年度要求額	14,324	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	7,606	(1) RPAツールの運用	
市長段階査定額	7,606	RPAを活用した事務の自動化により事務の効率化を進め、職員の負担軽減を図る。	
区分	本年度予算額	(2) AIツールの運用	
財源内訳		会議の議事録作成や紙文書のデータ化にAIを活用し事務の効率化を進め、職員の負担軽減を図る。	
国・県支出金	0	(3) 行政手続のオンライン化	
地方債	0	マイナポータル経由で受付した電子申請情報を住民情報系システムに取込を行うことで、行政手続の効率化を図る。	
その他	0	(4) Web会議システムの運用	
一般財源	7,606	【事業の実績】	
計	7,606	令和5年度 35,976千円	
		令和6年度 7,873千円	
		令和7年度 7,894千円（見込み）	
備考欄			

市001	項目名	人材誘致・定住促進対策事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	167
年度	R8	所 属 名	市民生活部 地域振興課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】移住定住促進係 0857-30-8173	
款 総務費		【12次総の施策体系】3201、3403	
項 総務管理費		【事業の経過及び背景】 移住に関する各種情報の収集、発信を強化するとともに、相談者への伴走型支援を行うため、平成18年に「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」を設置し、専任相談員を配置した。さらに「鳥取市移住・交流情報ガーデン」の設置、お試し定住体験施設の運営、各種支援制度の実施により、移住定住の促進を図ってきた。	
目 企画費		【事業の目的及び効果】 移住希望者が「選ぶまち、住みたいまち」となるよう、就業・生活・住宅等の情報提供や相談対応を総合的・戦略的に行うとともに、県外に進学等で転出した若者に訴求するための取組やブッシュ型の取組の実施により、単年度あたりの移住者520人を目標に移住定住の促進に取り組む。	
(単位:千円)		【事業の内容】 ・移住相談窓口及び鳥取市移住・交流情報ガーデンの設置、移住相談会への出展 ・移住定住専用ポータルサイトの運営及び地域おこし協力隊による戦略的情報発信 ・鳥取暮らしを体験できるお試し定住体験施設の管理運営 ・移住定住空き家運営業務の地域団体への委託、空き家利活用の各種支援 ・各種補助金による移住支援	
前年度当初予算額	53,651	【事業の実績】 (1) 相談対応延べ件数 令和5年度842件 令和6年度1,381件 令和7年度1,053件(12月末時点) (2) 窓口相談登録世帯数 令和5年度233世帯 令和6年度272世帯 令和7年度181世帯(12月末時点) (3) 移住者数 令和5年度471人 令和6年度508人 令和7年度279人(12月末時点)	
本年度要求額	66,769	※その他財源の諸収入は、お試し定住体験施設体験料	
総務部長段階査定額	65,180	【事業の内容】	
市長段階査定額	65,180	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
財源内訳		【事業の実績】	
国・県支出金	13,917	【事業の内容】	
地方債	0	【事業の実績】	
その他	216	【事業の内容】	
一般財源	51,047	【事業の実績】	
計	65,180	【事業の内容】	
備考欄		【事業の実績】	

市002	項目名	とっとり・つながり創出事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	167
年度	R8	所 属 名	市民生活部 地域振興課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】移住定住促進係 0857-30-8173	
款 総務費		【12次総の施策体系】3201	
項 総務管理費		【事業の経過及び背景】 関係人口の創出を目的に「とっとり・つながりインフルエンサーグランプリ」を令和6年度より開始。移住定住・関係人口創出につながる情報発信を継続している。	
目 企画費		【事業の目的及び効果】 県外に進学等で転出する前の若者との関係を創出・継続することで、将来的なUターンや関係人口の創出が期待される。また、県外の若者世代が市内事業者で仕事をしながら旅をする仕組み(越境アルバイト)の活用により、事業者の働き手確保と地域活性化、関係人口創出が図られる。	
(単位:千円)		【事業の内容】 高校生がSNSを活用し麒麟のまち圏域の魅力発信を行うとっとり・つながりインフルエンサーグランプリの開催。県外の働き手が一定期間当市内の事業者で仕事を行い地域を体験する越境アルバイトの実施。	
前年度当初予算額	1,224	【事業の実績】 ・とっとり・つながりインフルエンサーグランプリ 令和6年度 第1回 参加者数 13組 80人 フォロワー数915人 令和7年度 第2回 参加者数 7組130人 フォロワー数2,278人(1月20日時点) ・越境アルバイト(おてつたび) 令和7年度 活用事業者数2事業者 参加者数 9名(見込み)	
本年度要求額	1,702	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,375	【事業の実績】	
市長段階査定額	1,375	【事業の内容】	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
財源内訳		【事業の実績】	
国・県支出金	532	【事業の内容】	
地方債	0	【事業の実績】	
その他	0	【事業の内容】	
一般財源	843	【事業の実績】	
計	1,375	【事業の内容】	
備考欄		【事業の実績】	

市003	項目名 輝く中山間地域創出事業費		新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	167
年度	R8	所属名	市民生活部 地域振興課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	4,257		
本年度要求額	5,470		
総務部長段階査定額	4,670		
市長段階査定額	4,670		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	2,300		
その他	1,110		
一般財源	1,260		
計	4,670		
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】 振興係 0857-30-8172

【12次総の施策体系】 3403

【事業の経過及び背景】
過疎化・高齢化等による中山間地域の様々な課題を解決し、地域を活性化させる住民の取組を支援するため、平成22年度に「輝く中山間地域創出モデル事業」を創設した。平成30年度からはむらとまちとの交流による中山間地域の活性化も併せて支援している。

【事業の目的及び効果】
中山間地域の活性化に向けて地域住民自ら行う活性化計画策定及び計画に基づいたソフト事業、中山間地域の資源を活用したむらとまちの交流を支援する。
※令和8年度は計画策定2件、ソフト事業6件、里山交流事業1件を見込んでいる。

【事業の内容】
＜補助金交付＞
計画策定：補助率10/10、補助金上限 100千円
ソフト事業：補助率8/10、補助金上限 2,000千円（最大3年間、累計2,000千円）
里山交流：補助率10/10、補助金上限 100千円

【事業の実績】

	計画策定	ソフト事業	里山交流	事業費計
令和5年度	—	6団体	1交流1団体	1,958千円
令和6年度	1団体	7団体	—	3,902千円
令和7年度	2団体	4団体	—	2,686千円（見込み）

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

市004	項目名 過疎地域振興事業費		新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	167
年度	R8	所属名	市民生活部 地域振興課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	3,050		
本年度要求額	3,050		
総務部長段階査定額	3,050		
市長段階査定額	3,050		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	3,000		
その他	0		
一般財源	50		
計	3,050		
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】 振興係 0857-30-8172

【12次総の施策体系】 3403

【事業の経過及び背景】
中山間地域・過疎地域の活性化を地域の中心となって進める人材養成を推進する。

【事業の目的及び効果】
過疎地域・中山間地域が抱える様々な課題に対して、様々な活動を通じて地域が元気になる地域づくりや地域の活性化に積極的に取り組む個人や団体などを「地域のリーダー」として養成することを目的とする。

【事業の内容】
テーマ別専門ゼミ（講座）の実施により、地域の課題についてより専門的なノウハウ・スキルを身につけるとともに、エリア別地域ゼミを開催することで、各地域のニーズや課題に対応し、問題解決・地域活性化へとつなげる。

【事業の実績】

令和5年度	3,047千円	リーダー認定者26名
令和6年度	3,036千円	リーダー認定者15名
令和7年度	3,042千円	（見込み）

市005	項目名	中山間地域・買い物支援事業費	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	167
年度	R8	所属名	市民生活部 地域振興課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】振興係 0857-30-8172	
款	総務費	【12次総の施策体系】3403	
項	総務管理費	【事業の経過及び背景】	
目	企画費	中山間地域における買い物困難地域の解消を図るため、平成24年度に鳥取市中山間地域・買い物支援事業補助金交付要綱を制定した。平成26年度には佐治地域で移動販売車と見守り活動を組み合わせた買い物福祉サービスモデル事業を開始し、平成29年度からは地域拡大して支援している。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	15,958	本市の中山間地域において、移動販売車等の買い物支援に係る取組や、移動販売と見守りを組み合わせた買い物福祉サービスの取組を支援することにより、買い物困難地域における買い物環境の改善を図るとともに、住民が中山間地域で安心して暮らすための環境づくりを目指す。	
本年度要求額	14,770	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	14,703	導入助成 補助率 10/10 (県1/2、市1/2) 補助金上限3,000千円 運営助成 補助率 10/10 (県1/2、市1/2) 補助金上限2,000千円 買物福祉 補助率 10/10 (県1/2、市1/2) 補助金上限3,700千円 ※令和8年度は運営支援2件、買物福祉5件を見込んでいる。	
市長段階査定額	14,703	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	導入支援 運営支援 買物福祉 事業費計	
財源内訳		令和5年度 1件 4件 3件 10,977千円	
国・県支出金	7,349	令和6年度 ー 4件 3件 9,543千円	
地方債	3,500	令和7年度 1件 3件 4件 15,958千円 (見込み)	
その他	0		
一般財源	3,854		
計	14,703		
備考欄			

市006	項目名	地域の魅力創出事業費	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	167
年度	R8	所属名	市民生活部 地域振興課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】振興係 0857-30-8172	
款	総務費	【12次総の施策体系】3201	
項	総務管理費	【事業の経過及び背景】	
目	企画費	鳥取市及び隣接する自治体を跨いだ長距離を自転車で行き、豊かな自然景観や地元の特産品を楽しむためのイベントを官民連携して毎年開催している。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	1,000	新市域の課題解決や地域資源を活かした新たな魅力創出にあたり、鳥取市と隣接する自治体が連携することで、より大きな成果が見込まれるものについて、その取組を支援する。	
本年度要求額	1,000	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,000	鳥取市・岩美町・八頭町が連携し、参加者が自転車で巡りながら、豊かな自然や美味しいグルメを楽しむイベントを開催することで周遊観光の取組を推進する。併せて本市の「自転車が行きやすい、走ってみたいまち」というイメージを全国に発信する実行委員会の活動を支援する。	
市長段階査定額	1,000	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	実走者数 補助金計	
財源内訳		令和5年度 530名 1,000千円	
国・県支出金	0	令和6年度 464名 1,000千円	
地方債	0	令和7年度 381名 1,000千円 (見込み)	
その他	0		
一般財源	1,000		
計	1,000		
備考欄			

市007	項目名 グリーンツーリズム推進事業費		新規事業																																												
予算書項目	特色あるまちづくり推進事業費	ページ	169																																												
年度	R8	所属名 市民生活部 地域振興課																																													
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>会計名</td><td></td></tr> <tr><td>一般会計</td><td></td></tr> <tr><td>款</td><td>総務費</td></tr> <tr><td>項</td><td>総務管理費</td></tr> <tr><td>目</td><td>企画費</td></tr> </table>		会計名		一般会計		款	総務費	項	総務管理費	目	企画費	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">事業の概要</td></tr> <tr><td colspan="2">【問合せ先】 振興係 0857-30-8172</td></tr> <tr><td colspan="2">【12次総の施策体系】 3403</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の経過及び背景】 本市の中山間地域では、豊かな自然や風景、地域ではぐくまれた特産物、固有の伝統芸能や文化財など多様な地域資源を生かし、都市住民との交流を行うグリーンツーリズムが各地域で実施されている。これらの取組を民間団体等との協働のもと推進している。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の目的及び効果】 グリーンツーリズムを「都市と農村の共生」による地域活性化の有効な手段と位置づけ、グリーンツーリズムに取り組む民間団体及び中山間地域において体験型民泊事業に取り組む事業者の支援を行うことにより中山間地域の地域活性化を図る。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の内容】 グリーンツーリズムに取り組む関係団体との連携や、中山間地域における体験型民泊を展開する事業者支援等を通じ、農山漁村の活性化に取り組む。 隔年で武蔵野市家族自然体験交流事業を受け入れ、佐治地域・河原地域西郷地区における体験型民泊の活性化につなげる。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の実績】</td></tr> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">【連絡会補助】</td> <td style="text-align:center;">【民泊補助】</td> <td style="text-align:center;">【武蔵野交流】</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td style="text-align:center;">119千円 1件</td> <td style="text-align:center;">2,104千円 1件</td> <td style="text-align:center;">-</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td style="text-align:center;">99千円 1件</td> <td style="text-align:center;">-</td> <td style="text-align:center;">833千円 1件</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td style="text-align:center;">120千円 1件</td> <td style="text-align:center;">1,500千円 1件</td> <td style="text-align:center;">-</td> </tr> <tr><td colspan="4">※その他財源の諸収入は、親子ふれあい自然体験負担金</td></tr> </table>		事業の概要		【問合せ先】 振興係 0857-30-8172		【12次総の施策体系】 3403		【事業の経過及び背景】 本市の中山間地域では、豊かな自然や風景、地域ではぐくまれた特産物、固有の伝統芸能や文化財など多様な地域資源を生かし、都市住民との交流を行うグリーンツーリズムが各地域で実施されている。これらの取組を民間団体等との協働のもと推進している。		【事業の目的及び効果】 グリーンツーリズムを「都市と農村の共生」による地域活性化の有効な手段と位置づけ、グリーンツーリズムに取り組む民間団体及び中山間地域において体験型民泊事業に取り組む事業者の支援を行うことにより中山間地域の地域活性化を図る。		【事業の内容】 グリーンツーリズムに取り組む関係団体との連携や、中山間地域における体験型民泊を展開する事業者支援等を通じ、農山漁村の活性化に取り組む。 隔年で武蔵野市家族自然体験交流事業を受け入れ、佐治地域・河原地域西郷地区における体験型民泊の活性化につなげる。		【事業の実績】			【連絡会補助】	【民泊補助】	【武蔵野交流】	令和5年度	119千円 1件	2,104千円 1件	-	令和6年度	99千円 1件	-	833千円 1件	令和7年度	120千円 1件	1,500千円 1件	-	※その他財源の諸収入は、親子ふれあい自然体験負担金			
会計名																																															
一般会計																																															
款	総務費																																														
項	総務管理費																																														
目	企画費																																														
事業の概要																																															
【問合せ先】 振興係 0857-30-8172																																															
【12次総の施策体系】 3403																																															
【事業の経過及び背景】 本市の中山間地域では、豊かな自然や風景、地域ではぐくまれた特産物、固有の伝統芸能や文化財など多様な地域資源を生かし、都市住民との交流を行うグリーンツーリズムが各地域で実施されている。これらの取組を民間団体等との協働のもと推進している。																																															
【事業の目的及び効果】 グリーンツーリズムを「都市と農村の共生」による地域活性化の有効な手段と位置づけ、グリーンツーリズムに取り組む民間団体及び中山間地域において体験型民泊事業に取り組む事業者の支援を行うことにより中山間地域の地域活性化を図る。																																															
【事業の内容】 グリーンツーリズムに取り組む関係団体との連携や、中山間地域における体験型民泊を展開する事業者支援等を通じ、農山漁村の活性化に取り組む。 隔年で武蔵野市家族自然体験交流事業を受け入れ、佐治地域・河原地域西郷地区における体験型民泊の活性化につなげる。																																															
【事業の実績】																																															
	【連絡会補助】	【民泊補助】	【武蔵野交流】																																												
令和5年度	119千円 1件	2,104千円 1件	-																																												
令和6年度	99千円 1件	-	833千円 1件																																												
令和7年度	120千円 1件	1,500千円 1件	-																																												
※その他財源の諸収入は、親子ふれあい自然体験負担金																																															
(単位:千円) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>前年度当初予算額</td><td style="text-align:right;">120</td></tr> <tr><td>本年度要求額</td><td style="text-align:right;">3,101</td></tr> <tr><td>総務部長段階査定額</td><td style="text-align:right;">2,675</td></tr> <tr><td>市長段階査定額</td><td style="text-align:right;">2,675</td></tr> </table>		前年度当初予算額	120	本年度要求額	3,101	総務部長段階査定額	2,675	市長段階査定額	2,675	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">その他財源の内訳</td></tr> <tr><td>分担金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td style="text-align:right;">888</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	888	その他	0																
前年度当初予算額	120																																														
本年度要求額	3,101																																														
総務部長段階査定額	2,675																																														
市長段階査定額	2,675																																														
その他財源の内訳																																															
分担金	0																																														
負担金	0																																														
使用料	0																																														
手数料	0																																														
財産収入	0																																														
寄付金	0																																														
繰入金	0																																														
諸収入	888																																														
その他	0																																														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">区分</td></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td style="text-align:right;">1,000</td></tr> <tr><td>地方債</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align:right;">888</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td style="text-align:right;">787</td></tr> <tr><td>計</td><td style="text-align:right;">2,675</td></tr> </table>		区分		国・県支出金	1,000	地方債	0	その他	888	一般財源	787	計	2,675																																		
区分																																															
国・県支出金	1,000																																														
地方債	0																																														
その他	888																																														
一般財源	787																																														
計	2,675																																														
備考欄																																															

市008	項目名 地域おこし協力隊定住・定着支援事業費		新規事業																														
予算書項目	新市場特別振興費	ページ	169																														
年度	R8	所属名 市民生活部 地域振興課																															
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>会計名</td><td></td></tr> <tr><td>一般会計</td><td></td></tr> <tr><td>款</td><td>総務費</td></tr> <tr><td>項</td><td>総務管理費</td></tr> <tr><td>目</td><td>企画費</td></tr> </table>		会計名		一般会計		款	総務費	項	総務管理費	目	企画費	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">事業の概要</td></tr> <tr><td colspan="2">【問合せ先】 振興係 0857-30-8172</td></tr> <tr><td colspan="2">【12次総の施策体系】 3403</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の経過及び背景】 平成26年度より地域おこし協力隊を配置し、地域の様々な課題解決の取組を促進することにより地域活性化を図っている。また、3年の任期を終了した隊員17名のうち10名が引き続き本市内に定住している(令和7年12月末現在)。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の目的及び効果】 地域おこし協力隊の、任期終了後の定住に要する経費の一部を支援することにより、円滑な定住を図る。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の内容】 ・定住奨励金 : 定額150千円 ・家賃補助 : 補助率 1/2、補助金上限 月額27千円 ・住宅修繕等補助: 補助率10/10、補助金上限 300千円 ・起業等経費補助: 補助率10/10、補助金上限 1,000千円 ※令和8年度は、定住奨励金1件、家賃補助2件、住宅修繕等補助1件、起業等経費補助1件を見込んでいる。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の実績】</td></tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td style="text-align:center;">家賃補助3件</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td style="text-align:center;">家賃補助2件</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td style="text-align:center;">定住奨励金1件、家賃補助1件(見込み)</td> </tr> </table>		事業の概要		【問合せ先】 振興係 0857-30-8172		【12次総の施策体系】 3403		【事業の経過及び背景】 平成26年度より地域おこし協力隊を配置し、地域の様々な課題解決の取組を促進することにより地域活性化を図っている。また、3年の任期を終了した隊員17名のうち10名が引き続き本市内に定住している(令和7年12月末現在)。		【事業の目的及び効果】 地域おこし協力隊の、任期終了後の定住に要する経費の一部を支援することにより、円滑な定住を図る。		【事業の内容】 ・定住奨励金 : 定額150千円 ・家賃補助 : 補助率 1/2、補助金上限 月額27千円 ・住宅修繕等補助: 補助率10/10、補助金上限 300千円 ・起業等経費補助: 補助率10/10、補助金上限 1,000千円 ※令和8年度は、定住奨励金1件、家賃補助2件、住宅修繕等補助1件、起業等経費補助1件を見込んでいる。		【事業の実績】		令和5年度	家賃補助3件	令和6年度	家賃補助2件	令和7年度	定住奨励金1件、家賃補助1件(見込み)
会計名																																	
一般会計																																	
款	総務費																																
項	総務管理費																																
目	企画費																																
事業の概要																																	
【問合せ先】 振興係 0857-30-8172																																	
【12次総の施策体系】 3403																																	
【事業の経過及び背景】 平成26年度より地域おこし協力隊を配置し、地域の様々な課題解決の取組を促進することにより地域活性化を図っている。また、3年の任期を終了した隊員17名のうち10名が引き続き本市内に定住している(令和7年12月末現在)。																																	
【事業の目的及び効果】 地域おこし協力隊の、任期終了後の定住に要する経費の一部を支援することにより、円滑な定住を図る。																																	
【事業の内容】 ・定住奨励金 : 定額150千円 ・家賃補助 : 補助率 1/2、補助金上限 月額27千円 ・住宅修繕等補助: 補助率10/10、補助金上限 300千円 ・起業等経費補助: 補助率10/10、補助金上限 1,000千円 ※令和8年度は、定住奨励金1件、家賃補助2件、住宅修繕等補助1件、起業等経費補助1件を見込んでいる。																																	
【事業の実績】																																	
令和5年度	家賃補助3件																																
令和6年度	家賃補助2件																																
令和7年度	定住奨励金1件、家賃補助1件(見込み)																																
(単位:千円) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>前年度当初予算額</td><td style="text-align:right;">231</td></tr> <tr><td>本年度要求額</td><td style="text-align:right;">1,855</td></tr> <tr><td>総務部長段階査定額</td><td style="text-align:right;">1,855</td></tr> <tr><td>市長段階査定額</td><td style="text-align:right;">1,855</td></tr> </table>		前年度当初予算額	231	本年度要求額	1,855	総務部長段階査定額	1,855	市長段階査定額	1,855	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">その他財源の内訳</td></tr> <tr><td>分担金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0		
前年度当初予算額	231																																
本年度要求額	1,855																																
総務部長段階査定額	1,855																																
市長段階査定額	1,855																																
その他財源の内訳																																	
分担金	0																																
負担金	0																																
使用料	0																																
手数料	0																																
財産収入	0																																
寄付金	0																																
繰入金	0																																
諸収入	0																																
その他	0																																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">区分</td></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td style="text-align:right;">1,855</td></tr> <tr><td>計</td><td style="text-align:right;">1,855</td></tr> </table>		区分		国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	1,855	計	1,855																				
区分																																	
国・県支出金	0																																
地方債	0																																
その他	0																																
一般財源	1,855																																
計	1,855																																
備考欄																																	

市009	項目名 小さな拠点整備事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ 169
年度	R8	所 属 名 市民生活部 地域振興課
会計名	事業の概要	
一般会計	【問合せ先】 振興係 0857-30-8172	
款 総務費	【12次総の施策体系】 3403	
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 中山間地域においては、人口減少と高齢化の進展を背景に、集落機能の維持等の課題がある。そのため、中山間地域に生活する人々が安心して暮らし続けるための生活サービス、支え合いを住民が主体となって取り組む「小さな拠点」づくりを推進する必要性が増している。	
目 企画費	【事業の目的及び効果】 持続可能な地域の活性化を図るため、小さな拠点の立ち上げや機能の充実、将来的に活動を担っていくリーダーの育成を支援し、持続的な運営を構築する。	
(単位:千円)	【事業の内容】 小さな拠点促進支援事業の担い手育成（気高町浜村地区）に係る経費を助成する。 ※補助率10/10（県間接補助1/2、市1/2）、補助金上限 3,000千円	
前年度当初予算額	3,000	【事業の実績】 令和5年度 2,500千円（気高町逢坂地区） 令和6年度 5,200千円（気高町逢坂地区、浜村地区） 令和7年度 3,000千円（気高町浜村地区）（見込み）
本年度要求額	3,000	
総務部長段階査定額	3,000	
市長段階査定額	3,000	
区分	本年度予算額	その他財源の内訳
財源内訳		分担金 0
国・県支出金	1,500	負担金 0
地方債	0	使用料 0
その他	0	手数料 0
一般財源	1,500	財産収入 0
計	3,000	寄付金 0
		繰入金 0
		諸収入 0
		その他 0
備考欄		

市010	項目名 地域振興未来会議運営費	新規事業
予算書項目	地域振興未来会議費	ページ 169
年度	R8	所 属 名 市民生活部 地域振興課
会計名	事業の概要	
一般会計	【問合せ先】 振興係 0857-30-8172	
款 総務費	【12次総の施策体系】 3403	
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 令和6年度末をもって終了した地域振興会議に代わり、総合支所エリア（8地域）に地域振興未来会議を設置。	
目 企画費	【事業の目的及び効果】 地域住民が主体となって地域課題の解決に向けて議論するとともに、持続可能な地域共生社会のまちづくりを推進し、地域未来プランの進捗管理を行うため、地域振興未来会議を設置する。	
(単位:千円)	【事業の内容】 8地域の地域振興未来会議の開催に要する経費。 ・年6回程度開催	
前年度当初予算額	4,119	【事業の実績】 地域振興未来会議（8地域）の開催回数の合計 令和7年度 年5～6回開催/各地域
本年度要求額	4,309	
総務部長段階査定額	4,149	
市長段階査定額	4,149	
区分	本年度予算額	その他財源の内訳
財源内訳		分担金 0
国・県支出金	0	負担金 0
地方債	2,500	使用料 0
その他	0	手数料 0
一般財源	1,649	財産収入 0
計	4,149	寄付金 0
		繰入金 0
		諸収入 0
		その他 0
備考欄		

市011	項目名	地域づくり懇談会開催費	新規事業
予算書項目	対話行政費	ページ	161
年度	R8	所属名	市民生活部 協働推進課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-30-8176	
款	総務費	【12次総の施策体系】2305	
項	総務管理費	【事業の経過及び背景】 昭和47年度から、地域の課題解決のため市民と市長が直接意見交換する場を設け、平成30年度からは、地域が目指すまちづくり等をテーマに意見交換を行っている。令和5年度から、「地域の未来づくり懇談会」として市民と幹部職員等が意見交換を行っている。	
目	一般管理費	【事業の目的及び効果】 市内のすべての地区において「まちづくり協議会」が設立され、地域課題解決のために様々な事業が展開されている中、将来を見据えた地域のあり方、市の施策や市政の展望などについて、地域の方と幹部職員等が意見交換することで、「協働のまちづくり」の推進を図り、もって市政の一層の発展を目指すことを目的とする。	
(単位:千円)		【事業の内容】 地域コミュニティ計画に掲げられている地域の目標等について、地域住民と直接意見交換する懇談会を開催する。令和8年度においては、21地区が開催の対象となっている。	
前年度当初予算額	14	【事業の実績】 令和5年度 6地区 令和6年度 13地区 令和7年度 10地区	
本年度要求額	14		
総務部長段階査定額	14	【事業の内容】 地域コミュニティ計画に掲げられている地域の目標等について、地域住民と直接意見交換する懇談会を開催する。令和8年度においては、21地区が開催の対象となっている。	
市長段階査定額	14		
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 6地区 令和6年度 13地区 令和7年度 10地区	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	14		
計	14		
備考欄			

市012	項目名	自治基本条例推進事業費	新規事業
予算書項目	自治基本条例推進事業費	ページ	161
年度	R8	所属名	市民生活部 協働推進課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-30-8176	
款	総務費	【12次総の施策体系】2305	
項	総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市のまちづくりの基本ルールを定めた「鳥取市自治基本条例」の趣旨が広く市民に浸透し、市民と市が参画と協働のまちづくりを推進することが重要となっている。	
目	一般管理費	【事業の目的及び効果】 (1) 条例について市民への周知を行うことにより、住民自治の充実が図られる。 (2) 「鳥取市市民自治推進委員会」を設置することにより、条例の実効性を高める。	
(単位:千円)		【事業の内容】 (1) 市民自治推進委員会の開催(任期2年、委員数10名) ・参画と協働のまちづくりの推進に関する事項の調査・審議並びに鳥取市自治基本条例の適切な運用や見直しに関する事項の調査・審議 ・参画と協働の推進に関する事項 (2) 協働事業の啓発 (3) 参画と協働のまちづくりフォーラムの実施	
前年度当初予算額	436	【事業の実績】 (1) 市民自治推進委員会(適宜開催) (2) 参画と協働のまちづくりフォーラム・啓発事業(隔年開催) 令和4年度 行政番組の放送 336千円 (これからの公民館は?考えよう、暮らしを支える地域の拠点) 令和6年度 「災害(もしも)に備えて地域でつながる」 133千円	
本年度要求額	684		
総務部長段階査定額	684		
市長段階査定額	684		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	684		
計	684		
備考欄			

市013	項目名	交通安全対策費	新規事業
予算書項目	交通安全対策費	ページ	169
年度	R8	所属名	市民生活部 協働推進課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	交通安全対策費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	8,148		
本年度要求額	7,930		
総務部長段階査定額	7,930		
市長段階査定額	7,930		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	7,930	
	計	7,930	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】市民活動係 0857-30-8177	
【12次総の施策体系】4102	
【事業の経過及び背景】 交通安全対策協議会等と連携し交通安全対策の推進に努めている。	
【事業の目的及び効果】 交通安全対策基本法に規定される自治体の責務として、交通の安全に関して国の施策に準じて施策を講ずるとともに実施し、市民生活における交通面での安全を図る。	
【事業の内容】 (1) 各種交通安全関連機関、団体との連絡調整 (2) 交通安全指導員の委嘱 令和8年度4月委嘱予定89名 任期：令和7年4月～令和9年3月（2年間） (3) 交通安全運動の実施（年4回） (4) 街頭広報・啓発活動等の実施 (5) 高齢者地域交通安全支援事業の実施	
【事業の実績】 <啓発物品配布> 令和5年度 10件 令和6年度 26件 令和7年度 20件（見込み）	

市014	項目名	鳥取市自治連合会補助金	新規事業
予算書項目	地域振興費	ページ	171
年度	R8	所属名	市民生活部 協働推進課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	諸費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	70,277		
本年度要求額	70,034		
総務部長段階査定額	70,034		
市長段階査定額	70,034		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	1,787	
	地方債	0	
	その他	16,346	
	一般財源	51,901	
	計	70,034	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】市民活動係 0857-30-8177	
【12次総の施策体系】2305	
【事業の経過及び背景】 鳥取市自治連合会は昭和49年に連合組織として結成され、以後、住民組織の相互連絡、福利増進を進めることで市政発展に大きく寄与してきた。近年では少子高齢化、核家族化の進行、ライフスタイルの変化、個人の価値観の多様化などにより地域とのつながりの希薄化が進んでおり、自治会・町内会への加入率が減少傾向にある。今後も災害時をはじめ、様々な分野において地域コミュニティは重要な役割を担っていくものと考え。	
【事業の目的及び効果】 住民自治の基本である鳥取市自治連合会の活動を支援することにより、市政運営を円滑に進めることができ、市民と行政との協働のまちづくりが一層推進される。	
【事業の内容】 住民自治の基本である鳥取市自治連合会の活動を支援する。	
【事業の実績】 令和5年度 活動補助金 64,123千円（826町内会、50,305世帯） 運営補助金 5,405千円（事務局運営費等） 令和6年度 活動補助金 63,421千円（822町内会、49,501世帯） 運営補助金 5,831千円（事務局運営費等） 令和7年度 活動補助金 62,801千円（820町内会、48,715世帯） 運営補助金 6,842千円（事務局運営費等）（見込み）	
※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

市015	項目名	コミュニティ支援事業費	新規事業																				
予算書項目	地域振興費	ページ	171																				
年度	R8	所属名	市民生活部 協働推進課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-30-8176 【12次総の施策体系】2305 【事業の経過及び背景】 鳥取市では、平成20年度から地域と行政が適切な協力関係で支え合う「市民と行政による協働のまちづくり」の実現を目指し、各種の取組を進めている。 現在、各地区においては、まちづくり協議会等を中心として、地域コミュニティ計画の実施など、地域コミュニティの充実・強化の取組が進められている。 【事業の目的及び効果】 地域運営組織の運営及び地域コミュニティ計画による地域の身近な課題解決に向けた地域力向上の取組を支援することにより、地域コミュニティの充実・強化を図り、市民と行政との協働のまちづくりの実現に資することを目的とする。 【事業の内容】 (1) 人的支援（専門知識を持ったアドバイザーの派遣、事務局職員の配置） (2) 財政的支援（地域運営組織活動支援事業による財政支援） 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度（見込）</td> </tr> <tr> <td>・地域運営組織運営助成事業</td> <td>2,350千円</td> <td>2,342千円</td> <td>2,050千円</td> </tr> <tr> <td>・協働のまちづくり助成事業</td> <td>17,594千円</td> <td>17,670千円</td> <td>15,384千円</td> </tr> <tr> <td>・協働のまちづくり特別助成事業</td> <td>1,400千円</td> <td>1,600千円</td> <td>1,600千円</td> </tr> <tr> <td>・協働のまちづくり一括交付助成事業</td> <td>6,566千円</td> <td>7,320千円</td> <td>10,900千円</td> </tr> </table>			令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込）	・地域運営組織運営助成事業	2,350千円	2,342千円	2,050千円	・協働のまちづくり助成事業	17,594千円	17,670千円	15,384千円	・協働のまちづくり特別助成事業	1,400千円	1,600千円	1,600千円	・協働のまちづくり一括交付助成事業	6,566千円	7,320千円	10,900千円
	令和5年度			令和6年度	令和7年度（見込）																		
・地域運営組織運営助成事業	2,350千円			2,342千円	2,050千円																		
・協働のまちづくり助成事業	17,594千円			17,670千円	15,384千円																		
・協働のまちづくり特別助成事業	1,400千円	1,600千円	1,600千円																				
・協働のまちづくり一括交付助成事業	6,566千円	7,320千円	10,900千円																				
一般会計																							
款	総務費																						
項	総務管理費																						
目	諸費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	30,692																						
本年度要求額	31,281																						
総務部長段階査定額	31,281	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	31,281																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	6,226																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	25,055																						
計	31,281																						
備考欄																							

市016	項目名	町内集会所建設等補助金	新規事業																				
予算書項目	町内会集会所建設等補助金	ページ	171																				
年度	R8	所属名	市民生活部 協働推進課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】市民活動係 0857-30-8177 【12次総の施策体系】2305 【事業の経過及び背景】 コミュニティ活動の基盤となる集会所建設を支援するため、平成3年度から実施している。平成20年度から、集会所取得が困難な町内会であってもコミュニティ活動拠点が確保されるよう、集会所施設の賃借料を対象としている。また、平成27年度から冷暖房設備を設置する場合も補助対象としている。 【事業の目的及び効果】 町内会のコミュニティの場である集会所の建設や修繕、賃借料を助成し、地域コミュニティの醸成を図ることで、地域の活性化を促進する。 【事業の内容】 集会所の建築・改修等及び賃借料に対して、対象経費の1/3、上限1,000万円の補助金を交付する。 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>8,971万円</td> <td>改築等15件、賃借2件、冷暖房設備新規整備4件計21件（21町内会）</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>11,467万円</td> <td>改築等12件、賃借2件、冷暖房設備新規整備5件計19件（18町内会）</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>9,930万円</td> <td>改築等11件、賃借2件、冷暖房設備新規整備5件計18件（17町内会）（見込み）</td> </tr> </table>		令和5年度	8,971万円	改築等15件、賃借2件、冷暖房設備新規整備4件計21件（21町内会）	令和6年度	11,467万円	改築等12件、賃借2件、冷暖房設備新規整備5件計19件（18町内会）	令和7年度	9,930万円	改築等11件、賃借2件、冷暖房設備新規整備5件計18件（17町内会）（見込み）											
令和5年度	8,971万円			改築等15件、賃借2件、冷暖房設備新規整備4件計21件（21町内会）																			
令和6年度	11,467万円			改築等12件、賃借2件、冷暖房設備新規整備5件計19件（18町内会）																			
令和7年度	9,930万円			改築等11件、賃借2件、冷暖房設備新規整備5件計18件（17町内会）（見込み）																			
一般会計																							
款	総務費																						
項	総務管理費																						
目	諸費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	0																						
本年度要求額	16,107																						
総務部長段階査定額	16,107	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	16,107																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	2,100																						
その他	0																						
一般財源	14,007																						
計	16,107																						
備考欄																							

市O17	項目名	防犯灯設置費	新規事業																				
予算書項目	防犯灯設置費	ページ	171																				
年度	R8	所属名	市民生活部 協働推進課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】市民活動係 0857-30-8177 【12次総の施策体系】4102 【事業の経過及び背景】 地域における安全な夜間通行のため、防犯灯の設置や既存の蛍光灯防犯灯から環境に配慮したLED防犯灯への交換を希望する町内会等を支援するため、市民との協働による防犯灯整備を進めている。 【事業の目的及び効果】 防犯灯の設置により、暗がり箇所を減少させ、犯罪や事故の予防を図る。さらに、防犯灯をLED化し、CO ₂ 排出量の削減と電気代等の節減により環境に配慮し、町内会の経済的負担も軽減しながら、地域における夜間の安全な通行を確保する。 【事業の内容】 市民との協働（市による設置、町内会等の維持管理）により、町内会等からの要望に基づき防犯灯を設置・更新する。 【事業の実績】 令和5年度 10,660千円 590基 令和6年度 14,476千円 580基 令和7年度 17,240千円 778基（見込み） ※その他財源の負担金は、防犯灯設置費負担金																					
一般会計																							
款	総務費																						
項	総務管理費																						
目	諸費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	13,954																						
本年度要求額	12,139																						
総務部長段階査定額	12,139	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>572</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	572	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	572																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	12,139																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	1,814																					
	地方債	0																					
	その他	572																					
	一般財源	9,753																					
	計	12,139																					
備考欄																							

市O18	項目名	安全安心まちづくり推進助成費	新規事業																				
予算書項目	防犯対策推進事業費	ページ	171																				
年度	R8	所属名	市民生活部 協働推進課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】市民活動係 0857-30-8177 【12次総の施策体系】4102 【事業の経過及び背景】 近年、全国的に犯罪が凶悪化しており、地域における防犯対策に大きな役割を果たしている自主防犯活動団体が、より活動しやすい環境整備に対する支援が必要となっている。 【事業の目的及び効果】 犯罪や少年非行を防止し、市民が安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを推進するため、自主防犯活動を行うボランティア団体の育成・活動支援を行い、地域に根ざした防犯活動を促進する。 【事業の内容】 自主防犯活動を行うボランティア団体の育成や活動支援を目的として、啓発物品の支給及び活動費の助成を行う。 【事業の実績】 <防犯ベスト、キャップの支給> 令和5年度 ベスト 43着 キャップ 67個 6団体 令和6年度 ベスト 91着 キャップ 31個 7団体 令和7年度 ベスト 75着 キャップ 58個 10団体 <自主防犯活動団体補助金> 令和5年度 0団体 令和6年度 1団体 令和7年度 1団体																					
一般会計																							
款	総務費																						
項	総務管理費																						
目	諸費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	300																						
本年度要求額	859																						
総務部長段階査定額	859	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	859																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	859																					
	計	859																					
備考欄																							

市O19	項目名	地区公民館改修等事業費	新規事業																		
予算書項目	地区公民館施設管理費	ページ	173																		
年度	R8	所属名 市民生活部 協働推進課																			
会計名		事業の概要 【問合せ先】地区公民館係 0857-30-8178 【12次総の施策体系】2305 【事業の経過及び背景】 地区公民館は、地域住民の生涯学習及び地域コミュニティの拠点として重要な役割を果たす施設である。しかし、建築後数十年も経過した施設においては、施設の老朽化や時代の流れとともに変化するニーズに対応できなくなっており、利用者からも施設の改善が求められている。 【事業の目的及び効果】 地区公民館施設の改修等を計画的に実施し、地域住民が気軽に集い、生涯学習事業やコミュニティ活動が円滑に実施できる環境を整えることを目的としている。 【事業の内容】 ・散岐地区公民館多目的トイレ改修工事 ・稲葉山地区公民館外壁等修繕 ・用瀬地区公民館屋上防水等修繕 ・勝谷地区公民館雨樋等修繕 【事業の実績】 令和5年度 40,628千円（河原地区公民館外壁等修繕ほか4件） 令和6年度 70,998千円（旧谷地区公民館解体工事ほか4件） 令和7年度 32,560千円（富桑地区公民館外壁等修繕ほか3件）（見込み）																			
一般会計																					
款	総務費																				
項	総務管理費																				
目	公民館費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	32,560																				
本年度要求額	22,855																				
総務部長段階査定額	22,855	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
諸収入	0																				
その他	0																				
市長段階査定額	22,855																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	0																				
地方債	22,700																				
その他	0																				
一般財源	155																				
計	22,855																				
備考欄																					

市O20	項目名	消費生活対策費	新規事業																		
予算書項目	消費生活対策費	ページ	161																		
年度	R8	所属名 市民生活部 市民総合相談課																			
会計名		事業の概要 【問合せ先】鳥取市消費生活センター 0857-30-8182 【12次総の施策体系】4103 【事業の経過及び背景】 平成21年に「消費生活相談窓口」を設置。同28年には「鳥取市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例」を制定し、「鳥取市消費生活センター」を開設。さらに「鳥取市消費者教育推進計画」を策定し、より一層の消費者施策と消費者教育の推進を図る。 【事業の目的及び効果】 消費生活に関するトラブルや被害などの相談と救済を実施。同時に消費者教育を推進し、自立した消費者の育成と消費者市民社会の構築を図る。 【事業の内容】 (1) 消費生活に関する相談、助言・あっせん等の相談対応事業 (2) 「鳥取市消費者教育推進計画」に基づく消費者教育・啓発事業 (3) 地域等と連携した消費者被害防止事業 【事業の実績】 <相談件数> 令和5年度 1,102件 令和6年度 1,123件 令和7年度 1,283件（見込み） ※その他財源の諸収入は、金融広報委員会推奨事業助成金																			
一般会計																					
款	総務費																				
項	総務管理費																				
目	一般管理費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	15,089																				
本年度要求額	15,976																				
総務部長段階査定額	15,976	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>167</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	167	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
諸収入	167																				
その他	0																				
市長段階査定額	15,976																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	2,181																				
地方債	0																				
その他	167																				
一般財源	13,628																				
計	15,976																				
備考欄																					

市O21	項目名	コールセンター設置運営費	新規事業
予算書項目	市民サービス費	ページ	161
年度	R8	所属名	市民生活部 市民総合相談課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】市民総合相談課 0857-30-8181	
款 総務費		【12次総の施策体系】0101	
項 総務管理費		【事業の経過及び背景】 新本庁舎の開設に合わせ、市の業務や制度、手続について、市民からの問合せを一元的に受け付ける窓口として、「鳥取市コールセンター」を開設した。市民サービスの向上に取り組むとともに、各課業務の効率化及び市民ニーズの把握・分析により市政への反映を図る。	
目 一般管理費		【事業の目的及び効果】 市の業務や制度、手続について、市民からの問合せを受け付ける窓口として鳥取市コールセンターを設置し、FAQ（よくある質問とその答え）に基づく回答や担当課への取次ぎを行う。また、FAQは市民がいつでも見られるよう市公式ウェブサイトに公開し、市民サービスの向上を図る。	
(単位:千円)		【事業の内容】 ・コールセンター運営業務 市民からの電話・メール・FAXによる問合せ等を受け付け、FAQ等をもとにした一次応答及び電話交換業務を行う。また、FAQの整備及び公開、災害時等緊急時の電話対応を行う。	
前年度当初予算額	52,346	【事業の実績】 令和5年度 入電件数58,727件 応答率96.3% コールセンター-回答率98.5% 応答時間7秒 令和6年度 入電件数54,502件 応答率96.7% コールセンター-回答率98.6% 応答時間6秒 令和7年度 入電件数27,313件 応答率97.6% コールセンター-回答率98.6% 応答時間6秒 (9月末現在)	
本年度要求額	52,346		
総務部長段階査定額	52,346	【事業の内容】 ・コールセンター運営業務 市民からの電話・メール・FAXによる問合せ等を受け付け、FAQ等をもとにした一次応答及び電話交換業務を行う。また、FAQの整備及び公開、災害時等緊急時の電話対応を行う。	
市長段階査定額	52,346		
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 入電件数58,727件 応答率96.3% コールセンター-回答率98.5% 応答時間7秒 令和6年度 入電件数54,502件 応答率96.7% コールセンター-回答率98.6% 応答時間6秒 令和7年度 入電件数27,313件 応答率97.6% コールセンター-回答率98.6% 応答時間6秒 (9月末現在)	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	52,346		
計	52,346		
備考欄			

市O22	項目名	総合窓口管理事務費	新規事業
予算書項目	総合窓口管理事務費	ページ	161
年度	R8	所属名	市民生活部 市民課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】庶務係 0857-30-8191	
款 総務費		【12次総の施策体系】0102	
項 総務管理費		【事業の経過及び背景】 令和元年度の庁舎移転に伴って、より一層の市民の利便性向上を図るため、市民の利用の多い業務窓口を整理・統合した3つの総合窓口(市民総合窓口、福祉総合窓口、税総合窓口)を構築した。	
目 一般管理費		【事業の目的及び効果】 3つの総合窓口の構築に伴い開始した以下の事業を継続実施し、総合窓口の利便性向上を図る。	
(単位:千円)		【事業の内容】 (1) 証明書発行業務等の総合窓口業務及び総合案内業務の外部委託 (2) 受付・呼出情報の管理や混雑状況の提供等を可能とする受付番号発券システムの運用管理	
前年度当初予算額	89,310	【事業の実績】 ＜総合案内の実績＞ 令和5年度 91,512件 令和6年度 100,577件 令和7年度 137,500件(見込み)	
本年度要求額	91,808	＜受付番号発券システムの運用実績＞ 令和5年度 182,502件 令和6年度 191,088件 令和7年度 212,700件(見込み)	
総務部長段階査定額	91,213		
市長段階査定額	91,213		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	91,213		
計	91,213		
備考欄			

市023	項目名 戸籍の振り仮名記載事務費	ページ 179	新規 事業
予算書項目	戸籍事務費		所属名
年度	R8		市民生活部 市民課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】戸籍係 0857-30-8194		
款 総務費	【12次総の施策体系】0102		
項 戸籍住民基本台帳費	【事業の経過及び背景】		
目 戸籍住民基本台帳費	令和5年6月2日、戸籍法（昭和22年法律第224号）の一部改正を含む「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」（令和5年法律第48号。以下「改正法」という。）が成立し、同月9日に公布、令和7年（2025年）5月26日施行となり、戸籍に氏名の振り仮名が記録されることとなった。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額 15,429	戸籍に振り仮名を記載し、公証することで、本人確認情報として利用することが可能になる。		
本年度要求額 11,401	【事業の内容】		
総務部長段階査定額 2,502	市区町村長が戸籍に振り仮名等を記録するために必要な機能の整備（戸籍システムの改修）		
市長段階査定額 2,502	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和7年度 戸籍に振り仮名を記載するためのシステム改修	
財源内訳		戸籍に記載する予定の振り仮名を通知するためのシステム改修	
国・県支出金 0		戸籍に記載する予定の振り仮名を本籍人宛に通知	
地方債 0		振り仮名の届出受付及び戸籍への記載	
その他 0			
一般財源 2,502			
計 2,502			
備考欄			

市024	項目名 住民登録関係事務費	ページ 179	新規 事業
予算書項目	住民基本台帳事務費		所属名
年度	R8		市民生活部 市民課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】住民登録係 0857-30-8193		
款 総務費	【12次総の施策体系】0102		
項 戸籍住民基本台帳費	【事業の経過及び背景】		
目 戸籍住民基本台帳費	市区町村は、住民基本台帳法に基づき住民基本台帳を整備し、住民に関する正確な記録とその管理を適正に行うとともに、併せて事務処理の合理化に努めなければならない。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額 24,379	正確で迅速、かつ安定した住民基本台帳事務処理を行うことにより、市民サービスの向上を図る。		
本年度要求額 25,082	【事業の内容】		
総務部長段階査定額 24,445	引き続き安定した住民登録事務を遂行するとともに、異動受付システムの活用など来庁者の窓口滞在時間の削減や記入の負担軽減、事務の効率化を図っていく。		
市長段階査定額 24,445	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	<住民異動届出件数>	
財源内訳		令和5年度 18,006件	
国・県支出金 0		令和6年度 17,814件	
地方債 0		令和7年度 17,350件（見込み）	
その他 0			
一般財源 24,445			
計 24,445			
備考欄			

市025	項目名 コンビニ交付関連事務費		新規 事業																																
予算書項目	コンビニ交付関連事務費	ページ	179																																
年度	R8	所 属 名 市民生活部 市民課																																	
会計名																																			
一般会計																																			
款	総務費																																		
項	戸籍住民基本台帳費																																		
目	戸籍住民基本台帳費																																		
(単位:千円)																																			
前年度当初予算額	19,393																																		
本年度要求額	38,188																																		
総務部長段階査定額	26,654																																		
市長段階査定額	26,654																																		
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>6,200</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>20,454</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26,654</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	6,200	その他	0	一般財源	20,454	計	26,654	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
区 分	本年度予算額																																		
国・県支出金	0																																		
地方債	6,200																																		
その他	0																																		
一般財源	20,454																																		
計	26,654																																		
その他財源の内訳																																			
分担金	0																																		
負担金	0																																		
使用料	0																																		
手数料	0																																		
財産収入	0																																		
寄付金	0																																		
繰入金	0																																		
諸収入	0																																		
その他	0																																		
備考欄																																			

事業の概要

【問合せ先】証明係 0857-30-8192

【12次総の施策体系】0102

【事業の経過及び背景】
平成29年6月より、マイナンバーカードを利用して各種証明書をコンビニエンスストア等で取得できるサービス(コンビニ交付サービス)を導入した。

【事業の目的及び効果】
市民総合窓口開庁時間に加え、早朝・夜間・休日も証明書が取得可能となり、市民の利便性向上につながる。

【事業の内容】
・取得できる証明書 住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票の写し、戸籍謄(抄)本証明書、所得課税証明書
・取得可能時間 午前6時30分～午後11時(12/29～1/3を除く)
(※戸籍の附票の写し、戸籍謄(抄)本証明書は平日/午前9時～午後5時)

【事業の実績】
<コンビニ交付取扱件数>
令和5年度 50,923件
令和6年度 52,997件
令和7年度 58,547件 (見込み)

市026	項目名 個人番号カード関連事務費		新規 事業																																
予算書項目	個人番号カード関連事務費	ページ	179																																
年度	R8	所 属 名 市民生活部 市民課																																	
会計名																																			
一般会計																																			
款	総務費																																		
項	戸籍住民基本台帳費																																		
目	戸籍住民基本台帳費																																		
(単位:千円)																																			
前年度当初予算額	64,831																																		
本年度要求額	82,368																																		
総務部長段階査定額	82,368																																		
市長段階査定額	82,368																																		
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>82,368</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>82,368</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	82,368	地方債	0	その他	0	一般財源	0	計	82,368	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
区 分	本年度予算額																																		
国・県支出金	82,368																																		
地方債	0																																		
その他	0																																		
一般財源	0																																		
計	82,368																																		
その他財源の内訳																																			
分担金	0																																		
負担金	0																																		
使用料	0																																		
手数料	0																																		
財産収入	0																																		
寄付金	0																																		
繰入金	0																																		
諸収入	0																																		
その他	0																																		
備考欄																																			

事業の概要

【問合せ先】マイナンバーカード係 0857-30-8196

【12次総の施策体系】0102

【事業の経過及び背景】
社会保障・税番号制度の施行(平成27年10月1日)に伴い、マイナンバーカードの交付事務等を実施。制度開始から10年以上経過し、電子証明書・カード本体の更新件数増加や利用機会の拡大により、窓口対応を求める市民ニーズが高まっている。

【事業の目的及び効果】
マイナンバーカードの取得により、各種電子手続の際に本人確認ができ、住民票の写し等のコンビニ交付サービスの利用や保険証としての利用など、行政を中心とした手続のオンライン化に対応できることから、市民の利便性が向上する。

【事業の内容】
マイナンバーカード交付業務推進及び国の政策に呼応した対応を行っていく。

【事業の実績】
<マイナンバーカード保有枚数>
令和5年度 141,868枚 保有枚数率: 77.4%
令和6年度 145,888枚 保有枚数率: 80.5%
令和7年度 146,958枚 (見込み) 保有枚数率: 82.0%
※保有枚数: 現に保有されているカードの枚数
(交付枚数から有効期限切れなどで廃止された枚数を除いたもの)

環001	項目名	生活衛生営業許可・監督指導事業費	新規事業																																
予算書項目	生活衛生事務費	ページ	215																																
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 生活環境課																																
会計名	一般会計																																		
款	衛生費																																		
項	保健衛生費																																		
目	予防費																																		
(単位:千円)																																			
前年度当初予算額	660																																		
本年度要求額	894																																		
総務部長段階査定額	708																																		
市長段階査定額	708																																		
区分	本年度予算額	事業の概要																																	
財源内訳		【問合せ先】生活衛生係 0857-30-8083																																	
国・県支出金	0	【12次総の施策体系】4202																																	
地方債	0	【事業の経過及び背景】																																	
その他	708	平成30年4月の中核市移行に伴い移譲された生活衛生関連法令の権限に基づき、各種業務を行っている。																																	
一般財源	0	【事業の目的及び効果】																																	
計	708	生活衛生関連施設の衛生水準の維持・向上を図るため、理容所、美容所、興行場、旅館及びホテル、公衆浴場、クリーニング所、住宅宿泊事業について、各種法令に基づき営業許可・監視指導を行う。																																	
		【事業の内容】																																	
		(1) 各法令に基づく手続対応																																	
		(届出・検査・確認) 理容所・美容所・クリーニング所・住宅宿泊事業																																	
		(営業許可) 旅館業・公衆浴場・興行場																																	
		(2) 監視指導の実施																																	
		(3) 職員資質向上のための研修参加																																	
		【事業の実績】																																	
		営業許可・届出施設数(東部)																																	
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>旅館</td> <td>興行</td> <td>浴場</td> <td>理容所</td> <td>美容所</td> <td>クリーニング</td> <td>住宅宿泊事業</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>19</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </table>			旅館	興行	浴場	理容所	美容所	クリーニング	住宅宿泊事業	令和5年度	11	1	3	4	19	1	3	令和6年度	13	0	2	0	16	1	5	令和7年度	5	0	2	0	11	1	0
	旅館	興行	浴場	理容所	美容所	クリーニング	住宅宿泊事業																												
令和5年度	11	1	3	4	19	1	3																												
令和6年度	13	0	2	0	16	1	5																												
令和7年度	5	0	2	0	11	1	0																												
		(R7.10.31時点)																																	
		※その他財源の手数料は、理美容所開設検査手数料、クリーニング所検査手数料、その他各検査手数料																																	
備考欄																																			

環002	項目名	名木・古木保存費	新規事業
予算書項目	樹木保全事業費	ページ	215
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 生活環境課
会計名	一般会計		
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	環境衛生費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	768		
本年度要求額	417		
総務部長段階査定額	357		
市長段階査定額	357		
区分	本年度予算額	事業の概要	
財源内訳		【問合せ先】環境政策係 0857-30-8082	
国・県支出金	0	【12次総の施策体系】4202	
地方債	0	【事業の経過及び背景】	
その他	0	鳥取市自然保護及び環境保全条例に基づき、保護地区、保存樹木等について、昭和53年から指定を行っており、現在26か所指定している。	
一般財源	357	【事業の目的及び効果】	
計	357	良好な自然環境の確保及び地域の美観風致を維持する。	
		【事業の内容】	
		・表示看板等の修繕取替	
		・指定保存樹木等管理謝礼(6,000円×26か所)	
		・指定保存樹木保全補助金	
		【事業の実績】	
		令和5年度 768千円	
		令和6年度 233千円	
		令和7年度 736千円(見込み)	
備考欄			

環003	項目名	環境教育推進費	新規事業
予算書項目	環境基本計画推進費	ページ	215
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 生活環境課
会計名		事業の概要 【問合せ先】環境政策係 0857-30-8082 【12次総の施策体系】4201 【事業の経過及び背景】 未来を見据えた持続可能な環境保全に取り組むため、市民・事業者一人ひとりの環境を愛する心を育むことが強く求められている。第12次鳥取市総合計画及び第3期鳥取市環境基本計画では、環境教育の推進を施策に掲げており、指標達成に向けて取り組んでいく。 【事業の目的及び効果】 環境に関する理解を促進するため、学校や家庭、事業者向けの環境教育の充実を図る。また、こどもエコクラブが実施する環境学習・活動に対して支援を行うことで、環境に配慮した行動が実践できる人材育成につなげる。 【事業の内容】 ・小中学生を対象とした環境教育・啓発活動の一環として、環境に関する講座やイベント等を実施する。 ・こどもエコクラブ全国事務局に登録している市内こどもエコクラブに対し活動費用を支援する。 【事業の実績】 令和5年度：こどもエコクラブへの補助6件、環境出前授業12校、環境ワークショップ2回 令和6年度：こどもエコクラブへの補助5件、環境出前授業8校、環境ワークショップ2回 令和7年度：こどもエコクラブへの補助4件、環境出前授業10校、環境ワークショップ2回、環境アドバイザー派遣実施3回（見込み）	
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	環境衛生費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	3,297		
本年度要求額	3,282		
総務部長段階査定額	2,647		
市長段階査定額	2,647		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	105	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	2,542	財産収入	0
計	2,647	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

環004	項目名	生物多様性普及啓発推進事業費	新規事業
予算書項目	生物多様性普及啓発推進事業費	ページ	215
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 生活環境課
会計名		事業の概要 【問合せ先】環境政策係 0857-30-8082 【12次総の施策体系】4202 【事業の経過及び背景】 第3期鳥取市環境基本計画の基本目標3「誇れる自然と共生するまちづくり」の実現に向けて、自然保護活動や自然とのふれあい機会の創出、市民の生物多様性への関心を高める普及啓発活動を推進していく。 【事業の目的及び効果】 ・自然と触れ合い、学習する機会を創出 ・自然保護を担う次世代の育成 ・中山間地域住民、民間企業とのパートナーシップ強化 【事業の内容】 公立鳥取環境大学の演習科目「鳥取グリーンベンチャー」 ・佐治町余戸地区ウスイロヒヨウモンモドキ保護活動を学生が体験 【事業の実績】 令和7年度から開始し、7名の学生が自然保護活動を体験。	
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	環境衛生費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	15		
本年度要求額	14		
総務部長段階査定額	14		
市長段階査定額	14		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	14	財産収入	0
計	14	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

環005	項目名	置き配普及促進事業補助金	新規事業	○
予算書項目	置き配普及促進事業補助金	ページ	217	所属名
年度	R8	市民生活部環境局 生活環境課		
会計名				
一般会計				
款	衛生費			
項	保健衛生費			
目	環境衛生費			
事業の概要				
【問合せ先】環境政策係 0857-30-8082				
【12次総の施策体系】4201				
【事業の経過及び背景】 本市は、2021年2月に、2050年までに温室効果ガスの実質排出量をゼロにする脱炭素社会の実現を目指すことを表明している。令和4年度には、脱炭素社会の実現に向け、目指すべき方向性及び実現に向けた行程や、効果的な施策について定めた脱炭素ロードマップを策定し、取組を進めている。				
【事業の目的及び効果】 脱炭素社会の実現に向けた取組として、市内で置き配ボックスを設置しようとする家庭に対して、購入費の一部を助成し、再配達に伴う温室効果ガスの排出を抑制する。				
【事業の内容】 置き配ボックスの購入費の一部補助（補助率1/2 補助上限額10,000円） ※県間接補助（トトリボーン！置き配ボックス設置事業補助金）				
（単位：千円）				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	1,000			
総務部長段階査定額	1,000	その他財源の内訳		
市長段階査定額	1,000	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	500			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	500			
計	1,000			
備考欄				

環006	項目名	家庭ごみ有料化事業費	新規事業	
予算書項目	ごみの減量化及び再資源化対策費	ページ	221	所属名
年度	R8	市民生活部環境局 生活環境課		
会計名				
一般会計				
款	衛生費			
項	清掃費			
目	清掃総務費			
事業の概要				
【問合せ先】管理係 0857-30-8084				
【12次総の施策体系】4201				
【事業の経過及び背景】 ごみの減量化を推進するため、平成19年10月から家庭ごみの有料化を実施している。				
【事業の目的及び効果】 家庭ごみ有料化制度を通して、市民一人ひとりがごみ処理に要する経費やごみの分別、減量化に対する問題意識を持つことで、ごみの発生抑制・減量化、及びリユース・リサイクルを実践する循環型社会を形成、促進する。				
【事業の内容】 ・家庭ごみ有料指定袋の作成（可燃ごみ 4種、プラスチックごみ 3種） ・分別ガイド、ポスター、チラシの作成、配布 ・ごみ処理手数料の徴収（家庭ごみの処理に関連する施策の経費に充当）				
【事業の実績】				
1日1人当たりのごみ総排出量（カッコ内はうち家庭ごみ）				
令和5年度 823g（476g）				
令和6年度 812g（461g）				
令和7年度（見込み） 820g（452g）				
※その他財源の手数料は、家庭系ごみ処理手数料				
（単位：千円）				
前年度当初予算額	118,881			
本年度要求額	120,887			
総務部長段階査定額	107,937	その他財源の内訳		
市長段階査定額	107,937	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	107,937	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	107,937			
一般財源	0			
計	107,937			
備考欄				

環007	項目名	ごみ減量化推進事業費	新規事業
予算書項目	ごみの減量化及び再資源化対策費	ページ	221
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 生活環境課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	清掃費		
目	清掃総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	604		
本年度要求額	469		
総務部長段階査定額	469		
市長段階査定額	469		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	469		
一般財源	0		
計	469		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】管理係 0857-30-8084	
【12次総の施策体系】4201	
【事業の経過及び背景】 家庭用生ごみ堆肥化容器等の購入費補助、堆肥化やごみ減量に関する講習会の実施等、ごみの減量意識を高めるよう取り組んでいる。 事業所ごみについては、ごみ減量等推進優良事業所認定制度のほか、分別・リサイクル・ごみの減量等について事業所に説明やチラシの配付を行い啓発を図っている。	
【事業の目的及び効果】 ごみ減量のキーワード「4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）」を市民及び事業者に浸透させ、ごみの減量化を推し進める。	
【事業の内容】 可燃ごみの大部分を占める生ごみの減量化施策として、家庭用生ごみ堆肥化容器等の購入費補助を行っている。	
【事業の実績】 補助件数 令和5年度 70件（容器135,200円、基材53,800円） 令和6年度 52件（容器94,500円、基材43,700円） 令和7年度 55件（容器97,200円、基材48,200円）（見込み）	
※その他財源の手数料は、家庭系ごみ処理手数料	

環008	項目名	ふれあい収集事業費	新規事業
予算書項目	ごみ収集委託費	ページ	223
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 生活環境課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	清掃費		
目	塵芥処理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	3,173		
本年度要求額	3,994		
総務部長段階査定額	3,994		
市長段階査定額	3,994		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,994		
計	3,994		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】管理係 0857-30-8084	
【12次総の施策体系】4201	
【事業の経過及び背景】 高齢化社会や核家族化の進行に伴いごみ出しが困難な世帯が増加したため、平成23年度から鳥取地域で選定した1地域で試験的にふれあい収集を開始、段階的に対象地域を拡大して、平成29年度以降は市内全域を対象として制度化した。令和4年12月1日から、冬季限定で対象者を拡充した。	
【事業の目的及び効果】 ひとり暮らしの高齢者及び障がいのある人が家庭ごみをごみステーションに持ち出すことが困難な場合に、戸別に収集を行い、在宅生活の支援を行う。	
【事業の内容】 利用者宅の玄関等に専用回収箱を設置し、家庭ごみの収集を行う。	
【事業の実績】 収集件数（年度末時点） 収集委託料 令和5年度 188件 2,808千円 令和6年度 200件 3,023千円 令和7年度 230件 3,173千円（見込み）	

環009	項目名	ごみ収集委託費	新規事業																																								
予算書項目	ごみ収集委託費	ページ	223																																								
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 生活環境課																																								
会計名		事業の概要 【問合せ先】管理係 0857-30-8084 【12次総の施策体系】4201 【事業の経過及び背景】 市内約4,400か所のごみステーションから各ごみ処理施設まで、家庭ごみの収集運搬業務を委託している。 【事業の目的及び効果】 家庭から排出される可燃ごみ、資源ごみ、小型破砕ごみ、大型ごみ、プラスチックごみ、ペットボトル、古紙類、乾電池等、有害ごみを適正に収集運搬し、分別意識の高揚とリサイクルの推進を図る。 【事業の内容】 家庭ごみの収集運搬。 【事業の実績】 ◎ごみ収集量（単位：t） <table border="1"> <tr> <td></td> <td>可燃ごみ</td> <td>資源</td> <td>小型破砕</td> <td>大型</td> <td>プラ</td> <td>ペット</td> <td>古紙</td> <td>乾電池</td> <td>有害</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>24,692</td> <td>1,247</td> <td>1,224</td> <td>321</td> <td>2,469</td> <td>434</td> <td>502</td> <td>52</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>23,520</td> <td>1,216</td> <td>1,002</td> <td>298</td> <td>2,436</td> <td>441</td> <td>475</td> <td>60</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>23,758</td> <td>1,174</td> <td>980</td> <td>302</td> <td>2,422</td> <td>482</td> <td>465</td> <td>58</td> <td>50（見込み）</td> </tr> </table> ◎委託料 令和5年度 1,033,687千円 令和6年度 1,069,531千円 令和7年度 1,137,293千円（見込み） ※その他財源の手数料は、家庭系ごみ処理手数料及び大型ごみ処理手数料 ※その他財源の諸収入は、古紙類収集事業収入			可燃ごみ	資源	小型破砕	大型	プラ	ペット	古紙	乾電池	有害	令和5年度	24,692	1,247	1,224	321	2,469	434	502	52	—	令和6年度	23,520	1,216	1,002	298	2,436	441	475	60	47	令和7年度	23,758	1,174	980	302	2,422	482	465	58	50（見込み）
	可燃ごみ			資源	小型破砕	大型	プラ	ペット	古紙	乾電池	有害																																
令和5年度	24,692			1,247	1,224	321	2,469	434	502	52	—																																
令和6年度	23,520			1,216	1,002	298	2,436	441	475	60	47																																
令和7年度	23,758			1,174	980	302	2,422	482	465	58	50（見込み）																																
一般会計																																											
款	衛生費																																										
項	清掃費																																										
目	塵芥処理費																																										
(単位:千円)																																											
前年度当初予算額	1,138,166																																										
本年度要求額	1,224,145																																										
総務部長段階査定額	1,148,869			その他財源の内訳																																							
市長段階査定額	1,148,869			分担金	0																																						
				負担金	0																																						
				使用料	0																																						
				手数料	216,202																																						
				財産収入	0																																						
				寄付金	0																																						
		繰入金	0																																								
		諸収入	8,363																																								
		その他	0																																								
区分	本年度予算額																																										
財源内訳																																											
国・県支出金	0																																										
地方債	0																																										
その他	224,565																																										
一般財源	924,304																																										
計	1,148,869																																										
備考欄																																											

環010	項目名	大型ごみ戸別有料収集事業費	新規事業		
予算書項目	収集管理事務費	ページ	223		
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 生活環境課		
会計名		事業の概要 【問合せ先】管理係 0857-30-8084 【12次総の施策体系】4201 【事業の経過及び背景】 平成11年10月に「大型ごみ受付センター」を開設し、大型ごみの戸別有料収集を開始した。令和5年10月からインターネットでの24時間申込、オンライン決済を開始している。 【事業の目的及び効果】 大型ごみの戸別有料収集について、大型ごみ受付センターを設置し、市民からの収集受付、手数料の徴収、処分を円滑に行う。また手数料徴収について、納付券（手数料の徴収シール）の発行による事前納付を可能とすることで市民の利便性を確保し、また安易な不法投棄を防止する。 【事業の内容】 市内に店舗を置くコンビニエンスストアチェーンのうち、ローソンや鳥取大学生協、(株)戸信が運営するダンクショップ2店舗及び大型ごみ収集業者において納付券を販売する。店舗等での取扱い手数料として、売上高に応じた委託料を事業者に支払う。 【事業の実績】 （徴収委託料） 令和5年度 1,522千円 令和6年度 1,356千円 令和7年度 1,316千円（見込み） ※その他財源の手数料は、大型ごみ処理手数料			
一般会計					
款	衛生費				
項	清掃費				
目	塵芥処理費				
(単位:千円)					
前年度当初予算額	5,288				
本年度要求額	6,041				
総務部長段階査定額	5,524			その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,524			分担金	0
				負担金	0
				使用料	0
				手数料	5,524
				財産収入	0
				寄付金	0
				繰入金	0
				諸収入	0
				その他	0
区分	本年度予算額				
財源内訳					
国・県支出金	0				
地方債	0				
その他	5,524				
一般財源	0				
計	5,524				
備考欄					

環011	項目名	施設維持管理費	新規事業
予算書項目	施設維持管理費	ページ	225
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 生活環境課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】管理係 0857-30-8084	
款	衛生費	【12次総の施策体系】4201	
項	清掃費	【事業の経過及び背景】	
目	清掃工場管理費	令和5年4月のリンピアいなば（鳥取県東部広域行政管理組合）の稼働開始を受けて、本市が設置したごみ焼却施設は、全て廃止となっている。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	840,315	廃止された焼却施設について、解体工事の実施と解体実施までの安全管理業務を行うことで、公共施設の適正管理を図る。	
本年度要求額	610,279	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	4,612	神谷清掃工場の解体工事を行うとともに、他の3施設（国府町クリーンセンター、レインボークベ、ながおクリーンステーション）の安全管理業務を講じる。	
市長段階査定額	4,612	○神谷清掃工場（平成3年12月竣工） ＜処理能力＞270t/日（135t/24h×2炉）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		施設維持管理費	
国・県支出金	0	令和5年度 9,170千円	
地方債	0	令和6年度 153,091千円	
その他	145	令和7年度 826,435千円（見込み）	
一般財源	4,467	※その他財源の使用料は、行政財産使用料	
計	4,612		
備考欄			

環012	項目名	産業廃棄物適正処理推進事業費	新規事業
予算書項目	産業廃棄物対策費	ページ	215
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 環境保全課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】指導係 0857-30-8092、審査係 0857-30-8093	
款	衛生費	【12次総の施策体系】4202	
項	保健衛生費	【事業の経過及び背景】	
目	環境衛生費	平成30年4月の中核市移行に伴い、廃棄物処理法をはじめとする産業廃棄物適正処理推進に係る各種法令の権限が移譲された。これに伴い、設置許可等の審査、施設への立入検査、処理業者に対する適正処理の指導など、法に基づく各種業務を行っている。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	13,006	産業廃棄物の適正処理を推進するため、廃棄物処理法に基づき処理施設等への立入検査を行うとともに、廃棄物処理業者や排出事業者に対して指導を行う。	
本年度要求額	14,543	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	12,686	(1) 排出事業者に対する廃棄物減量化・リサイクルの推進	
市長段階査定額	12,686	(2) 廃棄物処理業者に対する法令遵守徹底の指導 (設置許可に係る審査・助言、業の許可、立入検査、維持管理状況検査、排水等の検査)	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		水質検査等 産廃施設等への立入検査	
国・県支出金	0	令和5年度 52件 403件	
地方債	0	令和6年度 45件 483件	
その他	2,765	令和7年度 45件（見込み） 600件（見込み）	
一般財源	9,921	※その他財源の手数料は、産業廃棄物関係許可・登録手数料	
計	12,686	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
備考欄			

環013	項目名	産業廃棄物不法投棄対策強化事業費	新規事業
予算書項目	産業廃棄物対策費	ページ	215
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 環境保全課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-30-8092		
款 衛生費	【12次総の施策体系】4202		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 不法投棄対策の実効性を高めるため、関係団体との連携強化が求められる。また、不法投棄の拡大や再発の防止に向けて、早期撤去、警戒監視、監視カメラの設置活用及び合同パトロールの実施など監視活動の強化も必要である。		
目 環境衛生費	【事業の目的及び効果】 不法投棄及び廃棄物の不適正処理の監視・指導のための人員配置や、監視・警報装置の設置、自治体・警察などの関係機関や住民と連携した活動を行うことにより、不法投棄事案の未然防止及び解決を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) 不法投棄対策に係る体制構築 指導員配置(警察官OB)、監視カメラ設置、連絡協議会開催、関係機関との情報共有 (2) 監視・啓発活動 関係機関との合同パトロール、官学共同による監視活動、普及啓発、夜間パトロール ・合同パトロール:鳥取県、岩美町、八頭町、智頭町、若桜町、鳥取環境大学 ・スカイパトロール、合同検問:鳥取県警、鳥取県 ・シーパトロール:海上保安庁、鳥取港湾事務所、鳥取環境大学 ・夜間パトロール:216か所(36地域×6回)		
前年度当初予算額	7,806	【事業の実績】 不法投棄発見件数(東部) 令和5年度 37件 令和6年度 30件 令和7年度 35件(見込み)	
本年度要求額	8,373	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
総務部長段階査定額	7,637	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	7,637	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 4,032 その他 0	
区分	本年度予算額	備考欄	
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 4,032 一般財源 3,605 計 7,637		

環014	項目名	水質・土壌対策費	新規事業
予算書項目	公害防止対策費	ページ	217
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 環境保全課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】環境保全係 0857-30-8094		
款 衛生費	【12次総の施策体系】4202		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 鳥取市域及び、県より事務委託を受けた東部4町域について、水質汚濁防止法・土壌汚染対策法等に基づく事務を行う。		
目 公害対策費	【事業の目的及び効果】 市民の健康を保護するとともに生活環境保全のため、河川、湖沼及び地下水等の水質汚濁防止を図ることを目的とし、公共用水域の常時監視及び事業場の立入検査を実施し、水環境を監視する。 土壌汚染の状況を把握し、土壌汚染による健康被害を防止し、健康保護を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) 公共用水域及び地下水の水質常時監視及びその結果の公表 (2) 事業場への立入検査(行政検査)の実施、助言及び指導 (3) 水質事故または魚のへい死が発生した場合の原因調査 (4) 土壌汚染対策法に係る届出の受理・審査		
前年度当初予算額	36,201	【事業の実績】 令和5年度 (鳥取市域) 22,145千円 (東部4町) 8,363千円 令和6年度 (鳥取市域) 24,405千円 (東部4町) 7,744千円 令和7年度 (鳥取市域) 24,431千円 (東部4町) 16,185千円(見込み)	
本年度要求額	45,872	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
総務部長段階査定額	43,412	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	43,412	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 16,613 その他 0	
区分	本年度予算額	備考欄	
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 16,613 一般財源 26,799 計 43,412		

環015	項目名	騒音・振動・悪臭対策費	新規事業
予算書項目	公害防止対策費	ページ	217
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 環境保全課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	公害対策費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	2,451		
本年度要求額	3,479		
総務部長段階査定額	2,940		
市長段階査定額	2,940		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,252	
	一般財源	1,688	
	計	2,940	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】環境保全係 0857-30-8094	
【12次総の施策体系】4202	
【事業の経過及び背景】 鳥取市域及び、県より事務委託を受けた東部4町域について、騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法に基づき事務を行う（東部4町域については自動車騒音測定業務のみ）。	
【事業の目的及び効果】 各公害防止関係法令に基づき、公害発生の監視及び未然防止に努め、市民の快適な生活を守る。	
【事業の内容】 ・都市計画等に基づき規制する地域の指定及び規制基準の設定を行い公表する。 ・自動車騒音の状況を測定し、結果を公表するとともに環境大臣へ報告する。 ・悪臭測定（定期検査：特定悪臭物質・臭気指数） ・苦情及び緊急時対応による測定（騒音、振動、悪臭） ・測定機器の保守管理	
【事業の実績】 令和5年度（鳥取市域）1,226千円（東部4町）779千円 令和6年度（鳥取市域）1,408千円（東部4町）645千円 令和7年度（鳥取市域）1,389千円（東部4町）594千円（見込み）	
※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	

環016	項目名	大気汚染物質調査事業費	新規事業
予算書項目	公害防止対策費	ページ	217
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 環境保全課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	公害対策費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	18,513		
本年度要求額	25,979		
総務部長段階査定額	24,454		
市長段階査定額	24,454		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	24,454	
	計	24,454	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】環境保全係 0857-30-8094	
【12次総の施策体系】4202	
【事業の経過及び背景】 鳥取市域及び、県より事務委託を受けた東部4町域について、大気汚染物質の常時監視、行政検査等を適正に実施する。	
【事業の目的及び効果】 大気汚染防止法に基づき、環境の汚染の防止またはその除去等に関する施策を実施する。	
【事業の内容】 大気汚染防止法第22条に基づき、大気中の二酸化いおう等の大気汚染物質の常時監視を実施する。 測定局に設置された自動測定器等の性能を維持するため、定期点検（部品交換等）及び日常管理（清掃、消耗品交換等）を実施する。また、大気汚染防止法に基づく立入検査の一環として、ばい煙発生施設等から排出される物質を測定する。	
【事業の実績】 令和5年度 16,222千円 令和6年度 14,053千円 令和7年度 18,513千円（見込み）	

環017	項目名	湖山池浄化対策費	新規事業
------	-----	----------	------

予算書項目	湖山池浄化対策費	ページ	217
-------	----------	-----	-----

年度	R8
----	----

所属名	市民生活部環境局 環境保全課
-----	-------------------

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	保健衛生費
目	公害対策費

事業の概要

【問合せ先】 環境保全係 0857-30-8094

【12次総の施策体系】 4202

【事業の経過及び背景】
 県・市は湖山池の環境改善に向けて一層の取組を検討するため「湖山池会議」を設置した。
 (1) より良い湖山池を目指すための「湖山池将来ビジョン」を策定。
 (2) 平成24年3月に湖山川水門が開放され、汽水化された結果、アオコやヒシの発生は抑制された。

【事業の目的及び効果】
 (1) 汽水化に伴った各種環境モニタリングを行い、対策・効果評価時の基礎資料とする。
 (2) 湖山池アダプトプログラムによる清掃活動実施、市民と湖山池の環境保全を図る。
 (3) 巡視員を設置し、水質の監視を行う。

【事業の内容】
 ・汽水化に伴う各種環境モニタリングの実施
 ・モニタリング結果の意見、助言をいただくモニタリング委員会の開催
 ・アダプトプログラム制度導入による湖山池の環境保全の推進
 ・巡視員によるパトロール

【事業の実績】
 令和5年度 2,546千円
 令和6年度 3,055千円
 令和7年度 2,254千円（見込み）

(単位:千円)

前年度当初予算額	3,607
----------	-------

本年度要求額	4,643
--------	-------

総務部長段階査定額	4,643
-----------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

市長段階査定額	4,643
---------	-------

区分	本年度予算額
国・県支出金	510
地方債	0
その他	0
一般財源	4,133
計	4,643

備考欄	
-----	--

福001	項目名	民生委員事業費	新規事業																				
予算書項目	民生委員事業費	ページ	187																				
年度	R8	所 属 名 福祉部 地域福祉課																					
会計名		事業の概要 【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202 【12次総の施策体系】2303 【事業の経過及び背景】 中核市移行に伴い、民生委員・児童委員に関する業務が県から委譲され、厚生労働大臣への推薦や民生委員活動費交付を本市において行うことになった。 また、鳥取県民生児童委員協議会の研修参加など継続して行っている。 【事業の目的及び効果】 地域の協力のもと民生児童委員の委嘱等に関する手続、活動・研修等経費の支援などを行い、地域福祉の増進に資することを目的とする。 【事業の内容】 民生委員推薦会等の運営、民生児童委員の委嘱等手続、全国民生児童委員大会の参加に係る経費の補助など。 【事業の実績】 令和5年度 31,250千円 令和6年度 32,354千円 令和7年度 36,323千円（見込み）																					
一般会計																							
款	民生費																						
項	社会福祉費																						
目	社会福祉総務費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	36,323																						
本年度要求額	31,685																						
総務部長段階査定額	31,685	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	31,685																						
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>31,685</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31,685</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	財源内訳	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	31,685	計	31,685									
区 分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	31,685																					
	計	31,685																					
備考欄																							

福002	項目名	更生保護団体補助金	新規事業																				
予算書項目	社会福祉団体育成事業費	ページ	187																				
年度	R8	所 属 名 福祉部 地域福祉課																					
会計名		事業の概要 【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202 【12次総の施策体系】2303 【事業の経過及び背景】 鳥取市再犯防止推進計画において、更生保護ボランティアの確保と活動を支援するとしており、更生保護団体の更生保護活動や奉仕活動を支援し、社会福祉の増進を図る。 【事業の目的及び効果】 更生保護活動を行っている関係団体に補助金を交付することにより、更生保護事業の充実を図る。更生保護活動は、「犯罪・非行予防事業」、罪を犯した人の円滑な社会復帰を目指す「更生保護事業」を中心として、犯罪や非行のない「明るく住みよい地域づくり」を目的としている。 【事業の内容】 鳥取保護区保護司会 560,000円 鳥取県更生保護給産会 22,950円 鳥取県更生保護観察協会 42,500円 計 625,450円 【事業の実績】 令和5年度 626千円（保護司会560千円、給産会23千円、観察協会43千円） 令和6年度 626千円（保護司会560千円、給産会23千円、観察協会43千円） 令和7年度 626千円（保護司会560千円、給産会23千円、観察協会43千円）（見込み）																					
一般会計																							
款	民生費																						
項	社会福祉費																						
目	社会福祉総務費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	626																						
本年度要求額	626																						
総務部長段階査定額	626	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	626																						
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>626</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>626</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	財源内訳	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	626	計	626									
区 分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	626																					
	計	626																					
備考欄																							

福003	項目名	地域福祉ネットワーク・支えあい推進事業費	新規事業	○																				
予算書項目	地域福祉推進事業費	ページ	189	所属名																				
年度	R8	福祉部 地域福祉課																						
会計名																								
一般会計																								
款	民生費																							
項	社会福祉費																							
目	社会福祉総務費																							
(単位:千円)																								
前年度当初予算額	0																							
本年度要求額	30,949																							
総務部長段階査定額	30,949	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
諸収入	0																							
その他	0																							
市長段階査定額	30,949																							
区分	本年度予算額																							
財源内訳	国・県支出金	20,316																						
	地方債	0																						
	その他	0																						
	一般財源	10,633																						
	計	30,949																						
備考欄																								

事業の概要

【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202

【12次総の施策体系】2303

【事業の経過及び背景】
 少子高齢化・小世帯化の進行により、地域コミュニティの希薄化や地域の担い手不足など地域力が減少している。また、複合的な生活課題を抱えた人や世帯の増加など、福祉の課題はますます複雑化・複合化している。
 こうしたなか、令和3～7年度には地域の「話し愛・支え愛」推進事業を、6地区でモデル的に実施してきた。
 令和8年度からは、実証地区に地区コーディネーターを配置することで、福祉ネットワークの構築を推進していく。

【事業の目的及び効果】
 地域の住民や関係団体等が集まり、地域課題を共有し、地域福祉活動を連携・協働して行うことで、互いに支え合う地域づくりを促進する。
 また、複合的な生活課題のある人との継続的な関係性の構築や社会参加の支援を通じ、当事者と社会とのつながり作りを進める。

【事業の内容】
 重層的支援体制整備事業を活用し次の事業を実施する。
 (鳥取市社会福祉協議会に委託)
 (1) 実証地区事業費(ネットワークづくり)
 実証地区(2地区)の公民館等を拠点として、地区コーディネーターを各1名配置し、地区の福祉ネットワーク形成と支えあい推進のための取組を行う。
 (2) つながり支援事業費(個別支援)
 潜在的・複合的な生活課題のある人を把握し、当事者とのつながりづくりを続け、適切な支援につなぐとともに、地域の社会参加の場につなげる。

福004	項目名	地域共生社会推進事業費	新規事業																					
予算書項目	地域共生社会推進事業費	ページ	189	所属名																				
年度	R8	福祉部 地域福祉課																						
会計名																								
一般会計																								
款	民生費																							
項	社会福祉費																							
目	社会福祉総務費																							
(単位:千円)																								
前年度当初予算額	851																							
本年度要求額	851																							
総務部長段階査定額	851	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
諸収入	0																							
その他	0																							
市長段階査定額	851																							
区分	本年度予算額																							
財源内訳	国・県支出金	0																						
	地方債	0																						
	その他	0																						
	一般財源	851																						
	計	851																						
備考欄																								

事業の概要

【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202

【12次総の施策体系】2303

【事業の経過及び背景】
 少子高齢化・小世帯化が進行し、地域活動の担い手不足など、地域で支え合う力が低下している。また、複合的な課題のある世帯の問題など福祉の課題が複雑かつ多様化している。そのような中、地域で住民や多様な主体が支え合い、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせる「地域共生社会の実現」が求められている。

【事業の目的及び効果】
 地域共生社会の実現を目指して、地域における課題解決や新たな社会資源創出のための総合調整等を行う「地域共生社会推進会議」の運営。

【事業の内容】
 ・地域共生社会推進会議の開催(年1～2回)
 委員数 23名(庁内内部委員:11名、外部関係機関委員:12名)

【事業の実績】
 令和5年度 1回
 令和6年度 1回
 令和7年度 1回(予定)

福005	項目名	福祉事業所指導監督事業費	新規事業
予算書項目	福祉指導監督事業費	ページ	189
年度	R8	所属名	福祉部 地域福祉課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	社会福祉総費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	13,712		
本年度要求額	15,163		
総務部長段階査定額	15,155		
市長段階査定額	15,155		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	958	
	地方債	0	
	その他	319	
	一般財源	13,878	
	計	15,155	
備考欄			

事業の概要
【問合せ先】 指導監査室 0857-30-8205
【12次総の施策体系】 2102
【事業の経過及び背景】 介護保険サービス事業者、障害福祉サービス事業者、障害児通所支援事業者、老人福祉施設及び児童福祉施設等に対して、法令等に基づく適正な事業実施を行うよう指導監督する。
【事業の目的及び効果】 介護保険サービス事業者等に対する指導監督を通じて事業者の健全育成及び質の向上を図る。
【事業の内容】 介護保険サービス事業者等に対して介護保険法等に基づき指導監督業務を実施する。また、共生型サービスへの移行を促進するため、事業所への情報提供・助言を行う。
【事業の実績】 令和5年度決算額 16,830千円 令和6年度決算額 12,928千円 令和7年度決算額 13,755千円(見込み)
※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金

福006	項目名	避難行動要支援者支援制度普及促進事業費	新規事業
予算書項目	避難行動要支援者支援制度普及促進事業費	ページ	189
年度	R8	所属名	福祉部 地域福祉課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	社会福祉総費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	2,121		
本年度要求額	1,267		
総務部長段階査定額	1,232		
市長段階査定額	1,232		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,232	
	一般財源	0	
	計	1,232	
備考欄			

事業の概要
【問合せ先】 福祉企画係 0857-30-8202
【12次総の施策体系】 4101
【事業の経過及び背景】 平成25年の災害対策基本法の改正により、市町村に避難行動要支援者名簿の作成が義務化された。また、令和3年改正により、個別避難計画の作成について努力義務とされた。本市においては、平成18年3月に「災害時要援護者支援制度」を創設し、平成26年から「避難行動要支援者支援制度」として取り組んでいる。
【事業の目的及び効果】 地震や洪水などの災害時において、障がいのある人、要介護者などの要支援者が、地域の「共助」により支援を受けられる体制づくりの推進を図る。
【事業の内容】 名簿掲載に同意をいただいた避難行動要支援者をまとめた避難行動要支援者名簿を作成する。この名簿を地域の支援組織(自治会、自主防災組織、民生児童委員、地区社会福祉協議会等により構成された組織)に提供し、避難行動要支援者の存在を認識していただくとともに、支援が必要な対象者に対して個別避難計画を作成していただくための登録勸奨を実施していく。また、あらゆる機会を捉え、制度の概要チラシを配布し周知を図るとともに、これまでの地域の支援組織の協力に加え、令和5年度から福祉専門職に個別避難計画の作成を委託している。
【事業の実績】 令和5年度末 4,304名 令和6年度末 3,797名 令和7年度 3,951名(12月末時点)
※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

福007	項目名	わが町支え愛活動支援事業補助金	新規事業
予算書項目	わが町支え愛活動支援事業補助金	ページ	189
年度	R8	所属名	福祉部 地域福祉課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	社会福祉総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	150		
本年度要求額	300		
総務部長段階査定額	175		
市長段階査定額	175		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	175		
一般財源	0		
計	175		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202	
【12次総の施策体系】2303	
【事業の経過及び背景】 災害が発生した際、要支援者（障がい者、要介護者など）は、最も被害にあう確率が高く、安否確認や避難誘導などの支援体制を整備することは喫緊の課題であり、これらの課題を地域住民が自らの課題として捉え、地域ぐるみで互いに支え合える体制づくりを進めていく必要がある。	
【事業の目的及び効果】 町内会、集落単位で取り込まれる災害時の要支援者避難体制及び平常時の見守り体制の構築を支援することにより、身近な地域で安全安心な生活基盤を整備する。	
【事業の内容】 ・補助事業者 社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会 ・補助限度額 災害時要支援者対策促進事業：1住民組織あたり25千円 災害時要支援者対策ステップアップ事業：1住民組織あたり50千円 ・補助金の交付方法 市社会福祉協議会は県社会福祉協議会を通じて県から交付を受けた補助金と市から交付を受けた補助金の合計額を住民組織（町内会、自治会等）へ交付	
【事業の実績】 令和5年度 ステップアップ事業：1団体（50千円） 令和6年度 実績なし 令和7年度 促進事業：3団体（75千円）（見込み）	
※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

福008	項目名	介護保険事業計画・高齢者福祉計画推進事業費	新規事業
予算書項目	介護保険事業計画・高齢者福祉計画推進事業費	ページ	187
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	社会福祉総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	678		
本年度要求額	1,524		
総務部長段階査定額	1,455		
市長段階査定額	1,455		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,455		
計	1,455		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】管理係 0857-30-8211	
【12次総の施策体系】2102	
【事業の経過及び背景】 市町村は、高齢者に対する保健福祉事業全般を総合的に推進するため、介護保険法第117条に基づき3年を1期として定める「市町村介護保険事業計画」と老人福祉法第20条の8第1項に基づき定める「市町村老人福祉計画」を一体的に作成することとされている。	
【事業の目的及び効果】 令和6年度から8年度までの3年を計画期間とする「第9期鳥取市介護保険事業計画・高齢者福祉計画」の取組の進捗管理等を行うための各種会議を開催し、本市の介護保険事業及び高齢者福祉施策を推進する。また、令和9年度から11年度までの3年を計画期間とする第10期の計画を作成する。	
【事業の内容】 会議の開催計画 （1）介護保険等推進委員会（委員数：19名、開催回数：5回） （2）地域密着型サービス部会（委員数：8名、開催回数：2回） （3）介護保険サービス事業者選定委員会（委員数：3名、開催回数：2回）	
【事業の実績】	
	[決算額] [取組内容]
令和5年度	951千円 計画の進捗管理、次期計画の作成等
令和6年度	365千円 計画の進捗管理等
令和7年度（見込み）	308千円 計画の進捗管理等

福009	項目名	とっとり東部権利擁護支援センター運営事業費	新規事業																				
予算書項目	権利擁護推進事業費	ページ	189																				
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課																				
会計名		事業の概要																					
一般会計		【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457																					
款	民生費	【12次総の施策体系】2102																					
項	社会福祉費	【事業の経過及び背景】 平成25年4月に設置された「とっとり東部権利擁護支援センター（略称 アドサポ）」は、設立以降困難事案の相談受付や法人後見を受任するなどの重要な役割を担ってきた。令和2年度からは国の成年後見制度利用促進基本計画に定められた中核機関の運営を委託し、本市における成年後見制度の利用促進の中心的な役割を担っている。困難事案への対応が増加していることから令和6年度から職員を1名増員し、機能を強化している。																					
目	社会福祉総費	【事業の目的及び効果】 アドサポに中核機関の運営を委託し、成年後見制度等の有効活用をはじめ、権利擁護に関する事案の相談から支援までの一元的・専門的な総合的支援の提供体制を確保する。																					
(単位:千円)		【事業の内容】 (1) 虐待、複合等の困難事案の法人後見の受任 (2) 成年後見制度や権利擁護に係る普及啓発・広報活動 (3) 成年後見制度の利用に関する相談及び申立支援 (4) 成年後見受任者に対する支援 (5) 虐待やその他の権利擁護、成年後見制度に関する市への相談支援 (6) 市民後見人養成のための講座の運営協力、養成講座修了者の受入れ（補助員として雇用） (7) 日常生活自立支援事業等関連制度からの円滑な移行の支援、法人後見の担い手の育成及び活動支援 (8) 地域連携ネットワークの構築のための会議、調整																					
前年度当初予算額	9,252	【事業の実績】																					
本年度要求額	9,268	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【決算額】</th> <th>【相談件数】</th> <th>【法人後見受任件数】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>5,634千円</td> <td>425件</td> <td>71件</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>9,324千円</td> <td>717件</td> <td>70件</td> </tr> <tr> <td>令和7年度（見込み）</td> <td>9,252千円</td> <td>720件</td> <td>70件</td> </tr> </tbody> </table>			【決算額】	【相談件数】	【法人後見受任件数】	令和5年度	5,634千円	425件	71件	令和6年度	9,324千円	717件	70件	令和7年度（見込み）	9,252千円	720件	70件				
	【決算額】	【相談件数】	【法人後見受任件数】																				
令和5年度	5,634千円	425件	71件																				
令和6年度	9,324千円	717件	70件																				
令和7年度（見込み）	9,252千円	720件	70件																				
総務部長段階査定額	9,268	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	9,268																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	630																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	8,638																						
計	9,268																						
備考欄																							

福010	項目名	市民後見人養成事業費	新規事業																				
予算書項目	権利擁護推進事業費	ページ	189																				
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課																				
会計名		事業の概要																					
一般会計		【問合せ先】管理係 0857-30-8211																					
款	民生費	【12次総の施策体系】2102																					
項	社会福祉費	【事業の経過及び背景】 成年後見制度の利用を必要とする高齢者等の増加に伴い、全国的に弁護士や社会福祉士等の後見専門職の不足が見込まれており、専門職以外の一般市民が判断能力の低下した本人に代わって財産管理等を行う市民後見人の養成が求められている。（本市は平成27年度から市民後見人の養成に向けた取組を開始。）																					
目	社会福祉総費	【事業の目的及び効果】 後見活動を行う市民後見人を養成することにより、成年後見制度を適切に利用できる環境を確保し、認知症等により判断能力が十分でない人が不利益を被らないよう支援する。																					
(単位:千円)		【事業の内容】 市民後見人を養成するための以下の研修等を実施する。 (1) 市民後見人養成講座の開設と受講生の募集、選考 (2) 市民後見人の養成講座の運営と、それに係る関係機関・団体等との連携、調整 (3) 養成講座修了者の受入れ（日常生活自立支援事業における生活支援員として活動） (4) 成年後見制度に関する広報・啓発 (5) 市民後見人の後見活動への支援																					
前年度当初予算額	3,004	【事業の実績】																					
本年度要求額	2,931	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【決算額】</th> <th>【養成講座修了者】</th> <th>【成年後見人等選任】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>2,416千円</td> <td>13人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>2,588千円</td> <td>8人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>令和7年度（見込み）</td> <td>3,004千円</td> <td>13人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>			【決算額】	【養成講座修了者】	【成年後見人等選任】	令和5年度	2,416千円	13人	5人	令和6年度	2,588千円	8人	5人	令和7年度（見込み）	3,004千円	13人	5人				
	【決算額】	【養成講座修了者】	【成年後見人等選任】																				
令和5年度	2,416千円	13人	5人																				
令和6年度	2,588千円	8人	5人																				
令和7年度（見込み）	3,004千円	13人	5人																				
総務部長段階査定額	2,931	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	2,931																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	2,931																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	0																						
計	2,931																						
備考欄																							

福011	項目名	成年後見制度利用推進事業費	新規事業
予算書項目	権利擁護推進事業費	ページ	189
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	社会福祉総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,035		
本年度要求額	950		
総務部長段階査定額	950		
市長段階査定額	950		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	474	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	476	
	計	950	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】管理係 0857-30-8211	
【12次総の施策体系】2102	
【事業の経過及び背景】 平成29年3月に閣議決定された成年後見制度利用促進基本計画の中で、市は成年後見制度利用促進基本計画の策定に努めることとされ、地域連携ネットワーク及び中核機関の設置・運営、並びにそれらの機能の段階的・計画的整備について定めることとされている。	
【事業の目的及び効果】 鳥取市後見人等受任調整会議を開催し、成年後見人が必要な人に対して適切な専門職後見人等を家庭裁判所に対して推薦することで、制度利用促進（マッチング）を図る。また、成年後見制度利用促進や市の計画についての研修に参加することで、本市の権利擁護事業の充実強化を図る。	
【事業の内容】 とっとり東部権利擁護支援センター、鳥取市権利擁護支援センター、NPO法人、弁護士会等専門職団体及び市で構成する鳥取市後見人等受任調整会議を開催する。	
【事業の実績】	
	[決算額] [開催数]
令和5年度	651千円 12回
令和6年度	881千円 11回
令和7年度（見込み）	1,035千円 12回

福012	項目名	アルツハイマー病治療薬補助金	新規事業
予算書項目	アルツハイマー病治療薬補助金	ページ	189
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	社会福祉総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	580		
本年度要求額	9,663		
総務部長段階査定額	6,159		
市長段階査定額	6,159		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	3,079	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,080	
	計	6,159	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】管理係 0857-30-8211	
【12次総の施策体系】2201	
【事業の経過及び背景】 高齢化とともに、認知症またはその前段のMCI（軽度認知障害）の方が増加している。そのような中で、認知症発症の原因と言われる物質の脳内蓄積を除去し、認知症の進行を抑制することができる治療薬が保険適用となった。認知症の発病、進行を抑制するためにも、早期発見・早期治療につなげる取組が求められている。	
【事業の目的及び効果】 アルツハイマー病治療薬の保険診療が可能になったことに伴い、市民の生活負担軽減を図り、早期検査・治療につなぐ。	
【事業の内容】 アルツハイマー病治療薬での治療が適応か判断する検査及び治療にかかった費用の自己負担分（または要綱で定めた上限額）に対し、補助金を交付する。	
【事業の実績】	
	[決算額] [申請件数]
令和6年度	172千円 7件
令和7年度（見込み）	4,357千円 46件

福013	項目名	持続可能な権利擁護支援モデル事業費	新規事業	○
予算書項目	持続可能な権利擁護支援モデル事業費		ページ	189
年度	R8		所属名	福祉部 長寿社会課
会計名				
一般会計				
款	民生費			
項	社会福祉費			
目	社会福祉総務費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	5,000			
本年度要求額	6,000			
総務部長段階査定額	6,000			
市長段階査定額	6,000			
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	3,333		
	地方債	0		
	その他	1,000		
	一般財源	1,667		
	計	6,000		
備考欄				

事業の概要	
【問合せ先】 管理係 0857-30-8211	
【12次総の施策体系】 2102	
【事業の経過及び背景】 単身高齢者等が増加する中、身寄りが無い、頼れる家族がいない高齢者などについて、身元保証や緊急連絡先が無いことから、急な入院や施設入所が必要となった際に調整に時間を要するなど、円滑な対応が困難な状況が生じている。	
【事業の目的及び効果】 頼れる親族等の身寄りが無い高齢者等の増加が見込まれることから、家族の支援を前提としない、身近な地域の中で、必要な支援を受けながら生活できるよう地域で支え合う新たな権利擁護支援を行う。	
【事業の内容】 (1) 高齢者等の生活上の課題等に関する相談窓口の設置 (2) 相談内容に応じて、本人の意思決定を確保（意思決定支援）しつつ、必要とする生活支援、入退院・入退所、死後事務支援など総合的な支援パッケージを提供 (3) 多様な支援ニーズに対応できるよう新たな支援内容・主体体制の充実強化 (4) 制度周知、利用促進 (5) 関係機関による「モデル事業運営委員会（仮称）」を定期的に開催し、事業推進と検証を行う	
【事業の実績】	
令和7年度（見込み）	[決算額] 5,000千円
※その他財源の寄附金は、クラウドファンディング型ふるさと納税	

福014	項目名	高齢者介護予防・地域活動等支援バス利用助成事業費	新規事業	
予算書項目	高齢者介護予防・地域活動等支援バス利用助成事業費		ページ	189
年度	R8		所属名	福祉部 長寿社会課
会計名				
一般会計				
款	民生費			
項	社会福祉費			
目	社会福祉総務費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	23,596			
総務部長段階査定額	22,874			
市長段階査定額	22,874			
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	5,443		
	一般財源	17,431		
	計	22,874		
備考欄				

事業の概要	
【問合せ先】 管理係 0857-30-8211	
【12次総の施策体系】 2201	
【事業の経過及び背景】 高齢者が住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らし続けることができるまちづくりが求められている。	
【事業の目的及び効果】 (1) 高齢者団体のレクリエーション活動や研修活動などを促進することで、高齢者の社会参加と生きがいづくりを推進する。 (2) ボランティア活動を行う市民の利便を図ることで、市民の社会奉仕活動を推進する。 (3) 地区公民館を拠点に活動している団体の地域活動や研修会等に参加する機会の拡大を図る。	
【事業の内容】 福祉バスの運行と民間バス利用料助成を実施する。令和8年度からは、利用料助成に一本化する。	
【事業の実績】	
	[決算額] [高齢者] [ボランティア] [利用助成]
令和5年度	19,353千円 429件 17件 121件
令和6年度	19,601千円 350件 17件 149件
令和7年度（見込み）	23,955千円 350件 17件 190件
※その他財源の繰入金金は、ふるさと納税基金繰入金	

福015	項目名	養護老人ホーム入所事業費	新規事業
予算書項目	養護老人ホーム入所事業費	ページ	191
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	老人福祉費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	242,871		
本年度要求額	259,207		
総務部長段階査定額	252,755		
市長段階査定額	252,755		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	76,585		
一般財源	176,170		
計	252,755		
備考欄			

事業の概要			
【問合せ先】管理係 0857-30-8211			
【12次総の施策体系】2102			
【事業の経過及び背景】 老人福祉法第11条において、経済的理由等で居宅で養護を受けることができない高齢者に対する市の養護義務が定められている。			
【事業の目的及び効果】 在宅において日常生活を営むことに支障がある高齢者に対して、心身の状況、環境等を総合的に勘案し、養護老人ホームへの入所措置を行う。			
【事業の内容】 概ね65歳以上で環境上及び経済的な理由により、居宅で養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームへ入所させ養護することで、健康で安心な生活を送れるよう支援する。			
【事業の実績】			
	[決算額]	[延べ入所(措置)数]	
		[なごみ苑]	[母来寮]
			[慈母園]
令和5年度	223,052千円	1,088人	427人
令和6年度	236,517千円	1,073人	496人
令和7年度(見込み)	243,293千円	1,071人	516人
※その他財源の負担金は、養護老人ホーム入所負担金			

福016	項目名	軽費老人ホーム運営補助金	新規事業
予算書項目	軽費老人ホーム運営補助金	ページ	193
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	老人福祉費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	167,650		
本年度要求額	174,693		
総務部長段階査定額	174,693		
市長段階査定額	174,693		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	5,510		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	169,183		
計	174,693		
備考欄			

事業の概要			
【問合せ先】管理係 0857-30-8211			
【12次総の施策体系】2101			
【事業の経過及び背景】 軽費老人ホームは、老人福祉法第20条の6の規定により、在宅での生活が困難な低所得者層に属する高齢者を低額な料金で入所させ、食事の提供その他の日常生活上必要な便宜を供与することを目的とした施設である。			
【事業の目的及び効果】 社会福祉法人等が設置する軽費老人ホームに対して助成を行い、所得の少ない施設利用者の負担軽減及び軽費老人ホーム職員の処遇改善を図り、施設の安定的な運営を確保する。			
【事業の内容】 軽費老人ホームのサービスの提供に要する費用(事務費)のうち、社会福祉法人等が基準に基づき減免した入所者の利用料に対して助成を行う。また、介護職員等の賃上げや職場環境の改善に取り組む軽費老人ホームに対し、所要の額を補助する。			
財源:物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金			
【事業の実績】			
	[決算額]		
令和5年度	161,662千円		
令和6年度	165,028千円		
令和7年度(見込み)	164,080千円		

福017	項目名	外国人介護人材確保支援事業費	新規事業
予算書項目	介護人材確保・定着支援事業費	ページ	193
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名		事業の概要 【問合せ先】管理係 0857-30-8211 【12次総の施策体系】2102 【事業の経過及び背景】 高まる介護人材不足に対応するため、これまで株式会社スカイバード及び鳥取城北日本語学校が運営している「外国人育成雇用プロジェクト」と行政が連携した「鳥取市外国人人材確保・定着支援事業補助金」の活用などにより、介護人材確保の推進を図っている。 【事業の目的及び効果】 市内の介護事業所が介護人材確保を目的として外国人育成雇用プロジェクトを活用して新たに採用した外国人職員に対して、勤続期間に応じた支援金を交付することで介護人材の定着促進を図る。 【事業の内容】 市内の介護事業所が外国人育成雇用プロジェクトを活用して新たに採用した外国人職員に対して、勤続期間に応じた支援金を交付する。 【勤続年数】 【支給額】 6か月 10万円 1年 10万円 2年 10万円 3年 10万円 【事業の実績】 [決算額] 令和6年度 200千円 令和7年度（見込み） 300千円	
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	老人福祉費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	400		
本年度要求額	600		
総務部長段階査定額	600		
市長段階査定額	600		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	600		
計	600		
備考欄			

福018	項目名	包括支援センター運営事業費(事業運営費)	新規事業
予算書項目	包括支援センター運営事業費	ページ	193
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名		事業の概要 【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457 【12次総の施策体系】2102 【事業の経過及び背景】 本市は地域包括ケアの構築を図るため平成18年度より地域包括支援センターを設置し、複雑・多様化している高齢者の課題に寄り添った生活支援に取り組んでいる。 令和4年度より複雑化・複合化したニーズに対応する包括的な支援体制を構築する「重層的支援体制整備事業」に本事業を位置付け、介護保険費特別会計から一般会計へ本事業を移行した。 【事業の目的及び効果】 地域包括支援センターにおいて、包括的支援事業等を一体的に実施し、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。 【事業の内容】 (1) 総合相談支援業務(総合相談支援、実態把握等) (2) 権利擁護業務(成年後見制度の活用促進、高齢者虐待への対応等) (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務(医療機関や関係機関との連携体制構築、地域のケアマネージャーが抱える支援困難事例等への指導・助言等) 【事業の実績】 地域包括支援センターの運営 基幹型1か所、地域密着型10か所 [決算額] [相談件数] 令和5年度 304,475千円 12,871件 令和6年度 312,637千円 11,366件 令和7年度(見込み) 332,991千円 12,000件 ※その他財源の繰入金は、重層的支援体制整備事業繰入金	
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	老人福祉費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	339,551		
本年度要求額	334,240		
総務部長段階査定額	333,735		
市長段階査定額	333,735		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 76,696 諸収入 0 その他 0	
財源内訳			
国・県支出金	192,574		
地方債	0		
その他	76,696		
一般財源	64,465		
計	333,735		
備考欄			

福019	項目名	福祉ボランティアのまちづくり事業助成交付金	新規事業																
予算書項目	福祉ボランティアのまちづくり事業助成交付金	ページ	193																
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課																
会計名		事業の概要 【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457 【12次総の施策体系】2201 【事業の経過及び背景】 本事業は平成26年度までは任意事業、平成27年度は介護予防事業、平成29年度からは介護予防・日常生活支援総合事業に位置付け、住民主体の通いの場の開設・運営を推進している。 令和4年度より「重層的支援体制整備事業」に本事業を位置付け、介護保険費特別会計から一般会計へ本事業を移行する。 【事業の目的及び効果】 高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、住民主体の通いの場（高齢者等が気軽に集まれるサロン）の開設・運営を推進し、高齢者の社会参加活動を通じて介護予防を推進する。 【事業の内容】 ふれあい・いきいきサロン支援事業 ・助成対象：住民主体の通いの場の運営費 ・市助成金：鳥取市社会福祉協議会のサロン運営費助成に必要な費用の一部を市が助成 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>【決算額】</td> <td>【新規】</td> <td>【継続（2年目）】</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>631千円</td> <td>22サロン</td> <td>22サロン</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>663千円</td> <td>28サロン</td> <td>19サロン</td> </tr> <tr> <td>令和7年度（見込み）</td> <td>835千円</td> <td>26サロン</td> <td>27サロン</td> </tr> </table> ※その他財源の繰入金は、重層的支援体制整備事業繰入金			【決算額】	【新規】	【継続（2年目）】	令和5年度	631千円	22サロン	22サロン	令和6年度	663千円	28サロン	19サロン	令和7年度（見込み）	835千円	26サロン	27サロン
	【決算額】			【新規】	【継続（2年目）】														
令和5年度	631千円			22サロン	22サロン														
令和6年度	663千円			28サロン	19サロン														
令和7年度（見込み）	835千円			26サロン	27サロン														
一般会計																			
款	民生費																		
項	社会福祉費																		
目	老人福祉費																		
(単位:千円)																			
前年度当初予算額	712																		
本年度要求額	933																		
総務部長段階査定額	933																		
市長段階査定額	933																		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳																	
財源内訳		分担金	0																
国・県支出金	349	負担金	0																
地方債	0	使用料	0																
その他	465	手数料	0																
一般財源	119	財産収入	0																
計	933	寄付金	0																
		繰入金	465																
		諸収入	0																
		その他	0																
備考欄																			

福020	項目名	生活支援体制整備事業費(事業運営費)	新規事業												
予算書項目	生活支援体制整備事業費(事業運営費)	ページ	193												
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課												
会計名		事業の概要 【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457 【12次総の施策体系】2102 【事業の経過及び背景】 様々な生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化を推進することが求められている。 また、令和4年度より「重層的支援体制整備事業」に本事業を位置付け、介護保険費特別会計から一般会計へ本事業を移行した。 【事業の目的及び効果】 多様な生活支援サービスの提供体制を確保するため、関係多職種が連携して協議する「協議体」を構築する。さらに「地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）」を継続して配置し、地域の生活支援サービス提供の担い手の育成や事業立ち上げ支援を行う。 【事業の内容】 第1層協議体（全市対象）において介護予防・生活支援サービス提供体制の方向性を協議する。 また、「地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）（第1層：全市域、第2層：日常生活圏域）」は、各地域の取組を支援し、地域が抱える課題の解決に中長期的視点で取り組むとともに、第2層協議体の活動の促進や、地域における新たなサービス提供主体の立ち上げに向けた支援などを行う。 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>【決算額】</td> <td>【生活支援コーディネーター】</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>28,755千円</td> <td>7名（第1層：1名、第2層：6名）</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>28,930千円</td> <td>8名（第1層：2名、第2層：6名）</td> </tr> <tr> <td>令和7年度（見込み）</td> <td>39,739千円</td> <td>8名（第1層：1名、第2層：7名）</td> </tr> </table> ※その他財源の繰入金は、重層的支援体制整備事業繰入金			【決算額】	【生活支援コーディネーター】	令和5年度	28,755千円	7名（第1層：1名、第2層：6名）	令和6年度	28,930千円	8名（第1層：2名、第2層：6名）	令和7年度（見込み）	39,739千円	8名（第1層：1名、第2層：7名）
	【決算額】			【生活支援コーディネーター】											
令和5年度	28,755千円			7名（第1層：1名、第2層：6名）											
令和6年度	28,930千円			8名（第1層：2名、第2層：6名）											
令和7年度（見込み）	39,739千円			8名（第1層：1名、第2層：7名）											
一般会計															
款	民生費														
項	社会福祉費														
目	老人福祉費														
(単位:千円)															
前年度当初予算額	39,739														
本年度要求額	42,209														
総務部長段階査定額	41,455														
市長段階査定額	41,455														
区分	本年度予算額	その他財源の内訳													
財源内訳		分担金	0												
国・県支出金	23,940	負担金	0												
地方債	0	使用料	0												
その他	9,534	手数料	0												
一般財源	7,981	財産収入	0												
計	41,455	寄付金	0												
		繰入金	9,534												
		諸収入	0												
		その他	0												
備考欄															

福021	項目名	ファミリーサポートセンター運営事業費(生活援助型)	新規事業																		
予算書項目	ファミリーサポートセンター運営事業費(生活援助型)	ページ	193																		
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課																		
会計名		事業の概要 【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457 【12次総の施策体系】2102 【事業の経過及び背景】 買い物や食事の準備・後片付けができない、あるいは通院時の付添いがなければ不安であるといった生活問題を抱えている人がいる一方で、そのような人への援助活動を希望する人もいる。本市では、市民相互の助け合い活動を推進するため、ファミリーサポートセンター(生活援助型)を運営している。 【事業の目的及び効果】 ファミリーサポートセンター(生活援助型)を運営し、軽易な援助を受けたい人と援助を行いたい人に会員登録してもらい、マッチングを行うことで、援助を受けたい人の身体的・精神的負担を軽減するとともに、助け合い活動の機運を醸成する。 【事業の内容】 ファミリーサポートセンター(生活援助型)を運営し、軽易な援助を受けたい人と援助を行いたい人に会員登録してもらい、マッチングを行うことで、援助を受けたい人の身体的・精神的負担を軽減するとともに、助け合い活動の機運を醸成する。 ・会員の募集、登録、会員同士のマッチング業務 ・広報業務(パンフレット、ファミサポ通信の発行) ・援助会員に対する講習、指導業務(講習会の開催など) 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>【決算額】</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>9,931千円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>10,072千円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>11,008千円(見込み)</td> </tr> </table> ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			【決算額】	令和5年度	9,931千円	令和6年度	10,072千円	令和7年度	11,008千円(見込み)										
	【決算額】																				
令和5年度	9,931千円																				
令和6年度	10,072千円																				
令和7年度	11,008千円(見込み)																				
一般会計																					
款	民生費																				
項	社会福祉費																				
目	老人福祉費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	10,861																				
本年度要求額	11,186																				
総務部長段階査定額	11,161	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>7,600</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	7,600	諸収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	7,600																				
諸収入	0																				
その他	0																				
市長段階査定額	11,161																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	7,600																				
一般財源	3,561																				
計	11,161																				
備考欄																					

福022	項目名	高齢者虐待保護事業費	新規事業																		
予算書項目	高齢者虐待保護事業費	ページ	193																		
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課																		
会計名		事業の概要 【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457 【12次総の施策体系】2102 【事業の経過及び背景】 高齢者虐待は、重大な権利侵害である。高齢者の生命または身体に重大な危険が生じている恐れがあるときは、市の責務として虐待者から分離、保護する必要がある。 【事業の目的及び効果】 家族からの虐待を受け、分離介入が必要な場合や認知症等により判断能力が低下し、自ら介護保険サービスを利用することが困難な高齢者を保護するため、老人福祉法の規定に基づき、措置等による施設入所をおこない、虐待を受けている高齢者の生命の安全を図る。 【事業の内容】 高齢者の状況に応じて、下記のとおり保護措置を行う。 (1) 鳥取市生活管理指導短期宿泊実施要綱に基づく、養護老人ホームへの短期入所により虐待者と分離、保護する。 (2) 要介護状態で、介護サービス利用が必要な高齢者を特別養護老人ホームへ措置することにより虐待者と分離、保護する。 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>【決算額】</td> <td>【短期宿泊利用件数】</td> <td>【特養への措置件数】</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>4,579千円</td> <td>12件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>6,764千円</td> <td>9件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>令和7年度(見込み)</td> <td>5,148千円</td> <td>10件</td> <td>3件</td> </tr> </table> ※その他財源の手数料は、短期宿泊手数料 ※その他財源の諸収入は、短期宿泊食費ほか			【決算額】	【短期宿泊利用件数】	【特養への措置件数】	令和5年度	4,579千円	12件	1件	令和6年度	6,764千円	9件	1件	令和7年度(見込み)	5,148千円	10件	3件		
	【決算額】			【短期宿泊利用件数】	【特養への措置件数】																
令和5年度	4,579千円			12件	1件																
令和6年度	6,764千円			9件	1件																
令和7年度(見込み)	5,148千円	10件	3件																		
一般会計																					
款	民生費																				
項	社会福祉費																				
目	老人福祉費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	5,148																				
本年度要求額	6,009																				
総務部長段階査定額	5,296	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>490</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>1,790</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	490	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	1,790	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	490																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
諸収入	1,790																				
その他	0																				
市長段階査定額	5,296																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	2,280																				
一般財源	3,016																				
計	5,296																				
備考欄																					

福023	項目名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業費	新規事業
予算書項目	保健・介護予防事業の一体的推進事業費	ページ	213
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	一般会計		
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	健康対策費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	34,222	事業の概要	
本年度要求額	36,856	【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457	
総務部長段階査定額	36,856	【12次総の施策体系】2201	
市長段階査定額	36,856	【事業の経過及び背景】 高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため保健・医療・介護の連携した取組が不可欠となってきている。令和2年4月医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業の取組が推進されている。	
区分	本年度予算額	【事業の目的及び効果】 介護保険の地域支援事業と国民健康保険及び後期高齢者医療保険の保健事業を一体的に実施することで、多様化する高齢者の課題に迅速かつ効果的にアプローチし、特にフレイル予防対策に着目した支援を通して地域で活躍する元気な高齢者の増加を図る。令和5年度には鳥取市フレイル予防ネットワーク推進会議を設置し、全市的なフレイル予防対策について検討している。	
財源内訳		【事業の内容】 保健師・看護師等の専門スタッフの配置や外部の専門職との連携により、高齢者への個別支援（訪問・相談）で対象者に応じた保健指導を行うとともに、高齢者の通いの場を対象とした集団支援（予防啓発・健康教育等）を実施し、フレイル予防に取り組む。実施対象地域について、令和8年度も全18圏域で実施予定。	
国・県支出金	0	【事業の実績】	
地方債	0	〔決算額〕〔実施地域〕〔集団支援〕〔個別支援〕	
その他	32,666	令和5年度 22,457千円 13圏域 35か所 実87人	
一般財源	4,190	令和6年度 28,976千円 18圏域 71か所 実138人	
計	36,856	令和7年度（見込み） 35,570千円 18圏域 70か所 実300人	
備考欄		※その他財源の諸収入は、後期高齢者医療広域連合委託料等	

福024	項目名	身体・知的・精神障害者相談員設置事業費	新規事業
予算書項目	身体・知的・精神障害者相談員設置事業費	ページ	189
年度	R8	所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	一般会計		
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	社会福祉総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	661	事業の概要	
本年度要求額	636	【問合せ先】自立支援係 0857-30-8218	
総務部長段階査定額	636	【12次総の施策体系】2103	
市長段階査定額	636	【事業の経過及び背景】 県では身体障害者福祉法及び知的障害者福祉法に基づき、身体障がい者・知的障がい者（または保護者）からの相談に応じ、必要な援助を行う相談員を設置していたが、平成24年度からは市町村に権限移譲され、本市で設置することとなった。また、令和元年7月からは、精神障がい者相談員も委嘱し、精神障がい者からの相談にも対応している。	
区分	本年度予算額	【事業の目的及び効果】 障がいのある人の更生援護に熱意と識見を持つ相談員を設置することにより、身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者の福祉の増進を図る。	
財源内訳		【事業の内容】 身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者等からの相談に応じて、日常生活をサポートするほか、行政とのパイプ役として、福祉のサービスに関する情報を提供したり、地域の障がい者のニーズを行政へ提言する役割を担う相談員を設置する。	
国・県支出金	0	・任期 2年（令和7年4月～令和9年3月）	
地方債	0	・相談員手当 @24,900円×23人（身体14人、知的7人、精神2人）	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	636	令和5年度 592千円 身障相談員 13人、知障相談員 7人、精障相談員 2人 計 22人	
計	636	令和6年度 575千円 身障相談員 13人、知障相談員 7人、精障相談員 2人 計 22人	
備考欄		令和7年度 591千円 身障相談員 14人、知障相談員 7人、精障相談員 2人 計 23人（見込み）	

福025	項目名	障害者虐待防止・差別解消対策支援事業費	新規事業
予算書項目	障害者虐待防止・差別解消対策支援事業費	ページ	189
年度	R8	所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名		事業の概要 【問合せ先】障がい者福祉係 0857-30-8217 【12次総の施策体系】2103 【事業の経過及び背景】 平成24年10月1日より「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」が施行されたことに伴い、市町村は、「障害者虐待防止センター」の機能を果たすことが必要となった。また、平成28年4月には「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行され、関係機関が連携して障がいのある人への差別解消にも取り組んでいる。さらに、令和6年4月1日から、「改正障害者差別解消法」が施行され、民間事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されており、改正法の内容について、周知・啓発等の取組を推進する。 【事業の目的及び効果】 障がいのある人への虐待に対応するため、障がい福祉課内に設置する障がい者虐待防止センターを窓口として相談・支援を行うとともに、「鳥取市障がい者虐待防止・差別解消推進協議会」を運営し、関係機関が連携して、障がい者虐待・差別の防止、早期発見、早期対応等に取り組む。 【事業の内容】 ・障がい者虐待防止・差別解消推進協議会の設置・運営 ・障がい者虐待防止に関する普及啓発 ・障がい者差別解消法（法改正）に関する普及啓発 ほか 【事業の実績】 障がい者虐待防止・差別解消推進協議会の開催 令和5年度 40千円 令和6年度 63千円 令和7年度 94千円（見込み）	
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	社会福祉総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	178		
本年度要求額	179		
総務部長段階査定額	120		
市長段階査定額	120		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	120		
計	120		
備考欄			

福026	項目名	医療的ケア児等送迎支援事業費	新規事業
予算書項目	医療的ケアを要する重度障がい者支援事業費	ページ	191
年度	R8	所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名		事業の概要 【問合せ先】自立支援係 0857-30-8218 【12次総の施策体系】2103 【事業の経過及び背景】 医療的ケア児等の医療機関等への送迎に際して、移動時に必要な福祉車両や同乗する看護師の手配が課題となっている。 【事業の目的及び効果】 医療的ケア児等の医療機関等への送迎に係る経費を支援することにより、移動手段の選択肢の拡大を図るとともに、利用者の経済的負担を軽減する。 【事業の内容】 医療的ケア児等が負担する経費のうち、次の経費を補助する。 (1) 福祉タクシーの利用による1回あたりの送迎経費の総額から利用者の自己負担額（1回の乗車につき送迎経費の1/2（上限額2,500円））を除いた額 (2) 看護師の派遣による1回あたりの送迎経費総額から利用者の自己負担額（1回の乗車につき500円）を除いた額 【負担割合】県1/2、市1/2 【事業の実績】 令和6年度 21千円 令和7年度 333千円（見込み）	
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	身体障がい者福祉費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	504		
本年度要求額	516		
総務部長段階査定額	332		
市長段階査定額	332		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	166		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	166		
計	332		
備考欄			

福027	項目名	医療的ケア児者訪問型レスパイト支援事業費	新規事業	○
予算書項目	医療的ケアを要する重度障がい者支援事業費		ページ	191
年度	R8		所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名				
一般会計				
款	民生費			
項	社会福祉費			
目	身体障がい者福祉費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	1,980			
総務部長段階査定額	1,188			
市長段階査定額	1,188			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	792	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	396	手数料	0
	計	1,188	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			諸収入	0
			その他	0
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】 自立支援係 0857-30-8218

【12次総の施策体系】 2103

【事業の経過及び背景】
医療的ケア児等の介護を行う保護者等の負担軽減が求められる中、医療型ショートステイの利用がしづらい、希望どおりに利用できないという声があり、保護者等の休息につなげられないケースがある。

【事業の目的及び効果】
医療的ケア児等の訪問看護サービスの利用を促進することで、居宅で医療的ケア児等の介護を行う保護者等の負担を軽減する。

【事業の内容】
訪問看護事業所が提供する訪問看護サービスにかかった経費の一部を支援することで、医療的ケア児等の保護者等のレスパイト支援体制を強化する。
助成額 1時間11,000円(1人当たり)
1回につき最大6時間 年間36時間を上限
【負担割合】 県2/3、市1/3

福028	項目名	障がい福祉計画策定費	新規事業	
予算書項目	障害者総合支援法施行事務費		ページ	195
年度	R8		所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名				
一般会計				
款	民生費			
項	社会福祉費			
目	障害者自立支援事業費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	5,356			
総務部長段階査定額	5,356			
市長段階査定額	5,356			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	5,356	手数料	0
	計	5,356	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			諸収入	0
			その他	0
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】 障がい福祉係 0857-30-8217

【12次総の施策体系】 2103

【事業の経過及び背景】
本市では、障害者基本法に基づく「鳥取市障がい者計画」を策定し、障がいの有無にかかわらず、誰もが個性や能力を発揮し、社会参加するとともに、相互に認め合い、支え合う「共生社会」の実現のための施策を総合的・計画的に推進してきた。また、障害者総合支援法に基づき、障害福祉サービス分野の3か年計画となる「鳥取市障がい福祉計画」を策定し、障害福祉サービスの提供基盤の整備を図ってきた。

【事業の目的及び効果】
令和9年度から始まる、3か年計画の障がい福祉計画及び障がい児福祉計画の策定を行い、今後の障がい福祉施策の推進を図る。

【事業の内容】
・次期障がい福祉計画等策定委員会の設置・運営
(令和8年度の委員会は、障がい者施策推進協議会の役割も兼ねる)
・次期障がい福祉計画等の策定

【事業の実績】
平成29年度 578千円 第5期鳥取市障がい福祉計画、第1期鳥取市障がい児福祉計画の策定
令和2年度 573千円 第6期鳥取市障がい福祉計画、第2期鳥取市障がい児福祉計画の策定
令和5年度 5,167千円 鳥取市障がい者計画、第7期鳥取市障がい福祉計画、第3期鳥取市障がい児福祉計画の策定

福029	項目名	相談支援事業費	新規事業
予算書項目	地域生活支援事業費	ページ	195
年度	R8	所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 自立支援係 0857-30-8218		
款 民生費	【1 2次総の施策体系】 2103		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 障害者総合支援法の施行により、相談支援事業は、この法律に基づき市町村が主体となって実施する地域生活支援事業に位置づけられた必須事業となっている。		
目 障害者自立支援事業費	【事業の目的及び効果】 市内の指定相談支援事業所に本市の相談支援事業を委託し、障がいのある人が地域で安心して生活していくために必要となる各種サービス利用等のための相談支援・調整等を行う体制を整備し、障がいのある人の日常生活及び社会生活を支援する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・基幹相談支援事業所設置(2人) ・指定相談支援事業所に相談支援業務を委託(相談員の配置20人) 「障がい者支援センターそよかぜ」「障害者支援センターしらはま」「相談支援センターサマーハウス」「相談支援事業所アプローズ」「地域生活支援センターみんなの家」「相談支援センターゆくり」「鳥取介護サービス相談支援センター」の7事業所		
前年度当初予算額	125,030	【事業の実績】	
本年度要求額	124,480	令和5年度 156,774千円 令和6年度 123,866千円 令和7年度 116,796千円(見込み)	
総務部長段階査定額	124,480	その他財源の内訳	
市長段階査定額	124,480	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 13,423		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 111,057		
	計 124,480		
備考欄			

福030	項目名	コミュニケーション支援事業費	新規事業
予算書項目	地域生活支援事業費	ページ	195
年度	R8	所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 障がい福祉係 0857-30-8217		
款 民生費	【1 2次総の施策体系】 2103		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 障がいのある人の意思疎通を支援し、社会参加を促進していくため、様々なコミュニケーションの手段を確保していく必要がある。		
目 障害者自立支援事業費	【事業の目的及び効果】 障がいのある人がその有する能力及び特性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、必要な援助を行うことを目的とする。		
(単位:千円)	【事業の内容】 手話通訳者を市役所、障害者福祉センター及び鳥取県東部聴覚障害者センターへ配置する「手話通訳者設置事業」を始め、障がいのある人からの申し込みにより手話通訳者・要約筆記者等を病院などへ派遣する「意思疎通支援事業」を行う。なお、意思疎通支援事業ではスマートフォン等を利用した遠隔手話通訳にも対応。そのほか、県東部圏域で、手話奉仕員養成研修事業、点訳朗読奉仕員養成事業、失語症向け意思疎通支援事業を行う。		
前年度当初予算額	40,557	【事業の実績】	
本年度要求額	40,891	人件費 委託料ほか 令和5年度 2,724千円 30,236千円 令和6年度 3,346千円 32,362千円 令和7年度 3,542千円 36,711千円(見込み)	
総務部長段階査定額	40,891	その他財源の内訳	
市長段階査定額	40,891	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 30,667		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 10,224		
	計 40,891		
備考欄			

福031	項目名	国民健康保険団体連合会負担金等	新規事業																				
予算書項目	国民健康保険団体連合会負担金等	ページ	195																				
年度	R8	所属名	福祉部 障がい福祉課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】障がい者福祉係 0857-30-8217 【12次総の施策体系】2103 【事業の経過及び背景】 障害者総合支援法に係る障害福祉サービス費等（介護給付費、訓練等給付費ほか）の精算は、電子請求システムの導入により平成19年10月から鳥取県国民健康保険団体連合会経由での精算方式として、負担金で支出している。 【事業の目的及び効果】 居宅介護、生活介護、就労継続支援、共同生活援助などの障害福祉サービス等を提供する事業所に対して、鳥取県国民健康保険団体連合会を経由して給付費を支給し、障がいのある人がその能力や適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援する。 【事業の内容】 障害福祉サービス費として居宅介護などの介護給付費、自立訓練などの訓練等給付費、相談支援事業の一環として実施するサービス等利用計画作成費、施設入所者等に対する特定障害者特別給付費等を支給する。 【負担金の財源】国負担金：1/2、県負担金：1/4 【事業の実績】 令和5年度 手数料：8,925千円 負担金：5,077,403千円 令和6年度 手数料：9,141千円 負担金：5,430,634千円 令和7年度 手数料：8,520千円 負担金：5,743,990千円（見込み）																					
一般会計																							
款	民生費																						
項	社会福祉費																						
目	障害者自立支援事業費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	5,446,333																						
本年度要求額	6,079,324																						
総務部長段階査定額	5,871,476	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	5,871,476																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	4,396,474																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	1,475,002																					
	計	5,871,476																					
備考欄																							

福032	項目名	点字ブロック安心歩行環境整備事業費	新規事業																				
予算書項目	点字ブロック安心歩行環境整備事業	ページ	195																				
年度	R8	所属名	福祉部 障がい福祉課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】障がい者福祉係 0857-30-8217 【12次総の施策体系】2103 【事業の経過及び背景】 点字ブロックは、視覚障がいのある人を安全に誘導するための重要な設備であるが、適切に設置されていない事例や、劣化している事例が報告されており、修繕が必要となっている。 【事業の目的及び効果】 民間施設の設置者が行う点字ブロックの点検により見つかった不具合箇所の修繕等の費用を支援することにより、視覚障がいのある人の安心・安全な歩行環境を確保するとともに、民間事業者の点字ブロックへの理解と自主的な点検・修繕を促進する。 【事業の内容】 民間施設の設置者が行う点字ブロックの修繕等に要する費用の一部を補助する。 ・補助対象者 点字ブロックを設置している民間施設の設置者 ・補助率 1/2 ・補助上限額 1か所あたり12.5千円（県の間接補助） ※2事業者による3か所の修繕を想定 【負担割合】県1/2、市1/2																					
一般会計																							
款	民生費																						
項	社会福祉費																						
目	障害者自立支援事業費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	0																						
本年度要求額	750																						
総務部長段階査定額	750	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	750																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	375																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	375																					
	計	750																					
備考欄																							

福033	項目名	国民健康保険団体連合会負担金(障がい児対象分)	新規事業
予算書項目	障害児通所給付等事業費	ページ	201
年度	R8	所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	児童福祉総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	910,226		
本年度要求額	1,033,513		
総務部長段階査定額	994,430		
市長段階査定額	994,430		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	743,817	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	250,613	
	計	994,430	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】障がい者福祉係 0857-30-8217	
【12次総の施策体系】2103	
【事業の経過及び背景】 児童福祉法に係る障害福祉サービス費等(障害児通所給付費ほか)の精算は、電子請求システムの導入により平成19年10月から鳥取県国民健康保険団体連合会経由での精算方式として、負担金で支出している。	
【事業の目的及び効果】 児童発達支援、放課後等デイサービスなどの障害児通所給付費等を提供する事業所に対して、鳥取県国民健康保険団体連合会を経由して給付費を支給し、障がいのある児童がその能力や適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援する。	
【事業の内容】 障害児通所給付費等として、障害児通所給付費、特例障害児通所給付費、高額障害児通所給付費などを支給する。 【負担金の財源】国負担金：1/2、県負担金：1/4	
【事業の実績】 令和5年度 手数料：2,321千円、負担金：830,641千円 令和6年度 手数料：2,417千円、負担金：912,259千円 令和7年度 手数料：2,673千円、負担金：962,871千円(見込み)	

福034	項目名	生活困窮者自立支援事業費	新規事業
予算書項目	生活困窮者自立支援事業費	ページ	189
年度	R8	所属名	福祉部 生活福祉課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	社会福祉総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	18,818		
本年度要求額	21,664		
総務部長段階査定額	21,664		
市長段階査定額	21,664		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	14,363	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	7,301	
	計	21,664	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】生活支援係 0857-20-3476	
【12次総の施策体系】2101	
【事業の経過及び背景】 平成27年に生活困窮者自立支援法が施行され、生活困窮者(被保護者を含む)の自立を支援するための事業が負担金・補助金化された。	
【事業の目的及び効果】 被保護者への自立支援策を強化するため、生活福祉課内に「就労支援相談員」を設置するとともに、委託により「子どもの学習支援事業」と「就労準備支援事業」を実施する。	
【事業の内容】 (1) 就労支援相談員(国費3/4) 課内に就労支援相談員(会計年度任用職員)を設置し、ケースワーカーと連携して就労相談、ハローワークへの同行訪問、就労指導等を行う。 (2) 生活保護世帯の子どもに対する学習支援事業(国費1/2) 支援予定者数13人 経済的な理由から学習環境が十分でない児童・生徒に対して学習の場を提供し、学力及び学習意欲の向上を図る。 (3) 被保護者就労準備支援事業(国費2/3) 支援予定者数91人 稼働年齢層にある被保護者のうち、一般的な就労が困難な者に対してはボランティア活動等を通じて就労に必要な基礎能力の習得と社会参加・就労意欲の向上を図る。稼働能力の活用が不十分と思われる者に対しては職業訓練、就労体験等を通じて自立した生活を送れるよう支援を行い、協力事業者等への就労を目指す。	
【事業の実績】	
	就労支援相談員 学習支援事業 就労準備支援事業
令和5年度	1,908千円 18人 2,360千円 75人 13,617千円
令和6年度	3,141千円 12人 1,321千円 71人 12,429千円
令和7年度	3,216千円 10人 1,564千円 83人 14,038千円(見込み)

福035	項目名	扶助費	新規事業
予算書項目	扶助費	ページ	207
年度	R8	所 属 名	福祉部 生活福祉課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	生活保護費		
目	扶助費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	3,903,545		
本年度要求額	3,796,380		
総務部長段階査定額	3,796,380		
市長段階査定額	3,796,380		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	2,847,274		
地方債	0		
その他	52,647		
一般財源	896,459		
計	3,796,380		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】生活支援係 0857-20-3476	
【12次総の施策体系】2101	
【事業の経過及び背景】 生活保護は、給与や年金などの収入が国の定めた「最低生活費」を下回り、自分の資産や様々な制度を活用しても生活の維持ができない世帯に対して、日本国憲法第25条の理念に基づき、国が「健康で文化的な最低限度の生活」を保障しながら、自立した生活が送れるように支援することを目的として制定された制度である。	
【事業の目的及び効果】 生活に困窮するものに対し、その困窮の程度に応じ必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。	
【事業の内容】 (国3/4、市1/4負担) (1) 生活扶助費 …衣食その他日常生活の需要を満たすための費用、移送費等 (2) 住宅扶助費 …家賃・地代、家屋補修費用等 (3) 教育扶助費 …義務教育に必要な教材費、給食費等 (4) 介護扶助費 …居宅または施設介護、福祉用具等に要する費用 (5) 医療扶助費 …診察、薬剤、治療材料、医学的処置、手術、入院等に要する費用 (6) 出産扶助費 …分娩の介助、分娩前後の処置等に要する費用 (7) 生業扶助費 …生業扶助費、技能修得費、高等学校就学費 (8) 葬祭扶助費 …死体検案・運搬及び埋火葬等に要する費用 (9) 施設事務費 …救護施設、更生施設、授産施設等の入所者委託に係る費用	
【事業の実績】 令和5年度 3,861,582千円 令和6年度 3,800,026千円 令和7年度 3,903,545千円(見込み)	
※その他財源の諸収入は、生活保護費返還金及び新高額障害福祉サービス費返還金	

福036	項目名	重度障害者医療助成費	新規事業
予算書項目	重度障害者医療助成費	ページ	191
年度	R8	所 属 名	福祉部 保険年金課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	身体障がい者福祉費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	463,148		
本年度要求額	451,219		
総務部長段階査定額	450,716		
市長段階査定額	450,716		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	178,304		
地方債	0		
その他	58,698		
一般財源	213,714		
計	450,716		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】医療助成係 0857-30-8223	
【12次総の施策体系】2103	
【事業の経過及び背景】 障がいのある人の健康の保持及び生活の安定を図る目的で昭和48年に創設された。	
【事業の目的及び効果】 障がいのある人が医療保険等で医療給付を受けた場合に、自己負担部分を助成し、健康の保持と生活の安定を図る。	
【事業の内容】 ・県助成事業 下記の手帳を所持し、前年所得が一定金額未満の人に対し、患者負担額を医療費の1割負担とする。 ① 身体障害者手帳1、2級 ② 特別医療該当と記載された療育手帳 ③ 精神障害者保健福祉手帳1級 ・単市事業 県助成に該当しない下記の手帳を所持する70歳未満かつ所得税及び市民税非課税の人に対し、1か月の医療費合計が一定金額を超えた場合に助成する。 ① 身体障害者手帳3～6級 ② 療育手帳 ③ 精神障害者保健福祉手帳2、3級	
【事業の実績】 (扶助費) 令和5年度 83,894件 471,693千円 令和6年度 80,750件 463,101千円 令和7年度 76,827件 448,572千円(見込み)	
※その他財源の諸収入は、医療助成費返還金	

福037	項目名	後期高齢者医療広域連合運営費	新規 事業
予算書項目	後期高齢者医療広域連合運営費	ページ	193
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名		事業の概要 【問合せ先】長寿医療係 0857-30-8225 【12次総の施策体系】2101 【事業の経過及び背景】 急速な少子高齢化、医療費の増加など大きな環境変化に対応し、将来にわたり国民皆保険制度を堅持していくため、75歳以上の方を対象とした医療制度「後期高齢者医療制度」が平成20年度に創設された。 【事業の目的及び効果】 負担金を後期高齢者医療制度の運営主体である鳥取県後期高齢者医療広域連合に納付することにより制度の円滑な運営に資する。 【事業の内容】 鳥取県後期高齢者医療広域連合に対し、次の負担金を納付する。 (1) 市町村共通経費負担金 平成20年4月から長寿医療制度（後期高齢者医療制度）が創設され、運営主体である鳥取県後期高齢者医療広域連合に次の割合により県内の全市町村が負担するもの。 ・均等割 10% ・高齢者人口割 50% ・人口割 40% (2) 市町村療養給付費負担金（高齢者の医療の確保に関する法律第98条） 平成20年4月から施行された後期高齢者医療制度にかかる療養給付費等のうち、負担対象額の1/12に相当する額を市町村が負担するもの。 (3) 広域連合派遣職員人件費 広域連合に派遣されている職員にかかる人件費 【事業の実績】 (1) 市町村共通経費負担金 令和5年度 93,113千円 令和6年度 139,229千円 令和7年度 120,705千円（見込み） 令和5年度 2,030,508千円 令和6年度 2,113,944千円 令和7年度 2,199,324千円（見込み） (2) 市町村療養給付費負担金 令和5年度（3人）25,205千円 令和6年度（3人）25,912千円 令和7年度（3人）27,362千円（見込み） ※その他財源の諸収入は、後期高齢者医療広域連合負担金	
一般会計			
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	老人福祉費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	2,374,532		
本年度要求額	2,386,295		
総務部長段階査定額	2,386,295	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 27,449 その他 0	
市長段階査定額	2,386,295		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	27,449		
一般財源	2,358,846		
計	2,386,295		
備考欄			

福038	項目名	小児特別医療助成費	新規 事業
予算書項目	小児特別医療助成費	ページ	201
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名		事業の概要 【問合せ先】医療助成係 0857-30-8223 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 乳幼児の健康保持を図る目的で昭和48年に創設された。平成23年4月より中学校卒業まで行っている小児特別医療助成制度の対象年齢を、平成28年4月より高校卒業まで拡大し、実施している。また、令和6年4月から、同対象年齢において、小児医療費の無償化を実施している。（※特別医療費助成の「ひとり親家庭区分」及び「重度心身等区分」の同対象年齢者については、小児医療費無償化の実施に伴い「小児区分」へ移行） 【事業の目的及び効果】 子育て世帯の医療費の負担軽減及び子どもの健康の保持と生活の安定を図る。 【事業の内容】 小児（18歳に達した年度末まで）に対し、医療費の助成を行う。 ・対象者 小児（18歳に達した年度末まで）の入院・通院医療費を助成 ・患者負担額 無料 【事業の実績】 (扶助費) 令和5年度 242,715件 746,537千円 令和6年度 278,156件 942,505千円 令和7年度 266,383件 956,701千円（見込み） ※その他財源の諸収入は、医療助成費返還金	
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	児童福祉総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	939,325		
本年度要求額	949,886		
総務部長段階査定額	929,871	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 6,078 その他 0	
市長段階査定額	929,871		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	461,896		
地方債	0		
その他	6,078		
一般財源	461,897		
計	929,871		
備考欄			

福039	項目名	ひとり親家庭医療助成費	新規事業
予算書項目	ひとり親家庭医療助成費	ページ	201
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	母子福祉費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	41,477		
本年度要求額	44,135		
総務部長段階査定額	44,135		
市長段階査定額	44,135		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	20,951	
	地方債	0	
	その他	2,233	
	一般財源	20,951	
	計	44,135	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】医療助成係 0857-30-8223	
【12次総の施策体系】1101	
【事業の経過及び背景】 ひとり親家庭の方の健康保持と生活安定を図る目的で昭和48年に創設された。	
【事業の目的及び効果】 ひとり親家庭の方の医療費の負担軽減及び健康の保持と生活の安定を図る。	
【事業の内容】 所得税非課税のひとり親世帯の親に対し、医療費の助成を行う。(ひとり親家庭の子については、小児医療費無償化の実施に伴い、「小児」特別医療費助成へ移行) ・対象者 配偶者のない父・母(死別・離婚・遺棄・配偶者が身体障がい者・未婚の母等) ・患者負担額 通院 530円/日 (同一医療機関で一月5日目を以降は無料) 入院 1,200円/日 (※1) ※1 市民税非課税世帯で「限度額適用・標準負担額減額」の認定を受けている方については、1月当たりの負担上限は15日、18,000円まで。	
【事業の実績】 (扶助費) 令和5年度 26,259件83,524千円 令和6年度 14,601件49,595千円 令和7年度 11,962件44,192千円(見込み)	
※その他財源の諸収入は、医療助成費返還金	

福040	項目名	未熟児養育医療助成費	新規事業
予算書項目	未熟児養育医療助成費	ページ	213
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	母子保健費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	9,247		
本年度要求額	8,779		
総務部長段階査定額	8,599		
市長段階査定額	8,599		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	5,050	
	地方債	0	
	その他	1,847	
	一般財源	1,702	
	計	8,599	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】医療助成係 0857-30-8223	
【12次総の施策体系】1101	
【事業の経過及び背景】 養育のため病院等に入院することを必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療費の給付を行う目的で創設され、平成25年度より市町村へ事務移行された。	
【事業の目的及び効果】 未熟児が医療保険等で医療給付を受けた場合に、自己負担部分を助成し、健康の保持と生活の安定を図る。	
【事業の内容】 出生時体重が2,000g以下または、生活力が弱い症状を示す未熟児の入院にかかる保険対象医療費の自己負担部分を助成する。	
【事業の実績】 (扶助費) 令和5年度 28件 15,546千円 令和6年度 31件 26,001千円 令和7年度 27件 7,988千円(見込み)	
※その他財源の負担金は、未熟児養育医療費受給者負担金	

家001	項目名	子どもの貧困対策推進事業費	新規事業
予算書項目	子どもの貧困対策推進事業費	ページ	201
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】企画係 0857-30-8232	
款	民生費	【12次総の施策体系】1101	
項	児童福祉費	【事業の経過及び背景】	
目	児童福祉総務費	子ども達の将来がその生まれ育った家庭の事情等に左右されることなく、全ての子ども達が夢と希望を持って成長していけるよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、子どもの貧困対策は極めて重要となっている。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	3,750	子どもの貧困に対する「教育の支援」、「生活の支援」、「保護者の就労支援」、「経済的支援」を行っている関係各部署との連携のため、『子どもの未来応援推進コーディネーター』を配置し、子どもの貧困対策の総合的かつ計画的な推進を図る。	
本年度要求額	3,927	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	3,924	・子どもの未来応援推進コーディネーター（会計年度任用職員）を1名配置。	
市長段階査定額	3,924	・子どもの貧困対策の効果的な運用のための庁内連絡会の開催。	
		・本市における子どもの貧困対策の包括的かつ効果的な運用のため、関係機関、団体で構成する「子どもの未来応援地域協議会」の開催。	
		・子どもの貧困対策研修会の開催。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和5年度 子どもの貧困推進庁内連絡会1回、地域協議会1回、研修会1回開催	
国・県支出金	2,215	令和6年度 子どもの貧困推進庁内連絡会1回、地域協議会2回、研修会1回開催	
地方債	0	令和7年度 子どもの貧困推進庁内連絡会1回、地域協議会1回、研修会1回開催	
その他	0		
一般財源	1,709		
計	3,924		
備考欄			

家002	項目名	小児慢性特定疾病対策等事業費	新規事業
予算書項目	小児慢性特定疾病対策等事業費	ページ	201
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】育成係 0857-30-8239	
款	民生費	【12次総の施策体系】1101	
項	児童福祉費	【事業の経過及び背景】	
目	児童福祉総務費	中核市移行に伴い県から移管。（市：中核市事務、4町：県からの委託事務） 対象疾病：801疾病（令和7年4月1日時点）	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	67,639	慢性疾患により長期にわたり治療が必要となる児童等の健全な育成及び患者家族の医療費等の負担軽減を図るため、医療費助成を行う。また、自立支援事業により、小児慢性特定疾病児童等及びその家族の相談に応じ、必要な情報提供や助言、関係機関との連絡調整を行う。	
本年度要求額	78,885	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	78,885	(1) 医療費助成	
市長段階査定額	78,885	(2) 自立支援事業	
		(3) 県外受診交通費助成	
		(4) 長期入院時付添支援助成	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和5年度 令和6年度 令和7年度	
国・県支出金	30,596	医療費助成 224名 211名 205名(見込み)	
地方債	0	(各前年度末) (市197、4町27) (市179、4町32) (市171、4町34)	
その他	16,309	交通費助成 76件 90件 55件(見込み)	
一般財源	31,980	付添支援助成 - 31件 45件(見込み)	
計	78,885		
備考欄		※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	

家003	項目名	子ども第3の居場所事業費	新規事業																				
予算書項目	子ども第3の居場所事業費	ページ	201																				
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課																				
会計名	一般会計																						
款	民生費																						
項	児童福祉費																						
目	児童福祉総務費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	19,937																						
本年度要求額	20,093																						
総務部長段階査定額	20,093																						
市長段階査定額	20,093																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	13,688																					
	地方債	0																					
	その他	1,000																					
	一般財源	5,405																					
	計	20,093																					
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>				その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	1,000	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	1,000																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
備考欄																							

事業の概要

【問合せ先】企画係 0857-30-8232

【12次総の施策体系】1101

【事業の経過及び背景】
平成30年9月の三者協定に基づき、令和3年度末までは公益財団法人「日本財団」が子ども第3の居場所事業を実施し、令和4年度以降は本市が実施するもの。

【事業の目的及び効果】
生活や学習等の環境に困難を抱える子どもに対し、安心して過ごせる場所を提供し、基本的な生活を支援することによる生活習慣の定着、個々に寄り添った学習支援を行うことで、学習習慣の定着、学力向上、社会活動体験による自尊心、自己肯定感の育成を図り、もって子どもの自立促進、貧困の連鎖の断ち切りを目指す。

【事業の内容】
子どもの第3の居場所の運営委託
・放課後等の安心した居場所の提供による生活・学習支援
・スクールソーシャルワーカー、小学校長、保育所等関係機関と連携した包括的な支援
・地域食堂と連携した食事支援と地域連携支援
・保護者への子育て支援や相談支援

【事業の実績】
利用児童数
令和5年度 13人
令和6年度 14人
令和7年度 14人（見込み）

※その他財源の寄付金は、クラウドファンディング型ふるさと納税

家004	項目名	ひとり親家庭児童生徒小・中学校入学支度金	新規事業																				
予算書項目	ひとり親家庭児童生徒小・中学校入学支度金	ページ	201																				
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課																				
会計名	一般会計																						
款	民生費																						
項	児童福祉費																						
目	母子福祉費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	1,300																						
本年度要求額	1,620																						
総務部長段階査定額	1,620																						
市長段階査定額	1,620																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	0																					
	その他	849																					
	一般財源	771																					
	計	1,620																					
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>849</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>				その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	849	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	849																						
諸収入	0																						
その他	0																						
備考欄																							

事業の概要

【問合せ先】育成係 0857-30-8239

【12次総の施策体系】1101

【事業の経過及び背景】
小学校、中学校への入学においては、教材等の購入で費用が一時的に増大するため、その緩和のための施策が必要である。

【事業の目的及び効果】
支度金を支給し、教育費の家計に与える負担増大を緩和することで、小中学校への入学準備が滞りなく進めることとするもの。

【事業の内容】
母子父子家庭の児童で1人あたり1万円。前々年分または前年分の所得税において納付すべき額がない者を支給対象とする。

【事業の実績】

	小	中	計
令和5年度	47件	44件	91件
令和6年度	38件	64件	102件
令和7年度	64件	102件	166件（見込み）

※その他財源の繰入金は、教育福祉振興基金繰入金

家005	項目名	ひとり親家庭自立支援給付金事業費	新規事業
予算書項目	ひとり親家庭自立支援給付金事業費	ページ	201
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
会計名		事業の概要 【問合せ先】育成係 0857-30-8239 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 ひとり親家庭の親が修学中の生活費の不安から、就職に有利な資格取得に消極的な現状がある。また、子が自立するまでの間の養育費を確保出来ていないひとり親家庭が多く、安定した生活が困難な状況である。 【事業の目的及び効果】 ひとり親家庭の親の就業促進のため、資格取得研修や職業訓練教育、高等学校卒業程度認定試験合格講座を受ける親に給付金を支給し、経済的自立を支援する。 また、養育費確保のための公正証書作成や調停等に必要経費へ補助する。 【事業の内容】 母子家庭等自立支援給付金事業 ・自立支援教育訓練給付金：医療事務や介護職員初任者研修などの資格取得講座を受講し、修了した場合に、経費の一部を助成するもの。 ・高等職業訓練促進給付金：看護師、介護福祉士等の就職に有利な資格取得のために養成機関に1年以上（令和3年4月以降は6月以上）在籍する場合、生活費負担軽減のために給付金を支給するもの。 ・高等学校卒業程度認定試験合格支援事業：高等学校を卒業していないひとり親家庭の親の学び直しを支援するため、高等学校卒業程度認定試験合格講座を受講した場合の経費を支給するもの。 ・養育費確保支援事業：ひとり親家庭における児童の健全な成長に必要な養育費の取決め内容の債務名義化を促進し、養育費の継続した履行を図るために、公正証書等の作成に要する費用の一部を補助するもの。 【事業の実績】 母子家庭等自立支援給付金事業 ・自立支援教育訓練給付金 R5 5名 R6 4名 R7（見込み）5名 ・高等職業訓練促進給付金 17名 20名 16名 ・高等学校等卒業程度認定試験合格支援事業 0名 0名 1名 ・養育費確保支援事業 10名 16名 15名	
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	母子福祉費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	22,495		
本年度要求額	17,860		
総務部長段階査定額	17,610		
市長段階査定額	17,610		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	13,082	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	4,528	財産収入	0
計	17,610	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

家006	項目名	ひとり親家庭学習支援事業費	新規事業
予算書項目	ひとり親家庭学習支援事業費	ページ	201
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
会計名		事業の概要 【問合せ先】育成係 0857-30-8239 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 ひとり親家庭は、生活と就労をひとりで担わなければならない、子どもの学習に十分関わることができない状況にある。また、子どものいる一般世帯よりも収入が低いことが統計で分かっており、経済的な理由から児童を学習塾に行かせることも難しい状況にある。学習機会の確保を図り、子どもの健全育成と自立を促す。 【事業の目的及び効果】 経済的な理由から学業や進学環境が十分に用意されない、ひとり親家庭の子どもの学習支援を行うことにより、負の連鎖の防止を図ることを目的とする。 【事業の内容】 鳥取市在住で児童扶養手当受給世帯または受給資格と同等の所得水準にあるひとり親世帯の中学生、または中学校を卒業し、高等学校等の就学が決定していない児童を対象に学習教室を実施する。 【事業の実績】 令和5年度 85人 令和6年度 94人 令和7年度 80人（見込み） 財源 ひとり親家庭等生活向上事業国庫補助金（国1/2 市1/2） ひとり親家庭学習支援事業補助金（県1/2 市1/2）※送迎部分	
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	母子福祉費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	13,363		
本年度要求額	15,534		
総務部長段階査定額	15,534		
市長段階査定額	15,534		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	6,843	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	8,691	財産収入	0
計	15,534	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

家007	項目名	不妊治療費等支援事業費	新規事業
予算書項目	不妊治療費等助成事業費	ページ	213
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	母子保健費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	31,868		
本年度要求額	44,577		
総務部長段階査定額	44,577		
市長段階査定額	44,577		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	44,530	手数料	0
一般財源	47	財産収入	0
計	44,577	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	44,530
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】育成係 0857-30-8239

【12次総の施策体系】1101

【事業の経過及び背景】
不妊治療費は令和4年度から保険適用となったが、保険診療とあわせて行う先進医療の場合、また保険適用外や回数超過による全額自己負担となった場合に県助成制度を行っている。

【事業の目的及び効果】
不妊治療の一部を助成することで、経済的負担の軽減を図り、子どもを望む夫婦が安心して子どもを生み育てることができるよう支援する。

【事業の内容】
・特定不妊治療費助成（県制度）<R4.4.1以降に開始した治療>
先進医療：保険適用と組み合わせて実施した先進医療 上限50,000円
自費診療：初回治療開始時妻年齢40歳未満の場合6回、43歳未満の場合3回
① 上限 採卵あり300,000円、採卵なし110,000円
② ①の助成後の負担額が高額療養費制度を活用した場合の自己負担額を上回る場合、当該上回る額の1/2を助成
③ ①と併せて実施した着床前検査（PGT-A）上限150,000円

【事業の実績】
<実績（東部1市4町）>
令和5年度 211件
令和6年度 300件
令和7年度 270件（見込み）

※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金

家008	項目名	希望をかなえる妊娠・出産支援事業費	新規事業
予算書項目	不妊治療費等助成事業費	ページ	213
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	母子保健費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,568		
本年度要求額	1,698		
総務部長段階査定額	1,698		
市長段階査定額	1,698		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	1,698	手数料	0
一般財源	0	財産収入	0
計	1,698	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	1,698
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】育成係 0857-30-8239

【12次総の施策体系】1101

【事業の経過及び背景】
晩婚化に伴い、女性が妊娠する年齢も上昇している一方で、一般に高齢での妊娠・出産は様々なリスクが高まる。このため、子どもを望む夫婦が早期に適切な検査・診断を受け、治療を開始することが必要となる。
中核市移行に伴い、市で不妊検査費用の一部助成を実施（県東部1市4町）。

【事業の目的及び効果】
子どもを望む夫婦が早期に不妊検査を受け、必要な場合には速やかに治療を開始することができるよう、不妊検査費用の一部を助成する。

【事業の内容】
夫婦ともに行った不妊検査費用（保険適用外）の一部を助成する。
対象者：検査開始日において婚姻（事実婚も含む）から3年以内、または妻の年齢が43歳未満である場合。
補助率：10/10（上限26,000円）、1夫婦あたり1回限り

【事業の実績】
<実績（東部1市4町）>
令和5年度 63件 1,536,645円
令和6年度 68件 1,479,958円
令和7年度 73件 1,640,924円（見込み）

※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金

家009	項目名	特定不妊治療助成事業費	新規事業
予算書項目	不妊治療費等助成事業費	ページ	213
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	母子保健費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	5,000		
本年度要求額	7,780		
総務部長段階査定額	7,780		
市長段階査定額	7,780		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	7,780	手数料	0
一般財源	0	財産収入	0
計	7,780	寄付金	0
		繰入金	7,780
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】育成係 0857-30-8239

【12次総の施策体系】1101

【事業の経過及び背景】
令和3年度まで、国県助成制度の交付決定者に対して金額の追加助成を行ってきた。令和4年度から特定不妊治療が保険適用となったが、保険適用外となった場合等の助成制度が実施されている。

【事業の目的及び効果】
子どもを望む夫婦が、経済的負担が原因で子どもを諦めることなく、安心して子どもを産み育てる環境づくりを行うため、本市独自で追加助成を行う。

【事業の内容】
先進医療：上限50,000円または残額のいずれか低い額を助成
自費診療：上限100,000円または残額のいずれか低い額を助成
(以前の凍結胚を解凍した胚移植及び県制度交付決定者は上限50,000円)

【事業の実績】

	決算額	助成件数
令和5年度	1,835,000円	実20名(延べ31件)
令和6年度	6,472,452円	実55名(延べ101件)
令和7年度	6,970,000円	実60名(延べ106件)(見込み)

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

家010	項目名	不育症検査費等助成事業費	新規事業
予算書項目	不妊治療費等助成事業費	ページ	213
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	母子保健費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	200		
本年度要求額	720		
総務部長段階査定額	720		
市長段階査定額	720		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	360	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	360	財産収入	0
計	720	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】育成係 0857-30-8239

【12次総の施策体系】1101

【事業の経過及び背景】
本市では平成27年度から、不育症の検査や治療を受けている夫婦に対して保険適用外の医療費負担の軽減を図るため、費用の一部を助成している。令和3年度からは、国の母子保健医療対策総合支援事業実施要綱に不育症検査費用助成事業が加わり先進医療として実施される不育症検査を対象に検査費用の一部を助成することとなった(都道府県・政令市・中核市事務、国庫1/2)。

【事業の目的及び効果】
保険適用外の不育症検査や治療費の一部助成により、経済的負担を軽減する。

【事業の内容】
国事業：2回以上流産または死産の既往があり、先進医療として厚生労働省が告示した不育症検査を、その実施期間として承認されている保健医療機関で実施した検査費用について60,000円を上限に助成。
(鳥取市：中核市事務、4町：県からの委託事業)
市独自：不育症に係る診断・治療に要した保険適用外の金額の1/2を助成。
同一夫婦につき、1年度10万円、通算5年度を上限とする。

【事業の実績】

年度	市独自	決算額	助成件数	実	延べ
令和5年度	市独自	21,972円	2名	2名	2名
令和6年度	市独自	743,226円	33名	33名	33名
令和7年度	市独自	708,498円	30名	30名	30名

(見込み)

家011	項目名	子育て支援アプリ活用推進事業費	新規事業
予算書項目	子育て支援アプリ活用推進事業費	ページ	213
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
会計名		事業の概要 【問合せ先】企画係 0857-30-8232 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 外出や交流の機会に限られる中、妊婦や子育て世帯等を地域から孤立することなく、支援することが求められている。 【事業の目的及び効果】 子育て支援アプリを活用し、妊娠・出産・子育てに関する情報提供及び切れ目ない支援を行うことを目的とする。アプリは電子母子手帳として利用でき、妊婦健診、乳幼児健診の結果や予防接種等の記録管理が可能になる。 【事業の内容】 「とっとり子育て応援サイト」（子育て支援アプリ）の運用。 【事業の実績】 アプリ登録件数 令和5年度 1,406件 令和6年度 1,779件 令和7年度 2,152件（見込み）	
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	母子保健費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	594		
本年度要求額	594		
総務部長段階査定額	594		
市長段階査定額	594		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	297		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	297		
計	594		
備考欄			
その他財源の内訳			
分担金	0		
負担金	0		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
諸収入	0		
その他	0		

家012	項目名	ファミリーサポートセンター事業費	新規事業
予算書項目	ファミリーサポートセンター事業費	ページ	201
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名		事業の概要 【問合せ先】指導係 0857-30-8237 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 保育園の送迎、放課後の児童預かり等のサービスを受けたい声があり、その解消策としてファミリーサポートセンターを運営している。 【事業の目的及び効果】 サービスを提供できる人（提供会員）とサービスを受けたい人（依頼会員）との橋渡しを行うことで、育児負担の軽減、仕事と家庭の両立を図る。 【事業の内容】 社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会に事業委託。 【事業の実績】	
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	児童福祉総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	10,104		
本年度要求額	10,181		
総務部長段階査定額	10,104		
市長段階査定額	10,104		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	5,732		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	4,372		
計	10,104		
備考欄			
その他財源の内訳			
分担金	0		
負担金	0		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
諸収入	0		
その他	0		

家013	項目名	市立保育園特別保育事業費	新規事業
予算書項目	市立保育園運営費	ページ	203
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	保育所費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	18,934		
本年度要求額	11,268		
総務部長段階査定額	11,268		
市長段階査定額	11,268		
区分	本年度予算額	事業の概要	
財源内訳		【問合せ先】管理係 0857-30-8236、入所認定係 0857-30-8457	
国・県支出金	0	【1 2次総の施策体系】1101	
地方債	0	【事業の経過及び背景】	
その他	3,939	勤務形態の多様化等により、保育時間の延長利用の要望等がある。	
一般財源	7,329	【事業の目的及び効果】	
計	11,268	利用者の要望に応えた保育業務を実施することで、仕事と子育てとの両立を支援し、安心して子育てができる環境の充実に図る。	
		【事業の内容】	
		(1) 延長保育：通常の保育時間を超えて、最長19時半まで延長するもの。 実施保育園20園（旧市×10、国府×2、福部×1、河原×2、用瀬×1、気高×2、鹿野×1、青谷×1）	
		(2) 一時保育：保護者の都合等で非在園児童の預かりを半日、一日単位で行なうもの。 実施施設5園（河原・用瀬・気高・鹿野・青谷 各1施設）	
		【事業の実績】	
		令和5年度 延長：延べ14,000人 一時：延べ 736人	
		令和6年度 延長：延べ14,442人 一時：延べ1,342人	
		令和7年度 延長：延べ14,200人 一時：延べ1,000人（見込み）	
		※その他財源の諸収入は、利用者負担金	
備考欄			

家014	項目名	私立保育園運営費	新規事業
予算書項目	私立保育園運営費	ページ	203
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	保育所費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	6,183,022	事業の概要	
本年度要求額	6,826,199	【問合せ先】施設給付係 0857-30-8238、入所認定係 0857-30-8457	
総務部長段階査定額	6,735,701	【1 2次総の施策体系】1101	
市長段階査定額	6,735,701	【事業の経過及び背景】	
区分	本年度予算額	私立の保育園・認定こども園・地域型保育は国の基準（公定価格）に基づいて運営費が定められている。	
財源内訳		【事業の目的及び効果】	
国・県支出金	4,869,360	私立保育園等の運営費として入所児童数等に応じた費用を支払うことにより、子どもの健全な成長のための適切な環境の確保を図る。	
地方債	0	【事業の内容】	
その他	22,057	在園児童数、特別保育事業等に基づく委託料・給付費の支払い。	
一般財源	1,844,284	令和8年度 48園 認定こども園移行：のぞみ保育園、よねさと保育園	
計	6,735,701	【事業の実績】	
		令和5年度 46園 園児数：4,814人 認定こども園移行：さとに保育園、むつみ保育園 小規模保育事業移行：ゆりかご保育園	
		令和6年度 48園 園児数：4,848人 新制度移行：愛真幼稚園、小さき花園幼稚園 認定こども園移行：わかば保育園、かんろ保育園、湖山保育園 城北保育園、大正保育園	
		令和7年度 48園 園児数：4,633人（見込み） 認定こども園移行：津ノ井保育園、松保保育園、久松保育園、鳥取あすなろ保育園	
		※その他財源の負担金は、保育園負担金	
備考欄			

家015	項目名	保育所緊急整備事業費補助金	新規事業
予算書項目	私立保育園運営施設助成費	ページ	203
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	保育所費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	408,710		
本年度要求額	169,878		
総務部長段階査定額	169,378		
市長段階査定額	169,378		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	112,919	
	地方債	56,000	
	その他	0	
	一般財源	459	
	計	169,378	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】管理係 0857-30-8236	
【12次総の施策体系】1101	
【事業の経過及び背景】 近年の保育需要の増大により保育ニーズの低年齢化が進むなか、保育園の収容力不足の解消や幼保連携の推進を図るため、対応施設の整備が必要となっている。	
【事業の目的及び効果】 国の「就学前教育・保育施設整備交付金」等を活用して、民間法人の施設整備に対する助成を行い、保育園の定員を増加させ、待機児童対策や、施設の老朽化等に対する整備による園児・保育所等の安全性の確保を行う。	
【事業の内容】 (1) 鳥取みどり園 [増築] 《社会福祉法人鳥取こども学園》(単年) 助成額: 67,176千円(見込み) (2) 鳥取みどり園 [大規模修繕等] 《社会福祉法人鳥取こども学園》(単年) 助成額: 71,736千円(見込み) (3) 鳥取みどり園 [防犯対策] 《社会福祉法人鳥取こども学園》(単年) 助成額: 3,042千円(見込み) (4) 鳥取あすなろこども園 [大規模修繕等] 《社会福祉法人あすなろ会》(単年) 助成額: 27,424千円(見込み)	
【事業の実績】 令和5年度 [防犯] 1施設 令和6年度 [改築] 2施設 [大規模修繕] 1施設 令和7年度 [改築] 3施設 [大規模修繕] 2施設 [環境向上] 1施設 (見込み)	

家016	項目名	病児・病後児保育事業費	新規事業
予算書項目	病児・病後児保育事業費	ページ	203
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	保育所費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	153,326		
本年度要求額	158,849		
総務部長段階査定額	156,402		
市長段階査定額	156,402		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	95,530	
	地方債	0	
	その他	2,093	
	一般財源	58,779	
	計	156,402	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】入所認定係 0857-30-8457	
【12次総の施策体系】1101	
【事業の経過及び背景】 就労している子育て世帯の多様なニーズに対応した支援として本事業を実施。 令和7年度は病児保育4施設、病後児保育3施設で事業実施。	
【事業の目的及び効果】 保護者が就労している場合等において、児童が病気の際に自宅での保育が困難な場合があり、こうした保育需要に対応して、病気またはその回復期にある児童を一時的に預かる事業を実施し、保護者の子育てと就労等の両方を支援し、児童福祉の増進を図る。	
【事業の内容】 (1) 病児保育事業 4施設 病児保育室キッズルームこぐま、病児保育室とくよしさかえまち、病児保育室とくよしこやま、コモド第三保育園瓦町 児童が病気の回復期に至らない場合で、当面の症状の急変が認められない場合において、通常保育とは別の専用施設で預かる。 (2) 病後児保育事業 2施設 市立病院、保育園1園 病気回復期で集団保育が出来ない児童を通常保育とは別の専用施設で預かる。	
【事業の実績】 令和5年度 延べ4,233人(病児:3,946人 病後児:287人) 令和6年度 延べ3,777人(病児:3,630人 病後児:147人) 令和7年度 延べ3,881人(病児:3,748人 病後児:133人) (見込み)	
※その他財源の諸収入は、利用者負担金及び病児保育委託金	

家017	項目名	保育体制強化事業費	新規事業
予算書項目	保育体制強化事業費	ページ	203
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】管理係 0857-30-8236	
款	民生費	【12次総の施策体系】1101	
項	児童福祉費	【事業の経過及び背景】 核家族の進行や母親の就業が増加したことなどから、教育・保育施設等における教育・保育ニーズは拡大しており、保育士等を確保し、教育・保育環境を整備する必要がある。	
目	保育所費	【事業の目的及び効果】 保育所等における保育士等の確保が困難となっている状況に鑑み、保育士等の負担軽減を目的として保育支援者を配置するのに要する経費の一部を補助することにより、保育士等が働きやすい職場環境を整備し、もって保育士等の離職防止を図るもの。ともに、保育士確保の視点から、待機児童解消を目指す。	
(単位:千円)		【事業の内容】 事業に係る人件費の補助 ①保育支援者の配置 保育所(15か所)、幼保連携型認定こども園(6か所) ②児童の園外活動時の見守り等を行う者の配置 保育所(3か所)、幼保連携型認定こども園(6か所)、小規模保育事業(1か所)、地方裁量型認定こども園(1か所) 財源(地方裁量型認定こども園分除く):保育対策総合支援事業費補助金3/4(国費1/2、県費1/4)	
前年度当初予算額	31,428	【事業の実績】 令和5年度 保育支援者配置20か所、見守り等配置11か所 令和6年度 保育支援者配置17か所、見守り等配置12か所 令和7年度 保育支援者配置21か所、見守り等配置11か所(見込み)	
本年度要求額	31,680		
総務部長段階査定額	31,680	【事業の内容】 事業に係る人件費の補助 ①保育支援者の配置 保育所(15か所)、幼保連携型認定こども園(6か所) ②児童の園外活動時の見守り等を行う者の配置 保育所(3か所)、幼保連携型認定こども園(6か所)、小規模保育事業(1か所)、地方裁量型認定こども園(1か所) 財源(地方裁量型認定こども園分除く):保育対策総合支援事業費補助金3/4(国費1/2、県費1/4)	
市長段階査定額	31,680		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 23,760		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 7,920		
	計 31,680		
備考欄			

家018	項目名	こども誰でも通園制度事業費	新規事業
予算書項目	こども誰でも通園制度事業費	ページ	203
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】管理係 0857-30-8236	
款	民生費	【12次総の施策体系】1101	
項	児童福祉費	【事業の経過及び背景】 国は令和5年度補正予算を活用し「こども誰でも通園制度(仮称)の本格実施を見据えた試行的事業」を令和6年度実施。令和7年度に子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業として制度化し、令和8年度から子ども・子育て支援法に基づく新たな給付制度として全自治体で実施することとなった。	
目	保育所費	【事業の目的及び効果】 子どもの成長の観点から、全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な生育環境を整備することを目的としており、家庭とは異なる経験や、家族以外の人と関わる機会が得られるほか、保護者にとっても育児への負担感の軽減などにつながる。	
(単位:千円)		【事業の内容】 乳児等通園支援事業「こども誰でも通園制度」の実施 実施予定園数:公立保育園4園、私立保育園等16園(予定) 対象児童:保育所等を利用していない生後6か月から満3歳未満のこども 利用時間:月10時間/人:上限	
前年度当初予算額	135,159	【事業の実績】 令和6年度 試行的事業:公立保育園3園 令和7年度 公立4園 私立等10園	
本年度要求額	61,452	※その他財源の諸収入は、利用者負担金	
総務部長段階査定額	61,452		
市長段階査定額	61,452		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 30,438		
	地方債 0		
	その他 1,836		
	一般財源 29,178		
	計 61,452		
備考欄			

家019	項目名	子育て支援短期利用事業費	新規事業
予算書項目	子育て支援短期利用事業費	ページ	201
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども家庭センター
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】児童相談係 0857-20-0122	
款	民生費	【12次総の施策体系】1101	
項	児童福祉費	【事業の経過及び背景】 保護者の仕事、疾病、家庭の事情など社会的理由により子どもの養育が困難となった場合、子どもを一時的に養育・保護する必要がある。	
目	児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 子どもを、夜間や休日、平日の一時預かり、宿泊を伴う一時預かりを実施することにより、保護者の負担軽減を図り、児童福祉の向上に資する。	
(単位:千円)		【事業の内容】 (1) ショートステイ : 宿泊を伴う一時預かり (最長連続7日間を限度) (2) 平日日帰りステイ : 平日の一時預かり (3) トワイライトステイ : 平日の夜間、休日の一時預かり (4) 親子入所支援 : 支援が必要な親子の短期入所 (5) 専任人員配置支援 : 子育て短期支援事業の実施設の専任職員の配置を支援 実施主体: 鳥取こども学園	
前年度当初予算額	9,393	【事業の実績】 延べ利用日数 令和5年度 ショート253日 平日日帰り51日 トワイライト127日 令和6年度 ショート420日 平日日帰り28日 トワイライト104日 親子8件 令和7年度 ショート312日 平日日帰り54日 トワイライト202日 親子0件 (見込み)	
本年度要求額	10,957	※その他財源の諸収入は、利用者負担金	
総務部長段階査定額	10,956		
市長段階査定額	10,956		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	6,908		
地方債	0		
その他	580		
一般財源	3,468		
計	10,956		
備考欄			

家020	項目名	こども家庭支援事業費	新規事業
予算書項目	こども家庭支援事業費	ページ	201
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども家庭センター
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】児童相談係 0857-20-0122	
款	民生費	【12次総の施策体系】1101	
項	児童福祉費	【事業の経過及び背景】 児童福祉法の改正により、子どもと子育て家庭(妊産婦を含む)の福祉に関する包括的な支援を切れ目なく提供するため、こども家庭センターを運営している。	
目	児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 全ての妊産婦、子育て世帯、子ども等からの相談に応じるとともに、在宅支援等専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行うために必要な体制整備を図る。 また、児童福祉法に基づく鳥取市要保護児童対策地域協議会による個別支援会議、実務者会議、代表者会議で関係機関と連携し、支援方針の検討、役割分担等の調整を行う。	
(単位:千円)		【事業の内容】 (1) 児童虐待の相談等への対応 (2) 児童虐待防止のための家庭支援 (3) 特定妊婦の把握と支援 (4) 鳥取市要保護児童対策地域協議会の運営 (5) 児童虐待防止市民啓発 (6) スーパーバイズ事業	
前年度当初予算額	27,636	【事業の実績】 令和5年度 相談受理459件 (内、特定妊婦32件) 令和6年度 相談受理572件 (内、特定妊婦49件) 令和7年度 相談受理487件 (内、特定妊婦72件) (見込み)	
本年度要求額	33,828		
総務部長段階査定額	33,793		
市長段階査定額	33,793		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	26,236		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	7,557		
計	33,793		
備考欄			

家021	項目名	妊娠・出産包括支援事業費	新規事業																												
予算書項目	子ども家庭支援事業費	ページ	201																												
年度	R8	所属名	健康子ども部子ども家庭局 子ども家庭センター																												
会計名		事業の概要 【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8587 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 家族等の支援が十分に得られず産後の休養が取れなかったり、強い育児不安を抱えた状態で、育児が十分に行えないなど、産後の母子への支援が必要となっている。 【事業の目的及び効果】 安心して妊娠・出産・育児が行える環境を整えるため、次の事業による妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援を包括的に行う。 【事業の内容】 (1) 母子保健相談支援事業 望まない妊娠であったりメンタル不調や育児不安が強い妊産婦に対して支援のコーディネートを行う。 (2) 産後ケア事業 産後1年未満の母子を対象に産後ケアを行い、保健指導や育児相談、育児手技等のケアを提供する。 (3) 産後ケア施設・設備事業補助金 産後ケア事業を行う施設及び設備の整備を支援する。 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設数</td> <td>ショート</td> <td>デイ</td> <td>アウトリーチ</td> <td>相談ダイヤル</td> <td>妊娠SOS</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>8施設</td> <td>247泊</td> <td>201件</td> <td>15件</td> <td>91件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>10施設</td> <td>346泊</td> <td>393件</td> <td>111件</td> <td>54件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>13施設</td> <td>505泊</td> <td>826件</td> <td>285件</td> <td>50件</td> <td>5件</td> </tr> </table> (見込み)			施設数	ショート	デイ	アウトリーチ	相談ダイヤル	妊娠SOS	令和5年度	8施設	247泊	201件	15件	91件	4件	令和6年度	10施設	346泊	393件	111件	54件	8件	令和7年度	13施設	505泊	826件	285件	50件	5件
	施設数			ショート	デイ	アウトリーチ	相談ダイヤル	妊娠SOS																							
令和5年度	8施設			247泊	201件	15件	91件	4件																							
令和6年度	10施設			346泊	393件	111件	54件	8件																							
令和7年度	13施設	505泊	826件	285件	50件	5件																									
一般会計																															
款	民生費																														
項	児童福祉費																														
目	児童福祉総務費																														
(単位:千円)																															
前年度当初予算額	16,178																														
本年度要求額	30,084																														
総務部長段階査定額	30,059	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0										
分担金	0																														
負担金	0																														
使用料	0																														
手数料	0																														
財産収入	0																														
寄付金	0																														
繰入金	0																														
諸収入	0																														
その他	0																														
市長段階査定額	30,059																														
区分	本年度予算額																														
財源内訳																															
国・県支出金	20,991																														
地方債	0																														
その他	0																														
一般財源	9,068																														
計	30,059																														
備考欄																															

家022	項目名	ヤングケアラー支援事業費	新規事業																		
予算書項目	ヤングケアラー支援事業費	ページ	201																		
年度	R8	所属名	健康子ども部子ども家庭局 子ども家庭センター																		
会計名		事業の概要 【問合せ先】児童相談係 0857-20-0122 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 ヤングケアラーは、子どもの年齢や成長の度合いに見合わない責任や負担を負うことにより、本人の育ちや教育に影響があるという課題があるが、本人や家族に自覚がないことが多く、支援が必要であっても問題が表面化しにくい構造となっている。 子ども・若者育成支援推進法の改正により「家族の介護その他の日常生活の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」として、国、地方公共団体等が各種支援に努めるべき対策にヤングケアラーが明記された(令和6年6月12日施行)。 【事業の目的及び効果】 ヤングケアラー支援は、要保護児童対策地域協議会を中心に他機関が連携し、早期発見と必要な支援につなげていく。 【事業の内容】 ヤングケアラーが疑われる子どもの情報が入った場合、ヤングケアラー・コーディネーター(2名配置)を中心に関係機関と連携し、家庭訪問等により実態を調査し、本人や保護者へ提案や助言を行い、適切な支援につなぐ。 地域や学校等において啓発し、該当する子どもの掘り起こしを行う(年1回)。 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>相談件数</td> <td>研修</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>25件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>33件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>12件</td> <td>2件</td> </tr> </table> (見込み)			相談件数	研修	令和5年度	25件	11件	令和6年度	33件	6件	令和7年度	12件	2件						
	相談件数			研修																	
令和5年度	25件			11件																	
令和6年度	33件			6件																	
令和7年度	12件	2件																			
一般会計																					
款	民生費																				
項	児童福祉費																				
目	児童福祉総務費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	6,257																				
本年度要求額	7,016																				
総務部長段階査定額	6,925	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
諸収入	0																				
その他	0																				
市長段階査定額	6,925																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	4,616																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	2,309																				
計	6,925																				
備考欄																					

家023	項目名	子育て世帯訪問支援事業費	新規事業																				
予算書項目	子育て世帯訪問支援事業費	ページ	201																				
年度	R8	所 属 名	健康こども部こども家庭局 こども家庭センター																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】児童相談係 0857-20-0122 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 ヤングケアラーの問題がクローズアップされるなど、子育て世帯において、家族のみで家事・育児を行うことが難しく、社会的な支援が必要な家庭が一定数あることが明らかになってきた。 【事業の目的及び効果】 家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を、ヘルパー事業所等の訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ。 【事業の内容】 (1) 事業内容 支援対象の家庭を訪問支援員が訪問し、以下の支援を実施する。 ① 家事支援（食事の準備、洗濯、掃除、買い物の代行支援等） ② 育児支援（保育所等の送迎支援を含む） (2) 支援対象家庭 ① 保護者のない児童または保護者に監護させることが不相当であると認められる児童のいる家庭及びそれに該当する恐れのある家庭 ② 食事、生活環境等が不適切な養育状態である家庭等、保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童のいる家庭及びそれに該当する恐れのある家庭 ③ 若年妊婦等、出産後の養育について、出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦の家庭 ④ その他、市長が特に支援が必要と認めた家庭 【事業の実績】 令和5年度 45回（対象児童5人、2家庭） 令和6年度 211回（対象児童15人、7家庭） 令和7年度 278回（対象児童18人、9家庭）（見込み） ※その他の財源の諸収入は、利用者負担金																					
一般会計																							
款	民生費																						
項	児童福祉費																						
目	児童福祉総務費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	951																						
本年度要求額	1,774																						
総務部長段階査定額	1,539	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	83	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	83																						
その他	0																						
市長段階査定額	1,539																						
区 分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	970																						
地方債	0																						
その他	83																						
一般財源	486																						
計	1,539																						
備考欄																							

家024	項目名	妊婦健康診査費	新規事業																																								
予算書項目	妊産婦健康診査費	ページ	213																																								
年度	R8	所 属 名	健康こども部こども家庭局 こども家庭センター																																								
会計名		事業の概要 【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8587 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 近年、出産年齢の上昇等により、健康管理がより重要となる妊婦が増加傾向にあるとともに、経済的な理由等により、健康診査を受診しない妊婦も見られることから、母体や胎児の健康確保を図る上で、妊婦に対する健康診査の重要性が一層高まっている。 【事業の目的及び効果】 妊娠中の異常の早期発見や疾病予防のために、定期的な妊婦健康診査を受けることが必要である。妊婦健康診査費の一部を助成することで経済的負担の軽減を図り、妊婦検診を受けやすくし、安心して出産を迎えられるよう支援する。 【事業の内容】 おやこ健康手帳交付時にあわせて妊婦一般健康診査受診票を交付する。 交付枚数は、妊娠全期を通して14枚、平成23年度からクラジミア検査を1枚追加付。多胎妊娠妊婦には5枚分を追加で交付する。 【事業の実績】																																									
一般会計																																											
款	衛生費																																										
項	保健衛生費																																										
目	母子保健費																																										
(単位:千円)		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> <th>総事業費</th> <th>受診者数</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> <td>令和5年度 106,546,943円</td> <td>14,782人</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> <td>令和6年度 106,749,680円</td> <td>14,521人</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> <td>令和7年度 124,464,000円</td> <td>14,604人（見込み）</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		その他財源の内訳		総事業費	受診者数	分担金	0	令和5年度 106,546,943円	14,782人	負担金	0	令和6年度 106,749,680円	14,521人	使用料	0	令和7年度 124,464,000円	14,604人（見込み）	手数料	0			財産収入	0			寄付金	0			繰入金	0			諸収入	0			その他	0		
その他財源の内訳		総事業費	受診者数																																								
分担金	0	令和5年度 106,546,943円	14,782人																																								
負担金	0	令和6年度 106,749,680円	14,521人																																								
使用料	0	令和7年度 124,464,000円	14,604人（見込み）																																								
手数料	0																																										
財産収入	0																																										
寄付金	0																																										
繰入金	0																																										
諸収入	0																																										
その他	0																																										
前年度当初予算額	124,464																																										
本年度要求額	122,689																																										
総務部長段階査定額	120,015	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0																				
その他財源の内訳																																											
分担金	0																																										
負担金	0																																										
使用料	0																																										
手数料	0																																										
財産収入	0																																										
寄付金	0																																										
繰入金	0																																										
諸収入	0																																										
その他	0																																										
市長段階査定額	120,015																																										
区 分	本年度予算額																																										
財源内訳																																											
国・県支出金	265																																										
地方債	0																																										
その他	0																																										
一般財源	119,750																																										
計	120,015																																										
備考欄																																											

家025	項目名	ブックスタート事業費	新規事業																				
予算書項目	ブックスタート事業費	ページ	213																				
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども家庭センター																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8587 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 本市では平成14年度、6か月児健診時に絵本の読み聞かせを開始し、平成15年度から絵本の入った「ブックスタートパック」をすべての親子へ手渡している。令和5年度からブックスタートフォローアップ事業として、1歳6か月児健康診査時に絵本を手渡している。 【事業の目的及び効果】 読み聞かせや手遊びを体験し、子どもへの関わり方を知ることができ、絵本を手がかりに親子のこころがふれあうきっかけづくりとなっている。また、ボランティアや図書館との協働でネットワーク形成がなされている。 【事業の内容】 (1) ブックスタート 6か月児健診時に絵本の読み聞かせと絵本パックを手渡し。 (2) ブックスタートフォローアップ 1歳6か月児健診時に絵本を手渡し。 【事業の実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総事業費</th> <th colspan="2">配布数（配布率）</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>6か月児健診</th> <th>1歳6か月児健診</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>3,654,879円</td> <td>1,232人（99.8%）</td> <td>1,042人（99.8%）</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>4,446,026円</td> <td>1,000人（99.8%）</td> <td>1,215人（99.2%）</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>3,503,000円</td> <td>1,149人（99.8%）</td> <td>1,092人（99.5%）（見込み）</td> </tr> </tbody> </table> ※その他財源の寄付金は、クラウドファンディング型ふるさと納税			総事業費	配布数（配布率）				6か月児健診	1歳6か月児健診	令和5年度	3,654,879円	1,232人（99.8%）	1,042人（99.8%）	令和6年度	4,446,026円	1,000人（99.8%）	1,215人（99.2%）	令和7年度	3,503,000円	1,149人（99.8%）	1,092人（99.5%）（見込み）
	総事業費			配布数（配布率）																			
				6か月児健診	1歳6か月児健診																		
令和5年度	3,654,879円			1,232人（99.8%）	1,042人（99.8%）																		
令和6年度	4,446,026円	1,000人（99.8%）	1,215人（99.2%）																				
令和7年度	3,503,000円	1,149人（99.8%）	1,092人（99.5%）（見込み）																				
一般会計																							
款	衛生費																						
項	保健衛生費																						
目	母子保健費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	3,503																						
本年度要求額	3,883																						
総務部長段階査定額	3,540	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	1,500	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	1,500																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	3,540																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	1,500																						
一般財源	2,040																						
計	3,540																						
備考欄																							

家026	項目名	子育て世代包括支援センター運営費	新規事業																				
予算書項目	子育て世代包括支援センター事業費	ページ	213																				
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども家庭センター																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8587 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 妊産婦・母親の孤立感や負担感が高まっている中、妊娠期から子育て期までの支援や関係機関が連携し切れ目のない支援を実施することが重要となっている。 平成28年度に「子育て世代包括支援センター」を設置し、令和6年度には「こども家庭センター」として妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行う。 【事業の目的及び効果】 安心して子育てができるよう、育児をする者同士、また、地域ボランティアとの交流を通して、切れ目のない支援を行う。また、父親に対して、妊産婦が抱える不安への理解や父親の育児参画意識の向上を図る。 【事業の内容】 ・こども家庭センター（こそだてらす）の運営、妊産婦相談、乳幼児相談、産後サロン、父親教室の開催 【事業の実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総事業費</th> <th>産後サロン</th> <th>父親教室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>4,120,203円</td> <td>12回（延べ316組）</td> <td>4回（延べ35人）</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>5,075,501円</td> <td>12回（延べ298組）</td> <td>4回（延べ42人）</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>4,701,000円</td> <td>12回（延べ264組）</td> <td>4回（延べ45人）（見込み）</td> </tr> </tbody> </table>			総事業費	産後サロン	父親教室	令和5年度	4,120,203円	12回（延べ316組）	4回（延べ35人）	令和6年度	5,075,501円	12回（延べ298組）	4回（延べ42人）	令和7年度	4,701,000円	12回（延べ264組）	4回（延べ45人）（見込み）				
	総事業費			産後サロン	父親教室																		
令和5年度	4,120,203円			12回（延べ316組）	4回（延べ35人）																		
令和6年度	5,075,501円			12回（延べ298組）	4回（延べ42人）																		
令和7年度	4,701,000円	12回（延べ264組）	4回（延べ45人）（見込み）																				
一般会計																							
款	衛生費																						
項	保健衛生費																						
目	母子保健費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	4,701																						
本年度要求額	10,107																						
総務部長段階査定額	10,107	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	10,107																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	8,122																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	1,985																						
計	10,107																						
備考欄																							

家027	項目名	健やかな妊娠・出産のための応援事業費	新規事業	○
予算書項目	健やかな妊娠・出産のための応援事業費		ページ	213
年度	R8		所属名	健康こども部こども家庭局 こども家庭センター
会計名				
一般会計				
款	衛生費			
項	保健衛生費			
目	母子保健費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	1,349			
本年度要求額	13,878			
総務部長段階査定額	5,681			
市長段階査定額	5,681			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	2,650	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	6	使用料	0
	一般財源	3,025	手数料	0
	計	5,681	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			諸収入	6
			その他	0
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8587

【12次総の施策体系】1101

【事業の経過及び背景】
国は成育医療等基本方針にプレコンセプションケアの推進を定め、経済財政運営と改革の基本方針2024でもプレコンについて5か年戦略を策定し推進する旨が盛り込まれた。県は令和7年度からプレコン健診や普及啓発を推進している。

【事業の目的及び効果】
本市においても不妊専門相談センターを県市で共同設置し、不妊や不育症等の相談体制を整備しているが、加えて、プレコン健診の実施を通じ、健康意識の向上とライフプランを考える機会を提供する。

【事業の内容】
(1) 性と健康の相談センター設置
(2) 不妊専門相談センターの委託 委託先：鳥取県立中央病院（県と共同設置）
(3) 思春期の性の健康問題に係る研修会・情報交換会
(4) 妊娠高血圧症候群等療養費
(5) プレコンセプションケア健診及び相談・啓発等【拡充】

【事業の実績】
令和5年度 総事業費 1,043,510円
令和6年度 総事業費 1,167,690円
令和7年度 総事業費 1,349,000円（見込み）

※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金

家028	項目名	妊婦のための支援給付事業費	新規事業	
予算書項目	妊婦のための支援給付事業費		ページ	215
年度	R8		所属名	健康こども部こども家庭局 こども家庭センター
会計名				
一般会計				
款	衛生費			
項	保健衛生費			
目	母子保健費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	117,310			
総務部長段階査定額	117,310			
市長段階査定額	117,310			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	115,272	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	2,038	手数料	0
	計	117,310	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			諸収入	0
			その他	0
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8587

【12次総の施策体系】1101

【事業の経過及び背景】
国は総合経済対策として令和4年度第2次補正予算において出産・子育て応援交付金を創設。令和7年度からは、妊娠期の負担軽減のため、妊婦のための支援給付を創設し、あわせて、妊婦等に対する相談支援事業（妊婦等包括支援事業）を創設。

【事業の目的及び効果】
妊娠期から寄り添い、出産・育児当の見通しを立てるための面談や継続した情報発信を行うとともに、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊婦等の身体的、精神的ケア及び経済的支援を実施する。

【事業の内容】
・妊婦のための支援給付交付金（現金）
妊婦届時に50,000円、出生届時に50,000円
・妊婦等包括相談支援事業
妊娠や子育て世帯への面談実施

【事業の実績】
令和7年度 1,950件（見込み）

家029	項目名	児童発達支援事業費	新規事業																				
予算書項目	児童発達支援事業費	ページ	201																				
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】発達支援係 0857-30-8561 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 発達上の困難を抱える児童への適切な相談支援を行うため、保育訪問相談・発達相談・発達検査等を実施する。また、発達支援保育指導委員会の実施等、児童の成長段階に応じた保育相談や家族支援を実施するとともに、広く発達障がいに関する理解を深める機会を提供する。 【事業の目的及び効果】 専任の発達支援コーディネーター及び心理相談員の適切な助言指導により、発達に気がある子どもの成長段階に応じた一貫した支援及びその家族の支援を行う。また、広く発達障がいに関する理解、地域への普及啓発のための研修を実施する。 【事業の内容】 発達支援コーディネーター3名を配置し、発達相談・家族支援・保育訪問相談を実施。また、保育園等を対象に発達支援保育指導委員会巡回指導等を実施。関係機関との情報共有と連携を図り、継続的な支援のため、就学前から支援の必要な児童専用の保管ファイル「育ちをつなぐサポートファイル」を作成・配付する。 【事業の実績】 (1) 児童発達相談 令和5年度：延べ2,061件 令和6年度：延べ2,078件 令和7年度見込み：延べ2,034件 (2) 発達支援保育指導委員会判定 年1回 対象児童数：令和5年度123人 令和6年度128人 令和7年度131人 (3) 発達支援保育指導委員会巡回指導 令和5年度：延べ60日、対象児123人×2回 令和6年度：延べ42日、対象児128人×1回 令和7年度：延べ39日、対象児131人×1回 (4) こどもの発達支援ネットワーク推進会議 年1回 (5) 研修会 令和5年度 関係機関職員・市民向けそれぞれ1回 令和6年度 関係機関職員向け1回 令和7年度 関係機関職員向け1回																					
一般会計																							
款	民生費																						
項	児童福祉費																						
目	児童福祉総務費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	12,108																						
本年度要求額	12,819																						
総務部長段階査定額	12,801	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	12,801																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	2,000																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	10,801																						
計	12,801																						
備考欄																							

家030	項目名	親子通所療育事業費	新規事業																				
予算書項目	児童発達支援事業費	ページ	201																				
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】発達支援係 0857-30-8561 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 主に家庭にいる概ね2～3歳の発達上の困難を抱える児童に対する療育の場所が不足している。 【事業の目的及び効果】 主に家庭にいる2～3歳の発達上の困難を抱える児童に対する発達支援を行うとともに、親子遊びを中心とした療育事業を通してその親に対して児童への接し方を伝え、スムーズに就園へ移行できるように支援を行う。 【事業の内容】 週1回、5～10組程度の対象親子に対し、保育士及び発達支援コーディネーターによる療育プログラムの実施、保護者への相談支援、交流等を行う。 【事業の実績】 令和5年度 開催44回、延べ215組参加 令和6年度 開催44回、延べ187組参加 令和7年度 開催45回、延べ151組参加（見込み）																					
一般会計																							
款	民生費																						
項	児童福祉費																						
目	児童福祉総務費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	282																						
本年度要求額	306																						
総務部長段階査定額	306	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	306																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	153																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	153																						
計	306																						
備考欄																							

家031	項目名	小集団療育事業費	新規事業																				
予算書項目	児童発達支援事業費	ページ	201																				
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】発達支援係 0857-30-8561 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 5歳児発達相談以降、就学前（年中・年長児）の発達上の困難を抱える児童に対し、子ども同士の関係作りを促したり、行動の自己統制ができるようにしたりする療育の場所が不足している。 【事業の目的及び効果】 主に保育園や幼稚園に在籍し、行動統制に弱さや友達関係等の社会性の苦手を抱える児童に対し、小集団療育を通して、対人関係やコミュニケーション力を高め、集団での行動統制が図れるよう支援を行うとともに、保護者に対する児童への接し方を伝える機会を提供する。 【事業の内容】 月2回、1回あたり最大6組の対象親子に対し、保育士及び発達支援コーディネーター等による児童への療育プログラムの実施、保護者への相談支援、保護者交流等を行う。 【事業の実績】 令和5年度 開催8回、延べ40組（延べ80人） 令和6年度 開催14回、延べ71組（延べ142人） 令和7年度 開催14回、延べ81組（延べ162人）（見込み）																					
一般会計																							
款	民生費																						
項	児童福祉費																						
目	児童福祉総務費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	200																						
本年度要求額	209																						
総務部長段階査定額	209	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	209																						
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>209</td> </tr> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	104	地方債	0	その他	0	一般財源	105	計	209										
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	104																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	105																						
計	209																						
備考欄																							

家032	項目名	若草学園管理運営費	新規事業																				
予算書項目	市立若草学園運営費	ページ	205																				
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】発達支援係 0857-30-8561 【12次総の施策体系】1101 【事業の経過及び背景】 児童発達支援センター「若草学園」を管理・運営している。 平成27年度から原則すべての障がい福祉サービス等を利用する障がい児について、「障害児サービス利用計画」の作成が必要となった。 【事業の目的及び効果】 児童発達支援センター「若草学園」を管理・運営し、発達障がい児等への通所による発達支援を実施している。将来、地域社会で自立した生活が出来るようになることを目指している。障がい児福祉サービス等を利用する障がい児について「障害児サービス利用計画」を作成し、定期的にモニタリング等を行うことでライフステージに応じた支援を行っている。 【事業の内容】 発達支援の必要な概ね満1歳から小学校就学前までの子どもを対象とした通園事業を実施している。 通園児童数（定員30名） 【事業の実績】 令和5年度 30名 令和6年度 30名 令和7年度 30名 ※その他の財源の負担金は、施設給付費負担金及び利用者負担金 ※その他の財源の使用料は、福祉施設使用料 ※その他の財源の諸収入は、若草学園給食費収入																					
一般会計																							
款	民生費																						
項	児童福祉費																						
目	知的障害児通園施設費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	53,708																						
本年度要求額	61,461																						
総務部長段階査定額	61,436	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>58,192</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>3,081</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	58,192	使用料	12	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	3,081	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	58,192																						
使用料	12																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	3,081																						
その他	0																						
市長段階査定額	61,436																						
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>151</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>61,285</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>61,436</td> </tr> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	151	地方債	0	その他	61,285	一般財源	0	計	61,436										
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	151																						
地方債	0																						
その他	61,285																						
一般財源	0																						
計	61,436																						
備考欄																							

家033	項目名	若草学園改築事業費	新規事業
予算書項目	市立若草学園運営費	ページ	205
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	知的障害児通園施設費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	14,728		
本年度要求額	16,430		
総務部長段階査定額	16,430		
市長段階査定額	16,430		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	16,200	
	その他	0	
	一般財源	230	
	計	16,430	
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】発達支援係 0857-30-8561

【12次総の施策体系】1101

【事業の経過及び背景】
新耐震基準ではあるが、建物の老朽化・構造上の課題があり、利用ニーズは高いが療育環境として不十分であるため施設の改築を行う。

【事業の目的及び効果】
改築整備を行うことで、安全・安心な療育環境を整備し、発達支援の必要な児童に対する療育、支援の拡充を図る。

【事業の内容】
(1) 若草学園改築に係る実施設計
(2) 療育事業視察

【事業の実績】
令和7年度 若草学園改築に係る基本設計、地質調査実施
有識者等との意見交換会実施(2回)

家034	項目名	障害児等地域療育支援事業費	新規事業
予算書項目	障害児等地域療育支援事業費	ページ	205
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	知的障害児通園施設費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	6,885		
本年度要求額	7,173		
総務部長段階査定額	7,172		
市長段階査定額	7,172		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	3,441	
	地方債	0	
	その他	3,731	
	一般財源	0	
	計	7,172	
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】発達支援係 0857-30-8561

【12次総の施策体系】1101

【事業の経過及び背景】
在宅の発達上の困難を抱える児童に対して専門指導による発達支援を行うもの。

【事業の目的及び効果】
在宅の発達に困難を抱える児童の生活支援のため、身近な地域で療育指導を受け、相談ができるよう療育環境を構築し、児童の発達支援の向上・充実を図るもの。

【事業の内容】
訪問療育等指導事業 : 家庭訪問、外来による相談、指導
地域療育支援事業 : 担当職員による小集団での外来療育
施設支援一般指導事業 : 保育園等への療育に関する技術指導

【事業の実績】

	訪問療育指導	外来相談	外来療育指導	施設支援指導
令和5年度	26件	53件	690件	51件
令和6年度	26件	54件	857件	64件
令和7年度	20件	55件	850件	60件 (見込み)

※その他財源の負担金は、施設給付費負担金
※その他財源の諸収入は、地域療育等支援事業利用料収入

家035	項目名	インクルーシブ教育システム推進事業費	新規 事業
予算書項目	インクルーシブ教育システム推進事業費	ページ	267
年度	R8	所 属 名	
		健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 特別支援教育係 0857-30-8562	
款	教育費	【12次総の施策体系】 1101	
項	教育総務費	【事業の経過及び背景】	
目	教育振興費	近年、障がいの重度・重複化や多様化、発達障がい等の児童生徒への対応や合理的配慮、早期からの支援体制整備に関する要望が高まっている。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	9,666	就学後、特別な支援を必要とする可能性のある子どもに対し、就学に関する早期からの情報提供や相談会の実施等に取り組むため、柔軟できめ細やかな対応ができる就学相談員を配置する。また、学齢期における配慮の必要な児童への校内支援を行う特別支援教育アドバイザーを配置する。	
本年度要求額	9,954	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	9,954	(1) 切れ目ない支援体制整備	
市長段階査定額	9,954	教育と福祉が一体となり、就学移行支援に向けて協議検討を行う。	
		(2) 就学相談員の配置	
		就学相談員を配置し支援の充実を図るとともに、教育と保育、福祉、保健、医療などの連携、情報収集により各機関の連絡調整などを行う。	
		(3) 就学前小集団活動(にじのきょうしつ)	
		新しい学校生活に不安が大きい子どもに対し、小学校入学時に必要なスキルやルールを学ぶ機会をつくり、安心して就学を迎えるための支援を行う。	
		(4) 外部専門家による助言指導	
		就学後、特別な配慮を必要とする児童・生徒の学習生活上の困難に対する発達理解を促すため、学校訪問等により心理士による教員等への助言指導を行う。	
		(5) 特別支援教育アドバイザーの配置	
		特別支援学級、通常学級等への学習や生活面での配慮の必要な児童に対する校内体制への支援や特別支援教育の相談を行う。	
		【事業の実績】	
		就学相談件数	
		令和5年度 854件 令和6年度 654件 令和7年度 814件(見込み)	
		参加延人数(にじのきょうしつ)	
		令和5年度 140人 令和6年度 144人 令和7年度 140人(見込み)	
備考欄			

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	80
地方債	0
その他	0
一般財源	9,874
計	9,954

保001	項目名	災害医療対策費	新規事業
予算書項目	医療行政費	ページ	221
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健総務課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画連携係 0857-30-8521		
款 衛生費	【12次総の施策体系】2202		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 災害時の医療救護活動に備え、救急医薬品等を備蓄するほか、本市との協定に基づき被災地で医療救護活動を行う関係者に対し損害保険に加入する。また、被災者支援を担う職員の資質向上を図るため、平時から災害に備えた訓練・研修受講の促進が必要である。		
目 医務費	【事業の目的及び効果】 本市独自に救急医薬品等を備蓄し、発災直後の医療救護体制の確立を図るとともに、被災地で活動する者の損害保険加入により、負担軽減を図る。また、災害対応訓練及びDHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）研修等の参加により職員の資質向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) DHEAT養成研修、鳥取空港消火救難総合訓練への参加 (2) 災害医療コーディネーター会議、透析医療関係者意見交換会、職員研修会の開催		
前年度当初予算額	385	【事業の実績】 DHEAT養成研修参加 : R5年度 2名 R6年度 2名 R7年度 2名 鳥取空港消火救難総合訓練参加 : R5年度 10名 R6年度 13名 R7年度 12名 災害医療コーディネーター会議 : R6年度 1回 透析医療関係者意見交換会 : R5年度 1回 R6年度 1回 R7年度 1回 保健所運営に係る職員研修会 : R6年度 1回 R7年度 1回	
本年度要求額	410	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
総務部長段階査定額	397	【事業の内容】 (1) DHEAT養成研修、鳥取空港消火救難総合訓練への参加 (2) 災害医療コーディネーター会議、透析医療関係者意見交換会、職員研修会の開催	
市長段階査定額	397	【事業の実績】 DHEAT養成研修参加 : R5年度 2名 R6年度 2名 R7年度 2名 鳥取空港消火救難総合訓練参加 : R5年度 10名 R6年度 13名 R7年度 12名 災害医療コーディネーター会議 : R6年度 1回 透析医療関係者意見交換会 : R5年度 1回 R6年度 1回 R7年度 1回 保健所運営に係る職員研修会 : R6年度 1回 R7年度 1回	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 (1) DHEAT養成研修、鳥取空港消火救難総合訓練への参加 (2) 災害医療コーディネーター会議、透析医療関係者意見交換会、職員研修会の開催	
財源内訳		【事業の実績】 DHEAT養成研修参加 : R5年度 2名 R6年度 2名 R7年度 2名 鳥取空港消火救難総合訓練参加 : R5年度 10名 R6年度 13名 R7年度 12名 災害医療コーディネーター会議 : R6年度 1回 透析医療関係者意見交換会 : R5年度 1回 R6年度 1回 R7年度 1回 保健所運営に係る職員研修会 : R6年度 1回 R7年度 1回	
国・県支出金	0	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
地方債	0	【事業の内容】 (1) DHEAT養成研修、鳥取空港消火救難総合訓練への参加 (2) 災害医療コーディネーター会議、透析医療関係者意見交換会、職員研修会の開催	
その他	56	【事業の実績】 DHEAT養成研修参加 : R5年度 2名 R6年度 2名 R7年度 2名 鳥取空港消火救難総合訓練参加 : R5年度 10名 R6年度 13名 R7年度 12名 災害医療コーディネーター会議 : R6年度 1回 透析医療関係者意見交換会 : R5年度 1回 R6年度 1回 R7年度 1回 保健所運営に係る職員研修会 : R6年度 1回 R7年度 1回	
一般財源	341	【事業の内容】 (1) DHEAT養成研修、鳥取空港消火救難総合訓練への参加 (2) 災害医療コーディネーター会議、透析医療関係者意見交換会、職員研修会の開催	
計	397	【事業の実績】 DHEAT養成研修参加 : R5年度 2名 R6年度 2名 R7年度 2名 鳥取空港消火救難総合訓練参加 : R5年度 10名 R6年度 13名 R7年度 12名 災害医療コーディネーター会議 : R6年度 1回 透析医療関係者意見交換会 : R5年度 1回 R6年度 1回 R7年度 1回 保健所運営に係る職員研修会 : R6年度 1回 R7年度 1回	
備考欄			

保002	項目名	中山間地域の医療人材確保対策事業費	新規事業
予算書項目	中山間地域の医療人材確保対策事業費	ページ	221
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健総務課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8522		
款 衛生費	【12次総の施策体系】2202		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 中山間地域の医療提供体制を維持するため、地域に包括的な医療を提供する「総合診療医」を確保していく必要がある。鳥取県が開設する鳥取大学寄附講座に専門員を配置し、総合診療医の育成・確保対策を行っており、人件費等について関係市町により協力して支援するもの。また、本市として人材育成を図る市立病院等の取組に対して支援を行い、東部圏域への医師の定着につなげる。		
目 医務費	【事業の目的及び効果】 鳥取大学医学部地域医療学講座の専門員により、医学生・臨床研修医に対する総合診療の選択を勧奨する取組や、専攻医の指導強化等を進める。また、東部圏域への医師の定着につながる取組を支援する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) 臨床研修医・専攻医の教育・キャリア相談や、関係病院と連携した研修や広報等に取り組むための専門員の人件費及び活動費の一部負担。 (2) 東部圏域への医師の定着につながる市立病院等が実施する研修・交流事業等への支援。		
前年度当初予算額	840	【事業の実績】 ・県総合診療医確保対策強化事業の一部負担 (専門員人件費・活動費12,000千円のうち関係8市町で6,000千円を負担) 令和6年度 750千円 令和7年度 750千円 ・市立病院等が実施する研修・交流事業等に係る支援 令和7年度 90千円(見込み)	
本年度要求額	854	【事業の内容】 (1) 臨床研修医・専攻医の教育・キャリア相談や、関係病院と連携した研修や広報等に取り組むための専門員の人件費及び活動費の一部負担。 (2) 東部圏域への医師の定着につながる市立病院等が実施する研修・交流事業等への支援。	
総務部長段階査定額	812	【事業の実績】 ・県総合診療医確保対策強化事業の一部負担 (専門員人件費・活動費12,000千円のうち関係8市町で6,000千円を負担) 令和6年度 750千円 令和7年度 750千円 ・市立病院等が実施する研修・交流事業等に係る支援 令和7年度 90千円(見込み)	
市長段階査定額	812	【事業の内容】 (1) 臨床研修医・専攻医の教育・キャリア相談や、関係病院と連携した研修や広報等に取り組むための専門員の人件費及び活動費の一部負担。 (2) 東部圏域への医師の定着につながる市立病院等が実施する研修・交流事業等への支援。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 ・県総合診療医確保対策強化事業の一部負担 (専門員人件費・活動費12,000千円のうち関係8市町で6,000千円を負担) 令和6年度 750千円 令和7年度 750千円 ・市立病院等が実施する研修・交流事業等に係る支援 令和7年度 90千円(見込み)	
財源内訳		【事業の内容】 (1) 臨床研修医・専攻医の教育・キャリア相談や、関係病院と連携した研修や広報等に取り組むための専門員の人件費及び活動費の一部負担。 (2) 東部圏域への医師の定着につながる市立病院等が実施する研修・交流事業等への支援。	
国・県支出金	0	【事業の実績】 ・県総合診療医確保対策強化事業の一部負担 (専門員人件費・活動費12,000千円のうち関係8市町で6,000千円を負担) 令和6年度 750千円 令和7年度 750千円 ・市立病院等が実施する研修・交流事業等に係る支援 令和7年度 90千円(見込み)	
地方債	0	【事業の内容】 (1) 臨床研修医・専攻医の教育・キャリア相談や、関係病院と連携した研修や広報等に取り組むための専門員の人件費及び活動費の一部負担。 (2) 東部圏域への医師の定着につながる市立病院等が実施する研修・交流事業等への支援。	
その他	0	【事業の実績】 ・県総合診療医確保対策強化事業の一部負担 (専門員人件費・活動費12,000千円のうち関係8市町で6,000千円を負担) 令和6年度 750千円 令和7年度 750千円 ・市立病院等が実施する研修・交流事業等に係る支援 令和7年度 90千円(見込み)	
一般財源	812	【事業の内容】 (1) 臨床研修医・専攻医の教育・キャリア相談や、関係病院と連携した研修や広報等に取り組むための専門員の人件費及び活動費の一部負担。 (2) 東部圏域への医師の定着につながる市立病院等が実施する研修・交流事業等への支援。	
計	812	【事業の実績】 ・県総合診療医確保対策強化事業の一部負担 (専門員人件費・活動費12,000千円のうち関係8市町で6,000千円を負担) 令和6年度 750千円 令和7年度 750千円 ・市立病院等が実施する研修・交流事業等に係る支援 令和7年度 90千円(見込み)	
備考欄			

保003	項目名	病院群輪番制事業費補助金	新規事業
予算書項目	病院群輪番制事業費	ページ	211
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	保健衛生総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	5,400		
本年度要求額	8,099		
総務部長段階査定額	8,099		
市長段階査定額	8,099		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	8,099	財産収入	0
計	8,099	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】 医事業事係 0857-30-8531

【12次総の施策体系】 2202

【事業の経過及び背景】
休日等における入院治療を必要とする重症、中等症救急患者の医療（第二次救急医療）を確保するため、鳥取県東部圏域では輪番方式による救急医療体制を整備している。病院群輪番制の当番日は、これまで第2土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に定める休日並びに年末年始（12月30日から1月3日まで）としていたが、令和7年10月以降、土曜日の救急医療を担ってきた鳥取生協病院が土曜日診療を廃止したため、すべての土曜日の救急対応を病院群輪番制病院で分担することとなった。

【事業の目的及び効果】
病院群輪番制により第二次救急医療を担う病院（公立病院を除く。）に対し、費用の一部を助成することで安定した医療提供体制を確保する。

【事業の内容】
市内4病院（鳥取赤十字病院、鳥取生協病院、鳥取県立中央病院、鳥取市立病院）が輪番で、入院治療を必要とする救急患者を受け入れる体制を整備している。このうち、鳥取赤十字病院及び鳥取生協病院の行う病院群輪番制病院運営事業に対し補助金を交付する。
・診療時間：休日等の午前8時30分～翌日の午前8時30分
・補助金額：基準額 71,040円×当番日数
（鳥取赤十字病院 64日、鳥取生協病院 50日）
※午前8時30分～午後6時30分、午後6時30分～翌日の午前8時30分をそれぞれ1日とする。

【事業の実績】
令和5年度 5,400千円（鳥取赤十字病院 46日、鳥取生協病院 30日）
令和6年度 5,400千円（鳥取赤十字病院 46日、鳥取生協病院 30日）
令和7年度 6,820千円（鳥取赤十字病院 56日、鳥取生協病院 40日）
（見込み）

保004	項目名	夜間休日急患診療所運営委託費等	新規事業
予算書項目	夜間休日急患診療所運営委託費等	ページ	211
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	保健衛生総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	40,706		
本年度要求額	40,600		
総務部長段階査定額	40,600		
市長段階査定額	40,600		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	14,203	手数料	0
一般財源	26,397	財産収入	0
計	40,600	寄付金	0
		繰入金	14,203
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】 医事業事係 0857-30-8531

【12次総の施策体系】 2202

【事業の経過及び背景】
夜間、休日の初期救急医療の提供体制を整備する。

【事業の目的及び効果】
夜間及び日曜、祝日等の休日に、急な診察を必要とする患者が適切な医療を受けられるよう、急患診療所の運営を鳥取県東部医師会へ委託し、住民サービスの向上に努める。また、急患診療所において初期救急患者（一次救急患者）の受け入れを促進することで、より緊急性が高く、重篤な症状の救急患者に対する救急医療（第二次及び第三次救急医療）体制の負担軽減を図る。

【事業の内容】
一般社団法人鳥取県東部医師会への委託（内科・小児科）により、夜間、休日等における急患診療体制を整備する。
・診療日・診療時間：夜間 通年（365日） 19:00～22:00
休日 日曜日及び祝日、8月13日～8月15日
12月30日～翌年1月3日 9:00～12:00、14:00～17:00
・実施場所：東部医師会急患診療所（鳥取市富安一丁目58番地1）

【事業の実績】
令和4年度 休日昼間 5,811人 夜間 7,129人
令和5年度 休日昼間 7,761人 夜間 9,317人
令和6年度 休日昼間 7,207人 夜間 8,236人

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

保005	項目名	自死対策強化事業費	新規事業
予算書項目	自死対策強化事業費	ページ	211
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課
会計名		事業の概要 【問合せ先】心の健康支援室 0857-22-5616 【12次総の施策体系】2201 【事業の経過及び背景】 自死に対するセーフティネットとして、地域や関係機関との連携強化が緊急の課題となっている。令和8年度からは「第3期いのちを支える鳥取市自死対策推進計画」がスタートし、自死のさらなる減少を目指し継続的な施策に取り組んでいく。 【事業の目的及び効果】 「誰も自死に追い込まれることなく、健康で生きがいをもって暮らすことができる鳥取市」の実現を目指し、相談支援、人材育成、普及啓発、地域ネットワークの強化等、地域における自死対策の強化を図る。 【事業の内容】 ・ゲートキーパー養成研修会、自死予防講演会等の開催 ・パネル展示・チラシ配布等による啓発 ・こころの体温計（WEB上での簡易ストレス診断）による普及啓発 【事業の実績】 令和5年度 489千円 令和6年度 530千円 令和7年度 579千円（見込み）	
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	健康対策費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	574		
本年度要求額	576		
総務部長段階査定額	576		
市長段階査定額	576		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	316		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	260		
計	576		
備考欄			

保006	項目名	A類疾病予防接種費	新規事業																
予算書項目	感染症予防接種費	ページ	215																
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課																
会計名		事業の概要 【問合せ先】予防接種推進係 0857-30-8640 【12次総の施策体系】2202 【事業の経過及び背景】 A類疾病予防接種は、集団免疫の獲得による感染症のまん延防止を図ることを目的に、予防接種法に基づいて実施される。対象者には予防接種を受ける努力義務が課されており、対象者が適切な時期に安全に予防接種を受けられる接種体制整備が必要である。また、令和8年度からは新たにRSウイルス感染症ワクチンが定期接種の対象となることから、対象者には接種にあたり必要な情報を積極的に提供していく。 【事業の目的及び効果】 伝染のおそれがある疾病の発生及び重症化を予防し、住民の生命・健康を守るとともに、より多くの対象者が予防接種を受けることで、感染症のまん延防止を図る。 【事業の内容】 (1) 接種機会の確保 ・鳥取県医師会との契約により、会員が開設・管理する医療機関等での個別接種体制を整備 (2) 対象者への周知・接種勧奨 ・対象者への個別通知による接種券及び予診票の送付 ・予防接種の効果や接種にあたっての注意事項、副反応等の情報提供 ・未接種者への接種勧奨 (3) 安全な接種体制の整備 ・予防接種を行う医師への研修会の実施 【事業の実績】 <主な定期予防接種実施件数> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>[令和5年度]</td> <td>[令和6年度]</td> <td>[令和7年度(9月末)]</td> </tr> <tr> <td>五種混合</td> <td>—</td> <td>2,899件</td> <td>1,807件</td> </tr> <tr> <td>MR2期</td> <td>1,311件</td> <td>1,281件</td> <td>904件</td> </tr> <tr> <td>H P V (通常)</td> <td>1,093件</td> <td>1,415件</td> <td>520件</td> </tr> </table> <決算額> [令和5年度] [令和6年度] [令和7年度(見込み)] 447,314千円 516,349千円 399,113千円 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			[令和5年度]	[令和6年度]	[令和7年度(9月末)]	五種混合	—	2,899件	1,807件	MR2期	1,311件	1,281件	904件	H P V (通常)	1,093件	1,415件	520件
	[令和5年度]			[令和6年度]	[令和7年度(9月末)]														
五種混合	—			2,899件	1,807件														
MR2期	1,311件			1,281件	904件														
H P V (通常)	1,093件			1,415件	520件														
一般会計																			
款	衛生費																		
項	保健衛生費																		
目	予防費																		
(単位:千円)																			
前年度当初予算額	451,407																		
本年度要求額	436,743																		
総務部長段階査定額	432,337																		
市長段階査定額	432,337																		
区分	本年度予算額																		
財源内訳																			
国・県支出金	440																		
地方債	0																		
その他	20,000																		
一般財源	411,897																		
計	432,337																		
備考欄																			

保007	項目名	B類疾病予防接種費	新規事業																				
予算書項目	感染症予防接種費	ページ	215																				
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課																				
会計名		事業の概要																					
一般会計																							
款	衛生費	<p>【問合せ先】 予防接種推進係 0857-30-8640 【12次総の施策体系】 2202 【事業の経過及び背景】 定期接種として、高齢者を対象としたインフルエンザ、新型コロナ、肺炎球菌及び帯状疱疹の予防接種を実施している。また、インフルエンザについては、心身障がい者（児）及び小学6年生までの小児を対象に接種費用の助成を行っている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 個人の発病及びその重症化を予防し、併せてそのまん延予防に資することを目的とし、接種を希望する市民に対して行う。接種費用の負担軽減を図り、併せて接種体制を整えることで、市民の健康管理を支援する。</p> <p>【事業の内容】 (1) インフルエンザ予防接種 ① 65歳以上の者 ② 60歳から65歳未満の慢性高度心・腎・呼吸器機能不全者等 ③ 重度の心身障がい者及び重症心身障がい児 ④ 生後6か月以上から小学6年生までの小児 (2) 高齢者肺炎球菌予防接種 65歳の者及び上記②に該当する者 (3) 新型コロナ感染症予防接種 上記①及び②に該当する者 (4) 帯状疱疹予防接種 65歳の者及び60歳から65歳未満のヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいをする者 70、75、80、85、90、95、100歳の者（5年間の経過措置）</p> <p>【事業の実績】</p> <table border="1"> <tr> <td>定期予防接種件数</td> <td>[令和5年度]</td> <td>[令和6年度]</td> <td>[令和7年度(12月末時点)]</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ</td> <td>35,792人</td> <td>33,174人</td> <td>32,807人</td> </tr> <tr> <td>高齢者肺炎球菌</td> <td>1,876人</td> <td>664人</td> <td>530人</td> </tr> <tr> <td>新型コロナ感染症</td> <td>—</td> <td>19,814人</td> <td>13,638人</td> </tr> <tr> <td>帯状疱疹</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3,565件(※)</td> </tr> </table> <p>(※) 1人が組換えワクチンを2回接種した場合は2件とカウント 実績額 156,447,044円 437,567,886円 307,503,197円</p> <p>※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金</p>		定期予防接種件数	[令和5年度]	[令和6年度]	[令和7年度(12月末時点)]	インフルエンザ	35,792人	33,174人	32,807人	高齢者肺炎球菌	1,876人	664人	530人	新型コロナ感染症	—	19,814人	13,638人	帯状疱疹	—	—	3,565件(※)
定期予防接種件数	[令和5年度]			[令和6年度]	[令和7年度(12月末時点)]																		
インフルエンザ	35,792人			33,174人	32,807人																		
高齢者肺炎球菌	1,876人			664人	530人																		
新型コロナ感染症	—	19,814人	13,638人																				
帯状疱疹	—	—	3,565件(※)																				
項	保健衛生費																						
目	予防費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	500,501																						
本年度要求額	489,939																						
総務部長段階査定額	313,589	その他財源の内訳																					
市長段階査定額	313,589	<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>16,158</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	16,158	諸収入	0	その他	0		
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	16,158																						
諸収入	0																						
その他	0																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	440																						
地方債	0																						
その他	16,158																						
一般財源	296,991																						
計	313,589																						
備考欄																							

保008	項目名	結核予防対策事業費	新規事業																		
予算書項目	感染症予防費	ページ	215																		
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課																		
会計名		事業の概要																			
一般会計																					
款	衛生費	<p>【問合せ先】 感染症・疾病対策係 0857-30-8533 【12次総の施策体系】 2202 【事業の経過及び背景】 結核はいまだ我が国主要の感染症であり、本市においても結核発生件数は、他の二類感染症の中でも群を抜いて高い。平成19年に結核予防法が廃止されて以降も、結核については「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の中で特別な対策が講じられている。こうした状況を踏まえ、より効果的な対策を実施するため、結核対策を総合的に推進する必要がある。</p> <p>【事業の目的及び効果】 結核の予防・拡大防止を図るとともに、結核患者に適正な医療を提供するため、研修等の啓発事業、医療費の公費負担、服薬支援（治療薬を的確に服薬できるよう支援）を行う。</p> <p>【事業の内容】 (1) 結核予防費補助金（単市、補助率2/3） 私立学校、民間社会福祉施設がその生徒・学生または入所者の結核健診を実施する際、その費用の一部を助成。 (2) 医療費の公費負担 入院医療費：全額負担（国3/4、市1/4） 一般医療費：一部負担（95%）（国1/2、市1/2） (3) 接触者検診・管理健診（国1/2、市1/2） (4) DOT S事業による確実な治療の推進（国10/10） 在宅の患者に対し、保健所職員や委託契約を結んでいる訪問看護ステーションの看護師を派遣するなどして確実かつ継続的な服薬を支援・指導。 (5) 結核予防事業 健康教育・普及啓発事業等の実施。</p> <p>【事業の実績】</p> <table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>5,496千円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>4,479千円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>7,520千円（見込み）</td> </tr> </table> <p>※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金</p>		令和5年度	5,496千円	令和6年度	4,479千円	令和7年度	7,520千円（見込み）												
令和5年度	5,496千円																				
令和6年度	4,479千円																				
令和7年度	7,520千円（見込み）																				
項	保健衛生費																				
目	予防費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	5,615																				
本年度要求額	4,960																				
総務部長段階査定額	4,893	その他財源の内訳																			
市長段階査定額	4,893	<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>475</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	475	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
諸収入	475																				
その他	0																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	2,144																				
地方債	0																				
その他	475																				
一般財源	2,274																				
計	4,893																				
備考欄																					

保009	項目名	感染症対策推進事業費	新規事業
予算書項目	感染症予防費	ページ	215
年度	R8	所属名 健康こども部鳥取市保健所 保健医療課	
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	予防費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	8,848		
本年度要求額	19,118		
総務部長段階査定額	19,118		
市長段階査定額	19,118		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	6,537	その他財源の内訳
	地方債	0	
	その他	227	
	一般財源	12,354	
	計	19,118	
分担金	0	負担金	0
使用料	0	手数料	0
財産収入	0	財産収入	0
寄付金	0	繰入金	0
繰入金	0	諸収入	227
諸収入	227	その他	0
その他	0		
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8533

【12次総の施策体系】2202

【事業の経過及び背景】
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等に基づき、感染症発生に備えた危機管理体制の整備、感染症発生動向の調査及び病原体検査、感染症患者に対する適切な医療の提供等を行う必要がある。今もなお、新型コロナウイルス感染症等様々な感染症が流行しているほか、2025年1月以降、麻しん（はしか）流行地からの帰国者を中心とした麻しん感染が全国的に継続発生しており、それらを発端とした国内での流行も懸念されている。

【事業の目的及び効果】
感染症の発生時に備えた危機管理体制を平常時から整備するとともに、感染症患者が適切な医療の提供を受けられるよう支援を行う。また、感染症の発生動向を調査し、感染拡大の兆候を早期に探知し、適切な予防活動につなげ、感染症のまん延防止を図る。

【事業の内容】
(1) 感染症予防事業
感染症発生時の危機管理体制の整備、感染症患者に対する適切な医療提供を図る。
・感染症診査協議会の開催
・感染症患者の医療費公費負担
・研修会の開催
・訓練の実施、個人防護具備蓄品の整備（更新・補充）
(2) 感染症発生動向調査事業
・医療機関等と協力し、感染症発生状況を把握・調査
・感染症発生時の感染源の調査や病原体の検査

【事業の実績】
令和5年度 302,108千円
令和6年度 31,536千円
令和7年度 19,016千円（見込み）

※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金

保010	項目名	施設管理費	新規事業
予算書項目	施設管理費	ページ	211
年度	R8	所属名 健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課	
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	保健衛生総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	61,394		
本年度要求額	66,133		
総務部長段階査定額	65,051		
市長段階査定額	65,051		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	1,459	その他財源の内訳
	地方債	3,400	
	その他	10,927	
	一般財源	49,265	
	計	65,051	
分担金	0	負担金	0
使用料	144	手数料	0
財産収入	0	財産収入	0
寄付金	0	繰入金	3,000
繰入金	3,000	諸収入	7,783
諸収入	7,783	その他	0
その他	0		
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】庶務係 0857-30-8583

【12次総の施策体系】2201

【事業の経過及び背景】
市民の健康づくりの推進及び自主的な保健活動の振興に資するため、用瀬・佐治・気高・鹿野地域に保健センターを設置している。

【事業の目的及び効果】
各保健センターを適切に維持管理することにより、保健事業のスムーズな運営を図る。

【事業の内容】
各保健センターの維持管理。

【事業の実績】
令和5年度 69,310千円
令和6年度 125,273千円
令和7年度 63,442千円（見込み）

※その他財源の使用料は、施設使用料
※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金
※その他財源の諸収入は、光熱水費等負担金

保011	項目名	健康診査費	新規事業																								
予算書項目	健康増進事業費	ページ	211																								
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課																								
会計名		事業の概要 【問合せ先】 健診推進室 0857-20-0320 【12次総の施策体系】 2201 【事業の経過及び背景】 健康増進法に基づく取組として、がん対策は国をあげて推進していくこととされている。特に働く世代のがん罹患は社会に与える影響が大きく、受診率向上のための取組の推進、対策強化が必要となっている。 【事業の目的及び効果】 がん検診、健康診査等の受診により健康状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療を図る。 【事業の内容】 個別健診及び集団健診によるがん検診、健康診査等の実施。 期間：令和8年6月から令和9年2月末まで 【事業の実績】 ・69歳以下の受診率 ※国基準、子宮・乳は2年に1回の受診率 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>[胃]</td> <td>[肺]</td> <td>[大腸]</td> <td>[子宮]</td> <td>[乳]</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>33.0%</td> <td>32.5%</td> <td>34.7%</td> <td>70.1%</td> <td>58.6%</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>33.9%</td> <td>31.2%</td> <td>33.8%</td> <td>67.6%</td> <td>54.9%</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>34.0%</td> <td>31.5%</td> <td>34.0%</td> <td>68.0%</td> <td>55.0% (見込み)</td> </tr> </table> ・受診者数 [健康診査] [高齢者健診] [肝炎ウイルス] 令和5年度 295人 6,162人 1,139人 令和6年度 309人 6,472人 1,049人 令和7年度 310人 6,750人 900人 (見込み) ※その他財源の負担金は、後期高齢者健康診査負担金 ※その他財源の諸収入は、各種健診一部自己負担金			[胃]	[肺]	[大腸]	[子宮]	[乳]	令和5年度	33.0%	32.5%	34.7%	70.1%	58.6%	令和6年度	33.9%	31.2%	33.8%	67.6%	54.9%	令和7年度	34.0%	31.5%	34.0%	68.0%	55.0% (見込み)
	[胃]			[肺]	[大腸]	[子宮]	[乳]																				
令和5年度	33.0%			32.5%	34.7%	70.1%	58.6%																				
令和6年度	33.9%			31.2%	33.8%	67.6%	54.9%																				
令和7年度	34.0%	31.5%	34.0%	68.0%	55.0% (見込み)																						
一般会計																											
款	衛生費																										
項	保健衛生費																										
目	健康対策費																										
(単位:千円)																											
前年度当初予算額	446,819																										
本年度要求額	463,348																										
総務部長段階査定額	461,408	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>56,964</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	56,964	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	1	その他	0				
その他財源の内訳																											
分担金	0																										
負担金	56,964																										
使用料	0																										
手数料	0																										
財産収入	0																										
寄付金	0																										
繰入金	0																										
諸収入	1																										
その他	0																										
市長段階査定額	461,408																										
区分	本年度予算額																										
財源内訳																											
国・県支出金	10,987																										
地方債	0																										
その他	56,965																										
一般財源	393,456																										
計	461,408																										
備考欄																											

保012	項目名	健康教育・健康相談・訪問指導事業費	新規事業																				
予算書項目	健康増進事業費	ページ	211																				
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】 地域保健第二係 0857-30-8585 【12次総の施策体系】 2201 【事業の経過及び背景】 生活習慣病は自覚症状なく進行し、死亡や要介護状態等の主な原因の一つとなる。本市でもその対策が急務であり、第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）等に基づき、特定保健指導対象者以外へも、より適切かつ効果的に支援を実施する必要がある。 【事業の目的及び効果】 健康増進法に基づき、健康教育、健康相談、訪問指導を実施し適切な指導や支援を行い、生活習慣病及び要介護状態となることを予防し、健康づくりを支援する。 【事業の内容】 健康教育、健康相談、訪問指導を実施。 【事業の実績】																					
一般会計																							
款	衛生費																						
項	保健衛生費																						
目	健康対策費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	9,175	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>決算額</td> <td>健康教育</td> <td>健康相談</td> <td>訪問指導</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11,380千円</td> <td>386回</td> <td>259回</td> <td>555人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>9,497千円</td> <td>354回</td> <td>295回</td> <td>594人</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>9,175千円</td> <td>350回</td> <td>350回</td> <td>412人 (見込み)</td> </tr> </table>		令和5年度	決算額	健康教育	健康相談	訪問指導		11,380千円	386回	259回	555人	令和6年度	9,497千円	354回	295回	594人	令和7年度	9,175千円	350回	350回	412人 (見込み)
令和5年度	決算額	健康教育	健康相談	訪問指導																			
	11,380千円	386回	259回	555人																			
令和6年度	9,497千円	354回	295回	594人																			
令和7年度	9,175千円	350回	350回	412人 (見込み)																			
本年度要求額	1,445																						
総務部長段階査定額	1,445	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	1,445																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	752																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	693																						
計	1,445																						
備考欄																							

保013	項目名	食育推進事業費	新規事業
予算書項目	食育活動等推進事業費	ページ	211
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】食育推進係 0857-30-8582	
款	衛生費	【12次総の施策体系】2201	
項	保健衛生費	【事業の経過及び背景】 平成9年度から食育推進員の養成講座を実施しており、講座修了生で組織される鳥取市食育推進委員会は、市の委託により地域における食生活改善地区活動事業を実施している。 また、「鳥取市食育推進計画」に基づき、食育の実践を推進している。	
目	健康対策費	【事業の目的及び効果】 健康づくりの推進につなげるため、生活習慣病予防に最も重要である食生活の改善を広く普及する。また、地域の企業・スーパーマーケット等の食品関連事業者等と誰もが自然に健康になれる環境づくりを推進する。	
(単位:千円)		【事業の内容】 ・食育推進員養成講座の開催 ・鳥取市食育推進員地区活動事業委託 ・食環境整備事業の実施	
前年度当初予算額	2,774	【事業の実績】	
本年度要求額	2,671	決算額	養成講座修了者数
総務部長段階査定額	2,671	令和5年度 3,428千円	12人
市長段階査定額	2,671	令和6年度 2,405千円	21人
区分	本年度予算額	令和7年度 2,774千円	11人
国・県支出金	0	地区伝達講習会	131回
地方債	0		168回
その他	0		200回(見込み)
一般財源	2,671		
計	2,671		
備考欄			

保014	項目名	がん検診受診促進事業費	新規事業
予算書項目	生活習慣病予防対策事業費	ページ	213
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】地域保健第二係 0857-30-8585	
款	衛生費	【12次総の施策体系】2201	
項	保健衛生費	【事業の経過及び背景】 鳥取県のがんの死亡率は全国平均に比べ従来より高く推移していることから、早急かつ効果的にがん死亡率を減少させる取組を強化することが喫緊の課題となっている。	
目	健康対策費	【事業の目的及び効果】 がんになりにくい生活習慣や、がん検診を定期的に受けて早期発見に努める習慣を身に付ける等、がんに対する正しい知識を普及するための教育活動や、パートナー企業を通じた従業員等のがん検診の受診促進を図ることで、がん死亡率の減少につなげる。	
(単位:千円)		【事業の内容】 学校や事業所等で行うがん予防教育に講師を派遣するとともに、各世代に応じたわかりやすい教材を提供する。また、がん検診の受診啓発活動に積極的に取り組む事業所及び団体をパートナー企業として認定する。	
前年度当初予算額	416	【事業の実績】	
本年度要求額	426	令和5年度	出張がん予防教室 12回実施 パートナー企業累計認定数 286件
総務部長段階査定額	426	令和6年度	出張がん予防教室 8回実施 パートナー企業累計認定数 300件(新規認定数15件)
市長段階査定額	426	令和7年度	出張がん予防教室 24回実施 パートナー企業累計認定数 309件(新規認定数12件)(見込み)
区分	本年度予算額	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	426		
一般財源	0		
計	426		
備考欄			

保015	項目名	ふしめ歯科健診事業費	新規事業
予算書項目	成人歯科保健事業費	ページ	213
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	健康対策費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	672		
本年度要求額	1,538		
総務部長段階査定額	1,538		
市長段階査定額	1,538		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	967	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	571	
	計	1,538	
備考欄			

事業の概要		
【問合せ先】 地域保健第一係 0857-30-8581		
【12次総の施策体系】 2201		
【事業の経過及び背景】 歯・口腔の健康の保持・増進を図るため、40、50、60、70歳を対象に健康増進法に基づく歯周病検診を実施している。国は、生涯を通じた歯科健診の機会の確保に向け、令和6年度に対象者を拡充し、新たに20、30歳を対象に追加した。		
【事業の目的及び効果】 歯周病の早期発見、早期治療及び適切な指導により、生涯を通じて歯・口腔の健康を保つため、また、全身疾患や生活習慣との関係が指摘されていること等から、定期的に健診を行うことにより、市民の歯科保健に対する意識付けや健康の保持増進を図る。		
【事業の内容】 対象者：20、30、40、50、60、70歳に達する者 委託先：一般社団法人鳥取県東部歯科医師会		
【事業の実績】		
	決算額	受診者数
令和5年度	620千円	259人
令和6年度	588千円	253人
令和7年度	1,262千円	548人(見込み)

保016	項目名	野良猫不妊・去勢手術費補助金	新規事業
予算書項目	動物愛護事業費	ページ	215
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 生活安全課
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	保健衛生費		
目	予防費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,600		
本年度要求額	2,640		
総務部長段階査定額	2,000		
市長段階査定額	2,000		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	2,000	
	一般財源	0	
	計	2,000	
備考欄			

事業の概要		
【問合せ先】 動物愛護係 0857-30-8551		
【12次総の施策体系】 2202		
【事業の経過及び背景】 平成24年の動物愛護管理法改正により、駆除目的とした安易な動物の引取りは原則でなくなっている。このため、地域では野良猫の頭数が増加の一途をたどり、住民から様々な苦情や相談が寄せられ、その対応に苦慮している状況となっている。		
【事業の目的及び効果】 動物の愛護及び管理に関する法律及び鳥取県動物愛護管理推進計画に基づき、猫の収容・引取り数の削減などを目標として取り組んでいる。猫による環境悪化の苦情及び負傷により保護した飼い主のいない猫の死亡数減少に向け、みだりな繁殖・増加を抑制する対策が必要となっている。 その対策の一つとして、飼い主のいない猫の不妊去勢手術に要した費用を補助している。		
【事業の内容】 飼い主のいない猫に対して不妊・去勢手術を行った者に対し、手術費用の10割を助成する。(上限額：オス10,000円、メス15,000円「クラウドファンディング型ふるさと納税」を活用(寄付金目標200万円))		
【事業の実績】		
	令和5年度	117頭
	令和6年度	130頭
	令和7年度	130頭(見込み)
※その他財源の寄付金は、クラウドファンディング型ふるさと納税		

保017	項目名	動物愛護管理推進事業費	新規事業																																																				
予算書項目	動物愛護事業費	ページ	215																																																				
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所生活安全課																																																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】動物愛護係 0857-30-8551 【12次総の施策体系】2202 【事業の経過及び背景】 中核市移行に伴い、本市では、「狂犬病予防法」「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「鳥取市動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、動物の収容、収容動物の管理・譲渡、適正飼養の普及啓発、動物取扱業者・特定動物飼養者への指導等を行っている。 【事業の目的及び効果】 命を大切に人と動物が共生する社会の実現のため、収容動物の譲渡による終生飼養並びに法令等の遵守による動物の健康及び安全に配慮した取扱いを啓発、指導することで動物が適正な環境のもとで飼養されることを推進する。 【事業の内容】 (1) 動物の収容 狂犬病予防技術員の雇用、放浪犬の捕獲・抑留、負傷動物の保護 (2) 収容動物の管理・譲渡 収容動物の診療・飼養管理、犬管理所の運営、関係機関の連携による譲渡の促進 (3) 普及啓発 相談及び通報等対応、事故対応 (4) 動物取扱業者・特定動物飼養者への指導 登録・許可事務、立入指導、講習会実施 【事業の実績】 <実績(東部)> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>収容(犬)</th> <th>収容(猫)</th> <th>前年度引継ぎ(犬)</th> <th>前年度引継ぎ(猫)</th> <th>返還(犬)</th> <th>返還(猫)</th> <th>譲渡(犬)</th> <th>譲渡(猫)</th> <th>処分(犬)</th> <th>処分(猫)</th> <th>翌年度引継ぎ(犬)</th> <th>翌年度引継ぎ(猫)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>25頭</td> <td>48頭</td> <td>1頭</td> <td>5頭</td> <td>9頭</td> <td>0頭</td> <td>12頭</td> <td>17頭</td> <td>3頭</td> <td>34頭</td> <td>2頭</td> <td>2頭</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>36頭</td> <td>54頭</td> <td>2頭</td> <td>2頭</td> <td>12頭</td> <td>1頭</td> <td>21頭</td> <td>33頭</td> <td>0頭</td> <td>18頭</td> <td>5頭</td> <td>4頭</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>18頭</td> <td>40頭</td> <td>5頭</td> <td>4頭</td> <td>11頭</td> <td>1頭</td> <td>7頭</td> <td>20頭</td> <td>1頭</td> <td>16頭</td> <td>4頭</td> <td>7頭</td> </tr> </tbody> </table> ※令和7年度は12月末現在 ※その他財源の手数料は、動物取扱業登録等手数料等 ※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金		年度	収容(犬)	収容(猫)	前年度引継ぎ(犬)	前年度引継ぎ(猫)	返還(犬)	返還(猫)	譲渡(犬)	譲渡(猫)	処分(犬)	処分(猫)	翌年度引継ぎ(犬)	翌年度引継ぎ(猫)	R5	25頭	48頭	1頭	5頭	9頭	0頭	12頭	17頭	3頭	34頭	2頭	2頭	R6	36頭	54頭	2頭	2頭	12頭	1頭	21頭	33頭	0頭	18頭	5頭	4頭	R7	18頭	40頭	5頭	4頭	11頭	1頭	7頭	20頭	1頭	16頭	4頭	7頭
年度	収容(犬)			収容(猫)	前年度引継ぎ(犬)	前年度引継ぎ(猫)	返還(犬)	返還(猫)	譲渡(犬)	譲渡(猫)	処分(犬)	処分(猫)	翌年度引継ぎ(犬)	翌年度引継ぎ(猫)																																									
R5	25頭			48頭	1頭	5頭	9頭	0頭	12頭	17頭	3頭	34頭	2頭	2頭																																									
R6	36頭			54頭	2頭	2頭	12頭	1頭	21頭	33頭	0頭	18頭	5頭	4頭																																									
R7	18頭	40頭	5頭	4頭	11頭	1頭	7頭	20頭	1頭	16頭	4頭	7頭																																											
一般会計																																																							
款	衛生費																																																						
項	保健衛生費																																																						
目	予防費																																																						
(単位:千円)																																																							
前年度当初予算額	15,251																																																						
本年度要求額	14,912																																																						
総務部長段階査定額	14,542	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>393</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>2,457</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	393	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	2,457	その他	0																																		
分担金	0																																																						
負担金	0																																																						
使用料	0																																																						
手数料	393																																																						
財産収入	0																																																						
寄付金	0																																																						
繰入金	0																																																						
諸収入	2,457																																																						
その他	0																																																						
市長段階査定額	14,542																																																						
区分	本年度予算額																																																						
財源内訳																																																							
国・県支出金	0																																																						
地方債	0																																																						
その他	2,850																																																						
一般財源	11,692																																																						
計	14,542																																																						
備考欄																																																							

保018	項目名	動物愛護センター整備事業費	新規事業																		
予算書項目	動物愛護事業費	ページ	215																		
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所生活安全課																		
会計名		事業の概要 【問合せ先】動物愛護係 0857-30-8551 【12次総の施策体系】2202 【事業の経過及び背景】 現在の犬管理所は、県から無償で借りているものであり、建設から30年以上経過し、老朽化が進んでいる。また、狂犬病予防法に基づく犬の抑留を目的に整備された施設であることから、猫の収容スペースの不足、及び病気に罹患した動物の隔離室が無い等不十分な状況となっている。令和元年度の動物愛護管理法改正により、動物愛護管理センターとしての機能も求められている現状、及びこれらの課題を踏まえた上で、犬管理所のあり方を検討する。 【事業の目的及び効果】 老朽化した現行施設の課題を解消し、「人と動物の共生社会」の実現に向けた中核拠点施設を整備することで、動物愛護管理法の理念に基づいた、動物の福祉の向上と適正飼養の推進を図り、市民への普及啓発機能を強化する。 【事業の内容】 令和8年度に動物愛護センター設置検討委員会を設置し、施設の構想や運営体制について協議を行う。																			
一般会計																					
款	衛生費																				
項	保健衛生費																				
目	予防費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	0																				
本年度要求額	608																				
総務部長段階査定額	606	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
諸収入	0																				
その他	0																				
市長段階査定額	606																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	606																				
計	606																				
備考欄																					

保019	項目名	食品衛生指導事業費		新規 事業
予算書項目	食品衛生指導事業費	ページ	215	所属名
年度	R8	健康こども部鳥取市保健所 生活安全課		
会計名				
一般会計				
款	衛生費			
項	保健衛生費			
目	予防費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	12,351			
本年度要求額	16,968			
総務部長段階査定額	15,777			
市長段階査定額	15,777			
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	10,762			
一般財源	5,015			
計	15,777			
備考欄				

事業の概要																								
<p>【問合せ先】食品衛生係 0857-30-8552</p> <p>【12次総の施策体系】2202</p> <p>【事業の経過及び背景】 飲食に起因する衛生上の危害を防止し食品の安全を確保するため、毎年度「食品衛生監視指導計画」を策定し、これに基づき効率的かつ効果的な監視指導を実施している。 令和3年6月には、法改正による新たな営業許可及び届出制度、HACCPに沿った衛生管理制度、食品等のリコール情報の報告義務化が施行され、これらの定着を図る必要がある。</p> <p>【事業の目的及び効果】 食品等事業者及び消費者に対し食品の衛生的な取扱いを指導、啓発し、生産から消費までの食の安全を確保することで食に起因する健康被害を予防する。</p> <p>【事業の内容】 鳥取県東部圏域食品衛生監視指導計画に沿って、営業許可制度では新たな施設基準に基づく施設の設置及び申請手続の指導、HACCPに沿った衛生管理の適正な運用の指導、流通食品の検査による安全性検証、食品衛生の普及啓発等により食の安全を確保する。食中毒や法違反に対しては、迅速に調査し再発防止を講じる。</p> <p>【事業の実績】</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align:center;">令和5年度</th> <th style="text-align:center;">令和6年度</th> <th style="text-align:center;">令和7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品営業新規許可</td> <td style="text-align:center;">417件</td> <td style="text-align:center;">562件</td> <td style="text-align:center;">421件</td> </tr> <tr> <td>監視指導実績</td> <td style="text-align:center;">2,838件</td> <td style="text-align:center;">2,805件</td> <td style="text-align:center;">2,480件</td> </tr> <tr> <td>違反指導</td> <td style="text-align:center;">6件</td> <td style="text-align:center;">10件</td> <td style="text-align:center;">5件</td> </tr> <tr> <td>行政処分</td> <td style="text-align:center;">1件</td> <td style="text-align:center;">2件</td> <td style="text-align:center;">3件</td> </tr> <tr> <td>食品検査</td> <td style="text-align:center;">118件</td> <td style="text-align:center;">117件</td> <td style="text-align:center;">108件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和7年度は12月末現在</p> <p>※その他財源の手数料は、食品営業許可等手数料及び調理師免許交付等手数料 ※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金</p>		令和5年度	令和6年度	令和7年度	食品営業新規許可	417件	562件	421件	監視指導実績	2,838件	2,805件	2,480件	違反指導	6件	10件	5件	行政処分	1件	2件	3件	食品検査	118件	117件	108件
	令和5年度	令和6年度	令和7年度																					
食品営業新規許可	417件	562件	421件																					
監視指導実績	2,838件	2,805件	2,480件																					
違反指導	6件	10件	5件																					
行政処分	1件	2件	3件																					
食品検査	118件	117件	108件																					

経001	項目名	シルバー人材センター運営補助金	新規事業																		
予算書項目	シルバー人材センター助成費等	ページ	191																		
年度	R8	所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課																		
会計名		事業の概要 【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284 【12次総の施策体系】2201 【事業の経過及び背景】 健康寿命の延伸や年金受給年齢の引上げなど高齢者を取り巻く環境が変化中、働く意欲のある高齢者の多様な就業ニーズに対応した就業機会の創出や高齢者の生きがいの創出が求められている。平成27年9月には、60歳以上の高齢者の派遣労働について法による制限が緩和され、派遣事業に対する国の補助制度も設置され、生産年齢人口の減少による労働力不足を解消するために積極的な高齢者の派遣事業への取組が求められている。 【事業の目的及び効果】 高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供と人手不足の企業に高齢者を派遣し、地域の労働需給の均衡を実現する公益社団法人鳥取市シルバー人材センターに対して運営等に要する経費を補助することにより、同センターの経営の安定を図り、高齢者の豊かな生活の確保や生きがいがいづくりに資する。 【事業の内容】 公益社団法人鳥取市シルバー人材センター補助金の交付 ・就業機会提供事業 ・就業分野の開拓・拡大事業 ・福祉家事援助・子育て支援事業 ・社会参加活動推進事業等 【事業の実績】 公益社団法人鳥取市シルバー人材センターの運営状況 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>[市補助金]</td> <td>[会員数]</td> <td>[派遣就業延べ人員]</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>17,696千円</td> <td>734人</td> <td>9,161人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>21,277千円</td> <td>737人</td> <td>9,043人</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>22,700千円</td> <td>684人</td> <td>6,979人(12月末時点)</td> </tr> </table>			[市補助金]	[会員数]	[派遣就業延べ人員]	令和5年度	17,696千円	734人	9,161人	令和6年度	21,277千円	737人	9,043人	令和7年度	22,700千円	684人	6,979人(12月末時点)		
	[市補助金]			[会員数]	[派遣就業延べ人員]																
令和5年度	17,696千円			734人	9,161人																
令和6年度	21,277千円			737人	9,043人																
令和7年度	22,700千円	684人	6,979人(12月末時点)																		
一般会計																					
款	民生費																				
項	社会福祉費																				
目	老人福祉費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	22,780																				
本年度要求額	22,780																				
総務部長段階査定額	20,780	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
諸収入	0																				
その他	0																				
市長段階査定額	20,780																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	20,780																				
計	20,780																				
備考欄																					

経002	項目名	商店街にぎわい形成促進事業費	新規事業																		
予算書項目	商店街にぎわい形成促進事業費	ページ	241																		
年度	R8	所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課																		
会計名		事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282 【12次総の施策体系】3103、3402 【事業の経過及び背景】 本市では全国有数の車所有率による行動範囲の拡大と郊外大型店の売場面積拡大複合化による利便性向上や、インターネット通販の普及などの様々な要因により、商店街等の賑わいの喪失が引き起こされている。そういった厳しい商業環境にある中、頑張る個店等が連携しこだわりを持った技術、知識、経験豊富な人材等の魅力を発信し、時代の変化にしっかりと応じられる仕組みを作っていくため、引き続き各種事業を推進している。 【事業の目的及び効果】 商店街の空き店舗活用、環境整備、コミュニティ醸成等を図る活動を推進することにより、中心市街地の賑わい創出、商業振興を図る。 【事業の内容】 (1) 活動支援事業 地域の文化、人材、資源を活かした商店街づくり事業や、販売促進、ニーズ把握、その他商業振興に関するソフト事業に要する経費の一部を補助する。 (2) 環境整備事業 来街者の利便性の向上や安全安心のまちづくり、環境への負荷軽減を図るなど、商店街振興組合等が取り組む公共性の高い環境整備事業に要する経費の一部を補助する。 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>6件(活動支援事業6件)</td> <td>2,463千円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>9件(活動支援事業9件)</td> <td>4,634千円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>11件(活動支援事業10件、環境整備事業1件)</td> <td>5,694千円(見込み)</td> </tr> </table> ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		令和5年度	6件(活動支援事業6件)	2,463千円	令和6年度	9件(活動支援事業9件)	4,634千円	令和7年度	11件(活動支援事業10件、環境整備事業1件)	5,694千円(見込み)									
令和5年度	6件(活動支援事業6件)			2,463千円																	
令和6年度	9件(活動支援事業9件)			4,634千円																	
令和7年度	11件(活動支援事業10件、環境整備事業1件)			5,694千円(見込み)																	
一般会計																					
款	商工費																				
項	商工費																				
目	商工業振興費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	6,400																				
本年度要求額	6,400																				
総務部長段階査定額	6,200	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>6,200</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	6,200	諸収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	6,200																				
諸収入	0																				
その他	0																				
市長段階査定額	6,200																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	6,200																				
一般財源	0																				
計	6,200																				
備考欄																					

経003	項目名	大型空き店舗対策事業費	新規事業
予算書項目	商店街にぎわい形成促進事業費	ページ	241
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,500		
本年度要求額	1,500		
総務部長段階査定額	1,500		
市長段階査定額	1,500		
区 分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	750	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	0	使用料
	一般財源	750	手数料
	計	1,500	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282

【12次総の施策体系】3103、3402

【事業の経過及び背景】
「第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画（計画期間：令和5年度から令和9年度）」に基づき、中心市街地の再生に向け、各種事業を推進する。

【事業の目的及び効果】
空き店舗の中でも、特にまちの景観やイメージを損なう大型空き店舗の解消を推進することにより、中心市街地の賑わい創出、商業振興を図る。

【事業の内容】
・商店街テナントマッチング事業（委託料）
中心市街地における大型空き店舗解消のため、空き店舗情報の周知、テナント誘致、商店街関係者等との情報共有を行う。
・大型空き店舗入居促進補助金
テナント（50坪以上）への入居が内定した事業者等に対し、商業施設等としての活用に必要な経費の一部を補助する。

【事業の実績】
令和5年度 1件
令和6年度 1件
令和7年度 0件（見込み）

経004	項目名	中心市街地活性化推進事業補助金	新規事業
予算書項目	中心市街地活性化推進事業費	ページ	241
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	8,110		
本年度要求額	8,000		
総務部長段階査定額	8,000		
市長段階査定額	8,000		
区 分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	4,000	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	0	使用料
	一般財源	4,000	手数料
	計	8,000	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282

【12次総の施策体系】3103

【事業の経過及び背景】
「第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画（計画期間：令和5年度から令和9年度）」により、中心市街地の再生に向け、各種事業を推進している。

【事業の目的及び効果】
中心市街地活性化基本計画等に基づく事業を支援することにより、中心市街地の賑わい創出、商業振興を図る。

【事業の内容】
(1) 中心市街地活性化推進事業
事業実施のための調査、設計書等の作成に必要な経費の一部を補助する。
（補助率：1/2、限度額：2,000千円）
(2) まちなか振興ビジネス活性化支援事業補助金
商店街振興組合等がまちなかを振興する観点で実施する地域課題に対応する事業に必要な経費の一部を補助する。
（補助率：2/3、限度額：6,000千円）※県間接補助

【事業の実績】
(1) 中心市街地活性化推進事業
令和5年度 0件
令和6年度 0件
令和7年度 1件 1,344千円（見込み）
(2) まちなか振興ビジネス活性化支援事業補助金
令和5年度 1件 663千円
令和6年度 2件 769千円
令和7年度 1件 53千円（見込み）

経005	項目名	スマートエネルギータウン構想推進事業費	新規事業																		
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	241																		
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課																		
会計名	事業の概要																				
一般会計	【問合せ先】スマートエネルギータウン推進室 0857-30-8288																				
款 商工費	【12次総の施策体系】3101																				
項 商工費	【事業の経過及び背景】																				
目 商工業振興費	「鳥取市スマートエネルギータウン構想」に基づき、エネルギーの地産地消、地域内経済循環の拡大を図るために様々な事業に取り組んでいる。令和5年4月には環境省「脱炭素先行地域」に選定され、令和6年12月には、官民共同出資による「株式会社スマートエネルギーとっとり」を設立し、脱炭素先行地域の取組を推進している。																				
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】																				
前年度当初予算額	717,228	脱炭素先行地域（若葉台、佐治町）において、産学官連携による地域脱炭素と再エネの地産地消の取組を進め、地域経済循環の活性化、地方創生、災害耐性の向上など安心・安全に住み続けられる持続可能なまちづくりの実現につなげる。																			
本年度要求額	556,586	【事業の内容】																			
総務部長段階査定額	556,586	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[事業費/国交付金等]</td> </tr> <tr> <td>高機能建材等導入（若葉台、佐治町）</td> <td>18,000千円/ 12,000千円</td> </tr> <tr> <td>業務部門等P P A事業（若葉台、佐治町）</td> <td>84,350千円/ 56,233千円</td> </tr> <tr> <td>E V 充電設備導入（若葉台）</td> <td>20,000千円/ 15,000千円</td> </tr> <tr> <td>産業用P V 導入（若葉台）</td> <td>15,200千円/ 10,133千円</td> </tr> <tr> <td>公立鳥取環境大学（Z E B化ほか）</td> <td>332,606千円/221,737千円</td> </tr> <tr> <td>小水力発電事業（佐治町）</td> <td>177,088千円/147,574千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(内、市14,758千円)</td> </tr> <tr> <td>E M S / V P P 共通システム基盤構築</td> <td>75,900千円/ 62,425千円</td> </tr> </table>			[事業費/国交付金等]	高機能建材等導入（若葉台、佐治町）	18,000千円/ 12,000千円	業務部門等P P A事業（若葉台、佐治町）	84,350千円/ 56,233千円	E V 充電設備導入（若葉台）	20,000千円/ 15,000千円	産業用P V 導入（若葉台）	15,200千円/ 10,133千円	公立鳥取環境大学（Z E B化ほか）	332,606千円/221,737千円	小水力発電事業（佐治町）	177,088千円/147,574千円		(内、市14,758千円)	E M S / V P P 共通システム基盤構築	75,900千円/ 62,425千円
	[事業費/国交付金等]																				
高機能建材等導入（若葉台、佐治町）	18,000千円/ 12,000千円																				
業務部門等P P A事業（若葉台、佐治町）	84,350千円/ 56,233千円																				
E V 充電設備導入（若葉台）	20,000千円/ 15,000千円																				
産業用P V 導入（若葉台）	15,200千円/ 10,133千円																				
公立鳥取環境大学（Z E B化ほか）	332,606千円/221,737千円																				
小水力発電事業（佐治町）	177,088千円/147,574千円																				
	(内、市14,758千円)																				
E M S / V P P 共通システム基盤構築	75,900千円/ 62,425千円																				
市長段階査定額	556,586	【事業の実績】																			
区分	本年度予算額	令和5年度 60,144千円																			
財源内訳		令和6年度 156,376千円																			
国・県支出金	510,344	令和7年度 685,754千円（見込み）																			
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	46,242																				
計	556,586																				
備考欄																					

経006	項目名	自然資本産業誘致・振興事業費	新規事業										
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	241										
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課										
会計名	事業の概要												
一般会計	【問合せ先】スマートエネルギータウン推進室 0857-30-8288												
款 商工費	【12次総の施策体系】3101												
項 商工費	【事業の経過及び背景】												
目 商工業振興費	本市の中山間地域などにおいては、人口減少に加え、一次産業をはじめとする地域の担い手不足が深刻な課題となっている。一方で、これら地域には、都市部にはない豊かな自然環境や独自の文化が存在しており、こうした特性を生かしたまちづくりが求められている。												
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】												
前年度当初予算額	0	海・川・里山・農地といった自然資本がコンパクトにまとまる気高町日光地区をモデル地域とし、事業ノウハウを持つ企業、地元の皆様と連携しながら、自然環境の保全と、これらを活用した新たな産業の創出や地域に根ざした人材の育成を推進する。											
本年度要求額	67,868	【事業の内容】											
総務部長段階査定額	67,868	<table border="1"> <tr> <td>・気高町日光をモデル地区とした事業の可能性調査事業</td> <td>32,178千円</td> </tr> <tr> <td>・自然資本産業を生かしたローカルベンチャースクールの実施</td> <td>27,780千円</td> </tr> <tr> <td>・地域資源を活用した地域活性化事業に対する支援</td> <td>3,000千円</td> </tr> <tr> <td>・W e b サイト、啓発パンフレットによる広報</td> <td>1,835千円</td> </tr> <tr> <td>・事務補助人件費等</td> <td>3,075千円</td> </tr> </table>		・気高町日光をモデル地区とした事業の可能性調査事業	32,178千円	・自然資本産業を生かしたローカルベンチャースクールの実施	27,780千円	・地域資源を活用した地域活性化事業に対する支援	3,000千円	・W e b サイト、啓発パンフレットによる広報	1,835千円	・事務補助人件費等	3,075千円
・気高町日光をモデル地区とした事業の可能性調査事業	32,178千円												
・自然資本産業を生かしたローカルベンチャースクールの実施	27,780千円												
・地域資源を活用した地域活性化事業に対する支援	3,000千円												
・W e b サイト、啓発パンフレットによる広報	1,835千円												
・事務補助人件費等	3,075千円												
市長段階査定額	67,868	【事業の実績】											
区分	本年度予算額	令和7年度 40,039千円（見込み）											
財源内訳													
国・県支出金	33,931												
地方債	0												
その他	0												
一般財源	33,937												
計	67,868												
備考欄													

経007	項目名	国際経済交流推進事業費	新規事業
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	241
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】市場開拓係 0857-30-8283		
款 商工費	【12次総の施策体系】3101		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 商工業振興費	平成22年8月にロシアウラジオストク市、平成24年9月に中国延辺朝鮮族自治州と相互に経済交流を促進する覚書を締結。平成25年4月に「国際経済発展協議会」を設立するとともに、コーディネーターを配置する「環日本海経済交流センター」を設置。		
(単位:千円)	平成30年度から、人口減少による国内市場の縮小や労働力不足といった地域事業者の深刻な経営課題を解決するため「外国人留学生の地域就労支援事業」に着手。		
前年度当初予算額	14,828	令和元年度にハノイ市友好団体連合と覚書を締結し、同年10月に市内経済団体・企業を中心とした経済視察団を派遣。令和6年11月に同団体の訪鳥、令和7年7月には鳥取市訪問団がハノイを訪問する等、連携を強化。	
本年度要求額	15,172	【事業の目的及び効果】	
総務部長段階査定額	13,440	環日本海地域の友好都市に関わらず広く海外との経済交流を図りながら、地元企業の販路や事業等の海外展開につなげる。	
市長段階査定額	13,440	留学生インターンシップを展開し、地域就労留学生を増加させることで地元企業のさらなる海外展開とインバウンド需要取込を支援し、本市の経済発展を推進する。	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
財源内訳		・「環日本海経済交流センター」の運営	
国・県支出金	0	・地元企業の貿易相談、翻訳・通訳業務、海外企業とのマッチング支援	
地方債	0	・留学生インターンシップ事業	
その他	0	・経済交流事業の推進（ベトナムハノイ友好団体連合他との経済交流）	
一般財源	13,440	【事業の実績】	
計	13,440	・地元企業の貿易相談、翻訳・通訳業務、海外企業とのマッチング支援	
備考欄		(相談件数) 令和5年度 407件 令和6年度 319件 令和7年度 216件(12月末時点)	
		・留学生インターンシップ事業	
		(参加留学生) 令和5年度 1名 令和6年度 2名 令和7年度 0名(12月末時点)	

経008	項目名	関西情報発信拠点推進事業費	新規事業
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	241
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282		
款 商工費	【12次総の施策体系】3103		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 商工業振興費	平成29年度より、主要商圏である関西圏において、麒麟のまち圏域1市6町（鳥取県：鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町、兵庫県：香美町・新温泉町）のブランド化を推進するため、大阪中之島に「麒麟のまち関西情報発信拠点」を整備・運営。圏域の広域的な連携により、交流人口の増加、移住促進、地元製品の販路拡大を図っている。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	22,733	麒麟のまち圏域での広域的な連携により、交流人口の増加、移住定住の促進、地元製品の販路拡大を図る。	
本年度要求額	21,220	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	21,220	麒麟のまち関西情報発信拠点の施設の管理運営及び本施設を拠点とした各種プロモーション事業を行う。	
市長段階査定額	21,220	・麒麟のまち関西情報発信拠点の観光、地元産品、移住定住等の情報発信	
区分	本年度予算額	・地元食材を使用した飲食販売及び地元産品の販売等による販路拡大に向けた取組の実施	
財源内訳		・好調な外国人観光客の流れを圏域へ誘導するインバウンドの促進	
国・県支出金	10,592	※令和4年度から6年度で3年間の委託期間が満了となり、令和7年度から3年間プロポーザルにより選定された株式会社ビーエムエスと管理運営委託契約を締結している。	
地方債	0	【事業の実績】	
その他	0	(施設利用者数) (売上金額)	
一般財源	10,628	令和5年度 35,068人 46,569千円	
計	21,220	令和6年度 34,041人 46,949千円	
備考欄		令和7年度 24,417人 31,215千円(見込み)	
		※令和4年度～令和6年度は中央フードサービス株式会社が管理運営、令和7年度～令和9年度は株式会社ビーエムエスが管理運営。	

経009	項目名	雇用促進協議会支援事業費	新規事業
予算書項目	雇用対策事業費	ページ	241
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284		
款 商工費	【12次総の施策体系】3101		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 少子高齢化や人口減少が進む中、若者の県外流出や雇用のミスマッチによる早期離職などにより、地元企業の人材確保・人材育成は喫緊の課題となっている。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 市内の雇用創造及び雇用促進に関係している機関及び団体が集まり、労働需給の均衡に向けた諸課題の解決に向けて意見交換を行うとともに、構成員各個が施策推進に向けた連携を図ることにより、本市の経済発展及び雇用創造並びに雇用促進に寄与することを目的に設置される鳥取市雇用促進協議会が事業実施することで人材の安定確保に取り組む。		
(単位:千円)	【事業の内容】 協議会が①若者の地元定着促進事業 ②若者の職場定着促進事業を実施する。		
前年度当初予算額	1,238	【事業の実績】 令和5年度 高校生の出張企業見学会(参加校:3校 企業16社・参加者177人) 地元企業早期ブランディング事業(参加校:3校 参加者:599人 参加企業:34社) 若者の職場定着促進事業(セミナー1回開催・参加者31社37人、採用コンサルティング・2社)	
本年度要求額	1,493	令和6年度 高校生の出張企業見学会(参加校:3校 企業15社・参加者170人) 地元企業早期ブランディング事業(参加校:5校 参加者:622人 参加企業:35社) 若者の職場定着促進事業(セミナー1回開催・参加者18社21人)	
総務部長段階査定額	1,238	令和7年度 高校生の出張企業見学会(参加校:2校 企業社8社・参加者89人) 地元企業早期ブランディング事業(参加校:4校 参加者:625人 参加企業:37社) 若者の職場定着促進事業(セミナー1回開催予定) 大学生向け地元定着事業(ワークショップ1回開催・参加学生12人)	
市長段階査定額	1,238	【事業の内容】 協議会が①若者の地元定着促進事業 ②若者の職場定着促進事業を実施する。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 高校生の出張企業見学会(参加校:3校 企業16社・参加者177人) 地元企業早期ブランディング事業(参加校:3校 参加者:599人 参加企業:34社) 若者の職場定着促進事業(セミナー1回開催・参加者31社37人、採用コンサルティング・2社)	
財源内訳		令和6年度 高校生の出張企業見学会(参加校:3校 企業15社・参加者170人) 地元企業早期ブランディング事業(参加校:5校 参加者:622人 参加企業:35社) 若者の職場定着促進事業(セミナー1回開催・参加者18社21人)	
国・県支出金	0	令和7年度 高校生の出張企業見学会(参加校:2校 企業社8社・参加者89人) 地元企業早期ブランディング事業(参加校:4校 参加者:625人 参加企業:37社) 若者の職場定着促進事業(セミナー1回開催予定) 大学生向け地元定着事業(ワークショップ1回開催・参加学生12人)	
地方債	0	【事業の内容】 協議会が①若者の地元定着促進事業 ②若者の職場定着促進事業を実施する。	
その他	0	【事業の実績】 令和5年度 高校生の出張企業見学会(参加校:3校 企業16社・参加者177人) 地元企業早期ブランディング事業(参加校:3校 参加者:599人 参加企業:34社) 若者の職場定着促進事業(セミナー1回開催・参加者31社37人、採用コンサルティング・2社)	
一般財源	1,238	令和6年度 高校生の出張企業見学会(参加校:3校 企業15社・参加者170人) 地元企業早期ブランディング事業(参加校:5校 参加者:622人 参加企業:35社) 若者の職場定着促進事業(セミナー1回開催・参加者18社21人)	
計	1,238	令和7年度 高校生の出張企業見学会(参加校:2校 企業社8社・参加者89人) 地元企業早期ブランディング事業(参加校:4校 参加者:625人 参加企業:37社) 若者の職場定着促進事業(セミナー1回開催予定) 大学生向け地元定着事業(ワークショップ1回開催・参加学生12人)	
備考欄			

経010	項目名	障がい者雇用奨励金	新規事業
予算書項目	雇用対策事業費	ページ	241
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284		
款 商工費	【12次総の施策体系】3101		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 鳥取県下の障がい者雇用率は2.62%(令和7年6月1日現在)と、令和7年6月1日現在の法定雇用率2.5%を上回る状況にある。その一方で、法定雇用率達成企業は、314企業・57.6%に留まっている。また、民間企業における障がい者の法定雇用率は、令和8年7月から2.7%にさらに引き上げられることとなっており、一層の障がい者雇用の促進を図る必要がある。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 障がい者雇用を検討する市内事業所に対し、市として奨励金を交付することで、障がい者雇用の促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 障がい者雇用の経験のない中小企業が、障がい者を初めて雇用し、雇用継続した場合に奨励金を支給する。		
前年度当初予算額	180	【事業の実績】 令和5年度 1件 45千円 令和6年度 1件 45千円 令和7年度 1件 45千円(12月末時点)	
本年度要求額	150	【事業の内容】 障がい者雇用の経験のない中小企業が、障がい者を初めて雇用し、雇用継続した場合に奨励金を支給する。	
総務部長段階査定額	150	【事業の実績】 令和5年度 1件 45千円 令和6年度 1件 45千円 令和7年度 1件 45千円(12月末時点)	
市長段階査定額	150	【事業の内容】 障がい者雇用の経験のない中小企業が、障がい者を初めて雇用し、雇用継続した場合に奨励金を支給する。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 1件 45千円 令和6年度 1件 45千円 令和7年度 1件 45千円(12月末時点)	
財源内訳		【事業の内容】 障がい者雇用の経験のない中小企業が、障がい者を初めて雇用し、雇用継続した場合に奨励金を支給する。	
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和5年度 1件 45千円 令和6年度 1件 45千円 令和7年度 1件 45千円(12月末時点)	
地方債	0	【事業の内容】 障がい者雇用の経験のない中小企業が、障がい者を初めて雇用し、雇用継続した場合に奨励金を支給する。	
その他	0	【事業の実績】 令和5年度 1件 45千円 令和6年度 1件 45千円 令和7年度 1件 45千円(12月末時点)	
一般財源	150	【事業の内容】 障がい者雇用の経験のない中小企業が、障がい者を初めて雇用し、雇用継続した場合に奨励金を支給する。	
計	150	【事業の実績】 令和5年度 1件 45千円 令和6年度 1件 45千円 令和7年度 1件 45千円(12月末時点)	
備考欄			

経011	項目名	人材確保推進事業費	新規事業																				
予算書項目	雇用対策事業費	ページ	241																				
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284 【12次総の施策体系】3101 【事業の経過及び背景】 少子高齢化の進行により、労働力人口の減少が見込まれる中、人材不足分野や成長分野における人材確保が特に課題となっている。就職支援に向けては、平成31年1月15日に「鳥取市と鳥取労働局との雇用対策協定」を締結し、鳥取労働局やハローワーク鳥取と連携した取組を推進している。 【事業の目的及び効果】 市内企業が求める多様な人材を市内外から確保できる事業を推進し、地域経済の活性化を図る。 【事業の内容】 ① 人材確保及び大学生等の市内就職を促進するため、自社の魅力発信や人材採用に係る経費の一部を助成する。 ② 従業員の奨学金返済を支援する制度を設けている事業者に対して、その制度に基づき支給する手当の一部を補助する。 ③ 「鳥取市と鳥取労働局との雇用対策協定」に基づき、ハローワーク鳥取と連携した事業を実施する。 ④ 「鳥取市、LASSIC及び鳥取銀行による中小企業者へのリモート人材活用に関する協定書」に基づく事業を実施する。 【事業の実績】 ① 令和5年度 1件 令和6年度 2件 令和7年度 2件（見込み） ② 令和5年度 3件 令和6年度 4件 令和7年度 5件（見込み） ③ 障がい者就職面接会、介護事業所説明会、高齢者就職相談会、子育て世代向け就職セミナー ④ リモートワーカー等外部人材活用補助金 令和5年度 2件 令和6年度 2件 令和7年度 3件（見込み） リモートワーカー活用セミナー及び伴走支援 セミナー参加者：令和5年度 49名、令和6年度 36名、 令和7年度 38名 伴走支援 10社（見込み）																					
一般会計																							
款	商工費																						
項	商工費																						
目	商工業振興費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	1,199																						
本年度要求額	6,080																						
総務部長段階査定額	6,080	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	6,080																						
区 分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	1,950																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	4,130																						
計	6,080																						
備考欄																							

経012	項目名	伝統工芸等後継者育成支援事業費	新規事業																				
予算書項目	伝統産業等支援事業費	ページ	241																				
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282 【12次総の施策体系】3103 【事業の経過及び背景】 地域の歴史的、文化的財産である伝統工芸における後継者不足は深刻となっている。技術習得にも時間を要し、その間の生計維持が困難であるため、後継者育成について支援し、伝統工芸技術の伝承を図る必要がある。 【事業の目的及び効果】 伝統工芸等の技術を伝承するため、県内外に向けて情報を発信し後継者の募集を行う。また、後継者の受入れを行う事業者と研修従事者に対し助成を行い、伝統工芸の保存及び活性化を図る。 【事業の内容】 伝統工芸等後継者育成支援事業補助金の交付。 ・研修受入助成（月額5万円） ・研修手当（月額上限鳥取労働局長が公示する1時間当たりの最低賃金額×8時間×15日） ・同伴家族（同伴家族1人当たり月額3万円） ・研修準備費（研修1年目 3万円、研修2年目以降 1万円） ・住宅手当・通学手当（賃借料（月額）と交通費（月額）の合算額と月額3万3千円のいずれか低い方） 【事業の実績】 令和5年度 研修希望者なし 令和6年度 650千円（和紙1件） ※研修生の体調不良により中止 令和7年度 研修希望者なし（見込み）																					
一般会計																							
款	商工費																						
項	商工費																						
目	商工業振興費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	1,648																						
本年度要求額	5,855																						
総務部長段階査定額	4,433	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	4,433																						
区 分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	2,490																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	1,943																						
計	4,433																						
備考欄																							

経013	項目名	ふるさと起業家支援プロジェクト事業費	新規事業																				
予算書項目	新規創業支援事業費	ページ	241																				
年度	R8	所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282 【12次総の施策体系】3101 【事業の経過及び背景】 新たな起業や新事業の創出は、地域産業に刺激を与え、地域活性化の源泉となる可能性を秘めた取組であり、本市においては融資、まちづくりファンドによる支援等を実施している。 【事業の目的及び効果】 本市の起業家に対して、ふるさと納税制度を活用し、資金調達を提供するクラウドファンディング型の支援事業を実施することで、起業を促すとともに、ふるさと納税の仕組みを活用して地域の外から資金を調達することによって、地域経済の好循環の拡大を図る。 【事業の内容】 (1) ふるさと起業家支援プロジェクト補助金（特別交付税対象） 起業家の取組について、クラウドファンディングの手法により資金調達を行うとともに、本市が上乘せ補助を行う。 クラウドファンディング調達相当額：補助率10/10 市による上乘せ補助額：補助率1/2、上限1,000千円 (クラウドファンディング調達相当額を超えない範囲で交付) (2) 伴走型スタートアップ支援補助金 商工会議所、商工会等の支援機関の伴走支援を受ける起業家に対して、起業初期に必要な経費の一部を支援する。（補助率1/2、上限100千円） 【事業の実績】 (1) 令和6年度 0件 令和7年度 0件 (2) 令和6年度 12件 令和7年度 26件（見込み） ※その他財源の寄付金は、クラウドファンディング型ふるさと納税																					
一般会計																							
款	商工費																						
項	商工費																						
目	商工業振興費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	2,542																						
本年度要求額	3,521																						
総務部長段階査定額	2,521	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	1,000	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	1,000																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	2,521																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	1,000																						
一般財源	1,521																						
計	2,521																						
備考欄																							

経014	項目名	地域経済循環創造事業費	新規事業																				
予算書項目	新規創業支援事業費	ページ	241																				
年度	R8	所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282 【12次総の施策体系】3101 【事業の経過及び背景】 地域資源を活かした先進的で持続可能な事業を実施しようとする民間事業者等に対し、その事業化の取組を促進し、地域での経済循環の創造を推進する。 【事業の目的及び効果】 地域の人材・資源・資金を活用した地域課題の解決に資する起業・新規事業を支援し、地域の経済循環を創出・拡大することを目的とする。 鳥取砂丘東側の遊休施設を改修し、宿泊業・観光業（旅行代理業）・飲食業を行う。本市を代表する観光地である鳥取砂丘中心部の景観の改善が図られ、インバウンドを含めた観光業の活性化により地域経済の好循環が期待される。 【事業の内容】 ローカル10000プロジェクト（国庫補助事業） 産官学金労の連携により、地域の資源と資金を活用した地域密着型事業の創業・第二創業・新規事業立ち上げを支援する。 ・補助対象経費 施設整備費、機械装置費、備品費 ・負担割合 国1/2 地方1/2 ※地方分については特別交付税措置（1/2）あり																					
一般会計																							
款	商工費																						
項	商工費																						
目	商工業振興費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	0																						
本年度要求額	35,000																						
総務部長段階査定額	35,000	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	35,000																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	17,500																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	17,500																						
計	35,000																						
備考欄																							

経015	項目名	商工会補助金	新規事業																				
予算書項目	中小企業・商業活性化対策事業費	ページ	241																				
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282 【12次総の施策体系】3102、3103 【事業の経過及び背景】 平成19年4月1日に合併以前の旧町村にあった商工会が統合し、鳥取市東商工会、鳥取市南商工会、鳥取市西商工会の三商工会となり、各地域の主に小規模事業者の経営支援等を担っている。 【事業の目的及び効果】 商工業の振興と安定及び福祉の増進を図り、各地域の小規模事業者の経営支援等を行う事業に対して補助を行い、新地域の商業振興を図る。 【事業の内容】 三商工会の経営改善普及事業費、地域総合振興事業費に対して助成。 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>東商工会</td> <td>西商工会</td> <td>南商工会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>6,150千円</td> <td>9,640千円</td> <td>8,850千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>6,110千円</td> <td>9,065千円</td> <td>8,840千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>6,145千円</td> <td>9,550千円</td> <td>8,735千円</td> <td>(見込み)</td> </tr> </table>			東商工会	西商工会	南商工会		令和5年度	6,150千円	9,640千円	8,850千円		令和6年度	6,110千円	9,065千円	8,840千円		令和7年度	6,145千円	9,550千円	8,735千円	(見込み)
	東商工会			西商工会	南商工会																		
令和5年度	6,150千円			9,640千円	8,850千円																		
令和6年度	6,110千円			9,065千円	8,840千円																		
令和7年度	6,145千円			9,550千円	8,735千円	(見込み)																	
一般会計																							
款	商工費																						
項	商工費																						
目	商工業振興費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	24,600																						
本年度要求額	28,602																						
総務部長段階査定額	26,354			その他財源の内訳																			
市長段階査定額	26,354			分担金	0																		
				負担金	0																		
				使用料	0																		
				手数料	0																		
				財産収入	0																		
				寄付金	0																		
		繰入金	0																				
		諸収入	0																				
		その他	0																				
備 考 欄																							

経016	項目名	中小企業等支援事業費	新規事業																																				
予算書項目	中小企業・商業活性化対策事業費	ページ	241																																				
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課																																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282 【12次総の施策体系】3102、3103 【事業の経過及び背景】 本市の大部分を占める中小企業の事業連携、経営革新、新事業展開、新分野進出、創業、業態転換、マーケティングなどを研修会等を開催することにより支援する。 【事業の目的及び効果】 市内において、鳥取県中小企業団体中央会に委託することにより、中小企業の活性化や次世代リーダーの育成支援、地域資源活用、新商品開発、販路開拓などを積極的に支援し、組織の強化と地域産業の振興を図る。 【事業の内容】 中小企業を対象とした各種研修会の開催、経営指導並びに専門家派遣によるフォローアップ事業を行うため、鳥取県中小企業団体中央会に事業委託する。 (1) 研修会事業 10回程度 (2) 支援事業 10回程度 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>(1) 研修会事業</td> <td>各研修・セミナー</td> <td>10回</td> <td>参加者</td> <td>337人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 支援事業</td> <td>各専門家講師招聘</td> <td>7回</td> <td>参加者</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>(1) 研修会事業</td> <td>各研修・セミナー</td> <td>10回</td> <td>参加者</td> <td>281人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 支援事業</td> <td>各専門家講師招聘</td> <td>13回</td> <td>参加者</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>(1) 研修会事業</td> <td>各研修・セミナー</td> <td>8回</td> <td>参加者</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 支援事業</td> <td>各専門家講師招聘</td> <td>6回</td> <td>参加者</td> <td>136人</td> </tr> </table>		令和5年度	(1) 研修会事業	各研修・セミナー	10回	参加者	337人		(2) 支援事業	各専門家講師招聘	7回	参加者	82人	令和6年度	(1) 研修会事業	各研修・セミナー	10回	参加者	281人		(2) 支援事業	各専門家講師招聘	13回	参加者	160人	令和7年度	(1) 研修会事業	各研修・セミナー	8回	参加者	160人		(2) 支援事業	各専門家講師招聘	6回	参加者	136人
令和5年度	(1) 研修会事業			各研修・セミナー	10回	参加者	337人																																
	(2) 支援事業			各専門家講師招聘	7回	参加者	82人																																
令和6年度	(1) 研修会事業			各研修・セミナー	10回	参加者	281人																																
	(2) 支援事業			各専門家講師招聘	13回	参加者	160人																																
令和7年度	(1) 研修会事業			各研修・セミナー	8回	参加者	160人																																
	(2) 支援事業			各専門家講師招聘	6回	参加者	136人																																
一般会計																																							
款	商工費																																						
項	商工費																																						
目	商工業振興費																																						
(単位:千円)																																							
前年度当初予算額	2,050																																						
本年度要求額	1,000																																						
総務部長段階査定額	1,000			その他財源の内訳																																			
市長段階査定額	1,000			分担金	0																																		
				負担金	0																																		
				使用料	0																																		
				手数料	0																																		
		財産収入	0																																				
		寄付金	0																																				
		繰入金	0																																				
		諸収入	0																																				
		その他	0																																				
備 考 欄																																							

経017	項目名	物産振興事業費	新規事業
予算書項目	物産振興事業費	ページ	241
年度	R8	所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】市場開拓係 0857-30-8283	
款 商工費		【12次総の施策体系】3103	
項 商工費		【事業の経過及び背景】	
目 商工業振興費		本市の経済活性化を図るため、県外の物産展等に参加するほか、特産品のブランド化や国内外への販売を促進し物産の振興に取り組む。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	2,543	県外開催の物産展へ出展や、環境大学や地域商社、国際経済発展協議会、鳥取市公設卸売市場等と連携し、特産品のブランド化を図り、国内外に本市の特産品の知名度向上と販路拡大を図る。	
本年度要求額	7,503	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	7,297	・環境大学（食ブランド創出）：「とっとり市」評価分析改善、都市圏への販路開拓等	
市長段階査定額	7,297	・公設市場（地域商社）：市場取扱食品PRイベント、商品開発、都市圏への販路開拓等	
		・国際経済発展協議会：「とっとり市」越境（台湾）販路開拓等	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		<物産展等への出展>	
国・県支出金	3,250	1 阪神競馬場PR 京阪神地区でのらっきょう・梨のPRと交流促進	
地方債	0	2 HOT連携（姫路市、岡山市）交流 姉妹都市交流事業に参加	
その他	0	3 郡山市交流 特産品等の物産販売を実施し姉妹都市交流を図る。	
一般財源	4,047	4 関西圏での物産交流 物産販売等を実施するとともに地域間交流	
計	7,297	5 釧路大漁どんばく 特産品等の物産販売等を実施し姉妹都市交流を図る。	
		6 尼崎競艇PR ポートピア鳥取設置を契機に平成22年行政協定を締結した尼崎市との交流を推進し、京阪神地域への情報発信を進めるため物産展を開催	
備考欄		<食ブランド事業>R5～7年に特産品の成分分析を実施	

経018	項目名	物産振興体制強化事業費	新規事業
予算書項目	物産振興事業費	ページ	241
年度	R8	所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】市場開拓係 0857-30-8283	
款 商工費		【12次総の施策体系】3103	
項 商工費		【事業の経過及び背景】	
目 商工業振興費		物産振興による経済活性化を図るため、鳥取市観光コンベンション協会がまちパル鳥取で運営している「ふるさと物産館」での加工品や民芸品の展示・販売を支援。	
(単位:千円)		物産のイメージアップやブランド化を図り、インターネットによる販路の拡大・開拓を促進するため、市公認インターネットショップ「とっとり市（いち）」を平成23年度に開設。	
前年度当初予算額	21,772	連携中枢都市圏事業として「麒麟のまち圏域」に拡大。令和7年度には越境EC機能を有するシステムにリニューアルするとともに、大型キャンペーンを行い、事業者の販路拡大を支援。運営していた協会が、成長を遂げた「とっとり市」を引き継ぐことで、物産振興の施策をスムーズに展開していく。	
本年度要求額	22,069	【事業の目的及び効果】	
総務部長段階査定額	20,072	実店舗とインターネットショップの効率的な運営推進体制を整備し、物産振興と観光発展への寄与並びに地産地消の推進を図る。また、生産者、事業者及び行政等をつなぐネットワークを構築し、販路拡大や開拓につながる新たなマッチングの充実を図る。	
市長段階査定額	20,072	【事業の内容】	
区分	本年度予算額	鳥取市物産振興体制強化事業補助金の交付	
財源内訳		・補助対象者：鳥取市観光コンベンション協会	
国・県支出金	10,036	・事業内容：鳥取市ふるさと物産館の企画運営・広報及び販売先の紹介	
地方債	0	とっとり市の企画運営・広報・キャンペーン等の企画	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	10,036		
計	20,072		
備考欄			

経019	項目名	制度融資資金	新規事業
予算書項目	中小企業金融対策費	ページ	241
年度	R8	所属名 経済観光部 企業立地・支援課	
会計名			
一般会計			
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	4,035,863		
本年度要求額	8,017,149		
総務部長段階査定額	8,017,149		
市長段階査定額	8,017,149		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	8,017,149	手数料	0
一般財源	0	財産収入	0
計	8,017,149	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	8,017,149
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223

【12次総の施策体系】3101

【事業の経過及び背景】
本市の地域経済は、多くの中小企業によって支えられている。地域経済の持続・発展を図るため、中小企業等の経営に対する支援が必要となっている。

【事業の目的及び効果】
県と協調し、金融機関に対して資金運用の原資となる資金を預託することにより、低利な融資制度を運用することで、中小企業等の資金調達の円滑化と負担軽減を図る。

【事業の内容】
貸付実行した金融機関に対し、融資残高等に応じた額を預託する。

【事業の実績】
令和5年度 2,938,316千円
令和6年度 3,460,323千円
令和7年度 5,474,554千円（見込み）

※その他財源の諸収入は、貸付金元利収入

経020	項目名	小規模事業者経営改善資金利子補助金	新規事業
予算書項目	中小企業金融対策費	ページ	241
年度	R8	所属名 経済観光部 企業立地・支援課	
会計名			
一般会計			
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	909		
本年度要求額	3,713		
総務部長段階査定額	3,713		
市長段階査定額	3,713		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	3,713	財産収入	0
計	3,713	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223

【12次総の施策体系】3101

【事業の経過及び背景】
日本政策金融公庫が取り扱う公的融資制度「小規模事業者経営改善資金制度（略称：マル経）」は、低金利・無担保・無保証人であることに加え、商工団体の経営指導を受けられるなどのメリットがあることから、本制度の活用を促進する必要がある。

【事業の目的及び効果】
借入における利子負担を軽減することにより、必要な経営指導と資金借入れを促進することで、小規模事業者の事業継続を図る。

【事業の内容】
「小規模事業者経営改善資金」を借り入れた市内の小規模事業者に対し、2年間、利子相当額の一部を補助する。

【事業の実績】
令和5年度 210千円
令和6年度 428千円
令和7年度 1,229千円（見込み）

経021	項目名	制度融資資金(新型コロナウイルス感染症対策)	新規事業
予算書項目	中小企業金融対策費	ページ	241
年度	R8	所属名	経済観光部 企業立地・支援課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223		
款 商工費	【12次総の施策体系】3101		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 県と協調し、中小企業等に対して低利な融資制度による支援を行っている。このうち、地域経済変動対策資金（令和元年国際経済変動のうち新型コロナウイルス感染症に係るもの）が令和2年2月に発動された。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 県と協調し、金融機関に対して資金運用の原資となる資金を預託することにより、低利な融資制度を運用することで、中小企業者等の資金調達の手間と負担軽減を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 融資を行った金融機関に対し、融資残高等に応じた額を預託する。 ※預託対象は令和2年9月末までに保証申込された融資のみ。		
前年度当初予算額	6,748,101	【事業の実績】	
本年度要求額	4,314,162	令和5年度 9,777,144千円 令和6年度 8,027,559千円 令和7年度 4,947,044千円（見込み）	
総務部長段階査定額	4,314,162	※その他財源の諸収入は、貸付金元利収入	
市長段階査定額	4,314,162	その他財源の内訳	
区分	本年度予算額	分担金 0	
財源内訳		負担金 0	
国・県支出金	0	使用料 0	
地方債	0	手数料 0	
その他	4,314,162	財産収入 0	
一般財源	0	寄付金 0	
計	4,314,162	繰入金 0	
		諸収入 4,314,162	
		その他 0	
備考欄			

経022	項目名	企業誘致推進費	新規事業
予算書項目	企業誘致促進事業費	ページ	241
年度	R8	所属名	経済観光部 企業立地・支援課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225		
款 商工費	【12次総の施策体系】3102		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 人口減少・高齢化の進行を踏まえ、本市の持続・発展に向けて、積極的に企業誘致に取り組んでいる。災害時における事業継続の観点や地政学的リスク等を背景に、県内外の企業の進出や設備投資に向けた動きが活発化している。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 本市への企業立地を促進することにより、民間投資の呼び込みによる税収増及び雇用創出のほか、関係・交流人口の拡大、移住・定住の促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	77,685	① 企業誘致 鳥取市関西事務所等との連携による県外企業訪問や視察受入	
本年度要求額	67,067	② 既存工業団地の維持管理 高浜工業団地（気高町）、山手工業団地（河原町）の環境整備	
総務部長段階査定額	54,252	③ 企業の脱炭素農業（温泉活用）参入の促進 気高町浜村地内温泉管敷設工事	
市長段階査定額	54,252	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	・誘致企業件数：令和5年度 7社 令和6年度 4社 令和7年度 6社（12月末現在）	
財源内訳		・企業訪問件数：令和5年度 242社 令和6年度 239社 令和7年度 240社（見込み）	
国・県支出金	23,177		
地方債	23,100		
その他	0		
一般財源	7,975		
計	54,252		
備考欄			

経023	項目名 企業立地促進補助金	新規事業
予算書項目	企業誘致促進事業費	ページ 241
年度	R8	所 属 名 経済観光部 企業立地・支援課
会計名		
一般会計		
款	商工費	
項	商工費	
目	商工業振興費	
(単位:千円)		
前年度当初予算額	183,872	
本年度要求額	124,700	
総務部長段階査定額	124,700	
市長段階査定額	124,700	
区 分	本年度予算額	
財源内訳		
国・県支出金	0	
地方債	0	
その他	14,017	
一般財源	110,683	
計	124,700	
備考欄		

事業の概要

【問合せ先】 企業支援係 0857-20-3223
 【12次総の施策体系】 3102
 【事業の経過及び背景】
 人口減少・高齢化の進行を踏まえ、本市の持続・発展に向け、積極的に企業誘致に取り組んでいる。災害における事業承継の観点や地政学的リスクを背景に、県内外の企業の進出や設備投資に向けた動きが活発化している。

【事業の目的及び効果】
 企業の立地や設備投資を促進することにより、税収増や産業構造の高度化、雇用創出を図る。

【事業の内容】

- 企業立地促進補助金（通常メニュー）
 - 対象業種：製造業、ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業など
 - 補助金額：投資額×10%、上限200,000千円
- 企業立地促進補助金（所得向上メニュー）
 - 対象事業：常用雇用者の所得内賃金の一定割合以上の向上を条件に、認定を受けた先端設備等導入計画に従った設備導入を支援
 - 補助金額：投資額×25～50%、上限25,000千円～75,000千円
- 情報通信関連企業立地促進補助金
 - 対象業種：ソフトウェア業、デザイン業、インターネット付随サービス業など
 - 補助金額：賃室料×1/6または1/4、上限2,000～10,000千円
- オフィス移転・新設支援事業補助金
 - 対象事業：オフィスを本市内に移転・新設する事業、本市への視察を行う事業等
 - 補助金額：テナント改修費・設備費等×1/4、1/3または1/2、上限1,500千円

【事業の実績】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
① 16社	452,803千円	9社 424,570千円	4社 211,496千円
② 1社	75,000千円	1社 75,000千円	実績なし
③ 2社	1,305千円	2社 622千円	4社 3,070千円
④ 3社	1,567千円	2社 3,924千円	4社 2,677千円

※その他財源の繰入金は、地域振興基金繰入金

経024	項目名 まちなかビジネス・コミュニティ拠点管理運営事業費	新規事業 ○
予算書項目	企業誘致促進事業費	ページ 241
年度	R8	所 属 名 経済観光部 企業立地・支援課
会計名		
一般会計		
款	商工費	
項	商工費	
目	商工業振興費	
(単位:千円)		
前年度当初予算額	0	
本年度要求額	60,441	
総務部長段階査定額	59,718	
市長段階査定額	59,718	
区 分	本年度予算額	
財源内訳		
国・県支出金	15,452	
地方債	0	
その他	20,256	
一般財源	24,010	
計	59,718	
備考欄		

事業の概要

【問合せ先】 誘致・振興係 0857-20-3225
 【12次総の施策体系】 3102、3402

【事業の経過及び背景】
 本市は、中心市街地の再生に向け、企業誘致、起業・創業支援、地元企業変革などを柱とする「鳥取市まちなかビジネス・コミュニティ再生プラン」を策定し、当該戦略を推進するための拠点整備を進めている。

【事業の目的及び効果】
 官民が連携し、中心市街地に整備するビジネス・コミュニティ拠点において、企業誘致や起業・創業支援などの取組を行うことにより、新たな人の流れを創出することでエリアの価値を高め、民間投資の呼び込みにつなげる。

【事業の内容】

- 県外企業誘致
 県外企業に対するプロモーション活動、視察実施など
- 施設管理運営
 施設設備の維持管理、利用料の徴収・収納など
- 起業・創業支援
 起業に対する相談対応、専門家紹介、セミナー・イベント等の開催など
- 企業変革支援
 市内企業の新事業展開、DX化推進、働き方改革等に対する支援など

※その他財源の使用料は、鳥取市ビジネス共創スクエアカトカミ使用料

経025	項目名	事業承継推進事業費	新規事業
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	241
年度	R8	所属名	経済観光部 企業立地・支援課
会計名			
一般会計			
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	4,112		
本年度要求額	3,732		
総務部長段階査定額	3,702		
市長段階査定額	3,702		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	3,702	財産収入	0
計	3,702	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223

【12次総の施策体系】3101

【事業の経過及び背景】
鳥取県の後継者不在率は62.7%と全国5位（帝国データバンク調べ2025）の高水準となっており、地域経済が持続・発展していくうえで大きな課題となっている事を踏まえ、本市も専門機関等と連携しながら支援の取組を推進している。

【事業の目的及び効果】
事業承継に関する費用支援や個別相談会の開催により、本市における事業承継の促進を図ることで、地域経済の持続・発展に寄与する。

【事業の内容】

- ① 事業承継推進補助金
事業承継に関する融資制度利用に伴う利子の一部を補助する。
（※補助率2/3 補助期間 7年以内 限度額 700千円（単年度100千円））
対象融資：制度融資「事業承継支援資金」、日本政策金融公庫「事業承継・集約・活性化支援資金（個人企業・小規模企業向け）」
- ② 第三者承継支援補助金
第三者への事業承継について専門機関に相談する際に生じる経費の一部を補助する。
（※補助率1/5 限度額1,000千円）
- ③ 個別相談会開催
事業承継の掘り起こしを図るため、県事業承継引継ぎ支援センター及び商工会等と連携し、個別相談会を開催する。

【事業の実績】

令和5年度 ① 369千円 ②実績なし
令和6年度 ① 434千円 ②1,000千円
令和7年度 ① 611千円 ②実績なし（見込み）
その他、首都圏での創業×I J Uターンイベントの開催

経026	項目名	デジタル人材育成・活用プログラム実践事業費	新規事業
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	241
年度	R8	所属名	経済観光部 企業立地・支援課
会計名			
一般会計			
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	15,930		
本年度要求額	24,100		
総務部長段階査定額	14,600		
市長段階査定額	14,600		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	7,300	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	7,300	財産収入	0
計	14,600	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225

【12次総の施策体系】3101

【事業の経過及び背景】
近年のデジタル技術の進展に伴い、都市部を中心にデジタルスキルを持つ人材が不足している状況を踏まえ、地域のデジタル人材を育成し、都市部等の企業とマッチングすることにより、企業誘致や定住人口の維持につなげる必要がある。

【事業の目的及び効果】
リモートワークを希望する市民等を対象に、デジタルスキルを学ぶ機会の提供や、習得したスキルを生かすことのできる企業とマッチングすることにより、雇用創出につなげる。また、県外で働くリモート人材に対し、本市に継続的に関わる機会を提供することにより、転職なき移住の促進を図る。

【事業の内容】

- ① デジタル人材育成プログラムの構築
- ② 県外企業（サテライトオフィス）誘致活動
- ③ 各種プロモーション活動等

【事業の実績】

- ① デジタル人材育成プログラム実施のための調査、構築
- ② 鳥取視察ツアーの実施 2回（11月・3月予定）
- ③ リモートワーク人材向けアンケートによるニーズ調査の実施
デジタル人材育成プログラム特設サイトの開設、TVCMの放映などによる広報

経027	項目名	起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業費	新規事業
予算書項目	新規創業支援事業費	ページ	241
年度	R8	所属名	経済観光部 企業立地・支援課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223		
款 商工費	【12次総の施策体系】3101		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 本市は、東部4町とともに、産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」を策定し、鳥取商工会議所、県東部商工会など関係機関と連携しながら、起業創業に対する各種支援を行っている。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 関係機関と連携し、起業・創業者に対する伴走型支援を行うことにより、地域の起業・創業の機運を高めることで、新陳代謝の促進による地域活性化を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	1,004	① まちづくり投融资の利用者に対する経営サポート	
本年度要求額	661	② まちづくり融資の利用者に対する借入利子の一部補助	
総務部長段階査定額	661	【事業の実績】	
市長段階査定額	661	令和5年度 令和6年度 令和7年度	
区分	本年度予算額	投資件数 : 実績なし 実績なし 実績なし	
財源内訳		融資件数 : 実績なし 実績なし 1件 5,000千円(見込み)	
国・県支出金	0	利子補助額 : 1,194千円 972千円 1,004千円(見込み)	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	661		
計	661		
備考欄			

経028	項目名	観光ボランティア活性化事業費	新規事業
予算書項目	観光活動費	ページ	243
年度	R8	所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292		
款 商工費	【12次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 本市を訪れる観光客の満足度を高めるため、観光に関わる事業者や観光ボランティアガイドのホスピタリティの向上を図る必要がある。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 本市のホスピタリティを強化し、おもてなしの心の醸成による観光振興を図る。		
(単位:千円)	① 観光ガイドを養成し、観光客に本市の魅力をPRする。		
前年度当初予算額	1,826	② 観光大学を開催し、観光マスターの育成によるホスピタリティの向上を目指す。	
本年度要求額	1,848	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,848	① 観光ボランティアガイド事業 1,231千円	
市長段階査定額	1,848	観光ボランティアガイド団体の活動支援、まちめぐりガイドマップの作成など	
区分	本年度予算額	② 観光大学事業 6,174千円	
財源内訳		観光大学の開催による観光マスターの育成、テキストの作成など	
国・県支出金	308	・委託先・補助金交付先(予定)	
地方債	0	① (一社)鳥取市観光コンベンション協会	
その他	0	② 鳥取市観光大学運営委員会	
一般財源	1,540	【事業の実績】	
計	1,848	令和5年度 1,820千円	
備考欄	令和6年度 1,793千円		
	令和7年度 1,826千円(見込み)		

経029	項目名	文化芸術観光創造事業費	新規事業
予算書項目	観光活動費	ページ	243
年度	R8	所属名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-30-8291		
款 商工費	【12次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 NPO法人「鳥の劇場」は、本市から旧鹿野小学校舎等を借り受け、演劇公演を中心に多彩なプログラムを提供する「鳥の演劇祭」を毎年開催するなど、本市の文化芸術の振興や国内外への発信、鹿野地域の賑わい創出などに寄与している。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 「鳥の劇場」や城下町の町並みが残る鹿野町を舞台に誘客イベントを開催し、地域経済の活性化につなげる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 温泉地を拠点に食や文化などの地域資源を体感できる「ONSENガストロノミーウォーキング」の開催		
前年度当初予算額	3,548	【事業の実績】 令和5年度 3,051千円 令和6年度 3,428千円 令和7年度 3,548千円(見込み)	
本年度要求額	2,313		
総務部長段階査定額	2,313	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,313	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	1,156		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,157		
計	2,313		
備考欄			

経030	項目名	周遊観光促進事業費(重点支援地方交付金)	新規事業
予算書項目	観光活動費	ページ	243
年度	R8	所属名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292		
款 商工費	【12次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 インバウンド需要のさらなる増加が見込まれる中、本市を訪れる外国人観光客の周遊を促すための二次交通の充実が求められている。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 本市の主要観光スポット等を巡る「ぐるっと鳥取周遊タクシー」の運行を支援することで、外国人観光客の誘客と周遊促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ぐるっと鳥取周遊タクシーの運行(主体:鳥取ハイヤー共同組合) ・外国人観光客を対象に、3時間6,000円/台で乗車できる周遊タクシーを運行する。 ・運賃収入を除いた運行経費を予算の範囲内で支援(運行台数:約6,000台)		
前年度当初予算額	28,590	財源:物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	
本年度要求額	43,340	【事業の実績】 令和5年度 24,813千円(運行台数 2,950台) 令和6年度 28,402千円(運行台数 3,086台) 令和7年度 50,758千円(運行台数 5,533台)(見込み)	
総務部長段階査定額	43,340	その他財源の内訳	
市長段階査定額	43,340	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	43,340		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	43,340		
備考欄			

経031	項目名	国際観光推進事業費	新規事業 <input type="radio"/>																				
予算書項目	観光宣伝事業費	ページ	243																				
年度	R8	所 属 名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課																					
会計名		事業の概要																					
一般会計																							
款	商工費																						
項	商工費																						
目	観光費	<p>【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292</p> <p>【12次総の施策体系】3202</p> <p>【事業の経過及び背景】 インバウンド需要のさらなる増加に向けて、外国人観光客の受入態勢の充実を図るとともに、効果的な海外プロモーションに取り組む必要がある。</p> <p>【事業の目的及び効果】 外国人観光客の受入環境の充実とおもてなし体制の強化を図るとともに、効果的な海外プロモーションを展開することにより、東アジア市場を中心に本市の知名度の向上や、国際観光の推進による地域経済の活性化を図る。</p> <p>【事業の内容】 ① 諸外国への観光情報の発信、海外プロモーションの展開 18,716千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外旅行博への参加 ・ 海外メディアを活用した情報発信《拡充》 ・ 食の多様性対応の情報発信等 ② インバウンド受入体制の維持 27,551千円 国際観光客サポートセンターの運営</p> <p>【事業の実績】 令和5年度 33,113千円 令和6年度 4,890千円 令和7年度 41,760千円（見込み）</p>																					
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	40,958																						
本年度要求額	46,267																						
総務部長段階査定額	46,267																						
市長段階査定額	46,267																						
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>22,168</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>24,099</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>46,267</td> </tr> </table>				区分		本年度予算額	財源内訳	国・県支出金	22,168	地方債	0	その他	0	一般財源	24,099	計	46,267						
区分				本年度予算額																			
財源内訳	国・県支出金			22,168																			
	地方債			0																			
	その他			0																			
	一般財源			24,099																			
	計			46,267																			
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>				その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
備考欄																							

経032	項目名	コンベンション誘致支援事業費	新規事業 <input type="checkbox"/>																				
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	243																				
年度	R8	所 属 名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課																					
会計名		事業の概要																					
一般会計																							
款	商工費																						
項	商工費																						
目	観光費	<p>【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292</p> <p>【12次総の施策体系】3202</p> <p>【事業の経過及び背景】 学会や大規模会議のほか、スポーツ大会や合宿など、大人数の参加が見込まれるコンベンションの誘致は、開催地での宿泊や飲食等の消費につながることから、誘致活動を行う（公財）とっとりコンベンションビューローや（一社）鳥取市観光コンベンション協会を通じた開催支援を行う必要がある。</p> <p>【事業の目的及び効果】 本市で開催を予定するコンベンションの主催者に対し助成金を交付することにより、本市でのコンベンション開催による観光振興を図る。</p> <p>【事業の内容】 ①（公財）とっとりコンベンションビューローへの間接補助 11,000千円 ②（一社）鳥取市観光コンベンション協会への間接補助 2,000千円</p> <p>【事業の実績】 令和5年度 ①3,120千円 ②1,926千円 令和6年度 ①2,569千円 ②1,711千円 令和7年度 ①5,275千円（見込み） ②2,200千円（見込み）</p> <p>※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金</p>																					
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	7,475																						
本年度要求額	13,000																						
総務部長段階査定額	13,000																						
市長段階査定額	13,000																						
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>13,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,000</td> </tr> </table>				区分		本年度予算額	財源内訳	国・県支出金	0	地方債	0	その他	13,000	一般財源	0	計	13,000						
区分				本年度予算額																			
財源内訳	国・県支出金			0																			
	地方債			0																			
	その他			13,000																			
	一般財源			0																			
	計			13,000																			
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>13,000</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>				その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	13,000	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	13,000																						
諸収入	0																						
その他	0																						
備考欄																							

経033	項目名	ループバス運行支援助成費	新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	243
年度	R8	所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	11,974		
本年度要求額	3,663		
総務部長段階査定額	3,663		
市長段階査定額	3,663		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,518	
	一般財源	2,145	
	計	3,663	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292	
【12次総の施策体系】3202	
【事業の経過及び背景】 観光周遊バス「ループ麒麟獅子」は、鳥取砂丘を中心に市内の主要観光地を巡る周遊バスとして運行しており、観光客の二次交通として定着している。	
【事業の目的及び効果】 鳥取駅を起点に、鳥取砂丘や鳥取港(かにっこ館)、鳥取城跡などを周遊するルートで運行し、観光客の利便性や満足度の向上を図る。	
【事業の内容】 (一社)鳥取市観光コンベンション協会に対し観光周遊バス「ループ麒麟獅子」の運行を委託する。 運行日:土・日・祝日(元日は除く)・振替休日・お盆(8/13~8/15) 便数:1日12便 運賃:1回乗車 大人400円、小人200円 1日乗車券 700円(大人・小人共通)	
【事業の実績】 令和5年度 11,720千円 令和6年度 7,608千円 令和7年度 38,460千円(見込み)	
※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

経034	項目名	因幡地域周遊バス運行支援助成費	新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	243
年度	R8	所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,567		
本年度要求額	1,450		
総務部長段階査定額	1,450		
市長段階査定額	1,450		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	725	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	725	
	計	1,450	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292	
【12次総の施策体系】3202	
【事業の経過及び背景】 「Gバス」は平成26年から運行を開始し、主に県東部エリアを周遊する二次交通として利用されている。近年は首都圏から鳥取空港を経由して訪れる観光客の利用が増加傾向にあり、今後はインバウンド需要のさらなる増加も見込まれることから、多様化する観光客のニーズを踏まえた運行が求められている。	
【事業の目的及び効果】 飛行機や列車等との接続を踏まえ、県東部エリアを巡る二次交通として、個人旅行者を対象にバスを運行することで、利便性や周遊性の向上を図る。	
【事業の内容】 各コース運行予定回数 ①Geoコース:13回(うちインバウンド専用1回含む) ②原風景コース:4回	
【事業の実績】 令和5年度 1,080千円 令和6年度 1,343千円 令和7年度 1,567千円(見込み)	

経035	項目名	砂の美術館管理運営費	新規事業
予算書項目	観光施設整備事業費	ページ	243
年度	R8	所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名			
一般会計			
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	50,615		
本年度要求額	71,036		
総務部長段階査定額	71,036		
市長段階査定額	71,036		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	19,000		
その他	52,036		
一般財源	0		
計	71,036		
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】 観光政策係 0857-30-8291

【12次総の施策体系】 3202

【事業の経過及び背景】
砂の美術館は、平成18年に第1期展示をスタートし、平成24年に世界初となる屋内砂像展示施設をオープン。平成30年1月に利用料金制に移行し、指定管理者による管理運営を行っている。

【事業の目的及び効果】
世界初の砂像展示専門の美術館として、毎年テーマを変え、世界トップレベルの砂像彫刻家による作品を制作・展示し、観光振興及び地域の活性化を図る。

【事業の内容】
① 砂の美術館総合プロデュース業務
② 指定管理者（鳥取砂丘砂の美術館活性化共同企業体）による管理運営
③ 砂像展示室空調設備の更新、遊歩道の修繕
④ 砂像用砂の代替・精製、売店POSシステムの更新等
⑤ 展望駐車場の土地借上料等

【事業の実績】
令和5年度 157,877千円（指定管理料、プロデュース業務料等）
令和6年度 76,636千円（指定管理料、プロデュース業務料等）
令和7年度 68,796千円（指定管理料、プロデュース業務料等）（見込み）

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金
※その他財源の諸収入は、砂の美術館固定納付金

経036	項目名	砂丘管理事業費	新規事業
予算書項目	鳥取砂丘管理事業費	ページ	243
年度	R8	所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名			
一般会計			
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	80,816		
本年度要求額	95,965		
総務部長段階査定額	95,965		
市長段階査定額	95,965		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	10,568		
地方債	0		
その他	83,901		
一般財源	1,496		
計	95,965		
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】 ジオパーク推進係 0857-30-8293

【12次総の施策体系】 3202

【事業の経過及び背景】
鳥取砂丘は山陰海岸国立公園に指定され、毎年多くの観光客が訪れることから、保全と利活用の両立による適切な管理が求められている。

【事業の目的及び効果】
鳥取砂丘を訪れる観光客の受入環境を整備し適切に管理することで、観光地としての魅力向上を図る。

【事業の内容】
① 鳥取砂丘海岸の漂着ゴミの収集、運搬、処理
② 鳥取砂丘及び周辺の清掃等維持管理
③ ゴールデンウィーク等における鳥取砂丘周辺道路での渋滞対策の実施
④ 鳥取砂丘景観保全再生事業負担金等
⑤ 鳥取砂丘西側の滞在環境の上質化の推進及び学校・社会教育団体など既存利用者の活動支援
⑥ 鳥取砂丘観光案内A Iチャットボットの導入《新規》

【事業の実績】
令和5年度 45,609千円
令和6年度 60,262千円
令和7年度 79,231千円（見込み）

※その他財源の財産収入は、普通財産土地及び建物貸付料
※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金
※その他財源の諸収入は、鳥取砂丘渋滞対策景負担金

経037	項目名	鳥取砂丘イリュージョン開催補助金	新規事業
予算書項目	鳥取砂丘管理事業費	ページ	243
年度	R8	所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名		事業の概要 【問合せ先】観光政策係 0857-30-8291 【12次総の施策体系】3202 【事業の経過及び背景】 鳥取砂丘イリュージョンは、平成15年から民間団体により開催されており、平成28年から新たな民間が主体となった現在の鳥取砂丘イリュージョン実行委員会に対し、県市がイベント開催費を支援している。 【事業の目的及び効果】 冬の鳥取砂丘の風物詩として定着している鳥取砂丘イリュージョンの開催を県と連携して支援することで鳥取砂丘の活性化を図る。 【事業の内容】 鳥取砂丘イリュージョン実行委員会に対する補助金の交付。 【事業の実績】 令和5年度 7,500千円 令和6年度 7,500千円 令和7年度 7,500千円（見込み）	
一般会計			
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	7,500		
本年度要求額	7,500		
総務部長段階査定額	7,500	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
市長段階査定額	7,500		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	3,750	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,750	
	計	7,500	
備考欄			

経038	項目名	広域観光開拓・推進事業費	新規事業
予算書項目	広域観光開拓・推進事業費	ページ	243
年度	R8	所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名		事業の概要 【問合せ先】観光政策係 0857-30-8291 【12次総の施策体系】3202 【事業の経過及び背景】 鳥取県東部・兵庫県北但西部の1市6町による広域観光周遊圏を形成するため、平成30年1月に地域連携DMO「(一社)麒麟のまち観光局」を設立し、広域観光商品の開発や情報発信、マーケティングに取り組んでいる。 【事業の目的及び効果】 麒麟のまち観光局が取り組む圏域の周遊促進やプロモーション活動、観光DXの推進等を支援することで、圏域への誘客と観光消費の拡大を図る。 【事業の内容】 麒麟のまち観光局へ負担金を支出し、活動を支援する。 ① 運営費負担金（運営に係る管理経費） 33,500千円 ② 事業費負担金 26,152千円 ・観光DXの推進による圏域のファンづくり、データ取得 ・JTRWebを活用したJR乗車券と観光コンテンツのセット販売や商談会、FAMツアーの実施、ショート動画の作成などインバウンド向け販路づくり ・ウェブアンケート、ホームページマーケティングの実施など 【事業の実績】 令和5年度 ①25,000千円 ②23,059千円 令和6年度 ①33,500千円 ②18,262千円 令和7年度 ①33,500千円（見込み） ②18,988千円（見込み） ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
一般会計			
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	52,488		
本年度要求額	59,652		
総務部長段階査定額	59,652	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 26,152 諸収入 0 その他 0	
市長段階査定額	59,652		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	26,152	
	一般財源	33,500	
	計	59,652	
備考欄			

経039	項目名	山陰海岸ジオパーク事業費	新規事業
予算書項目	山陰海岸ジオパーク事業費	ページ	243
年度	R8	所属名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】ジオパーク推進係 0857-30-8293		
款 商工費	【12次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 平成22年10月、山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟認定され、その後、4年ごとにユネスコによる再認定審査が行われている。 令和6年7月に4回目の再認定審査が行われ、同年9月に4年間の再認定が決定した。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 山陰海岸ジオパークを活かし、官民が連携した取組を持続的に行うことにより、ジオサイトの保全や教育、観光分野等での活用を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ① 教育活動の推進(市内小学校等の校外学習支援)、ジオガイド研修の実施 ② 解説看板等の設置、修繕 ③ 山陰海岸ジオパーク魅力活用総合補助金による活動支援 ④ 多鯉ヶ池周辺整備の促進 ⑤ 山陰海岸ジオパーク推進協議会への負担金拠出		
前年度当初予算額	34,463	【事業の実績】 令和5年度 36,857千円 令和6年度 46,833千円 令和7年度 32,853千円(見込み)	
本年度要求額	41,420	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	41,420	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	41,420	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金 15,366	使用料	0
	地方債 0	手数料	0
	その他 26,054	財産収入	0
	一般財源 0	寄付金	0
計	41,420	繰入金	26,054
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

経040	項目名	まちなか観光推進事業費	新規事業
予算書項目	まちなか観光推進事業費	ページ	243
年度	R8	所属名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292		
款 商工費	【12次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 史跡鳥取城跡は復元整備が進み、平成30年度「擬宝珠橋」の完成に続き、令和7年度には「中ノ御門」が完成。現在は、将来的な二ノ丸三階櫓の復元や令和11年頃の完成を目標に、小規模な城内案内施設「中ノ御門番人小屋」の整備に向け、検討が進められており、復元整備の進展とともに城跡周辺観光の振興を図る必要がある。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 史跡鳥取城跡周辺をはじめ、まちなか観光を推進することで通過型観光から滞在型観光への転換を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ① 鳥取城跡及びその周辺のライトアップ《拡充》 ② 鳥取城跡ときめきマルシェの開催支援 (主体:(一社)鳥取市観光コンベンション協会) ③ 商店街エリアの魅力化・賑わい創出 ④ 鳥取城跡周辺駐車場満空システムの運用 など		
前年度当初予算額	24,389	【事業の実績】 令和5年度 26,002千円 令和6年度 16,715千円 令和7年度 24,389千円(見込み)	
本年度要求額	33,214	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	33,214	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	33,214	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金 13,383	使用料	0
	地方債 0	手数料	0
	その他 3,239	財産収入	0
	一般財源 16,592	寄付金	0
計	33,214	繰入金	3,239
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

経041	項目名	観光地再生・高付加価値化事業費	新規事業																						
予算書項目	まちなか観光推進事業費	ページ	243																						
年度	R8	所 属 名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課																							
会計名		事業の概要																							
一般会計																									
款	商工費																								
項	商工費																								
目	観光費	<p>【問合せ先】観光政策係 0857-30-8291</p> <p>【12次総の施策体系】3202</p> <p>【事業の経過及び背景】 通過型観光から宿泊等を伴う滞在型観光への転換を図るため、令和5年に観光庁の補助事業採択を受け、鳥取温泉エリアの宿泊事業者や鳥取砂丘の観光事業者等と連携し、地域一体となった観光地の再生・高付加価値化の取組を進めている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 鳥取城跡を中心市街地内の観光拠点として磨き上げるため、歴史的建造物である桜寛苑（旧金田家住宅）の土蔵を観光施設として活用することで、鳥取城跡を訪れる観光客の周遊及び滞在性の向上を図る。</p> <p>【事業の内容】 桜寛苑（旧金田家住宅）土蔵を観光情報の発信、休憩所、物産販売など、観光施設として活用する。</p> <p>【事業の実績】 令和6年度 10,841千円 令和7年度 3,038千円（見込み）</p>																							
(単位:千円)																									
前年度当初予算額	3,038																								
本年度要求額	3,038																								
総務部長段階査定額	3,038																								
市長段階査定額	3,038																								
区 分				本年度予算額																					
財源内訳	国・県支出金			1,519	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">その他財源の内訳</td></tr> <tr><td>分担金</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> </table>	その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
	その他財源の内訳																								
	分担金			0																					
	負担金	0																							
	使用料	0																							
手数料	0																								
財産収入	0																								
寄付金	0																								
繰入金	0																								
諸収入	0																								
その他	0																								
地方債	0																								
その他	0																								
一般財源	1,519																								
計	3,038																								
備考欄																									

農001	項目名	新規就農推進事業費	新規事業
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	231
年度	R8	所 属 名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】 3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業者等の高齢化、減少等の問題に対応するため、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込み、新規就農者の育成確保や円滑な就農定住を促進するための支援を行う。また、農業後継者については、地域農業の担い手として位置付けられる農業経営主が、将来その経営を移譲する親族（子）に対して農業技術や経営ノウハウ等を習得させるための研修を実施する際に支援を行う。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 農業研修生や農業後継者の確保及び円滑な就農のための支援。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) とっとり農業体験事業 1人 2,400千円 (2) 親元就農促進支援交付金 3人 2,700千円		
前年度当初予算額	19,615	【事業の実績】 令和5年度 8,752千円 親元就農研修2人、農業体験者なし 令和6年度 16,605千円 親元就農研修2人、農業体験者4人 令和7年度 19,615千円 (見込み) 親元就農研修3人、農業体験者4人	
本年度要求額	20,024		
総務部長段階査定額	12,526	【事業の内訳】	
市長段階査定額	12,526	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 1,800 地方債 0 その他 0 一般財源 10,726 計 12,526		
備考欄			

農002	項目名	新規就農営農支援事業費	新規事業
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	231
年度	R8	所 属 名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】 3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 新規就農者の定着を図るため、経営が不安定な就農初期の支援策として経営開始資金等の交付や就農時の負担軽減のための農地賃借料助成、機械施設導入に係る経費助成を行う。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 新規就農した青年等の就農初期の経営を支援することで、就農時の負担軽減を図るとともに、安定経営につなげる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) 経営開始資金 6人(国10/10) 9,750千円 (2) 農地賃借料助成金 4人 518千円 (3) 経営発展支援事業 2人(県1/4・国1/2) 7,494千円 (4) 就農条件整備事業 8人(県1/3・市1/6) 29,573千円 (5) 就農応援交付金 2人(県1/3・市1/6) 1,800千円 (6) 新規就農舎住居家賃助成事業 4人(10/10) 802千円 (7) 推進事務費(人件費含む) 3,811千円		
前年度当初予算額	11,101	【事業の実績】 令和5年度 10,106千円 令和6年度 11,958千円 令和7年度 (見込み) 11,101千円	
本年度要求額	53,804		
総務部長段階査定額	53,804	【事業の内訳】	
市長段階査定額	53,804	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 39,601 地方債 0 その他 0 一般財源 14,203 計 53,804		
備考欄			

農003	項目名	果樹振興対策事業費	新規事業
予算書項目	園芸産地づくり事業費	ページ	231
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	26,311		
本年度要求額	38,243		
総務部長段階査定額	38,243		
市長段階査定額	38,243		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	37,868	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	375	
	計	38,243	
備考欄			

事業の概要
【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304
【12次総の施策体系】3104
【事業の経過及び背景】 本市の果樹栽培は、近年、生産者の高齢化、後継者不足、販売価格の低迷等により、生産者数、栽培面積、生産量ともに減少を続けている。
【事業の目的及び効果】 果樹の生産から出荷、販売に際して支援していくことで、果樹生産の総合的な振興を図り、消費拡大、生産者の意欲向上を図る。
【事業の内容】 (1)鳥取梨生産振興事業〔県間接〕 (新甘泉、二十世紀、王秋ほか、低コスト・体制強化) ・新植、かん水施設、果樹棚、防除用機械、大苗育成委託、乗用草刈機(モア) 17,880千円(補助率:県1/3~3/4) ・育成促進対策 180千円(補助率:200千円/10a、県1/2・市1/2) (2)鳥取柿ぶどう等生産振興事業〔県間接〕(柿・ぶどう) ・新植、果樹棚、かん水施設、排水施設、防蟻灯、ハウス 13,288千円(補助率:県1/3~2/3) ・育成促進対策(ぶどう)470千円(補助率:94千円/10a、県1/2・市1/2) (3)戦略的スーパー園芸団地整備事業〔県間接〕(梨) ・新植 6,375千円(補助率:県3/4)
【事業の実績】 令和5年度 11,544千円 令和6年度 11,264千円 令和7年度 17,487千円(見込み)

農004	項目名	学校や地域と連携した地産地消率向上支援事業費	新規事業
予算書項目	地産地消推進事業費	ページ	231
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	6,000		
総務部長段階査定額	6,000		
市長段階査定額	6,000		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	6,000	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	0	
	計	6,000	
備考欄			

事業の概要
【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304
【12次総の施策体系】3104
【事業の経過及び背景】 地産地消行動実施計画に基づき、学校や福祉施設等で提供される給食への県産食材使用率の維持・向上につながる取組が必要である。
【事業の目的及び効果】 市町村等が行う県産食材供給の仕組み作りや地域の食文化継承につながる活動を支援することにより、学校や福祉施設等で提供される給食への県産食材使用率の維持・向上を図ることを目的とする。
【事業の内容】 (1)事業推進計画の策定、供給組織の代表者、学校等受給施設、市町村、県等の関係者で構成する推進会議の開催 (2)地域の食文化継承につながる取組
【事業の実績】 令和7年度(見込み) 124千円

農005	項目名	次世代農業推進事業費	新規事業
予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ	231
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,430		
本年度要求額	3,400		
総務部長段階査定額	3,235		
市長段階査定額	3,235		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	1,617	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,618	
	計	3,235	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304	
【12次総の施策体系】3104	
【事業の経過及び背景】 農家の高齢化により担い手不足や耕作放棄地の増加等、一次産業の衰退が懸念される中、スマート農業の導入による省力化・効率化による高収益な農業経営が求められている。	
【事業の目的及び効果】 本市農業が抱える課題が多くある中、先進的な農業生産技術やICTを活用した新技術の導入による作業の効率化・軽減化、また、本市の自然エネルギーの農業への活用研究などに取り組むことで、新たな農業の担い手の確保につなげるとともに、本市の農業の振興を図る。	
【事業の内容】 (1) JGAP普及業務 1,235千円 (2) 農林水産業未活用資源の有効活用実証(R8・R9) 2,000千円	
【事業の実績】 令和5年度 1,986千円 令和6年度 965千円 令和7年度 1,430千円	

農006	項目名	鳥取市農業生産拡大に向けたスマート農業推進事業費	新規事業
予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ	231
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	13,350		
本年度要求額	18,860		
総務部長段階査定額	7,398		
市長段階査定額	7,398		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	4,931	
	地方債	0	
	その他	2,467	
	一般財源	0	
	計	7,398	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305	
【12次総の施策体系】3104	
【事業の経過及び背景】 農家の高齢化等による担い手の減少や耕作放棄地の増加が進んでおり、持続可能な農業を実現するための方策として、省力化技術の開発・導入が課題となっている。	
【事業の目的及び効果】 農業の負担軽減や技術伝承に資する農業機械・設備(スマート農機)や、パソコン、タブレット等の電子機器で作業管理や環境を測定する生産管理システム等の導入を行う農業者を支援することで、スマート農業を普及拡大させ本市の農業振興を図る。	
【事業の内容】 作業及び農業経営の効率化を図るためのICTやロボット技術を活用した機械及び設備の導入経費等に対する補助金 補助率:1/2(県:1/3、市:1/6) 補助上限額・個人:4,500千円 ・法人等:10,500千円 ※共同利用の上限額は2倍	
・実施内容 鳥取(1件)直進アシスト付コンバイン	
【事業の実績】 令和5年度 21,223千円 令和6年度 8,612千円 令和7年度 6,727千円	
※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

農007	項目名	主要園芸品目生産振興事業費	新規事業
予算書項目	園芸品目振興事業費	ページ	233
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,050		
本年度要求額	9,061		
総務部長段階査定額	6,773		
市長段階査定額	6,773		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	4,515	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	0	使用料
	一般財源	2,258	手数料
	計	6,773	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304	
【12次総の施策体系】3104	
【事業の経過及び背景】 特に気象災害や資材等高騰の影響を受けやすい白ねぎ・ブロッコリー・らっきょうを中心とした主要園芸品目において、総合的に支援することでさらなる生産振興及び産地の強化や特産物の育成を図る必要がある。	
【事業の目的及び効果】 10億円品目中心に農業生産額上昇を目指す。	
【事業の内容】 (1) 産地発展成長(一般) 3事業者(JA) かん水設備(レインガン)の導入 (県1/3、市1/6) 338千円 2条雨よけハウスの改良 (県1/3、市1/6) 2,256千円 (2) 産地規模拡大(一般) 10事業者(法人、農業者) 機械導入(皮むき機、肥料散布機等) (県1/3、市1/6) 3,364千円 (3) 革新的技術導入実証 1事業者(法人) 機械導入(白ねぎ収穫機) (県1/2) 815千円	
【事業の実績】 令和5年度 1,313千円 令和6年度 8,299千円 令和7年度 3,153千円(見込み) ※県事業の組替えにより事業名変更(旧:園芸産地活力増進事業)	

農008	項目名	新たな園芸品目育成事業費	新規事業
予算書項目	園芸品目振興事業費	ページ	233
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,764		
本年度要求額	3,337		
総務部長段階査定額	686		
市長段階査定額	686		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	456	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	0	使用料
	一般財源	230	手数料
	計	686	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304	
【12次総の施策体系】3104	
【事業の経過及び背景】 農業の生産現場では、産地競争力の強化が求められており、より高収益な施設園芸品目等への転換や規模拡大の取組が急務となっている。	
【事業の目的及び効果】 新たな園芸品目等により地域の特性を生かした特産物を育成する取組や県育成イチゴ品種に係る単収・品質の向上及び生産基盤強化に必要な機械、施設等の整備に向けた取組を支援することで、農業生産額の向上を図る。	
【事業の内容】 ① 県育成イチゴ品種生産拡大支援事業[県間接] 686千円 補助率:1/2(県1/3、市1/6)	
【事業の実績】 令和5年度 683千円 令和6年度 735千円 令和7年度 4,714千円(見込み) ※県事業の組替えにより事業名変更(旧:鳥取市戦略的園芸品目(イチゴ「とっておき」)総合対策事業)	

農009	項目名	畑地化促進支援事業費	新規事業
予算書項目	畑地化促進支援事業費	ページ	233
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名		事業の概要 【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304 【12次総の施策体系】3104 【事業の経過及び背景】 水田利活用直接支払交付金の見直しにより、令和9年度以降、水稲及び転作物への支援内容が大きく変更される見込みである。国の交付金に依存しない、高収益作物の選定、産地の形成等の取組が求められる。 【事業の目的及び効果】 主食用米に代わり、麦・大豆や多収品種の飼料用米等への作付転換を定着させていくため、主に中山間地域において畑作物の産地づくりや農地利用の団地化により生産性を高めるとともに、農地の維持・管理と生産者の所得の向上を図る。 【事業の内容】 畑作物の産地づくりに取り組む地域を対象に、団地化やブロックローテーションの体制構築等、モデル的に調整会議を組織し、交付対象水田若しくは畑地化して維持するのを見極め主に中山間地域における産地づくりと農地保全を図る。 ① 団地化・ブロックローテーションに向けた関係者間の農地利用調整 ② 団地化・ブロックローテーションの実施に向けたほ場調査 ③ 畑地化による畑作物の収量向上等実証・分析 ④ 体系構築のための実証栽培 【事業の実績】 令和6年度 1,500千円 令和7年度 1,500千円（見込み）	
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,500		
本年度要求額	1,500		
総務部長段階査定額	1,500		
市長段階査定額	1,500		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
財源内訳			
国・県支出金	1,500		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	1,500		
備考欄			

農010	項目名	ともに目指す担い手強化支援事業費	新規事業
予算書項目	ともに目指す担い手強化支援事業費	ページ	233
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名		事業の概要 【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305 【12次総の施策体系】3104 【事業の経過及び背景】 本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況である。その中で生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画（プラン）に対し支援を行うことで、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図ってきた。県事業の新設に伴い、令和6年度までの「みんなでやらいや農業支援事業」から本事業に移行した。 【事業の目的及び効果】 意欲ある農業者、農業集団等が目的達成のために作成したプランに位置づけた取組に対し支援を行い、地域農業の振興や活性化を図る。 【事業の内容】 事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。 補助率：ハード 県1/3・市1/6 ソフト 県1/2・市1/6 補助上限額（通常タイプ） 個人 6,000千円、法人等 12,000千円 （ジャンプアップタイプ） 個人 12,000千円、法人等 24,000千円 ・実施内容 鳥取（継続1件）パイプハウス他 3,810千円 気高（継続1件）育苗ハウス他 5,195千円 鹿野（新規1件）トラクター他 5,282千円 【事業の実績】 令和5年度 15,642千円 令和6年度 8,612千円 令和7年度 19,282千円（見込み）	
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	43,368		
総務部長段階査定額	14,287		
市長段階査定額	14,287		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
財源内訳			
国・県支出金	9,524		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	4,763		
計	14,287		
備考欄			

農011	項目名	温暖化対策に係る新品目等チャレンジ実証事業費	新規事業
予算書項目	温暖化対策に係る新品目等チャレンジ実証事業費	ページ	233
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 世界的な気候変動による温暖化は、我が国の農作物栽培にも影響を与えており、本市においても高温障害に強い品種や温暖化に適した新たな特産作物の導入が期待されている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 再エネ（温泉）を活用し、温暖化により県内でも新たに栽培できる可能性のある品目等を導入するため、栽培実証を行う。また、園芸施設にて営農開始する際に設備投資が大きな負担となることから、鳥取型低コストハウスを参考に、さらに安価で耐久性に優れた施設設置及び実証も併せて行い新たな園芸品目の生産振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	1,000	・実施主体 農業者、農業法人等（※販売を目的とした栽培実証をする者とする）	
本年度要求額	333	・補助対象経費 温暖化に適した新品目等を導入するための実証に要する経費 ※種苗費、肥料費、燃料費、その他生産資材費等	
総務部長段階査定額	333	・補助率 1/3 ※別途、県が1/3を直接補助	
市長段階査定額	333	【事業の実績】 令和7年度 333千円（見込み）	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
財源内訳	0	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	333	使用料	0
一般財源	0	手数料	0
計	333	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	333
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

農012	項目名	麒麟のまちうまいもん販路拡大事業費	新規事業
予算書項目	麒麟のまちうまいもん販路拡大事業費	ページ	233
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 食の「安全・安心」が求められている中、本市の魅力ある農林水産物等をマルシェや試食宣伝・商談会などを通して関西圏を中心にPRしてきた。しかしながら、潜在的な需要はあるものの、安定的な供給量の確保が困難な事や、流通コスト高により取引単価が見合わないなどの理由により、直接取引につながらないケースが多い現状がある。その課題を解決するためには、産地化によるロットの確保や地域商社機能を活用した物流・商流の一本化などの取組を推進していく必要がある。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 集荷から販売までのトータルでの販路開拓を行うとともに、主に関西圏においてマルシェの開催や商談を通して広域的なPR活動を行い農林水産物等の知名度アップを図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	10,838	(1) とっとり旬菜マルシェ等開催業務	
本年度要求額	12,923	(2) 麒麟のまち特産品商談業務	
総務部長段階査定額	12,018	(3) 米の流通及び消費拡大事業	
市長段階査定額	12,018	(4) 麒麟のまち賑わい創出事業 等	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	5,847	令和5年度 891千円（コロナ交付金事業7,800千円除く）	
国・県支出金	0	令和6年度 8,274千円	
地方債	0	令和7年度 10,838千円（見込み）	
その他	322	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
一般財源	5,849	その他財源の内訳	
計	12,018	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	322
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

農013	項目名	未来につなぐ！中山間地域再生事業費	新規事業	○
予算書項目	未来につなぐ！中山間地域再生事業費		ページ	233
年度	R8		所属名	農林水産部 農政企画課
会計名				
一般会計				
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農業振興費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	22,315			
総務部長段階査定額	22,315			
市長段階査定額	22,315			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	11,157	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	11,158	手数料	0
	計	22,315	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			諸収入	0
			その他	0
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305

【12次総の施策体系】3104

【事業の経過及び背景】
第2世代交付金実施計画における本市農林水産業を支える中山間地域の活性化による基盤維持を図るため令和8年度より事業化する。

【事業の目的及び効果】
農地の集積・集約化が進まないまま荒廃しつつある中山間地の耕作条件不利農地を活用し、地域の魅力を向上させ移住定住といった人口増加対策へとつなげていくことを目的とする。

【事業の内容】
(1) 農地の維持・再生に係るモデル地域での実証（委託費：7,315千円）
・事業計画の進捗精査等ワーキンググループ運営に係る経費（500千円）
・対象農地の除草・耕耘・定植等初期整備（6,000千円）
・高校生や大学生による中山間地域農地の維持活性化に向けた調査研究（815千円）
(2) 中山間地域農地の維持管理を目指す農業者や営農組織、集落等が将来にわたり「楽しく」農業を継続していくためのスマート農業機械等の導入支援
・補助率 1/2 補助上限額1,000千円
・実施件数 10件
(3) 対象農地の維持管理に必要な機械等の貸し出し（5,000千円）

農014	項目名	畜産振興対策事業費	新規事業	
予算書項目	畜産振興対策事業費		ページ	233
年度	R8		所属名	農林水産部 農政企画課
会計名				
一般会計				
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	畜産業費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	5,447			
本年度要求額	4,238			
総務部長段階査定額	4,238			
市長段階査定額	4,238			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	4,238	手数料	0
	計	4,238	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			諸収入	0
			その他	0
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304

【12次総の施策体系】3104

【事業の経過及び背景】
TPPや日EU・EPA（日EU経済連携協定）の影響が懸念される畜産業において、畜産農家が持続的に安定生産が行えるよう、経営力強化につながる支援が求められている。

【事業の目的及び効果】
優良な牛を育てる農家を支援することで畜産振興及び鳥取和牛のブランド力を高め、より一層の消費拡大を図る。

【事業の内容】
(1) 肉用牛放牧奨励事業（補助率：1/10）
公共放牧場の繁殖牛の放牧料の一部を助成
(2) 肥育素牛安定導入対策事業（補助率：1/6）
JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部を助成
(3) 肉用牛・乳用牛経営体質強化対策事業（補助率：1/20）
配合飼料の購入にあたり当該年度の輸入原料平均価格と過去の輸入原料平均価格との差額を補填

【事業の実績】
令和5年度 3,492千円
令和6年度 2,676千円
令和7年度 5,447千円（見込み）

農015	項目名 鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ 233
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要	
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304	
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104	
項 農業費	【事業の経過及び背景】 「鳥取地どりピヨ」は、市場関係者から高い評価を得ていたものの、生産・食鳥処理・販売を行ってきた(株)ふるさと鹿野での事業継続が困難となり、その後、平成30年12月に設立された(株)鹿野地鶏が事業を引き継ぎ、新体制のもとで出荷・販売を行っている。	
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 新たな体制で地どり事業を再開するにあたって必要となる食鳥処理に係る人材育成などを支援し、鳥取地どりブランドのより一層のブランド化を図る。	
(単位:千円)	【事業の内容】 ・生産に必要な施設の整備の一部を支援 ・講習会の受講や、啓発宣伝に係る経費の一部を支援	
前年度当初予算額 5,568	【事業の実績】 令和5年度 3,434千円 令和6年度 4,538千円(繰越含む) 令和7年度 3,562千円(見込み)	
本年度要求額 2,267	その他財源の内訳	
総務部長段階査定額 2,267	分担金 0	
市長段階査定額 2,267	負担金 0	
	使用料 0	
	手数料 0	
	財産収入 0	
	寄付金 0	
	繰入金 0	
	諸収入 0	
	その他 0	
区分 本年度予算額	備考欄	
財源内訳		
国・県支出金 0		
地方債 0		
その他 0		
一般財源 2,267		
計 2,267		

農016	項目名 鳥取市畜産暑熱対策事業費	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ 233
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要	
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304	
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104	
項 農業費	【事業の経過及び背景】 近年の温暖化により畜舎内が高温になり、畜産の生育状況に影響している。畜舎内の室温が上昇すると、家畜が暑さを感じ、熱中症になるリスクが高くなる。特に牛、豚、鶏などの家畜は暑さに弱く、畜産農家が持続的に安定生産が行えるよう暑熱対策が急ぐ必要がある。	
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 牛舎や豚舎の暑熱対策を実施することにより、暑熱ストレスによる生産性低下を防ぐことにより、畜産経営の維持・継続を図る。	
(単位:千円)	【事業の内容】 畜舎の暑熱対策に資する整備(二重屋根、遮熱塗料塗布、換気扇等)を助成する。 (1) 酪農中小家畜暑熱対策事業(養鶏)(補助率:1/6) 事業費1,719千円×1/6(補助率)≒287千円 (2) 酪農中小家畜暑熱対策事業(養豚)(補助率:1/6) 事業費5,000千円×1/6(補助率)≒833千円	
前年度当初予算額 1,095	【事業の実績】 令和7年度 1,095千円(見込み)	
本年度要求額 1,120	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額 1,120	その他財源の内訳	
市長段階査定額 1,120	分担金 0	
	負担金 0	
	使用料 0	
	手数料 0	
	財産収入 0	
	寄付金 0	
	繰入金 1,120	
	諸収入 0	
	その他 0	
区分 本年度予算額	備考欄	
財源内訳		
国・県支出金 0		
地方債 0		
その他 1,120		
一般財源 0		
計 1,120		

農017	項目名	畜産経営緊急支援事業費(重点支援地方交付金)	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	233
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	畜産業費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	23,704		
本年度要求額	16,500		
総務部長段階査定額	16,300		
市長段階査定額	16,300		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	8,147	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	0	使用料
	一般財源	8,153	手数料
	計	16,300	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304

【12次総の施策体系】3104

【事業の経過及び背景】
世界での飼料作物需要増加、原油高、円安等の影響により、飼料価格、資材・燃料代が高騰した状況が続いており、経営コストに対する飼料費の割合が高い畜産事業者の経営を圧迫している。

【事業の目的及び効果】
飼料費等の一部を緊急的に支援し、将来にわたって安定した本市の食を担う畜産事業者の経営の維持安定を図る。

【事業の内容】
①-1 肉用牛：牛マルキン制度の補填拡充支援 3,152千円 《市1/4》
①-2 肉用豚：豚マルキン制度の補填拡充支援 245千円 《市1/4》
② 乳牛：高騰配合飼料代支援 11,965千円 《市1/4》
③-1 肉用鶏：高騰配合飼料代支援 26千円 《市1/6》
③-2 採卵鶏：高騰配合飼料代支援 242千円 《市1/6》
④ 繁殖牛：和子牛飼料緊急支援 670千円 《定額》

財源：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

【事業の実績】
令和7年度 23,704千円（見込み）

農018	項目名	集落営農体制強化支援事業補助金	新規事業
予算書項目	意欲ある担い手支援事業費	ページ	235
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業構造改善事業費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	8,541		
本年度要求額	38,671		
総務部長段階査定額	27,287		
市長段階査定額	27,287		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	18,191	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	0	使用料
	一般財源	9,096	手数料
	計	27,287	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305

【12次総の施策体系】3104

【事業の経過及び背景】
小規模農家が共同で営農を行う集落営農は、地域の水田農業を守る担い手として重要であり、組織化初期の経営安定を図るため平成20年度より本事業が創設された。

【事業の目的及び効果】
継続的な地域の水田農業を維持するため、集落営農組織に対し機械施設の整備などを支援する。

【事業の内容】
集落営農組織の作成した集落営農ビジョン実現のために必要な事業に対し助成する。
・機械施設整備等支援 補助率1/2（県1/3、市1/6）
・実施内容 3組織 ライスセンター整備、コンバイン、畔塗機等 27,287千円

【事業の実績】
令和5年度 1,866千円 2組織
令和6年度 実績なし
令和7年度 8,541千円 2組織

農019	項目名	野生鳥獣被害防止事業費	新規事業
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名		事業の概要 【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303 【12次総の施策体系】3104 【事業の経過及び背景】 野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にある。また、有害鳥獣の駆除を委託している狩猟免許所持者が高齢化により減少している。 【事業の目的及び効果】 イノシシ等の被害防止対策に必要な補助金を交付することにより、農林業者が安心して農林業の生産活動を行えるようにし、もって本市農林業の振興を図る。 【事業の内容】 ① 有害鳥獣駆除実施事業費 負担割合：県1/3、市2/3 ② 侵入防止施設整備事業費 負担割合：県1/3、市1/3（地元1/3） ③ イノシシ等捕獲奨励金 負担割合：県1/2、市1/2 ④ イノシシ・シカ捕獲奨励金（緊急捕獲）負担割合：国定額、市補填1,911千円 ⑤ 免許取得促進事業 負担割合：県1/3、市2/3 ⑥ 鳥取市鳥獣害対策協議会支援事業 負担割合：市1/3（国1/2、地元1/6） ⑦ イノシシ解体処理施設維持管理費 負担割合：市10/10 ⑧ 新規銃砲取得者の育成 市10/10、捕獲技術の向上対策事業 県10/10 ⑨ 会計年度任用職員人件費 【事業の実績】 令和5年度 99,300千円 令和6年度 105,081千円 令和7年度 114,979千円（見込み）	
一般会計			
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	114,979		
本年度要求額	136,637		
総務部長段階査定額	115,741		
市長段階査定額	115,741		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
財源内訳			
国・県支出金	70,677		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	45,064		
計	115,741		
備考欄			

農020	項目名	クマ対策事業費	新規事業
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名		事業の概要 【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303 【12次総の施策体系】3104 【事業の経過及び背景】 人里へのツキノワグマの出没による人身事故を防ぐ。 【事業の目的及び効果】 果樹園や人家近くに出没するクマに関する対策を講じることで、農作物の保護及び住民の安全を確保する。また、クマの緊急銃猟や錯誤捕獲等による対応時におけるクマよけスプレーや防護盾などの安全装備購入により、実務者の安全対策を図る。 【事業の内容】 (1) 遭遇回避 ① クマ注意看板、追払い用品 ② クマ鈴補助 ③ 放任果樹樹木伐採 (2) 捕獲対策 クマ安楽殺処分委託等 【事業の実績】 令和5年度 124千円 令和6年度 493千円 令和7年度 2,231千円（見込み）	
一般会計			
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	2,231		
本年度要求額	5,308		
総務部長段階査定額	3,153		
市長段階査定額	3,153		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
財源内訳			
国・県支出金	1,967		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,186		
計	3,153		
備考欄			

農021	項目名	射撃場管理運営費	新規事業
予算書項目	射撃場管理運営費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	56,415		
本年度要求額	89,187		
総務部長段階査定額	88,095		
市長段階査定額	88,095		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	8,162		
一般財源	79,933		
計	88,095		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303	
【12次総の施策体系】3104	
【事業の経過及び背景】 鳥取クレー射撃場は、野生鳥獣対策を担う銃猟者のさらなる養成を目指し平成28年9月に再開したが、銃猟者の減少には歯止めがかからず、野生鳥獣による農作物被害も増加傾向が続いている。	
【事業の目的及び効果】 射撃場の適切な管理運営を行うことで、銃猟者の着実な育成・確保を進め、捕獲強化による農作物被害の軽減を図る。	
施設概要 ・敷地面積：11,240㎡ ・トラップ射場、スキート射場：各1面（鉛弾飛散防止ネット設置） ・管理棟：1棟	
【事業の内容】 (1) 報酬（教習射撃指導他） 529千円 (2) 飛散防止ネット張替調整業務（スキート） 3,300千円 (3) 鉛弾処理委託業務（債務負担行為） 71,167千円 (4) スコアボード更新 1,091千円 等	
【事業の実績】 令和5年度 14,149千円 延べ利用者数 817名 令和6年度 31,588千円 延べ利用者数 900名 令和7年度 56,275千円 延べ利用者数 878名 (繰越含む) (見込み)	
※その他財源の負担金は、東部4町負担金 ※その他財源の使用料は、射撃場使用料 ※その他財源の手数料は、教習射撃受講料 ※その他財源の諸収入は、技能講習受託収入、自動販売機電気利用料	

農022	項目名	市行造林維持管理費	新規事業
予算書項目	市行造林維持管理費	ページ	235
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	15,202		
本年度要求額	22,407		
総務部長段階査定額	22,407		
市長段階査定額	22,407		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	12,017		
地方債	0		
その他	9,192		
一般財源	1,198		
計	22,407		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】林務係 0857-30-8311	
【12次総の施策体系】3104	
【事業の経過及び背景】 市行造林、市有林の適正な森林管理を行う必要がある。	
【事業の目的及び効果】 森林経営計画（令和5年度～令和9年度）に基づき、市行造林、市有林の保育、間伐材材生産等の適正な森林整備を行う。	
【事業の内容】 ① 保険料 2,065千円 ② 委託料 河内市行造林（間伐搬出 3.10ha 作業道改良700m） 6,590千円 円護寺市行造林（間伐搬出 6.50ha 作業道改良 1200m） 12,924千円 鳥取市行造林立木評価業務 811千円 ※その他の事業費は事務費等	
【事業の実績】 令和5年度 3,975千円（施策は台風による林地被災のため未実施） 令和6年度 32,138千円 令和7年度 1,707千円（見込み）	
※その他財源の財産収入は、立木売払収入 ※その他財源の繰入金は、市行造林基金繰入金	

農023	項目名	林業労働者雇用条件改善事業費	新規事業
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	14,082		
本年度要求額	8,097		
総務部長段階査定額	8,097		
市長段階査定額	8,097		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	4,048	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	4,049	
	計	8,097	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】林務係 0857-30-8311	
【12次総の施策体系】3104	
【事業の経過及び背景】 林業労働者の高齢化により、担い手不足が進んでいる。	
【事業の目的及び効果】 林業事業者が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金（農林年金）の事業主負担に対し経費の一部を助成する。	
【事業の内容】 健康保険、農林年金に係る負担補助。 ・事業主体：鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、智頭町森林組合、(株)樹林業ほか ・補助対象：31人 ・負担割合：県 1/4、市 1/4、事業主体 1/2	
【事業の実績】	
令和5年度	4,580千円 24人
令和6年度	4,358千円 21人
令和7年度	11,402千円 25人（見込み）

農024	項目名	林業新規就業者支援対策事業費	新規事業
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,080		
本年度要求額	600		
総務部長段階査定額	600		
市長段階査定額	600		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	600	
	一般財源	0	
	計	600	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】林務係 0857-30-8311	
【12次総の施策体系】3104	
【事業の経過及び背景】 新規就業者の確保及び育成が喫緊の課題となっているが、研修等に要する経費を新規就業者に求めることも多く、新規採用が抑制される要因の1つとなっている。	
【事業の目的及び効果】 意欲ある林業事業者が負担なく研修を行うため、国が実施する「緑の雇用」事業による研修に必要な道具や装備の購入にかかる費用の助成に嵩上げをすることで、林業事業者が採用する新規就業者を増加させ、本市の林業振興を図る。	
【事業の内容】 国の「緑の雇用」事業によるフォレストワーカー研修1年目に必要な器具及び防護服等の購入に必要な経費の一部を助成。 補助率：2/3 補助対象：研修準備費（道具購入費）、資材費（装備購入品）	
【事業の実績】	
令和5年度	280千円 5人
令和6年度	279千円 3人
令和7年度	304千円 4人（見込み）
※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	

農025	項目名	森林経営管理事業費	新規事業
予算書項目	森林経営管理事業費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 戦後造成された人工林が主伐期を迎えようとしている一方、所有者の高齢化、零細化により経営・管理が行きとどいていない森林が増加している。このため、新たな経営管理システムを構築すべく、「森林経営管理法」が平成30年5月に制定された。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林所有者が自ら経営・管理を実行できない場合、市町村が経営管理を受託し、意欲と能力のある林業経営者への再委託もしくは市町村が自ら管理することにより、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を図る。なお、本事業は森林環境譲与税を財源としている。		
(単位:千円)	【事業の内容】 森林経営管理を推進するために必要な意向調査や森林境界の確認を実施。 ・意向調査業務(用瀬町赤波) ・森林境界明確化業務(国府町雨滝) ・市直接管理業務(森林巡視:佐治町) ・林政アドバイザー業務		
前年度当初予算額	73,850	【事業の実績】 令和5年度 22,679千円 令和6年度 62,959千円 令和7年度 73,850千円(見込み)	
本年度要求額	49,904	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	46,773	【事業の内容】 森林経営管理を推進するために必要な意向調査や森林境界の確認を実施。 ・意向調査業務(用瀬町赤波) ・森林境界明確化業務(国府町雨滝) ・市直接管理業務(森林巡視:佐治町) ・林政アドバイザー業務	
市長段階査定額	46,773	【事業の実績】 令和5年度 22,679千円 令和6年度 62,959千円 令和7年度 73,850千円(見込み)	
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	41,693	手数料	0
一般財源	5,080	財産収入	0
計	46,773	寄付金	0
		繰入金	41,693
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

農026	項目名	鳥取県植樹祭開催事業費	新規事業
予算書項目	鳥取県植樹祭開催事業費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 鳥取市で自然愛護の気運を高める必要がある。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 第70回鳥取県植樹祭を開催することにより、市民共通の財産である森林を守り育てることの大切さを普及啓蒙する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 地域住民の参加に伴う準備費等に係る経費負担。		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 平成21年度 第54回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 平成27年度 第60回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 令和元年度 第64回鳥取県植樹祭 鳥取市開催	
本年度要求額	2,200	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	1,500	【事業の内容】 地域住民の参加に伴う準備費等に係る経費負担。	
市長段階査定額	1,500	【事業の実績】 平成21年度 第54回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 平成27年度 第60回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 令和元年度 第64回鳥取県植樹祭 鳥取市開催	
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	1,500	手数料	0
一般財源	0	財産収入	0
計	1,500	寄付金	0
		繰入金	1,500
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

農027	項目名	林道改良事業費		新規事業																				
予算書項目	林道維持管理事業費	ページ	237	所属名																				
年度	R8	農林水産部 林務水産課																						
会計名		事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-30-8311 【12次総の施策体系】3104 【事業の経過及び背景】 効率的な森林施業の促進を図るため、森林所有者から林業機械の利用に対応することができる林道の改良が要望されている。 【事業の目的及び効果】 林業機械での施業に対応するため林道の改良・舗装を行い、安全な交通を確保し、効率的な森林施業の促進を図る。 【事業の内容】 ・林道点検診断保全整備 61橋 30,850千円 ・橋梁修繕工事 小畑谷線(1号基) 8,000千円 十神線(松木橋) 5,000千円 猪路谷線(猪路谷橋) 11,000千円 【事業の実績】 令和5年度 7,131千円 令和6年度 11,994千円 令和7年度 19,000千円(見込み)																						
一般会計																								
款	農林水産業費																							
項	林産業費																							
目	林業振興費																							
(単位:千円)																								
前年度当初予算額	19,000																							
本年度要求額	79,310																							
総務部長段階査定額	55,110	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
諸収入	0																							
その他	0																							
市長段階査定額	55,110																							
区分		本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	25,504																						
	地方債	13,800																						
	その他	0																						
	一般財源	15,806																						
	計	55,110																						
備考欄																								

農028	項目名	造林事業費		新規事業																				
予算書項目	造林事業費	ページ	237	所属名																				
年度	R8	農林水産部 林務水産課																						
会計名		事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-30-8311 【12次総の施策体系】3104 【事業の経過及び背景】 木材価格の低迷、林家の高齢化などにより、適切な森林施業が遅れており、林地の荒廃が進んでいる。 【事業の目的及び効果】 適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金を交付し、もって本市林業の振興を図る。 【事業の内容】 ・間伐・竹林林種転換・クヌギ造林補助 ・シカ進入防護柵設置(45,600m) ・シカ防護柵の点検(115km) ・シカ防護柵の撤去及び廃棄(0.05km) ○補助率 間伐:(普通林)17%、(保安林)17%、※地元負担15% 竹林樹種転換:5% ※地元負担15% センダン・カラマツ・コウヨウザン、クヌギ造林:10% ※地元負担:5% シカ侵入防護柵設置:10% ・シカ防護柵の点検:定額15,000円/km シカ防護柵の撤去及び廃棄:定額250,000円/km 【事業の実績】 間伐・竹林林種転換、シカ侵入 シカ柵 皆伐再造林等 防護柵設置 点検 令和5年度 288.17ha/23,760千円 15.25km/6,071千円 62.03km/2,686千円 令和6年度 247.14ha/20,681千円 8.49km/3,418千円 67.49km/3,872千円 令和7年度 337.41ha/41,734千円 42.11km/18,011千円 83.94km/4,299千円 (見込み) ※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金																						
一般会計																								
款	農林水産業費																							
項	林産業費																							
目	林業振興費																							
(単位:千円)																								
前年度当初予算額	83,319																							
本年度要求額	107,308																							
総務部長段階査定額	69,750	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>27,370</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	27,370	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	27,370																							
諸収入	0																							
その他	0																							
市長段階査定額	69,750																							
区分		本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	4,180																						
	地方債	38,200																						
	その他	27,370																						
	一般財源	0																						
	計	69,750																						
備考欄																								

農029	項目名	健全な山の育成事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	24,638		
本年度要求額	18,495		
総務部長段階査定額	18,495		
市長段階査定額	18,495		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	18,495	
	一般財源	0	
	計	18,495	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】 林務係 0857-30-8311	
【12次総の施策体系】 3104	
【事業の経過及び背景】 県産材の有効利用を目的とし、鳥取県の補助金（1㎡当たり2,400円）に嵩上げすることで、森林施業の促進を図る。	
【事業の目的及び効果】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を推進し、健全な山の育成を図るため、間伐材搬出支援を行う。	
【事業の内容】 間伐材搬出支援（1㎡当たり500円を補助） 搬出量 36,990㎡×500円＝18,495千円	
【事業の実績】 令和5年度 17,416千円 令和6年度 27,473千円 令和7年度 15,640千円（見込み）	
※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	

農030	項目名	豊かな森づくり推進事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	49,673		
本年度要求額	49,668		
総務部長段階査定額	29,802		
市長段階査定額	29,802		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	26,490	
	地方債	0	
	その他	3,312	
	一般財源	0	
	計	29,802	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】 林務係 0857-30-8311	
【12次総の施策体系】 3104	
【事業の経過及び背景】 拡大する竹対策として、鳥取県豊かな森づくり協働税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林整備に取り組む。	
【事業の目的及び効果】 適正な管理ができていない竹林の抜き伐り等に対し補助を行う。	
【事業の内容】 鳥取県竹林整備事業費補助金（豊かな森づくり協働税を活用） 補助率：県 80% 市 10%	
【事業の実績】 令和5年度 17,607千円 3.99ha（抜き伐り、搬出） 令和6年度 20,848千円 3.85ha（抜き伐り、搬出） 令和7年度 19,332千円 2.77ha（抜き伐り、搬出）（見込み）	
※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	

農031	項目名	森づくり作業道整備事業費	新規事業
予算書項目	森づくり作業道整備事業費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	24,036		
本年度要求額	22,196		
総務部長段階査定額	15,537		
市長段階査定額	15,537		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	15,537		
一般財源	0		
計	15,537		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】 林務係 0857-30-8311	
【12次総の施策体系】 3104	
【事業の経過及び背景】 森林施業の効率化を図るため林業専用道などの整備を推進する必要がある。	
【事業の目的及び効果】 健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、作業道等の整備を促進する。	
【事業の内容】 国・県の作業道補助事業とあわせて、作業道等整備事業に補助を行う。 ① 造林作業道整備の補助金 作業道整備（普通林） 30,650m 作業道整備（保安林） 11,800m ② 林業専用道整備の補助金 林業専用道整備 1,755m	
【事業の実績】 令和5年度 12,022千円 58路線 47,082m 林業専用道1路線 1,093m 令和6年度 8,914千円 39路線 23,951m、林業専用道2路線 887m 令和7年度 24,036千円（見込み）	
※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	

農032	項目名	きのこ王国とっとり推進事業費補助金	新規事業
予算書項目	林産物振興対策事業費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,070		
本年度要求額	716		
総務部長段階査定額	716		
市長段階査定額	716		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	477		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	239		
計	716		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】 林務係 0857-30-8311	
【12次総の施策体系】 3104	
【事業の経過及び背景】 本市の特産品である椎茸の生産量は年々減少傾向にあるため、椎茸の生産、出荷、販売を促進する必要がある。	
【事業の目的及び効果】 本市の特産品である原木しいたけ等の生産体制の整備、原木の安定確保、労働の安全確保を行う生産者の取組を支援することで、きのこ王国とっりの実現を推進する。また生産者の意欲向上を図り、椎茸産地としての持続的な発展を目指す。	
【事業の内容】 (1) 栽培環境整備支援（パイプハウス等の整備に要する経費を助成） 補助率 1/3（県：2/9、市1/9） 101千円 (2) 安全労働確保支援（作業安全と労働力の軽減に要する経費を助成） 補助率 1/2（県：1/3、市1/6） 45千円 (3) 新規生産者施設整備支援（乾燥機、スライサーの導入に要する経費を助成） 補助率 1/3（県：2/9、市1/9） 570千円	
【事業の実績】 令和7年度 1,070千円（見込み）	

農033	項目名	危険木等事前伐採推進事業費	新規事業
予算書項目	危険木等事前伐採推進事業費	ページ	239
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	5,500		
本年度要求額	6,723		
総務部長段階査定額	6,723		
市長段階査定額	6,723		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	2,000	
	地方債	0	
	その他	4,723	
	一般財源	0	
	計	6,723	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】 林務係 0857-30-8311	
【12次総の施策体系】 3104	
【事業の経過及び背景】 令和5年1月の大雪により倒木による孤立集落が発生した。そのような事態を未然に防止するため、手入れの行き届いていない森林の適正な管理の促進を図る必要がある。	
【事業の目的及び効果】 鳥取県、市町村、通信事業者等により構成される「倒木被害防災・減災対策連絡会」において危険木の予防的事前伐採等が必要と判断された箇所の予備伐採の実施に対する支援を行い、倒木に起因する集落の孤立・停電・通信障害等の発生による住民生活への影響の軽減及び森林所有者等による森林の適正な管理の推進を図る。	
【事業の内容】 「倒木被害防災・減災対策連絡会」において危険木の予防的事前伐採等が必要とされた地域森林計画の対象森林内にある危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者、森林管理者等に対し、県の補助事業を活用し、支援を行う。 補助率 10/10 (鳥取県危険木等事前伐採補助金 補助率1/2, 上限1,000千円/所)	
【事業の実績】 令和5年度 450千円 令和6年度 3,723千円 令和7年度 5,500千円 (見込み)	
※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	

農034	項目名	木材利用促進事業費補助金	新規事業
予算書項目	木材利用促進事業費補助金	ページ	239
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	10,000		
本年度要求額	5,000		
総務部長段階査定額	5,000		
市長段階査定額	5,000		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	2,500	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,500	
	計	5,000	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】 林務係 0857-30-8311	
【12次総の施策体系】 3104	
【事業の経過及び背景】 地元産木材の利用促進及び森林整備の推進を図る。	
【事業の目的及び効果】 民間における非住宅建築物の木質化等を支援し木材の利用促進を図る。また、木材利用により間伐などの森林整備の推進を図る。	
【事業の内容】 民間の非住宅建築物の木質化に係る経費を一部補助 県産材の使用量・経費をもとに1件当たり 補助上限100万円 全体事業費500万円 (5事業者) 事業実施年度 令和7年度～令和9年度	
【事業の実績】 令和7年度 1件 (見込み)	

農035	項目名	水産資源維持増殖事業費	新規事業
予算書項目	水産資源維持増殖事業費	ページ	239
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	水産業費		
目	水産業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	12,398		
本年度要求額	6,279		
総務部長段階査定額	6,279		
市長段階査定額	6,279		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	39		
一般財源	6,240		
計	6,279		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312	
【12次総の施策体系】3104	
【事業の経過及び背景】 千代川、湖山池は市民にとって身近な水辺空間であるとともに、内水面漁業の漁場であり、それらの機能維持を図るため、内水面漁業協同組合が行う放流に要する経費を助成してきた。	
【事業の目的及び効果】 水産資源の維持増殖による内水面漁業の振興及び千代川・湖山池流域の地域振興やレクリエーション機会の増大に寄与する。	
【事業の内容】 鮎などの内水面水産資源の維持増殖等を図る放流事業に対し助成する。 実施主体：千代川漁業協同組合、湖山池漁業協同組合、市 事業費：千代川流域 淡水魚放流事業等 5,400千円 千代川漁業振興対策事業 400千円 ふれあい放流事業 79千円 湖山池流域 湖山池漁業振興対策事業 400千円	
【事業の実績】 令和5年度 11,630千円 令和6年度 11,730千円 令和7年度 6,268千円（見込み）	
※その他の財源の諸収入は、鳥取県魚の豊かな川づくり基金助成金	

農036	項目名	漁業経営開始円滑化事業費	新規事業
予算書項目	漁業経営開始円滑化事業費	ページ	239
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	水産業費		
目	水産業振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	2,290		
本年度要求額	291		
総務部長段階査定額	291		
市長段階査定額	291		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	217		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	74		
計	291		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312	
【12次総の施策体系】3104	
【事業の経過及び背景】 漁業後継者の不足の一因として、漁業の専業経営を目指す新規就業者が新たに着業する際、漁船等の初期投資に多大な費用を要することがあげられる。	
【事業の目的及び効果】 漁業就業時に必要な漁船等の初期投資に対して助成することにより、漁業の新規就労者の円滑な確保を実現する。	
【事業の内容】 漁協が漁船、漁具等を購入し、新規就労者にリースする費用への補助。 事業実施主体：鳥取県漁業協同組合 補助率：2/3（県1/2、市1/6） 対象者：1名（浜村）[2回目] 事業費：436千円（漁具）	
【事業の実績】 令和5年度 31,094千円 対象者4名 漁船1隻ほか機器等 令和6年度 18,668千円（繰越） 対象者1名 漁船1隻ほか機器等 令和7年度 14,864千円（見込み） 対象者2名 漁船1隻ほか機器等	

農037	項目名 漁港施設維持管理事業費		新規 事業
予算書項目	漁港施設維持管理事業費	ページ	239
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港（福部町）、酒津漁港・船磯漁港（気高町）、夏泊漁港・長瀬漁港（青谷町）の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と合わせて6漁港となった。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 第1種漁港の管理者として、漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 漁港施設維持管理（光熱水費、維持修繕費等）一式 福部地域 2,316千円 気高地域 46,757千円 青谷地域 9,257千円		
前年度当初予算額	64,083	【事業の実績】 令和5年度 50,856千円 令和6年度 69,450千円 令和7年度 64,083千円（見込み）	
本年度要求額	79,498	※その他財源の使用料は、漁港施設占用料	
総務部長段階査定額	58,330	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	58,330	分担金 0 負担金 0 使用料 3,392 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 10,219		
	地方債 0		
	その他 3,392		
	一般財源 44,719		
	計 58,330		
備考欄			

農038	項目名 栽培漁業推進支援事業費		新規 事業
予算書項目	栽培漁業推進支援事業費	ページ	239
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 本市は県と連携しながら栽培漁業を推進し、水産物の安定供給・地域振興に資するため、漁業者が行う種苗放流事業に助成してきた。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁場再生、漁業振興及び漁村の活性化のため、稚貝放流等の経費を助成し漁獲量の増加を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 放流種苗等 アワビ23,100個、サザエ46,000個、キジハタ10,032尾 事業費 1,206千円（内市助成額540千円）		
前年度当初予算額	1,213	【事業の実績】 種苗放流等 令和5年度 1,122千円 令和6年度 1,169千円 令和7年度 1,213千円（見込み）	
本年度要求額	1,206		
総務部長段階査定額	1,206	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	1,206	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 666		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 540		
	計 1,206		
備考欄			

農039	項目名	漁港施設機能保全事業費	新規事業
予算書項目	漁港建設事業費	ページ	239
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港（福部町）、酒津漁港・船磯漁港（気高町）、夏泊漁港・長瀬漁港（青谷町）の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と合わせて6漁港となった。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 本市の第1種漁港は、近年、老朽化に伴い更新等が必要な漁港施設が増加している。施設の維持管理を体系的に捉え、計画的に更新することにより、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 漁港施設機能保全計画に定めた対策工事、委託業務を実施する。 ・夏泊漁港機能保全計画見直し委託（基本施設） 27,000千円		
前年度当初予算額	22,600	【事業の実績】 令和5年度 80,526千円（繰越含む） 船磯・夏泊漁港機能保全工事 酒津漁港機能保全計画見直し業務 令和6年度 106,128千円（繰越含む） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和7年度 22,400千円（繰越含む）（見込み） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事	
本年度要求額	181,850		
総務部長段階査定額	27,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	27,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	13,500		
地方債	13,500		
その他	0		
一般財源	0		
計	27,000		
備考欄			

農040	項目名	港整備推進事業費	新規事業
予算書項目	漁港建設事業費	ページ	239
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 本市の第1種漁港は、近年、漁港施設の老朽化や航路泊地の埋塞による出漁機会の減少により、水産物の安定的な生産・流通に支障が生じ、地元市場や飲食店、道の駅等への影響が懸念されている。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 このため、本市漁港及び近隣港湾・漁港（鳥取県・岩美町）を一体的に整備することにより、水産物の安定的な生産・流通及び利用者の利便性向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 地方創生港整備推進交付金地域再生計画に定めた対策工事を実施する。 ・岩戸漁港立入防止柵整備工事 1,000千円 ・船磯漁港照明施設改修工事 2,000千円 ・夏泊漁港照明施設改修ほか工事 3,450千円 ・長瀬漁港照明施設改修工事 12,000千円		
前年度当初予算額	19,075	【事業の実績】 令和5年度 実績なし 令和6年度 17,520千円（繰越含む） 令和7年度 18,550千円（見込み）	
本年度要求額	18,975		
総務部長段階査定額	18,975	その他財源の内訳	
市長段階査定額	18,975	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	9,225		
地方債	9,500		
その他	0		
一般財源	250		
計	18,975		
備考欄			

農041	項目名	漁業研修事業費	新規事業
予算書項目	漁業振興対策事業費	ページ	239
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 現在、漁業就労者は減少傾向にあり、また高齢化も進行していることから将来の漁業者の不足が懸念されている。また、新規に漁業への就業を希望する者はほとんど漁業経験がなく新たに漁業に従事するためには漁業技術の研修が必要である。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁業経営体・漁協等が漁業就業希望者に対し、漁業技術等の研修を実施することにより、新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 新規漁業就業希望者へ漁業技術や経営方法等習得のために行う研修に必要な費用を助成する。		
前年度当初予算額	8,053	事業実施主体：漁業経営体、漁協等 事業対象漁業種：沿岸漁業、沖合底びき網漁業 雇用予定者：4名（新規・雇成型2名、継続・雇成型1名） 事業費：7,778千円（県：6,928千円、市：850千円）	
本年度要求額	7,778	【事業の実績】 令和5年度 9,973千円 対象者7名 令和6年度 3,754千円 対象者3名 令和7年度 8,053千円（見込み） 対象者3名	
総務部長段階査定額	7,778	【事業の内容】 新規漁業就業希望者へ漁業技術や経営方法等習得のために行う研修に必要な費用を助成する。	
市長段階査定額	7,778	事業実施主体：漁業経営体、漁協等 事業対象漁業種：沿岸漁業、沖合底びき網漁業 雇用予定者：4名（新規・雇成型2名、継続・雇成型1名） 事業費：7,778千円（県：6,928千円、市：850千円）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 9,973千円 対象者7名 令和6年度 3,754千円 対象者3名 令和7年度 8,053千円（見込み） 対象者3名	
財源内訳		【事業の内容】 新規漁業就業希望者へ漁業技術や経営方法等習得のために行う研修に必要な費用を助成する。	
国・県支出金	6,928	事業実施主体：漁業経営体、漁協等 事業対象漁業種：沿岸漁業、沖合底びき網漁業 雇用予定者：4名（新規・雇成型2名、継続・雇成型1名） 事業費：7,778千円（県：6,928千円、市：850千円）	
地方債	0	【事業の実績】 令和5年度 9,973千円 対象者7名 令和6年度 3,754千円 対象者3名 令和7年度 8,053千円（見込み） 対象者3名	
その他	0	【事業の内容】 新規漁業就業希望者へ漁業技術や経営方法等習得のために行う研修に必要な費用を助成する。	
一般財源	850	事業実施主体：漁業経営体、漁協等 事業対象漁業種：沿岸漁業、沖合底びき網漁業 雇用予定者：4名（新規・雇成型2名、継続・雇成型1名） 事業費：7,778千円（県：6,928千円、市：850千円）	
計	7,778	【事業の実績】 令和5年度 9,973千円 対象者7名 令和6年度 3,754千円 対象者3名 令和7年度 8,053千円（見込み） 対象者3名	
備考欄			

農042	項目名	港へGO！海業で浜のにぎわい創出事業費	新規事業
予算書項目	港へGO！海業で浜のにぎわい創出事業費	ページ	239
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 地魚の魅力発信や船磯漁港来訪者を増加させ、域外者との積極的な交流の場とすることで、地域活性化とともに賑わいを創出する必要がある。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 鳥取市気高町遊漁センターを中心に地域のコミュニティと地魚を楽しむ拠点として、県漁協や漁師、さらに地域の人々などと連携して新たな魚食普及と港を活性化する事業を展開する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 補助対象経費：海業に係る勉強会、海業コンテンツの創出、勉強会、情報発信等 事業実施主体：魚っとりお魚LAB（鳥取市気高町遊漁センター指定管理者） 補助率：2/3（県1/3、市1/3） 事業費：2,700千円×2/3=1,800千円		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和7年度 1,500千円（見込み）	
本年度要求額	1,800	【事業の内容】 補助対象経費：海業に係る勉強会、海業コンテンツの創出、勉強会、情報発信等 事業実施主体：魚っとりお魚LAB（鳥取市気高町遊漁センター指定管理者） 補助率：2/3（県1/3、市1/3） 事業費：2,700千円×2/3=1,800千円	
総務部長段階査定額	1,800	【事業の実績】 令和7年度 1,500千円（見込み）	
市長段階査定額	1,800	【事業の内容】 補助対象経費：海業に係る勉強会、海業コンテンツの創出、勉強会、情報発信等 事業実施主体：魚っとりお魚LAB（鳥取市気高町遊漁センター指定管理者） 補助率：2/3（県1/3、市1/3） 事業費：2,700千円×2/3=1,800千円	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和7年度 1,500千円（見込み）	
財源内訳		【事業の内容】 補助対象経費：海業に係る勉強会、海業コンテンツの創出、勉強会、情報発信等 事業実施主体：魚っとりお魚LAB（鳥取市気高町遊漁センター指定管理者） 補助率：2/3（県1/3、市1/3） 事業費：2,700千円×2/3=1,800千円	
国・県支出金	900	【事業の実績】 令和7年度 1,500千円（見込み）	
地方債	0	【事業の内容】 補助対象経費：海業に係る勉強会、海業コンテンツの創出、勉強会、情報発信等 事業実施主体：魚っとりお魚LAB（鳥取市気高町遊漁センター指定管理者） 補助率：2/3（県1/3、市1/3） 事業費：2,700千円×2/3=1,800千円	
その他	0	【事業の内容】 補助対象経費：海業に係る勉強会、海業コンテンツの創出、勉強会、情報発信等 事業実施主体：魚っとりお魚LAB（鳥取市気高町遊漁センター指定管理者） 補助率：2/3（県1/3、市1/3） 事業費：2,700千円×2/3=1,800千円	
一般財源	900	【事業の実績】 令和7年度 1,500千円（見込み）	
計	1,800	【事業の内容】 補助対象経費：海業に係る勉強会、海業コンテンツの創出、勉強会、情報発信等 事業実施主体：魚っとりお魚LAB（鳥取市気高町遊漁センター指定管理者） 補助率：2/3（県1/3、市1/3） 事業費：2,700千円×2/3=1,800千円	
備考欄			

農043	項目名	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】	新規事業
予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	291
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 災害復旧費	【12次総の施策体系】3104		
項 災害復旧費	【事業の経過及び背景】 令和5年8月発生の台風第7号の災害により、法面崩落等の被害を受けたため、早急な対応が必要となった。		
目 農林水産業施設災害復旧費	【事業の目的及び効果】 林道利用者の安全の確保及び林業経営への影響を最小限に抑えるため、早期に災害からの復旧を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 被災した林道の復旧工事を行う。 ・林道三滝線 63,155千円 ・林道若桜江府線 193,180千円		
前年度当初予算額	69,668	【事業の実績】 令和6年度(現年) ・林道鳥取中央線・林道毛無山線・林道福地荒船線・林道佐谷小畑線・林道若桜江府線 ・林道三滝線 令和6年度(繰越) ・林道鳥取中央線・林道毛無山線・林道安蔵線・林道若桜江府線・林道三滝線・林道兵 円山線・林道権田ヶ谷線・林道セバ谷線・林道森上げ線 令和7年度(現年) ・林道若桜江府線・林道三滝線	
本年度要求額	266,469		
総務部長段階査定額	259,269	【事業の内訳】	
市長段階査定額	259,269	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 255,309		
	地方債 3,100		
	その他 0		
	一般財源 860		
	計 259,269		
備考欄			

農044	項目名	単独災害復旧費【令和5年台風第7号関連】	新規事業
予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	291
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 災害復旧費	【12次総の施策体系】3104		
項 災害復旧費	【事業の経過及び背景】 令和5年8月発生の台風第7号の災害により、法面崩落等の被害を受けたため、早急な対応が必要となった。		
目 農林水産業施設災害復旧費	【事業の目的及び効果】 林道利用者の安全の確保及び林業経営への影響を最小限に抑えるため、早期に災害からの復旧を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 被災した林道の復旧事業を行う。 (1)土砂撤去等災害復旧業務(補助対象外) ・CATV設備移転業務 140千円 ・林道三滝線 2,500千円 ・林道若桜江府線 2,000千円 (2)路肩等改修工事(補助対象外) ・林道兵円山線 360千円 ・林道三滝線 3,200千円 ・林道若桜江府線 5,850千円		
前年度当初予算額	99,357	【事業の実績】 令和5年度 230,604千円 令和6年度 3,415千円 令和7年度 123,389千円(繰越含む)(見込み)	
本年度要求額	15,053		
総務部長段階査定額	15,053	【事業の内訳】	
市長段階査定額	15,053	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 15,000		
	その他 0		
	一般財源 53		
	計 15,053		
備考欄			

農045	項目名 水道事業会計へ繰出	ページ 227	新規事業																				
予算書項目	水道事業会計へ繰出		所属名 農林水産部 農村整備課																				
年度	R8																						
会計名																							
一般会計																							
款	衛生費																						
項	他会計繰出																						
目	水道事業会計へ繰出																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	980,825																						
本年度要求額	1,095,200																						
総務部長段階査定額	1,091,300																						
市長段階査定額	1,091,300																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	0	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="2">その他財源の内訳</th></tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>	その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
	その他財源の内訳																						
	分担金	0																					
	負担金	0																					
	使用料	0																					
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
地方債	65,300																						
その他	0																						
一般財源	1,026,000																						
計	1,091,300																						
備考欄																							

事業の概要

【問合せ先】 総務係 0857-30-8316

【12次総の施策体系】 3401

【事業の経過及び背景】
地方公営企業法に基づくもの及び簡易水道事業統合後の負担に関する繰出。

【事業の目的及び効果】
一般会計からの繰出により鳥取市水道局の行う事業の下支えを図る。

【事業の内容】
・水道事業会計への繰出金
繰出金 1,091,300千円

【事業の実績】
令和5年度 1,123,580千円
令和6年度 1,059,381千円
令和7年度 980,825千円 (見込み)

農046	項目名 環境保全型農業直接支払交付金	ページ 231	新規事業																				
予算書項目	環境保全型農業直接支払交付金		所属名 農林水産部 農村整備課																				
年度	R8																						
会計名																							
一般会計																							
款	農林水産業費																						
項	農業費																						
目	農業振興費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	7,125																						
本年度要求額	6,168																						
総務部長段階査定額	6,168																						
市長段階査定額	6,168																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	4,653	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="2">その他財源の内訳</th></tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>	その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
	その他財源の内訳																						
	分担金	0																					
	負担金	0																					
	使用料	0																					
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	1,515																						
計	6,168																						
備考欄																							

事業の概要

【問合せ先】 総務係 0857-30-8316

【12次総の施策体系】 3104

【事業の経過及び背景】
農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため事業を実施。

【事業の目的及び効果】
有機農業または鳥取県が定める「鳥取県特別栽培慣行基準値」から原則5割以上の化学肥料・化学合成農薬を低減して行う営農活動を支援する。
環境保全に効果の高い営農活動に対して支援することで、地球温暖化防止及び生物多様性保全を図る。

【事業の内容】
・環境保全型農業直接支払交付金
対象：9組織(6,772a)
交付額：6,058千円(国50%、県25%、市25%)
・事業推進事務費

【事業の実績】
令和5年度 5,666千円
令和6年度 7,082千円
令和7年度 6,168千円 (見込み)

農047	項目名	農道舗装補修等事業費	新規事業
予算書項目	農道舗装補修等事業費	ページ	233
年度	R8	所属名	農林水産部 農村整備課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農地費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	45,646		
本年度要求額	39,599		
総務部長段階査定額	35,028		
市長段階査定額	35,028		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	15,241	
	地方債	0	
	その他	3,848	
	一般財源	15,939	
	計	35,028	
備考欄			

事業の概要
【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317
【12次総の施策体系】 3104
【事業の経過及び背景】 農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められている。
【事業の目的及び効果】 農業用施設全般の適正な補修・修繕等をもって、農業環境の整備を行う。
【事業の内容】 老朽化した農業用施設全般の整備及び補修を行う。 対象施設：農業用排水施設、農道、暗渠排水ほか 負担区分：県45%、市40%、地元15%
【事業の実績】 令和5年度 35,785千円 令和6年度 28,907千円 令和7年度 45,646千円（見込み）
※その他財源の負担金は、地元負担金

農048	項目名	県営事業負担金	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	233
年度	R8	所属名	農林水産部 農村整備課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農地費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	75,941		
本年度要求額	36,609		
総務部長段階査定額	24,900		
市長段階査定額	24,900		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	18,900	
	その他	6,000	
	一般財源	0	
	計	24,900	
備考欄			

事業の概要
【問合せ先】 総務係 0857-30-8316
【12次総の施策体系】 3104
【事業の経過及び背景】 鳥取県主体で土地改良事業が行われている。
【事業の目的及び効果】 事業費の一部を負担することで、事業の促進を図る。
【事業の内容】 県営土地改良事業に対する一部負担 ・ 県営地域ため池総合整備事業 ・ 県営農地集積加速化水利事業
【事業の実績】 令和5年度 68,512千円 令和6年度 83,075千円 令和7年度 75,941千円（見込み）
※その他財源の負担金は、地元負担金

農049	項目名	排水機場維持管理費	新規事業
予算書項目	排水機場維持管理費	ページ	233
年度	R8	所属名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】 3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 洪水時の千代川下流域の水位上昇による農地冠水被害を防止するため、ポンプによる排水を行い農地の安全を図る。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 適切な排水施設の管理を行うことで、受益地の効率的な営農活動を支援する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 服部排水機場及び西円通寺排水機場の維持管理。 ・ 通水時の操作点検及び水位監視 ・ 洪水時、常駐による運転操作等の委託 ・ 施設の維持管理費、修繕費		
前年度当初予算額	10,750	【事業の実績】	令和5年度 15,840千円 令和6年度 13,604千円 令和7年度 10,750千円 (見込み)
本年度要求額	13,668	分担金	0
総務部長段階査定額	13,668	負担金	0
市長段階査定額	13,668	使用料	0
区分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳	0	財産収入	0
国・県支出金	0	寄付金	0
地方債	0	繰入金	0
その他	0	諸収入	0
一般財源	13,668	その他	0
計	13,668	備考欄	

農050	項目名	農村公園管理費	新規事業
予算書項目	農村公園管理費	ページ	233
年度	R8	所属名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】 3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 所管する農村公園について、園柵や設置遊具等施設については老朽化が進行しており、安全面での不安が地元からあがっている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 農村公園の安全な利用に資するため維持管理費を計上。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・ 農村公園の維持管理費 ・ 農村公園の施設修繕費		
前年度当初予算額	3,890	【事業の実績】	令和5年度 2,343千円 令和6年度 4,539千円 令和7年度 3,890千円 (見込み)
本年度要求額	5,729	分担金	0
総務部長段階査定額	3,865	負担金	0
市長段階査定額	3,865	使用料	260
区分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳	0	財産収入	0
国・県支出金	0	寄付金	0
地方債	0	繰入金	996
その他	1,256	諸収入	0
一般財源	2,609	その他	0
計	3,865	備考欄	

※その他財源の使用料は、農林水産業施設使用料
※その他財源の繰入金は、中山間地域農村活性化基金繰入金

農051	項目名	農道等維持管理費	新規事業	
予算書項目	農道等維持管理費	ページ	233	
年度	R8	所属名	農林水産部 農村整備課	
会計名				
一般会計				
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農地費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	3,064			
本年度要求額	2,700			
総務部長段階査定額	2,700			
市長段階査定額	2,700			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	451	使用料	0
	一般財源	2,249	手数料	0
	計	2,700	財産収入	0
		寄付金	0	
		繰入金	159	
		諸収入	292	
		その他	0	
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317

【12次総の施策体系】 3104

【事業の経過及び背景】
基幹農道等の管理が必要になっている。

【事業の目的及び効果】
市が管理者として実施すべき農道等の維持管理や安全に関する設置整備等により、利用者の安全な利用を確保する。

【事業の内容】
・ 農道等の維持管理費
・ 通学路等の安全確保
・ 農道簡易修繕消耗品

【事業の実績】
令和5年度 1,706千円
令和6年度 5,888千円
令和7年度 5,064千円（見込み）

※その他財源の繰入金は、気高町奥沢見地区濁水対策事業基金繰入金
※その他財源の諸収入は、飛砂撤去作業外受託収入

農052	項目名	多面的機能支払交付金	新規事業	
予算書項目	多面的機能支払事業費	ページ	233	
年度	R8	所属名	農林水産部 農村整備課	
会計名				
一般会計				
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農地費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	207,435			
本年度要求額	209,586			
総務部長段階査定額	209,586			
市長段階査定額	209,586			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	158,032	分担金	0
	地方債	0	負担金	92
	その他	92	使用料	0
	一般財源	51,462	手数料	0
	計	209,586	財産収入	0
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	0	
		その他	0	
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】 総務係 0857-30-8316

【12次総の施策体系】 3104

【事業の経過及び背景】
農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある。

【事業の目的及び効果】
地域で行う農地維持や農業用施設の点検等の共同活動に対して支援し、農村の有する多面的機能の発揮を促進する。

【事業の内容】
・ 多面的機能支払交付金補助金事業
補助対象：129組織（283,083a）
交付額：206,191千円
負担割合：国50%、県25%、市25%
・ 事業推進事務費（人件費、事務費）

【事業の実績】
令和5年度 194,890千円
令和6年度 190,356千円
令和7年度 189,637千円（見込み）

※その他財源の負担金は、八頭町負担金

農053	項目名	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費	新規事業
予算書項目	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費		ページ 233
年度	R8		所属名 農林水産部 農村整備課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農地費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,800		
本年度要求額	600		
総務部長段階査定額	600		
市長段階査定額	600		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	400	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	200	
	計	600	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】総務係 0857-30-8316	
【12次総の施策体系】3104	
【事業の経過及び背景】 集落・地域だけでは農業生産基盤の維持管理が困難となってきた地域が増加しており、閉塞感も高まっている。	
【事業の目的及び効果】 集落・地域と自治会・企業等との協働による地域振興活動に対し、補助金を交付すること、農業・農村の保全意識を高める。	
【事業の内容】 ・鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿 交付額：300千円/年 財源：県2/3、市1/3	
【事業の実績】 令和5年度 1,200千円 令和6年度 1,069千円 令和7年度 1,200千円（見込み）	

農054	項目名	農業水利施設保全高度化事業費	新規事業
予算書項目	農業水利施設保全高度化事業費		ページ 233
年度	R8		所属名 農林水産部 農村整備課
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農地費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	4,500		
本年度要求額	32,000		
総務部長段階査定額	32,000		
市長段階査定額	32,000		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	24,680	
	地方債	4,000	
	その他	2,700	
	一般財源	620	
	計	32,000	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317	
【12次総の施策体系】3104	
【事業の経過及び背景】 農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められる。	
【事業の目的及び効果】 長寿命化対策に資する農業用排水施設等の整備を行うことで、効率的な農業運営・管理を実現する。	
【事業の内容】 ・樋門改修工事 2か所（高住、本高） ・樋門更新実施設計業務 1か所（江津） ・排水機場機能保全計画策定業務 1か所（西門通寺）	
【事業の実績】 令和5年度 4,114千円 令和6年度 17,309千円 令和7年度 4,500千円（見込み） ※その他財源の負担金は、地元負担金	

農055	項 目 名 危険ため池廃止事業費		新規 事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	233
年度	R8	所 属 名 農林水産部 農村整備課	
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農地費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	11,000		
本年度要求額	21,061		
総務部長段階査定額	21,061		
市長段階査定額	21,061		
区 分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	21,061	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	0	財産収入	0
計	21,061	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317

【12次総の施策体系】 3104

【事業の経過及び背景】
平成30年7月豪雨では、広島県を中心として32か所のため池が決壊し、ため池の下流に大きな被害を与えた。ハード・ソフト両面からの災害に強い地域づくりを推進する必要がある。

【事業の目的及び効果】
使われていない危険ため池を廃止し、地域の防災・減災対策を図る。

【事業の内容】
未利用の防災重点ため池について、地元から要望のあるものを廃止する。
・ため池廃止工事 18,000千円 (菖蒲谷池)
・ため池廃止測量設計業務 3,000千円 (湯谷池(美和地区))

【事業の実績】
令和5年度 8,000千円 (全額繰越)
令和6年度 13,943千円
令和7年度 11,000千円 (見込み)

農056	項 目 名 ため池改修事業費		新規 事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	233
年度	R8	所 属 名 農林水産部 農村整備課	
会計名			
一般会計			
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農地費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	24,600		
本年度要求額	86,258		
総務部長段階査定額	86,258		
市長段階査定額	86,258		
区 分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	71,400	負担金	0
地方債	14,800	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	58	財産収入	0
計	86,258	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317

【12次総の施策体系】 3104

【事業の経過及び背景】
近年、豪雨等によりため池等の決壊による被害が相次いでいる。平成25年のため池一斉点検調査において、豪雨耐性等が不足しているため池について対策整備を行う。

【事業の目的及び効果】
該当ため池を防災工事することにより、災害時での危険を未然に防止する。

【事業の内容】
・ため池の改修工事
実施箇所：湯谷池(倭文地区)
実施期間：令和6年度～令和8年度
総事業費：112,600千円
令和8年度：改修工事 68,000千円 (国55%、県25%、市20%)
・ため池改修工事実施計画策定業務
実施箇所：新城寺池(玉津地区)
令和8年度：実施計画策定業務 17,000千円 (国100%)

【事業の実績】
令和5年度 14,250千円
令和6年度 19,920千円
令和7年度 24,600千円 (見込み)

農057	項目名	ため池監視システム管理費	新規事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農地費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,260		
本年度要求額	1,260		
総務部長段階査定額	1,260		
市長段階査定額	1,260		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	945	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	315	
	計	1,260	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317	
【12次総の施策体系】 3104	
【事業の経過及び背景】 ため池の下流地域では、豪雨時の浸水リスクが高く、決壊した際の被害も甚大なため、早急な避難が求められる。また、農業用ため池の管理はほとんどが地元によって行われている実情があり、雨中での作業は大変危険なものとなっている。	
【事業の目的及び効果】 遠隔でため池の情報を得ることができる監視システムを導入することで、災害時の迅速な対応を行える。	
【事業の内容】 ・ため池監視システムの維持経費 21か所 各59,994円/年 負担区分：国50%、県25%、市25%	
【事業の実績】 令和5年度 180千円 令和6年度 960千円 令和7年度 1,260千円（見込み）	

農058	項目名	中山間地域等直接支払交付金	新規事業
予算書項目	中山間地域等直接支払事業費	ページ	235
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業構造改善事業費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	107,415		
本年度要求額	89,267		
総務部長段階査定額	89,267		
市長段階査定額	89,267		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	66,368	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	22,899	
	計	89,267	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】 総務係 0857-30-8316	
【12次総の施策体系】 3104	
【事業の経過及び背景】 農業の生産条件が不利な地域における耕作放棄地の増加が懸念されている。	
【事業の目的及び効果】 農業の生産条件が不利な地域において、農業生産に必要な水路や農道の維持管理等に関する活動を支援することで、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。	
【事業の内容】 ・中山間地域等直接支払交付金 補助対象：102組織（70,033a） 交付額：87,738千円 負担区分：国50%、県25%、市25%（三法地域） 国33%、県33%、市34%（特認地域）	
【事業の実績】 令和5年度 106,381千円 令和6年度 106,185千円 令和7年度 89,597千円（見込み）	

農059	項目名	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】	新規事業
予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	291
年度	R8	所属名	
		農林水産部 農村整備課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317	
款	災害復旧費	【12次総の施策体系】 3104	
項	災害復旧費	【事業の経過及び背景】 令和5年台風第7号により農地・農業用施設が被災した。	
目	農林水産業施設災害復旧費	【事業の目的及び効果】 農業経営への影響を最小限に留めるため、可能な限り早期に工事を行い、災害からの復旧を図る。	
(単位:千円)		【事業の内容】 ・補助災害復旧事業 12,075千円	
前年度当初予算額	351,860	【事業の実績】	
本年度要求額	12,368	令和5年度 541,246千円	
総務部長段階査定額	12,075	令和6年度 273,279千円	
市長段階査定額	12,075	令和7年度 351,860千円 (見込み)	
		【その他財源の内訳】	
		分担金 0	
		負担金 0	
		使用料 0	
		手数料 0	
		財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		諸収入 0	
		その他 0	
区分		本年度予算額	
財源内訳	国・県支出金	2,300	
	地方債	9,700	
	その他	0	
	一般財源	75	
	計	12,075	
備考欄			

都001	項目名	鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会負担金	新規事業
予算書項目	各種期成同盟会費	ページ	245
年度	R8	所属名	都市整備部 都市企画課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	土木管理費		
目	土木総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	190		
本年度要求額	190		
総務部長段階査定額	190		
市長段階査定額	190		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	190	
	計	190	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】 事業調整係 0857-30-8322	
【12次総の施策体系】 3401	
【事業の経過及び背景】 鳥取豊岡宮津自動車道（山陰近畿自動車道）は、平成6年に地域高規格道路として計画された。全長約120kmのうち、事業化されていない区間があり全線開通の目的が立っていない。関西圏を含めた広域観光の振興のためにも、1日も早い全線開通が待ち望まれている。	
【事業の目的及び効果】 鳥取市から兵庫県豊岡市を経て、京都府宮津市の間における地域高規格道路の早期建設を図ることを目的とする。	
【事業の内容】 鳥取・豊岡間地域高規格道路の建設推進について関係機関へ陳情要望等を行う。	
【事業の実績】	
令和5年度	122千円
令和6年度	122千円
令和7年度	190千円

都002	項目名	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金	新規事業
予算書項目	各種期成同盟会費	ページ	245
年度	R8	所属名	都市整備部 都市企画課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	土木管理費		
目	土木総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	50		
本年度要求額	50		
総務部長段階査定額	50		
市長段階査定額	50		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	50	
	計	50	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】 事業調整係 0857-30-8322	
【12次総の施策体系】 3404	
【事業の経過及び背景】 平成25年6月、山陰を縦貫し北陸に接続するとともに山陰から京都、大阪などの京阪神を直接結びニア方式を含めた新幹線の建設を目指し、「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」が設立された。	
【事業の目的及び効果】 昭和48年に基本計画が閣議決定されている山陰新幹線の整備計画路線への格上げ、新幹線整備に係る予算拡大の実現等を目的とする。	
【事業の内容】 山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議の運営に要する経費を負担する。 (1) 国及び関係機関・団体への要望、広域的・全国的な啓発等に関する事業 (2) 整備推進のための調査・研究、情報収集・交換等 会員は、7府県（山口、島根、鳥取、兵庫、大阪、京都、福井）の市町村長。 ※会長：鳥取市長 事務局長：京丹後市長	
【事業の実績】	
令和5年度	50千円
令和6年度	50千円
令和7年度	50千円

都003	項目名	要望活動事務費	新規事業
予算書項目	要望活動費	ページ	245
年度	R8	所属名 都市整備部 都市企画課	
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	土木管理費		
目	土木総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,551		
本年度要求額	1,647		
総務部長段階査定額	1,647		
市長段階査定額	1,647		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	33	
	一般財源	1,614	
	計	1,647	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322	
【12次総の施策体系】3401	
【事業の経過及び背景】 道路整備・治水対策等について、各期成同盟会での要望活動を行っているが、未だ整備の進んでいない部分が多く見受けられる。 また、高速鉄道についても、山陰新幹線は昭和48年に基本計画路線として閣議決定されて以降、計画の進展が見られず、太平洋側に比べて日本海側の新幹線整備は取り残されている状況にある。	
【事業の目的及び効果】 各期成同盟会等の要望活動により事業のさらなる推進を図る。	
【事業の内容】 中国治水期成同盟会連合会、全国街道交流会議、道路整備促進期成同盟会、山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議など、鳥取市が事務局をもっていない各期成同盟会、協議会等における要望活動費及び市長随員費用等。	
【事業の実績】 令和5年度 940千円 令和6年度 1,202千円 令和7年度 1,551千円（見込み）	
※その他財源の諸収入は、津ノ井バイパス整備負担金	

都004	項目名	国土強靱化地域計画策定事業費	新規事業	○
予算書項目	国土強靱化地域計画策定事業費	ページ	247	
年度	R8	所属名 都市整備部 都市企画課		
会計名				
一般会計				
款	土木費			
項	土木管理費			
目	土木総務費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	144			
総務部長段階査定額	144			
市長段階査定額	144			
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	144		
	計	144		
備考欄				

事業の概要	
【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322	
【12次総の施策体系】3401	
【事業の経過及び背景】 本市では、大規模自然災害発生に備え、事前・被災後の復旧復興までの対応を示す「鳥取市国土強靱化地域計画（第1期）」（計画期間：平成31年度～令和5年度）を平成31年3月に策定。現在、令和6年3月策定の第2期計画（計画期間：令和6年度～10年度）のもと「災害に強く安心して暮らせるまちづくり」に向けた取組を継続している。	
【事業の目的及び効果】 第2期計画の中間年度（令和8年度）に取組の進捗確認、第2期計画の策定後に発生した大規模災害から得られた教訓や社会情勢の変化、新たに顕在化した課題等に対応するため、必要に応じて地域計画の見直しを行い、県・国計画、令和7年6月に閣議決定された実施中期計画等との調和を図る。	
【事業の内容】 中間見直し作業を行い、策定委員会で、その見直し内容について確認を行う。 ※策定委員会の開催に係る経費 144千円	
【事業の実績】 平成31年3月 鳥取市国土強靱化地域計画（第1期）策定（計画期間：平成31年度～令和5年度） 令和6年3月 鳥取市国土強靱化地域計画（第2期）策定（計画期間：令和6年度～令和10年度）	

都005	項目名	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金	新規事業
予算書項目	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金	ページ	253
年度	R8	所属名	都市整備部 都市企画課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 事業調整係 0857-30-8322	
款	土木費	【12次総の施策体系】 3401	
項	河川費	【事業の経過及び背景】	
目	河川総務費	県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に要する経費については、地方財政法及び県議会議決において市の負担額が定められている。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	75,550	災害に強いまちづくりを進めるため、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に要する経費の一部を市が負担することにより、急傾斜地崩壊対策事業の促進を図る。	
本年度要求額	68,400	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	68,400	県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に要する経費を負担。 ※令和8年度 梶掛地区など33件（交付金20件・単県13件）	
市長段階査定額	68,400	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和5年度 22,269千円	
財源内訳		令和6年度 13,071千円	
国・県支出金	0	令和7年度 35,098千円（見込み）	
地方債	68,400		
その他	0		
一般財源	0		
計	68,400		
備考欄			

都006	項目名	都市計画策定費	新規事業
予算書項目	都市計画策定費	ページ	255
年度	R8	所属名	都市整備部 都市企画課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 都市計画係 0857-30-8323	
款	土木費	【12次総の施策体系】 3401	
項	都市計画費	【事業の経過及び背景】	
目	都市計画総務費	平成29年3月改定の「鳥取市都市計画マスタープラン」では市民生活の持続的確保・安心して住み続けられる地域づくりの推進のため『多極ネットワーク型コンパクトシティ』を都市の将来像としている。	
(単位:千円)		令和7年度より、人口減少が進む中、都市機能を中心拠点や生活拠点に集約し、周辺地域や公共交通沿線の居住誘導を進めることで、コンパクト・プラス・ネットワークの実現を目指す『立地適正化計画』の策定に着手し、学識経験者などで構成する「都市計画検討委員会」を7年度中に3回開催し議論を進めている。	
前年度当初予算額	201	・学識経験者（大学教授2名）・団体代表者（経済団体・建築士会・自治連合会・交通事業者など10人）・公募（2人）・オブザーバ（中国地方整備局・県）	
本年度要求額	16,376	【事業の目的及び効果】	
総務部長段階査定額	16,376	人口が減少する中でも、医療・福祉・子育て支援等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導しつつ、その周辺や公共交通の沿線に居住を誘導すること、さらに災害リスクを踏まえた防災まちづくりの目標を設定することで、人口密度を維持し、生活サービスやコミュニティの持続性を高める。	
市長段階査定額	16,376	【事業の内容】	
区分	本年度予算額	令和7年度は、検討委員会を3回開催し、将来の都市構造に関する基本的な方向性の設定、定量的に算出した市内の拠点性や生活利便性を表す『拠点レベル』により鳥取都市計画区域においては『都市機能誘導を目指す範囲』と『居住の誘導を目指す範囲』を設定し、居住・都市機能誘導区域の詳細エリアの検討と災害リスクの現状把握を行った。	
財源内訳		令和8年度には、設定したベースエリアをもとに、災害リスクに対する課題の抽出及び整理を行い、居住誘導区域及び都市機能誘導区域を設定したうえで、誘導施設・誘導施策の検討を進め、『鳥取市立地適正化計画』を策定する。	
国・県支出金	8,020	・立地適正化計画策定のための業務委託費及び印刷製本費等	
地方債	0	・都市計画検討委員会の開催に要する経費	
その他	0		
一般財源	8,356		
計	16,376		
備考欄		【事業の実績】	
		令和5年度 -	
		令和6年度 14,603千円（7年度繰越）	
		令和7年度 264千円（見込み）	

都007	項目名	街なみ環境助成費	新規事業																				
予算書項目	街なみ環境整備事業費	ページ	255																				
年度	R8	所属名	都市整備部 都市企画課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】 都市計画係 0857-30-8342 【12次総の施策体系】 3401 【事業の経過及び背景】 城下町の風情が残る鹿野町の街なみ環境整備においては、歴史・文化を活かした地域活性化を図るため、住宅等の修景整備の促進・NPO法人による古民家活用・町内会組織によるまちづくり事業等、住民主体の取組が積極的に進められている。 【事業の目的及び効果】 城下町の歴史的特性を活かした街なみを環境整備することにより、住民の定住促進、観光振興による地域活性化及び地域文化の継承を図る。 【事業の内容】 鹿野地域街なみ環境整備促進区域内において、鹿野らしさに配慮し、街なみ景観向上に寄与する住宅等の環境整備改善に対して補助金を交付する。 【事業の実績】 街なみ整備事業補助金の交付件数 令和5年度 2件 令和6年度 1件 令和7年度 0件																					
一般会計																							
款	土木費																						
項	都市計画費																						
目	都市計画総務費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	1,295																						
本年度要求額	1,295																						
総務部長段階査定額	1,295	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	1,295																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	730																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	565																					
	計	1,295																					
備考欄																							

都008	項目名	県営街路事業負担金	新規事業																				
予算書項目	県営事業負担金	ページ	257																				
年度	R8	所属名	都市整備部 都市企画課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】 事業調整係 0857-30-8322 【12次総の施策体系】 3401 【事業の経過及び背景】 県営街路事業・電線共同溝整備事業に要する経費については、地方財政法及び県議会議決において市の負担額が定められている。 【事業の目的及び効果】 県が実施する市域内の県道街路事業・電線共同溝整備事業に要する経費の一部を市が負担することにより、幹線道路の整備を促進し、交通渋滞の緩和、利便性の確保を図る。 また、豊かで活力ある地域社会の形成や安心して暮らせる社会構築に大きな役割を果たしていく。 【事業の内容】 県が実施する街路事業に要する経費の一部を負担。 ※8年度 一般県道八坂鳥取停車場線(大工町土居葉線宮長工区)など3件 県が実施する電線共同溝整備事業に要する経費の一部を負担。 ※8年度 鳥取国府線(末広温泉町工区)など2件 【事業の実績】 令和5年度 29,563千円 令和6年度 8,916千円 令和7年度 40,950千円(見込み)																					
一般会計																							
款	土木費																						
項	都市計画費																						
目	街路事業費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	36,500																						
本年度要求額	51,505																						
総務部長段階査定額	51,505	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	51,505																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	51,400																					
	その他	0																					
	一般財源	105																					
	計	51,505																					
備考欄																							

都009	項目名	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会負担金	新規事業
予算書項目	運輸交通関係負担金等	ページ	167
年度	R8	所属名	都市整備部 交通政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326		
款 総務費	【12次総の施策体系】3404		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	「鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会」は、JR山陰本線等における鉄道の利用促進を図るとともに、鉄道利用者や地域住民に対するサービス向上と沿線地域の発展に寄与することを目的に、平成23年3月に鳥取県、鳥取市、岩美町、商工会議所、JR西日本等で設立された。		
(単位:千円)	人口減少や自家用車中心の生活スタイルの拡大により、公共交通の利用が減少する中、本市の生活交通の重要な役割を担う鉄道路線の確保維持を図るため、さらなる利便性の向上と利用促進が求められている。		
前年度当初予算額	1,000	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	800	鉄道の利便性向上及び利用促進を図ることで、地域経済産業の振興及び地域の持続的発展に寄与する。	
総務部長段階査定額	800	【事業の内容】	
市長段階査定額	800	・団体旅行、学校活動及び魅力ある旅行商品等への支援 ・利用促進PRキャンペーン・イベントの実施 ・駅アクセスの調整	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		市負担金額	
国・県支出金	0	令和5年度 800千円	
地方債	0	令和6年度 800千円	
その他	0	令和7年度 1,000千円	
一般財源	800		
計	800		
備考欄			

都010	項目名	鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金	新規事業
予算書項目	空港利用促進費	ページ	167
年度	R8	所属名	都市整備部 交通政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326		
款 総務費	【12次総の施策体系】3404		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	「鳥取空港の利用を促進する懇話会」は、鳥取空港の利用促進と利便性の向上を図るため、昭和61年11月6日に鳥取県及び県東・中部地区、兵庫県但馬地区の自治体、民間企業、鳥取商工会議所等の経済団体で設立された。国土交通省による羽田発着枠政策コンテストによる5便化を実現し、平成27年3月1日に「鳥取砂丘コナン空港」と愛称化。		
(単位:千円)	5便化の継続と更なる増便に向けた利用促進、また、訪日外国人等の新たな利用拡大を図るため国際線の定期便化が求められている。		
前年度当初予算額	12,510	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	9,510	鳥取空港の利用促進を図ることで地域経済産業の振興及び住民の生活向上に寄与する。	
総務部長段階査定額	9,510	【事業の内容】	
市長段階査定額	9,510	事務局：鳥取市、鳥取県、鳥取商工会議所 ・鳥取-東京便の利用率向上への取組 ・鳥取-東京便の5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・国際線の定期便化への取組	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		市負担金額	
国・県支出金	0	令和5年度 9,381千円	
地方債	0	令和6年度 10,200千円	
その他	0	令和7年度 10,010千円（見込み）	
一般財源	9,510		
計	9,510		
備考欄			

都011	項目名	地方バス路線維持対策補助金	新規事業																				
予算書項目	地方バス路線維持対策費	ページ	169																				
年度	R8	所属名	都市整備部 交通政策課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326 【12次総の施策体系】3404 【事業の経過及び背景】 路線バスは、最も身近な公共交通手段であり、地域住民、特に高齢者や学生などの交通弱者にとっては欠くことのできない交通機関である。しかし、少子化の進展や自家用車の普及などにより、バス利用者は減少傾向にあり、多くの路線が赤字運行になっている。このため、国・県・市がバス事業者に対し補助金を交付してバス路線の維持に努めている。 【事業の目的及び効果】 高齢者や児童、生徒などの移動手段を確保するため、バス事業者へ補助金を交付することで、中山間地域をはじめとする鳥取市内の生活交通を維持する。 【事業の内容】 令和7年10月1日から令和8年9月30日までの不採算路線について、バス事業者（日本交通、日ノ丸自動車）に対して補助を行う。 【事業の実績】 地方バス路線維持対策補助金実績 令和5年度 153,922千円 令和6年度 280,497千円 令和7年度 392,443千円（見込み）																					
一般会計																							
款	総務費																						
項	総務管理費																						
目	交通対策費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	315,288																						
本年度要求額	383,936																						
総務部長段階査定額	379,836	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	379,836																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	29,100																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	350,736																						
計	379,836																						
備考欄																							

都012	項目名	バス代替タクシー運賃補助金	新規事業																				
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	169																				
年度	R8	所属名	都市整備部 交通政策課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326 【12次総の施策体系】3404 【事業の経過及び背景】 バス路線の再編・減便・廃止に伴う代替交通として、タクシー事業者と連携し乗合タクシーを運行している。 平成13年10月 湖南地区（吉岡洞谷線） 平成22年1月 米里地区（米里線） 平成24年10月 河原町（西郷線） 平成28年4月 国府町（雨滝上地線） 令和5年4月 神戸地区（神戸線） 【事業の目的及び効果】 乗合タクシーの運行により地域の実情にあった生活交通を確保し、地域の持続的発展に寄与する。 【事業の内容】 乗合タクシーを運行する事業者に対し運行経費から運賃を差し引いた金額を補助する。 【運行地区】 湖南地区 吉岡洞谷線 日ノ丸ハイヤー(株) 米里地区 米里線 日本交通(株) 河原町 西郷線 日ノ丸ハイヤー(株) 国府町 雨滝上地線 日ノ丸ハイヤー(株) 神戸地区 神戸線 日ノ丸ハイヤー(株) 【事業の実績】 利用者数 事業費 令和5年度 17,267人 38,256千円（車両購入費含む） 令和6年度 15,449人 31,919千円 令和7年度 13,080人 35,197千円（見込み）																					
一般会計																							
款	総務費																						
項	総務管理費																						
目	交通対策費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	32,869																						
本年度要求額	34,165																						
総務部長段階査定額	33,513	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	33,513																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	3,800																						
地方債	14,600																						
その他	0																						
一般財源	15,113																						
計	33,513																						
備考欄																							

都013	項目名	市町村有償運送事業費	新規事業
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	169
年度	R8	所属名	都市整備部 交通政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326		
款 総務費	【12次総の施策体系】3404		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 路線バスや乗合タクシーの減便や廃止等に伴う代替交通として、市有償バスを運行している。 平成18年7月 気高町、鹿野町（気高循環バス） 平成23年4月 青谷町絹見（絹見バス） 令和6年4月 青谷地域（青谷バス）		
目 交通対策費	【事業の目的及び効果】 市有償バスの運行により地域の実情にあった生活交通を確保し、地域の持続的発展に寄与する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 市有償バスの運行 [運行地域] [路線バス名] [運行事業者] 気高町 気高バス (株)翼運輸 鹿野町 鹿野バス (株)翼運輸 青谷町 青谷バス (株)翼運輸(マイクロバス) (有)ニュー青谷タクシー(ワゴン車) 運賃:中学生以上200円、小学生100円、障がい者等100円、幼児無料		
前年度当初予算額	53,038	【事業の実績】	
本年度要求額	53,882	利用者数 事業費 令和5年度 12,580人 33,662千円 令和6年度 46,897人 51,176千円 令和7年度 47,000人 53,038千円(見込み)	
総務部長段階査定額	53,634	※その他財源の使用料は、市有償バス使用料	
市長段階査定額	53,634	【その他財源の内訳】	
区分	本年度予算額	分担金 0 負担金 0 使用料 6,954 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
財源内訳	国・県支出金 7,399 地方債 22,900 その他 6,954 一般財源 16,381 計 53,634	【備考欄】	

都014	項目名	地域主体型生活交通確保支援事業費	新規事業
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	169
年度	R8	所属名	都市整備部 交通政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326		
款 総務費	【12次総の施策体系】3404		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 運転者不足が深刻化し、路線バスや乗合タクシー、市有償バスの廃止や減便が続いている。また、公共交通空白地域での自家用車を運転できない高齢者や学生の移動手段の確保が課題となっている。このような中、NPO法人等が運行主体となる自家用有償旅客運送(共助交通)を全市的に推進している。 ・NPO法人OMUなど7団体		
目 交通対策費	【事業の目的及び効果】 共助交通の運行により地域の実情にあった生活交通を確保し、地域の持続的発展に寄与する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) NPO法人やまちづくり協議会などが取り組む共助交通に関する事業費の支援 補助率:10/10 補助対象経費:運行経費(人件費、燃料代、保険料等) (2) 共助交通の運行管理業務のサポート 専門事業者(有)に運転手の業務前点呼、運行記録の作成等、運行管理支援業務を委託。		
前年度当初予算額	49,147	【事業の実績】	
本年度要求額	49,184	利用者数 事業費 令和5年度 30,618人 37,446千円 令和6年度 30,919人 44,258千円 令和7年度 30,768人 49,147千円(見込み)	
総務部長段階査定額	48,396	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	48,396	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額	【備考欄】	
財源内訳	国・県支出金 20,000 地方債 24,400 その他 0 一般財源 3,996 計 48,396		

都015	項目名	100円循環バス利用促進費	新規事業
予算書項目	100円循環バス運行事業費	ページ	169
年度	R8	所属名 都市整備部 交通政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326		
款 総務費	【12次総の施策体系】3404		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 中心市街地活性化を目的に、平成16年1月から100円循環バス「くる梨」を運行。少子高齢化が進展する中、高齢者や、学生などの生活交通としての役割も担っており、安全・安心で利便性の高い運行が求められている。		
目 交通対策費	【事業の目的及び効果】 時刻表の配布やチラシ等を用いたPR活動を行うことにより、100円循環バス「くる梨」の利用促進を図る。 また、老朽化した車両の更新を行うことで運行の安全を確保する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・時刻表の作成及び配布(市民課転入窓口、観光案内所、公共施設等) ・チラシ等の作成 ・バスロケーションシステムによる位置情報の提供 ・赤コース車両1台の更新		
前年度当初予算額	1,562	【事業の実績】	
本年度要求額	32,875	利用者数	
総務部長段階査定額	32,875	令和5年度 319,139人	
市長段階査定額	32,875	令和6年度 328,406人	
区分	本年度予算額	令和7年度 340,600人(見込み)	
財源内訳	国・県支出金 5,000	その他	
	地方債 0	分担金 0	
	その他 0	負担金 0	
	一般財源 27,875	使用料 0	
計	32,875	手数料 0	
		財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		諸収入 0	
		その他 0	
備考欄			

都016	項目名	100円循環バス運行費負担金	新規事業
予算書項目	100円循環バス運行事業費	ページ	169
年度	R8	所属名 都市整備部 交通政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326		
款 総務費	【12次総の施策体系】3404		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市民の利便性の向上を目的に、平成14年10月1日から試験運行を行い、100円循環バス運行ルート等の改善、バス活性化協議会での審議等を経て、平成16年1月から本格運行を開始し、平成25年4月からは緑コースの運行を開始した。 令和元年10月1日から路線再編に伴う試験運行を行い、令和3年4月から本格運行を開始。		
目 交通対策費	【事業の目的及び効果】 中心市街地活性化、公共交通機関の利用促進、市中心部における公共交通空白地域の解消等。		
(単位:千円)	【事業の内容】 上記の目的を達成するため、市街地をワンコイン(100円)で移動することが出来る交通機関(バス)を整備する。 (運行事業者)日ノ丸自動車(株)、日本交通(株)(道路運送法第4条による運行) (運行時間)8:00~18:53 (運行回数)平日93便(31便×3コース)、土日祝84便(28便×3コース)		
前年度当初予算額	100,947	【事業の実績】	
本年度要求額	102,671	市負担金額	
総務部長段階査定額	102,182	利用者数	
市長段階査定額	102,182	令和5年度 88,745千円 319,139人	
区分	本年度予算額	令和6年度 97,585千円 328,406人	
財源内訳	国・県支出金 11,700	令和7年度 105,674千円 340,600人(見込み)	
	地方債 0	分担金 0	
	その他 0	負担金 0	
	一般財源 90,482	使用料 0	
計	102,182	手数料 0	
		財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		諸収入 0	
		その他 0	
備考欄			

都017	項目名	鳥取港振興会对策費	新規事業
予算書項目	鳥取港振興対策費	ページ	255
年度	R8	所属名	都市整備部 交通政策課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	港湾費		
目	港湾総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	11,833		
本年度要求額	14,013		
総務部長段階査定額	13,413		
市長段階査定額	13,413		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	13,413	
	計	13,413	
備考欄			

事業の概要		
【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326		
【12次総の施策体系】3404		
【事業の経過及び背景】 鳥取港振興会は、官民一体となって、鳥取港の施設整備及び利用促進に取り組み、地域経済産業の発展に寄与することを目的として、昭和59年12月5日に設立。市、県、商工会議所及び民間団体で構成され、会員数は55団体。(令和7年度総会時点)		
【事業の目的及び効果】 鳥取港振興会の活動を支援することで、地域産業の振興と地域経済の活性化に寄与する。		
【事業の内容】 鳥取港振興会活動費の補助 ※対象経費の1/2(県市折半) ・ポートセールス活動・外国貿易促進事業・クルーズ船誘致事業 ・港湾振興に関する情報収集、調査、分析 ・港湾施設の整備に係る要望活動		
【事業の実績】		
	貨物取扱量	市補助金額
令和5年度	39万t	5,824千円
令和6年度	47万t	2,920千円
令和7年度	39万t	9,823千円(見込み)

都018	項目名	街なか居住推進事業費	新規事業
予算書項目	都心居住推進事業費	ページ	169
年度	R8	所属名	都市整備部 まちなか未来創造課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	6,350		
本年度要求額	6,618		
総務部長段階査定額	5,433		
市長段階査定額	5,433		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	533	
	地方債	0	
	その他	2,000	
	一般財源	2,900	
	計	5,433	
備考欄			

事業の概要		
【問合せ先】まちなか未来創造課 0857-30-8331		
【12次総の施策体系】3402		
【事業の経過及び背景】 第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画では、「若年層のまちなか暮らしの促進」を目標に掲げ、空き家等の利活用促進や子育てにやさしい生活環境づくりなどにより、若年層を中心とした新規居住者の増加を目指すこととしている。		
【事業の目的及び効果】 空き家を活用した居住に関する支援やまちなか居住に関する情報発信などを行うことにより、中心市街地への転入促進を図る。		
【事業の内容】 ・まちなか居住推進のための公的支援の実施(改修支援・残置物処分) 改修支援 [補助率1/2(県1/3、市1/6)・上限500千円] 残置物処分 [補助率3/4(県1/2、市1/4)・上限300千円] ・まちなか居住体験施設整備運営事業の実施(空き家借上げ・運営費)		
【事業の実績】		
令和5年度	7,037千円	
令和6年度	7,046千円	
令和7年度	6,350千円(見込み)	
※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		

都019	項目名	中心市街地活性化助成事業費	新規事業																		
予算書項目	中心市街地活性化推進事業費	ページ	241																		
年度	R8	所属名	都市整備部 まちなか未来創造課																		
会計名		事業の概要 【問合せ先】まちなか未来創造課 0857-30-8331 【12次総の施策体系】3402 【事業の経過及び背景】 中心市街地では、車社会の進展に伴う都市機能や居住の郊外化等により、少子高齢化や歩行者通行量の減少、空き地・空き店舗の増加が進展しており、魅力と賑わいの創出による再生への取組が求められている。 【事業の目的及び効果】 中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援し、中心市街地の集客と賑わい創出を図るほか、中心市街地の活性化に取り組む人材育成につなげる。 【事業の内容】 ・鳥取市中心市街地賑わい活力向上事業補助金（賑わい創出イベント開催事業）の交付 [補助率4/5・上限200千円] 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>[補助件数]</td> <td>[参加者数]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和5年度:</td> <td>8件</td> <td>15,071人</td> <td>1,600千円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度:</td> <td>10件</td> <td>19,371人</td> <td>1,970千円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度:</td> <td>11件</td> <td>19,000人(見込み)</td> <td>2,000千円(見込み)</td> </tr> </table> ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			[補助件数]	[参加者数]		令和5年度:	8件	15,071人	1,600千円	令和6年度:	10件	19,371人	1,970千円	令和7年度:	11件	19,000人(見込み)	2,000千円(見込み)		
	[補助件数]			[参加者数]																	
令和5年度:	8件			15,071人	1,600千円																
令和6年度:	10件			19,371人	1,970千円																
令和7年度:	11件	19,000人(見込み)	2,000千円(見込み)																		
一般会計																					
款	商工費																				
項	商工費																				
目	商工業振興費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	2,000																				
本年度要求額	2,000																				
総務部長段階査定額	2,000	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>2,000</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	2,000	諸収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	2,000																				
諸収入	0																				
その他	0																				
市長段階査定額	2,000																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	2,000																				
一般財源	0																				
計	2,000																				
備考欄																					

都020	項目名	中心市街地活性化推進事業費	新規事業																		
予算書項目	中心市街地活性化推進事業費	ページ	241																		
年度	R8	所属名	都市整備部 まちなか未来創造課																		
会計名		事業の概要 【問合せ先】まちなか未来創造課 0857-30-8331 【12次総の施策体系】3402 【事業の経過及び背景】 令和5年度より、第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地活性化のための事業推進を図っている。 【事業の目的及び効果】 中心市街地活性化基本計画に掲載する事業を推進し、中心市街地の活性化を図る。 具体的には、中心市街地に関する市民への情報発信として、エリア情報誌「わっか」の作成や、来街者の回遊性を高めるためのルートマップ「まちなかマップ」の発行、デジタルサイネージの活用等を行う。 【事業の内容】 ・中心市街地エリア情報誌「わっか」の発行 ・Web版「わっか」の運用 ・まちなかデジタルサイネージの運用 ・中心市街地回遊ルートマップ「まちなかマップ」の発行 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>3,576千円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>3,316千円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>5,314千円(見込み)</td> </tr> </table>		令和5年度	3,576千円	令和6年度	3,316千円	令和7年度	5,314千円(見込み)												
令和5年度	3,576千円																				
令和6年度	3,316千円																				
令和7年度	5,314千円(見込み)																				
一般会計																					
款	商工費																				
項	商工費																				
目	商工業振興費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	4,504																				
本年度要求額	3,438																				
総務部長段階査定額	3,438	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
諸収入	0																				
その他	0																				
市長段階査定額	3,438																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	3,438																				
計	3,438																				
備考欄																					

都021	項目名	中心市街地活性化基本計画策定費	新規事業	○
予算書項目	中心市街地活性化推進事業費	ページ	241	所属名
年度	R8	都市整備部 まちなか未来創造課		
会計名				
一般会計				
款	商工費			
項	商工費			
目	商工業振興費			
事業の概要				
【問合せ先】まちなか未来創造課 0857-30-8331				
【12次総の施策体系】3402				
【事業の経過及び背景】 平成19年の中心市街地活性化法の改正を受け、第1期鳥取市中心市街地活性化基本計画を策定し、国から認定を受けた。令和5年には第4期計画（計画期間：令和5年4月から令和10年3月まで）が策定・認定されている。				
【事業の目的及び効果】 現行計画期間の終了後、引き続き中心市街地の再生に取り組むため、令和10年度に新たな中心市街地活性化基本計画の策定を予定している。中心市街地の活性化に関する市民ニーズ等を把握し、計画策定の根拠資料とするため、基礎データの取りまとめを行う。				
【事業の内容】 ・中心市街地活性化に関する市民アンケートの実施 [アンケート数：4,000件予定、対象：全市域から無作為抽出]				
備考欄				

(単位:千円)	
前年度当初予算額	0
本年度要求額	2,130
総務部長段階査定額	1,858
市長段階査定額	1,858
区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,858
計	1,858

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

都022	項目名	暮らし・にぎわい再生事業費	新規事業	○
予算書項目	中心市街地活性化推進事業費	ページ	241	所属名
年度	R8	都市整備部 まちなか未来創造課		
会計名				
一般会計				
款	商工費			
項	商工費			
目	商工業振興費			
事業の概要				
【問合せ先】まちなか未来創造課 0857-30-8331				
【12次総の施策体系】3402				
【事業の経過及び背景】 居住人口の減少や郊外大型店の立地などの複合的な要因により、中心市街地の衰退が深刻化するなかにおいて、にぎわいと魅力の創出に資する事業の展開が求められている。				
【事業の目的及び効果】 中心市街地の再生を図るため、内閣総理大臣による中心市街地活性化基本計画の認定を受けた地区について、公益的な用途を含む都市機能の立地等に関して支援を行うことにより、中心市街地に都市機能の集積を推進する。				
【事業の内容】 ・暮らし・にぎわい再生事業費補助金（計画コーディネート業務支援）の交付 [補助率：2/3（国1/3、市1/3）]				
備考欄				

(単位:千円)	
前年度当初予算額	0
本年度要求額	6,667
総務部長段階査定額	6,667
市長段階査定額	6,667
区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	3,333
地方債	0
その他	0
一般財源	3,334
計	6,667

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

都023	項目名	まち歩き推進事業費	新規事業
予算書項目	中心市街地活性化推進事業費	ページ	241
年度	R8	所属名	都市整備部 まちなか未来創造課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】まちなか未来創造課 0857-30-8331		
款 商工費	【12次総の施策体系】3402		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 本市では、第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画に基づき、本計画に定める中心市街地区域内の「まち歩き推進ゾーン」において、ウォーカブルな環境を創出することで居心地が良く歩きたくなるまちなかの推進による中心市街地の活性化に取り組んでいる。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 居心地が良く歩きたくなるまちなかの実現に向けて、鳥取市中心市街地活性化協議会が実施する袋川周辺エリアの公共空間や遊休不動産を活用した実証事業に対して支援を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・鳥取市まち歩き推進実証事業補助金の交付 【補助率4/5・上限2,000千円】		
前年度当初予算額	2,000	【事業の実績】 鳥取市まち歩き推進実証事業補助金の交付: 1件 2,000千円 (見込み) 【令和7年度交付対象事業の概要】 実証事業名: まち歩き×砂アート体験イベント「TOTTORI SAND ART」 主催団体: 鳥取市中心市街地活性化協議会 実施期間: 令和7年11月1日～9日(9日間) 参加人数: 延べ591人	
本年度要求額	2,000	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	2,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,000	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	2,000	寄付金	0
一般財源	0	繰入金	2,000
計	2,000	諸収入	0
		その他	0
備考欄			

都024	項目名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費	新規事業
予算書項目	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費	ページ	255
年度	R8	所属名	都市整備部 まちなか未来創造課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】まちなか未来創造課 0857-30-8331		
款 土木費	【12次総の施策体系】3402		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 平成25年度に、中心市街地の玄関口である鳥取駅前に人が集まる魅力的な空間を生み出すことを目的に、市道駅前太平線の整備を行った。		
目 都市計画総務費	【事業の目的及び効果】 市道駅前太平線「バード・ハット」の活用に関する運営業務を地元商店街に委託し、イベント等の利活用促進を図る。 また、バード・ハットでのイベント開催を補助し、より魅力的なイベントとすることで、集客効果を高める。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・イベント開催に係る募集・相談・連絡調整・企画運営・広報業務等を新鳥取駅前地区商店街振興組合に委託 ・バード・ハットで開催されるイベントの経費助成 【補助率4/5・上限2,000千円】		
前年度当初予算額	6,538	【事業の実績】	
本年度要求額	6,727	イベント件数	参加者数
総務部長段階査定額	6,727	令和5年度: 18件	28,250人
市長段階査定額	6,727	令和6年度: 22件	29,000人
区分	本年度予算額	令和7年度: 20件	28,500人(見込み)
財源内訳			7,016千円
国・県支出金	0		6,170千円
地方債	0		6,538千円(見込み)
その他	5,263		
一般財源	1,464		
計	6,727		
備考欄	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		

都025	項目名	鳥取駅周辺再整備推進事業費	新規事業
予算書項目	鳥取駅周辺再整備推進事業費	ページ	255
年度	R8	所属名	都市整備部 まちなか未来創造課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	都市計画費		
目	都市計画総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	86,075		
本年度要求額	34,038		
総務部長段階査定額	34,038		
市長段階査定額	34,038		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	19,805	手数料	0
一般財源	14,233	財産収入	0
計	34,038	寄付金	0
		繰入金	19,805
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】まちなか未来創造課 0857-30-8331

【12次総の施策体系】3402

【事業の経過及び背景】
令和3年3月に、「鳥取駅周辺再生基本構想(第2期)」を策定し、令和5年度から、官民連携による「鳥取駅周辺リ・デザイン会議」を発足し、本構想に基づく「鳥取駅周辺再生基本計画」を令和6年6月に策定した。

【事業の目的及び効果】
「鳥取駅周辺再生基本計画」をもとに、交通ターミナルや複合施設の規模や配置・整備手法など、再整備に関する詳細な内容を示す、「鳥取駅周辺再生整備計画」の策定を目指す。

【事業の内容】
・鳥取駅周辺リ・デザイン会議等の開催
・鳥取駅周辺現地調査業務(測量)
・複合施設検討に向けた市民ワークショップの開催
・市民フォーラムの開催

【事業の実績】
令和6年度 50,616千円
令和7年度 86,075千円(見込み)

※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金

都026	項目名	普通河川改良事業費	新規事業
予算書項目	普通河川改良事業費	ページ	253
年度	R8	所属名	都市整備部 河川公園課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	河川費		
目	河川総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	130,000		
本年度要求額	81,500		
総務部長段階査定額	81,500		
市長段階査定額	81,500		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	81,500	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	0	財産収入	0
計	81,500	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】河川係 0857-30-8343

【12次総の施策体系】4101

【事業の経過及び背景】
台風や大雨等による河川災害を未然に防止するため、修繕対応等では補えない箇所について、年次的に河川の改良を行う必要がある。

【事業の目的及び効果】
治水及び環境衛生上、重要な河川・法定外水路の改良を行い、流域の浸水被害を軽減することで環境改善を図る。

【事業の内容】
河川災害を未然に防止するため、準用河川、治水及び環境衛生上重要な法定外水路の改修及び改良を行う。
・測量設計業務:江川
・改良工事:内海川、枝川

【事業の実績】
令和5年度 39,234千円
令和6年度 13,487千円
令和7年度 135,000千円(繰越含む)(見込み)

都027	項目名	治水対策事業費	新規事業																				
予算書項目	治水対策事業費	ページ	253																				
年度	R8	所属名	都市整備部 河川公園課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】河川係 0857-30-8343 【12次総の施策体系】4101 【事業の経過及び背景】 台風や大雨に伴う河川氾濫により宅地等への浸水被害が発生していることから、大雨等発生時の緊急対応や浸水対策を行う必要がある。 【事業の目的及び効果】 台風や大雨時に既存ポンプ施設等が円滑に稼働するよう点検及び修繕を行う。また、過去に浸水被害が発生した地域について、浸水対策を行い、市民生活の安全・安心を確保する。 【事業の内容】 既存ポンプ施設等の点検及び修繕、緊急排水ポンプ設置業務、浸水対策に係る工事など ・浸水対策工事：青谷地区 【事業の実績】 令和5年度 50,071千円 令和6年度 146,846千円（繰越含む） 令和7年度 189,994千円（繰越含む）（見込み）																					
一般会計																							
款	土木費																						
項	河川費																						
目	河川総務費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	159,994																						
本年度要求額	104,113																						
総務部長段階査定額	95,238	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	95,238																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	84,500																					
	その他	0																					
	一般財源	10,738																					
	計	95,238																					
備考欄																							

都028	項目名	小規模急傾斜地崩壊対策事業費	新規事業																				
予算書項目	急傾斜地崩壊対策事業費	ページ	253																				
年度	R8	所属名	都市整備部 河川公園課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】河川係 0857-30-8343 【12次総の施策体系】4101 【事業の経過及び背景】 土砂災害（がけ崩れ）の起こる恐れのある急傾斜地のうち、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業の対象とされていない保全人家5戸未満の急傾斜地において、小規模急傾斜地崩壊対策事業（斜面崩壊対策）を行う。 【事業の目的及び効果】 保全人家5戸未満の急傾斜地において、早期に対策が必要な箇所の対策事業を行い、市民生活の安全・安心を確保する。 【事業の内容】 小規模急傾斜地崩壊対策に係る測量設計業務及び工事など ・測量設計業務：小沢見地区、小西谷地区 ・崩壊対策工事：岩吉地区 【事業の実績】 令和5年度 96,556千円（繰越含む） 令和6年度 83,308千円（繰越含む） 令和7年度 32,450千円（繰越含む）（見込み）																					
一般会計																							
款	土木費																						
項	河川費																						
目	河川総務費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	32,450																						
本年度要求額	219,300																						
総務部長段階査定額	219,300	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	219,300																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	107,500																					
	地方債	111,800																					
	その他	0																					
	一般財源	0																					
	計	219,300																					
備考欄																							

都029	項目名	緑化推進事業費	新規事業
予算書項目	緑化推進事業費	ページ	255
年度	R8	所属名	都市整備部 河川公園課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	都市計画費		
目	都市計画総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	2,989		
本年度要求額	3,066		
総務部長段階査定額	3,066		
市長段階査定額	3,066		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,066		
計	3,066		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】公園係 0857-30-8344	
【12次総の施策体系】3401	
【事業の経過及び背景】 平成25年の全国都市緑化フェア開催を契機として、市民の緑化知識の定着、緑化意識の高揚を図る。また、湖山池公園を中心に緑化施策を展開し、緑豊かなガーデンシティ鳥取市として、住みやすい街づくりを推進する。	
【事業の目的及び効果】 市内の学校や街区公園等の身近なスポットへ、花壇の設置やボランティア団体の育成支援を行うことで、市民の緑化意識の高揚を図るとともに、さらなる緑化活動を推進する。	
【事業の内容】 ナチュラルガーデン関連業務（花壇設置、ボランティア育成支援など） 緑化推進業務（広場芝生化補助金など）	
【事業の実績】 令和5年度 2,933千円 令和6年度 2,449千円 令和7年度 2,989千円（見込み）	

都030	項目名	公園整備事業費	新規事業
予算書項目	公園整備費	ページ	257
年度	R8	所属名	都市整備部 河川公園課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	都市計画費		
目	都市公園整備費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	60,324		
本年度要求額	73,868		
総務部長段階査定額	73,868		
市長段階査定額	73,868		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	35,000		
地方債	36,500		
その他	2,368		
一般財源	0		
計	73,868		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】公園係 0857-30-8344	
【12次総の施策体系】3401	
【事業の経過及び背景】 都市公園等において、市民が集う憩いの場、良好な景観、豊かな地域づくりに資する空間の形成を推進する。	
【事業の目的及び効果】 市民が集う都市公園・近隣公園・街区公園及び公共空地の整備を進めることにより、安全・安心に利用できる公園づくりを推進する。	
【事業の内容】 ・公園施設の更新 : 桜谷南公園、美萩野三角公園、北園2号公園、宮長いなば公園、大寺屋1号公園、湖山池公園 ・県事業に伴う移転工事 : 高住公共空地	
【事業の実績】 令和5年度 117,635千円（繰越含む） 令和6年度 148,359千円（繰越含む） 令和7年度 155,024千円（繰越含む）（見込み）	
※その他財源の諸収入は、移転補償費	

都031	項目名	都市公園等管理費	新規事業
予算書項目	公園管理費	ページ	257
年度	R8	所属名	都市整備部 河川公園課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	都市計画費		
目	公園管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	315,251		
本年度要求額	336,557		
総務部長段階査定額	327,962		
市長段階査定額	327,962		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	6,779	
	地方債	31,900	
	その他	17,315	
	一般財源	271,968	
	計	327,962	
備考欄			
事業の概要			
【問合せ先】公園係 0857-30-8344			
【12次総の施策体系】3401			
【事業の経過及び背景】 市民が安全・安心に集える憩いの場として、都市公園等の維持管理業務を適正・迅速に行うことで、良好な施設環境を確保する。			
【事業の目的及び効果】 指定管理者制度を導入し、指定管理者の民間ノウハウや創意工夫に基づいた質の高い住民サービスを提供することで、経費の節減や業務の効率化を図りながら、適切で合理的な公園管理を行う。			
【事業の内容】 ・指定管理施設：都市公園等、風紋広場、重箱緑地、湖山池公園、浜村砂丘公園等、用瀬町運動公園、千代川倉田緑地、安蔵公園、河原町中央公園 (財源：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金) ・公共空地管理業務：大路川治水緑地広場管理業務、公園施設修繕 白兔展望広場巡視点検業務、維持補修業務など			
【事業の実績】 令和5年度 256,124千円 令和6年度 282,629千円 令和7年度 326,977千円(見込み)			
※その他財源の使用料は、公園使用料 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、移転補償費及びオアシス広場自動販売機収入			

都032	項目名	公園芝生化推進事業費	新規事業
予算書項目	芝生化推進事業費	ページ	257
年度	R8	所属名	都市整備部 河川公園課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	都市計画費		
目	公園管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	19,657		
本年度要求額	21,380		
総務部長段階査定額	21,380		
市長段階査定額	21,380		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	19,492	
	一般財源	1,888	
	計	21,380	
備考欄			
事業の概要			
【問合せ先】公園係 0857-30-8344			
【12次総の施策体系】3401			
【事業の経過及び背景】 「はだして遊べる公園づくり」として、地域の方々との協働により公園・広場の芝生化を推進する。			
【事業の目的及び効果】 公園や公共空を芝生化することにより、遊具等の新たな整備費用の抑制、草刈り等の維持管理費用の削減を図るとともに、芝生化による安全で快適な遊び場の提供、環境保全などの効果を高める。			
【事業の内容】 ・芝生維持管理業務、芝刈機購入			
【事業の実績】 令和5年度 18,532千円 令和6年度 19,059千円 令和7年度 19,379千円(見込み)			
※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			

都033	項目名	道路管理費	新規 事業			
予算書項目	道路管理費	ページ	249			
年度	R8	所属名 都市整備部 道路課				
会計名		事業の概要				
一般会計						
款	土木費					
項	道路橋梁費					
目	道路維持費	<p>【問合せ先】管理係、保全係、維持係 0857-30-8351</p> <p>【1 2次総の施策体系】3401</p> <p>【事業の経過及び背景】 管理すべき市道延長、道路施設が増加している。また施設の老朽化による継続的かつ恒常的な管理費・維持補修費が必要である。</p> <p>【事業の目的及び効果】 道路及び道路施設等の維持作業、損傷箇所の修繕を行い、市道を適切に管理する。</p> <p>【事業の内容】 定期的な道路パトロール、道路及び道路施設等の損傷箇所の修繕、市道沿線の除草、植栽の剪定管理、関連施設（鳥取駅広場、鳥取大学前駅広場、ポンプ場等）の維持管理、冠水対策施設維持管理、側溝浚渫、街路灯の補修等を直営若しくは業者等委託、資材支給等により実施する。</p> <p>【事業の実績】 令和5年度 342,919千円 令和6年度 347,203千円 令和7年度 362,447千円（見込み）</p> <p>※その他財源の使用料は、道路占用料 ※その他財源の手数料は、証明手数料 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、自動車損害賠償保険料ほか</p>				
(単位:千円)						
前年度当初予算額	362,447					
本年度要求額	393,679					
総務部長段階査定額	388,464			その他財源の内訳		
市長段階査定額	388,464			分担金	0	
区分				負担金	0	
				使用料	67,932	
財源内訳	国・県支出金			0	手数料	99
	地方債			0	財産収入	0
	その他			88,013	寄付金	0
	一般財源			300,451	繰入金	18,482
	計			388,464	諸収入	1,500
					その他	0
備考欄						

都034	項目名	一般道補修費	新規 事業			
予算書項目	一般道補修費	ページ	249			
年度	R8	所属名 都市整備部 道路課				
会計名		事業の概要				
一般会計						
款	土木費					
項	道路橋梁費					
目	道路維持費	<p>【問合せ先】保全係、維持係、改良係 0857-30-8351</p> <p>【1 2次総の施策体系】3401</p> <p>【事業の経過及び背景】 地域からの要望による道路整備を行い、通行者の安全を確保すべく道路施設を維持する。</p> <p>【事業の目的及び効果】 地域からの要望による道路整備を行い、通行者の安全を確保する。</p> <p>【事業の内容】 ・地区要望（道路拡幅、側溝改良、歩道改良など）による道路工事を実施する。 ・道路施設長寿命化事業（舗装・道路照明・カーブミラー）</p> <p>【事業の実績】 令和5年度 202,096千円 令和6年度 186,969千円 令和7年度 215,652千円（見込み）</p> <p>※その他財源の諸収入は、道路工事に伴う下水マンホール蓋調整に係る負担金</p>				
(単位:千円)						
前年度当初予算額	217,922					
本年度要求額	215,909					
総務部長段階査定額	215,909			その他財源の内訳		
市長段階査定額	215,909			分担金	0	
区分				負担金	0	
				使用料	0	
財源内訳	国・県支出金			0	手数料	0
	地方債			70,800	財産収入	0
	その他			1,650	寄付金	0
	一般財源			143,459	繰入金	0
	計			215,909	諸収入	1,650
					その他	0
備考欄						

都035	項目名	除雪費	新規事業
予算書項目	除雪関係費	ページ	249
年度	R8	所属名 都市整備部 道路課	
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	道路橋梁費		
目	道路維持費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	21,144		
本年度要求額	29,224		
総務部長段階査定額	18,649		
市長段階査定額	18,649		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	18,649	
	計	18,649	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】管理係 0857-30-8351	
【12次総の施策体系】3401、4101	
【事業の経過及び背景】 冬季の生活路線の円滑な交通を確保する。	
【事業の目的及び効果】 幹線、バス路線を主とした市道の除雪を行い円滑な交通を確保する。	
【事業の内容】 町内会へ小型除雪機貸与のため小型除雪機の点検及び修繕、除雪機械運転育成支援事業補助金、積雪観測システムの保守業務等を実施する。	
【事業の実績】	
令和5年度	409,430千円
令和6年度	845,702千円
令和7年度	895,240千円(見込み)

都036	項目名	社会資本整備総合交付金事業費	新規事業
予算書項目	地方道路整備交付金事業費	ページ	251
年度	R8	所属名 都市整備部 道路課	
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	道路橋梁費		
目	道路新設改良費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	182,400		
本年度要求額	112,600		
総務部長段階査定額	112,600		
市長段階査定額	112,600		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	55,000	
	地方債	57,600	
	その他	0	
	一般財源	0	
	計	112,600	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】改良係 0857-30-8531	
【12次総の施策体系】3401	
【事業の経過及び背景】 社会資本整備総合交付金による市道整備を推進する。	
【事業の目的及び効果】 市道の新設・拡幅や橋梁架替などを行うことにより、利用者の利便性向上を図るとともに、安全な道路環境を整える。	
【事業の内容】 社会資本整備総合交付金(道路局)(交付率50%)を活用し道路改良等を行う。	
【事業の実績】	
令和5年度	37,150千円
令和6年度	32,600千円
令和7年度	146,559千円(見込み)

都037	項目名	防災・安全交付金事業費	新規事業
予算書項目	地方道路整備交付金事業費	ページ	251
年度	R8	所属名	都市整備部 道路課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	道路橋梁費		
目	道路新設改良費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	762,295		
本年度要求額	855,904		
総務部長段階査定額	838,604		
市長段階査定額	838,604		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	444,885	
	地方債	362,400	
	その他	0	
	一般財源	31,319	
	計	838,604	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】 保全係、維持係、改良係 0857-30-8351	
【12次総の施策体系】 3401、4101	
【事業の経過及び背景】 防災・安全交付金による市道整備を推進する。	
【事業の目的及び効果】 道路施設の長寿命化対策、危険箇所の防災対策、及び通学路などの歩道を重点的に整備することにより、交通機能の安全性の向上を図る。	
【事業の内容】 防災・安全交付金（道路局）（交付率50%、55%）を活用し道路改良等を行う。	
【事業の実績】 令和5年度 268,246千円 令和6年度 269,182千円 令和7年度 560,567千円（見込み）	
その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

都038	項目名	交通安全施設事業工事費	新規事業
予算書項目	交通安全施設事業費	ページ	253
年度	R8	所属名	都市整備部 道路課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	道路橋梁費		
目	交通安全施設事業費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	19,292		
本年度要求額	19,400		
総務部長段階査定額	19,400		
市長段階査定額	19,400		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	19,400	
	一般財源	0	
	計	19,400	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】 維持係 0857-20-8351	
【12次総の施策体系】 3401	
【事業の経過及び背景】 交通安全施設を配置することで事故を防止する。	
【事業の目的及び効果】 自動車、自転車、歩行者等の円滑かつ安全な通行を確保するため、交通安全施設（カーブミラー、ガードレール、反射ポール、路面表示等）の設置、修繕を行う。	
【事業の内容】 交通安全施設（カーブミラー、ガードレール、反射ポール、路面表示等）の設置、修繕を行う。	
【事業の実績】 令和5年度 19,761千円 令和6年度 19,039千円 令和7年度 19,292千円（見込み）	
※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金	

都039	項目名	補助災害復旧費	新規事業
予算書項目	現年発生災害復旧費	ページ	291
年度	R8	所属名	都市整備部 道路課
会計名			
一般会計			
款	災害復旧費		
項	災害復旧費		
目	公共土木災害復旧費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	441,600		
本年度要求額	587,600		
総務部長段階査定額	587,600		
市長段階査定額	587,600		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	360,513	
	地方債	183,500	
	その他	0	
	一般財源	43,587	
	計	587,600	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】管理係、保全係、維持係、改良係 0857-30-8351	
【12次総の施策体系】3401	
【事業の経過及び背景】 令和3年7月の大雨、令和4年1月の降雪及び融雪、令和6年11月の大雨により被災した市道を公共土木施設災害復旧事業により復旧する。	
【事業の目的及び効果】 早期の復旧により速やかに適切な開放を行う。	
【事業の内容】 被災した路線の復旧。 ・金沢瀬田蔵線 ・早牛勝部線 ・鳴滝大坪線	
【事業の実績】 令和5年度 442,245千円 令和6年度 81,285千円 令和7年度 98,580千円(見込み)	

都040	項目名	福祉のまちづくり推進事業費	新規事業
予算書項目	福祉のまちづくり推進事業費	ページ	247
年度	R8	所属名	都市整備部 建築指導課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	土木管理費		
目	建築指導費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	10,051		
本年度要求額	5,500		
総務部長段階査定額	5,500		
市長段階査定額	5,500		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	4,124	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,376	
	計	5,500	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】建築指導係 0857-30-8362	
【12次総の施策体系】3401	
【事業の経過及び背景】 高齢者、障がい者等を取り巻く様々な障壁を除去することによって、生きがいをもちながら生活できる社会を実現する。	
【事業の目的及び効果】 バリアフリー法及び福祉のまちづくり条例の基準に基づいて整備を行う民間の特定建築物の建築主に対し、整備に要する費用の一部を交付することにより、福祉のまちづくりを推進していく。	
【事業の内容】 特別特定建築物(特定建築物)のバリアフリー化工事に対して助成を行う。 (1)対象建築物 特別特定建築物(特定建築物) (2)対象工事 既存のトイレ改修・既存の玄関改修、洋便器等の整備、手すりの整備、点字ブロックの整備、エレベーター設置・オストメイト設置・車いす駐車場の整備 (3)財源内訳 特別特定建築物 国:1/3、県:1/6、市:1/6 特定建築物 国:1/4、県:1/8、市:1/8	
【事業の実績】 令和5年度 3件 令和6年度 1件 令和7年度 2件(見込み)	

都041	項目名	石綿改修支援事業費	新規事業																				
予算書項目	石綿改修支援事業費	ページ	247																				
年度	R8	所属名	都市整備部 建築指導課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】建築指導係 0857-30-8362 【12次総の施策体系】4101 【事業の経過及び背景】 アスベストによる健康被害が社会問題となっていることから、吹付けアスベスト等が使用されている建築物に対して飛散防止措置を施す必要がある。 【事業の目的及び効果】 健康に大きな被害を及ぼすアスベストを使用している建築物の所有者に対して、国の交付金事業、県の補助事業を活用してアスベストの飛散防止措置に係る費用の一部を助成し、市民の健康被害の防止及び生活環境の保全に資することを目的とする。 【事業の内容】 アスベストの含有調査及び除去等の工事に対して助成を行う。 財源内訳 アスベスト除去 国：1/3、県：1/4、市：1/12 アスベスト調査 国：10/10 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>アスベスト含有調査</td> <td>アスベスト除去</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>5件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>4件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>5件（見込み）</td> <td>2件（見込み）</td> </tr> </table>			アスベスト含有調査	アスベスト除去	令和5年度	5件	2件	令和6年度	4件	3件	令和7年度	5件（見込み）	2件（見込み）								
	アスベスト含有調査			アスベスト除去																			
令和5年度	5件			2件																			
令和6年度	4件			3件																			
令和7年度	5件（見込み）	2件（見込み）																					
一般会計																							
款	土木費																						
項	土木管理費																						
目	建築指導費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	24,402																						
本年度要求額	22,502																						
総務部長段階査定額	22,502	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	22,502																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	19,998																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	2,504																					
	計	22,502																					
備考欄																							

都042	項目名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費	新規事業																												
予算書項目	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費	ページ	247																												
年度	R8	所属名	都市整備部 建築指導課																												
会計名		事業の概要 【問合せ先】建築指導係 0857-30-8362 【12次総の施策体系】4101 【事業の経過及び背景】 震災による被害から市民の生命・財産を保護し、安心安全な生活環境の保全のため「鳥取市耐震改修促進計画」を令和5年2月に見直しを行い、令和7年度までに住宅の耐震化率を93%とする目標を掲げている。 【事業の目的及び効果】 震災による被害から市民の生命・財産を保護し、安心安全な生活環境の保全のため、国の交付金と県の補助事業を活用して耐震診断、補強設計、耐震改修を行う建築物の所有者に対して助成を行う。 【事業の内容】 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建て住宅及び一般建築物等（木造一戸建て住宅は平成12年5月31日以前に建築されたもの）、道路に面する危険なブロック塀並びに令和3年12月31日以前に建築された建築物の屋根瓦について、耐震診断・補強設計・耐震改修等を行う建築物の所有者に対し助成を行う。 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>耐震診断</td> <td>補強設計</td> <td>耐震改修</td> <td>住宅除却</td> <td>屋根瓦</td> <td>ブロック除却・改修</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>52件</td> <td>16件</td> <td>12件</td> <td>—</td> <td>3件</td> <td>24件・10件</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>75件</td> <td>21件</td> <td>16件</td> <td>7件</td> <td>1件</td> <td>12件・7件</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>73件</td> <td>36件</td> <td>20件</td> <td>11件</td> <td>5件</td> <td>11件・5件（見込み）</td> </tr> </table>			耐震診断	補強設計	耐震改修	住宅除却	屋根瓦	ブロック除却・改修	R5	52件	16件	12件	—	3件	24件・10件	R6	75件	21件	16件	7件	1件	12件・7件	R7	73件	36件	20件	11件	5件	11件・5件（見込み）
	耐震診断			補強設計	耐震改修	住宅除却	屋根瓦	ブロック除却・改修																							
R5	52件			16件	12件	—	3件	24件・10件																							
R6	75件			21件	16件	7件	1件	12件・7件																							
R7	73件	36件	20件	11件	5件	11件・5件（見込み）																									
一般会計																															
款	土木費																														
項	土木管理費																														
目	建築指導費																														
(単位:千円)																															
前年度当初予算額	153,766																														
本年度要求額	123,630																														
総務部長段階査定額	93,423	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0								
その他財源の内訳																															
分担金	0																														
負担金	0																														
使用料	0																														
手数料	0																														
財産収入	0																														
寄付金	0																														
繰入金	0																														
諸収入	0																														
その他	0																														
市長段階査定額	93,423																														
区分	本年度予算額																														
財源内訳	国・県支出金	68,784																													
	地方債	0																													
	その他	0																													
	一般財源	24,639																													
	計	93,423																													
備考欄																															

都043	項目名	空家対策事業費	新規事業
予算書項目	空家対策事業費	ページ	247
年度	R8	所属名	都市整備部 建築指導課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 建築指導係 0857-30-8364	
款	土木費	【12次総の施策体系】 3401	
項	土木管理費	【事業の経過及び背景】 近年、管理されないまま放置され老朽化した空き家が増えつつある。このような老朽化した空き家等は、市民の暮らしの安全・安心を阻害しかねないものとなっている。	
目	建築指導費	【事業の目的及び効果】 空き家の所有者等に対し、必要な指導または協力の要請を行い、空き家等による災害を未然に防止するとともに良好な景観及び生活環境の創生に寄与することを目的とする。	
(単位:千円)		【事業の内容】 1. 鳥取市空家等対策協議会を開催し、行政措置の審議等を行う。(年3回予定) 2. 特定空家等に認定され、当課より必要な措置を講じるよう指導・勧告された戸建て住宅の除却費用に対して補助を行う。(除却費用の1/2かつ限度額600千円+残置物処分費用の1/2かつ限度額200千円。最大800千円。) 3. 鳥取市空き家情報バンクを鳥取県宅地建物取引業協会と連携して運営し、空き家の利活用促進と危険空き家の防止を図る。	
前年度当初予算額	23,517	【事業の実績】 除却費用補助金 令和5年度 15件 令和6年度 13件 令和7年度 15件(見込み)	
本年度要求額	23,792	※その他財源の手数料は、建築確認申請手数料 ※その他財源の諸収入は、緊急安全措置等に対する自己負担金等	
総務部長段階査定額	23,388		
市長段階査定額	23,388		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	9,555		
地方債	0		
その他	521		
一般財源	13,312		
計	23,388		
備考欄			

都044	項目名	定期借地権付土地分譲事業費	新規事業
予算書項目	財産管理費	ページ	165
年度	R8	所属名	都市整備部 建築住宅課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 住宅係 0857-30-8371	
款	総務費	【12次総の施策体系】 3201	
項	総務管理費	【事業の経過及び背景】 鹿野町湯川住宅団地及び青谷町望町団地(所有:鳥取市土地開発公社)の土地活用により移住・定住の促進を図り、地域の活性化を目的として分譲を行う。分譲促進のため「定期借地権付土地制度」を平成24年度から導入した。	
目	財産管理費	【事業の目的及び効果】 鹿野町湯川団地及び青谷町望町団地において、令和元年度開通した鳥取西道路による利便性の向上等を踏まえ、さらなる分譲を推進するため、定期借地権付土地制度の利用など積極的な広報・PRを行う。	
(単位:千円)		【事業の内容】 定期借地権付土地制度の利用促進(土地購入費計上) テレビCM、PRチラシの製作、新聞広告、環境整備等PR・広報を実施 定期借地条件 用途:借受人が移住する専用または店舗併用住宅 借地期間:51年 借地保証料:100万円	
前年度当初予算額	30,297	【事業の実績】 令和4年度 4件(湯川住宅団地 2件、望町団地 1件) 令和5年度 5件(湯川住宅団地 2件、望町団地 2件) 令和6年度 2件(湯川住宅団地 2件)	
本年度要求額	30,499	※その他財源の財産収入は、定期借地権付土地貸付料等収入	
総務部長段階査定額	30,499		
市長段階査定額	30,499		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	2,698		
一般財源	27,801		
計	30,499		
備考欄			

都045	項目名	施設管理業務委託事業費	新規事業
予算書項目	住宅維持補修費	ページ	259
年度	R8	所属名	都市整備部 建築住宅課
会計名		事業の概要 【問合せ先】住宅建設係 0857-30-8372 【12次総の施策体系】3401 【事業の経過及び背景】 市営住宅43団地2,135戸の管理に加え、県営住宅8団地209戸を代行管理している。この状況で入居者の修繕要望に迅速な対応を行うため、平成23年度から一部の市営住宅の施設管理業務を民間事業者へ委託している。令和7年度7月から市営住宅及び受託県営住宅の管理業務を鳥取県住宅供給公社へ委託している。 【事業の目的及び効果】 市営住宅の施設管理業務を民間の賃貸住宅管理会社に委託し、民間の有するノウハウを活用する中で、より適切な対応を図り住民サービス向上を目指す。 【事業の内容】 委託業務内容（24時間365日の緊急対応体制）、施設管理業務対応（緊急、一般、入居修繕）、施設の法定点検業務、害虫駆除・樹木剪定業務、苦情相談対応業務、定期的巡回点検業務など。 【事業の実績】 令和4年度 57,467千円 令和5年度 60,602千円 令和6年度 76,419千円 ※その他財源の使用料は、住宅使用料	
一般会計			
款	土木費		
項	住宅費		
目	住宅管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	110,851		
本年度要求額	135,712		
総務部長段階査定額	125,389		
市長段階査定額	125,389		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	125,389		
一般財源	0		
計	125,389		
備考欄			

都046	項目名	住宅セーフティネット事業費	新規事業
予算書項目	住宅セーフティネット事業費	ページ	259
年度	R8	所属名	都市整備部 建築住宅課
会計名		事業の概要 【問合せ先】住宅係 0857-30-8371 【12次総の施策体系】3401 【事業の経過及び背景】 国は、高齢者・低額所得者等の住宅確保要配慮者に対し、民間の空家・空室を活用した住宅供給を促進するため、住宅要配慮者の入居に対する経済的支援などを柱とするいわゆる「住宅セーフティネット法」の改正を平成29年10月に行い、本市は国に呼応し、平成30年度に住宅セーフティネット補助制度を創設した。 【事業の目的及び効果】 入居を拒まない民間賃貸住宅の供給を促進するため、入居者への経済的支援を行い、高齢者、障がい者、子育て世代等の住宅要配慮者の居住の確保を図る。 【事業の内容】 ・登録住宅の改修への補助 補助率2/3（限度額200万円/戸） （国1/3、県1/6、市1/6） ・家賃低廉化への補助 補助率10/10（限度額4万円/月・戸） （国1/2、県1/4、市1/4） ・家賃債務保証料低廉化への補助 補助率10/10（限度額6万円/戸） （国1/2、県1/4、市1/4） 【事業の実績】 家賃低廉化補助件数 令和4年度 16件 令和5年度 23件 令和6年度 25件	
一般会計			
款	土木費		
項	住宅費		
目	住宅管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	13,892		
本年度要求額	17,912		
総務部長段階査定額	15,792		
市長段階査定額	15,792		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	11,844		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,948		
計	15,792		
備考欄			

F001	項目名 下水道等事業会計へ繰出(集落排水事業)		新規 事業																												
予算書項目	下水道等事業会計へ繰出	ページ	241																												
年度	R8	所属名 下水道部 下水道企画課																													
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>会計名</td><td></td></tr> <tr><td>一般会計</td><td></td></tr> <tr><td>款</td><td>農林水産業費</td></tr> <tr><td>項</td><td>他会計繰出</td></tr> <tr><td>目</td><td>下水道等事業会計へ繰出</td></tr> </table>		会計名		一般会計		款	農林水産業費	項	他会計繰出	目	下水道等事業会計へ繰出	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">事業の概要</td></tr> <tr><td colspan="2">【問合せ先】財務係 0857-30-8383</td></tr> <tr><td colspan="2">【12次総の施策体系】3401</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の経過及び背景】 地方公営企業法に基づき、下水道等事業会計(集落排水事業)に対し一般会計が負担する経費を繰出金として支出。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の目的及び効果】 下水道等事業会計(集落排水事業)の適正な運営。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の内容】 下水道等事業会計(集落排水事業)に対する一般会計繰出金。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の実績】 令和5年度 1,397,253千円 令和6年度 1,371,438千円 令和7年度 1,304,054千円(見込み)</td></tr> </table>		事業の概要		【問合せ先】財務係 0857-30-8383		【12次総の施策体系】3401		【事業の経過及び背景】 地方公営企業法に基づき、下水道等事業会計(集落排水事業)に対し一般会計が負担する経費を繰出金として支出。		【事業の目的及び効果】 下水道等事業会計(集落排水事業)の適正な運営。		【事業の内容】 下水道等事業会計(集落排水事業)に対する一般会計繰出金。		【事業の実績】 令和5年度 1,397,253千円 令和6年度 1,371,438千円 令和7年度 1,304,054千円(見込み)					
会計名																															
一般会計																															
款	農林水産業費																														
項	他会計繰出																														
目	下水道等事業会計へ繰出																														
事業の概要																															
【問合せ先】財務係 0857-30-8383																															
【12次総の施策体系】3401																															
【事業の経過及び背景】 地方公営企業法に基づき、下水道等事業会計(集落排水事業)に対し一般会計が負担する経費を繰出金として支出。																															
【事業の目的及び効果】 下水道等事業会計(集落排水事業)の適正な運営。																															
【事業の内容】 下水道等事業会計(集落排水事業)に対する一般会計繰出金。																															
【事業の実績】 令和5年度 1,397,253千円 令和6年度 1,371,438千円 令和7年度 1,304,054千円(見込み)																															
<p>(単位:千円)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>前年度当初予算額</td><td style="text-align:right;">1,117,047</td></tr> <tr><td>本年度要求額</td><td style="text-align:right;">953,335</td></tr> <tr><td>総務部長段階査定額</td><td style="text-align:right;">953,335</td></tr> <tr><td>市長段階査定額</td><td style="text-align:right;">953,335</td></tr> </table>		前年度当初予算額	1,117,047	本年度要求額	953,335	総務部長段階査定額	953,335	市長段階査定額	953,335	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">その他財源の内訳</td></tr> <tr><td>分担金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
前年度当初予算額	1,117,047																														
本年度要求額	953,335																														
総務部長段階査定額	953,335																														
市長段階査定額	953,335																														
その他財源の内訳																															
分担金	0																														
負担金	0																														
使用料	0																														
手数料	0																														
財産収入	0																														
寄付金	0																														
繰入金	0																														
諸収入	0																														
その他	0																														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">区分</td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td>本年度予算額</td></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td style="text-align:right;">953,335</td></tr> <tr><td>計</td><td style="text-align:right;">953,335</td></tr> </table>		区分		財源内訳	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	953,335	計	953,335																
区分																															
財源内訳	本年度予算額																														
国・県支出金	0																														
地方債	0																														
その他	0																														
一般財源	953,335																														
計	953,335																														
備考欄																															

F002	項目名 下水道等事業会計へ繰出(公共下水道事業)		新規 事業																												
予算書項目	下水道等事業会計へ繰出	ページ	261																												
年度	R8	所属名 下水道部 下水道企画課																													
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>会計名</td><td></td></tr> <tr><td>一般会計</td><td></td></tr> <tr><td>款</td><td>土木費</td></tr> <tr><td>項</td><td>他会計繰出</td></tr> <tr><td>目</td><td>下水道等事業会計へ繰出</td></tr> </table>		会計名		一般会計		款	土木費	項	他会計繰出	目	下水道等事業会計へ繰出	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">事業の概要</td></tr> <tr><td colspan="2">【問合せ先】財務係 0857-30-8383</td></tr> <tr><td colspan="2">【12次総の施策体系】3401</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の経過及び背景】 地方公営企業法に基づき、下水道等事業会計(公共下水道事業)に対し一般会計が負担する経費を繰出金として支出。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の目的及び効果】 下水道等事業会計(公共下水道事業)の適正な運営。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の内容】 下水道等事業会計(公共下水道事業)に対する一般会計繰出金。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の実績】 令和5年度 2,538,921千円 令和6年度 2,525,945千円 令和7年度 2,518,904千円(見込み)</td></tr> </table>		事業の概要		【問合せ先】財務係 0857-30-8383		【12次総の施策体系】3401		【事業の経過及び背景】 地方公営企業法に基づき、下水道等事業会計(公共下水道事業)に対し一般会計が負担する経費を繰出金として支出。		【事業の目的及び効果】 下水道等事業会計(公共下水道事業)の適正な運営。		【事業の内容】 下水道等事業会計(公共下水道事業)に対する一般会計繰出金。		【事業の実績】 令和5年度 2,538,921千円 令和6年度 2,525,945千円 令和7年度 2,518,904千円(見込み)					
会計名																															
一般会計																															
款	土木費																														
項	他会計繰出																														
目	下水道等事業会計へ繰出																														
事業の概要																															
【問合せ先】財務係 0857-30-8383																															
【12次総の施策体系】3401																															
【事業の経過及び背景】 地方公営企業法に基づき、下水道等事業会計(公共下水道事業)に対し一般会計が負担する経費を繰出金として支出。																															
【事業の目的及び効果】 下水道等事業会計(公共下水道事業)の適正な運営。																															
【事業の内容】 下水道等事業会計(公共下水道事業)に対する一般会計繰出金。																															
【事業の実績】 令和5年度 2,538,921千円 令和6年度 2,525,945千円 令和7年度 2,518,904千円(見込み)																															
<p>(単位:千円)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>前年度当初予算額</td><td style="text-align:right;">2,612,694</td></tr> <tr><td>本年度要求額</td><td style="text-align:right;">2,751,326</td></tr> <tr><td>総務部長段階査定額</td><td style="text-align:right;">2,751,326</td></tr> <tr><td>市長段階査定額</td><td style="text-align:right;">2,751,326</td></tr> </table>		前年度当初予算額	2,612,694	本年度要求額	2,751,326	総務部長段階査定額	2,751,326	市長段階査定額	2,751,326	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">その他財源の内訳</td></tr> <tr><td>分担金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
前年度当初予算額	2,612,694																														
本年度要求額	2,751,326																														
総務部長段階査定額	2,751,326																														
市長段階査定額	2,751,326																														
その他財源の内訳																															
分担金	0																														
負担金	0																														
使用料	0																														
手数料	0																														
財産収入	0																														
寄付金	0																														
繰入金	0																														
諸収入	0																														
その他	0																														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align:center;">区分</td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td>本年度予算額</td></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align:right;">0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td style="text-align:right;">2,751,326</td></tr> <tr><td>計</td><td style="text-align:right;">2,751,326</td></tr> </table>		区分		財源内訳	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	2,751,326	計	2,751,326																
区分																															
財源内訳	本年度予算額																														
国・県支出金	0																														
地方債	0																														
その他	0																														
一般財源	2,751,326																														
計	2,751,326																														
備考欄																															

教001	項目名	民間プール活用事業費	新規事業	○
予算書項目	民間プール活用事業費	ページ	267	所属名
年度	R8	教育委員会事務局 教育総務課		
会計名				
一般会計				
款	教育費			
項	教育総務費			
目	教育振興費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	14,655			
本年度要求額	23,854			
総務部長段階査定額	23,854			
市長段階査定額	23,854			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
国・県支出金	0	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	23,854	財産収入	0	
計	23,854	寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	0	
		その他	0	
備考欄				

事業の概要	
【問合せ先】 学校施設係 0857-30-8404	
【12次総の施策体系】 1201	
【事業の経過及び背景】 学校施設を含めた公共施設の老朽化は全国共通の課題であり、その中で、学校プールに関しては、老朽化にかかる更新費用が多額であることや維持管理等の業務が教職員の負担となっている。 令和6年度に「鳥取市立学校プール施設のあり方に関する検討委員会」を設置して学校プールにおける課題を整理し、令和7年度に民間スイミングスクールを活用したモデル事業の実施と効果検証を行うなど、将来の学校プールのあり方に関する基本方針の策定に取り組んだ。	
【事業の目的及び効果】 令和8年度においては、引き続き、民間スイミングスクールを活用した水泳授業の効果を検証するため、モデル事業を拡大して実施する。	
【事業の内容】 民間プール活用モデル事業（9校） 23,854千円	
【事業の実績】 令和6年度 100千円 プール施設のあり方検討委員会 ※事務局運営費 令和7年度（見込み） 5,997千円 プール施設のあり方検討委員会、モデル事業3校	

教002	項目名	鳥取市立学校区再編推進事業費	新規事業	
予算書項目	教育改革推進事業費	ページ	267	所属名
年度	R8	教育委員会事務局 教育総務課		
会計名				
一般会計				
款	教育費			
項	教育総務費			
目	教育振興費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	715			
本年度要求額	2,514			
総務部長段階査定額	2,514			
市長段階査定額	2,514			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
国・県支出金	0	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	2,514	財産収入	0	
計	2,514	寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	0	
		その他	0	
備考欄				

事業の概要	
【問合せ先】 校区審議室 0857-30-8405	
【12次総の施策体系】 1201	
【事業の経過及び背景】 第14期鳥取市校区審議会の答申を受け、令和3年3月に「鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針」を策定した。この基本方針に基づき、保護者や地域住民の学校に対する思いに配慮しながら議論を深め、各校区における学校のあり方を検討している。	
【事業の目的及び効果】 「鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針」に基づく学校のあり方について、地域とともに検討を行う環境を整える。	
【事業の内容】 ・ 中学校区単位等での説明会 ・ 気高地域学校統合準備委員会の開催 ・ 気高地域学校統合に伴う諸経費 ・ 小学校連携交流事業の実施 ・ 地域の学校を考える検討組織による会議	
【事業の実績】 令和5年度 23,615千円 令和6年度 818千円 令和7年度 715千円（見込み）	

教003	項目名	小中学校空調設備整備事業費	新規事業
予算書項目	小中学校空調設備整備事業費	ページ	267
年度	R8	所属名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404		
款 教育費	【12次総の施策体系】1201		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 学校施設環境向上の一環として、市立小・中・義務教育学校の普通教室では、令和2年度末までに空調設置率100%を達成したが、特別教室においても教育環境向上を図るため、空調整備を推進する。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 児童及び生徒の生命と健康を守る学校施設において、気候変動などの要因による夏場の熱中症予防対策等への対応のため、特別教室に空調設備を整備し、教育環境の向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・中学校・義務教育学校特別教室空調設備実施設計業務（Ⅱ期） ・青谷中学校特別教室空調設備設置工事		
前年度当初予算額	25,669	【事業の実績】 令和7年度 32,082千円（見込み） ・中学校・義務教育学校特別教室空調設備：実施設計業務（Ⅰ期） ・浜坂小学校屋内運動場空調設備：基本設計・実施設計業務	
本年度要求額	68,438		
総務部長段階査定額	68,438	その他財源の内訳	
市長段階査定額	68,438	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	68,400		
その他	0		
一般財源	38		
計	68,438		
備考欄			

教004	項目名	校区審議会運営事業費	新規事業
予算書項目	校区審議会運営事業費	ページ	269
年度	R8	所属名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】校区審議会 0857-30-8405		
款 教育費	【12次総の施策体系】1201		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 本市の小中学校及び義務教育学校の校区に関する事項を調査及び審議するため、鳥取市校区審議会条例に基づき校区審議会を設置するもの。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 地域の意見を反映した校区再編案を教育委員会が校区審議会に諮問し、答申を受けることで、俯瞰的な教育環境の整備につながる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 令和2年度に策定した「鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、各ブロック協議会から出された校区再編の検討結果に関して教育委員会が諮問し、答申を受ける。		
前年度当初予算額	0	第15期校区審議会：令和8年度 5回開催予定（委員任期：2年）	
本年度要求額	484	【事業の実績】 令和2年度 審議会5回開催 令和3～7年度 なし	
総務部長段階査定額	484	その他財源の内訳	
市長段階査定額	484	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	484		
計	484		
備考欄			

教005	項目名	鳥取市気高地域新設統合小学校整備事業費	新規事業
予算書項目	気高地域新設統合小学校整備事業費	ページ	271
年度	R8	所 属 名	教育委員会事務局 教育総務課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	小学校費		
目	学校建設費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	40,111		
本年度要求額	471,919		
総務部長段階査定額	471,919		
市長段階査定額	471,919		
区 分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	425,000	使用料	0
その他	46,863	手数料	0
一般財源	56	財産収入	0
計	471,919	寄付金	0
		繰入金	46,863
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404

【12次総の施策体系】1201

【事業の経過及び背景】
令和5年4月開催の定例教育委員会において、気高地域の小学校については、令和4年2月に提出された気高地域学校統合準備委員会からの報告書の内容を基にした気高地域学校統合に関する関係者会議での議論の結果も踏まえ、宝木・瑞穂・浜村及び逢坂の4校を1つの小学校として新設統合すること、新設統合小学校の学校候補地をJR浜村駅南側とする基本方針を定めた。その後、庁内検討委員会の検討等を踏まえ、令和6年9月25日の定例教育委員会で、新設統合小学校の予定地をJR浜村駅南側とすることで決定した。

【事業の目的及び効果】
気高地域の新設統合小学校を整備することにより、将来を担う子どもたちの教育環境を充実させ、気高地域にとって魅力ある学校づくりを行う。

【事業の内容】
・用地買収・造成実施設計・造成工事
・校舎等基本設計・実施設計業務（Ⅱ期）
・外構等基本設計業務

【事業の実績】
令和7年度 14,446千円（見込み） 校舎等基本設計・実施設計業務（Ⅰ期）
※地質調査業務（22,468千円）は令和7年度から令和8年度へ繰越

※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金

教006	項目名	放課後児童対策事業費	新規事業
予算書項目	放課後児童対策事業費	ページ	201
年度	R8	所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名			
一般会計			
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	児童福祉総務費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	727,067		
本年度要求額	824,509		
総務部長段階査定額	824,509		
市長段階査定額	824,509		
区 分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	549,264	負担金	0
地方債	1,000	使用料	6
その他	6	手数料	0
一般財源	274,239	財産収入	0
計	824,509	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】放課後児童支援係 0857-30-8414

【12次総の施策体系】1101

【事業の経過及び背景】
合併前の鳥取地域の児童クラブは保護者会への委託方式、合併地域の児童クラブは直営方式でそれぞれ運営していたが、平成18年度から全てのクラブを委託方式に移行し現在に至る。年々、児童クラブのニーズが高まり入所児童数が増加している。

【事業の目的及び効果】
保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校または義務教育学校の前期課程に就学している児童に遊びや生活の支援を行い、児童の心身共に健全な育成を図る。

【事業の内容】
放課後児童クラブの運営

【事業の実績】
令和5年度 76クラブ 3,156人
令和6年度 78クラブ 3,200人
令和7年度 79クラブ 3,295人（令和7年7月14日時点）

※その他財源の使用料は、施設使用料

教007	項目名	語学指導等外国青年招致事業費	新規事業
予算書項目	語学指導等外国青年招致事業費	ページ	267
年度	R8	所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	教育総務費		
目	教育振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	77,013		
本年度要求額	76,181		
総務部長段階査定額	76,181		
市長段階査定額	76,181		
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	4,041	
	地方債	0	
	その他	10,859	
	一般財源	61,281	
	計	76,181	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】指導係 0857-30-8412	
【12次総の施策体系】1201	
【事業の経過及び背景】 外国の言語や文化に対する理解を深め、外国語でコミュニケーションを図る積極的な態度や能力を育成するため、各中学校区に外国語指導助手（ALT）を配置し、児童生徒が生の英語に触れる機会の充実に取り組んできた。学習指導要領の改訂に伴い、中学校では授業を英語で行い、小学校では3・4年生から外国語活動を導入、5・6年生で外国語が教科となる等の変化もあり、自分の考えを英語で発信する力やコミュニケーション能力の育成が求められている。	
【事業の目的及び効果】 ALTを各中学校に配置するとともに、校区内の小学校に定期的に派遣し、外国語科や外国語活動の授業の補助等に当たることで、外国語教育・国際理解教育の充実に資する。また、オンライン英会話授業を実施することで、生徒の英語を用いた実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。	
【事業の内容】 ・ALT（11名）及びALTコーディネーター（1名）の配置 ・中学校及び義務教育学校後期課程を対象としたオンライン英会話授業の実施	
【事業の実績】 令和5年度 ALT10名、ALTコーディネーター1名配置 オンライン英会話授業の実施（中学校13校、義務教育学校後期4校） 令和6年度 ALT11名、ALTコーディネーター1名配置 オンライン英会話授業の実施（中学校13校、義務教育学校後期4校） 令和7年度 ALT11名、ALTコーディネーター1名配置 オンライン英会話授業の実施（中学校13校、義務教育学校後期4校）	
※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

教008	項目名	小学校外国語教育支援事業費	新規事業
予算書項目	国際理解教育推進事業費	ページ	267
年度	R8	所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	教育総務費		
目	教育振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,430		
本年度要求額	1,170		
総務部長段階査定額	1,170		
市長段階査定額	1,170		
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,170	
	一般財源	0	
	計	1,170	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】指導係 0857-30-8412	
【12次総の施策体系】1201	
【事業の経過及び背景】 本市の小学校外国語活動・外国語科では令和2年度の新学習指導要領完全実施に向けた取組を平成30年度より実施し、3・4年生の外国語活動（年間35時間）、5・6年生の外国語科（年間70時間）の円滑な移行が行われた。今後も、外国語教育におけるコミュニケーション能力育成を図るため、支援を継続していく必要がある。	
【事業の目的及び効果】 小学校外国語活動・外国語科では、担任主導の学習展開を基本とするが、外国語や外国の文化に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるため、外国語に堪能な地域人材やネイティブスピーカーと触れ合うことが効果的である。	
【事業の内容】 3・4年生の各学級年間10回、5・6年生の各学級年間14回の外国語活動授業において、各学校が確保した外国語活動支援員を活用し、担任の指導を補助する。	
【事業の実績】 令和5年度 31校 882回 令和6年度 31校 861回 令和7年度 31校 930回（見込み）	
※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

教009	項目名	鳥取市グローバル人材育成事業費	新規事業
予算書項目	国際理解教育推進事業費	ページ	267
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	教育総務費		
目	教育振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	11,283		
本年度要求額	11,060		
総務部長段階査定額	11,060		
市長段階査定額	11,060		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,800	
	一般財源	9,260	
	計	11,060	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】指導係 0857-30-8412	
【12次総の施策体系】1201	
【事業の経過及び背景】 多様な文化や歴史に触れ、人々と交流する機会を提供し、国際感覚の優れた人材を育成することを目的に、平成28年度から英語圏に中学生（義務教育学校後期課程を含む）を派遣している。	
【事業の目的及び効果】 次代を担う本市の中学生を海外に派遣し、異文化に触れる機会を提供することで、国際感覚の優れた人材の育成を図る。	
【事業の内容】 英語圏域に市内在住の中学生を派遣し、現地学校との交流やホームステイ、文化施設等の訪問などのプログラムを実施し、多様な文化と習慣に触れる訪問プログラムを行う。 令和8年4月～7月 事前研修（語学研修、現地学校交流準備など） 令和8年8月 オーストラリアへ派遣（5日間程度）、派遣報告会	
【事業の実績】 令和5年度 中止（新型コロナの影響による） 令和6年度 市内中学生20名をオーストラリアへ派遣 令和7年度 市内中学生20名をオーストラリアへ派遣	
※その他財源の諸収入は、参加者負担金	

教010	項目名	外国人等児童生徒編入学支援事業費	新規事業
予算書項目	外国人等児童生徒編入学支援事業費	ページ	267
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	教育総務費		
目	教育振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	2,288		
本年度要求額	1,455		
総務部長段階査定額	1,455		
市長段階査定額	1,455		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	967	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	488	
	計	1,455	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】指導係 0857-30-8412	
【12次総の施策体系】2304	
【事業の経過及び背景】 近年、外国から入国してきた児童生徒が増加しており、初めて市内小・中学校へ就学する児童生徒や、編入後に日本語を用いたコミュニケーション等に課題がある児童生徒に対する個々の日本語能力に応じた特別な支援が必要となっている。	
【事業の目的及び効果】 市内小・中学校へ就学する日本語のコミュニケーション等に課題がある児童生徒者を対象として、生活指導や初期的な日本語指導及び母国語通訳ができる人材を教育活動支援員として派遣、翻訳ソフトの活用などを行うことで、該当児童生徒が安心して学び、生活できるよう支援する。	
【事業の内容】 ・教育活動支援員による日本語指導等 ・音声翻訳機等による支援 ・連絡協議会の開催	
【事業の実績】 ・教育活動支援員による日本語指導 令和5年度 1,772時間 令和6年度 1,452時間 令和7年度 680時間（見込み） ・音声翻訳機等による支援 ・教育活動支援員との連絡協議会	

教O11	項目名	特別支援教育推進事業費	新規事業	○																																																										
予算書項目	特別支援教育推進事業費	ページ	267	所属名																																																										
年度	R8	教育委員会事務局 学校教育課																																																												
会計名																																																														
一般会計																																																														
款	教育費																																																													
項	教育総務費																																																													
目	教育振興費																																																													
<p>(単位:千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>前年度当初予算額</td> <td>174,679</td> </tr> <tr> <td>本年度要求額</td> <td>196,921</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>総務部長段階査定額</td> <td>196,921</td> <td>その他財源の内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市長段階査定額</td> <td>196,921</td> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>繰入金</td> <td>24,208</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>諸収入</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>24,265</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>172,656</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>196,921</td> </tr> </tbody> </table>					前年度当初予算額	174,679	本年度要求額	196,921	総務部長段階査定額	196,921	その他財源の内訳		市長段階査定額	196,921	分担金	0			負担金	0			使用料	0			手数料	0			財産収入	0			寄付金	0			繰入金	24,208			諸収入	57			その他	0	区分	本年度予算額	財源内訳		国・県支出金	0	地方債	0	その他	24,265	一般財源	172,656	計	196,921
前年度当初予算額	174,679																																																													
本年度要求額	196,921																																																													
総務部長段階査定額	196,921	その他財源の内訳																																																												
市長段階査定額	196,921	分担金	0																																																											
		負担金	0																																																											
		使用料	0																																																											
		手数料	0																																																											
		財産収入	0																																																											
		寄付金	0																																																											
		繰入金	24,208																																																											
		諸収入	57																																																											
		その他	0																																																											
区分	本年度予算額																																																													
財源内訳																																																														
国・県支出金	0																																																													
地方債	0																																																													
その他	24,265																																																													
一般財源	172,656																																																													
計	196,921																																																													
<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】特別支援教育係 0857-30-8562</p> <p>【12次総の施策体系】1201</p> <p>【事業の経過及び背景】 障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた支援を行うため、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難に対し適切な指導や支援が必要である。</p> <p>【事業の目的及び効果】 障がいのある児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加するために必要な力を養う。また、障がいのある児童生徒が落ち着いた学校生活を送ることはもとより、学級経営の円滑な運営を図るため、各学校へ特別支援教育支援員を配置し、児童生徒一人ひとりの障がいの状況や教育的ニーズに応じた学習指導及び生活指導の補助を行う。</p> <p>【事業の内容】 ・教育支援委員会の開催 ・特別支援教育支援員の配置《拡充》</p> <p>【事業の実績】 ・教育支援委員会の開催（年3回） ・特別支援教育支援員の配置 令和5年度 週30時間 46人/週19時間 22人 令和6年度 週30時間 40人/週19時間 31人 令和7年度 週30時間 42人/週19時間 34人</p> <p>※その他財源の繰入金は、特別支援学級教育振興基金繰入金、ふるさと納税基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、教育支援委員会事務受託収入</p>																																																														
備考欄																																																														

教O12	項目名	児童生徒交流体験事業費	新規事業																																																											
予算書項目	児童生徒交流体験事業費	ページ	267	所属名																																																										
年度	R8	教育委員会事務局 学校教育課																																																												
会計名																																																														
一般会計																																																														
款	教育費																																																													
項	教育総務費																																																													
目	教育振興費																																																													
<p>(単位:千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>前年度当初予算額</td> <td>7,908</td> </tr> <tr> <td>本年度要求額</td> <td>8,510</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>総務部長段階査定額</td> <td>8,510</td> <td>その他財源の内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市長段階査定額</td> <td>8,510</td> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>繰入金</td> <td>4,255</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4,255</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,255</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,510</td> </tr> </tbody> </table>					前年度当初予算額	7,908	本年度要求額	8,510	総務部長段階査定額	8,510	その他財源の内訳		市長段階査定額	8,510	分担金	0			負担金	0			使用料	0			手数料	0			財産収入	0			寄付金	0			繰入金	4,255			諸収入	0			その他	0	区分	本年度予算額	財源内訳		国・県支出金	0	地方債	0	その他	4,255	一般財源	4,255	計	8,510
前年度当初予算額	7,908																																																													
本年度要求額	8,510																																																													
総務部長段階査定額	8,510	その他財源の内訳																																																												
市長段階査定額	8,510	分担金	0																																																											
		負担金	0																																																											
		使用料	0																																																											
		手数料	0																																																											
		財産収入	0																																																											
		寄付金	0																																																											
		繰入金	4,255																																																											
		諸収入	0																																																											
		その他	0																																																											
区分	本年度予算額																																																													
財源内訳																																																														
国・県支出金	0																																																													
地方債	0																																																													
その他	4,255																																																													
一般財源	4,255																																																													
計	8,510																																																													
<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】総合教育センター児童生徒支援係 0857-25-3060</p> <p>【12次総の施策体系】1201</p> <p>【事業の経過及び背景】 教育基本法や学校教育法の改正等を受け、児童生徒が「生きる力」をしっかりと身に付けるために、姉妹都市提携を結んだ県外の子どもたちとの交流事業や、地域に出かける自然文化体験事業、職業体験事業などの社会体験活動を実施している。</p> <p>【事業の目的及び効果】 姉妹都市・地域との交流や、自然文化体験、職業体験等を通して、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や、自ら課題を見つけ解決していこうする意欲及び態度を育成する。</p> <p>【事業の内容】 ・姫路市鳥取市中学生交流事業 ・郡山市鳥取市小学生交流事業 ・地域で学ぶ職場体験活動事業 ・中山間地域ふるさと体験活動支援事業</p> <p>【事業の実績】 ・姫路市鳥取市中学生交流事業（オンライン交流） ・郡山市鳥取市小学生交流事業（オンライン交流） 令和5年度 交流担当校：鹿野学園、江山学園、美保南 令和6年度 交流担当校：遷喬、岩倉、浜村 令和7年度 交流担当校：面影、国府東、河原第一 ・地域で学ぶ職場体験活動事業 令和5年度 1,443人 令和6年度 1,364人 令和7年度 1,523人 ・中山間地域ふるさと体験活動支援事業 令和5年度 13校 令和6年度 12校 令和7年度 10校</p> <p>※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金</p>																																																														
備考欄																																																														

教O13	項目名	児童生徒支援事業費	新規事業	○																																
予算書項目	児童生徒支援事業費	ページ	267	所属名																																
年度	R8	教育委員会事務局 学校教育課																																		
会計名																																				
一般会計																																				
款	教育費																																			
項	教育総務費																																			
目	教育振興費																																			
<p>(単位:千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>前年度当初予算額</td> <td>97,065</td> </tr> <tr> <td>本年度要求額</td> <td>127,550</td> </tr> <tr> <td>総務部長段階査定額</td> <td>127,550</td> </tr> <tr> <td>市長段階査定額</td> <td>127,550</td> </tr> </table>					前年度当初予算額	97,065	本年度要求額	127,550	総務部長段階査定額	127,550	市長段階査定額	127,550																								
前年度当初予算額	97,065																																			
本年度要求額	127,550																																			
総務部長段階査定額	127,550																																			
市長段階査定額	127,550																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>21,482</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>23,535</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>82,533</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>127,550</td> </tr> </tbody> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	21,482	地方債	0	その他	23,535	一般財源	82,533	計	127,550	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>23,446</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	23,446	諸収入	89	その他	0
区分	本年度予算額																																			
国・県支出金	21,482																																			
地方債	0																																			
その他	23,535																																			
一般財源	82,533																																			
計	127,550																																			
その他財源の内訳																																				
分担金	0																																			
負担金	0																																			
使用料	0																																			
手数料	0																																			
財産収入	0																																			
寄付金	0																																			
繰入金	23,446																																			
諸収入	89																																			
その他	0																																			
備考欄																																				

事業の概要

【問合せ先】総合教育センター児童生徒支援係 0857-25-3060
 【12次総の施策体系】1201
 【事業の経過及び背景】
 不登校や問題行動、児童虐待・貧困等に悩む児童生徒が増加する中、学校に校内サポート教室支援員及び児童生徒相談員を配置し、教育相談及び自立支援の充実を図るとともに、スクールソーシャルワーカー（SSW）が支援の必要な児童生徒の環境調整を学校と協働して行う。

【事業の目的及び効果】
 不登校対策専門委員会やアドバイザー派遣を通じて、学校等の取組支援を行う。相談室やサポートルーム等での個に応じた支援や学びの場の提供、SSWによる環境調整などによって、児童生徒の自立や学校復帰等につながることを期待される。

【事業の内容】
 ・不登校対策専門委員会の開催
 ・児童生徒相談員、SSWの配置
 ・校内サポート教室支援員の配置（拡充）
 ・サポートルーム、オンラインサポートルームの運営
 ・こころの相談電話

【事業の実績】
 ・不登校対策専門委員会（年5回）の開催及びアドバイザーの派遣
 ・児童生徒相談員の配置 令和5年度 14校 令和6年度 14校 令和7年度 14校
 ・SSWの配置 令和5年度 8名 令和6年度 9名 令和7年度 9名
 ・不登校児童生徒への教育費支援（フリースクール利用助成事業）
 令和5年度 28人/1,921千円
 令和6年度 73人/5,632千円 所得制限の撤廃
 令和7年度 81人/9,981千円（見込み） 助成上限額の見直し
 ・サポートルーム事業（すなはま、レインボー、かわはら、懐）
 ・「こころの相談電話」不登校等に関する児童生徒及びその保護者の相談窓口

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金
 ※その他財源の諸収入は、補助教材費徴収金

教O14	項目名	魅力と徹底の学力向上推進事業費	新規事業																																	
予算書項目	魅力と徹底の学力向上推進事業費	ページ	267	所属名																																
年度	R8	教育委員会事務局 学校教育課																																		
会計名																																				
一般会計																																				
款	教育費																																			
項	教育総務費																																			
目	教育振興費																																			
<p>(単位:千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>前年度当初予算額</td> <td>3,088</td> </tr> <tr> <td>本年度要求額</td> <td>3,088</td> </tr> <tr> <td>総務部長段階査定額</td> <td>3,088</td> </tr> <tr> <td>市長段階査定額</td> <td>3,088</td> </tr> </table>					前年度当初予算額	3,088	本年度要求額	3,088	総務部長段階査定額	3,088	市長段階査定額	3,088																								
前年度当初予算額	3,088																																			
本年度要求額	3,088																																			
総務部長段階査定額	3,088																																			
市長段階査定額	3,088																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,088</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,088</td> </tr> </tbody> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	3,088	一般財源	0	計	3,088	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>3,088</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	3,088	諸収入	0	その他	0
区分	本年度予算額																																			
国・県支出金	0																																			
地方債	0																																			
その他	3,088																																			
一般財源	0																																			
計	3,088																																			
その他財源の内訳																																				
分担金	0																																			
負担金	0																																			
使用料	0																																			
手数料	0																																			
財産収入	0																																			
寄付金	0																																			
繰入金	3,088																																			
諸収入	0																																			
その他	0																																			
備考欄																																				

事業の概要

【問合せ先】指導係 0857-30-8412
 【12次総の施策体系】1201
 【事業の経過及び背景】
 児童生徒個々の学力の分布状況や課題を分析すると、基礎・基本事項の定着が不十分な児童生徒が多く、児童生徒の学力保障・進路保障のためにも、具体的な学力支援が必要となっている。

【事業の目的及び効果】
 基礎学力定着と学力向上に向けた施策を実施することにより、児童生徒個々が確かな学力を身につけることを目的とする。

【事業の内容】
 基礎学力定着支援事業の実施

【事業の実績】
 令和5年度 基礎学力定着支援者数154名 実施回数2,179回
 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数49回
 令和6年度 基礎学力定着支援者数144名 実施回数1,878回
 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数47回
 令和7年度 基礎学力定着支援者数116名 実施回数1,783回
 （見込み） 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数3名 実施回数75回

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

教O15	項目名	学校働き方改革推進事業費	新規事業																				
予算書項目	学校働き方改革推進事業費	ページ	267																				
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 学校教育課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】指導係 0857-30-8412 【12次総の施策体系】1201 【事業の経過及び背景】 平成31年1月に中央教育審議会の答申で「教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう学校における働き方改革が必要である」とされており、各自治体においてもその推進を求められている。 【事業の目的及び効果】 業務範囲を整理し、教師の専門性を活かした授業改善や児童生徒に接する時間を確保するための勤務環境整備等を行うことで、質の高い教育が受けられるよう取組を展開する。 【事業の内容】 デジタル採点システムの活用（中学校・義務教育学校（後期課程）17校） これに加え、引き続き学校における働き方改革の各種取組を実施。 【事業の実績】 ・校務支援システムの運用 令和5年度 19,773千円 令和6年度 19,661千円 令和7年度 19,661千円（見込み） ・鳥取市働き方改革推進委員会の開催 ・スクールサポートスタッフの配置 令和5年度 5名 令和6年度 5名 令和7年度 5名 ・共同学校事務室の設置 令和2～3年度 管理規則の改正、運営要綱等の制定、共同学校事務室試験運営 令和4年度～ 全県で共同学校事務室本格運営開始 ・中・義務教育学校後期課程へのデジタル採点システムの導入 令和4年度～ ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																					
一般会計																							
款	教育費																						
項	教育総務費																						
目	教育振興費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	28,142																						
本年度要求額	28,726																						
総務部長段階査定額	28,726	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>28,726</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	28,726	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	28,726																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	28,726																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	28,726																						
一般財源	0																						
計	28,726																						
備考欄																							

教O16	項目名	自立と創造の学校・学園づくり推進事業費	新規事業																				
予算書項目	自立と創造の学校・学園づくり推進事業費	ページ	269																				
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 学校教育課																				
会計名		事業の概要 【問合せ先】指導係 0857-30-8412 【12次総の施策体系】1201 【事業の経過及び背景】 地域に開かれた特色ある学校づくりを実現するため、各学校の教育方針に基づく目標達成型の自主的・自律的な学校経営が求められている。また、小中一貫教育を柱組みとして学力向上と自己有用感の育成に取り組むとともに自治力のある集団づくりを実現するため、中学校区が一体となって特色ある中学校区教育を推進することが重要である。 【事業の目的及び効果】 学校区毎に創意工夫した取組を推進し、地域に開かれた特色ある学校づくりの実現や学力向上と自己有用感の育成を図るとともに、自治力のある集団づくりを推進する。 【事業の内容】 ・自立と創造の学校・学園づくり推進事業の実施：13中学校区、4義務教育学校区 ・コミュニティ・スクールの設置：55校 ・魅力ある算数・数学等実践推進事業 ・笑顔あふれる自治力育成研究事業 ・探究的な学び実践推進事業 【事業の実績】 ・自立と創造の学校・学園づくり推進事業 令和5年度 23,381千円 令和6年度 23,381千円 令和7年度 23,652千円（見込み） ・コミュニティ・スクール推進事業 学校運営協議会委員 令和5年度 562名 令和6年度 582名 令和7年度 593名（見込み） ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																					
一般会計																							
款	教育費																						
項	教育総務費																						
目	教育振興費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	24,807																						
本年度要求額	24,392																						
総務部長段階査定額	24,392	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>24,392</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	24,392	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	24,392																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	24,392																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	24,392																						
一般財源	0																						
計	24,392																						
備考欄																							

教O17	項目名	GIGAスクール構想事業費	新規事業
予算書項目	GIGAスクール構想事業費	ページ	269
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】総合教育センター研修企画係 0857-36-6060	
款	教育費	【12次総の施策体系】1201	
項	教育総務費	【事業の経過及び背景】 令和元年度からの鳥取市GIGAスクール構想の始動以来、ICT環境の段階的な整備を推進してきたが、第2期では端末の計画的な更新に加え、効果的な端末活用やデジタル・シティンシップ教育の推進を通じ、児童生徒の学びを拡張するとともに確かな情報活用能力を育成する必要がある。	
目	教育振興費	【事業の目的及び効果】 GIGAスクール構想は、現在「NEXT GIGA」として次なる段階を迎えており、一人ひとりに応じた「個別最適な学び」と集合知を活用した「協働的な学び」を一体的に実現することで、創造性を育む質の高い教育を推進する。	
(単位:千円)		【事業の内容】 ・GIGAスクール構想第2期に係る児童生徒用端末の整備 ・GIGAスクール推進委員会の開催 ・GIGAスクール運営支援センター業務委託による学校等へのサポートの充実 ・クラウド型セキュリティサービスのライセンスに係る賃借料	
前年度当初予算額	97,640	【事業の実績】 ・GIGAスクール運営支援センター業務委託 令和5年度 15,840千円 令和6年度 15,840千円 令和7年度 15,840千円 ・授業目的公衆送信保証制度による著作権に係る保証制度 令和5年度 1,990千円 令和6年度 1,953千円 令和7年度 1,904千円	
本年度要求額	94,584	※その他財源の財産収入は、タブレット売却収入 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	94,584	【事業の内容】 ・GIGAスクール構想第2期に係る児童生徒用端末の整備 ・GIGAスクール推進委員会の開催 ・GIGAスクール運営支援センター業務委託による学校等へのサポートの充実 ・クラウド型セキュリティサービスのライセンスに係る賃借料	
市長段階査定額	94,584	【事業の実績】 ・GIGAスクール運営支援センター業務委託 令和5年度 15,840千円 令和6年度 15,840千円 令和7年度 15,840千円 ・授業目的公衆送信保証制度による著作権に係る保証制度 令和5年度 1,990千円 令和6年度 1,953千円 令和7年度 1,904千円	
区分	本年度予算額	※その他財源の財産収入は、タブレット売却収入 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
財源内訳		【事業の内容】 ・GIGAスクール構想第2期に係る児童生徒用端末の整備 ・GIGAスクール推進委員会の開催 ・GIGAスクール運営支援センター業務委託による学校等へのサポートの充実 ・クラウド型セキュリティサービスのライセンスに係る賃借料	
国・県支出金	0	【事業の実績】 ・GIGAスクール運営支援センター業務委託 令和5年度 15,840千円 令和6年度 15,840千円 令和7年度 15,840千円 ・授業目的公衆送信保証制度による著作権に係る保証制度 令和5年度 1,990千円 令和6年度 1,953千円 令和7年度 1,904千円	
地方債	0	※その他財源の財産収入は、タブレット売却収入 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
その他	57,900	【事業の内容】 ・GIGAスクール構想第2期に係る児童生徒用端末の整備 ・GIGAスクール推進委員会の開催 ・GIGAスクール運営支援センター業務委託による学校等へのサポートの充実 ・クラウド型セキュリティサービスのライセンスに係る賃借料	
一般財源	36,684	【事業の実績】 ・GIGAスクール運営支援センター業務委託 令和5年度 15,840千円 令和6年度 15,840千円 令和7年度 15,840千円 ・授業目的公衆送信保証制度による著作権に係る保証制度 令和5年度 1,990千円 令和6年度 1,953千円 令和7年度 1,904千円	
計	94,584	【事業の内容】 ・GIGAスクール構想第2期に係る児童生徒用端末の整備 ・GIGAスクール推進委員会の開催 ・GIGAスクール運営支援センター業務委託による学校等へのサポートの充実 ・クラウド型セキュリティサービスのライセンスに係る賃借料	
備考欄			

教O18	項目名	部活動推進事業費	新規事業
予算書項目	部活動推進事業費	ページ	273
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】指導係 0857-30-8412	
款	教育費	【12次総の施策体系】1201	
項	中学校費	【事業の経過及び背景】 中学校及び義務教育学校の部活動において、専門的指導者の不足は切実な課題である。また、専門的な指導ができる顧問の減少や生徒・保護者のニーズ多様化に対して十分に 대응することが困難となっている。	
目	教育振興費	【事業の目的及び効果】 専門的指導者等の派遣により地域社会との連携を深めるとともに、部活動の活性化及び教員の多忙を解消を図る。また、部活動の地域移行を学校や地域の実情に応じて円滑に進めるため、令和5年度より地域移行コーディネーターを学校教育課及び各中学校へ配置している。	
(単位:千円)		【事業の内容】 ・部活動指導員(単独指導・引率可)及び外部指導者の配置 ・地域展開コーディネーターの配置(名称変更:R7までは地域移行コーディネーター) 統括コーディネーター:2名 地域展開コーディネーター:17名	
前年度当初予算額	39,266	【事業の実績】 ・部活動指導員配置事業 令和5年度 17校87名 令和6年度 17校100名 令和7年度 7校 98名 ・部活動外部指導者派遣事業 令和5年度 4校5名 令和6年度 5校9名 令和7年度 7校11名 ・鳥取市部活動改革委員会 令和5年度 3回開催 令和6年度 4回開催 令和7年度 3回開催(見込み) ・地域展開コーディネーター配置事業 令和5年度 統括コーディネーター1名、地域移行コーディネーター17名 令和6年度 統括コーディネーター2名、地域移行コーディネーター17名 令和7年度 統括コーディネーター2名、地域移行コーディネーター17名	
本年度要求額	40,647	【事業の内容】 ・部活動指導員(単独指導・引率可)及び外部指導者の配置 ・地域展開コーディネーターの配置(名称変更:R7までは地域移行コーディネーター) 統括コーディネーター:2名 地域展開コーディネーター:17名	
総務部長段階査定額	40,647	【事業の実績】 ・部活動指導員配置事業 令和5年度 17校87名 令和6年度 17校100名 令和7年度 7校 98名 ・部活動外部指導者派遣事業 令和5年度 4校5名 令和6年度 5校9名 令和7年度 7校11名 ・鳥取市部活動改革委員会 令和5年度 3回開催 令和6年度 4回開催 令和7年度 3回開催(見込み) ・地域展開コーディネーター配置事業 令和5年度 統括コーディネーター1名、地域移行コーディネーター17名 令和6年度 統括コーディネーター2名、地域移行コーディネーター17名 令和7年度 統括コーディネーター2名、地域移行コーディネーター17名	
市長段階査定額	40,647	【事業の内容】 ・部活動指導員(単独指導・引率可)及び外部指導者の配置 ・地域展開コーディネーターの配置(名称変更:R7までは地域移行コーディネーター) 統括コーディネーター:2名 地域展開コーディネーター:17名	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 ・部活動指導員配置事業 令和5年度 17校87名 令和6年度 17校100名 令和7年度 7校 98名 ・部活動外部指導者派遣事業 令和5年度 4校5名 令和6年度 5校9名 令和7年度 7校11名 ・鳥取市部活動改革委員会 令和5年度 3回開催 令和6年度 4回開催 令和7年度 3回開催(見込み) ・地域展開コーディネーター配置事業 令和5年度 統括コーディネーター1名、地域移行コーディネーター17名 令和6年度 統括コーディネーター2名、地域移行コーディネーター17名 令和7年度 統括コーディネーター2名、地域移行コーディネーター17名	
財源内訳		【事業の内容】 ・部活動指導員(単独指導・引率可)及び外部指導者の配置 ・地域展開コーディネーターの配置(名称変更:R7までは地域移行コーディネーター) 統括コーディネーター:2名 地域展開コーディネーター:17名	
国・県支出金	22,043	【事業の実績】 ・部活動指導員配置事業 令和5年度 17校87名 令和6年度 17校100名 令和7年度 7校 98名 ・部活動外部指導者派遣事業 令和5年度 4校5名 令和6年度 5校9名 令和7年度 7校11名 ・鳥取市部活動改革委員会 令和5年度 3回開催 令和6年度 4回開催 令和7年度 3回開催(見込み) ・地域展開コーディネーター配置事業 令和5年度 統括コーディネーター1名、地域移行コーディネーター17名 令和6年度 統括コーディネーター2名、地域移行コーディネーター17名 令和7年度 統括コーディネーター2名、地域移行コーディネーター17名	
地方債	0	【事業の内容】 ・部活動指導員(単独指導・引率可)及び外部指導者の配置 ・地域展開コーディネーターの配置(名称変更:R7までは地域移行コーディネーター) 統括コーディネーター:2名 地域展開コーディネーター:17名	
その他	0	【事業の実績】 ・部活動指導員配置事業 令和5年度 17校87名 令和6年度 17校100名 令和7年度 7校 98名 ・部活動外部指導者派遣事業 令和5年度 4校5名 令和6年度 5校9名 令和7年度 7校11名 ・鳥取市部活動改革委員会 令和5年度 3回開催 令和6年度 4回開催 令和7年度 3回開催(見込み) ・地域展開コーディネーター配置事業 令和5年度 統括コーディネーター1名、地域移行コーディネーター17名 令和6年度 統括コーディネーター2名、地域移行コーディネーター17名 令和7年度 統括コーディネーター2名、地域移行コーディネーター17名	
一般財源	18,604	【事業の内容】 ・部活動指導員(単独指導・引率可)及び外部指導者の配置 ・地域展開コーディネーターの配置(名称変更:R7までは地域移行コーディネーター) 統括コーディネーター:2名 地域展開コーディネーター:17名	
計	40,647	【事業の実績】 ・部活動指導員配置事業 令和5年度 17校87名 令和6年度 17校100名 令和7年度 7校 98名 ・部活動外部指導者派遣事業 令和5年度 4校5名 令和6年度 5校9名 令和7年度 7校11名 ・鳥取市部活動改革委員会 令和5年度 3回開催 令和6年度 4回開催 令和7年度 3回開催(見込み) ・地域展開コーディネーター配置事業 令和5年度 統括コーディネーター1名、地域移行コーディネーター17名 令和6年度 統括コーディネーター2名、地域移行コーディネーター17名 令和7年度 統括コーディネーター2名、地域移行コーディネーター17名	
備考欄			

教O19	項目名	放課後子ども教室推進事業費	新規事業																				
予算書項目	放課後子ども教室推進事業費	ページ	277																				
年度	R8	所属名 教育委員会事務局 学校教育課																					
会計名																							
一般会計																							
款	教育費																						
項	社会教育費																						
目	社会教育活動費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	8,221																						
本年度要求額	8,170																						
総務部長段階査定額	8,170	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	8,170																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	2,204																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	5,966																					
	計	8,170																					
備考欄																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業の概要</th> </tr> <tr> <td colspan="2">【問合せ先】放課後児童支援係 0857-30-8414</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【12次総の施策体系】1201</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【事業の経過及び背景】 平成19年度から平成20年度までは、美保・美保南校区といった大規模校区で児童クラブの補完的役割を期待して実施した。平成21年度以降は、中山間地域の小規模校区で児童クラブのない校区において実施している。また、平成30年度から児童クラブのある久松小学校でも実施している。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【事業の目的及び効果】 放課後や週末等の子どもの安全・安心な居場所を確保するとともに、地域の参画も得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより子ども達が地域との交流を深め、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【事業の内容】 ・放課後子ども教室の運営 3教室</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【事業の実績】 令和5年度 明治25人、東郷27人、久松38人、逢坂17人 令和6年度 明治20人、東郷29人、久松40人、逢坂14人 令和7年度 明治18人、東郷27人、久松40人、逢坂15人</td> </tr> </table>				事業の概要		【問合せ先】放課後児童支援係 0857-30-8414		【12次総の施策体系】1201		【事業の経過及び背景】 平成19年度から平成20年度までは、美保・美保南校区といった大規模校区で児童クラブの補完的役割を期待して実施した。平成21年度以降は、中山間地域の小規模校区で児童クラブのない校区において実施している。また、平成30年度から児童クラブのある久松小学校でも実施している。		【事業の目的及び効果】 放課後や週末等の子どもの安全・安心な居場所を確保するとともに、地域の参画も得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより子ども達が地域との交流を深め、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		【事業の内容】 ・放課後子ども教室の運営 3教室		【事業の実績】 令和5年度 明治25人、東郷27人、久松38人、逢坂17人 令和6年度 明治20人、東郷29人、久松40人、逢坂14人 令和7年度 明治18人、東郷27人、久松40人、逢坂15人							
事業の概要																							
【問合せ先】放課後児童支援係 0857-30-8414																							
【12次総の施策体系】1201																							
【事業の経過及び背景】 平成19年度から平成20年度までは、美保・美保南校区といった大規模校区で児童クラブの補完的役割を期待して実施した。平成21年度以降は、中山間地域の小規模校区で児童クラブのない校区において実施している。また、平成30年度から児童クラブのある久松小学校でも実施している。																							
【事業の目的及び効果】 放課後や週末等の子どもの安全・安心な居場所を確保するとともに、地域の参画も得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより子ども達が地域との交流を深め、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。																							
【事業の内容】 ・放課後子ども教室の運営 3教室																							
【事業の実績】 令和5年度 明治25人、東郷27人、久松38人、逢坂17人 令和6年度 明治20人、東郷29人、久松40人、逢坂14人 令和7年度 明治18人、東郷27人、久松40人、逢坂15人																							

教O20	項目名	要保護・準要保護児童就学援助費(小学校)	新規事業																				
予算書項目	要保護・準要保護児童就学援助費	ページ	269																				
年度	R8	所属名 教育委員会事務局 学校保健給食課																					
会計名																							
一般会計																							
款	教育費																						
項	教育総務費																						
目	教育振興費																						
(単位:千円)																							
前年度当初予算額	39,258																						
本年度要求額	37,280																						
総務部長段階査定額	37,280	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	37,280																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	288																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	36,992																					
	計	37,280																					
備考欄																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業の概要</th> </tr> <tr> <td colspan="2">【問合せ先】学校保健・支援係 0857-30-8416</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【12次総の施策体系】1201</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【事業の経過及び背景】 学校教育法第19条に基づき、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して就学に必要な経費を支給している。 また、平成30年度新入学児童生徒より、新入学用品費の入学前支給を実施している。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【事業の目的及び効果】 経済的理由によって、就学困難と認められる児童の保護者に対して必要な支援を行い、義務教育の円滑な実施に資する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【事業の内容】 経済的な理由により教育費に困っている保護者に対し、就学のために必要な学用品費、修学旅行費等の一部を援助する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【事業の実績】 令和5年度 対象者1,056人 32,336千円 令和6年度 対象者1,023人 31,678千円 令和7年度 対象者1,006人 35,598千円(見込み)</td> </tr> </table>				事業の概要		【問合せ先】学校保健・支援係 0857-30-8416		【12次総の施策体系】1201		【事業の経過及び背景】 学校教育法第19条に基づき、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して就学に必要な経費を支給している。 また、平成30年度新入学児童生徒より、新入学用品費の入学前支給を実施している。		【事業の目的及び効果】 経済的理由によって、就学困難と認められる児童の保護者に対して必要な支援を行い、義務教育の円滑な実施に資する。		【事業の内容】 経済的な理由により教育費に困っている保護者に対し、就学のために必要な学用品費、修学旅行費等の一部を援助する。		【事業の実績】 令和5年度 対象者1,056人 32,336千円 令和6年度 対象者1,023人 31,678千円 令和7年度 対象者1,006人 35,598千円(見込み)							
事業の概要																							
【問合せ先】学校保健・支援係 0857-30-8416																							
【12次総の施策体系】1201																							
【事業の経過及び背景】 学校教育法第19条に基づき、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して就学に必要な経費を支給している。 また、平成30年度新入学児童生徒より、新入学用品費の入学前支給を実施している。																							
【事業の目的及び効果】 経済的理由によって、就学困難と認められる児童の保護者に対して必要な支援を行い、義務教育の円滑な実施に資する。																							
【事業の内容】 経済的な理由により教育費に困っている保護者に対し、就学のために必要な学用品費、修学旅行費等の一部を援助する。																							
【事業の実績】 令和5年度 対象者1,056人 32,336千円 令和6年度 対象者1,023人 31,678千円 令和7年度 対象者1,006人 35,598千円(見込み)																							

教O21	項目名	要保護・準要保護児童就学援助費(中学校)	新規事業
予算書項目	要保護・準要保護児童就学援助費	ページ	269
年度	R8	所属名 教育委員会事務局 学校保健給食課	
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	教育総務費		
目	教育振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	51,411		
本年度要求額	63,542		
総務部長段階査定額	63,542	その他財源の内訳	
市長段階査定額	63,542	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	561	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	62,981	
	計	63,542	
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】学校保健・支援係 0857-30-8416 【12次総の施策体系】1201 【事業の経過及び背景】 学校教育法第19条に基づき、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して就学に要する経費を支給している。 また、平成30年度新入学児童生徒より、新入学用品費の入学前支給を実施している。 【事業の目的及び効果】 経済的理由によって、就学困難と認められる生徒の保護者に対して必要な支援を行い、義務教育の円滑な実施に資する。 【事業の内容】 経済的な理由により教育費に困っている保護者に対し、就学のため必要な学用品費、修学旅行費等の一部を援助する。 【事業の実績】 令和5年度 対象者658人 45,527千円 令和6年度 対象者691人 50,048千円 令和7年度 対象者632人 53,511千円(見込み)			

教O22	項目名	特別支援学級教育就学奨励費(小学校)	新規事業
予算書項目	特別支援学級教育就学奨励費	ページ	269
年度	R8	所属名 教育委員会事務局 学校保健給食課	
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	教育総務費		
目	教育振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	9,375		
本年度要求額	5,180		
総務部長段階査定額	5,180	その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,180	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	2,590	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,590	
	計	5,180	
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】学校保健・支援係 0857-30-8416 【12次総の施策体系】1201 【事業の経過及び背景】 特別支援学校への就学奨励に関する法律により、特別支援学級に在籍する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に要する経費の一部を支給している。 【事業の目的及び効果】 特別支援学級に就学する児童の保護者に対して経済的負担の軽減を図り、特別支援学級における教育の普及奨励を図る。 【事業の内容】 特別支援学級への就学奨励のため、必要な学用品等の支援を行う。 【事業の実績】 令和5年度 対象者279人 8,991千円 令和6年度 対象者291人 9,435千円 令和7年度 対象者274人 9,375千円(見込み)			

教023	項目名	特別支援学級教育就学奨励費(中学校)	新規事業
予算書項目	特別支援学級教育就学奨励費	ページ	269
年度	R8	所属名 教育委員会事務局 学校保健給食課	
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	教育総務費		
目	教育振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	8,651		
本年度要求額	9,768		
総務部長段階査定額	9,768	その他財源の内訳	
市長段階査定額	9,768	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	4,884	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	4,884	
	計	9,768	
備考欄			
事業の概要			
【問合せ先】学校保健・支援係 0857-30-8416			
【12次総の施策体系】1201			
【事業の経過及び背景】 特別支援学校への就学奨励に関する法律により、特別支援学級に在籍する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に要する経費の一部を支給している。			
【事業の目的及び効果】 特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して経済的負担の軽減を図り、特別支援学級における教育の普及奨励を図る。			
【事業の内容】 特別支援学級への就学奨励のため、必要な学用品等の支援を行う。			
【事業の実績】 令和5年度 対象者111人 5,313千円 令和6年度 対象者128人 6,664千円 令和7年度 対象者141人 8,651千円(見込み)			

教024	項目名	給食配送委託費	新規事業
予算書項目	給食配送委託費	ページ	285
年度	R8	所属名 教育委員会事務局 学校保健給食課	
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	保健体育費		
目	学校給食費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	71,390		
本年度要求額	83,285		
総務部長段階査定額	83,285	その他財源の内訳	
市長段階査定額	83,285	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	5,982
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	5,982	
	一般財源	77,303	
	計	83,285	
備考欄			
事業の概要			
【問合せ先】学校給食係 0857-30-8417			
【12次総の施策体系】1201			
【事業の経過及び背景】 各学校給食センターから受配校である小学校、中学校、義務教育学校までの給食の配送及び回収を行っている。			
【事業の目的及び効果】 給食の配送及び回収を継続的かつ安定的に実施する。			
【事業の内容】 学校給食センターと学校(給食室)の間を給食用コンテナにより配送・回収する必要があるため、専用車を有する業者に委託して実施する。 対象 : 第一・第二・湖東・国府学校給食センター 小学校、中学校、義務教育学校 40校 委託先 : 因伯通運(株) 債務負担行為: 令和8年度~令和12年度			
【事業の実績】 令和5年度 71,524千円 令和6年度 71,930千円 令和7年度 72,040千円(見込み)			
※その他財源の諸収入は、県立学校給食負担金			

教025	項目名	給食調理委託費	新規事業
予算書項目	給食調理委託費	ページ	285
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 学校保健給食課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	保健体育費		
目	学校給食費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	468,204		
本年度要求額	605,340		
総務部長段階査定額	605,340		
市長段階査定額	605,340		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	事業の概要 【問合せ先】学校給食係 0857-30-8417 【12次総の施策体系】1201 【事業の経過及び背景】 民間の経営感覚やノウハウを生かして、安全・安心な学校給食を安定的に実施するため、学校給食センター調理等業務の民間業者への委託に取り組み、平成23年度に全ての学校給食センターの委託が完了した。以後、継続して調理等業務を委託している。 【事業の目的及び効果】 学校給食センターの調理業務を継続的かつ安定的に実施する。 【事業の内容】 ・物資調達業務 [随意契約] (公財)鳥取市学校給食会 ・調理業務 第一・湖東学校給食センター [随意契約:単年契約] (公財)鳥取市学校給食会 第二・河原・気高・青谷・鹿野学校給食センター [債務負担行為:R8~12] (公財)鳥取市学校給食会 国府学校給食センター [債務負担行為:R8~12] (株)メフォス 国府学校給食センター調理業務追加分 [随意契約:単年契約] (株)メフォス 【事業の実績】 令和5年度 449,607千円 令和6年度 454,595千円 令和7年度 468,204千円 (見込み) ※その他財源の諸収入は、県立学校給食負担金
	地方債	0	
	その他	8,857	
	一般財源	596,483	
	計	605,340	
備考欄			

教026	項目名	一般管理費(学校給食センター)	新規事業
予算書項目	運営管理費等	ページ	285
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 学校保健給食課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	保健体育費		
目	学校給食費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	91,901		
本年度要求額	111,351		
総務部長段階査定額	111,351		
市長段階査定額	111,351		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	事業の概要 【問合せ先】学校給食係 0857-30-8417 【12次総の施策体系】1201 【事業の経過及び背景】 本市では、8つの学校給食センターで給食を調理し、所管の学校へ提供している。これらの学校給食センターを適切に運営し、安全で安心な学校給食の提供に努めている。 【事業の目的及び効果】 安全で安心な学校給食を、継続的かつ安定的に提供する。 【事業の内容】 鳥取市内の全小・中・義務教育学校の学校給食を、学校給食センター8施設から調理・提供するとともに、各施設の維持管理を行う。 【事業の実績】 令和5年度 94,053千円 令和6年度 90,868千円 令和7年度 95,984千円 (見込み) ※その他財源の使用料は、学校給食センター職員自家用車駐車場使用料等 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、段ボール・廃油引取料等
	地方債	0	
	その他	16,362	
	一般財源	94,989	
	計	111,351	
備考欄			

教O27	項目名	学校給食運営事業費	新規事業																				
予算書項目	学校給食運営事業費	ページ	285																				
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 学校保健給食課																				
会計名		事業の概要																					
一般会計		【問合せ先】学校給食係 0857-30-8417、校務支援係 0857-30-8418																					
款	教育費	【12次総の施策体系】1201																					
項	保健体育費	【事業の経過及び背景】 学校給食費は、平成30年度から公会計へ移行。従来学校で集金し、学校給食センターが納入業者等への支払いを行っていたものを、市の予算に組み込むことにより、市が集金し、食材費等の支払い業務も市が担うこととなった。																					
目	学校給食費	【事業の目的及び効果】 学校給食費の公会計化により、学校現場の多忙化解消や会計処理の透明性の向上などを図る。また、児童生徒に安全・安心でおいしい学校給食を安定的に提供する。																					
(単位:千円)		【事業の内容】 食材をはじめとする学校給食に必要な物資の購入、学校給食費の賦課、徴収に関する事務等。																					
前年度当初予算額	921,702	財源：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金																					
本年度要求額	975,557	【事業の実績】 令和5年度 888,525千円 令和6年度 875,228千円 令和7年度 952,195千円（見込み）																					
総務部長段階査定額	975,557	※その他財源の諸収入は、学校給食実費負担金等																					
市長段階査定額	975,557	<table border="1"> <tr><th colspan="2">その他財源の内訳</th></tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>394,442</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	394,442	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	394,442																						
その他	0																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	506,441																						
地方債	0																						
その他	394,442																						
一般財源	74,674																						
計	975,557																						
備考欄																							

教O28	項目名	重要文化財仁風閣保存整備事業費	新規事業																				
予算書項目	重要文化財仁風閣保存整備事業費	ページ	279																				
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 文化財課																				
会計名		事業の概要																					
一般会計		【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-30-8422																					
款	教育費	【12次総の施策体系】3302																					
項	社会教育費	【事業の経過及び背景】 重要文化財仁風閣は、明治40年に大正天皇(当時皇太子)の山陰行啓に際し、当地の宿舎として旧鳥取藩主池田氏が城跡に建てたもので、山陰地方における数少ない明治洋風建築の遺構として貴重である。 近年、雨漏りや壁面の剥落など経年劣化が著しく、指定文化財として保存修理を要する状況にあることから、耐震改修及び保存修理並びに活用整備を実施する。																					
目	文化財保護費	【事業の目的及び効果】 本事業の実施により市民の誇りである仁風閣を将来にわたって伝えていく。																					
(単位:千円)		【事業の内容】 事業スケジュール 令和5年度 耐震診断、補強設計ほか 令和6年度 保存修理工事ほか 令和7年度～令和10年度 保存修理工事、設備改修実施設計ほか 令和11年度 リニューアルオープン（予定）																					
前年度当初予算額	162,079	【事業の実績】 令和5年度 14,024千円 令和6年度 84,414千円（見込み） 繰越事業あり 令和7年度 162,079千円（見込み）																					
本年度要求額	381,323																						
総務部長段階査定額	381,323	<table border="1"> <tr><th colspan="2">その他財源の内訳</th></tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	381,323																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	235,535																						
地方債	141,600																						
その他	0																						
一般財源	4,188																						
計	381,323																						
備考欄																							

教029	項目名	鳥取城跡保存修理事業費	新規事業
予算書項目	鳥取城跡保存修理事業費	ページ	279
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 文化財課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	社会教育費		
目	文化財保護費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	155,268		
本年度要求額	119,905		
総務部長段階査定額	119,905		
市長段階査定額	119,905		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	64,359	負担金	0
地方債	51,900	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	3,646	財産収入	0
計	119,905	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-30-8422	
【12次総の施策体系】3302	
【事業の経過及び背景】 昭和32年度の史跡指定以降、昭和34年度から石垣保存修理事業を開始した。現在、平成17年度に策定した「史跡鳥取城跡附大閘ヶ平保存整備基本計画」に基づき、令和10年代初頭を目標に大手登城路の内、大手門であった中ノ御門及びその周辺の復元に取り組んでいる。	
【事業の目的及び効果】 市民から要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。また、史跡の管理・活用を適正に実施する。	
【事業の内容】 ・復元整備事業 中ノ御門周辺整備実施設計や二ノ丸三階櫓台下整備計画策定などを実施 ・管理活用事業 史跡の保存・活用に係る環境整備（除草、安全対策等） 学術調査の実施（研究年報の刊行等） 教育普及事業の実施（鳥取城フォーラムの開催等）	
【事業の実績】 令和5年度 232,661千円 令和6年度 300,167千円 令和7年度 154,479千円（見込み）	

教030	項目名	文化財調査費	新規事業
予算書項目	文化財調査費	ページ	279
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 文化財課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	社会教育費		
目	文化財保護費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	3,819		
本年度要求額	2,008		
総務部長段階査定額	2,008		
市長段階査定額	2,008		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	1,330	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	678	財産収入	0
計	2,008	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421	
【12次総の施策体系】3302	
【事業の経過及び背景】 市内に所在する埋蔵文化財以外の文化財について調査を実施する。	
【事業の目的及び効果】 埋蔵文化財以外の文化財について、将来にわたって保存活用していくために基礎調査を実施する。	
【事業の内容】 平成29年度～令和7年度 東照宮別当寺院大雲院の資料調査、報告書の刊行 令和8年度～ 「用瀬の流しびな」調査、報告書の刊行（国庫補助事業）	
【事業の実績】 令和5年度 8,965千円 令和6年度 3,777千円 令和7年度 3,811千円（見込み）	

教031	項目名	上寺地遺跡管理事業費	新規事業
予算書項目	青谷上寺地遺跡管理費	ページ	279
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 文化財課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	社会教育費		
目	文化財保護費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	52,127		
本年度要求額	97,563		
総務部長段階査定額	97,563		
市長段階査定額	97,563		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	55,300	
	その他	0	
	一般財源	42,263	
	計	97,563	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421	
【12次総の施策体系】3302	
【事業の経過及び背景】 青谷上寺地遺跡は平成20年度に国史跡に指定され、現在の指定面積は146,132.99㎡である。令和6年3月にはガイダンス施設と整備が完了した公園の一部をオープンし、管理及び活用については指定管理者が行っている。	
【事業の目的及び効果】 青谷かみじち史跡公園の遺跡保護と景観の保全管理に努める。 鳥取県と協力して青谷上寺地遺跡の史跡整備を行う。	
【事業の内容】 ・鳥取県が主体となって実施する青谷上寺地遺跡の整備費の一部負担 ・青谷かみじち史跡公園の指定管理料等の費用の半額負担 ・史跡指定地内での古代米栽培	
【事業の実績】 令和5年度 91,932千円 令和6年度 47,725千円 (繰越含む) 令和7年度 52,127千円 (見込み)	

教032	項目名	旧美敷水源地水道施設管理活用事業費	新規事業
予算書項目	旧美敷水源地水道施設管理活用事業費	ページ	279
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 文化財課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	社会教育費		
目	文化財保護費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	7,702		
本年度要求額	8,657		
総務部長段階査定額	8,657		
市長段階査定額	8,657		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	2,300	
	その他	21	
	一般財源	6,336	
	計	8,657	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421	
【12次総の施策体系】3302	
【事業の経過及び背景】 旧美敷水源地水道施設は、鳥取市の水がめとして大正から昭和にかけて60年にわたって使用された水道施設であり、平成19年6月に国の重要文化財に指定された。平成20年度に「保存整備基本計画」、平成25年度に「保存活用計画」を策定し、計画に基づく整備工事が平成30年度に完成した。	
【事業の目的及び効果】 施設の適切な維持管理・活用を継続的に実施し、旧美敷水源地水道施設を市民の誇りとなる遺産として、将来にわたって伝えていく。	
【事業の内容】 ・施設維持管理 施設の維持管理・公開活用を地元への委託により実施 ・施設活用事業 全国近代化遺産一斉公開にあわせた施設の一般公開 ・建造物維持 国重要文化財の建物を維持するため劣化部分を更新	
【事業の実績】 令和5年度 5,905千円 令和6年度 12,635千円 令和7年度 7,702千円 (見込み)	
※その他財源の使用料は、自動販売機使用料 ※その他財源の諸収入は、自動販売機電気代	

教O33	項目名	埋蔵文化財体験・活用事業費	新規事業
予算書項目	埋蔵文化財体験・活用事業費	ページ	279
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 文化財課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421	
款	教育費	【12次総の施策体系】3302	
項	社会教育費	【事業の経過及び背景】 これまでに多くの発掘調査が行われ、各地域の歴史が明らかにされてきたが、市民が出土遺物に直接触れる機会は少なく、出土品が活用されていなかった。また近年学校ではふるさとキャリア教育が行われ、地域の歴史を紐解く教材の1つとして埋蔵文化財の利活用が進められている。	
目	文化財保護費	【事業の目的及び効果】 多くの市民に考古学の楽しさや地域の歴史に興味・関心をもってもらうために埋蔵文化財を活用し、文化財愛護の精神の醸成を図る。	
(単位:千円)		【事業の内容】 ・小学生を対象とした「こども考古学教室」の開催 本物の出土品に触れたり、火起こしなどの体験活動 地域学習・公民館・図書館への出前講座を実施 ・発掘調査で出土した遺物の移動展示 ・史跡梶山古墳壁画の一般公開及び栃本廃寺跡の公開 ・発掘調査で記録した写真類の整理作業	
前年度当初予算額	6,298	【事業の実績】 出前授業件数 令和5年度34校、令和6年度38校、令和7年度35校 令和5年度 4,608千円 令和6年度 7,136千円 令和7年度 5,701千円(見込み)	
本年度要求額	8,063	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	8,063	【事業の内容】	
市長段階査定額	8,063	【事業の内容】	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
財源内訳		【事業の内容】	
国・県支出金	1,938	【事業の内容】	
地方債	0	【事業の内容】	
その他	0	【事業の内容】	
一般財源	6,125	【事業の内容】	
計	8,063	【事業の内容】	
備考欄		【事業の内容】	

教O34	項目名	歴史博物館管理費	新規事業
予算書項目	歴史博物館管理費	ページ	279
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 文化財課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421	
款	教育費	【12次総の施策体系】3302	
項	社会教育費	【事業の経過及び背景】 鳥取市歴史博物館は平成12年に鳥取の歴史や文化を体系的に学習できる施設として開館し、令和2年度に常設展示をリニューアルした。指定管理者制度を導入し、施設の適切な維持管理・活用を図っている。	
目	文化財保護費	【事業の目的及び効果】 鳥取市歴史博物館の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、常設展示・特別展示等を通じて文化財の愛護思想の啓発育成を図る。また、施設の老朽化に対応した修繕を計画的に行い、施設の長寿命化を図る。	
(単位:千円)		【事業の内容】 施設管理運営 指定管理者：(公財)鳥取市文化財団 (令和8年度から5年間) 業務の範囲：博物館の利用に関する業務 施設設備の維持管理 企画展示等に関する業務 (財源：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金) 特別展等委託 第2駐車場警備委託 空調中央監視装置の更新 デジタルアーカイブ事業(大雲院資料のデータ整備)《拡充》	
前年度当初予算額	140,369	【事業の実績】 令和5年度 143,913千円 令和6年度 140,672千円 令和7年度 143,006千円(見込み)	
本年度要求額	172,307	※その他財源の諸収入は、光熱水費使用料	
総務部長段階査定額	172,307	【事業の内容】	
市長段階査定額	172,307	【事業の内容】	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
財源内訳		【事業の内容】	
国・県支出金	6,478	【事業の内容】	
地方債	24,100	【事業の内容】	
その他	90	【事業の内容】	
一般財源	141,639	【事業の内容】	
計	172,307	【事業の内容】	
備考欄		【事業の内容】	

教O35	項目名	生涯学習推進事業費	新規事業
予算書項目	生涯学習推進対策費	ページ	275
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426	
款	教育費	【12次総の施策体系】1202	
項	社会教育費	【事業の経過及び背景】 本市では、子どもの読書環境を整備する施策を総合的かつ計画的に実施するため、令和7年度に第5次鳥取市子どもの読書活動推進計画（計画期間：令和8年度～12年度）を策定し、子どもの読書活動の推進に努めている。また、各地区公民館や各教育委員会分室が生涯学習事業を開催し、地域における学習の場を提供することにより、学びの成果を生かした住民主体のまちづくりにつなげる。	
目	社会教育総務費	【事業の目的及び効果】 子どもの読書環境を整備する施策を総合的かつ計画的に実施するため、進捗管理をし、子どもの読書環境の充実化を図る。 また、地域性を生かした各種生涯学習事業を実施し、地域に根付いた学習提供及び社会教育によるまちづくりと地域の活性化を図る。	
(単位:千円)		【事業の内容】 ・鳥取市子どもの読書活動推進委員会 委員13人 任期2年（令和7年7月1日～令和9年6月30日） ・生涯学習事業の開催	
前年度当初予算額	32,066	【事業の実績】 ・鳥取市子どもの読書活動推進委員会 令和5年度3回 令和6年度3回 令和7年度3回（見込み） ・生涯学習事業の開催 令和5年度11,300人 令和6年度11,445人 令和7年度10,000人（見込み） 国府：高齢者講座（万葉学校）ほか 福部：耕心大学ほか 河原：みたぎ大学ほか 用瀬：みすみ大学ほか 佐治：ふるさと歴史講座ほか 気高：歴史講座ほか 鹿野：図書イベントほか 青谷：高齢者教室ほか ・委託料：鳥取市公民館連合会 484,800円×35館+181,000円×1館（大郷分館） 補助金（一括交付金）：1地区 484,800円×26館	
本年度要求額	31,210	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	31,210	【事業の実績】	
市長段階査定額	31,210	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		【事業の実績】	
国・県支出金	2,520	【事業の実績】	
地方債	0	【事業の実績】	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	28,690	【事業の実績】	
計	31,210	【事業の実績】	
備考欄		【事業の実績】	

教O36	項目名	地域学校協働活動推進事業費	新規事業
予算書項目	生涯学習推進対策費	ページ	275
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426	
款	教育費	【12次総の施策体系】1202	
項	社会教育費	【事業の経過及び背景】 鳥取市教育委員会ではコミュニティスクールを導入し、学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組む体制づくりを進めている。平成29年3月の社会教育法改正で、「地域学校協働活動」「地域学校協働活動推進員」に関する規定が整備された。（社会教育法第9条の7）	
目	社会教育総務費	【事業の目的及び効果】 国が推奨している「地域学校協働本部」の設置に向けて当事業実施地区を設定し、地域社会と学校が協働する体制の整備、地域課題に即した社会教育活動の実施に取り組み、学校を核とした地域づくりを全市的に展開することで、学校課題、地域課題の解決を図る。	
(単位:千円)		【事業の内容】 「地域学校協働活動推進員」を配置し、以下の役割を担う。 ・学校と連携・協働するためのコーディネーター ・学校と地域の共有の目標に基づく、地域住民等の参画による事業の企画・実施 ・各地域の人材・支援等ネットワークを持続可能な仕組みの構築 ・学校運営協議会への参画（地教法第47条の5に規定） ・統括推進員を配置（推進員間の調整、人材育成や未実施地域の取組推進）	
前年度当初予算額	4,716	【事業の実績】	
本年度要求額	8,866	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	8,866	【事業の実績】	
市長段階査定額	8,866	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		【事業の実績】	
国・県支出金	2,955	【事業の実績】	
地方債	0	【事業の実績】	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	5,911	【事業の実績】	
計	8,866	【事業の実績】	
備考欄		【事業の実績】	

教037	項目名	鳥取市生涯学習推進講座麒麟のまちアカデミー開設費	新規 事業
予算書項目	鳥取市生涯学習推進講座麒麟のまちアカデミー開設費	ページ	275
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426	
款	教育費	【12次総の施策体系】1202	
項	社会教育費	【事業の経過及び背景】 豊かな人生、豊かな社会を築く生涯学習の推進のため、令和3年度より麒麟のまちアカデミーとし、概ね60歳以上を対象とした「尚徳大学」、生涯学習講座を行う「麒麟のまちゼミナール」、小学生を対象とした「ジュニア講座」、子どもから専門家まで自由なものづくりを行う「ファブラボとっとり」など多様な学習機会を提供している。	
目	社会教育総務費	【事業の目的及び効果】 生涯学習講座「麒麟のまちアカデミー」を開講し、時代の変化に対応し、生活に必要な知識や技能の習得や社会課題の学習、自己の生きがいづくりなど、生涯にわたり取り組める学習環境を提供する。	
(単位:千円)		【事業の内容】 ・尚徳大学(概ね60歳以上) 8つの専門コース(社会・健康・郷土・園芸・いきいき体操・書道・彫刻・絵画) ・麒麟のまちゼミナール(一般向け生涯学習講座) 教養コース(ジュニアチャレンジ講座を含む)・技能コースの実施 ・ファブラボととりの運営 ものづくり講座の開催、機器貸出	
前年度当初予算額	14,985	【事業の実績】 ・尚徳大学 延べ受講者数 令和5年度1,754人 令和6年度1,764人 令和7年度2,500人(見込み) ・麒麟のまちゼミナール 延べ受講者数 令和5年度 920人 令和6年度1,131人 令和7年度1,200人(見込み) ・ファブラボととりの運営 ものづくり講座開催(デジタルファブリケーション機器(3Dプリンタ等)活用等) 機器の貸出	
本年度要求額	14,241	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	14,241	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	14,241	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	14,241	寄付金	0
一般財源	0	繰入金	14,241
計	14,241	諸収入	0
		その他	0
備考欄			

教038	項目名	子育てネットワーク推進事業費	新規 事業
予算書項目	家庭教育支援基盤形成事業費	ページ	277
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426	
款	教育費	【12次総の施策体系】1202	
項	社会教育費	【事業の経過及び背景】 家庭教育はすべての教育の出発点であり、基本的な生活習慣やルール・マナーを身につけさせるなど、子どもの人格形成に大きな役割を担っている一方で、地域において子育ての悩みや不安を気軽に相談できない親が増加する傾向にある。	
目	社会教育活動費	【事業の目的及び効果】 家庭教育に関する学習を通じて親同士のつながりを深め、家庭教育力の向上を図るとともに、安心して子育てできる環境づくりを進める。	
(単位:千円)		【事業の内容】 市内の小学校・保育園等において、「子育て・親育ち講座」を実施し、地域における家庭教育支援ネットワークの構築を支援する。	
前年度当初予算額	2,039	【事業の実績】 令和5年度 小学校講座43回 保育園等講座0回 令和6年度 小学校講座43回 保育園等講座5回 令和7年度 小学校講座43回 保育園等講座12回(見込み)	
本年度要求額	2,766	【その他財源の内訳】	
総務部長段階査定額	2,766	分担金	0
市長段階査定額	2,766	負担金	0
区分	本年度予算額	使用料	0
財源内訳		手数料	0
国・県支出金	922	財産収入	0
地方債	0	寄付金	0
その他	0	繰入金	0
一般財源	1,844	諸収入	0
計	2,766	その他	0
備考欄			

教O39	項目名	集会所管理費	新規事業
予算書項目	社会教育施設管理費	ページ	281
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	社会教育費		
目	社会教育施設管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	212,324		
本年度要求額	260,495		
総務部長段階査定額	260,495		
市長段階査定額	260,495		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	9,161	
	地方債	179,900	
	その他	8,186	
	一般財源	63,248	
	計	260,495	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426、施設係 0857-30-8428	
【12次総の施策体系】1202	
【事業の経過及び背景】 公民館以外に生涯学習・スポーツ課所管施設として、地域における生涯学習の推進及び地域の活性化を目的とする集会所が設置されている。	
【事業の目的及び効果】 施設の利用環境を良好に保ち、生涯学習の推進及び地域の活性化に寄与する。	
【事業の内容】 ・集会所、コミュニティセンター等の維持管理 ・指定管理（国府町コミュニティセンター、佐治町コミュニティセンター） ・施設改修 国府町コミュニティセンター特定天井ほか改修工事 175,000千円	
財源：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	
【事業の実績】 令和5年度 117,532千円 令和6年度 99,719千円 令和7年度 212,324千円（見込み）	
※その他財源の使用料は、コミュニティ施設使用料等 ※その他財源の財産収入は、土地建物貸付収入 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、自動販売機電気代等	

教O40	項目名	さじアストロパーク運営管理費	新規事業
予算書項目	さじアストロパーク運営管理費	ページ	281
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	社会教育費		
目	社会教育施設管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	38,575		
本年度要求額	57,600		
総務部長段階査定額	40,574		
市長段階査定額	40,574		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	800	
	その他	11,220	
	一般財源	28,554	
	計	40,574	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】さじアストロパーク 0858-89-1011	
【12次総の施策体系】1202	
【事業の経過及び背景】 さじアストロパークは、103cm反射望遠鏡やプラネタリウム、様々な展示物、宿泊施設等を備えた国内有数の公開天文台である。生涯学習施設として天文教育や理科教育などを担い、地元鳥取市はもちろん、美しい星空を求めて岡山県や京阪神方面等の広い地域から年間およそ2万人の来館者がある。	
【事業の目的及び効果】 鳥取市の生涯学習の拠点であり、天文教育や理科教育を担うとともに、県外からの多数の来館者により地域の振興に寄与することを目的とする。	
【事業の内容】 さじアストロパーク運営に係る経費 (会計年度職員人件費、使用料及び賃借料等)	
【事業の実績】 延べ総利用者数 令和5年度 19,824人 (3,928人) 令和6年度 24,552人 (5,229人) 令和7年度 22,500人 (4,600人) (見込み) ()はうちプラネタリウム観覧者数	
※その他財源の使用料は、天文台使用料 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、職員派遣謝礼	

教O41	項目名	さじコスモスの館運営管理費	新規事業
予算書項目	さじコスモスの館運営管理費	ページ	281
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】施設係 0857-30-8428、生涯学習係 0857-30-8426		
款 教育費	【12次総の施策体系】1202		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 鳥取市さじコスモスの館は、令和5～7年度まで臨時開館をし、今後の利活用について検討してきた。		
目 社会教育施設管理費	【事業の目的及び効果】 令和8年度より指定管理者制度を導入することにより、効率的かつ効果的な管理運営を行う。一般・学校関連の宿泊受入れのほか、さじアストロパーク星のコテージ宿泊者に対する食事提供を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】 鳥取市さじコスモスの館の指定管理 指定管理者(公募):株式会社さじ武拾壹 指定管理期間:令和8年4月1日から令和11年3月31日まで		
前年度当初予算額	404	【事業の実績】 令和5年度 宿泊者数 17人 R5.7~R5.11 ※台風第7号によるキャンセル有 令和6年度 宿泊者数 228人 R6.4~R7.3 令和7年度 宿泊者数 210人 R7.7~R8.3 (見込み)	
本年度要求額	3,255		
総務部長段階査定額	3,255	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,255	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,255		
計	3,255		
備考欄			

教O42	項目名	市民スポーツ大会開催費	新規事業
予算書項目	市民スポーツ大会開催費	ページ	287
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-30-8427		
款 教育費	【12次総の施策体系】1203		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 鳥取市民スポーツ大会は、昭和33年に市制70周年記念事業として始まり、選手・役員・応援などに多くの市民が参加する、全国でもあまり例を見ない本市最大のスポーツ行事である。		
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 生涯スポーツの推進を図るとともに、地域の一体感をつくり上げるほか、他地域との交流の場とする。		
(単位:千円)	【事業の内容】 小学校区対抗によるスポーツ大会を実施する。		
前年度当初予算額	2,442	【事業の実績】 令和5年度 2,207千円 参加人数12,567人 令和6年度 1,729千円 参加人数10,425人 令和7年度 2,442千円 (見込み) 参加人数12,990人	
本年度要求額	2,000		
総務部長段階査定額	2,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,000		
計	2,000		
備考欄			

教O43	項目名	姫路市スポーツ大会開催費	新規事業
予算書項目	体育大会費	ページ	287
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-30-8427		
款 教育費	【12次総の施策体系】1203		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 鳥取市と姫路市は、昭和47年に姉妹都市提携を結んで以来、各分野に渡って交流を広げてきた。スポーツにおいても、昭和52年から毎年、3種目程度の各役員・選手が相互訪問し、交流を深めている。		
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 姉妹都市として一層の親善と友好を深めるとともに、両市のスポーツの振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 鳥取市と姫路市が交互に開催地となり、スポーツによる交流大会を開催している。令和8年度は鳥取市にて開催、3種目程度を予定。		
前年度当初予算額	646	【事業の実績】	
本年度要求額	1,000	令和5年度	令和6年度
総務部長段階査定額	1,000	実施日 令和5年5月28日	令和6年5月26日
市長段階査定額	1,000	実施場所 姫路市	鳥取市
		参加人数 112人(鳥54、姫58)	104人(鳥50、姫54)
		総事業費 674千円	150人(鳥81、姫69)
			980千円
			646千円
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,000	
	計	1,000	
備考欄			

教O44	項目名	スポレク祭開催費	新規事業
予算書項目	体育大会費	ページ	287
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-30-8427		
款 教育費	【12次総の施策体系】1203		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 鳥取市スポーツ・レクリエーション祭は、生涯スポーツの普及に伴い、平成2年度から始まった大会である。校区別に競技スポーツで勝敗を競う市民スポーツ大会とは異なり、市民誰もが気軽に参加できるニュースポーツ等を中心として開催している。		
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 多くの市民が気軽に参加できるスポーツイベントとして、生涯スポーツの普及や振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 多くの市民にスポーツ活動を楽しんでもらうため、市スポーツ・レクリエーション祭を実施する。		
前年度当初予算額	900	【事業の実績】	
本年度要求額	850	令和5年度	令和6年度
総務部長段階査定額	850	実施日 9月2日~24日	9月1日~29日
市長段階査定額	850	参加人数 755人	732人
		チーム数 149チーム	159チーム
		総事業費 591千円	831千円
			821人
			193チーム
			900千円(見込み)
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	850	
	計	850	
備考欄			

教045	項目名	ガイナール鳥取力向上事業費	新規事業
予算書項目	ガイナール鳥取力向上事業費	ページ	287
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-30-8427		
款 教育費	【12次総の施策体系】1203		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 ガイナール鳥取がJリーグに昇格し、ガイナール鳥取を活用した経済活性化や地域振興に取り組んでいる。		
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 ガイナール鳥取のホームゲームでの観客満足度の高めることや、本市のPRをし観光地や市内施設への誘導を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ホームゲーム実施時に交流人口の増加を図るため、スタジアムで本市のPRを行う。		
前年度当初予算額	2,245	【事業の実績】 令和5年度 1,925千円 令和6年度 3,179千円 令和7年度 2,245千円(見込み)	
本年度要求額	1,245	※その他財源の寄付金は、社会教育費寄附金 ※その他財源の諸収入は、パードスタジアム広告料	
総務部長段階査定額	108	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	108	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	108	寄付金	100
一般財源	0	繰入金	0
計	108	諸収入	8
		その他	0
備考欄			

教046	項目名	鳥取マラソン開催費	新規事業
予算書項目	鳥取マラソン開催費	ページ	287
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-30-8427		
款 教育費	【12次総の施策体系】1202		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 平成18年度まで開催されていた湖山池ハーフマラソンを廃止し、全国各地のランニング愛好者に向けた魅力あるフルマラソンにグレードアップした。平成25年度にはマラソンコースを一新し、市街地や観光名所を巡ることにより鳥取をPRできるコースとしている。		
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 マラソンを核に「鳥取市」を全国にPRする。また、実行委員会事務局を民間に委託することで、民間の機動力とノウハウ、広告宣伝力を生かす運営形態とする。		
(単位:千円)	【事業の内容】 鳥取砂丘や鳥取城跡、仁風閣、万葉の里などをはじめとした本市の史跡・名所を巡るほか、千代川や田園地帯などの美しい自然景観も楽しめるコースで大会を実施する。		
前年度当初予算額	7,500	【事業の実績】	
本年度要求額	7,500	令和5年度	令和6年度
総務部長段階査定額	7,500	令和7年度(見込み)	
市長段階査定額	7,500	参加人数	2,999人
区分	本年度予算額	総事業費	85,433千円
財源内訳		負担金額	9,300千円
国・県支出金	0		7,500千円
地方債	0	繰入金	7,500
その他	7,500	諸収入	0
一般財源	0	その他	0
計	7,500	※その他の財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
備考欄			

教047	項目名	ワールドマスターズゲームズ2027関西大会開催事業費	新規事業
予算書項目	オリンピック関連事業費	ページ	287
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	保健体育費		
目	体育振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	600		
本年度要求額	4,347		
総務部長段階査定額	4,347		
市長段階査定額	4,347		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	4,347	財産収入	0
計	4,347	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】スポーツ振興係 0857-30-8427

【12次総の施策体系】1203

【事業の経過及び背景】
ワールドマスターズゲームズ(WMG)2026年のブレ大会、2027年の本大会の開催地として大会を受け入れるための実行委員会を組織し、大会準備を円滑に実施する。

【事業の目的及び効果】
WMG2027関西(アーチェリー競技)を実施するため、機運醸成及び競技団体との連携を図る。

【事業の内容】
本市で開催予定のアーチェリー競技の大会運営及びPRに関する事業をWMG2027関西鳥取市実行委員会や県実行委員会、組織委員会とともに推進する。
令和8年度 ブレ大会開催及び本大会準備(予定)
令和9年度 本大会開催(予定)

【事業の実績】
令和2年度 開催延期(新型コロナウイルス感染症の影響)

教048	項目名	各種大会開催補助金	新規事業
予算書項目	各種大会開催補助金	ページ	287
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	保健体育費		
目	体育振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	2,500		
総務部長段階査定額	2,500		
市長段階査定額	2,500		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	2,500	手数料	0
一般財源	0	財産収入	0
計	2,500	寄付金	0
		繰入金	2,500
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】スポーツ振興係 0857-30-8427

【12次総の施策体系】1203

【事業の経過及び背景】
令和8年度に中国地方を会場として、全国中学校体育大会が開催される。本市では新体操競技が開催されることとなっている。

【事業の目的及び効果】
中学校教育の一環として中学生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能向上と精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生徒を育成するとともに、中学生徒の相互親睦を図る。

【事業の内容】
全国中学校体育大会のうち、本市で開催する新体操競技の大会運営を支援する。

【事業の実績】
平成30年度 サッカー競技大会を実施

※その他財源の繰入金は、青少年育成基金繰入金

教049	項目名	地区体育館管理費	新規事業
予算書項目	地区体育館管理費	ページ	287
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 施設係 0857-30-8428	
款	教育費	【12次総の施策体系】 1203	
項	保健体育費	【事業の経過及び背景】 昭和54年度より建設された地区体育館が31館（鳥取地域の直営管理が24館、新地域の直営管理の体育館が7館）あり、地域の身近な体育施設として多くの市民に利用されている。	
目	体育施設費	【事業の目的及び効果】 体育館の維持管理を行い、市民の体育振興と健康増進に寄与する。	
(単位:千円)		【事業の内容】 地区体育館の維持管理 (火災保険料・修繕費・光熱水費・委託料など)	
前年度当初予算額	66,597	【事業の実績】 令和5年度 123,471千円 令和6年度 21,695千円 令和7年度 66,597千円 (見込み)	
本年度要求額	22,906	※その他財源の使用料は、地区体育館使用料等 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、自動販売機電気代	
総務部長段階査定額	18,318	【事業の実績】 令和5年度 123,471千円 令和6年度 21,695千円 令和7年度 66,597千円 (見込み)	
市長段階査定額	18,318	※その他財源の使用料は、地区体育館使用料等 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、自動販売機電気代	
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	7,633
その他	16,163	手数料	0
一般財源	2,155	財産収入	0
計	18,318	寄付金	0
		繰入金	8,000
		諸収入	530
		その他	0
備考欄			

教050	項目名	体育施設管理費	新規事業
予算書項目	体育施設管理費	ページ	287
年度	R8	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 施設係 0857-30-8428	
款	教育費	【12次総の施策体系】 1203	
項	保健体育費	【事業の経過及び背景】 平成18年度より主要な体育施設に指定管理者制度を導入し、民間事業者の経営感覚、ノウハウ等を取り入れた施設管理を実施し、市民サービスの向上につなげる。	
目	体育施設費	【事業の目的及び効果】 体育施設の維持管理を行い、市民の体育振興と健康増進に寄与する。	
(単位:千円)		【事業の内容】 ・指定管理施設 鳥取市武道館ほか2施設、鳥取市営サッカー場、鳥取市B&G海洋センター、鳥取市弓道場、鳥取市若葉台スポーツセンター、河原町総合体育館ほか1施設、佐治町B&G海洋センターほか1施設、気高町勤労者体育センターほか12施設 財源：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	
前年度当初予算額	332,129	・施設改修等 武道館空調設備設置工事 88,467千円 青谷町トレーニングセンター屋根改修工事 96,575千円 市営サッカー場大型映像装置付帯設備更新事業 22,990千円	
本年度要求額	535,782	【事業の実績】 令和5年度 254,751千円 令和6年度 266,099千円 令和7年度 332,129千円 (見込み)	
総務部長段階査定額	458,067	※その他財源の使用料は、施設使用料収入 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、パードスタジアム広告料	
市長段階査定額	458,067		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	22,341	負担金	0
地方債	207,800	使用料	1,171
その他	14,818	手数料	0
一般財源	213,108	財産収入	0
計	458,067	寄付金	0
		繰入金	8,155
		諸収入	5,492
		その他	0
備考欄			

教051	項目名	市民体育館管理費	新規事業
予算書項目	体育施設管理費	ページ	287
年度	R8	所 属 名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	保健体育費		
目	体育施設費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	320,036		
本年度要求額	320,261		
総務部長段階査定額	320,261		
市長段階査定額	320,261		
区 分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	30
その他	30	手数料	0
一般財源	320,231	財産収入	0
計	320,261	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】施設係 0857-30-8428

【12次総の施策体系】1203

【事業の経過及び背景】
旧市民体育館の老朽化に伴い、市民体育館等あり方検討委員会や市民政策コメント等の結果を経て、「鳥取市民体育館再整備基本計画」を策定、PFI方式により整備を進め、令和2年度より再整備事業に着手、令和5年6月にリニューアルオープンした。

【事業の目的及び効果】
民間事業者のノウハウに基づく監理・運営により、本市のスポーツ振興の拠点施設として市民の健康寿命の増進等を図る。

【事業の内容】
・令和2年度から令和4年度 設計・建設業務（3年間）及びモニタリング支援業務
・令和5年度から令和19年度 維持管理・運営業務（15年間）

【事業の実績】
令和5年度 337,766千円
令和6年度 329,950千円
令和7年度 333,128千円（見込み）

※その他財源の使用料は、電柱等使用料

教052	項目名	地域社会教育活動総合事業費	新規事業
予算書項目	地域社会教育活動総合事業費	ページ	281
年度	R8	所 属 名	教育委員会事務局 市立図書館
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	社会教育費		
目	市民図書館費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	662		
本年度要求額	632		
総務部長段階査定額	632		
市長段階査定額	632		
区 分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	632	財産収入	0
計	632	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】中央図書館 0857-27-5182

【12次総の施策体系】1202

【事業の経過及び背景】
平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」、平成17年7月に「文字・活字文化振興法」が制定された。
本市においては、「鳥取市図書館振興計画」（令和3年3月に第2期計画）を策定し、図書館の振興を図っている。

【事業の目的及び効果】
幅広い世代の市民が本に親しむ機会を得ることで、必要な知識や情報を得て自己実現を図り、生涯にわたる心豊かな暮らしや地域文化の発展に寄与する。

【事業の内容】
読書活動の推進のため、主に下記の事業を行う。
・各図書館で毎週定期的に「おはなし会」など子ども対象の事業を実施
・絵本の読み聞かせボランティア養成講座等を実施
・子ども家庭センターが行うブックスタート事業に協力
・一般向けとして、文字・活字文化の日講演会、音読教室等の実施
・子ども食堂支援団体として、子ども食堂へ団体貸出を実施（H30～）

【事業の実績】
令和5年度 671千円
令和6年度 643千円
令和7年度 662千円（見込み）

教053	項 目 名 図書館情報管理システム処理費		新規 事業																																						
予算書項目	図書館情報管理システム処理費	ページ	281																																						
年度	R8	所 属 名 教育委員会事務局 市立図書館																																							
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">会計名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般会計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>款</td> <td>教育費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>社会教育費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>市民図書館費</td> </tr> </table>		会計名		一般会計		款	教育費	項	社会教育費	目	市民図書館費	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">事業の概要</td> </tr> </table>		事業の概要																											
会計名																																									
一般会計																																									
款	教育費																																								
項	社会教育費																																								
目	市民図書館費																																								
事業の概要																																									
<p>(単位:千円)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>前年度当初予算額</td> <td style="text-align: right;">29,042</td> </tr> <tr> <td>本年度要求額</td> <td style="text-align: right;">29,009</td> </tr> <tr> <td>総務部長段階査定額</td> <td style="text-align: right;">29,009</td> </tr> <tr> <td>市長段階査定額</td> <td style="text-align: right;">29,009</td> </tr> </table>		前年度当初予算額	29,042	本年度要求額	29,009	総務部長段階査定額	29,009	市長段階査定額	29,009	<p>【問合せ先】中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【1 2次総の施策体系】1202</p> <p>【事業の経過及び背景】 平成18年度に、合併特例債を活用して3館6室の図書館電算システムを統合した。平成24年度には、プロポーザル方式により業者選定を行いシステム更新・運用を実施、平成26年度に市立病院図書室にシステム適用、図書館情報管理システムの更新（平成31年3月、令和6年3月）を行い、図書館サービスの安定提供を図っている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民等に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図る。</p> <p>【事業の内容】 図書館システムの運用（3館（移動図書館車含）、6室、市立病院） ・ 貸借料 ・ 電算関係消耗品費 ・ インターネット回線使用料 ・ 機器及びソフトの保守業務 ・ 図書データ作成委託費 ・ 新聞データベース記事・紙面検索サービス</p> <p>【事業の実績】 令和5年度 28,394千円 令和6年度 28,704千円 令和7年度 29,042千円（見込み）</p> <p>※その他財源の諸収入は、図書館電算システム使用料</p>																															
前年度当初予算額	29,042																																								
本年度要求額	29,009																																								
総務部長段階査定額	29,009																																								
市長段階査定額	29,009																																								
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%; text-align: center;">その他財源の内訳</td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>分担金</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用料</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>手数料</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>財産収入</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>寄付金</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>繰入金</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>諸収入</td> <td style="text-align: right;">66</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> </table>			その他財源の内訳				分担金	0			負担金	0			使用料	0			手数料	0			財産収入	0			寄付金	0			繰入金	0			諸収入	66			その他	0	
	その他財源の内訳																																								
	分担金	0																																							
	負担金	0																																							
	使用料	0																																							
	手数料	0																																							
	財産収入	0																																							
	寄付金	0																																							
	繰入金	0																																							
	諸収入	66																																							
	その他	0																																							
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%; text-align: center;">区分</td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td style="text-align: right;">2,694</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">66</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">26,249</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">29,009</td> <td></td> </tr> </table>			区分			財源内訳	国・県支出金	2,694		地方債	0		その他	66		一般財源	26,249		計	29,009																					
	区分																																								
財源内訳	国・県支出金	2,694																																							
	地方債	0																																							
	その他	66																																							
	一般財源	26,249																																							
	計	29,009																																							
備 考 欄																																									

各種001	項目名	議会報発刊費	新規事業
予算書項目	議会報発刊費	ページ	159
年度	R8	所属名	市議会事務局
会計名			
一般会計			
款	議会費		
項	議会費		
目	議会費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	6,752		
本年度要求額	7,214		
総務部長段階査定額	7,214		
市長段階査定額	7,214		
区分	本年度予算額	他の財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	7,214	財産収入	0
計	7,214	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】調査係 0857-30-8443

【12次総の施策体系】0101

【事業の経過及び背景】
昭和47年5月に鳥取市議会だより第1号を発行。以来、市民に読んでいただける紙面構成に努めており、定例会ごとに16ページで発行している。平成14年度から、表紙及び裏表紙カラー印刷・他の頁2色印刷とし、現在に至っている。

【事業の目的及び効果】
議会だよりは、定例会の一般質問と答弁の要旨、議案に対する議員ごとの賛否、視察報告など様々な議会情報を掲載しており、これにより、市民に議会への理解を深めていただくことを目的としている。

【事業の内容】
年4回、62,100部発刊、各世帯配布予定。

【事業の実績】

令和5年度	年4回、63,930部発刊、各世帯配布	4,411千円
令和6年度	年4回、63,930部発刊、各世帯配布	4,951千円
令和7年度	年4回、63,930部発刊、各世帯配布	6,301千円

各種002	項目名	運営経費(市議会運営)	新規事業
予算書項目	運営経費	ページ	159
年度	R8	所属名	市議会事務局
会計名			
一般会計			
款	議会費		
項	議会費		
目	議会費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	9,141		
本年度要求額	12,032		
総務部長段階査定額	11,494		
市長段階査定額	11,494		
区分	本年度予算額	他の財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	1,160	手数料	0
一般財源	10,334	財産収入	0
計	11,494	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	1,160
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】庶務係 0857-30-8442

【12次総の施策体系】0101

【事業の経過及び背景】
議会運営を円滑に行うための各種経費を経費節減に努めながら計上しており、現在に至っている。

【事業の目的及び効果】
議会運営経費を計上することにより、議会運営が円滑に行われることを目的とする。

【事業の内容】
・議会図書・例規集、各種資料、視察対応経費
・姉妹都市交流事業(姫路市議会との相互訪問など)
・議場管理(音声、映像、記録等)
・タブレット端末、ペーパーレス会議システム(通信料、使用料等)
・議長車維持管理等

【事業の実績】

令和5年度	10,025,525円
令和6年度	7,985,320円
令和7年度	9,471,000円(見込み)

※その他財源の諸収入は、タブレット通信料議員負担金等

各種003	項目名	議会中継・放映費	新規事業
予算書項目	運営経費	ページ	159
年度	R8	所属名	市議会事務局
会計名			
一般会計			
款	議会費		
項	議会費		
目	議会費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	13,150		
本年度要求額	13,542		
総務部長段階査定額	13,542		
市長段階査定額	13,542		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	13,542	財産収入	0
計	13,542	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】調査係 0857-30-8443	
【12次総の施策体系】0101	
【事業の経過及び背景】 「開かれた議会」にはより積極的な情報発信が必要との認識のもと、定例会の放送対象を平成26年度から本会議の全日程に拡大した。併せて、CATVに加えインターネットでも放送視聴できるよう、(株)鳥取テレビアに議会中継放映を委託した。さらに、手話通訳・字幕表示について、令和4年2月・6月定例会での試行を経て9月定例会からの本格導入に至った。	
【事業の目的及び効果】 市民への情報発信力が充実し、「開かれた議会」の実現につながる。	
【事業の内容】 ・本会議(定例会、臨時会)の全日程のCATV放送及びインターネット放送 定例会：ライブ中継(CATV、インターネット)手話通訳・字幕付き 録画放送(CATV、インターネット)手話通訳・字幕(一部)付き 臨時会：録画放送(CATV、インターネット)手話通訳・字幕(一部)付き ※平成29年度からスマートフォン・タブレットでもインターネット放送が視聴可能。 ※手話通訳・字幕は令和4年2月・6月定例会での試行を経て、9月定例会から本格導入。	
【事業の実績】 令和5年度 11,905,390円(年31日分の会議について放送) 令和6年度 12,752,488円(年31日分の会議について放送) 令和7年度 12,984,765円(見込み)	

各種004	項目名	政務活動費交付金	新規事業
予算書項目	政務活動費交付金	ページ	159
年度	R8	所属名	市議会事務局
会計名			
一般会計			
款	議会費		
項	議会費		
目	議会費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	11,160		
本年度要求額	11,520		
総務部長段階査定額	11,520		
市長段階査定額	11,520		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	11,520	財産収入	0
計	11,520	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】調査係 0857-30-8443	
【12次総の施策体系】0101	
【事業の経過及び背景】 昭和53年4月から鳥取市議会政務調査費交付要綱により実施していたが、地方自治法の改正に伴い、平成13年4月から条例を定めて政務調査費を交付していた。平成24年の地方自治法改正により政務活動費と改められた。	
【事業の目的及び効果】 市議会議員の調査研究に資するための必要な経費の一部を交付することにより、政策立案・調査活動基盤等の充実を図り、地方議会の活性化や審議能力の強化をしていくことが期待できる。	
【事業の内容】 会派または会派に属さない議員に対して所属議員数に月額30,000円を乗じた額を政務活動費として交付し、その収支報告書や証拠書類は翌年度の4月30日までに議長に提出しなければならない。また、その使途基準は条例で定まっており、その基準に沿って支出されているとともに、残余が生じた場合は市に返還しなければならない。	
【事業の実績】 令和5年度 7,832千円 令和6年度 8,633千円 令和7年度 11,160千円(見込み)	

各種005	項目名	出納事務費	新規事業
予算書項目	出納事務費	ページ	165
年度	R8	所属名	出納室
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】出納係 0857-30-8436		
款 総務費	【12次総の施策体系】0103		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 公金の収納及び支出について円滑な事務を行うため、平成18年度から随時、公共料金の口座振替払い、コンビニ・スマホアプリによる収納、ペイジー口座振替受付サービス、証明書手数料等のキャッシュレス決済、新データ伝送システムAnswerDATAPORT利用など、より利便性を重視したサービスの利用及び提供を行っている。 また令和6年度からは公金振込手数料の有料化が開始されるなど、公金の収納支出にかかる状況はさらに変化している。		
目 会計管理費	【事業の目的及び効果】 全庁的な会計事務について、正確性を確保しながら、効率化を推進する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 収納・支払に係る各種事務処理を実施する。 ・ペイジー口座振替受付サービス(市税・国民健康保険料、介護保険料等) ・AnswerDATAPORTシステムによる口座振込・振替データの伝送 ・証明書手数料のキャッシュレス決済		
前年度当初予算額	65,651	【事業の実績】 ・支払予定通知発送件数 令和5年度:57,187通 令和6年度:58,092通 令和7年度(見込み):56,217通 ・公金収納件数 令和5年度 602,154 口座振替 224,948 コンビニ・スマホ 276,479 令和6年度 600,689 窓口収納 207,306 268,993 令和7年度(見込み) 600,442 181,072 260,884	
本年度要求額	70,148	※その他財源の諸収入は、支所集金業務手数料負担金(下水道事業会計、水道局)	
総務部長段階査定額	68,038	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	68,038	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	230	寄付金	0
一般財源	67,808	繰入金	0
計	68,038	諸収入	230
		その他	0
備考欄			

各種006	項目名	監査費	新規事業
予算書項目	事務費	ページ	187
年度	R8	所属名	監査委員事務局
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】監査委員事務局 0857-30-8472		
款 総務費	【12次総の施策体系】0103		
項 監査委員費	【事業の経過及び背景】 地方自治法の規定に基づく監査委員に係る経費。		
目 監査委員費	【事業の目的及び効果】 本市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し、また、事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保するため、財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理について、監査委員が監査等を適切かつ有効に行うための経費。 (法令等図書購入費、報告書等印刷費、文書共有システム利用料など)		
(単位:千円)	【事業の内容】 財務監査(定期監査)、行政監査、財政援助団体等監査、例月出納検査、決算審査、健全化判断比率等審査、併任監査等(東部広域行政管理組合)		
前年度当初予算額	1,700	【事業の実績】 令和5年度 1,593千円 令和6年度 1,643千円 令和7年度 1,641千円(見込み)	
本年度要求額	1,716		
総務部長段階査定額	1,716	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	1,716	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	1,716	繰入金	0
計	1,716	諸収入	0
		その他	0
備考欄			

各種007	項目名	選挙啓発推進費	新規事業
予算書項目	選挙啓発推進費	ページ	181
年度	R8	所属名	選挙管理委員会事務局
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	選挙費		
目	選挙啓発費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,000		
本年度要求額	1,000		
総務部長段階査定額	1,000		
市長段階査定額	1,000		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,000		
計	1,000		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】選挙係 0857-30-8477	
【12次総の施策体系】0103	
【事業の経過及び背景】 有権者の政治意識の高揚、投票率の低下等、選挙に関する諸問題に対し常時啓発を行うため、鳥取市明るい選挙推進協議会と連携して活動している。	
【事業の目的及び効果】 主権者への啓発により投票率の向上、公正な選挙を執行する。	
【事業の内容】 公職選挙法に基づき選挙啓発を鳥取市明るい選挙推進協議会と連携し実施する。	
【事業の実績】 令和5年度 889千円 令和6年度 888千円 令和7年度 1,000千円(見込み)	
令和7年度実績 ・明るい選挙話し合い事業 開催5回・参加者100人(見込み) ・ソフトバレーボール大会 22チーム、135名参加 ・明るい選挙啓発ポスター募集事業 応募数64作品 ・新有権者へ啓発葉書を送付 配布数2,000部(見込み) ・中学校3年生に啓発教材を配布 配布数1,780部	

各種008	項目名	市議会議員選挙費	新規事業
予算書項目	市議会議員選挙費	ページ	181
年度	R8	所属名	選挙管理委員会事務局
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	選挙費		
目	市議会議員選挙費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	117,927		
総務部長段階査定額	109,912		
市長段階査定額	109,912		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	109,912		
計	109,912		
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】選挙係 0857-30-8477	
【12次総の施策体系】0103	
【事業の経過及び背景】 令和8年12月16日任期満了の市議会議員選挙を執行する。	
【事業の目的及び効果】 公職選挙法に基づき適正な選挙による公職者の選出を行う。	
【事業の内容】 任期満了に伴う市議会議員選挙の執行経費 ・任期満了日 令和8年12月16日 ・選挙期日 任期満了日前30日以内の日 ・投票区 92 ・告示日 選挙期日の7日前の日	
【事業の実績】 平成26年度執行経費総額(H26.11.16執行) 71,762千円 投票率52.96% 平成30年度執行経費総額(H30.11.18執行) 73,425千円 投票率41.68% 令和4年度執行経費総額(R4.11.20執行) 76,308千円 投票率39.15%	

各種009	項目名	市議会議員選挙運動費負担金	新規事業
予算書項目	市議会議員選挙費	ページ	181
年度	R8	所属名	選挙管理委員会事務局
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	選挙費		
目	市議会議員選挙費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	46,424		
総務部長段階査定額	46,424		
市長段階査定額	46,424		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	46,424	
	計	46,424	
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】選挙係 0857-30-8477

【12次総の施策体系】0103

【事業の経過及び背景】
令和8年12月16日任期満了の市議会議員選挙を執行する。

【事業の目的及び効果】
鳥取市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の市費負担に関する条例等に基づき、お金のかからない選挙のため、また、候補者間の選挙運動の機会均等を図るために、市費で選挙運動費用の負担を行う。

【事業の内容】
・市議会議員選挙における立候補者の選挙運動費用に係る市費負担
選挙運動用葉書、選挙運動用自動車、掲示場用ポスター、選挙運動用ビラ

【事業の実績】
令和4年11月20日執行（候補者37名）
執行経費総額 28,683千円

- 選挙運動用葉書 3,616千円
- 選挙運動用自動車 8,769千円
- 掲示場用ポスター 15,663千円
- 選挙運動用ビラ 635千円

各種010	項目名	県知事・県議会議員選挙費	新規事業
予算書項目	県知事・県議会議員選挙費	ページ	183
年度	R8	所属名	選挙管理委員会事務局
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	選挙費		
目	県知事・県議会議員選挙費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	66,322		
総務部長段階査定額	66,322		
市長段階査定額	66,322		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	66,322	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	0	
	計	66,322	
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】選挙係 0857-30-8477

【12次総の施策体系】0103

【事業の経過及び背景】
令和9年執行予定の県知事、県議会議員選挙の執行準備を行う。

【事業の目的及び効果】
公職選挙法に基づき適正な選挙による公職者の選出を行う。

【事業の内容】
任期満了に伴う県知事、県議会議員選挙の執行準備経費

- 任期満了日 県知事：令和9年4月12日
県議会議員：令和9年4月29日
- 選挙期日 任期満了日前30日以内
- 告示日 県知事：選挙期日の17日前の日
県議会議員：選挙期日の9日前の日
- 投票区 92
- 執行準備経費 ポスター掲示場作成・設置、入場券印刷など

【事業の実績】
平成26年度準備経費総額（H27.4.12執行） 24,180千円 投票率 57.11%
平成30年度準備経費総額（H31.4.7執行） 32,897千円 投票率 48.58%
令和4年度準備経費総額（R5.4.9執行） 29,056千円 投票率 44.16%
※投票率は知事選挙分

各種011	項目名	機構集積支援事業費	新規事業
-------	-----	-----------	------

予算書項目	農地管理費	ページ	229
-------	-------	-----	-----

所属名	農業委員会事務局
-----	----------

年度	R8
----	----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業委員会費

事業の概要

【問合せ先】農地係 0857-30-8481

【12次総の施策体系】3104

【事業の経過及び背景】
農地の生産性を高め、競争力を強化していくためには担い手への農地集積・集約化を加速し、生産コストを削減していくことが重要であることから、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構が平成26年度に設立され、農地の集積・集約化に取り組むこととされた。

【事業の目的及び効果】
農地中間管理機構が担い手への農地集積・集約化を促進するに当たって、農業委員会が管内の農地の状況を的確に把握することを目的とする。

【事業の内容】

- 市内すべての農地の一斉現地調査（利用状況調査）を実施
- 現地調査の結果、遊休農地と判定された農地の所有者等に利用意向調査を実施
- 農業委員等の資質向上を図るため各種研修への参加
- 利用意向調査の実績

【事業の実績】

	対象人数	対象面積
令和5年度	711人	101.7ha
令和6年度	749人	116.3ha
令和7年度	789人	97.0ha（見込み）

(単位:千円)

前年度当初予算額	3,719
----------	-------

本年度要求額	3,715
--------	-------

総務部長段階査定額	3,715
-----------	-------

市長段階査定額	3,715
---------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	本年度予算額
国・県支出金	954
地方債	0
その他	0
一般財源	2,761
計	3,715

備考欄	
-----	--

支所001	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	169
年度	R8	所属名	国府町総合支所 地域振興課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	4,512		
本年度要求額	5,042		
総務部長段階査定額	5,033		
市長段階査定額	5,033		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	5,033	
	計	5,033	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652	
【12次総の施策体系】3403	
【事業の経過及び背景】 人口の減少や高齢化等が進行し、地域活動や経済活動が低迷する中、地域外の有効な人材を積極的に誘致し、その移住・定住化を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていく必要がある。国府町内でワイン製造や医療・福祉分野での事業を展開し、積極的に県外移住者の雇用を図っている企業に「地域おこし協力隊」を設置し地域の課題等に取り組んでいく。	
【事業の目的及び効果】 地域おこし協力隊の活動を支援し地域振興を図る。	
【事業の内容】 ・空き家等を活用した交流人口の促進 ・未利用耕作地の利活用 ・地域情報の発信	
【事業の実績】 令和6年度 3,404千円 令和7年度 4,512千円（見込み）	

支所002	項目名	万葉フェスティバル開催事業費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	277
年度	R8	所属名	国府町総合支所 地域振興課
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	社会教育費		
目	文化振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	3,070		
本年度要求額	3,300		
総務部長段階査定額	3,070		
市長段階査定額	3,070		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	614	
	地方債	0	
	その他	779	
	一般財源	1,677	
	計	3,070	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652	
【12次総の施策体系】3301	
【事業の経過及び背景】 国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されることとなった。平成21年の万葉集終焉から1250年を記念した「全国万葉フェスティバルin鳥取」を契機に、万葉のふるさと鳥取市を広く発信するため「万葉フェスティバルin鳥取」として開催している。	
【事業の目的及び効果】 万葉のふるさと鳥取市を全国的に発信する。	
【事業の内容】 全国的に広く短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰を行う。また、小・中学校、高校で短歌出前講座を行うとともに、一般向けの短歌講座を行う。	
【事業の実績】 万葉フェスティバル開催（大伴家持大賞短歌募集） 令和5年度 3,600千円 令和6年度 6,507千円 令和7年度 3,070千円（見込み） ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

支所003	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業	○
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	169	所属名
年度	R8	福部町総合支所 地域振興課		
会計名				
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	企画費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	710			
総務部長段階査定額	710	その他財源の内訳		
市長段階査定額	710	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	710		
	計	710		
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】 福部町総合支所地域振興課 0857-30-8662

【12次総の施策体系】 3403

【事業の経過及び背景】
福部地域の人口は年々減少しており、近い将来、地域の活力が失われていくことが顕著化してきた。自然と調和し多くの人に親しまれる魅力に満ちた観光地として発展させ、いつまでも住み続けられるまちを目指す。

【事業の目的及び効果】
地域おこし協力隊を雇用し、地域の自然、産業、観光資源などを再発見・磨き上げし、地域の魅力向上や新たな価値創出につなげる。また、空き家対策など、地域が抱える課題に対し外部視点を活かして取り組む。

【事業の内容】
地域おこし協力隊を募集するために必要な経費。

支所004	項目名	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	新規事業	
予算書項目	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	ページ	287	所属名
年度	R8	福部町総合支所 産業建設課		
会計名				
一般会計				
款	教育費			
項	保健体育費			
目	体育振興費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	3,216			
本年度要求額	3,216			
総務部長段階査定額	3,216	その他財源の内訳		
市長段階査定額	3,216	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	3,216	
		諸収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	3,216		
	一般財源	0		
	計	3,216		
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】 福部町総合支所産業建設課 0857-30-8666

【12次総の施策体系】 1203、3403

【事業の経過及び背景】
本大会は、令和8年度で40回の節目となり、山陰海岸国立公園鳥取大砂丘と、全国有数の生産を誇る「鳥取砂丘らっきょう」を全国にPRする目的で企画している。平成28年度より実行委員会での運営方式をとっている。

【事業の目的及び効果】
鳥取市の花である「らっきょうの花」が咲き誇るらっきょう畑特設コースを走りながら、青く澄み渡る山陰海岸や鳥取砂丘の美しさを体感していただくとともに、『らっきょうの里福部町』を発信していく場となっている。

【事業の内容】
毎年、らっきょうの花が咲く10月の最終日曜日(予定)に、鳥取砂丘オアシス広場を会場として開催している。事業費の財源は、参加料ほか、各事業所からの協賛金、補助金としている。

【事業の実績】
令和5年度 参加者783人 総事業費 5,449千円 補助金額3,212千円
令和6年度 参加者924人 総事業費 6,342千円 補助金額3,728千円
令和7年度 参加者868人 総事業費(見込み) 5,618千円 補助金額3,216千円

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

支所005	項目名	地域プロジェクトマネージャー事業費	新規事業
予算書項目	新市場特別振興費	ページ	169
年度	R8	所属名 河原町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所地域振興課 0858-71-1722		
款 総務費	【12次総の施策体系】3403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 少子高齢化、核家族化及び空き家の増加が顕著に進行し、地域活動や経済活動が低迷しつつある河原地域において、地域の活性化や定住促進を図るためには、様々なアイデアやスキルを有する地域の有能な人材のサポートを必要としている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 有能な人材を地域プロジェクトマネージャーとして委嘱することにより、河原地域の空き家対策の推進及び「いなば西郷工芸の郷」のブランド力向上、新たな工芸作家の呼び込み等を行うことで、文化振興・移住定住の促進が図られ河原地域全体が活性化することにより、将来にわたって安心して暮らしていただけるまちづくりに取り組む。		
(単位:千円)	【事業の内容】 西郷工芸祭りをはじめとした各種イベントの企画・実施、工芸作家との調整などを通じて、地域のブランド力を高める。 河原町全域の空き家対策を推進するため、地区公民館・まち協及び地域住民等との連携により、地域の賑わいづくりを創出する。		
前年度当初予算額	4,370	【事業の実績】 令和6年6月地域プロジェクトマネージャー1名配置 令和6年度 3,762千円 令和7年度 4,370千円(見込み)	
本年度要求額	4,542	その他財源の内訳	
総務部長段階査定額	4,542	分担金	0
市長段階査定額	4,542	負担金	0
		使用料	0
区分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳		財産収入	0
国・県支出金	0	寄付金	0
地方債	0	繰入金	0
その他	0	諸収入	0
一般財源	4,542	その他	0
計	4,542	備考欄	

支所006	項目名	あゆ祭補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	243
年度	R8	所属名 河原町総合支所 産業建設課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所産業建設課 0858-71-1726		
款 商工費	【12次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 河原地域は古くから「あゆの町」として知られており、あゆの豊漁を願うと同時に、「あゆの町・かわはら」を広くPRするためにあゆ祭を開催している。令和2～4年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止していたが、令和5年度より再開し、夏の風物詩として定着している。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 地域住民と行政が連携し、河原地域の魅力度アップと地域資源を生かし地域活性化を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 第44回あゆ祭 主催：あゆ祭企画実行委員会 あゆのつかみ取り、鮎の塩焼き、子ども太鼓、若鮎太鼓、ステージショー、花火大会等		
前年度当初予算額	5,145	【事業の実績】 令和5年度 補助金5,145千円 入込客数 約20,000人 令和6年度 補助金5,145千円 入込客数 約20,000人 令和7年度 補助金5,145千円 入込客数 約20,000人	
本年度要求額	5,145	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	5,145	その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,145	分担金	0
		負担金	0
区分	本年度予算額	使用料	0
財源内訳		手数料	0
国・県支出金	0	財産収入	0
地方債	0	寄付金	0
その他	1,074	繰入金	1,074
一般財源	4,071	諸収入	0
計	5,145	その他	0
備考欄			

支所007	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	169
年度	R8	所属名	用瀬町総合支所 地域振興課
会計名	一般会計		
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	4,545		
本年度要求額	4,897		
総務部長段階査定額	4,737		
市長段階査定額	4,737		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	4,737	財産収入	0
計	4,737	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892

【12次総の施策体系】3403

【事業の経過及び背景】
地域の伝統文化である「流しびな」の製作技術の承継等が、人口減少と少子高齢化の進行により困難になってきており、観光資源としての特性を活かしたPR活動も十分にできていないと言え難い。また、増え続ける空き家の利活用が進んでいない状況である。

【事業の目的及び効果】
伝統文化を資源として技術継承し、持続可能な体制づくりと観光資源としての活用につなげる。また、空き家の利活用による移住定住の促進により、地域の魅力向上と活性化を目指す。

【事業の内容】
地域おこし協力隊の配置により、流しびな製作技術の継承と持続可能な体制づくり、空き家の掘り起こしと利活用のほか、関係人口創出に資する取組を推進していく。

【事業の実績】
令和5年度 161千円（おためし地域おこし協力隊）
令和6年度 1,578千円（令和6年11月1日～1名配置 任期：令和9年10月31日まで）
令和7年度 4,545千円（見込み）

支所008	項目名	ジゲおこし事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	243
年度	R8	所属名	用瀬町総合支所 地域振興課
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,654		
本年度要求額	1,654		
総務部長段階査定額	1,654		
市長段階査定額	1,654		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	1,654	財産収入	0
計	1,654	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892

【12次総の施策体系】3403

【事業の経過及び背景】
「用瀬町ジゲおこし事業」は、昭和63年度から流しびなの里もちがせの地域活性化を目的に、ボランティアの委員で構成する用瀬町ジゲおこし実行委員会が、流しびなの里のイメージを内外に広めながら、地域の観光資源を活用して事業実施している。

【事業の目的及び効果】
千代川や用瀬山系等を活用したイベントを支援することにより、地域の活性化や関係人口の創出・拡大を図る。

【事業の内容】
イベント名 用瀬町ジゲおこし事業
・用瀬山系トレイル交流大会（5月・11月） 用瀬アルプス山系
・ふれあいフェスティバル（8月） 用瀬町運動公園
・川遊びフェスティバル（夏） 赤波川氈穴群
・いなば用瀬宿横丁さんぽ市（11月） JR用瀬駅周辺

【事業の実績】
令和5年度 1,631千円（参加者：2,604人）
令和6年度 1,626千円（参加者：1,700人）
令和7年度 1,654千円（参加者：2,000人）（見込み）

支所009	項目名	用瀬流しびな行事	新規事業
予算書項目	観光活動費	ページ	243
年度	R8	所属名 用瀬町総合支所 産業建設課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所産業建設課 0858-71-1896		
款 商工費	【12次総の施策体系】3403		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 毎年旧暦3月3日に男女一対の紙雛を棧俵に乗せ、無病息災を願って千代川に流す情緒豊かな民俗文化行事を行っている。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 イベントを含めた行事を実施することにより、用瀬町の地域活性化と情報発信を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・イベント名 もちがせ流しびな行事 ・主催団体 用瀬流しびな実行委員会 ・実施日 令和8年4月19日(日)(旧暦3月3日) ・実施場所 千代川河川敷(流しびなの館対岸)及びその周辺		
前年度当初予算額	590	【事業の実績】 令和5年度 2,303千円(4/22(土)実施 4,000人) 令和6年度 4,096千円(4/11(木)実施 2,000人 3/31(月)実施 3,000人) 令和7年度 590千円(旧暦3月3日にあたる日が無いため次年度広報のみ)(見込み)	
本年度要求額	2,343		
総務部長段階査定額	2,343	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	2,343	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	510		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,833		
計	2,343		
備考欄			

支所010	項目名	ふるさとの味祭り事業費補助金	新規事業
予算書項目	むらづくり活性化推進事業費	ページ	229
年度	R8	所属名 佐治町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】佐治町総合支所地域振興課 0858-71-1912		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 「佐治ふるさと祭り」は昭和57年から佐治地域の秋の収穫祭として開催しており、平成27年からは、公民館祭りと共同開催としている。また、令和元年度からは、小学校の学習発表会と合同で開催している。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 地域の産物や伝統文化を広くPRするとともに、町内の芸術文化団体の活動の成果発表の場として位置付け生涯学習の推進を図り、地域の絆をより一層深め協働のまちづくりを進める。学習発表会も合同で開催している。		
(単位:千円)	【事業の内容】 佐治地域の秋の収穫祭として、地元の農産物や加工品の販売、郷土芸能の発表、公民館事業の展示等を中心とした「佐治ふるさと祭り」を毎年開催している。地域の団体が構成する実行委員会が主催。佐治地域内外の多くの人の参加があり、佐治地域の秋のイベントとして定着している。		
前年度当初予算額	1,350	【事業の実績】 令和5年度 1,350千円 入込客数800人 令和6年度 1,350千円 入込客数800人 令和7年度 1,350千円 入込客数1,000人	
本年度要求額	1,350	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	1,350	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	1,350	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	859
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	859		
一般財源	491		
計	1,350		
備考欄			

支所011	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	277
年度	R8	所属名 佐治町総合支所 地域振興課	
会計名			
一般会計			
款	教育費		
項	社会教育費		
目	文化振興費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	20		
本年度要求額	20		
総務部長段階査定額	20		
市長段階査定額	20		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	4	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	16	
	計	20	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】佐治町総合支所地域振興課 0858-71-1912	
【12次総の施策体系】3301	
【事業の経過及び背景】 佐治地域の宝である「佐治谷話」を保存・伝承するため、佐治民話会への事業委託及び補助により「佐治谷話」紙芝居や本の作成、小中学生への伝承活動、各地区公民館への普及活動など多様な事業を幅広く行っている。	
【事業の目的及び効果】 市指定無形民俗文化財「佐治谷話」を保存・伝承する。	
【事業の内容】 ・佐治民話会による保存・伝承活動への補助金 補助対象事業費40千円、補助金額 20千円 文化財保存及び保護に関する補助金等交付要綱により事業費の1/2	
【事業の実績】 令和5年度 7千円 令和6年度 18千円 令和7年度 20千円(見込み)	

支所012	項目名	芸術によるまちづくり推進事業費	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	167
年度	R8	所属名 気高町総合支所 地域振興課	
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,000		
本年度要求額	1,000		
総務部長段階査定額	1,000		
市長段階査定額	1,000		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,000	
	計	1,000	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-82-0011	
【12次総の施策体系】3301	
【事業の経過及び背景】 気高地域では「芸術のまちづくり」の取組を進めている。 令和4年度より「浜村温泉湯けむり映画塾実行委員会」が活動主体となり、映画塾やワークショップを企画・運営するとともに気高町を舞台とした映画の撮影を行い、地域の魅力の発信や活性化に貢献している。	
【事業の目的及び効果】 「芸術のまちづくり」を通して、地域の魅力発信、地域間交流、観光客や芸術家の誘致など、地域の活性化を図る。	
【事業の内容】 ワークショップで人材を育成し、地域住民や団体と協力して「映画塾」を開催・運営することでさらなる地域の活性化につなげる。	
【事業の実績】 ・浜村温泉湯けむり映画塾の開催 ①ワークショップ ②作品撮影、上映会の開催 令和5年度作品「ようこそ浜村へ、と言いたくて・・・」 事業費:1,000千円 令和6年度作品「クリスマスプレゼントをあなたに」 事業費:1,000千円 令和7年度作品「ふとん」(3月8日映画祭で上映予定) 事業費:1,000千円(見込み)	

支所013	項目名	貝がら節の郷づくり協議会補助金	新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	243
年度	R8	所属名	気高町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-82-0011		
款 商工費	【12次総の施策体系】3201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 浜村温泉街の再生を図るため、平成21年度に貝がら節の郷づくり協議会を組織し「貝がら節のふるさと」気高町をPRする事業を実施している。平成28年度から他団体が実施してきた「気高ときめき祭り」を当協議会が運営し、さらなる活性化に取り組んでいる。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 「貝がら節」をキーワードに事業を展開し、気高地域への誘客を図り地域の活性化につなげる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・しょうがぼかぼかフェスタ ・ポタリング事業 ・気高ときめきまつり ・貝がら節保存・伝承事業 ・浜村駅・宝木駅環境整備事業		
前年度当初予算額	2,213	【事業の実績】	
本年度要求額	3,773	「ぼかぼかフェスタ」 「ときめきまつり」 「事業費」	
総務部長段階査定額	2,213	令和5年度 延べ2,000人 延べ2,000人 1,868千円	
市長段階査定額	2,213	令和6年度 延べ1,500人 延べ1,800人 2,213千円	
区分	本年度予算額	令和7年度 R8.3.8開催 延べ2,000人 2,213千円(見込み)	
財源内訳	国・県支出金 442		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 1,771		
	計 2,213		
備考欄			

支所014	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市場特別振興費	ページ	169
年度	R8	所属名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 総務費	【12次総の施策体系】3403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鹿野町では空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決に取り組んでいるが、移住希望者等のニーズがあり、空き家も増加しているにもかかわらず、空き家の確保が十分に進んでおらず対応できていない。 また河内地区では耕作放棄地対策として鹿野町河内果樹の里山プロジェクトを推進している。現在約4.5haに計850本の果樹を植え、大学生等の協力も得て、都市との交流、果樹を利用した商品化に取り組んでいるが、後継者育成・商品開発・販売ネットワーク構築についてはまだ十分に組み立てていない。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 鹿野町の空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決・資源化に、地域おこし協力隊の新たな知恵と行動を加え地域の活性化につなげる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 空き家や地域で発生する古材・古民具・古木材等を「地域活性化につながる資源」に変え、新たな魅力として地域に人を呼び込む仕組みづくりやリユースハウスの立ち上げ、果樹の里山産物の販売ルート構築等を図る。		
前年度当初予算額	5,011	【事業の実績】	
本年度要求額	4,128	令和5年度 地域おこし協力隊1名配置(令和6年1月から) 2,920千円	
総務部長段階査定額	4,100	令和6年度 地域おこし協力隊1名配置(継続配置) 4,059千円	
市長段階査定額	4,100	令和7年度 地域おこし協力隊1名配置(継続配置) 4,870千円(見込み)	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 4,100		
	計 4,100		
備考欄			

支所015	項目名	わたたいな祭事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	243
年度	R8	所属名 鹿野町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 商工費	【12次総の施策体系】3201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 令和4年度から、民間団体が主体となって企画運営・実施する事業の支援を行っている。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 地域づくりや経済の活性化を目的とし、賑わい創出や交流人口の増加につながっている。		
(単位:千円)	【事業の内容】 城下町のまちなかイベントや、特産・農産品等即売、文化団体発表等を開催。		
前年度当初予算額	2,206	【事業の実績】 令和5年度 来場者 約6,000人 決算額 1,939千円 令和6年度 来場者 約4,500人 決算額 1,939千円 令和7年度 来場者 約7,500人 決算額 2,206千円(見込み)	
本年度要求額	1,782		
総務部長段階査定額	1,600	【事業の実績】 令和5年度 来場者 約6,000人 決算額 1,939千円 令和6年度 来場者 約4,500人 決算額 1,939千円 令和7年度 来場者 約7,500人 決算額 2,206千円(見込み)	
市長段階査定額	1,600	【事業の実績】 令和5年度 来場者 約6,000人 決算額 1,939千円 令和6年度 来場者 約4,500人 決算額 1,939千円 令和7年度 来場者 約7,500人 決算額 2,206千円(見込み)	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 来場者 約6,000人 決算額 1,939千円 令和6年度 来場者 約4,500人 決算額 1,939千円 令和7年度 来場者 約7,500人 決算額 2,206千円(見込み)	
財源内訳		【事業の実績】 令和5年度 来場者 約6,000人 決算額 1,939千円 令和6年度 来場者 約4,500人 決算額 1,939千円 令和7年度 来場者 約7,500人 決算額 2,206千円(見込み)	
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和5年度 来場者 約6,000人 決算額 1,939千円 令和6年度 来場者 約4,500人 決算額 1,939千円 令和7年度 来場者 約7,500人 決算額 2,206千円(見込み)	
地方債	0	【事業の実績】 令和5年度 来場者 約6,000人 決算額 1,939千円 令和6年度 来場者 約4,500人 決算額 1,939千円 令和7年度 来場者 約7,500人 決算額 2,206千円(見込み)	
その他	0	【事業の実績】 令和5年度 来場者 約6,000人 決算額 1,939千円 令和6年度 来場者 約4,500人 決算額 1,939千円 令和7年度 来場者 約7,500人 決算額 2,206千円(見込み)	
一般財源	1,600	【事業の実績】 令和5年度 来場者 約6,000人 決算額 1,939千円 令和6年度 来場者 約4,500人 決算額 1,939千円 令和7年度 来場者 約7,500人 決算額 2,206千円(見込み)	
計	1,600	【事業の実績】 令和5年度 来場者 約6,000人 決算額 1,939千円 令和6年度 来場者 約4,500人 決算額 1,939千円 令和7年度 来場者 約7,500人 決算額 2,206千円(見込み)	
備考欄			

支所016	項目名	町民音楽祭開催費	新規事業
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	277
年度	R8	所属名 鹿野町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 教育費	【12次総の施策体系】3301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 鹿野町民音楽祭実行委員会が主体となって開催する町民音楽祭(ふるさとミュージカル)は、昭和62年にはじまり、住民の多くが参画し継続開催され、鹿野発の鳥取市民ミュージカルとして、また、レベルの高い芸術活動として町内外から認知されるようになった。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、継続した活動補助を行う。ミュージカルの制作期間は約半年間に及び、この間展開される広い年齢層の市民交流は、良好な市民コミュニティづくりにおいても貢献している。		
(単位:千円)	【事業の内容】 活動着手以来40周年を迎え、令和8年度は、次世代の育成・すそ野の拡大、各種地域団体と連携し地域活性化を促進、ウイズコロナ時代に即した公演のあり方の提案を柱にしてコロナ前同程度への活動の活発化を目指す。		
前年度当初予算額	3,200	【事業の実績】 令和5年度 3,200千円 音楽劇さくら姫物語 鳥取市民会館 700人 令和6年度 3,200千円 鹿野にはかっぱやまどりくもの糸! 鳥取市民会館 600人 令和7年度 3,200千円 鹿野の蒼白い夜 鳥取市民会館開催予定(見込み)	
本年度要求額	3,200	【事業の実績】 令和5年度 3,200千円 音楽劇さくら姫物語 鳥取市民会館 700人 令和6年度 3,200千円 鹿野にはかっぱやまどりくもの糸! 鳥取市民会館 600人 令和7年度 3,200千円 鹿野の蒼白い夜 鳥取市民会館開催予定(見込み)	
総務部長段階査定額	3,200	【事業の実績】 令和5年度 3,200千円 音楽劇さくら姫物語 鳥取市民会館 700人 令和6年度 3,200千円 鹿野にはかっぱやまどりくもの糸! 鳥取市民会館 600人 令和7年度 3,200千円 鹿野の蒼白い夜 鳥取市民会館開催予定(見込み)	
市長段階査定額	3,200	【事業の実績】 令和5年度 3,200千円 音楽劇さくら姫物語 鳥取市民会館 700人 令和6年度 3,200千円 鹿野にはかっぱやまどりくもの糸! 鳥取市民会館 600人 令和7年度 3,200千円 鹿野の蒼白い夜 鳥取市民会館開催予定(見込み)	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 3,200千円 音楽劇さくら姫物語 鳥取市民会館 700人 令和6年度 3,200千円 鹿野にはかっぱやまどりくもの糸! 鳥取市民会館 600人 令和7年度 3,200千円 鹿野の蒼白い夜 鳥取市民会館開催予定(見込み)	
財源内訳		【事業の実績】 令和5年度 3,200千円 音楽劇さくら姫物語 鳥取市民会館 700人 令和6年度 3,200千円 鹿野にはかっぱやまどりくもの糸! 鳥取市民会館 600人 令和7年度 3,200千円 鹿野の蒼白い夜 鳥取市民会館開催予定(見込み)	
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和5年度 3,200千円 音楽劇さくら姫物語 鳥取市民会館 700人 令和6年度 3,200千円 鹿野にはかっぱやまどりくもの糸! 鳥取市民会館 600人 令和7年度 3,200千円 鹿野の蒼白い夜 鳥取市民会館開催予定(見込み)	
地方債	0	【事業の実績】 令和5年度 3,200千円 音楽劇さくら姫物語 鳥取市民会館 700人 令和6年度 3,200千円 鹿野にはかっぱやまどりくもの糸! 鳥取市民会館 600人 令和7年度 3,200千円 鹿野の蒼白い夜 鳥取市民会館開催予定(見込み)	
その他	0	【事業の実績】 令和5年度 3,200千円 音楽劇さくら姫物語 鳥取市民会館 700人 令和6年度 3,200千円 鹿野にはかっぱやまどりくもの糸! 鳥取市民会館 600人 令和7年度 3,200千円 鹿野の蒼白い夜 鳥取市民会館開催予定(見込み)	
一般財源	3,200	【事業の実績】 令和5年度 3,200千円 音楽劇さくら姫物語 鳥取市民会館 700人 令和6年度 3,200千円 鹿野にはかっぱやまどりくもの糸! 鳥取市民会館 600人 令和7年度 3,200千円 鹿野の蒼白い夜 鳥取市民会館開催予定(見込み)	
計	3,200	【事業の実績】 令和5年度 3,200千円 音楽劇さくら姫物語 鳥取市民会館 700人 令和6年度 3,200千円 鹿野にはかっぱやまどりくもの糸! 鳥取市民会館 600人 令和7年度 3,200千円 鹿野の蒼白い夜 鳥取市民会館開催予定(見込み)	
備考欄			

支所017	項目名	鹿野城跡公園管理費	新規事業
予算書項目	公園管理費	ページ	257
年度	R8	所 属 名	鹿野町総合支所 産業建設課
会計名			
一般会計			
款	土木費		
項	都市計画費		
目	公園管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	6,619		
本年度要求額	11,734		
総務部長段階査定額	11,130		
市長段階査定額	11,130		
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	475	
	地方債	0	
	その他	680	
	一般財源	9,975	
	計	11,130	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】鹿野町総合支所産業建設課 0857-30-8686	
【12次総の施策体系】3401	
【事業の経過及び背景】 鹿野城跡公園は、市民の健康増進及び保健休養並びに観光レクリエーション、歴史文化教育に資することを目的とした公園としている。桜まつりをはじめ、1年を通して地域イベント等が行われ地域性の高い施設でもある。	
【事業の目的及び効果】 鹿野城跡公園の維持管理を適正に行い、安全・安心な憩いの場を市民及び観光客へ提供する。	
【事業の内容】 地域住民や来園者が安全、安心に利用できるよう適正な維持管理を図る。また、桜の名所であることから、桜の長寿命化や更新などを行いながら景観の維持に努める。 令和8年度計画 工種：施肥・除草・剪定・病害防除・清掃・松くい防除	
【事業の実績】 令和5年度 4,050千円 令和6年度 5,252千円 令和7年度 6,619千円（見込み）	
※その他財源の使用料は、鹿野城跡公園使用料 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

支所018	項目名	青谷地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新市場特別振興費	ページ	169
年度	R8	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名			
一般会計			
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,144		
本年度要求額	1,344		
総務部長段階査定額	1,144		
市長段階査定額	1,144		
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,144	
	計	1,144	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692	
【12次総の施策体系】3403	
【事業の経過及び背景】 青谷地域の豊富な地域資源、自然、歴史文化などの魅力を次代に継承すべく、様々な活動に地域住民主体で取り組んでいる。活動母体となる組織「青谷地域づくり連絡協議会」を中心として盛り上げていく。 また、青谷地域を代表する伝統工芸品「因州和紙」を市内外に発信するため、因州和紙作品の展示紹介などを行う。	
【事業の目的及び効果】 青谷地域づくり連絡協議会が取り組む地域振興事業に対して補助をする。また、和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示・紹介しPRする。	
【事業の内容】 ・青谷地域づくり連絡協議会事業 ① 郷土芸能保存伝承活動 ② 鳴り砂保全活動 ③ 青谷上寺地遺跡学習活動 ④ 青谷町物産販売促進活動 ⑤ 青谷の魅力発掘活動 ⑥ 観光促進活動 ⑦ 住民交流促進活動 ・因州和紙PR事業 和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示・紹介	
【事業の実績】 令和5年度 1,126千円 令和6年度 1,171千円 令和7年度 1,144千円（見込み）	

支所019	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業	○
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	169	所属名
年度	R8	青谷町総合支所 地域振興課		
会計名				
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	企画費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	740			
総務部長段階査定額	740			
市長段階査定額	740			
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	740		
	計	740		
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692

【12次総の施策体系】3403

【事業の経過及び背景】
青谷地域では、農業者の高齢化と後継者不足から耕作放棄地が増加しており、耕作放棄地の有効活用が急務となっている。また、過疎化や高齢化が進む中で、新たな産業の創出と地域の魅力向上を図るため、地域特産物を活用した新たな事業展開が求められている。

【事業の目的及び効果】
地域おこし協力隊の活動により地域資源を活用した加工品の開発を行い、地域の特産品としてブランド化を進めるとともに、ふるさと納税返礼品や道の駅・小売店への販路開拓を進め、地域経済の活性化と持続可能な地域発展を促進する。

【事業の内容】
青谷地域に配置する地域おこし協力隊員を募集する。
地域内で柔軟に活動できる体制を整備するため、隊員は特定非営利活動法人BFOじげへ所属させる予定。

支所020	項目名	青谷上寺地遺跡地域利活用運営事業費	新規事業	
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	169	所属名
年度	R8	青谷町総合支所 地域振興課		
会計名				
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	企画費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	240			
本年度要求額	240			
総務部長段階査定額	240			
市長段階査定額	240			
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	240		
	計	240		
備考欄				

事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692

【12次総の施策体系】3403

【事業の経過及び背景】
青谷上寺地遺跡は、多数の歴史的発掘により全国的に注目される遺跡である。青谷地域では、この貴重な歴史遺産を活かし、地元の小中学校、青谷高等学校において、歴史学習を積極的にカリキュラムを取り入れている。特に青谷高等学校は、遺跡を題材にした独自の学習プログラムを構築し、専門的な考古学の教育を学校の特色として打ち出している。

【事業の目的及び効果】
青谷上寺地遺跡学習のため県外から入学した生徒の生活支援を行い、地域振興と地元での就労促進、さらに遺跡を活用した地域貢献を目指す。

【事業の内容】
青谷上寺地遺跡地域学習環境整備支援事業
「弥生文化探究」を含めた青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から青谷高等学校へ入学した生徒に対して、青谷町内または鳥取市内に下宿する場合に生活費の一部を支援する。
補助金額 10,000円×12か月×2人=240,000円

【事業の実績】
令和5年度 0千円
令和6年度 120千円
令和7年度 120千円(見込み)

支所021	項目名 青谷地域にぎわい創出事業補助金		新規 事業																				
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	243																				
年度	R8	所 属 名 青谷町総合支所 地域振興課																					
会計名		事業の概要																					
一般会計		【問合せ先】 青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692																					
款	商工費	【12次総の施策体系】 3403																					
項	商工費	【事業の経過及び背景】 平成28年度から、因州和紙の産地強化とまちなかの賑わいを目的とした、定期的なイベント等を実施。令和3年度より青谷上寺地遺跡利活用を加えた3つの取組を推進している。																					
目	観光費	【事業の目的及び効果】 地域資源である因州和紙の魅力を発信する事業、青谷のまちなかに賑わいを取り戻す事業、青谷上寺地遺跡利活用推進事業を通して、地域の魅力づくりと情報発信により地域の活性化を図る。																					
(単位:千円)		【事業の内容】 主催団体：青谷地域にぎわい創出実行委員会 (1) 青谷因州和紙産地強化事業 因州和紙市場開拓・情報発信事業、地域連携事業、伝統技術等の保存・継承事業 (2) 青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）事業 あおいち年3～4回、あおいちギャラリー (3) 青谷上寺地遺跡利活用推進事業 とっとり弥生の王国青谷かみじちフェスタ、青谷かみじち史跡公園アダプトプログラム等																					
前年度当初予算額	2,850	【事業の実績】 令和5年度 2,485千円 令和6年度 2,737千円 令和7年度 2,850千円（見込み）																					
本年度要求額	2,850	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																					
総務部長段階査定額	2,850	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td style="text-align: right;">1,298</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	1,298	諸収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	1,298																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	2,850																						
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">1,298</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">1,552</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">2,850</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	1,298	一般財源	1,552	計	2,850										
区 分	本年度予算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	1,298																						
一般財源	1,552																						
計	2,850																						
備考欄																							

一 般 会 計

(債務負担概要)

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
環境大学運営費交付金 (鳥取市公立大学法人公立鳥取環境大学施設整備費補助金)	政策企画課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
46,298	令和9年度					46,298

【事業の目的】

公立大学法人公立鳥取環境大学が行う大規模な修繕や施設整備に係る経費について、施設整備費補助金を交付する。

【事業の内容】

公立大学法人公立鳥取環境大学が行う学生センターの脱炭素化に向けた空調設備、換気設備、給湯設備の改修経費に対して、施設整備補助金を交付する。

工事の内容：学生センターZEB改修工事

工 期：令和8年度～令和9年度

総事業費：461,400千円（令和8年度：184,561千円、令和9年度：276,839千円）

※脱炭素交付金補助対象（2/3補助）

令和9年度県市負担額：276,839千円－184,244千円（脱炭素交付金）
＝92,595千円

令和9年度市負担額（鳥取県と折半）：92,595千円×1/2＝46,298千円

【これまでの関連する取組】

公立大学法人公立鳥取環境大学が行う大規模な修繕や施設整備に係る経費について、公立大学法人となった平成24年度より施設整備費補助金を交付している。

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

○空調改修工事スケジュール（予定）

令和8年4月～ 公告・契約

6月～ 工事開始（機器製作、機器据付等）

令和9年8月 工事完了

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市まちなか交流広場の管理運営費	政策企画課

[単位:千円]

限度額	期間	財 源 内 訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
322	令和9年度～10年度					322

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市まちなか交流広場の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の総意と工夫に基づいた管理運営によるサービス向上及び効率化を図る。

【事業の内容】

- 指定管理者に鳥取市まちなか交流広場の管理を委託する。
 指定管理者が行う業務の範囲は、以下のとおり。
- ・施設、設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、植栽管理等）
 - ・施設使用に関する業務
 - ・その他、施設の管理上市長が必要と認める業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	一般財団法人鳥取市教育福祉振興会		
指定期間	令和8年3月1日から令和11年3月31日		
現行指定管理料	R7 816千円	R8 8,552千円	R9 8,593千円
	R10 8,593千円		
	計 26,554千円		
変更後指定管理料	R7 829千円	R8 8,713千円	R9 8,754千円
	R10 8,754千円		
	計 27,050千円		
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上		

【今後の取組】

- 2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは次のとおり。
- 令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
鳥取県に委託する鳥取世界おもちゃ館の外壁ほか改修工事費	文化交流課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
24,487	令和9年度			22,000		2,487

【事業の目的】

開館より20年以上が経過しているため、共同設置者である鳥取県と連携して修繕・設備更新を行い、利用者が安心して利用できる施設とするため、鳥取世界おもちゃ館の外壁ほか改修工事を行う。

【事業の内容】

- (1) 期間 令和8年度～令和9年度
- (2) 業務内容
 令和8年度 工事契約及び改修工事
 令和9年度 改修工事（令和9年6月末までを予定）
- (3) 所要経費
 令和8年度 合計97,944千円（工事費191,186千円×1/2、監理業務4,701千円×1/2）
 令和9年度 合計24,487千円（工事費47,797千円×1/2、監理業務1,176千円×1/2）
 計 122,431千円
 ※令和8年度は当初予算に計上

【これまでの関連する取組】

R7年度外壁改修工事設計業務
 当初 3,881千円（7,761千円×1/2）

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

R8年度～R9年度 外壁ほか改修工事

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取世界おもちゃ館の管理運営費	文化交流課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
3,030	令和9年度～10年度					3,030

【事業の目的】

令和6～7年度にかけて共同設置者である鳥取県と連携して実施した空調熱源機器改修工事で更新した自動制御設備について、令和8年度の瑕疵期間満了に併せて保守点検業務が必要となることから、令和8年度から10年度までの指定管理期間における当該委託業務に要する費用の予算を追加する。

また、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から指定管理料の見直しを行う。

【事業の内容】

指定管理者に以下の業務を委託する。

- ・鳥取世界おもちゃ館の管理運営に関する業務

＜令和8年度追加債務負担額（R9～10）＞※R8増額分は当初予算において計上

- ・おもちゃ館指定管理料 3,030千円

※空調自動制御設備の保守費の増額分

※物価高騰による増額分（光熱費は除く）

【これまでの関連する取組】

令和6年度～令和10年度についても引き続き、指定管理者制度による施設管理委託を行う。

- ・指定管理者：公益財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館（指名指定）
- ・債務負担額：令和6年度～令和10年度 359,635千円
- ・追加債務負担額：令和7年度～令和10年度 21,664千円（人件費増加分、物価高騰分）
- ・追加債務負担額：令和8年度～令和10年度 7,128千円（人件費増加分）

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する城下町とっとり交流館の管理運営費	文化交流課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
1,148	令和9年度～10年度					1,148

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、城下町とっとり交流館の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた城下町とっとり交流館の運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

指定管理者に以下の業務を委託する。
 ・城下町とっとり交流館の管理運営に関する業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	公益財団法人鳥取市文化財団			
指定期間	令和6年度から令和10年度			
現行指定管理料	R6 11,389千円	R7 11,653千円	R8 11,653千円	
	R9 11,653千円	R10 11,653千円		
	計 58,001千円			
変更後指定管理料	R6 11,389千円	R7 12,227千円	R8 12,227千円	
	R9 12,227千円	R10 12,227千円		
	計 60,297千円			
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上			

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市民会館の管理運営費	文化交流課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
3,128	令和9年度～10年度					3,128

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市民会館条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた鳥取市民会館の運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

指定管理者に以下の業務を委託する。
 ・鳥取市民会館の管理運営に関する業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	一般財団法人鳥取市教育福祉振興会					
指定期間	令和6年度から令和10年度					
現行指定管理料	R 6	46,576千円	R 7	46,712千円	R 8	46,683千円
	R 9	46,713千円	R 10	46,683千円		
	計	233,367千円				
変更後指定管理料	R 6	46,576千円	R 7	48,276千円	R 8	48,247千円
	R 9	48,277千円	R 10	48,247千円		
	計	239,623千円				
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上					

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
次期基幹システム構築事業費	デジタル戦略課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
1,431,804	令和9年度～10年度	1,431,804				

【事業の目的】

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の制定により、地方公共団体における事務処理内容の共通性や住民利便性の向上、地方行政運営の効率化の観点から、対象となる住民基本台帳、個人住民税等の20業務のシステムを標準準拠システムへ移行することとなった。その移行期限は令和7年度末と定められていたが、期限までに移行が完了しないシステム（特定移行支援システム）が全国的に多くあることなどにより、国は、移行期限を令和12年度末に延長した。

本市においても、対象20業務全てが事業者都合により特定移行支援システムとなったことから、令和10年度の移行に向けて取組を進める。

【事業の内容】

令和10年度までに国が示す標準準拠システムの仕様にあったシステムへの移行及び環境を構築し、行政運営の効率化と市民サービス品質の向上を目指す。

【これまでの関連する取組】

令和5年11月 1回目のRFI（情報提供依頼）実施
 既存業者のみ対応可であったため、既存業者を導入業者を選定しプロジェクト開始

令和6年7月 選定業者より、移行期限である令和7年度の移行に対応できない旨の通知

令和6年9月 全20業務の移行が困難であることについて国に申請

令和6年10月 選定業者より、移行予定時期が令和11年1月と示される

令和6年12月 2回目のRFI実施
 4者から令和10年度の稼働が可能と回答があったため、導入事業者及びスケジュールの見直しを実施

令和6年12月 補助金の対象となる移行期限が5年延長され、令和12年度末となることが示された

令和7年8月 令和11年1月の移行を条件として、3回目のRFI実施
 4者から回答があり、うち3者は20業務対応可能と回答
 令和8年度にプロポーザルを実施し導入業者を選定することを決定

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは次のとおり

令和8年6月：業者選定

令和8年8月～令和10年12月：システム構築、BPR実施

生活保護システムは令和8年度中にシステム構築し、令和9年4月に稼働開始

健康管理システムは令和9年度中にシステム構築し、令和10年4月に稼働開始

令和10年4月～令和10年12月：運用テスト、職員研修

令和11年1月：稼働開始

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市佐治町老人福祉センター及び鳥取市鹿野町老人福祉センターしかの和泉荘の管理運営費	長寿社会課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
2,427	令和9年度～11年度					2,427

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営によるサービス向上及び効率化を図る。

【事業の内容】

指定管理者を指名指定し、鳥取市佐治町老人福祉センター及び鳥取市鹿野町老人福祉センターしかの和泉荘の管理運営を令和7年度から5年間委託する。

指定管理者が行う業務の範囲は、以下のとおり。

1. 施設、設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、保安警備、保守管理等）
2. 鳥取市佐治町老人福祉センター及び鳥取市鹿野町老人福祉センターしかの和泉荘の利用に関する業務
3. その他、施設の管理上市長が必要と認める業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	鳥取市社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会（指名）					
指定期間	令和7年度から令和11年度					
現行指定管理料	R 7	19,727千円	R 8	19,727千円	R 9	19,727千円
	R 10	19,727千円	R 11	19,727千円		
	計	98,635千円				
変更後指定管理料	R 7	20,536千円	R 8	20,536千円	R 9	20,536千円
	R 10	20,536千円	R 11	20,536千円		
	計	102,680千円				
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上					

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市青谷町高齢者生活福祉センターの管理運営費	長寿社会課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
2,658	令和9年度～11年度					2,658

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市青谷町高齢者生活福祉センターの設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営によるサービス向上及び効率化を図る。

【事業の内容】

指定管理者を指名指定し、鳥取市青谷町高齢者生活福祉センターの管理運営を令和7年度から5年間委託する。

指定管理者が行う業務の範囲は、以下のとおり。

1. 施設、設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、保安警備、保守管理等）
2. 自立した生活に不安があると認められる高齢者に対する住居の提供、各種の相談及び助言、緊急時の対応等
3. その他、施設の管理上市長が必要と認める業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	鳥取市社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会（指名）					
指定期間	令和7年度から令和11年度					
現行指定管理料	R 7	17,506千円	R 8	17,507千円	R 9	17,507千円
	R 10	17,507千円	R 11	17,507千円		
	計	87,534千円				
変更後指定管理料	R 7	18,392千円	R 8	18,393千円	R 9	18,393千円
	R 10	18,393千円	R 11	18,393千円		
	計	91,964千円				
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上					

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市総合福祉センターの管理運営費	長寿社会課

[単位:千円]

限度額	期間	財 源 内 訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
5,091	令和9年度～11年度					5,091

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営によるサービス向上及び効率化を図る。

【事業の内容】

指定管理者を公募し、鳥取市総合福祉センターの管理運営を令和7年度から5年間委託する。指定管理者が行う業務の範囲は、以下のとおり。

1. 施設、設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、保安警備、保守管理等）
2. 鳥取市総合福祉センターの利用に関する業務（受付、料金徴収、各種案内等）
3. その他、施設の管理上市長が必要と認める業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	株式会社さんびる（公募）					
指定期間	令和7年度から令和11年度					
現行指定管理料	R 7	65,834千円	R 8	65,834千円	R 9	65,834千円
	R10	65,834千円	R11	65,834千円		
		計 329,170千円				
変更後指定管理料	R 7	67,531千円	R 8	67,531千円	R 9	67,531千円
	R10	67,531千円	R11	67,531千円		
		計 337,655千円				
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上					

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市福部町ほっとスイミングプール及び鳥取市福部砂丘温泉ふれあい会館の管理運営費	長寿社会課

[単位:千円]

限度額	期間	財 源 内 訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
8,907	令和9年度～11年度					8,907

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市プールの設置及び管理に関する条例及び鳥取市福部砂丘温泉ふれあい会館の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手続に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営によるサービス向上及び効率化を図る。

【事業の内容】

指定管理者を公募し、鳥取市福部町ほっとスイミングプール及び鳥取市福部砂丘温泉ふれあい会館の管理運営を令和7年度から5年間委託する。

指定管理者が行う業務の範囲は、以下のとおり。

1. 施設、設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、保安警備、保守管理等）
2. 施設の運営に関する業務（受付、料金の徴収、各種案内等）
3. その他、施設の管理上市長が必要と認める業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者 株式会社エヌ・エス・アイ（公募）

指定期間 令和7年度から令和11年度

現行指定管理料	R 7	51,493千円	R 8	51,993千円	R 9	51,993千円
	R 10	54,243千円	R 11	55,243千円		
	計	264,965千円				

変更後指定管理料	R 7	54,462千円	R 8	54,962千円	R 9	54,962千円
	R 10	57,212千円	R 11	58,212千円		
	計	279,810千円				

※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市湯谷荘の管理運営費	長寿社会課

[単位:千円]

限度額	期間	財 源 内 訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
1,725	令和9年度～11年度					1,725

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市湯谷荘の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手続に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営によるサービス向上及び効率化を図る。

【事業の内容】

指定管理者を公募し、鳥取市湯谷荘の管理運営を令和7年度から5年間委託する。
指定管理者が行う業務の範囲は、以下のとおり。

1. 施設、設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、保安警備、保守管理等）
2. 温泉利用に関する業務（受付、料金徴収、各種案内）
3. その他、施設の管理上市長が必要と認める業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	日本海テレビジョン放送株式会社（公募）					
指定期間	令和7年度から令和11年度					
現行指定管理料	R 7	11,890千円	R 8	11,890千円	R 9	11,890千円
	R 10	11,890千円	R 11	11,890千円		
	計	59,450千円				
変更後指定管理料	R 7	12,465千円	R 8	12,465千円	R 9	12,465千円
	R 10	12,465千円	R 11	12,465千円		
	計	62,325千円				

※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市障害者福祉センターの管理運営費	障がい福祉課

[単位:千円]

限度額	期間	財 源 内 訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
2,010	令和9年度～10年度					2,010

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市障害者福祉センターの設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手続に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間の有するノウハウの活用によるサービスの向上と管理経費の縮減を目的とする。

【事業の内容】

鳥取市障害者福祉センター（さわやか会館）の管理運営を、指定管理者への委託において実施している。

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	社会福祉法人 鳥取市社会福祉協議会					
指定期間	令和6年度から令和10年度					
現行指定管理料	R 6	50,655千円	R 7	50,655千円	R 8	50,655千円
	R 9	50,655千円	R 10	50,655千円		
	計	253,275千円				
変更後指定管理料	R 6	50,655千円	R 7	51,660千円	R 8	51,660千円
	R 9	51,660千円	R 10	51,660千円		
	計	257,295千円				
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上					

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市立下味野児童館ほか11館の管理運営費	幼児保育課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
8,380	令和9年度～10年度					8,380

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市立児童館条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の
 手続等に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に
 基づいた管理運営によるサービス向上及び効率化を図る。

【事業の内容】

鳥取市立下味野児童館ほか11館の管理運営に関する業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本
 市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	一般社団法人ともに（公募）					
指定期間	令和6年度から令和10年度					
現行指定管理料	R 6	119,433千円	R 7	119,433千円	R 8	119,433千円
	R 9	119,433千円	R 10	119,433千円		
	計	597,165千円				
変更後指定管理料	R 6	119,433千円	R 7	123,623千円	R 8	123,623千円
	R 9	123,623千円	R 10	123,623千円		
	計	613,925千円				
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上					

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市気高保健センターの管理運営費	健康づくり推進課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
1,459	令和9年度					1,459

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市保健センター条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営によるサービス向上及び効率化を図る。

【事業の内容】

- 指定管理者を公募し、鳥取市気高保健センターの管理運営を令和5年から5年間委託する。指定管理者が行う業務の範囲は、以下のとおり。
1. 施設、設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、保安警備、保守管理等）
 2. 鳥取市気高保健センターの利用に関する業務（受付、料金徴収、各種案内等）
 3. その他、施設の管理上市長が必要と認める業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	株式会社さんびる		
指定期間	令和5年度から令和9年度		
現行指定管理料	R 5 38,916千円	R 6 36,965千円	R 7 37,237千円
	R 8 37,237千円	R 9 37,237千円	
	計 187,592千円		
変更後指定管理料	R 5 38,916千円	R 6 36,965千円	R 7 38,696千円
	R 8 38,696千円	R 9 38,696千円	
	計 191,969千円		
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上		

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
動物愛護センター機能支援事業費	生活安全課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
11,800	令和9年～10年度				5,590	6,210

【事業の目的】

本市は、平成30年4月に中核市へ移行し、鳥取県東部圏域の動物愛護行政を担うこととなった。鳥取県は、動物の愛護及び管理に関する法律で動物愛護行政を担う自治体に設置が求められている動物愛護センターを設置しておらず、その機能を公益財団法人動物臨床医学研究所に委託している。当該団体は、動物の適正飼養管理、譲渡活動及び動物愛護思想の普及啓発に関する専門知識を有する獣医師及び施設（アミティエ）を有しており、動物愛護センター機能業務を遂行できる県内で唯一の団体である。本市も動物愛護センターを設置していないことから、県と同様、動物愛護センター機能を委託している。今後、本市を含め鳥取県全体の動物愛護行政の一部を担っていただくためには、安定した経営に資する必要がある、県と市と歩調を合わせ支援を行うものである。

【事業の内容】

動物愛護センターに係る以下の機能を委託する。

- ・鳥取市収容動物のうち、アミティエに引き渡した譲渡対象動物の中長期的な飼養及び譲渡に係る業務
- ・譲渡対象動物の健康管理、治療、不妊去勢手術等に係る業務
- ・動物愛護の普及啓発行事（動物愛護週間行事等）

委託料：総額 11,800千円
令和9～10年度 5,900千円/年度（債務負担行為）

【これまでの関連する取組】

・平成26年度より、鳥取県はアミティエを鳥取県動物愛護センターとして位置付け、業務委託を開始

引渡し頭数	年度	県全体	中西部	東部
	平成27年度	72頭	44頭	28頭
	平成28年度	73頭	57頭	16頭
	平成29年度	72頭	60頭	12頭

・平成30年度の中核市移行に係る業務移管により、東部圏域分について本市とアミティエで業務委託を開始

引渡し頭数	年度	県全体	中西部	東部	うち4町
	平成30年度	81頭	65頭	16頭	3頭
	令和元年度	78頭	62頭	16頭	7頭
	令和2年度	70頭	54頭	16頭	10頭
	令和3年度	79頭	63頭	16頭	1頭
	令和4年度	72頭	54頭	18頭	5頭
	令和5年度	38頭	28頭	10頭	4頭
	令和6年度	39頭	27頭	12頭	1頭

【今後の取組】

これまでの取組により、適正飼養の啓発及び収容動物の譲渡推進等により、引取り頭数や殺処分頭数の一定の減少が認められはしたが、近年は横ばいから漸増傾向に転じており、アミティエへの連携を強化することにより、収容頭数及び処分頭数をさらに減少させる。

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
株式会社スマートエネルギーとっとり借入金の損失補償	スマートエネルギータウン推進室

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
株式会社スマートエネルギーとੱとりが、脱炭素先行地域づくり事業を実施するための金融機関等からの借り入れ資金571,200千円並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。	令和8年度					脱炭素先行地域づくり事業571,200千円と利子に相当する額

【事業の目的】

令和5年4月に環境省「脱炭素先行地域」に選定され、2030年度までに電力使用に伴うカーボンニュートラルと地方創生を同時に実現するため、若葉台地域と佐治町において、地域脱炭素の様々な取組を推進する。

【事業の内容】

株式会社スマートエネルギーとੱとりが、脱炭素先行地域づくり事業を実施するために金融機関等からの借り入れ資金並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。

【これまでの関連する取組】

令和5年4月 環境省「脱炭素先行地域」に選定
 令和6年12月 第3セクター「株式会社スマートエネルギーとੱとり」設立

【今後の取組】

株式会社スマートエネルギーとੱとりによる地域共生型再エネの導入などを通じて、2030年度までに鳥取市脱炭素先行地域計画を実現することはもとより、2050年のゼロカーボンシティ実現に向けた道筋を付け、地域経済循環の活性化、地域の課題解決・進化再生、生活の質の向上など安全・安心に住み続けられる持続可能なまちづくりにつなげる。

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
鳥取市土地開発公社借入金の損失補償	企業立地・支援課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	その他	一 般 財 源
鳥取市土地開発公社が、若葉台地内新工業用地（若葉台北工業用地）・つのいニュータウン工業用地（新都市工業用地）・三津工業用地・新津ノ井工業用地・河原インター山手工業団地用地・鳥取市河原町布袋工業団地用地を取得造成し管理するために金融機関等から借り入れた資金及び市町村合併に伴い解散する河原町土地開発公社が保有する資産を取得するために金融機関等から借り入れた資金6,320,830千円並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。	令和8年度					用地取得費、造成費、管理費6,320,830千円と利子に相当する額

【事業の目的】

企業誘致を戦略的に行うため、その受け皿となる工業用地を取得整備することにより、企業誘致を促進し、地域経済の活性化を図る。

【事業の内容】

鳥取市土地開発公社が、工業用地を取得造成し管理するために金融機関等から借り入れた資金及び河原町土地開発公社が保有する資産を取得するために金融機関から借り入れた資金並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。

【これまでの関連する取組】

<若葉台地内新工業用地（若葉台北工業用地）>
 株式会社JCBエグゼ事務所用地、株式会社円山菓寮工場用地として整備し、当該企業への賃貸を行っている。
 <つのいニュータウン工業用地（新都市工業用地）・三津工業用地・新津ノ井工業用地>
 平成16年度より分譲を行っている。
 <河原町土地開発公社からの取得資産>
 工業用地として整備し、賃貸型工場としての貸付や企業への分譲を行っている。
 <河原インター山手工業団地用地>
 平成27年度より分譲を行っている。
 <鳥取市河原町布袋工業団地用地>
 平成28年度より分譲を行っている。

【今後の取組】

鳥取市土地開発公社において事業を推進し、当該工業用地への企業誘致を積極的に推進する。

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市鹿野往来交流館の管理運営費	観光・ジオパーク推進課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
1,508	令和9年度～10年度					1,508

[事業の目的]

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市鹿野往来交流館の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営における質的向上と効率化を図る。

[事業の内容]

1. 観光振興及び地域の活性化に係る企画、展示等に関する業務。
2. 地域情報及び観光情報の発信に関する業務。
3. 民芸品等の地域特産品の展示、販売及び開発に関する業務。
4. 地域のまちづくりの推進に関する業務。

[これまでの関連する取組]

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	株式会社ふるさと鹿野			
指定期間	令和6年度から令和10年度			
現行指定管理料	R 6	19,961千円	R 7	19,961千円
	R 9	19,961千円	R 10	19,961千円
		計		99,805千円
変更後指定管理料	R 6	19,961千円	R 7	20,715千円
	R 9	20,715千円	R 10	20,715千円
		計		102,821千円
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上			

[今後の取組]

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市青谷町特産物加工販売施設の管理運営費	農政企画課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
1,365	令和9年度～11年度					1,365

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市青谷町特産物加工販売施設の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで鳥取市青谷町特産物加工販売施設の運営における、民間事業者等の創意と工夫に基づいた質的向上と効率化を図る。（農林水産物等を原料に用いた特産加工品の研究開発と加工品の製造販売及び市内で生産・採取された農林水産物や特産品を展示・直販し、農林水産物の高付加価値化、農業者の生産意欲の向上、また地域住民や外来者の交流等により、農業・農村の活性化を図ることを目的とする。）

【事業の内容】

指定管理者に以下の業務を委託する。

1. 事業の実施に関する業務（特産加工品の開発研究・製造販売）
2. 施設及び設備の維持管理に関する業務（玄関等の開閉・施錠、清掃、設備保守及び軽微な修繕）

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	あおや未来づくり協議会					
指定期間	令和7年度から令和11年度					
現行指定管理料	R 7	6,776千円	R 8	6,776千円	R 9	6,776千円
	R 10	6,776千円	R 11	6,776千円		
		計 33,880千円				
変更後指定管理料	R 7	7,231千円	R 8	7,231千円	R 9	7,231千円
	R 10	7,231千円	R 11	7,231千円		
		計 36,155千円				
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上					

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市安蔵公園及び鳥取市安蔵森林公園の管理運営費（※うち鳥取市安蔵森林公園）	林務水産課

[単位:千円]

限度額	期間	財 源 内 訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
1,132	令和9年度～10年度					1,132

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市安蔵森林公園の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた鳥取市安蔵森林公園の運営における質的向上と効率化を図る。（市民の保健休養及び森林レクリエーションの振興に資することを目的とする。）

【事業の内容】

指定管理者に以下の業務を委託する。
 ○施設、設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、保安警備、保守管理等）
 ○安蔵森林公園の森利用制限に関する業務（適正な管理に必要な利用者への措置命令）
 ○その他施設の管理運営に必要な業務（来園者の受付及び案内、施設設備の利用指導及び利用者へのサービス提供並びに利用促進）
 ○安蔵森林公園を利用した、森林に対する理解を深めるための事業に関する業務（宿泊、自然観察、野外活動等を通じて森林に対する理解を深める。）

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	株式会社エル・オフィス					
指定期間	令和6年度から令和10年度					
現行指定管理料	R 6	7,660千円	R 7	12,424千円	R 8	12,424千円
	R 9	12,424千円	R 10	12,424千円		
	計	57,356千円				
変更後指定管理料	R 6	7,660千円	R 7	12,712千円	R 8	12,989千円
	R 9	12,989千円	R 10	12,989千円		
	計	59,339千円				
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上					

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市出合いの森公園の管理運営費	林務水産課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
746	令和9年度～10年度					746

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市出合いの森公園の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

指定管理者に以下の業務を委託する。
 ○施設、設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、保安警備、保守管理等）
 ○鳥取市出合いの森公園の森利用制限に関する業務（適正な管理に必要な利用者への措置命令）
 ○その他施設の管理運営に必要な業務（施設設備の利用指導及び利用者へのサービス提供並びに利用促進）
 ○鳥取市出合いの森公園を利用した、森林に対する理解を深めるための事業に関する業務（施設内でのイベント等を通じて森林に対する理解を深める。）

【これまでの関連する取組】

平成18年度から指定管理者制度を導入。（鳥取県・鳥取市・指定管理者の3者協定）施設の維持管理、運営を委託し、管理者の自主事業を展開している。

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	株式会社谷尾樹楽園					
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）					
現行指定管理料	R 6	11,351千円	R 7	11,698千円	R 8	10,834千円
	R 9	10,824千円	R 10	10,874千円		
	計	55,581千円				
変更後指定管理料	R 6	11,351千円	R 7	11,698千円	R 8	12,106千円
	R 9	11,197千円	R 10	11,247千円		
	計	57,599千円				
	※令和8年度分は当初予算に計上					

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは次のとおり。

令和8年4月 変更協定

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市営鳥取駅高架下第1自転車駐車場及び第2自転車駐車場の管理運営費	交通政策課

[単位:千円]

限度額	期間	財 源 内 訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
2,026	令和9年度～10年度					2,026

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者の創意と工夫に基づいた管理運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

指定管理者に以下の業務を委任している。

鳥取市営鳥取駅高架下第1自転車駐輪場及び第2自転車駐輪場の管理運営に関する業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者 公益社団法人鳥取市シルバー人材センター

指定期間 令和6年度から令和10年度

現行指定管理料	R 6 5,120千円	R 7 5,883千円	R 8 6,538千円
	R 9 7,470千円	R 10 8,432千円	
	計 33,443千円		

変更後指定管理料	R 6 5,120千円	R 7 6,538千円	R 8 7,498千円
	R 9 8,460千円	R 10 9,468千円	
	計 37,084千円		

※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市都市公園、千代水スポーツ広場、津ノ井スポーツ広場、鳥取市営美保球場の管理運営費	河川公園課

[単位:千円]

限度額	期間	財 源 内 訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
7,912	令和9年度～10年度					7,912

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市都市公園条例、鳥取市スポーツ広場の設置及び管理に関する条例、鳥取市営美保球場の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の
 手続に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

- ① 鳥取市都市公園、千代水スポーツ広場、津ノ井スポーツ広場及び鳥取市営美保球場の管理に関する業務。
- ② 鳥取市都市公園、千代水スポーツ広場、津ノ井スポーツ広場及び鳥取市営美保球場の運営に関する業務。
- ③ 千代水スポーツ広場、津ノ井スポーツ広場及び鳥取市営美保球場のスポーツ事業に関する業務。

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	公益財団法人鳥取市公園・スポーツ施設協会		
指定期間	令和6年度から令和10年度		
現行指定管理料	R 6 117,126千円	R 7 117,643千円	R 8 118,171千円
	R 9 118,688千円	R 10 119,150千円	
	計 590,778千円		
変更後指定管理料	R 6 117,126千円	R 7 121,599千円	R 8 122,127千円
	R 9 122,644千円	R 10 123,106千円	
	計 606,602千円		
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上		

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する湖山池公園の管理運営費	河川公園課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
1,692	令和9年度～10年度					1,692

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市都市公園条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の
 手続に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基
 づいた管理運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

- ① 湖山池公園の管理に関する業務。
- ② 湖山池公園の運営に関する業務。
- ③ 青島キャンプ場の運営に関する業務。
- ④ 湖山池情報プラザの運営に関する業務。

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本
 市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	株式会社鳥取グリーン					
指定期間	令和6年度から令和10年度					
現行指定管理料	R 6	34,089千円	R 7	34,089千円	R 8	34,089千円
	R 9	34,089千円	R 10	34,089千円		
	計	170,445千円				
変更後指定管理料	R 6	34,089千円	R 7	34,935千円	R 8	34,935千円
	R 9	34,935千円	R 10	34,935千円		
	計	173,829千円				
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上					

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市用瀬町運動公園の管理運営費	河川公園課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
1,238	令和9年度～10年度					1,238

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市用瀬町運動公園の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

- ① 鳥取市用瀬町運動公園の管理に関する業務。
- ② 鳥取市用瀬町運動公園の運営に関する業務。
- ③ 鳥取市用瀬町運動公園におけるスポーツ事業に関する業務。

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	株式会社よろずや		
指定期間	令和6年度から令和10年度		
現行指定管理料	R 6 25,134千円	R 7 25,341千円	R 8 25,545千円
	R 9 25,750千円	R 10 25,955千円	
	計 127,725千円		
変更後指定管理料	R 6 25,134千円	R 7 25,960千円	R 8 26,164千円
	R 9 26,369千円	R 10 26,574千円	
	計 130,201千円		
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上		

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する重箱緑地の管理運営費	河川公園課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
400	令和9年度～10年度					400

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市都市公園条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の
 手続に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基
 づいた管理運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

- ① 重箱緑地の管理に関する業務。
- ② 重箱緑地の運営に関する業務。

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本
 市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者 株式会社グリーン企画浜本

指定期間 令和6年度から令和10年度

現行指定管理料	R 6 8,717千円	R 7 8,777千円	R 8 8,777千円
	R 9 8,777千円	R 10 8,777千円	
	計 43,825千円		

変更後指定管理料	R 6 8,717千円	R 7 8,977千円	R 8 8,977千円
	R 9 8,977千円	R 10 8,977千円	
	計 44,625千円		

※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する風紋広場の管理運営費	河川公園課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
157	令和9年度					157

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市都市公園条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の
 手続に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基
 づいた管理運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

- ① 風紋広場の維持管理に関する業務。
- ② 風紋広場の利用促進に関する業務。

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本
 市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者 株式会社エムアンドエムドットコー

指定期間 令和5年度から令和9年度

現行指定管理料	R 5 8,630千円	R 6 8,630千円	R 7 8,630千円
	R 8 8,630千円	R 9 8,630千円	
	計 43,150千円		

変更後指定管理料	R 5 8,630千円	R 6 8,630千円	R 7 8,787千円
	R 8 8,787千円	R 9 8,787千円	
	計 43,621千円		

※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鹿野町温泉公園、鹿野町越路ヶ丘公園、青谷町空浜公園、気高町北浜公園、気高町浜村砂丘公園の管理運営費	河川公園課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
566	令和9年度～10年度					566

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市都市公園条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の
 手続に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基
 づいた管理運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

- ① 鹿野町温泉公園、鹿野町越路ヶ丘公園、青谷町空浜公園、気高町北浜公園、気高町浜村砂丘公園
 の管理に関する業務。
- ② 鹿野町温泉公園、鹿野町越路ヶ丘公園、青谷町空浜公園、気高町北浜公園、気高町浜村砂丘公園
 の運営に関する業務。

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本
 市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者 有限会社片山庭園

指定期間 令和6年度から令和10年度

現行指定管理料 R 6 6,590千円 R 7 6,590千円 R 8 6,590千円
 R 9 6,590千円 R 10 6,590千円
 計 32,950千円

変更後指定管理料 R 6 6,590千円 R 7 6,873千円 R 8 6,873千円
 R 9 6,873千円 R 10 6,873千円
 計 34,082千円

※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市営サッカー場バードスタジアム及び千代川倉田緑地の管理運営費（※うち千代川倉田緑地）	河川公園課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
624	令和9年度～10年度					624

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市都市公園条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手続に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

- ① 千代川倉田緑地の管理に関する業務。
- ② 千代川倉田緑地の運営に関する業務。
- ③ 千代川倉田緑地のスポーツ事業に関する業務。

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	一般財団法人鳥取県サッカー協会		
指定期間	令和6年度から令和10年度		
現行指定管理料	R 6 6,500千円	R 7 6,500千円	R 8 6,500千円
	R 9 6,500千円	R 10 6,500千円	
	計 32,500千円		
変更後指定管理料	R 6 6,500千円	R 7 6,812千円	R 8 6,812千円
	R 9 6,812千円	R 10 6,812千円	
	計 33,748千円		
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上		

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市安蔵公園及び鳥取市安蔵森林公園の管理運営費（※うち鳥取市安蔵公園）	河川公園課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
812	令和9年度～10年度					812

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市安蔵公園の設置及び管理に関する条例、鳥取市安蔵森林公園の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

- ① 鳥取市安蔵公園の管理に関する業務。
- ② 鳥取市安蔵公園の運営に関する業務。
- ③ 鳥取市安蔵公園のスポーツ事業に関する業務。

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	株式会社エル・オフィス		
指定期間	令和6年度から令和10年度		
現行指定管理料	R 6 10,220千円	R 7 10,220千円	R 8 10,220千円
	R 9 10,220千円	R 10 10,220千円	
	計 51,100千円		
変更後指定管理料	R 6 10,220千円	R 7 10,626千円	R 8 10,626千円
	R 9 10,626千円	R 10 10,626千円	
	計 52,724千円		
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上		

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
鳥取市土地開発公社借入金の損失補償	建築住宅課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
鳥取市土地開発公社が、望町団地用地を取得するために金融機関等から借り入れた資金44,226千円並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。	令和8年度					用地取得費44,226千円と利子に相当する額

【事業の目的】

住宅団地を整備することにより、住民の定住化と持家促進を図る。

【事業の内容】

鳥取市土地開発公社が、望町団地用地を取得するために金融機関等から借り入れた資金並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。

【これまでの関連する取組】

平成14年度 分譲開始
令和4年度 鳥取県住宅供給公社から鳥取市土地開発公社が取得

【今後の取組】

鳥取市土地開発公社において事業を推進し、早期の完売を目指す。

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
鳥取市土地開発公社借入金の損失補償	建築住宅課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
鳥取市土地開発公社が、湯川住宅団地用地を取得するために金融機関等から借り入れた資金155,608千円並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。	令和8年度					用地取得費155,608千円と利子に相当する額

【事業の目的】

住宅団地を整備することにより、住民の定住化と持家促進を図る。

【事業の内容】

鳥取市土地開発公社が、湯川住宅団地用地を取得するために金融機関から借り入れた資金並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。

【これまでの関連する取組】

平成16年度 分譲開始

【今後の取組】

鳥取市土地開発公社において事業を推進し、早期の完売を目指す。

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
住宅維持補修費(賀露団地擁壁改修工事)	建築住宅課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
53,224	令和9年度			53,200		24

【事業の目的】

市営住宅賀露団地R 6棟東側のブロック積み擁壁は設置から50年以上が経過し、経年劣化によるクラックや隙間が生じている。
 令和5年7月13日の大雨により隣接する住民から擁壁の安全性について不安を訴える要望があり、令和6年3月に補修工事を行った。
 今後、災害などにより被害の発生が懸念されるため、擁壁全体の補強工事を行う。

【事業の内容】

ブロック積み擁壁改修工事（令和8年度～令和9年度）

既設ブロック積み擁壁（2段擁壁）の上段部分を撤去し下段擁壁への積載荷重の低減を図る。また、下段部分の擁壁は補修を行うとともに新たに張りコンクリート（20cm以上）を設置し補強を行う。

- ・ 工事費88,700千円（令和8年度35,476千円、令和9年度53,224千円）

【これまでの関連する取組】

令和6年3月 ブロック積み擁壁のクラック部分にグラウト剤を注入し補修
 令和7年度 市営住宅賀露団地斜面对策検討測量調査設計業務

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、以下のとおり。

令和8～9年度 市営住宅賀露団地R 6棟東側ブロック積み擁壁改修工事

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
学校給食センター整備費(北部学校給食センター建築工事)	学校保健給食課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
306,192	令和8年度～9年度			306,100		92

【事業の目的】

「第一期学校給食センター整備計画」に基づき、老朽化の最も顕著である第一、湖東学校給食センターを統合し、受配校エリアを網羅する約7,000食規模の(仮称)鳥取市北部学校給食センターの整備を進め、安心安全な学校給食を維持していく。

【事業の内容】

(仮称)鳥取市北部学校給食センター新築工事(給排水)

事業期間：令和8年2月～令和9年11月(21か月)

建築工事及び電気工事と施工調整が必要な給排水工事に付随した厨房機器の設置について、令和7年度発注予定であったが、入札が遅れたことで施工調整を令和8年度以降に実施するもの。

【これまでの関連する取組】

令和7年10月～12月 公告による事業者募集
 令和7年12月 公募型指名競争入札実施：(仮称)北部学校給食センター新築工事(給排水)
 令和7年12月 落札者と仮契約の締結
 令和8年1月 本契約議決

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 施工調整(建築・電気・給排水)
 令和9年11月 学校給食センター新築工事完成
 令和10年3月 開業準備(小・中・義務教育学校等の春季休業期間中)
 令和10年4月 開設、運用開始

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市佐治町コミュニティセンターの管理運営費	生涯学習・スポーツ課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
1,518	令和9年度～10年度					1,518

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営によるサービス向上及び効率化を図る。

【事業の内容】

指定管理者を公募し、鳥取市佐治町コミュニティセンターの管理運営を令和6年度より5年間委託する。

指定管理者が行う業務の範囲は、以下のとおり。

1. 地域振興・福祉業務（コミュニティ計画に基づく各種事業の支援）
2. 生涯学習業務（住民福祉の増進や地域づくりの基盤となる学びの提供）
3. 災害対応業務（避難場所としての施設管理）
4. 施設運営業務（施設の貸し出し、利用料金の徴収、管理に必要な鍵の保管）
5. 施設管理業務（建築物及び設備の保守管理、備品の保守管理、施設管理、清掃）
6. その他、施設の管理上市長が必要と認める業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	特定非営利活動法人さじ未来					
指定期間	令和6年度から令和10年度					
現行指定管理料	R 6	21,832千円	R 7	21,832千円	R 8	21,832千円
	R 9	21,832千円	R 10	21,832千円		
	計	109,160千円				
変更後指定管理料	R 6	21,832千円	R 7	22,591千円	R 8	22,591千円
	R 9	22,591千円	R 10	22,591千円		
	計	112,196千円				
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上					

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市文化センターの管理運営費	生涯学習・スポーツ課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
6,896	令和9年度～10年度					6,896

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市文化センターの設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営によるサービス向上及び効率化を図る。

【事業の内容】

- 指定管理者を公募し、鳥取市文化センターの管理運営を令和6年度より5年間委託する。
 指定管理者が行う業務の範囲は、以下のとおり。
1. 鳥取市文化センターの利用に関する業務（利用申込みの受付、利用案内、利用料金の徴収等）
 2. 鳥取市文化センターの施設及び設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、保安警備、保守管理等）
 3. 鳥取市文化センターを利用した生涯学習活動・文化芸術活動を推進するための事業に関する業務
 4. その他、施設の管理上市長が必要と認める業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	一般財団法人鳥取市教育福祉振興会					
指定期間	令和6年度から令和10年度					
現行指定管理料	R 6	90,405千円	R 7	90,720千円	R 8	90,720千円
	R 9	90,720千円	R 10	90,720千円		
	計	453,285千円				
変更後指定管理料	R 6	90,405千円	R 7	94,168千円	R 8	94,168千円
	R 9	94,168千円	R 10	94,168千円		
	計	467,077千円				

※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市営サッカー場バードスタジアム及び千代川倉田緑地の管理運営費（※うち鳥取市営サッカー場バードスタジアム）	生涯学習・スポーツ課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
1,282	令和9年度～10年度					1,282

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市営サッカー場の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手続に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営によるサービス向上及び効率化を図る。

【事業の内容】

鳥取市営サッカー場等の管理運営を令和6年度より5年間委託する。

指定管理者が行う業務の範囲は、以下のとおり。

1. 利用に関する業務（利用申込受付、利用案内、スポーツ指導、利用料金の徴収等）
2. 施設及び設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、保安警備、保守管理等）
3. その他、施設の管理上市長が必要と認める業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者 一般財団法人鳥取県サッカー協会

指定期間 令和6年度から令和10年度

現行指定管理料 (サッカー場のみ)	R 6	48,480千円	R 7	48,480千円	R 8	48,480千円
	R 9	48,480千円	R 10	48,480千円		
	計	242,400千円				

変更後指定管理料 (サッカー場のみ)	R 6	48,480千円	R 7	49,121千円	R 8	49,121千円
	R 9	49,121千円	R 10	49,121千円		
	計	244,964千円				

※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市B&G海洋センターの管理運営費	生涯学習・スポーツ課

[単位:千円]

限度額	期間	財 源 内 訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
1,586	令和9年度～10年度					1,586

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市海洋センターの設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営によるサービス向上及び効率化を図る。

【事業の内容】

鳥取市B&G海洋センターの管理運営を令和6年度より5年間委託する。

指定管理者が行う業務の範囲は、以下のとおり。

1. 利用に関する業務（利用申込受付、利用案内、スポーツ指導、利用料金の徴収等）
2. 施設及び設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、保安警備、保守管理等）
3. その他、施設の管理上市長が必要と認める業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者 株式会社さんびる

指定期間 令和6年度から令和10年度

現行指定管理料 R 6 16,582千円 R 7 17,131千円 R 8 17,541千円
 R 9 17,961千円 R 10 18,401千円
 計 87,616千円

変更後指定管理料 R 6 16,582千円 R 7 17,924千円 R 8 18,334千円
 R 9 18,754千円 R 10 19,194千円
 計 90,788千円

※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
重要文化財仁風閣保存整備事業費	文化財課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
123,998	令和9年度～10年度	61,999	15,087	42,300		4,612

【事業の目的】

重要文化財仁風閣は、明治40年に大正天皇(当時皇太子)の山陰行啓に際し、当地の宿舎として旧鳥取藩主池田氏が鳥取城跡に建てたもので、山陰地方における数少ない明治洋風建築の遺構として貴重であることから、鳥取市に譲与されたのち昭和48年6月に国の重要文化財に指定された。
本事業の実施により、市民の誇りである重要文化財仁風閣を将来にわたって伝えていく。

【事業の内容】

近年、雨漏りや壁面の剥落など経年劣化が著しく、指定文化財として保存修理を要する状況にあることから、令和2年より保存整備事業(破損調査・耐震診断・実施設計)に着手。令和7年1月17日に工事契約を行い、現在、保存修理工事及び耐震補強を実施している。

【変更内容】

計画時の想定より建物の経年劣化が著しく、限度額を追加することで確実な事業遂行を図る。

- ・ 現行債務負担行為限度額 434,819千円(期間:令和7年度～10年度)
 (内訳) 工事請負費 380,270千円
 設計監理委託料 54,330千円
 事務費 219千円
- ・ 追加後合計額 739,088千円
 ※令和8年度追加分180,271千円は当初予算に計上
 (内訳) 工事請負費 672,870千円
 設計監理委託料 66,003千円
 事務費 215千円

【これまでの関連する取組】

令和2年度 保存修理計画策定
 令和3年度 修理検討委員会組織、委員会開催ほか
 令和4年度 現状調査、耐震診断ほか
 令和5年度 修理実施設計、耐震補強設計ほか
 令和6年度 工事発注手続き(R7.1.17工事契約)
 令和7年度 保存修理及び構造補強工事 実施中

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。
 令和10年度まで 保存修理工事及び耐震補強
 令和10年度 展示品製作(別途事業)
 令和11年度下半期 リニューアルオープン(予定)

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
仁風閣・宝扇庵管理事業費	文化財課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
580	令和9年度					580

【事業の目的】

国指定重要文化財仁風閣の建造物修理による閉館期間（～R9年度）、仮施設を設置して仁風閣の機能の一部を代替する。

【事業の内容】

国指定重要文化財仁風閣の建造物修理による閉館期間（～R9年度）、仮施設を設置し仁風閣及び修理工事・鳥取城跡のガイダンス、宝隆院庭園及び宝扇庵の管理運営、来訪者へのサービス等を行う。大手登城路の復元整備完了部分について、あわせて管理を委託する。

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市管理施設において委託料の見直しを行い適切な委託料の設定をする。

委託先	公益財団法人鳥取市文化財団				
期間	令和6年度から令和9年度				
変更前委託料	R6 23,716千円	R7 23,716千円	R8 23,716千円	R9 23,716千円	
	計 94,864千円				
変更後委託料	R6 23,716千円	R7 23,716千円	R8 24,296千円	R9 24,296千円	
	計 96,024千円				

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年4月 変更契約の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金	青谷町総合支所 地域振興課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
240	令和9年度					240

【事業の目的】

青谷高等学校の青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から入学した生徒に対して、就学期間中の生活を支援することにより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげる。

【事業の内容】

県外から青谷高等学校に入学し、青谷上寺地遺跡等を活用した地域学習を履修する生徒に対して、青谷町内または鳥取市内に下宿する場合の生活費の一部を補助する。

【補助金の額】

令和7年度入学生	10,000円×12か月×1人=120,000円
令和8年度入学生	10,000円×12か月×2人=240,000円
令和9年度入学生	10,000円×12か月×2人=240,000円

【これまでの関連する取組】

鳥取県立青谷高等学校の生徒をはじめ地元の小中学生が青谷上寺地遺跡をテーマとした歴史学習を積極的に取り入れ、青谷地域のにぎわい、活性化につなげる取組を行っている。

【今後の取組】

鳥取県立青谷高等学校の令和9年度入学からの生徒募集に対しこの制度を周知し、まちづくりを推進する。

特 別 会 計

(予算事業別概要)

区001	項目名	保留地処分事務費	新規事業
予算書項目	保留地処分事務費	ページ	331
年度	R8	所 属 名	都市整備部 河川公園課
会計名	事業の概要		
土地区画整理費特別会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8341		
款 区画整理費	【12次総の施策体系】2401		
項 千代水第二土地区画整理費	【事業の経過及び背景】		
目 区画整理事業費	都市計画決定 平成8年3月15日(告示日)		
	事業計画決定 平成8年12月6日(公告日)		
	換地処分 平成25年2月26日(公告日)		
	施行区域面積 80.3ha(土地所有者227人)		
	全体事業費 4,867,391千円		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額 7,297	当地区は中心市街地及び港湾、空港等に近接し、広域的な交通条件に恵まれていることから、流通業務拠点地区として位置づけられている。当地区の立地条件を生かして保留地の売却を進めながら、早期の事業完了を図るとともに、より健全で良好な市街地の発展を図る。		
本年度要求額 6,747	【事業の内容】		
総務部長段階査定額 6,747	保留地処分及び管理業務など。		
市長段階査定額 6,747	【事業の実績】		
	令和5年度 884千円		
	令和6年度 598千円		
	令和7年度 126千円(見込み)		
	※その他財源の諸収入は、保留地払下収入及び雑入		
区分	本年度予算額	備考欄	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	6,747		
一般財源	0		
計	6,747		

公001	項目名	業務委託費	新規事業
予算書項目	管理運営費等	ページ	339
年度	R8	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	事業の概要		
公設地方卸売市場事業費特別会計	【問合せ先】市場開拓係 0857-30-8283		
款 市場費	【12次総の施策体系】3103		
項 市場管理費	【事業の経過及び背景】		
目 市場管理費	平成17年度まで、市の直営であったが、平成18年度から行財政改革の推進という観点から、全庁的に指定管理者制度の導入に取り組んだ結果、鳥取市公設卸売市場においても指定管理者制度に移行した。		
	なお、市場事情に精通している現指定管理者である協同組合鳥取総合食品卸売市場を指名し、指定している。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額 50,312	鳥取市公設卸売市場の運営業務を指定管理者に委託することにより、民間活力の活用による効果的かつ効率的な施設運営を行い、もって市民生活の安定に資する事を目的とする。		
本年度要求額 31,744	※施設管理業務委託(委託先:協同組合鳥取総合食品卸売市場)		
総務部長段階査定額 31,744	【事業の内容】		
市長段階査定額 31,744	再整備により、コールドチェーン機能や流通動線等利便性の向上が図られた施設について、引き続き令和8年度から5か年間の指定管理期間で協同組合鳥取総合食品卸売市場(指名指定)の指定管理による維持管理を予定しており、効率的かつ安定的な市場運営を図る。		
	【事業の実績】		
	(指定管理料) (場内除雪委託) (その他)		
	令和5年度 29,887千円 268千円 -		
	令和6年度 27,426千円 276千円 -		
	令和7年度 28,042千円 1,212千円 14,728千円(見込み) 地盤変動調査他		
	※その他財源の使用料は、卸売業者等土地建物使用料		
区分	本年度予算額	備考欄	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	22,221		
一般財源	9,523		
計	31,744		

国001	項目名	ジェネリック医薬品利用促進事業費	新規事業
予算書項目	事務費	ページ	357
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	総務費		
項	総務管理費		
目	一般管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	788		
本年度要求額	789		
総務部長段階査定額	789		
市長段階査定額	789		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	609	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	0	使用料
	一般財源	180	手数料
	計	789	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】医療費適正化推進室 0857-30-8227 【12次総の施策体系】2101 【事業の経過及び背景】 医療の高度化等に伴い、家計に占める医療費の割合や国民健康保険財政の厳しさが続く中で、ジェネリック医薬品の利用を促し、被保険者の治療に係る費用負担を軽減するとともに国民健康保険運営の安定化を図ることが求められている。 【事業の目的及び効果】 先発医薬品に比べて安価で品質、安全性及び有効性が変わらないジェネリック医薬品の利用促進により、被保険者の医療費負担の軽減及び国保事業会計の安定化を図る。 【事業の内容】 先発医薬品とジェネリック医薬品に切り替えた場合との差額通知の送付。 【事業の実績】 ジェネリック医薬品普及率 令和5年度 83.9% 令和6年度 88.5% 令和7年度 89.0% (見込み)			

国002	項目名	療養給付費	新規事業
予算書項目	療養給付費	ページ	361
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	保険給付費		
項	療養諸費		
目	療養給付費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	11,026,300		
本年度要求額	10,853,511		
総務部長段階査定額	10,853,511		
市長段階査定額	10,853,511		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	10,853,511	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	0	使用料
	一般財源	0	手数料
	計	10,853,511	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】国民健康保険係 0857-30-8222 【12次総の施策体系】2101 【事業の経過及び背景】 国民健康保険は、被用者保険等の他の医療保険等に参加していない者を被保険者とし、万一のけがや病気になった場合に、加入者が保険料を出し合い、医療費をまかなう相互扶助の医療保険制度。 【事業の目的及び効果】 保険医療機関等からけがや病気の治療を受けた際、法定割合により現物給付を行うものであり、被保険者は一部負担金を負担するのみで療養が可能となり、医療の機会均等を確保するもの。 【事業の内容】 国民健康保険の被保険者がけがや病気により保険医療機関で必要な医療を受けた際の医療費に対し、法定の給付割合により現物給付を行うもの。 【事業の実績】 令和5年度 11,148,197千円 令和6年度 10,949,399千円 令和7年度 11,026,300千円 (見込み)			

国003	項目名	高額療養費	新規事業
予算書項目	高額療養費	ページ	361
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	保険給付費		
項	高額療養費		
目	高額療養費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,884,520		
本年度要求額	1,940,196		
総務部長段階査定額	1,940,196		
市長段階査定額	1,940,196		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	1,940,196	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	0	
	計	1,940,196	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】国民健康保険係 0857-30-8222	
【12次総の施策体系】2101	
【事業の経過及び背景】 近年、医療水準の向上に伴い、治療方法等が飛躍的に発達しつつあるが、一方ではその医療費が極端に高額化する傾向が見られる。このような場合、その一部負担金は被保険者の支払い能力に関係なく増大するため、自己負担額は高額なものとなり、その支払いは被保険者にとって過重な負担となる結果を招いていた。こうした過重な自己負担の軽減を図り、医療保険の機能をより有効に働かせるために、この制度が創設されたもの。	
【事業の目的及び効果】 一部負担金として負担する額の限度額が定められることにより、多額の医療費がかかる治療を受けた場合においても、一定の負担で安心して医療を受けられるようになるもの。	
【事業の内容】 被保険者の一部負担金が一定額を超える場合にその超える部分を支給するもの。	
【事業の実績】 令和5年度 1,794,167千円 令和6年度 1,819,677千円 令和7年度 1,884,520千円(見込み)	

国004	項目名	出産育児一時金	新規事業
予算書項目	出産育児一時金	ページ	363
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	保険給付費		
項	出産育児諸費		
目	出産育児一時金		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	25,000		
本年度要求額	31,500		
総務部長段階査定額	31,500		
市長段階査定額	31,500		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	31,500	
	一般財源	0	
	計	31,500	
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】国民健康保険係 0857-30-8222	
【12次総の施策体系】2101	
【事業の経過及び背景】 国民健康保険法第58条第1項により、条例に定めるところにより出産育児一時金の支給を行うもの。	
【事業の目的及び効果】 被保険者が出産したとき、当該被保険者の属する世帯の世帯主に対し支給するもの。	
【事業の内容】 1件あたり500千円(産科医療補償制度加入分娩機関での分娩の場合。その他の場合は1件488千円。)	
【事業の実績】 支給件数 令和5年度 62件 令和6年度 59件 令和7年度 65件(見込み)	
※その他財源のその他は、国民健康保険料	

国005	項目名	医療給付費分	新規事業
予算書項目	医療給付費分	ページ	365
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	国民健康保険事業費納付金		
項	医療給付費分		
目	医療給付費分		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	2,617,858		
本年度要求額	2,777,798		
総務部長段階査定額	2,777,798		
市長段階査定額	2,777,798		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	83,582	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	1,801,790	使用料
	一般財源	892,426	手数料
	計	2,777,798	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】庶務係 0857-30-8221	
【12次総の施策体系】2101	
【事業の経過及び背景】 国保制度の構造的課題を解消するため、平成30年度より国保の財政責任を都道府県が担うことを含む新しい国保制度が施行されることとなった。	
【事業の目的及び効果】 全県下の医療給付を賄うため給付費総額から国等からの公費を除いた額を各市町村の医療費水準や所得水準等に応じて県があらかじめ納付金として算定し、市町村はこれを納付する。 これにより、当該年度の給付に必要な額を県が全額交付金として賄うこととなり、財政リスクが解消される。	
【事業の内容】 国民健康保険事業費納付金（医療給付費分）	
【事業の実績】 令和5年度 2,940,454千円 令和6年度 2,362,741千円 令和7年度 2,617,858千円（見込み）	
※その他財源の負担金は、被保険者一部負担金 ※その他財源の手数料は、督促手数料 ※その他財源の繰入金は、基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、延滞金等 ※その他財源のその他は、国民健康保険料	

国006	項目名	後期高齢者支援金等分	新規事業
予算書項目	後期高齢者支援金等分	ページ	365
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	国民健康保険事業費納付金		
項	後期高齢者支援金等分		
目	後期高齢者支援金等分		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	1,049,750		
本年度要求額	1,027,763		
総務部長段階査定額	1,027,763		
市長段階査定額	1,027,763		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	0	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	779,259	使用料
	一般財源	248,504	手数料
	計	1,027,763	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】庶務係 0857-30-8221	
【12次総の施策体系】2101	
【事業の経過及び背景】 国保制度の構造的課題を解消するため、平成30年度より国保の財政責任を都道府県が担うことを含む新しい国保制度が施行されることとなった。	
【事業の目的及び効果】 全県下の後期高齢者医療制度に係る国保負担分を賄うため総額から国等の公費を除いた額を各市町村の所得水準等に応じて県があらかじめ算定した納付金を市町村が納付する。	
【事業の内容】 国民健康保険事業費納付金（後期高齢者支援金等分）	
【事業の実績】 令和5年度 1,100,060千円 令和6年度 1,097,026千円 令和7年度 1,049,750千円（見込み）	
※その他財源の繰入金は、基金繰入金 ※その他財源のその他は、国民健康保険料	

国007	項目名	介護納付金分	新規事業																												
予算書項目	介護納付金分	ページ	365																												
年度	R8	所 属 名																													
		福祉部 保険年金課																													
<table border="1"> <tr><td>会計名</td><td></td></tr> <tr><td>国民健康保険費特別会計(事業勘定)</td><td></td></tr> <tr><td>款</td><td>国民健康保険事業費納付金</td></tr> <tr><td>項</td><td>介護納付金分</td></tr> <tr><td>目</td><td>介護納付金分</td></tr> </table>		会計名		国民健康保険費特別会計(事業勘定)		款	国民健康保険事業費納付金	項	介護納付金分	目	介護納付金分	<table border="1"> <tr><td>事業の概要</td></tr> <tr><td>【問合せ先】 庶務係 0857-30-8221</td></tr> <tr><td>【12次総の施策体系】 2101</td></tr> <tr><td>【事業の経過及び背景】 国保制度の構造的課題を解消するため、平成30年度より国保の財政責任を都道府県が担うことを含む新しい国保制度が施行されることとなった。</td></tr> <tr><td>【事業の目的及び効果】 全県下の介護保険第2号被保険者に係る国保分の介護納付金総額を賄うため納付金総額から国等の公費を除いた額を各市町村の所得水準等に応じて県があらかじめ算定した納付金を市町村が納付する。</td></tr> <tr><td>【事業の内容】 国民健康保険事業費納付金（介護納付金分）</td></tr> <tr><td>【事業の実績】 令和5年度 319,276千円 令和6年度 319,963千円 令和7年度 317,193千円（見込み）</td></tr> <tr><td>※その他財源の繰入金は、基金繰入金 ※その他財源のその他は、国民健康保険料</td></tr> </table>		事業の概要	【問合せ先】 庶務係 0857-30-8221	【12次総の施策体系】 2101	【事業の経過及び背景】 国保制度の構造的課題を解消するため、平成30年度より国保の財政責任を都道府県が担うことを含む新しい国保制度が施行されることとなった。	【事業の目的及び効果】 全県下の介護保険第2号被保険者に係る国保分の介護納付金総額を賄うため納付金総額から国等の公費を除いた額を各市町村の所得水準等に応じて県があらかじめ算定した納付金を市町村が納付する。	【事業の内容】 国民健康保険事業費納付金（介護納付金分）	【事業の実績】 令和5年度 319,276千円 令和6年度 319,963千円 令和7年度 317,193千円（見込み）	※その他財源の繰入金は、基金繰入金 ※その他財源のその他は、国民健康保険料										
会計名																															
国民健康保険費特別会計(事業勘定)																															
款	国民健康保険事業費納付金																														
項	介護納付金分																														
目	介護納付金分																														
事業の概要																															
【問合せ先】 庶務係 0857-30-8221																															
【12次総の施策体系】 2101																															
【事業の経過及び背景】 国保制度の構造的課題を解消するため、平成30年度より国保の財政責任を都道府県が担うことを含む新しい国保制度が施行されることとなった。																															
【事業の目的及び効果】 全県下の介護保険第2号被保険者に係る国保分の介護納付金総額を賄うため納付金総額から国等の公費を除いた額を各市町村の所得水準等に応じて県があらかじめ算定した納付金を市町村が納付する。																															
【事業の内容】 国民健康保険事業費納付金（介護納付金分）																															
【事業の実績】 令和5年度 319,276千円 令和6年度 319,963千円 令和7年度 317,193千円（見込み）																															
※その他財源の繰入金は、基金繰入金 ※その他財源のその他は、国民健康保険料																															
<p>(単位:千円)</p> <table border="1"> <tr><td>前年度当初予算額</td><td>317,193</td></tr> <tr><td>本年度要求額</td><td>311,656</td></tr> <tr><td>総務部長段階査定額</td><td>311,656</td></tr> <tr><td>市長段階査定額</td><td>311,656</td></tr> </table>		前年度当初予算額	317,193	本年度要求額	311,656	総務部長段階査定額	311,656	市長段階査定額	311,656	<table border="1"> <tr><td colspan="2">その他財源の内訳</td></tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>796</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>237,280</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	796	諸収入	0	その他	237,280
前年度当初予算額	317,193																														
本年度要求額	311,656																														
総務部長段階査定額	311,656																														
市長段階査定額	311,656																														
その他財源の内訳																															
分担金	0																														
負担金	0																														
使用料	0																														
手数料	0																														
財産収入	0																														
寄付金	0																														
繰入金	796																														
諸収入	0																														
その他	237,280																														
<table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>本年度予算額</td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td></td></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>238,076</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>73,580</td></tr> <tr><td>計</td><td>311,656</td></tr> </table>		区 分	本年度予算額	財源内訳		国・県支出金	0	地方債	0	その他	238,076	一般財源	73,580	計	311,656																
区 分	本年度予算額																														
財源内訳																															
国・県支出金	0																														
地方債	0																														
その他	238,076																														
一般財源	73,580																														
計	311,656																														
備考欄																															

国008	項目名	子ども・子育て支援納付金分	新規事業	○																												
予算書項目	子ども・子育て支援納付金分	ページ	365	所 属 名																												
年度	R8	福祉部 保険年金課																														
<table border="1"> <tr><td>会計名</td><td></td></tr> <tr><td>国民健康保険費特別会計(事業勘定)</td><td></td></tr> <tr><td>款</td><td>国民健康保険事業費納付金</td></tr> <tr><td>項</td><td>子ども・子育て支援納付金分</td></tr> <tr><td>目</td><td>子ども・子育て支援納付金分</td></tr> </table>		会計名		国民健康保険費特別会計(事業勘定)		款	国民健康保険事業費納付金	項	子ども・子育て支援納付金分	目	子ども・子育て支援納付金分	<table border="1"> <tr><td>事業の概要</td></tr> <tr><td>【問合せ先】 庶務係 0857-30-8221</td></tr> <tr><td>【12次総の施策体系】 2101</td></tr> <tr><td>【事業の経過及び背景】 令和8年度より、国の子育て支援政策の実施に必要な財源の一部を、子ども・子育て支援納付金として医療保険者を通して全世代の国民から徴収することとなった。</td></tr> <tr><td>【事業の目的及び効果】 国民健康保険では、市町村が被保険者から徴収した子ども・子育て支援納付金を国民健康保険事業費納付金（子ども・子育て支援納付金分）として都道府県に納付し、都道府県が県下全市町村分の子ども・子育て支援納付金を国に納付する。</td></tr> <tr><td>【事業の内容】 国民健康保険事業費納付金（子ども・子育て支援納付金分）</td></tr> <tr><td>※その他財源のその他は、国民健康保険料</td></tr> </table>			事業の概要	【問合せ先】 庶務係 0857-30-8221	【12次総の施策体系】 2101	【事業の経過及び背景】 令和8年度より、国の子育て支援政策の実施に必要な財源の一部を、子ども・子育て支援納付金として医療保険者を通して全世代の国民から徴収することとなった。	【事業の目的及び効果】 国民健康保険では、市町村が被保険者から徴収した子ども・子育て支援納付金を国民健康保険事業費納付金（子ども・子育て支援納付金分）として都道府県に納付し、都道府県が県下全市町村分の子ども・子育て支援納付金を国に納付する。	【事業の内容】 国民健康保険事業費納付金（子ども・子育て支援納付金分）	※その他財源のその他は、国民健康保険料											
会計名																																
国民健康保険費特別会計(事業勘定)																																
款	国民健康保険事業費納付金																															
項	子ども・子育て支援納付金分																															
目	子ども・子育て支援納付金分																															
事業の概要																																
【問合せ先】 庶務係 0857-30-8221																																
【12次総の施策体系】 2101																																
【事業の経過及び背景】 令和8年度より、国の子育て支援政策の実施に必要な財源の一部を、子ども・子育て支援納付金として医療保険者を通して全世代の国民から徴収することとなった。																																
【事業の目的及び効果】 国民健康保険では、市町村が被保険者から徴収した子ども・子育て支援納付金を国民健康保険事業費納付金（子ども・子育て支援納付金分）として都道府県に納付し、都道府県が県下全市町村分の子ども・子育て支援納付金を国に納付する。																																
【事業の内容】 国民健康保険事業費納付金（子ども・子育て支援納付金分）																																
※その他財源のその他は、国民健康保険料																																
<p>(単位:千円)</p> <table border="1"> <tr><td>前年度当初予算額</td><td>0</td></tr> <tr><td>本年度要求額</td><td>100,352</td></tr> <tr><td>総務部長段階査定額</td><td>100,352</td></tr> <tr><td>市長段階査定額</td><td>100,352</td></tr> </table>		前年度当初予算額	0	本年度要求額	100,352	総務部長段階査定額	100,352	市長段階査定額	100,352	<table border="1"> <tr><td colspan="2">その他財源の内訳</td></tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>71,714</td></tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	71,714
前年度当初予算額	0																															
本年度要求額	100,352																															
総務部長段階査定額	100,352																															
市長段階査定額	100,352																															
その他財源の内訳																																
分担金	0																															
負担金	0																															
使用料	0																															
手数料	0																															
財産収入	0																															
寄付金	0																															
繰入金	0																															
諸収入	0																															
その他	71,714																															
<table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>本年度予算額</td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td></td></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>71,714</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>28,638</td></tr> <tr><td>計</td><td>100,352</td></tr> </table>		区 分	本年度予算額	財源内訳		国・県支出金	0	地方債	0	その他	71,714	一般財源	28,638	計	100,352																	
区 分	本年度予算額																															
財源内訳																																
国・県支出金	0																															
地方債	0																															
その他	71,714																															
一般財源	28,638																															
計	100,352																															
備考欄																																

国009	項目名	糖尿病性腎症重症化予防事業費	新規事業
予算書項目	糖尿病性腎症重症化予防事業費	ページ	367
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	保健事業費		
項	保健事業費		
目	保健衛生普及費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	6,698		
本年度要求額	3,646		
総務部長段階査定額	3,646		
市長段階査定額	3,646		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	3,646	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	0	使用料
	一般財源	0	手数料
	計	3,646	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】医療費適正化推進室 0857-30-8227	
【12次総の施策体系】2201	
【事業の経過及び背景】 生活習慣及び社会環境の変化による糖尿病患者数の増加は、医療費の増大をもたらし、国民負担の増加の大きな要因となっている。糖尿病は放置すると網膜症や腎症などの重症化を伴う合併症を引き起こし、患者の生活の質を低下させることから、糖尿病の重症化予防は、国の喫緊の課題となっている。	
【事業の目的及び効果】 ハイリスクの糖尿病患者に対する効果的な保健指導プログラムを実施するとともに、看護師・管理栄養士による本市独自のフォローアップにより、セルフマネジメント力の維持・向上を図り、より一層の予防・健康管理の推進を強化する。	
【事業の内容】 糖尿病性腎症等ハイリスクの糖尿病患者に対し、主治医の指導の下、透析移行の防止、糖尿病の重症化予防を図るため、6か月間の保健指導を実施。	
【事業の実績】 保健指導プログラム参加人数 令和5年度 13人(内6か月終了 13人) 令和6年度 15人(内6か月終了 14人) 令和7年度 22人(内6か月終了 22人)(見込み)	

国010	項目名	医療費適正化強化推進事業費	新規事業
予算書項目	医療費適正化強化推進事業費	ページ	367
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	保健事業費		
項	保健事業費		
目	保健衛生普及費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	15,551		
本年度要求額	13,486		
総務部長段階査定額	13,486		
市長段階査定額	13,486		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	13,486	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	0	使用料
	一般財源	0	手数料
	計	13,486	財産収入
			寄付金
			繰入金
			諸収入
			その他
備考欄			

事業の概要	
【問合せ先】医療費適正化推進室 0857-30-8227	
【12次総の施策体系】2201	
【事業の経過及び背景】 被保険者の高齢化や医療費の増加により国民健康保険財政の厳しさが続く中で、将来にわたって安定的な制度運営を堅持していくために、健康・医療のデータを活用してPDCAサイクルによる効果的かつ効率的な保健事業を実施し、医療費適正化に取り組むことが求められている。	
【事業の目的及び効果】 第3期データヘルス計画(令和6年度～令和11年度)に基づき、健康・医療データ分析による効果的な糖尿病やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)予防などの生活習慣病対策を実施し、被保険者の生涯にわたる健康づくりの推進、医療費の抑制等による国民健康保険財政等の安定化を図る。	
【事業の内容】 第3期データヘルス計画に定める生活習慣病重症化予防等に関する訪問指導業務及び予防啓発事業、医療費・健康状況分析、保健事業企画等。	
【事業の実績】 治療中断者訪問指導 令和5年度 面談・電話 94人(うち治療再開 37人) 令和6年度 面談・電話 153人、訪問不在後通知 36人(うち治療再開 108人) 令和7年度 面談・電話 110人、訪問不在後通知 54人(うち治療再開 78人)(見込み)	

国011	項目名	特定健康診査等事業費	新規事業																								
予算書項目	特定健康診査等事業費	ページ	367																								
年度	R8	所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課																								
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)																										
款	保健事業費																										
項	特定健康診査等事業費																										
目	特定健康診査等事業費																										
(単位:千円)																											
前年度当初予算額	79,419																										
本年度要求額	81,061																										
総務部長段階査定額	81,061																										
市長段階査定額	81,061																										
区分	本年度予算額																										
財源内訳	国・県支出金	69,372																									
	地方債	0																									
	その他	11,689																									
	一般財源	0																									
	計	81,061																									
備考欄																											
事業の概要 【問合せ先】健診推進室 0857-20-0320 【12次総の施策体系】2201 【事業の経過及び背景】 医療制度改革に伴い、平成20年4月から40歳以上の被保険者に対し、生活習慣病に着目した特定健診・特定保健指導の実施が保険者に義務付けられた。 【事業の目的及び効果】 本市の国民健康保険被保険者を対象に特定健診・特定保健指導を実施することで、生活習慣病の発症や重症化を防止、市民の健康増進を図るとともに、中長期的な医療費の適正化につなげる。 【事業の内容】 各健診機関への委託による連携体制のもと事業に取り組むほか、受診率向上のため、特定健診の未受診者に対し通知や訪問等により受診勧奨を行っている。 ・特定健診の実施(期間:令和8年6月から令和9年2月末まで) ・健診結果に基づく特定保健指導の実施 ・年間を通じ未受診者勧奨(通知、訪問等)を実施 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td>受診者数等</td> <td>[特定健診(受診率)]</td> <td>[特定保健指導(実施率)]</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>8,632人(35.7%)</td> <td>270人(30.0%)</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>8,543人(37.1%)</td> <td>228人(25.2%)</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>8,600人(37.5%)</td> <td>270人(30.0%) (見込み)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>特定健診未受診者勧奨</td> <td>[勧奨通知]</td> <td>[勧奨訪問]</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>10,000人</td> <td>208人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>18,623人</td> <td>466人</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>18,200人</td> <td>700人 (見込み)</td> </tr> </table> ※その他財源のその他は、国民健康保険料				受診者数等	[特定健診(受診率)]	[特定保健指導(実施率)]	令和5年度	8,632人(35.7%)	270人(30.0%)	令和6年度	8,543人(37.1%)	228人(25.2%)	令和7年度	8,600人(37.5%)	270人(30.0%) (見込み)	特定健診未受診者勧奨	[勧奨通知]	[勧奨訪問]	令和5年度	10,000人	208人	令和6年度	18,623人	466人	令和7年度	18,200人	700人 (見込み)
受診者数等	[特定健診(受診率)]	[特定保健指導(実施率)]																									
令和5年度	8,632人(35.7%)	270人(30.0%)																									
令和6年度	8,543人(37.1%)	228人(25.2%)																									
令和7年度	8,600人(37.5%)	270人(30.0%) (見込み)																									
特定健診未受診者勧奨	[勧奨通知]	[勧奨訪問]																									
令和5年度	10,000人	208人																									
令和6年度	18,623人	466人																									
令和7年度	18,200人	700人 (見込み)																									

国012	項目名	医科運営費	新規事業																								
予算書項目	運営費	ページ	383																								
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課																								
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)																										
款	総務費																										
項	医科施設管理費																										
目	一般管理費																										
(単位:千円)																											
前年度当初予算額	45,276																										
本年度要求額	42,573																										
総務部長段階査定額	42,573																										
市長段階査定額	42,573																										
区分	本年度予算額																										
財源内訳	国・県支出金	0																									
	地方債	0																									
	その他	37,595																									
	一般財源	4,978																									
	計	42,573																									
備考欄																											
事業の概要 【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-71-1914 【12次総の施策体系】2202 【事業の経過及び背景】 平成元年当時の旧佐治村は、村営の歯科診療所のほか、隣町・用瀬町の医院による3つの出張診療所があったものの、十分な医療設備もなく、医師の診療時間は短時間なうえ、夜間になれば全く無医村状態にあった。その中、地域住民の健康・福祉の維持増進を図るため、平成2年4月、国庫補助金と調整交付金を受けて、医科診療所を開設した。 診療 内科、小児科 職員 医師1名、看護師2名、事務1名 【事業の目的及び効果】 地域医療の確保・充実を目指して医療・保健・福祉の連携が取れた保健医療体制の確立に重点をおきながら、予防対策を積極的に推進し住民の健康づくりに努める。 【事業の内容】 佐治診療所(医科)の運営 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>[令和5年度]</td> <td>[令和6年度]</td> <td>[令和7年度(見込み)]</td> </tr> <tr> <td>年間診療日数</td> <td>203日</td> <td>201日</td> <td>203日</td> </tr> <tr> <td>年間件数</td> <td>6,048件</td> <td>5,262件</td> <td>5,140件</td> </tr> <tr> <td>1日平均</td> <td>29.8件</td> <td>26.2件</td> <td>25.3件</td> </tr> <tr> <td>診療報酬収入</td> <td>58,127千円</td> <td>52,856千円</td> <td>50,287千円</td> </tr> <tr> <td>その他雑入</td> <td>11,672千円</td> <td>12,166千円</td> <td>13,132千円</td> </tr> </table> ※その他財源の使用料は、庁舎使用料 ※その他財源の繰入金は、国保事業勘定繰入金 ※その他財源の諸収入は、健診委託料等 ※その他財源のその他は、診療報酬等					[令和5年度]	[令和6年度]	[令和7年度(見込み)]	年間診療日数	203日	201日	203日	年間件数	6,048件	5,262件	5,140件	1日平均	29.8件	26.2件	25.3件	診療報酬収入	58,127千円	52,856千円	50,287千円	その他雑入	11,672千円	12,166千円	13,132千円
	[令和5年度]	[令和6年度]	[令和7年度(見込み)]																								
年間診療日数	203日	201日	203日																								
年間件数	6,048件	5,262件	5,140件																								
1日平均	29.8件	26.2件	25.3件																								
診療報酬収入	58,127千円	52,856千円	50,287千円																								
その他雑入	11,672千円	12,166千円	13,132千円																								

国O13	項目名	医科保健事業費	新規事業
予算書項目	保健事業費	ページ	383
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)		
款	総務費		
項	医科施設管理費		
目	一般管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	5,612		
本年度要求額	5,055		
総務部長段階査定額	5,055		
市長段階査定額	5,055		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	分担金	0
	地方債	負担金	0
	その他	使用料	0
	一般財源	手数料	0
	計	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	3,033
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要			
【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-71-1914			
【12次総の施策体系】2201			
【事業の経過及び背景】 直営診療施設は、医療の確保を図ることのほか、国保の保健事業の中核として、医療と疾病予防の一体的運営に資すること、また、国保の被保険者の健康保持増進に寄与するという役割を担っている。			
【事業の目的及び効果】 保健・医療福祉の連携を深めながら、健康づくりから疾病の予防、早期発見、治療、リハビリテーションに至る健康事業を幅広く実施し、住民の健康づくりに努める。			
【事業の内容】 医科保健事業の実施。			
【事業の実績】			
健康相談	[令和5年度]	[令和6年度]	[令和7年度(見込み)]
総合相談窓口事業	22回 168人	22回 183人	22回 150人
地区健康相談	23回 563人	32回 667人	32回 500人
高齢者相談	17回 91人	12回 77人	32回 500人
健康教育			
糖尿病等健康教室	11回 113人	12回 168人	10回 54人
地区健康教室	15回 286人	24回 364人	12回 160人
高齢者健康教室	18回 96人	15回 98人	10回 50人
禁煙指導数	5人	5人	5人
訪問指導			
高血圧・健診フォロー等	27人	28人	25人
※その他財源の繰入金は、国保事業勘定繰入金			

国O14	項目名	歯科運営費	新規事業
予算書項目	運営費	ページ	383
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)		
款	総務費		
項	歯科施設管理費		
目	一般管理費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	13,644		
本年度要求額	11,159		
総務部長段階査定額	11,159		
市長段階査定額	11,159		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	分担金	0
	地方債	負担金	0
	その他	使用料	0
	一般財源	手数料	0
	計	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	928
		諸収入	682
		その他	9,549
備考欄			

事業の概要			
【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-71-1914			
【12次総の施策体系】2202			
【事業の経過及び背景】 昭和53年旧佐治村保健センターがオープンし、歯科診療所が開業した。平成元年4月、現在の場所に改築・移転した。高齢化率が高く東西に長い谷あいの地域で、公共交通機関も少なく、また独居・老人世帯が多い中、良好な歯科医療の確保と地域住民の健康管理に努めている。 職員 歯科医師1名、衛生士3名、技士1名			
【事業の目的及び効果】 佐治町内に歯科医院がないため、包括的地域医療体制の確立を図るとともに、口腔衛生の普及に努め、住民の健康づくりを指導する。			
【事業の内容】 佐治診療所(歯科)の運営。			
【事業の実績】			
	[令和5年度]	[令和6年度]	[令和7年度(見込み)]
年間診療日数	250日	248日	250日
年間件数	3,893件	4,095件	4,046件
1日平均	15.6件	16.5件	16.1件
診療報酬収入	29,328千円	31,082千円	32,214千円
その他雑入	1,710千円	1,791千円	1,753千円
※その他財源の繰入金は、国保事業勘定繰入金 ※その他財源の諸収入は、健診委託料等 ※その他財源のその他は、診療報酬等			

国015	項目名	歯科保健事業費	新規事業	
予算書項目	保健事業費	ページ	383	
年度	R8	所属名	福祉部 保険年金課	
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)			
款	総務費			
項	歯科施設管理費			
目	一般管理費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	6,125			
本年度要求額	6,394			
総務部長段階査定額	6,394			
市長段階査定額	6,394			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	1,918	使用料	0
	一般財源	4,476	手数料	0
	計	6,394	財産収入	0
		寄付金	0	
		繰入金	1,918	
		諸収入	0	
		その他	0	
備考欄				

事業の概要			
【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-71-1914			
【12次総の施策体系】2201			
【事業の経過及び背景】 直営診療施設は、医療の確保を図ることのほか、国保の保健事業の中核として、医療と疾病予防の一体的運営に資すること、また、国保の被保険者の健康保持増進に寄与するという役割を担っている。			
【事業の目的及び効果】 口腔衛生管理に努め、住民の健康維持を図る。			
【事業の内容】 歯科保健事業の実施			
【事業の実績】			
	[令和5年度]	[令和6年度]	[令和7年度(見込み)]
総合相談窓口事業	22回 54人	22回 62人	22回 50人
介護予防歯科教室	7回 46人	7回 55人	8回 40人
成人歯科教室	5回 34人	6回 51人	8回 45人
歯科教室	3回 25人	4回 46人	10回 35人
園児・児童・生徒への教室	4回 136人	5回 59人	5回 120人
乳幼児歯科相談	6回 49人	9回 74人	10回 50人
成人歯科相談	161人	130人	100人
高齢者歯科相談	50人	61人	60人
※その他財源の繰入金は、国保事業勘定繰入金			

土001	項目名	土地取得費事務費	新規事業	
予算書項目	事務費	ページ	405	
年度	R8	所属名	総務部 資産活用推進課	
会計名	土地取得費特別会計			
款	土地取得事業費			
項	土地取得事業費			
目	事務費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	2,455			
本年度要求額	298,758			
総務部長段階査定額	298,758			
市長段階査定額	298,758			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	298,758	使用料	0
	一般財源	0	手数料	0
	計	298,758	財産収入	4,427
		寄付金	0	
		繰入金	294,331	
		諸収入	0	
		その他	0	
備考欄				

事業の概要			
【問合せ先】資産活用係 0857-30-8135			
【12次総の施策体系】0103			
【事業の経過及び背景】 公用または公共用に供する土地、公共の利益のために取得する必要のある土地等をあらかじめ取得することにより事業の円滑な執行を図るため、土地開発基金を設置し、その運用基金の管理を行う。			
【事業の目的及び効果】 土地開発基金を、確実かつ効率的な運用に努めるため繰替運用を行い、また、取崩しを行うことにより、基金の有効活用を図る。			
	・土地開発基金残高	2,239,122千円(令和7年度末見込)	
	(内訳)基金額(現金)	961,581千円	
	土地開発公社貸付金額	1,277,541千円	
【事業の内容】 土地開発基金を繰替運用等により運用を行う。また、生活環境課が鳥取市土地開発公社と締結している第二いなば墓苑に係る金銭給付契約の未償還金について、土地開発基金を活用して一括償還する。			
【事業の実績】			
		うち運用利子	基金総額
令和5年度	67千円	67千円	2,233,652千円
令和6年度	558千円	558千円	2,234,210千円
令和7年度	4,912千円	4,912千円	2,239,122千円(見込み)
※その他財源の財産収入は、土地開発基金運用収入 ※その他財源の繰入金は、土地開発基金繰入金			

墓001	項目名	第二いなば墓苑用地取得費		新規事業
予算書項目	第二いなば墓苑用地取得費		ページ	413
年度	R8		所属名	
			市民生活部環境局 生活環境課	
会計名			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 事業の概要 【問合せ先】生活衛生係 0857-30-8083 【12次総の施策体系】4201 【事業の経過及び背景】 市民の恒久的な墓地需要に対応するため、第二いなば墓苑第三期区画を造成し平成29年度に供用開始した。用地取得等を行った鳥取市土地開発公社との金銭給付契約（平成29年度～令和13年度）に基づき、その費用償還を行っている。 【事業の目的及び効果】 第二いなば墓苑に係る金銭給付契約の償還金について、鳥取市土地開発公社に一括償還し長期債務を解消する。 【事業の内容】 第二いなば墓苑に係る金銭給付契約の償還金について、鳥取市土地開発基金を活用して鳥取市土地開発公社へ一括償還する。 【事業の実績】 (償還額) 令和5年度 10,470千円 令和6年度 17,511千円 令和7年度 7,042千円（見込み） ※その他財源の繰入金は、他会計繰入金（土地取得費特別会計） </div>	
墓苑事業費特別会計				
款	墓苑費			
項	墓苑費			
目	墓苑費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	19,828			
本年度要求額	294,331			
総務部長段階査定額	294,331			
市長段階査定額	294,331			
区分			その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	294,331	使用料	0
	一般財源	0	手数料	0
	計	294,331	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	294,331
			諸収入	0
			その他	0
備考欄				

墓002	項目名	墓地管理費		新規事業
予算書項目	墓地管理費		ページ	413
年度	R8		所属名	
			市民生活部環境局 生活環境課	
会計名			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 事業の概要 【問合せ先】生活衛生係 0857-30-8083 【12次総の施策体系】4201 【事業の経過及び背景】 市内10か所に設置している市営墓地（※）の適正な維持管理を行う。 ※円護寺墓地、いなば墓苑、未恒墓苑、第二いなば墓苑、丸山墓地、寺住霊園(河原)、福部墓苑、下坂本墓地（気高）、姉泊墓地（気高）、出合墓地（青谷） 【事業の目的及び効果】 市営墓地の適正な維持管理を行うことで、墓石等の保護及び参拝者の安全を確保する。 【事業の内容】 参拝者の安全確保のため、維持管理や計画的な修繕を行う。 【事業の実績】 参拝者の安全、墓石等の財産の保全を行うため、参道及び墓地周辺の環境整備を行っている。 令和5年度 7,437千円 令和6年度 9,559千円 令和7年度 10,394千円（見込み） ※その他財源の使用料は、第二いなば墓苑第三期使用料、その他墓地等使用料、電柱等使用料 ※その他財源の財産収入は、墓苑事業基金積立金利子 </div>	
墓苑事業費特別会計				
款	墓苑費			
項	墓苑費			
目	墓苑費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	10,374			
本年度要求額	9,483			
総務部長段階査定額	9,483			
市長段階査定額	9,483			
区分			その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	9,483	使用料	9,477
	一般財源	0	手数料	0
	計	9,483	財産収入	6
			寄付金	0
			繰入金	0
			諸収入	0
			その他	0
備考欄				

介001	項目名	介護サービス等諸費	新規事業
予算書項目	介護サービス等諸費	ページ	431
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
介護保険費特別会計	【問合せ先】介護保険係 0857-30-8212		
款 保険給付費	【1 2次総の施策体系】2101		
項 介護サービス等諸費	【事業の経過及び背景】 平成12年4月に創設された介護保険制度は、市町村等が保険者として円滑に運用している。		
目 介護サービス等諸費	【事業の目的及び効果】 被保険者の要介護状態に応じて必要な保険給付を行うことで、介護を必要とする被保険者が、できる限り自立した日常生活を営めるよう支援を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】 要介護度1～5の被保険者が利用した介護保険サービスに対し、9割(一定以上所得者には8割または7割)を保険給付として支給する。		
前年度当初予算額	17,738,363	【事業の実績】 令和5年度 17,202,191千円 令和6年度 17,581,807千円 令和7年度 18,377,807千円(見込み)	
本年度要求額	18,133,596	※その他財源の繰入金は、介護給付費等準備基金繰入金 ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金	
総務部長段階査定額	18,133,596	【事業の実績】	
市長段階査定額	18,133,596	令和5年度 17,202,191千円 令和6年度 17,581,807千円 令和7年度 18,377,807千円(見込み)	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、介護給付費等準備基金繰入金 ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金	
財源内訳	国・県支出金 6,927,033	【事業の実績】	
	地方債 0	令和5年度 17,202,191千円 令和6年度 17,581,807千円 令和7年度 18,377,807千円(見込み)	
	その他 8,763,142	※その他財源の繰入金は、介護給付費等準備基金繰入金 ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金	
	一般財源 2,443,421	【事業の実績】	
計	18,133,596	令和5年度 17,202,191千円 令和6年度 17,581,807千円 令和7年度 18,377,807千円(見込み)	
備考欄			

介002	項目名	介護予防サービス等諸費	新規事業
予算書項目	介護予防サービス等諸費	ページ	433
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
介護保険費特別会計	【問合せ先】介護保険係 0857-30-8212		
款 保険給付費	【1 2次総の施策体系】2101		
項 介護予防サービス等諸費	【事業の経過及び背景】 平成12年4月に創設された介護保険制度は市町村等が保険者として円滑に運用している。		
目 介護予防サービス等諸費	【事業の目的及び効果】 被保険者の要介護状態に応じて必要な保険給付を行うことで、介護を必要とする被保険者が、できる限り自立した日常生活を営めるよう支援を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】 要支援1～2の被保険者が利用した介護保険サービスに対し、9割(一定以上所得者には8割または7割)を保険給付として支給する。		
前年度当初予算額	451,806	【事業の実績】 令和5年度 443,438千円 令和6年度 472,842千円 令和7年度 507,601千円(見込み)	
本年度要求額	466,762	※その他財源の繰入金は、介護給付費等準備基金繰入金 ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金	
総務部長段階査定額	466,762	【事業の実績】	
市長段階査定額	466,762	令和5年度 443,438千円 令和6年度 472,842千円 令和7年度 507,601千円(見込み)	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、介護給付費等準備基金繰入金 ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金	
財源内訳	国・県支出金 178,302	【事業の実績】	
	地方債 0	令和5年度 443,438千円 令和6年度 472,842千円 令和7年度 507,601千円(見込み)	
	その他 225,567	※その他財源の繰入金は、介護給付費等準備基金繰入金 ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金	
	一般財源 62,893	【事業の実績】	
計	466,762	令和5年度 443,438千円 令和6年度 472,842千円 令和7年度 507,601千円(見込み)	
備考欄			

介003	項目名	訪問型・通所型サービス事業費	新規事業
予算書項目	訪問型・通所型サービス事業費	ページ	435
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
介護保険費特別会計	【問合せ先】介護保険係 0857-30-8212、鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457		
款	地域支援事業費	【12次総の施策体系】2201	
項	介護予防・日常生活支援総合事業費	【事業の経過及び背景】 平成27年度より新たに介護予防・日常生活支援総合事業(以下「総合事業」という。)が創設され、本市では平成29年度より実施している。	
目	介護予防・生活支援サービス事業費	【事業の目的及び効果】 要支援認定者及び基本チェックリストで総合事業の対象者となる基準に該当した人(以下「要支援者等」という。)に対して、要介護状態等となることの予防または要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活を支援する。	
(単位:千円)	【事業の内容】 要支援者等が利用した訪問型サービス(ホームヘルプサービス)及び通所型サービス(デイサービス)のサービス費用に対し、9割(一定以上所得者には8割または7割)を第1号事業支給費として支給する。リハビリテーション専門職による短期集中予防サービスについては、介護事業者に委託し実施する。		
前年度当初予算額	403,440	【事業の実績】 令和5年度 377,024千円 令和6年度 394,484千円 令和7年度 403,440千円(見込み)	
本年度要求額	404,574	※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金	
総務部長段階査定額	401,961	【事業の概要】	
市長段階査定額	401,961	【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457	
区分	本年度予算額	【12次総の施策体系】2201	
財源内訳	国・県支出金 150,735	【事業の経過及び背景】 平成27年度の介護保険制度改正により、要支援・要介護認定に関わらず全ての高齢者を対象にして、自発的・継続的な介護予防の取組を促進するため、介護予防に関する知識の普及啓発を推進している。	
	地方債 0	【事業の目的及び効果】 医療・介護の専門職による地区公民館等での出前講座の開催等を通じて、高齢者に介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を図り、地域における高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組を促進する。	
	その他 200,980	【事業の目的及び効果】 保健師が主催し医療・介護の専門職を招いて実施している直営型講座に加え、医療や介護の事業者や専門職個人に委託する委託型講座も実施し、普及啓発活動をさらに広く展開することで、介護予防の取組の充実を図る。	
	一般財源 50,246	【事業の内容】 ・地域の高齢者団体等を対象に地区公民館等で介護予防出前講座を開催(運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上、閉じこもり予防、認知機能低下予防、うつ予防、ADL・IADLの改善、服薬管理向上、免許返納など) ・ふれあいデイサービス事業(佐治・鹿野)	
	計 401,961	【事業の実績】 [啓発回数(延べ人数)] 令和5年度 180回(2,799人) 令和6年度 250回(4,426人) 令和7年度 320回(4,800人)(見込み)	
備考欄	※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金		

介004	項目名	介護予防普及啓発事業費	新規事業
予算書項目	介護予防普及啓発事業費	ページ	437
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
介護保険費特別会計	【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457		
款	地域支援事業費	【12次総の施策体系】2201	
項	介護予防・日常生活支援総合事業費	【事業の経過及び背景】 平成27年度の介護保険制度改正により、要支援・要介護認定に関わらず全ての高齢者を対象にして、自発的・継続的な介護予防の取組を促進するため、介護予防に関する知識の普及啓発を推進している。	
目	一般介護予防事業費	【事業の目的及び効果】 医療・介護の専門職による地区公民館等での出前講座の開催等を通じて、高齢者に介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を図り、地域における高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組を促進する。	
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】 保健師が主催し医療・介護の専門職を招いて実施している直営型講座に加え、医療や介護の事業者や専門職個人に委託する委託型講座も実施し、普及啓発活動をさらに広く展開することで、介護予防の取組の充実を図る。		
前年度当初予算額	4,761	【事業の内容】 ・地域の高齢者団体等を対象に地区公民館等で介護予防出前講座を開催(運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上、閉じこもり予防、認知機能低下予防、うつ予防、ADL・IADLの改善、服薬管理向上、免許返納など) ・ふれあいデイサービス事業(佐治・鹿野)	
本年度要求額	4,557	【事業の実績】 [啓発回数(延べ人数)] 令和5年度 180回(2,799人) 令和6年度 250回(4,426人) 令和7年度 320回(4,800人)(見込み)	
総務部長段階査定額	4,503	※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金	
市長段階査定額	4,503	【事業の概要】	
区分	本年度予算額	【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457	
財源内訳	国・県支出金 1,687	【12次総の施策体系】2201	
	地方債 0	【事業の経過及び背景】 平成27年度の介護保険制度改正により、要支援・要介護認定に関わらず全ての高齢者を対象にして、自発的・継続的な介護予防の取組を促進するため、介護予防に関する知識の普及啓発を推進している。	
	その他 2,250	【事業の目的及び効果】 医療・介護の専門職による地区公民館等での出前講座の開催等を通じて、高齢者に介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を図り、地域における高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組を促進する。	
	一般財源 566	【事業の目的及び効果】 保健師が主催し医療・介護の専門職を招いて実施している直営型講座に加え、医療や介護の事業者や専門職個人に委託する委託型講座も実施し、普及啓発活動をさらに広く展開することで、介護予防の取組の充実を図る。	
	計 4,503	【事業の内容】 ・地域の高齢者団体等を対象に地区公民館等で介護予防出前講座を開催(運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上、閉じこもり予防、認知機能低下予防、うつ予防、ADL・IADLの改善、服薬管理向上、免許返納など) ・ふれあいデイサービス事業(佐治・鹿野)	
備考欄	【事業の実績】 [啓発回数(延べ人数)] 令和5年度 180回(2,799人) 令和6年度 250回(4,426人) 令和7年度 320回(4,800人)(見込み)		

介005	項目名	地域リハビリテーション活動支援事業費	新規事業																												
予算書項目	地域リハビリテーション活動支援事業費	ページ	437																												
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課																												
会計名	事業の概要																														
介護保険費特別会計	【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457																														
款	地域支援事業費	【12次総の施策体系】2201																													
項	介護予防・日常生活支援総合事業費	【事業の経過及び背景】 リハビリテーション専門職等（以下「リハ職等」という。）を生かした介護予防・重度化防止に資する取組は、介護予防・日常生活支援総合事業に位置付けられ、介護予防の強化が求められている。																													
目	一般介護予防事業費	【事業の目的及び効果】 サービス提供事業所や地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハ職の関与の機会を設け、地域における介護予防の取組を推進する。																													
(単位:千円)																															
前年度当初予算額	9,677	【事業の内容】 市、医療機関、介護施設等のリハ職が、介護支援専門員のアセスメントやモニタリングをはじめ、地域ケア会議、サービス担当者会議、地域住民の通いの場、サービス提供事業所等で、専門的な知見に基づく技術的な助言を行うことで、要支援者等の生活の質の向上、地域の介護予防力の強化を図る。																													
本年度要求額	10,271	【事業の実績】																													
総務部長段階査定額	10,271	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[決算額]</td> <td>[実施件数]</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>9,011千円</td> <td>223件</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>8,838千円</td> <td>240件</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>9,813千円</td> <td>257件(見込み)</td> </tr> </table>			[決算額]	[実施件数]	令和5年度	9,011千円	223件	令和6年度	8,838千円	240件	令和7年度	9,813千円	257件(見込み)																
	[決算額]	[実施件数]																													
令和5年度	9,011千円	223件																													
令和6年度	8,838千円	240件																													
令和7年度	9,813千円	257件(見込み)																													
市長段階査定額	10,271	※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金																													
区分	本年度予算額	【事業の実績】																													
財源内訳	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>3,850</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,135</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,286</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,271</td> </tr> </table>	国・県支出金	3,850	地方債	0	その他	5,135	一般財源	1,286	計	10,271	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,135</td> </tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	5,135
国・県支出金	3,850																														
地方債	0																														
その他	5,135																														
一般財源	1,286																														
計	10,271																														
分担金	0																														
負担金	0																														
使用料	0																														
手数料	0																														
財産収入	0																														
寄付金	0																														
繰入金	0																														
諸収入	0																														
その他	5,135																														
備考欄																															

介006	項目名	在宅医療・介護連携推進事業費(事業運営費)	新規事業																												
予算書項目	在宅医療・介護連携推進事業費	ページ	437																												
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課																												
会計名	事業の概要																														
介護保険費特別会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8211																														
款	地域支援事業費	【12次総の施策体系】2102																													
項	包括的支援事業費	【事業の経過及び背景】 高齢者は、医療と介護の両方を必要とすることが多い状況にあり、高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の医療・介護の関係団体が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援体制の構築が求められている。																													
目	包括的支援事業費	【事業の目的及び効果】 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供できるよう医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進する。																													
(単位:千円)																															
前年度当初予算額	26,551	【事業の内容】 県東部圏域の1市4町と鳥取県東部医師会が連携し、次の事業を実施する。 ・医療・介護の専門職の協議や情報共有の場の提供 ・医療・介護資源マップの作成・更新 ・関係機関のネットワーク構築 ・相談窓口での相談対応 ・多職種研修の企画・開催、住民啓発等の推進																													
本年度要求額	24,122	【事業の実績】																													
総務部長段階査定額	24,122	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>8,597千円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>15,066千円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>20,218千円(見込み)</td> </tr> </table>		令和5年度	8,597千円	令和6年度	15,066千円	令和7年度	20,218千円(見込み)																						
令和5年度	8,597千円																														
令和6年度	15,066千円																														
令和7年度	20,218千円(見込み)																														
市長段階査定額	24,122	※その他財源の諸収入は、東部4町負担金 ※その他財源のその他は、介護保険料																													
区分	本年度予算額	【事業の実績】																													
財源内訳	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>11,110</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9,307</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,705</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24,122</td> </tr> </table>	国・県支出金	11,110	地方債	0	その他	9,307	一般財源	3,705	計	24,122	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>4,882</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4,425</td> </tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	4,882	その他	4,425
国・県支出金	11,110																														
地方債	0																														
その他	9,307																														
一般財源	3,705																														
計	24,122																														
分担金	0																														
負担金	0																														
使用料	0																														
手数料	0																														
財産収入	0																														
寄付金	0																														
繰入金	0																														
諸収入	4,882																														
その他	4,425																														
備考欄																															

介007	項目名	認知症地域支援・ケア向上事業費	新規事業
予算書項目	認知症総合支援事業費	ページ	437
年度	R8	所 属 名	福祉部 長寿社会課
会計名	介護保険費特別会計		
款	地域支援事業費		
項	包括的支援事業費		
目	包括的支援事業費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	44,917		
本年度要求額	44,742		
総務部長段階査定額	44,706	その他財源の内訳	
市長段階査定額	44,706	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	10,282
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	25,816	
	地方債	0	
	その他	10,282	
	一般財源	8,608	
	計	44,706	
備考欄			

事業の概要			
【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457			
【12次総の施策体系】2102			
【事業の経過及び背景】 本市では共生社会の実現を推進するための認知症基本法及び鳥取市認知症施策推進計画(令和7年3月策定)に沿って認知症施策を重点的に推進しており、認知症地域支援推進員の配置や認知症カフェ運営事業費補助金制度の創設等に取り組んでいる。			
【事業の目的及び効果】 認知症地域支援推進員を中心に、認知症の人の状態に応じた必要な医療・介護等のサービスが効果的に行われるようにするための支援体制を構築するとともに、「新しい認知症観」に立ち地域の認知症ケアの向上を図るための取組を推進する。			
【事業の内容】 市内10か所の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、地域に密着した認知症施策の取組を推進する。 ① 認知症地域支援推進員の配置 ② 認知症本人ミーティング、おれんじドアとっりの開催 ③ 認知症カフェへの運営助成・運営支援 ④ 認知症ケアパスの作成・普及 ⑤ 認知症フォーラム、認知症出前講座の開催 ⑥ 「新しい認知症観」の実感的理解のための普及啓発 ⑦ 鳥取市認知症施策推進計画の推進			
【事業の実績】			
	[決算額]	[認知症地域支援推進員]	[カフェ助成]
令和5年度	37,021千円	11人	4件
令和6年度	35,078千円	11人	4件
令和7年度	45,405千円	11人	2件 (見込み)
※その他財源のその他は、介護保険料			

介008	項目名	認知症初期集中支援推進事業費	新規事業
予算書項目	認知症総合支援事業費	ページ	437
年度	R8	所 属 名	福祉部 長寿社会課
会計名	介護保険費特別会計		
款	地域支援事業費		
項	包括的支援事業費		
目	包括的支援事業費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	31,502		
本年度要求額	30,504		
総務部長段階査定額	30,376	その他財源の内訳	
市長段階査定額	30,376	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	6,986
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	17,541	
	地方債	0	
	その他	6,986	
	一般財源	5,849	
	計	30,376	
備考欄			

事業の概要			
【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457			
【12次総の施策体系】2102			
【事業の経過及び背景】 高齢化の進展に伴い、今後も認知症の高齢者は増加が見込まれ、2040年には高齢者の4人に1人が認知症を発症すると推計されており、早期に認知症の鑑別診断が行われ、速やかに適切な医療・介護等が受けられる体制構築が重要となっている。			
【事業の目的及び効果】 認知症が疑われる人や認知症の人の早期診断・早期対応に向けた支援を実施することで自立生活のサポートをする。			
【事業の内容】 認知症初期集中支援チームを設置し、医師の指導の下、複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問、観察、評価、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行う。			
【事業の実績】 認知症初期集中支援推進事業により、受診やインフォーマルなサービスを含むサービスにつながるケースもあった。			
	[決算額]	[チーム員会議数]	[支援ケース数]
令和5年度	20,277千円	26回	19人
令和6年度	22,808千円	44回	25人
令和7年度	31,502千円	50回	28人 (見込み)
※その他財源のその他は、介護保険料			

介009	項目名	地域ケア会議推進事業費	新規事業
予算書項目	地域ケア会議推進事業費	ページ	437
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
介護保険費特別会計	【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457		
款	地域支援事業費	【12次総の施策体系】2102	
項	包括的支援事業費	【事業の経過及び背景】 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、高齢者個人に対する支援の充実と在宅生活を支える地域づくりを同時に図っていく必要がある。	
目	包括的支援事業費	【事業の目的及び効果】 地域の支援者を含めた多職種によって、困難事例における支援方法の検討や介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントを支援するとともに、個別ケースの課題分析等を通じて地域課題を発見し、地域に必要な資源開発や地域づくり、さらには介護保険事業計画等への反映などの政策形成につなげることを目指す。	
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	2,725	(1) 地域ケア個別会議 (地域包括支援センター単位で開催)	
本年度要求額	2,087	① 虐待事例を除く支援困難事例の検討 (随時)	
総務部長段階査定額	2,087	② 介護支援専門員の支援及び資質向上のためのケアプラン検討	
市長段階査定額	2,087	(2) 地域ケア推進会議 (各地域包括支援センター単位及び全市単位) 地域課題の共有、地域資源の開発や地域づくり、政策形成に結び付けるための検討	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		[決算額]	[地域ケア個別会議]
国・県支出金	1,204	令和5年度	2,206千円 49回
地方債	0	令和6年度	2,224千円 58回
その他	480	令和7年度	2,725千円 65回 (見込み)
一般財源	403	※その他財源のその他は、介護保険料	
計	2,087		
備考欄			

介010	項目名	認知症サポーター等養成事業費	新規事業
予算書項目	認知症サポーター等養成事業費	ページ	439
年度	R8	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
介護保険費特別会計	【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457		
款	地域支援事業費	【12次総の施策体系】2102	
項	任意事業費	【事業の経過及び背景】 超高齢社会に向け、認知症になってからも安心して暮らせるまちづくりを進めるため地域住民の支援体制を確立していくことが求められている。	
目	その他事業費	【事業の目的及び効果】 地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進する。	
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	283	地域や職場、学校等に向いて行う「出前型養成講座」と、広く市民を対象とした「公開型養成講座」を開催する。また、キャラバン・メイト連絡協議会を開催し、認知症キャラバン・メイトの活動を支援する。	
本年度要求額	278	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	266	令和7年度は様々な人とともに認知症の本人の声を起点に地域の中でのつながりを活かした活動がひろがるように認知症カフェ、認知症キャラバン・メイト合同連絡会・研修会を開催した。	
市長段階査定額	266	[決算額]	[講座回数]
区分	本年度予算額	[養成者数]	
財源内訳		令和5年度	188千円 22回 471名
国・県支出金	153	令和6年度	162千円 20回 470名
地方債	0	令和7年度	283千円 30回 700名 (見込み)
その他	61	※その他財源のその他は、介護保険料	
一般財源	52		
計	266		
備考欄			

財001	項目名	一般管理事務費(国府)	新規事業
予算書項目	一般管理事務費	ページ	457
年度	R8	所属名	総務部 財産経営課
会計名	事業の概要		
財産区管理事業費特別会計	【問合せ先】 財産政策第二係 0857-30-8132		
款 総務費	【1 2次総の施策体系】 2403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 国府地域では、宇倍野財産区が所有している日ノ丸自動車株券(185,000株)の運用益を活用し、地域内の小・中・高校生の通学定期券購入費及び修学旅行・校外教育活動費を助成している。		
目 一般管理費	【事業の目的及び効果】 遠距離通学の定期券購入費及び修学旅行・校外教育活動費の一部を助成することにより、国府地域の保護者負担の軽減と福祉の増進に寄与することを目的としている。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) バス定期券購入助成事業 ① 小・中学生 保護者負担の30% ② 高校生 定期券額の20% (2) 校外活動費助成事業 修学旅行及び校外教育活動の交通費(バス等の借上げ代)を一部助成 1校あたり全児童生徒数に500円を乗じた額		
前年度当初予算額	643	【事業の実績】 令和5年度 317千円 定期券実績75件 令和6年度 576千円 定期券実績52件 校外活動費実績3校 令和7年度 330千円 定期券実績48件(見込み)	
本年度要求額	783	※その他財源の繰入金は、宇倍野財産区基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、大株主割引料	
総務部長段階査定額	783	【事業の内容】 (1) バス定期券購入助成事業 ① 小・中学生 保護者負担の30% ② 高校生 定期券額の20% (2) 校外活動費助成事業 修学旅行及び校外教育活動の交通費(バス等の借上げ代)を一部助成 1校あたり全児童生徒数に500円を乗じた額	
市長段階査定額	783	【事業の実績】 令和5年度 317千円 定期券実績75件 令和6年度 576千円 定期券実績52件 校外活動費実績3校 令和7年度 330千円 定期券実績48件(見込み)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 (1) バス定期券購入助成事業 ① 小・中学生 保護者負担の30% ② 高校生 定期券額の20% (2) 校外活動費助成事業 修学旅行及び校外教育活動の交通費(バス等の借上げ代)を一部助成 1校あたり全児童生徒数に500円を乗じた額	
財源内訳		【事業の実績】 令和5年度 317千円 定期券実績75件 令和6年度 576千円 定期券実績52件 校外活動費実績3校 令和7年度 330千円 定期券実績48件(見込み)	
国・県支出金	0	※その他財源の繰入金は、宇倍野財産区基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、大株主割引料	
地方債	0	【事業の内容】 (1) バス定期券購入助成事業 ① 小・中学生 保護者負担の30% ② 高校生 定期券額の20% (2) 校外活動費助成事業 修学旅行及び校外教育活動の交通費(バス等の借上げ代)を一部助成 1校あたり全児童生徒数に500円を乗じた額	
その他	783	【事業の実績】 令和5年度 317千円 定期券実績75件 令和6年度 576千円 定期券実績52件 校外活動費実績3校 令和7年度 330千円 定期券実績48件(見込み)	
一般財源	0	【事業の内容】 (1) バス定期券購入助成事業 ① 小・中学生 保護者負担の30% ② 高校生 定期券額の20% (2) 校外活動費助成事業 修学旅行及び校外教育活動の交通費(バス等の借上げ代)を一部助成 1校あたり全児童生徒数に500円を乗じた額	
計	783	【事業の実績】 令和5年度 317千円 定期券実績75件 令和6年度 576千円 定期券実績52件 校外活動費実績3校 令和7年度 330千円 定期券実績48件(見込み)	
備考欄			

温001	項目名	維持管理費	新規事業
予算書項目	維持管理費	ページ	465
年度	R8	所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	事業の概要		
温泉事業費特別会計	【問合せ先】 観光政策係 0857-30-8291		
款 温泉事業費	【1 2次総の施策体系】 3202		
項 温泉事業費	【事業の経過及び背景】 温泉事業は、浜村温泉及び鹿野温泉の配湯区域内において配湯契約した利用者からの温泉使用料等の収入により運営している。施設の適正な維持管理や、改修のための基金積立を行いながら、温泉事業会計の安定的な運営を図る。		
目 温泉管理費	【事業の目的及び効果】 配湯施設等の維持管理を適正に行うことにより、安定的な温泉供給を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・温泉施設設備の点検、修繕等の維持管理 ・温泉施設設備に係る光熱水費等の支払い ・温泉使用料賦課に係る事務費など		
前年度当初予算額	32,608	【事業の実績】 令和5年度 27,769千円 令和6年度 44,408千円 令和7年度 33,944千円(見込み)	
本年度要求額	41,388	※その他財源の使用料は、温泉使用料	
総務部長段階査定額	41,388	【事業の内容】 ・温泉施設設備の点検、修繕等の維持管理 ・温泉施設設備に係る光熱水費等の支払い ・温泉使用料賦課に係る事務費など	
市長段階査定額	41,388	【事業の実績】 令和5年度 27,769千円 令和6年度 44,408千円 令和7年度 33,944千円(見込み)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ・温泉施設設備の点検、修繕等の維持管理 ・温泉施設設備に係る光熱水費等の支払い ・温泉使用料賦課に係る事務費など	
財源内訳		【事業の実績】 令和5年度 27,769千円 令和6年度 44,408千円 令和7年度 33,944千円(見込み)	
国・県支出金	0	※その他財源の使用料は、温泉使用料	
地方債	0	【事業の内容】 ・温泉施設設備の点検、修繕等の維持管理 ・温泉施設設備に係る光熱水費等の支払い ・温泉使用料賦課に係る事務費など	
その他	41,388	【事業の実績】 令和5年度 27,769千円 令和6年度 44,408千円 令和7年度 33,944千円(見込み)	
一般財源	0	【事業の内容】 ・温泉施設設備の点検、修繕等の維持管理 ・温泉施設設備に係る光熱水費等の支払い ・温泉使用料賦課に係る事務費など	
計	41,388	【事業の実績】 令和5年度 27,769千円 令和6年度 44,408千円 令和7年度 33,944千円(見込み)	
備考欄			

温002	項目名	温泉事業基金積立金	新規事業
予算書項目	温泉事業基金積立金	ページ	465
年度	R8	所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	温泉事業費特別会計		
款	積立金	事業の概要	
項	積立金	【問合せ先】観光政策係 0857-30-8291	
目	積立金	【12次総の施策体系】3202	
(単位:千円)		【事業の経過及び背景】 温泉事業は、浜村温泉及び鹿野温泉の配湯区域内において配湯契約した利用者からの温泉使用料等の収入により運営している。施設の適正な維持管理や、改修のための基金積立を行いながら、温泉事業会計の安定的な運営を図る。	
前年度当初予算額	12,898	【事業の目的及び効果】 基金積立を計画的に行うことで大規模な施設改修等に備え、適正な施設管理と安定的な温泉供給を図る。	
本年度要求額	2,909	【事業の内容】 ・温泉事業基金繰替運用で発生する利息を基金積立金に繰り入れる。 ・歳入から歳出を差し引いた額を積立金に繰り入れる。	
総務部長段階査定額	2,909	【事業の実績】 令和5年度 29,246千円 令和6年度 5,940千円 令和7年度 16,145千円(見込み)	
市長段階査定額	2,909	※その他財源の負担金は、温泉配湯負担金 ※その他財源の使用料は、温泉使用料 ※その他財源の財産収入は、基金積立金利子 ※その他財源のその他は、前年度繰越金	
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	1,650
その他	2,909	使用料	898
一般財源	0	手数料	0
計	2,909	財産収入	351
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	10
備考欄			

観001	項目名	観光施設管理費	新規事業
予算書項目	観光施設管理費	ページ	475
年度	R8	所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	観光施設運営事業費特別会計		
款	観光施設費	事業の概要	
項	観光施設事業費	【問合せ先】観光政策係 0857-30-8291	
目	観光施設運営費	【12次総の施策体系】3202	
(単位:千円)		【事業の経過及び背景】 遊漁センターは、飲食・宿泊機能を備える施設で、あわせて地域の観光情報や特産品等の発信を行いながら観光振興・地域の活性化を図っている。平成18年度から指定管理者制度へ移行。	
前年度当初予算額	7,973	【事業の目的及び効果】 指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを活かした管理経費の縮減とサービスの向上を図るとともに、観光振興と地域の活性化を目指す。	
本年度要求額	8,363	【事業の内容】 ・施設設備の修繕等の維持管理 ・指定管理者「魚っとりお魚LAB」による管理運営	
総務部長段階査定額	8,363	【事業の実績】 令和5年度 9,617千円 令和6年度 6,607千円 令和7年度 8,862千円(見込み)	
市長段階査定額	8,363	その他財源の内訳	
区分	本年度予算額	分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	8,363	財産収入	0
計	8,363	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

観002	項目名	温泉施設管理費	新規事業
予算書項目	温泉施設管理費	ページ	475
年度	R8	所属名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名	事業の概要		
観光施設運営事業費特別会計	【問合せ先】観光政策係 0857-30-8291		
款 観光施設費	【12次総の施策体系】3202		
項 観光施設事業費	【事業の経過及び背景】 ＜国民宿舎山紫苑＞ 市民の保養と観光の振興に寄与することを目的に昭和47年度に整備された宿泊型温泉施設。平成6年度に新館を整備。平成16年度から指定管理者制度へ移行。		
目 温泉施設管理費	＜しかの温泉館＞ 市民の保養と観光の振興に寄与することを目的に平成5年度に整備された日帰り型温泉浴場施設。平成16年度から指定管理者制度へ移行。		
(単位:千円)	＜浜村温泉館＞ 施設の老朽化に伴い平成28年3月末から休館。		
前年度当初予算額	10,057	【事業の目的及び効果】 指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを活かした管理経費の縮減とサービスの向上を図り、適切な施設管理を行う。	
本年度要求額	1,154	【事業の内容】 ・指定管理者(株式会社ふるさと鹿野)による管理運営 ・施設設備の修繕等の維持管理	
総務部長段階査定額	1,154	【事業の実績】 令和5年度 18,767千円 令和6年度 13,007千円 令和7年度 10,641千円(見込み)	
市長段階査定額	1,154	※その他財源の諸収入は、その他利用料	
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	500	使用料	0
一般財源	654	手数料	0
計	1,154	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	500
		その他	0
備考欄			

後001	項目名	後期高齢者医療広域連合納付金	新規事業
予算書項目	後期高齢者医療広域連合納付金	ページ	487
年度	R8	所属名 福祉部 保険年金課	
会計名	事業の概要		
後期高齢者医療費特別会計	【問合せ先】長寿医療係 0857-30-8225		
款 後期高齢者医療広域連合納付金	【12次総の施策体系】2101		
項 後期高齢者医療広域連合納付金	【事業の経過及び背景】 急速な少子高齢化、医療費の増加など大きな環境変化に対応し、将来にわたり国民皆保険制度を堅持していくため、75歳以上の後期高齢者等を対象に独立した医療制度「後期高齢者医療制度」が平成20年度に創設された。 「後期高齢者医療制度」は、後期高齢者医療広域連合が運営主体(保険者)となり、保険料の決定・医療の給付等を行い、市町村は保険料の徴収・窓口業務等を行う。		
目 後期高齢者医療広域連合納付金	【事業の目的及び効果】 被保険者から徴収した保険料等を鳥取県後期高齢者医療広域連合に納付することにより制度の円滑な運営に資する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 被保険者から徴収した保険料等徴収金及び保険料軽減に係る一般会計からの法定繰入金を納付する。		
前年度当初予算額	3,071,221	【事業の実績】 (1) 保険料等負担金 令和5年度 1,923,025千円 令和6年度 2,302,880千円 令和7年度 2,676,282千円(見込み)	
本年度要求額	3,553,267	(2) 保険料等負担金(保険基盤安定) 令和5年度 540,154千円 令和6年度 612,874千円 令和7年度 617,765千円(見込み)	
総務部長段階査定額	3,553,267	※その他財源の諸収入は、延滞金 ※その他財源のその他は、後期高齢者医療保険料	
市長段階査定額	3,553,267	その他財源の内訳	
区分	本年度予算額	分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	2,818,082	手数料	0
一般財源	735,185	財産収入	0
計	3,553,267	寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	50
		その他	2,818,032
備考欄			

電001	項目名	青谷町いかり原維持管理費	新規事業	
予算書項目	維持管理費	ページ	501	
年度	R8	所属名	市民生活部環境局 生活環境課	
会計名	電氣事業費特別会計			
款	総務費			
項	総務管理費			
目	維持管理費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	4,170			
本年度要求額	6,060			
総務部長段階査定額	6,060			
市長段階査定額	6,060			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	6,060	使用料	0
	一般財源	0	手数料	0
	計	6,060	財産収入	0
		寄付金	0	
		繰入金	2,338	
		諸収入	3,722	
		その他	0	
備考欄				

事業の概要	
【問合せ先】環境政策係 0857-30-8082	
【12次総の施策体系】4201	
【事業の経過及び背景】 東日本大震災の原発事故を契機に、自然エネルギーを活用した発電に注目が集まり、平成24年7月1日には「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が施行、再生可能エネルギーへの事業参入が促進されている。	
【事業の目的及び効果】 「第3期鳥取市環境基本計画」において再生可能エネルギーの利用を重点項目として位置付けており、エネルギー自給率の向上、地球温暖化防止の観点から、本市における電力の地産地消を推進するため、市有地を有効活用し太陽光発電事業に取り組んでいる。	
【事業の内容】 青谷町いかり原太陽光発電施設に係る維持管理業務を行う。 ・除草、軽微な修繕等 ・法定点検 ・機械警備委託業務 ・事業にかかる公課費の支払い	
【事業の実績】	
	売電量 売電収入額（廃棄等費用積立額を除く）
令和5年度	637,387kwh 28,045,028円
令和6年度	616,370kwh 26,215,371円
令和7年度	483,292kwh 20,530,539円（令和7年11月時点）
※その他財源の繰入金は、電気事業基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、売電収入	

母001	項目名	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	新規事業	
予算書項目	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	ページ	509	
年度	R8	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課	
会計名	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計			
款	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費			
項	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費			
目	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	13,307			
本年度要求額	15,510			
総務部長段階査定額	15,510			
市長段階査定額	15,510			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	13,120	使用料	0
	一般財源	2,390	手数料	0
	計	15,510	財産収入	0
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	10,401	
		その他	2,719	
備考欄				

事業の概要	
【問合せ先】育成係 0857-30-8239	
【12次総の施策体系】1101	
【事業の経過及び背景】 中核市への移行に伴い、鳥取県より母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業を引き継いだ。	
【事業の目的及び効果】 無利子または低利で必要な資金の貸付けを行うことにより、ひとり親家庭及び寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図る。 また、扶養している児童等に修学資金、修学のために必要な支度資金等を貸付けすることにより、安定した資金確保のもと修学を継続することが可能となる。	
【事業の内容】 ひとり親家庭及び寡婦に、必要な貸付業務を行う。	
【事業の実績】 貸付件数（新規） 令和5年度 9件（5件） 令和6年度 7件（2件） 令和7年度 6件（3件）（見込み）	
※その他財源の諸収入は、母子父子寡婦福祉資金貸付金元利収入 ※その他財源のその他は、前年度繰越金	

特 別 会 計

(債務負担概要)

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市気高町遊漁センターの管理運営費	観光・ジオパーク推進課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
889	令和9年度					889

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市気高町遊漁センターの設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續に関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた管理運営における質的向上と効率化を図る。

【事業の内容】

指定管理者に以下の業務を委託する。
鳥取市気高町遊漁センターの管理運営に関する業務

【これまでの関連する取組】

近年、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇が続いており、適切な価格転嫁を実現する観点から、本市指定管理施設において指定管理料の見直しを行い適切な指定管理料の設定をする。

指定管理者	魚っとりお魚LAB					
指定期間	令和7年度から令和9年度					
現行指定管理料	R 7	6,963千円	R 8	6,963千円	R 9	6,963千円
		計 20,889千円				
変更後指定管理料	R 7	7,852千円	R 8	7,852千円	R 9	7,852千円
		計 23,556千円				
	※令和7年度分は2月補正予算、令和8年度分は当初予算に計上					

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。
令和8年4月 年度協定書の締結

令和8年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	こども未来課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
32,334	令和9年度～13年度				32,334	

【事業の目的】

- (1) 令和8年度貸付決定、令和8年度貸付開始分
 学校入学後にひとり親家庭となった場合、家庭や資金調達の事情の変更があった場合等、学校入学後に貸付けが必要となった場合において随時、相談申請を受け、在学期間中の修学資金の貸付けの決定を行うため。
- (2) 令和9年度貸付決定、令和9年度貸付開始分(早期決定分)
 令和9年度の入学決定(令和9年2月～3月)後、修学資金の貸付けに係る相談・申請を受け、速やかに(令和8年度内に)貸付決定を行うため。

【事業の内容】

母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦が現に扶養している児童等が、経済的理由により修学が困難な場合に、高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学及び大学院に修学させるのに直接必要な授業料、書籍代、通学費等として貸付けを行うもの。

【これまでの関連する取組】

平成29年度まで鳥取県で実施。

【今後の取組】

中核市移行に伴い、平成30年度から本市で福祉資金貸付業務を開始した。今後も引き続き、貸付業務を行う。